令和3年度決算に係る

主な施策の成果説明書

日　　向　　市

報　告　書

地方自治法第233条第5項の規定により、令和3年度一般会計および特別会計における各部門の主要な施策の成果と予算執行の状況について、次のとおり報告する。

令和4年9月16日

日向市長　十　屋　幸　平

目　次

■ 決算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 頁

■ 第２次日向市総合計画・後期基本計画　成果指標取組状況一覧表 ・・・ 19

■ 第２期日向市総合戦略　令和３年度実績（施策評価）・・・・・・・・・・ 29

■ 凡　例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

■ 評価対象事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89

■ 評価対象外事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 219

■ 新型コロナウイルス感染症対策事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 361

■ 特別会計・企業会計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 389

決算の概要

令和３年度　各会計予算の執行状況

（単位：千円）

会計別			最終予算額	決算額		執行割合	
				歳入	歳出	歳入	歳出
普通会計	一般会計		36,653,872	35,375,928	34,439,772	96.5%	94.0%
	特別会計	公営住宅事業特別会計	342,790	338,612	336,179	98.8%	98.1%
		財光寺南土地区画整理事業特別会計	57,921	62,605	56,782	108.1%	98.0%
		城山墓園事業特別会計	5,947	5,947	5,729	100.0%	96.3%
		簡易給水施設特別会計	2,600	2,235	2,018	86.0%	77.6%
	小計　(A)		37,063,130	35,785,327	34,840,480	96.6%	94.0%
	(A) のうち普通会計純計		37,016,730	35,739,605	34,794,758	96.5%	94.0%
国民健康保険事業特別会計			7,188,313	7,112,987	6,961,775	99.0%	96.8%
国民健康保険東郷診療所特別会計			248,800	240,065	239,205	96.5%	96.1%
介護保険事業特別会計（保険事業勘定）			5,762,753	5,628,552	5,445,156	97.7%	94.5%
日向入郷地域介護認定審査事業特別会計			39,300	35,791	35,791	91.1%	91.1%
後期高齢者医療事業特別会計			805,296	786,393	777,355	97.7%	96.5%
合計			51,107,592	49,589,115	48,299,762	97.0%	94.5%

※ 表示単位未満を端数調整しているため、合計等が一致しない場合があります。

令和３年度　普通会計決算状況

（単位：千円）

歳入 区分	決算額
市税	8,232,299
地方譲与税	304,362
利子割交付金	3,376
配当割交付金	24,350
株式等譲渡所得割交付金	24,962
地方消費税交付金	1,502,769
自動車税環境性能割交付金	13,460
法人事業税交付金	108,144
地方特例交付金	126,936
地方交付税	7,193,444
内訳 普通	6,533,219
内訳 特別	660,225
交通安全対策特別交付金	13,656
ゴルフ場利用税交付金	5,996
軽油引取税・自動車取得税交付金	13
小計	17,553,767
分担金及び負担金	462,139
使用料	297,522
手数料	42,783
国庫支出金	8,359,429
県支出金	3,630,527
財産収入	69,468
寄附金	1,189,586
繰入金	357,972
繰越金	499,631
諸収入	820,559
市債	2,456,222
合計	35,739,605

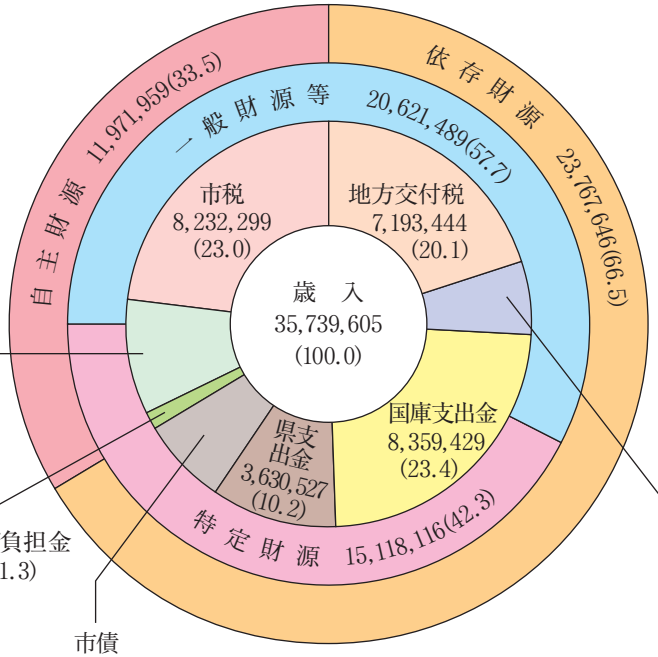
歳出 目的別歳出 区分	決算額	左のうち投資的事業 補助事業	左のうち投資的事業 単独事業	一般財源等
議会費	201,612	0	0	201,382
総務費	4,182,488	2,420	177,885	3,726,636
民生費	13,173,683	9,875	4,515	5,339,451
衛生費	2,229,383	3,200	30	1,682,546
労働費	10,741	0	0	2,238
農林水産業費	957,040	127,592	11,109	656,110
商工費	2,715,029	3,884	158,119	814,907
土木費	3,587,740	1,528,383	250,587	1,310,730
消防費	977,793	25,224	39,086	692,523
教育費	3,094,648	776,499	194,831	1,798,629
災害復旧費	49,100	26,783	22,317	6,550
公債費	3,615,501	0	0	3,444,940
諸支出金	0	0	0	0
合計	34,794,758	2,503,860	858,479	19,676,642

歳出 性質別歳出 区分	決算額	一般財源等
人件費	5,032,483	4,604,652
うち職員給	3,275,151	3,016,551
扶助費	9,929,263	2,563,535
公債費	3,615,501	3,444,940
内訳 元利償還金	3,615,500	3,444,939
内訳 一時借入金利子	1	1
小計	18,577,247	10,613,127
物件費	3,867,162	2,794,301
維持補修費	92,158	83,059
補助費等	3,915,098	2,223,236
積立金	1,782,359	1,167,172
投資及び出資金	115,487	115,487
貸付金	397,500	0
繰出金	2,578,201	2,018,455
投資的経費	3,469,546	661,805
うち人件費	94,831	94,755
内訳 普通建設事業費	3,420,446	655,255
内訳 補助事業費	2,477,077	141,805
内訳 単独事業費	836,162	504,643
内訳 県営事業負担金等	107,207	8,807
内訳 災害復旧事業費	49,100	6,550
内訳 補助事業費	26,783	343
内訳 単独事業費	22,317	6,207
内訳 失業対策事業費	0	0
合計	34,794,758	19,676,642

令和３年度　普通会計決算状況（グラフ）

1．歳入内訳

使用料	297,522(0.8)
手数料	42,783(0.1)
財産収入	69,468(0.2)
寄附金	1,189,586(3.3)
繰越金	499,631(1.4)
諸収入	820,559(2.3)
繰入金	357,972(1.0)



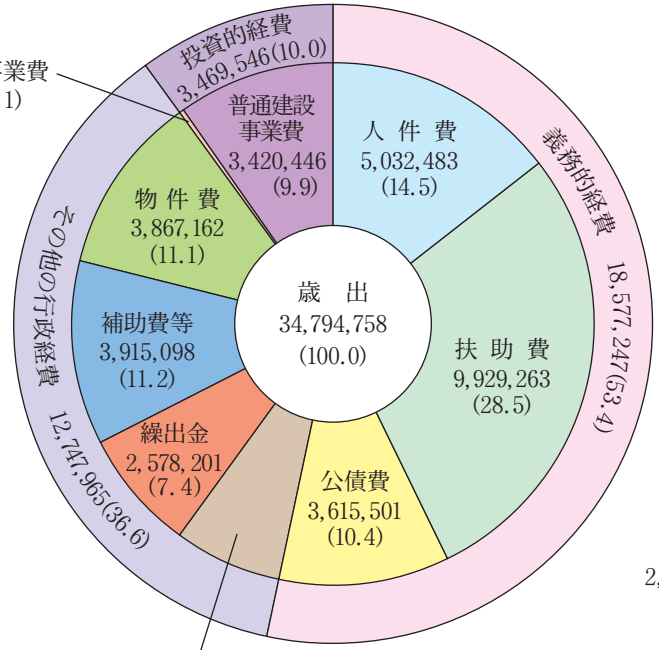
分担金及び負担金 462,139(1.3)

市債 2,456,222(6.9)

地方消費税交付金	1,502,769(4.2)
地方譲与税	304,362(0.9)
法人事業税交付金	108,144(0.3)
自動車税環境性能割交付金	13,460(0.0)
利子割交付金	3,376(0.0)
地方特例交付金	126,936(0.4)
配当割交付金	24,350(0.1)
株式等譲渡所得割交付金	24,962(0.1)
ゴルフ場利用税交付金	5,996(0.0)
交通安全対策特別交付金	13,656(0.0)
軽油引取税・自動車取得税	13(0.0)

2．性質別内訳

（単位：千円・％）

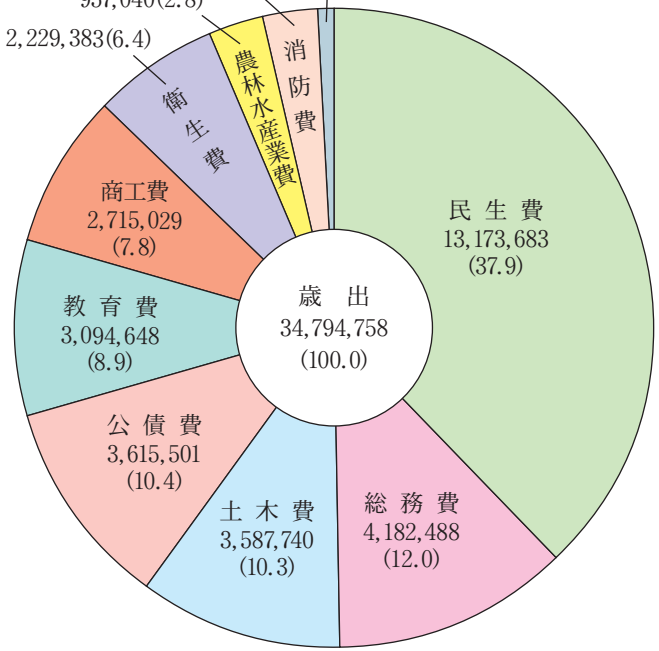


災害復旧事業費 49,100(0.1)

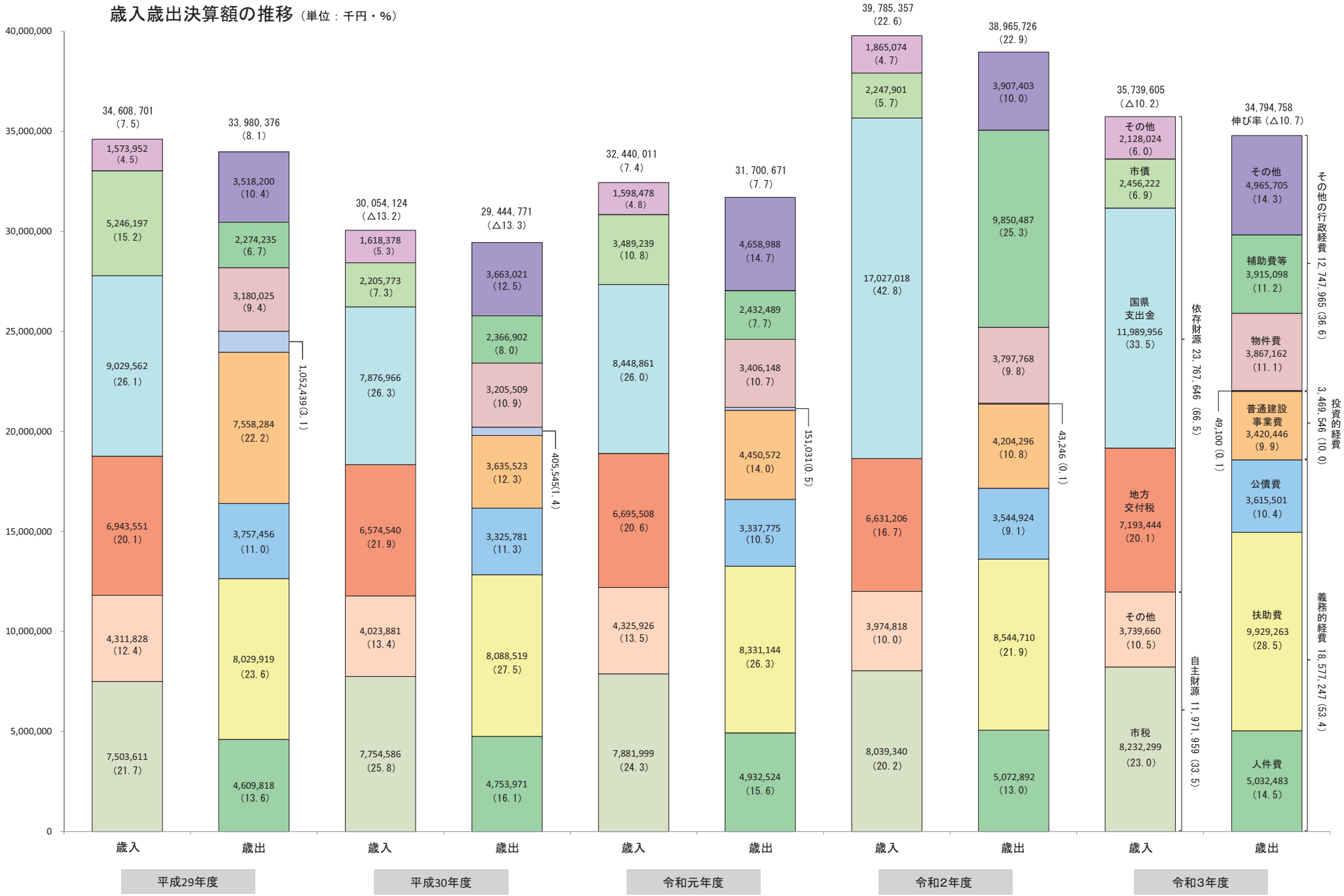
貸付金	397,500(1.2)
維持補修費	92,158(0.3)
積立金	1,782,359(5.1)
投資及び出資金	115,487(0.3)

3．目的別内訳

議会費	201,612(0.6)
災害復旧費	49,100(0.1)
労働費	10,741(0.0)
諸支出金	0(0.0)



歳入歳出決算額の推移（単位：千円・%）



地方債現在高の状況

（単位：千円）

区分	令和２年度末現在高 ①	令和３年度発行額 ②	令和３年度元利償還額 元金 ③	利子 ④	計 ⑤ ③＋④	⑤の財源内訳 特定財源 ⑥	一般財源等 ⑤―⑥ ⑦	差引現在高 ⑧ ①＋②－③	令和３年度末財源対策債現在高 ⑨	⑧の借入先別内訳 政府資金 ⑩	その他 ⑪
１．公共事業等債	4,624,518	336,700	760,450	54,572	815,022		815,022	4,200,768	4,877,161	3,681,074	519,694
うち財源対策債等											
２．防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	60,900	539,000		150	150		150	599,900		599,900	
３．公営住宅建設事業債	453,631		100,749	6,669	107,418	107,418		352,882		330,301	22,581
うち復旧・復興事業分											
うち（旧）緊急防災・減災事業分											
４．災害復旧事業債	512,407	16,700	67,225	101	67,326		67,326	461,882		461,882	
(1)単独災害復旧事業債	191,774	13,900	26,727	34	26,761		26,761	178,947		178,947	
(2)補助災害復旧事業債	320,633	2,800	40,498	67	40,565		40,565	282,935		282,935	
５．（旧）緊急防災・減災事業債	158,811		79,247	556	79,803		79,803	79,564		79,564	
(1)補助・直轄事業	158,811		79,247	556	79,803		79,803	79,564		79,564	
(2)継ぎ足し単独事業											
(3)緊急防災・減災事業計画に基づく単独事業											
６．全国防災事業債	82,419		8,294	576	8,870		8,870	74,125		74,125	
７．教育・福祉施設等整備事業債	1,729,413	83,900	168,294	7,289	175,583	5	175,578	1,645,019	46,294	1,122,063	522,956
(1)学校教育施設等整備事業債	1,306,998	60,500	82,289	3,008	85,297		85,297	1,285,209	46,294	887,073	398,136
(2)社会福祉施設整備事業債	12,233	2,100	3,900	116	4,016		4,016	10,433			10,433
(3)一般廃棄物処理事業債											
(4)一般補助施設整備等事業債	357,709	21,300	80,997	4,068	85,065		85,065	298,012		234,990	63,022
うち転貸債											
(5)施設整備事業債（一般財源化分）	52,473		1,108	97	1,205	5	1,200	51,365			51,365
８．一般単独事業債	9,636,076	91,600	1,092,264	33,700	1,125,964	52,671	1,073,293	8,635,412	79,987	23,871	8,611,541
うち地域総合整備事業債											
うち旧地域総合整備事業債（継続事業分）	110		110	1	111		111				
うち地域活性化事業債	4,231		1,508	27	1,535		1,535	2,723			2,723
(1)転用事業分											
うち防災対策事業債	44,178		11,814	158	11,972	31	11,941	32,364			32,364
うち旧合併特例事業債	8,023,470		815,397	24,975	840,372	1,640	838,732	7,208,073			7,208,073
(1)旧市町村合併特例事業債	8,013,816		805,743	24,932	830,675	1,640	829,035	7,208,073			7,208,073
(2)旧市町村合併推進事業債	9,654		9,654	43	9,697		9,697				
うち地方道路等整備事業債	707,139		195,575	7,576	203,151		203,151	511,564	79,987	23,871	487,693
うち一般事業債（河川等分）											
うち一般事業債（臨時高等学校改築等分）											
うち一般事業債（被災施設復旧関連事業分）											
うち一般事業債（除却事業分）											
うち地域再生事業債	7,131		2,819	29	2,848		2,848	4,312			4,312
うち日本新生緊急基盤整備事業債											
うち臨時経済対策事業債											
うち復旧・復興事業分											
うち(新)緊急防災・減災事業債	3,476	13,000	841	3	844		844	15,635			15,635
うち公共施設最適化事業債											
うち公共施設等適正管理推進事業債	58,100	48,700		19	19		19	106,800			106,800
(1) 集約化・複合化事業分	42,400	26,200		10	10		10	68,600			68,600
(2) 長寿命化（公共用建築物）事業分											
(3) 長寿命化（社会基盤施設）事業分	15,700	22,500		9	9		9	38,200			38,200
(4) 転用事業分											
(5) 立地適正化事業分											
(6) ユニバーサルデザイン化事業分											
(7) 市町村役場機能緊急保全事業分											
(8) 除却事業分											
うち緊急自然災害防止対策事業債	35,600	28,500		6	6		6	64,100			64,100
うち緊急浚渫推進事業債											

9. 辺地対策事業債	266,002	37,400	50,912	1,072	51,984		51,984	252,490		252,490	
10. 過疎対策事業債	384,504	89,300	60,978	1,469	62,447		62,447	412,826		173,706	239,120
11. 公共用地先行取得等事業債											
12. 行政改革推進債											
13. 厚生福祉施設整備事業債											
14. 地域財政特例対策債											
15. 退職手当債（～平成17年度分）											
16. 退職手当債（平成18年度～）											
17. 国の予算貸付・政府関係機関貸付債	528,523		36,574	8,058	44,632		44,632	491,949			491,949
18. 地域改善対策特定事業債											
うち法第5条によるもの											
19. 財源対策債	4,786,550	273,500	56,608	3,681	60,289		60,289	5,003,442		4,822,927	180,515
20. 減収補塡債(昭和61・平成5～7・9～30・令和元～3年度分)	78,664			39	39		39	78,664		78,664	
うち令和2年度追加税目分	78,664			39	39		39	78,664		78,664	
21. 臨時財政特例債											
22. 公共事業等臨時特例債											
23. 減税補塡債	87,479		26,063	160	26,223		26,223	61,416		61,416	
24. 臨時税収補塡債											
25. 臨時財政対策債	10,527,982	932,722	946,027	26,483	972,510		972,510	10,514,677		8,263,661	2,251,016
26. 調整債(昭和60～63年度分)											
27. 調整債(令和元～3年度分)											
28. 減収補塡債特例分(平成14・19～30・令和元～3年度分)											
うち令和2年度追加税目分											
29. 都道府県貸付金	149,430	55,400	17,240		17,240	10,467	6,773	187,590			187,590
うち予算貸付によるもの	149,430	55,400	17,240		17,240	10,467	6,773	187,590			187,590
30. 猶予特例債											
31. 特別減収対策債											
32. その他											
合　計（1～32）	34,067,309	2,456,222	3,470,925	144,575	3,615,500	170,561	3,444,939	33,052,606	5,003,442	20,025,644	13,026,962

地方債借入先別及び利率別現在高の状況

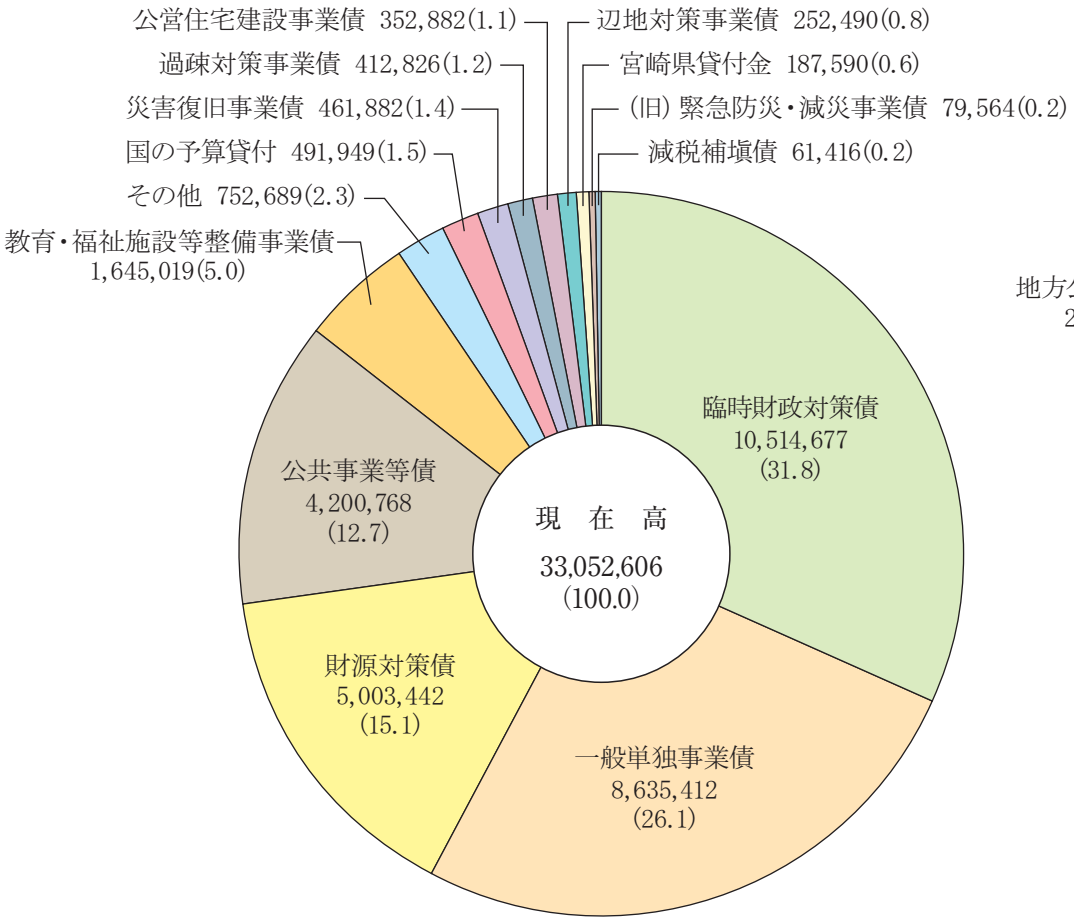
（単位：千円）

借入先＼利率	令和２年度末現在高 A	令和３年度発行額 B	令和３年度償還元金額 C	差引現在高 A＋B－C D	D の利率別内訳 0.5%以下	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下	5.0%以下	5.5%以下	6.0%以下	6.5%以下	7.0%以下	7.0%超
1 財政融資資金	19,846,601	1,559,054	1,925,796	19,479,859	14,900,098	2,140,833	1,184,760	1,216,037	38,131										
うち旧資金運用部資金																			
うち旧還元融資資金																			
2 旧郵政公社資金	704,765		158,980	545,785	207,131	46,765	7,818	284,071											
(1) 旧郵便貯金資金	262,295		55,164	207,131	207,131														
(2) 旧簡易生命保険資金	442,470		103,816	338,654		46,765	7,818	284,071											
3 地方公共団体金融機構資金	1,778,201	795,968	151,478	2,422,691	1,995,357	227,790	3,427	129,029	67,088										
うち旧公営企業金融公庫資金	345,657		122,289	223,368		23,824	3,427	129,029	67,088										
4 国の予算貸付・政府関係機関貸付	528,523		36,574	491,949		35,900	252,830	128,619	66,182	261	8,104			53					
5 ゆうちょ銀行																			
6 市中銀行	8,421,517		750,630	7,670,887	6,462,927	1,205,480	2,480												
7 その他の金融機関	2,088,842	45,800	389,261	1,745,381	737,799	281,878	526,500	199,204											
8 かんぽ生命保険																			
9 保険会社等																			
10 交付公債																			
11 市場公募債																			
12 共済等	549,430		40,966	508,464	480,589	22,133	5,742												
13 政府保証付外債																			
14 その他	149,430	55,400	17,240	187,590	187,590														
合計（1～14）E	34,067,309	2,456,222	3,470,925	33,052,606	24,971,491	3,960,779	1,983,557	1,956,960	171,401	261	8,104			53					
Eの内訳 証書借入分	34,067,309	2,456,222	3,470,925	33,052,606	24,971,491	3,960,779	1,983,557	1,956,960	171,401	261	8,104			53					
Eの内訳 証券発行分																			

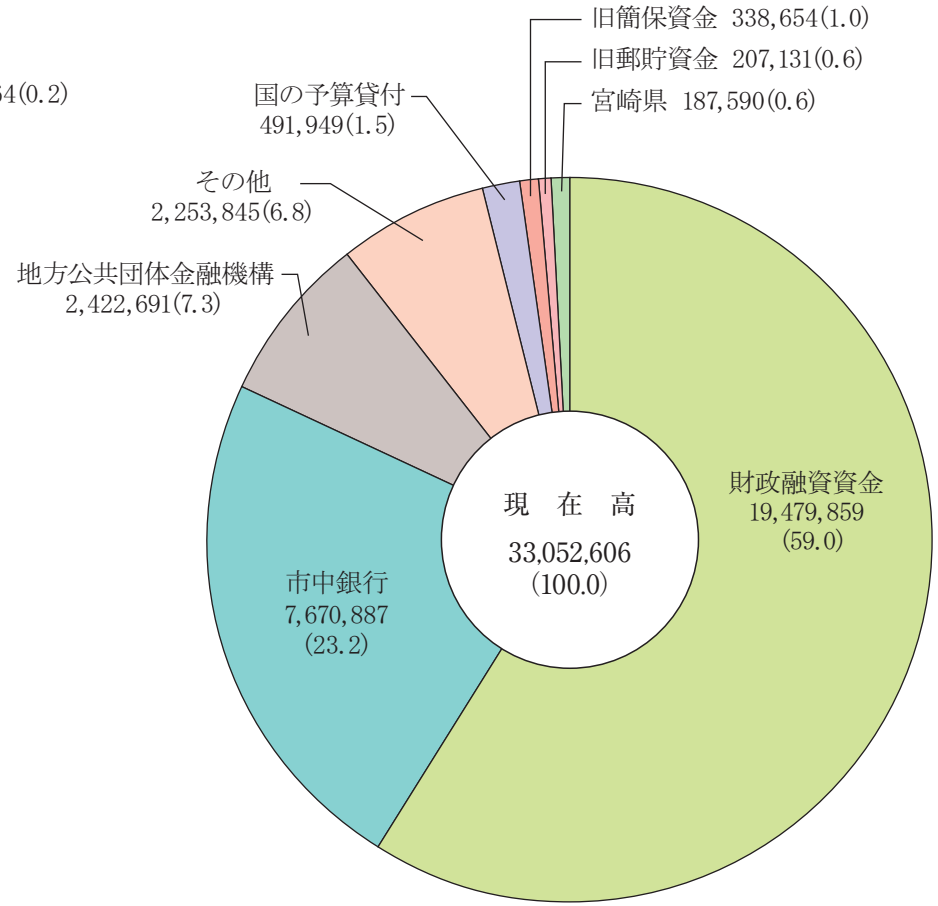
地方債の現在高の状況(グラフ)

（単位:千円・%）

1. 事業別内訳の状況



2. 借入先内訳の状況



基金の状況

区分		令和２年度末（５月末現在高）①	令和３年度中の増減 利子積立額②	決算剰余金積立額③	その他積立額④	取り崩し額⑤	令和３年度末（５月末現在高）⑥(①+②+③+④-⑤)	増減額 ⑥-①
積立基金	財政調整積立基金	2,678,989,000	912,000	320,000,000		100,000,000	2,899,901,000	220,912,000
積立基金	減債基金	411,781,000	122,000		255,566,000		667,469,000	255,688,000
積立基金	その他特定目的基金 退職手当基金	1,055,297,000	365,000		45,928,000		1,101,590,000	46,293,000
積立基金	その他特定目的基金 消防事務財政調整積立基金	133,502,000	33,000		27,047,000		160,582,000	27,080,000
積立基金	その他特定目的基金 うるおい福祉基金	466,678,000			1,300,000	55,514,000	412,464,000	▲ 54,214,000
積立基金	その他特定目的基金 ひまわり基金	27,728,000				1,091,000	26,637,000	▲ 1,091,000
積立基金	その他特定目的基金 文化スポーツ振興基金	91,380,000				5,293,000	86,087,000	▲ 5,293,000
積立基金	その他特定目的基金 ふるさと農村活性化基金	10,000,000					10,000,000	
積立基金	その他特定目的基金 公共施設整備等資金積立基金	1,412,494,000	419,000		1,008,621,000		2,421,534,000	1,009,040,000
積立基金	その他特定目的基金 地域振興基金	1,223,187,000				27,447,000	1,195,740,000	▲ 27,447,000
積立基金	その他特定目的基金 学校施設整備基金	3,621,000			277,000		3,898,000	277,000
積立基金	その他特定目的基金 市民活動支援基金	104,984,000			9,363,000	1,489,000	112,858,000	7,874,000
積立基金	その他特定目的基金 過疎地域振興基金	264,438,000	79,000		21,000,000	5,282,000	280,235,000	15,797,000
積立基金	その他特定目的基金 みどりのまちづくり基金	40,470,000					40,470,000	
積立基金	その他特定目的基金 ふるさと日向市応援寄附金基金	545,738,000			356,548,000	100,110,000	802,176,000	256,438,000
積立基金	その他特定目的基金 再生可能エネルギー設備維持管理基金	195,000					195,000	
積立基金	その他特定目的基金 総合体育館建設基金	208,102,000	62,000				208,164,000	62,000
積立基金	その他特定目的基金 森林環境譲与税基金	65,419,000	3,000		54,715,000	30,746,000	89,391,000	23,972,000
積立基金	その他特定目的基金 新型コロナウイルス感染症対策貸付利子補給基金	71,000,000				31,000,000	40,000,000	▲ 31,000,000
積立基金	その他特定目的基金 計	5,724,233,000	961,000		1,524,799,000	257,972,000	6,992,021,000	1,267,788,000
積立基金	小計	8,815,003,000	1,995,000	320,000,000	1,780,365,000	357,972,000	10,559,391,000	1,744,388,000
定額運用基金	土地開発基金	925,251,000	19,000				925,270,000	19,000
定額運用基金	その他 図書購入基金	10,500,000					10,500,000	
定額運用基金	その他 育英奨学金貸付基金	245,149,000	16,000				245,165,000	16,000
定額運用基金	その他 優良雌牛貸付基金	20,920,000					20,920,000	
定額運用基金	その他 計	276,569,000	16,000				276,585,000	16,000
定額運用基金	小計	1,201,820,000	35,000				1,201,855,000	35,000
普通会計合計		10,016,823,000	2,030,000	320,000,000	1,780,365,000	357,972,000	11,761,246,000	1,744,423,000
国民健康保険基金		220,553,000	125,000	24,000,000			244,678,000	24,125,000
介護給付費準備基金		686,205,000	203,000		82,262,000		768,670,000	82,465,000
総合計		10,923,581,000	2,358,000	344,000,000	1,862,627,000	357,972,000	12,774,594,000	1,851,013,000

令和３年度　行政投資額

（単位：千円）

事項	行政投資額				
	決算額	資金負担区分			
		国費	県費	その他特定財源	市費
維持補修費	92,158			7,807	84,351
普通建設事業費	3,420,446	1,015,228	121,826	94,978	2,188,414
災害復旧事業費	49,100	1,703	19,442	1,446	26,509
計	3,561,704	1,016,931	141,268	104,231	2,299,274

行政部門別投資額明細

（単位：千円）

区分	投資額	資金負担区分			
		国費	県費	その他特定財源	市費
1 総務費	186,921		2,420	10,787	173,714
2 民生費	15,427	6,584			8,843
3 衛生費	8,249	1,897	425	2,394	3,533
4 労働費					
5 農林水産業費	159,704		79,076	21,275	59,353
(1)農業関係	119,634		59,826	19,892	39,916
(2)林業関係	39,751		19,250	1,383	19,118
(3)水産業関係	319				319
6 商工費	165,018		5,228	3,082	156,708
7 土木費	1,921,644	726,780	33,433	26,146	1,135,285
(1)道路橋りょう関係	396,133	104,793	1,962		289,378
(2)河川関係	32,092		9,750	143	22,199
(3)港湾関係	92,200				92,200
(4)都市計画関係	1,275,309	574,862	20,583	6,042	673,822
(ｲ)街路					

区分	投資額	資金負担区分			
		国費	県費	その他特定財源	市費
(ﾛ)公園	16,547			206	16,341
(ﾊ)下水道					
(ﾆ)区画整理等	1,258,762	574,862	20,583	5,836	657,481
(5)住宅関係	125,910	47,125	1,138	19,961	57,686
8 消防費	65,197	13,350	84	24,922	26,841
9 教育費	990,444	266,617	1,160	14,179	708,488
(1)小学校関係	852,621	259,253		5,339	588,029
(2)中学校関係	9,589			4,104	5,485
(3)幼稚園関係	371				371
(4)社会教育関係	116,756	7,364	390	3,716	105,286
(5)保健体育関係	11,107		770	1,020	9,317
10 災害復旧費	49,100	1,703	19,442	1,446	26,509
11 諸支出金					
12 その他					
合計	3,561,704	1,016,931	141,268	104,231	2,299,274

令 和 3 年 度　　市 税 の 徴 収 実 績

（単位：千円）

区分 / 税目	調定済額				収入済額				徴収率（%）			
	現年分	滞納繰越分	計	標準超過分	現年分	滞納繰越分	計	標準超過分	現年分	滞納分	計	前年度
1．市民税	3,077,794	62,197	3,139,991	156,023	3,059,703	23,395	3,083,098	155,882	99.4	37.6	98.2	98.0
(1) 個人均等割	100,400	2,139	102,539		99,771	777	100,548		99.4	36.3	98.1	98.2
(2) 所得割	2,343,372	56,942	2,400,314		2,326,757	20,767	2,347,524		99.3	36.5	97.8	97.7
上記のうち退職所得分	55,516		55,516		55,516		55,516		100.0	—	100.0	100.0
(3) 法人均等割	211,060	2,996	214,056	35,177	210,226	1,746	211,972	35,036	99.6	58.3	99.0	98.4
(4) 法人税割	422,962	120	423,082	120,846	422,949	105	423,054	120,846	100.0	87.5	100.0	100.0
2．固定資産税	4,376,628	163,255	4,539,883	542,823	4,342,157	72,123	4,414,280	538,480	99.2	44.2	97.2	96.2
(1) 純固定資産税	4,342,579	163,255	4,505,834	542,823	4,308,108	72,123	4,380,231	538,480	99.2	44.2	97.2	96.1
土地	1,234,752	46,419	1,281,171	154,344	1,224,951	20,507	1,245,458	153,109	99.2	44.2	97.2	96.1
家屋	1,717,303	64,560	1,781,863	214,663	1,703,671	28,522	1,732,193	212,946	99.2	44.2	97.2	96.1
償却資産	1,390,524	52,276	1,442,800	173,816	1,379,486	23,094	1,402,580	172,425	99.2	44.2	97.2	96.1
(2) 交付金	34,049		34,049		34,049		34,049		100.0	—	100.0	100.0
3．軽自動車税			237,535				227,799		—	—	95.9	95.5
(1) 環境性能割			7,514				7,514		—	—	100.0	100.0
(2) 種別割	220,737	9,284	230,021		217,804	2,481	220,285		98.7	26.7	95.8	95.4
4．たばこ税	507,122		507,122		507,122		507,122		100.0	—	100.0	100.0
合計	8,182,281	234,736	8,424,531	698,846	8,126,786	97,999	8,232,299	694,362	99.3	41.7	97.7	97.0

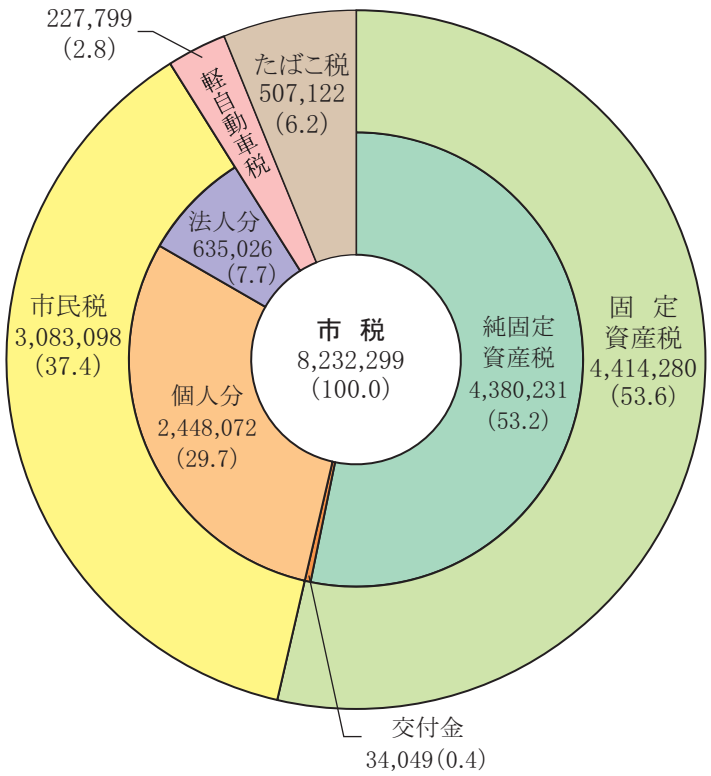
税 目 別 収 入 状 況

（単位：千円・％）

税目 ＼ 年度		R元 決算額	R元 前年対比	R２ 決算額	R２ 前年対比	R３ 決算額	R３ 前年対比
市民税	個人分	2,354,681	△ 1.3	2,511,692	6.7	2,448,072	△ 2.5
	法人分	664,825	△ 3.7	547,512	△ 17.6	635,026	16.0
固定資産税	純固定資産税	4,133,327	4.3	4,252,455	2.9	4,380,231	3.0
	交付金	30,017	△ 2.0	34,786	15.9	34,049	△ 2.1
軽自動車税		213,524	3.9	222,091	4.0	227,799	2.6
たばこ税		485,625	1.1	470,804	△ 3.1	507,122	7.7
市税計		7,881,999	1.6	8,039,340	2.0	8,232,299	2.4
地方譲与税		270,509	9.0	297,587	10.0	304,362	2.3
内訳	自動車重量譲与税	172,576	3.6	171,029	△ 0.9	173,095	1.2
	地方道路譲与税	0	−	0	−	0	−
	特別とん譲与税	12,356	△ 10.9	13,260	7.3	16,012	20.8
	地方揮発油譲与税	59,924	△ 11.4	58,784	△ 1.9	60,540	3.0
	森林環境譲与税	25,653	皆増	54,514	112.5	54,715	0.4
利子割交付金		3,007	△ 62.3	3,204	6.6	3,376	5.4
配当割交付金		15,983	19.8	12,564	△ 21.4	24,350	93.8
株式等譲渡所得割交付金		8,579	△ 43.4	15,131	76.4	24,962	65.0
地方消費税交付金		1,137,499	△ 6.9	1,385,697	21.8	1,502,769	8.4
ゴルフ場利用税交付金		9,892	△ 24.1	7,188	△ 27.3	5,996	△ 16.6
自動車取得税交付金		23,028	△ 43.3	0	皆減	13	皆増
自動車税環境性能割交付金		6,168	皆増	12,697	105.9	13,460	6.0
法人事業税交付金		0	−	55,190	皆増	108,144	95.9
地方特例交付金		55,724	26.0	61,346	10.1	126,936	106.9

市税の割合

（単位：千円・％）



地方税の消滅時効

（地方税法第１５条の７第４項、第５項及び第１８条第１項）　　令和4年5月31日　　（単位：円）

税目 / 年度	市民税（個人）		市民税（法人）		固定資産税		軽自動車税		総額	
	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額
H14	1	241	0	0	1	400	0	0	2	641
H15	0	0	0	0	1	300	0	0	1	300
H16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H17	1	699	0	0	0	0	0	0	1	699
H18	0	0	0	0	0	0	1	7,200	1	7,200
H19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H20	1	58,707	0	0	0	0	0	0	1	58,707
H21	1	93,894	0	0	0	0	0	0	1	93,894
H22	2	118,014	0	0	0	0	0	0	2	118,014
H23	3	49,293	0	0	3	57,400	0	0	6	106,693
H24	3	35,609	1	100	2	52,800	0	0	6	88,509
H25	3	103,578	1	100	2	63,927	1	5,200	7	172,805
H26	2	213,532	1	100	2	50,700	1	6,856	6	271,188
H27	8	254,073	1	100	8	102,000	3	11,900	20	368,073
H28	35	1,790,886	3	180,000	76	2,699,900	55	506,500	169	5,177,286
H29	6	126,074	0	0	6	251,100	16	149,700	28	526,874
H30	2	23,399	0	0	18	442,900	25	205,100	45	671,399
R1	1	39,880	0	0	6	162,900	4	28,100	11	230,880
R2	4	97,503	0	0	7	241,000	5	42,700	16	381,203
R3	8	588,987	0	0	39	837,600	15	196,100	62	1,622,687
計	81	3,594,369	7	180,400	171	4,962,927	126	1,159,356	385	9,897,052

滞納処分の停止の要件等

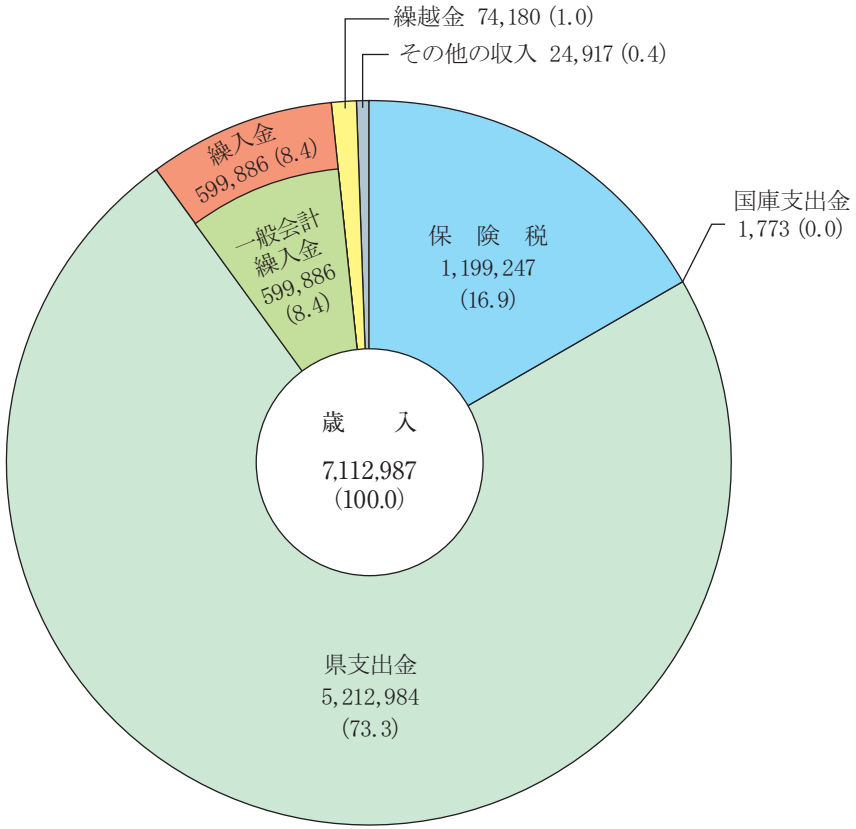
（地方税法第１５条の７第４項、第５項）　※第１８条第１項は除く

税目 / 区分	市民税（個人）		市民税（法人）		固定資産税		軽自動車税		総額	
	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額
滞納処分することができる財産がないとき	5	274,560	0	0	4	103,100	18	130,600	27	508,260
滞納処分をすることによってその生活を著しく窮迫させるおそれがあるとき	7	134,796	0	0	11	391,500	12	61,800	30	588,096
その所在及び滞納処分をすることができる財産がともに不明であるとき	3	49,804	1	60,000	12	318,100	8	139,400	24	567,304
徴収することができないことが明らかな場合	23	1,265,121	0	0	63	1,448,200	28	297,100	114	3,010,421
計	38	1,724,281	1	60,000	90	2,260,900	66	628,900	195	4,674,081

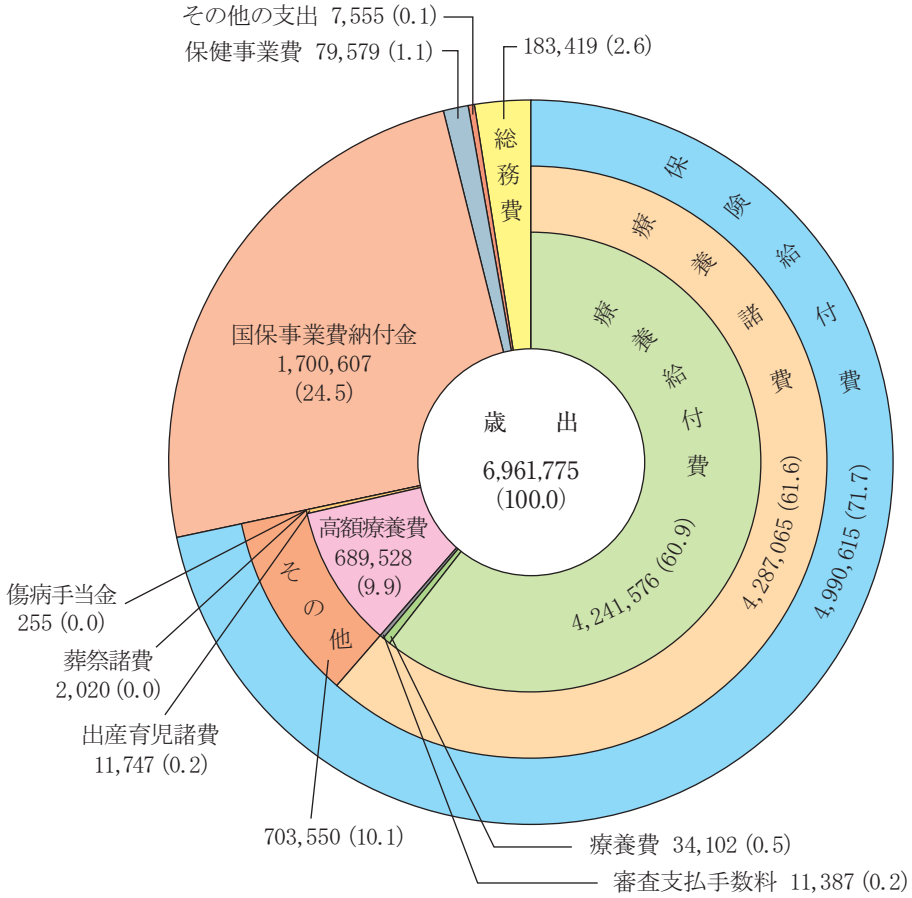
令和３年度　日向市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算状況

（単位:千円・％）

歳　入



歳　出



国民健康保険　保険税賦課徴収状況

区分 ＼ 年度		令和元年度						令和２年度						令和３年度					
		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分	
		数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)
一般状況	被保険者世帯数　（平均）(A)	9,154 世帯	△ 2.4	9,154 世帯	△ 2.4	3,817 世帯	△ 5.6	8,965 世帯	△ 2.1	8,965 世帯	△ 2.1	3,588 世帯	△ 6.0	8,897 世帯	△ 0.8	8,897 世帯	△ 0.8	3,466 世帯	△ 3.4
一般状況	被保険者総数　（平均）(B)	14,086 人	△ 3.7	14,086 人	△ 3.7	4,412 人	△ 6.2	13,601 人	△ 3.4	13,601 人	△ 3.4	4,138 人	△ 6.2	13,339 人	△ 1.9	13,339 人	△ 1.9	3,977 人	△ 3.9
一般状況 内訳	一般被保険者数（平均）	13,986 人	△ 3.7	13,986 人	△ 3.7	4,611 人	0.0	13,601 人	△ 2.8	13,601 人	△ 2.8	4,138 人	△ 10.3	13,339 人	△ 1.9	13,339 人	△ 1.9	3,977 人	△ 3.9
一般状況 内訳	退職被保険者数（平均）	100 人	0.0	100 人	0.0	△ 199 人	△ 316.3	0 人	皆減	0 人	皆減	0 人	皆減	0 人	－	0 人	－	0 人	－
賦課状況	所得割率	8.60 %	－	3.10 %	－	2.90 %	－	8.60 %	－	3.10 %	－	2.90 %	－	8.60 %	－	3.10 %	－	2.90 %	－
賦課状況	資産割率	11.00 %	－	5.00 %	－	6.20 %	－	11.00 %	－	5.00 %	－	6.20 %	－	11.00 %	－	5.00 %	－	6.20 %	－
賦課状況	均等割額	21,600 円	－	7,500 円	－	8,900 円	－	21,600 円	－	7,500 円	－	8,900 円	－	21,600 円	－	7,500 円	－	8,900 円	－
賦課状況	平等割額	21,600 円	－	7,400 円	－	7,200 円	－	21,600 円	－	7,400 円	－	7,200 円	－	21,600 円	－	7,400 円	－	7,200 円	－
徴収状況 現年分	調定額 (C)	840,238 千円	△ 4.0	296,887 千円	△ 4.3	117,035 千円	△ 8.3	813,502 千円	△ 3.2	286,672 千円	△ 3.4	111,999 千円	△ 4.3	799,931 千円	△ 1.7	281,585 千円	△ 1.8	107,651 千円	△ 3.9
徴収状況 現年分	収入額	782,729 千円	△ 3.2	276,574 千円	△ 3.5	105,579 千円	△ 7.2	772,582 千円	△ 1.3	272,280 千円	△ 1.6	104,376 千円	△ 1.1	765,046 千円	△ 1.0	269,308 千円	△ 1.1	100,831 千円	△ 3.4
徴収状況 現年分	収納率	93.2 %	0.8	93.2 %	0.8	90.2 %	1.0	95.0 %	1.8	95.0 %	1.8	93.2 %	3.0	95.6 %	0.6	95.6 %	0.6	93.7 %	0.5
徴収状況 滞納繰越分	調定額	250,501 千円	△ 3.4	85,938 千円	△ 2.8	50,663 千円	△ 2.9	229,858 千円	△ 8.2	79,363 千円	△ 7.7	47,335 千円	△ 6.6	200,261 千円	△ 12.9	69,727 千円	△ 12.1	41,807 千円	△ 11.7
徴収状況 滞納繰越分	収入額	47,158 千円	△ 11.0	16,242 千円	△ 10.8	9,224 千円	△ 14.0	48,628 千円	3.1	16,481 千円	1.5	9,094 千円	△ 1.4	40,914 千円	△ 15.9	14,243 千円	△ 13.6	8,904 千円	△ 2.1
徴収状況 滞納繰越分	収納率	18.8 %	△ 1.6	18.9 %	△ 1.7	18.2 %	△ 2.4	21.2 %	2.4	20.8 %	1.9	19.2 %	1.0	20.4 %	△ 0.8	20.4 %	△ 0.4	21.3 %	2.1
徴収状況 計	調定額	1,090,739 千円	△ 3.8	382,825 千円	△ 4.0	167,698 千円	△ 6.7	1,043,360 千円	△ 4.3	366,035 千円	△ 4.4	159,334 千円	△ 5.0	1,000,192 千円	△ 4.1	351,312 千円	△ 4.0	149,458 千円	△ 6.2
徴収状況 計	収入額	829,887 千円	△ 3.7	292,816 千円	△ 4.0	114,803 千円	△ 7.8	821,210 千円	△ 1.0	288,761 千円	△ 1.4	113,470 千円	△ 1.2	805,960 千円	△ 1.9	283,551 千円	△ 1.8	109,735 千円	△ 3.3
徴収状況 計	収納率	76.1 %	0.2	76.5 %	0.0	68.5 %	△ 0.8	78.7 %	2.6	78.9 %	2.4	71.2 %	2.7	80.6 %	1.9	80.7 %	1.8	73.4 %	2.2
１世帯当り保険税調定額（現年）(C)/(A)		91,789 円	△ 1.6	32,432 円	△ 1.9	30,662 円	△ 2.9	90,742 円	△ 1.1	31,977 円	△ 1.4	31,215 円	1.8	89,910 円	△ 0.9	31,649 円	△ 1.0	31,059 円	△ 0.5
１人当り保険税調定額　（現年）(C)/(B)		59,651 円	△ 0.3	21,077 円	△ 0.6	26,527 円	△ 2.3	59,812 円	0.3	21,077 円	0.0	27,066 円	2.0	59,969 円	0.3	21,110 円	0.2	27,068 円	0.0

※「徴収状況」中「収入額」には還付未済額を含む（控除しない）

※世帯・被保険者数は被保険者数統計表４～３月の平均

国 民 健 康 保 険　保 険 給 付 状 況

（単位：千円・%）

区分		年度	令和元年度 費用額	令和元年度 給付額	令和元年度 伸率	令和２年度 費用額	令和２年度 給付額	令和２年度 伸率	令和３年度 費用額	令和３年度 給付額	令和３年度 伸率
保険給付状況	一般被保険者	療養の給付	5,873,883	4,297,462	△ 0.2	5,642,272	4,140,663	△ 3.6	5,766,499	4,241,576	2.4
		療養費	61,419	44,287	17.1	56,040	41,048	△ 7.3	46,340	34,102	△ 16.9
		小　計　（ア）	5,935,302	4,341,749	0.0	5,698,312	4,181,711	△ 3.7	5,812,839	4,275,678	2.2
		高額療養費	703,114	703,380	2.3	698,808	698,808	△ 0.7	689,192	689,192	△ 1.4
		高額介護合算療養費	284	284	21.4	239	239	△ 15.8	336	336	40.6
		移送費	32	32	皆増	0	0	皆減	0	0	—
		出産育児一時金	19,466	19,466	19.1	16,333	16,333	△ 16.1	11,747	11,747	△ 28.1
		葬祭費	2,020	2,020	9.8	2,240	2,240	10.9	2,020	2,020	△ 9.8
	退職被保険者等	療養の給付	12,735	8,918	△ 73.8	20	14	△ 99.8	0	0	皆減
		療養費	66	46	△ 79.8	0	0	皆減	0	0	—
		小　計　（イ）	12,801	8,964	△ 73.9	20	14	△ 99.8	0	0	皆減
		高額療養費	2,506	2,506	△ 65.6	10	10	△ 99.6	0	0	皆減
		高額介護合算療養費	0	0	皆減	0	0	—	0	0	—
	合　計　（ウ）		6,675,525	5,078,401	△ 0.2	6,415,962	4,899,355	△ 3.5	6,516,134	4,978,973	1.6
老人保健医療費拠出金				0	—		0	—		0	—

（単位：千円・%）

	令和元年度 費用額	令和元年度 給付額	令和元年度 伸率	令和２年度 費用額	令和２年度 給付額	令和２年度 伸率	令和３年度 費用額	令和３年度 給付額	令和３年度 伸率
（全体）被保険者１人当り療養諸費 $\frac{(ア)+(イ)}{(A)}$	422,271	308,868	3.2	418,964	307,457	△ 0.5	435,778	320,540	4.3
（全体）被保険者１人当り保険給付 $\frac{(ウ)}{(A)}$	473,912	360,528	3.6	471,727	360,220	△ 0.1	488,502	373,264	3.6

※(A)一般・退職被保険者数計（4-3）　14,086 人　13,601 人　13,339 人

※費用額・給付額は各集計表の支払済額合計

国民健康保険税消滅時効

（地方税法第１８条第１項・第１５条の７第４項及び第５項）

（単位：円）

年　度	延人数	税　　額
H17	1	2,400
H18	1	3,500
H19	1	5,650
H20	2	180,380
H21	2	89,000
H22	6	208,300
H23	9	273,300
H24	14	534,538
H25	14	825,550
H26	12	655,700
H27	39	1,475,200
H28	124	11,289,800
H29	52	4,688,600
H30	29	1,543,400
合　計	306	21,775,318

滞納処分の停止の要件等

（地方税法第１５条の７第１項）

（単位：円）

区　分	件　数	税　額
滞納処分をすることができる財産がないとき(第１号)	143	8,706,512
滞納処分をすることによって、その生活を著しく窮迫させる恐れがあるとき(第２号)	34	2,766,400
滞納者の所在地及び滞納処分をすることができる財産がともに不明であるとき(第３号)	13	1,698,400
合　　計	190	13,171,312

第２次日向市総合計画・後期基本計画
成果指標取組状況一覧表

第２次日向市総合計画・後期基本計画　成果指標取組状況一覧表

基本目標１　【教育文化】ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
１－１ 生きる力を育む教育の推進	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合	%	89.0	80.0	90.0	学校教育課	令和3年度全国学力・学習状況調査
	中学校２年生の生徒のうち、「将来日向市で働きたい」と答えた生徒の割合	%	40.3	32.9	42.5	学校教育課	令和3年度日向市キャリア教育アンケート
	放送大学宮崎学習センターの学生数のうち日向市民の数（年度末時点）	人	163	144	163	生涯学習課	
１－２ 魅力ある教育体制や環境の充実	不登校児童生徒が学校に復帰した割合	%	26.8	23.1	29.1	学校教育課	
	小児生活習慣病予防検診で要管理・要観察・要指導と判定された児童生徒の割合	%	16.0	16.9	15.2	学校教育課	
	小学生の歯科治療率（年度末時点）	%	90.7	82.6	93.0	学校教育課	
	学校給食食材に占める地産地消率（年間）	%	61.4	59.4	64.0	学校給食センター	
１－３ 地域が一体となった青少年の育成	子どもの夢サポート事業申請件数（年間）	件	12	7	17	生涯学習課	
	青少年指導員による指導件数（年間）	件	10	1	8	生涯学習課	
１－４ 社会教育の推進	生涯学習人材バンク「日向きらめき人」の利用回数（年間）	回	53	25	60	生涯学習課	
	主催講座の参加者数（年間）	人	3,539	3,379	3,350	生涯学習課	
１－５ 図書館サービスの充実	入館者数（１日当たり）	人	496	395	500	図書館	本館、巡回貸出、公民館図書室入館者数等
	貸出冊数（年間）	冊	227,043	169,813	246,000	図書館	一般・児童図書、郷土資料（雑誌、AV除く）
	小学生、中学生が１か月間に読む読書冊数（平均）	冊	小学生13.6 中学生3.9	小学生15.5 中学生5.3	小学生15.0 中学生4.2	学校教育課	

基本目標1　　【教育文化】ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
1－6 地域文化の保存・継承・活用	文化施設の利用者数（年間）	人	87,458（過去5年平均）	30,714	82,600	スポーツ・文化振興課	文化交流センター、東郷地区文化センター
	文化財施設の利用者数（年間）	人	18,413	4,420	16,500	教育総務課	歴史民俗資料館、美々津軒、美々津まちなみセンター、細島みなと資料館、関本勘兵衛家住宅
	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数（年間）	人	4,979（過去5年平均）	2,246	4,800	スポーツ・文化振興課	牧水記念文学館入館者数・牧水祭・青の國短歌大会など
1－7 スポーツ活動の推進と環境づくり	市主催のスポーツ教室等の参加者数（年間）	人	856	329	920	スポーツ・文化振興課	
	九州大会以上の大会への出場奨励金の交付件数（年間）	件	75	38	72	スポーツ・文化振興課	
	スポーツ施設の利用者数（年間）	人	233,817	148,235	234,000	教育総務課	お倉ヶ浜総合公園、大王谷運動公園、体育センター、武道館、東郷体育館、東郷グラウンド、美々津グラウンド
1－8 人権・平和の尊重	人権に関する講演会などへの参加者数（年間）	人	490（平成30年度）	180	540	地域コミュニティ課	
	平和に関する講演会などへの参加者数（年間）	人	751	379	800	総務課	被爆体験講話、原爆写真・パネル展
1－9 男女共同参画社会づくり	男女共同参画に関する講座等の参加者数（年間）	人	384	226	500	総合政策課	
	審議会等委員に占める女性の割合	%	24.1	21.2	40.0	総合政策課	令和3年4月1日時点
	DV（デートDV含む）防止講座、啓発活動の実施回数（年間）	回	4	5	6	総合政策課	
1－10 国際化への対応と国際交流の推進	国際交流事業への参加者数（年間）	人	227	129	260	地域コミュニティ課	
	多文化共生社会構築のための行事数	事業	―	6	5	地域コミュニティ課	

基本目標2　　【健康福祉】市民が共に支え合い、自立した生活を送る健康長寿のまち

施策	指標	単位	計画時基準値 （令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値 （令和6年度）	所管課	備　考
2－1 安心して子どもを生み育てられる環境づくり	産後ケア事業や家事支援における満足度	%	87.9	91	98.0	こども課	産後ケア終了後アンケート
	放課後児童クラブ利用定員数（年度末時点）	人	380	420	580	こども課	
	特定教育・保育施設における利用定員数（年度末時点）	人	2,400	2,345	2,400	こども課	
	児童虐待件数（年間）	件	38	39	30	こども課	
2－2 健康に暮らせるまちづくり	大腸がん検診受診率	%	7.8	8.1	12.0	健康増進課	地域保健・健康増進報告
	初期救急医療体制：月曜～金曜の夜間 二次救急医療体制：休日や夜間	日	240 365	242 365	244 365	健康増進課	（上段）令和3年度診療日数 （下段）令和3年度年間日数
	東郷診療所の整備	—	—	整備基本計画策定 基本設計策定	供用開始	東郷診療所	
2－3 高齢者福祉の充実	65歳以人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合	%	13.4	12.7	13.4	高齢者あんしん課	
	生活支援サポーターの養成者の総数（年度末時点）	人	189	199	280	高齢者あんしん課	
	いきいき百歳体操設置地区（箇所）（年度末時点）	地区	76地区 （83箇所）	76地区 （83箇所）	90地区 （100箇所）	高齢者あんしん課	
2－4 障がい福祉の充実	日向市手話奉仕員養成講座の修了者数（年間）	人	15	0	18	福祉課	
	就労継続支援（A型・B型）の利用者数（年間）	人	2,945	3,114	3,153	福祉課	
	障がい者センター「あいとぴあ」の利用者数（年間）	人	11,648	5,676	13,000	福祉課	
2－5 地域福祉の充実と生活支援	ボランティア活動者数（年間）	人	2,078	1,015	2,350	福祉課	日向市ボランティア・市民活動センターに登録されているボランティアの活動者数
	生活支援において自立助長推進世帯が自立した割合（生活保護・生活困窮者自立支援）	%	24.7	18.7	27.7	福祉課	

基本目標2　【健康福祉】市民が共に支え合い、自立した生活を送る健康長寿のまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
2－6 社会保障制度の安定運営	特定健康診査受診率（年度末時点）	%	32.0	33.6	40.0	健康増進課	令和4年7月速報値（9月確定予定） 令和3年度特定保健指導進捗・実績管理表より
	ジェネリック医薬品普及率	%	81.7	84.1	90.0	国民健康保険課	国保連合会提供　数値シェア集計表（令和3年度末時点）より
	国民健康保険税収納率（現年度分）	%	92.8	95.4	93.0	国民健康保険課	
	後期高齢者医療保険料収納率（現年度分）	%	98.8	99.4	99.0	国民健康保険課	

基本目標3　【産業振興】新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
3－1 農業の振興	新規就農者の累計人数（累計）	人	―	3	20	農業畜産課	
	JA日向におけるへべすの出荷量（年間）	トン	83	118.5	200	ふるさと物産振興課	
	農地中間管理事業の実施総面積（年度末時点）	ha	80.6	92.3	135.0	農業畜産課	
	ふるさと日向市応援寄附金事業者数（年間）	事業者	45	98	85	ふるさと物産振興課	
3－2 林業・木材産業の振興	造林面積（年間）	ha	48.0	60.1	65.0	林業水産課	
	有害鳥獣による農林産物の被害額（年間）	千円	25,117	35,935	23,510	林業水産課	
	間伐実施面積（年間）	ha	106.0	112.3	140.0	林業水産課	
	林道の総延長（年度末時点）	km	124.9	126.1	127.9	林業水産課	

基本目標3　　【産業振興】新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
3－3 水産業の振興	水産多面的機能発揮対策事業地区のクロメ(海藻)繁殖総面積	ha	4.1	8.9	5.2	林業水産課	
	養殖岩ガキの生産量(年間)	トン	32.0	22	42.0	林業水産課	
	日向市漁業協同組合における総水揚額(年間)	百万円	3,028	3,229	3,028	林業水産課	
3－4 商工業の振興	創業支援事業計画に基づく創業者数(累計)	人	—	19	60	商工港湾課	
	日向市産業支援センターへの相談後に売上が向上した事業所数(累計)	事業所	—	27	200	商工港湾課	
3－5 雇用の確保と創出	高校就職内定者のうち、市内に就職した生徒の割合	%	23.0	28.0	24.0	商工港湾課	
	セミナーの受講や就職説明会から就職に結びついた人数(年間)	人	88	56	80	商工港湾課	
3－6 企業誘致と次世代産業の育成	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数(累計)	件	—	5	20	商工港湾課	
	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数(累計)	人	—	60	200	商工港湾課	
3－7 地域を活性化する観光の振興	観光客入込客数(年間)	人	1,486,000	810,328	1,532,000	観光交流課	暦年集計
	市内宿泊者数(年間)	人	172,000	124,980	177,000	観光交流課	暦年集計
	観光4駅の売上金額(年間)	千円	486,170	365,565	501,000	観光交流課	暦年集計
	サーフィン等利用客数(年間)	人	253,592	128,415	260,000	観光交流課	暦年集計

基本目標4　　【生活環境】自然を守り、安全で安心な環境で心豊かに暮らせるまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
4－1 消防体制の充実	応急手当普及講習会の受講者数（年間）	人	4,363	1,845	5,000	消防本部	
	消防団員の定数に対する充足率（年度末時点）	%	94.2	96.1	100	消防本部	令和2年に条例定数を980名から950名に変更。
4－2 防災体制の充実	地域防災訓練などへの参加者数（年間）	人	19,780	11,760	25,000	防災推進課	
	市防災情報配信サービス登録者（年度末時点）	人	約1,700人	1,973	約2,200人	防災推進課	
	地区防災計画の取組地区の総数	地区	5	7	10	防災推進課	策定済4地区、策定中3地区
	急傾斜地崩壊対策事業実施箇所（累計）	か所	―	4	4	建設課	
4－3 安全・安心な生活環境の確保	刑法犯罪発生件数（年間）	件	297	203	270	市民課	
	交通死亡事故の件数（年間）	件	3	2	0	市民課	
	水難死亡事故の件数（年間）	件	6	2	0	市民課	
	消費生活センターの総相談件数に対する解決率	%	96.1	94.1	100	市民課	
	狂犬病予防注射接種率	%	83.8	79.9	100	市民課	
4－4 循環型社会の実現	ごみ総排出量（年間）	トン	21,542	21,216	20,059	環境政策課	
	ごみ排出量のうちのリサイクル率	%	19.3	19.1	25.0	環境政策課	
4－5 自然環境の保全と活用	クリーンアップ日向に参加した人数（年間）	人	595	542	600	環境政策課	
	公害に対する苦情のうち解決した割合（年間）	%	100	100	100	環境政策課	
4－6 安全で安定した水の供給	有収率（年度末時点）	%	87.8	87.8	88.0	水道課	

基本目標4　　【生活環境】自然を守り、安全で安心な環境で心豊かに暮らせるまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
4－7 生活排水の適切な処理	汚水処理人口普及率	%	84.5	85.8	89.5	下水道課	
4－8 快適な住宅環境の整備	公営住宅長寿命化計画（526戸）に基づき改善された総戸数	戸	76	118	219	建築住宅課	
	木造住宅の耐震改修工事実施件数（年間）	件	4	5	5	建築住宅課	
	老朽化が著しい空き家の除却件数（累計）	件	—	27	80	建築住宅課	
	空き家等情報バンクの登録件数（年間）	件	8	15	20	建築住宅課	

基本目標5　　【社会基盤】快適で魅力ある機能的な住みやすいまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
5－1 秩序ある土地利用と都市空間の形成	地籍調査の進捗率	%	36.4	38.8	40.4	林業水産課	
	中心市街地の歩行者・自転車通行量（平日9時～19時）	人	3,677	3,437	3,753	市街地整備課	
	市民バスの利用者数（年間）	人	81,096	64,038	81,100	総合政策課	
5－2 生活の質を高める都市基盤の整備	土地区画整理事業区域内の新築・増築件数（累計）	件	—	54	85	市街地整備課	
	お倉ヶ浜総合公園・大王谷運動公園の利用者数（累計）	人	—	62,770	650,000	市街地整備課	

基本目標5　　【社会基盤】快適で魅力ある機能的な住みやすいまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
5－3 利便性の高い道路の整備	九州中央自動車道の供用率（県内）	%	31.0	34.0	35.0	建設課	
	日向市道路整備実施計画で予定している市道のうち、道路改良が完了した路線数（累計）	路線	―	2	5	建設課	
	日向市橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕工事を実施した橋梁数（累計）	橋	7	5	31	建設課	
5－4 美しい景観の保全と形成	景観に関するイベントへの参加者数（累計）	人	―	261	1,550	都市政策課	
	市と連携した植栽・花づくり活動への参加者数（累計）	人	―	855	4,500	市街地整備課	
5－5 港湾機能の充実と活用	コンテナ貨物取扱量（空コンテナを除く）（年間）	TEU	21,411	18,275	23,000	商工港湾課	
5－6 情報通信基盤の整備と情報化の推進	オンライン申請可能な行政手続き総数	件	22	52	60	総合政策課	

基本目標6　　【地域経営】市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
6－1 市民との協働の推進と地域活動の活性化	自治会（区）加入率	%	65.9 （令和2年4月）	64.4	67.0 （令和6年4月）	地域コミュニティ課	
	まちづくり協議会活動に対する住民満足度	%	76.0	―	80.0	地域コミュニティ課	計画最終年度に「まちづくり協議会住民アンケート調査」を実施予定。
	市民活動支援センターの利用者数（年間）	人	3,812	1,652	3,900	地域コミュニティ課	
6－2 中山間地域の活性化と移住の促進	過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数（年間）	事業	6	0	7	東郷地域振興課	
	新たな移住者（UIJターン）数（累計）	人	―	189	400	総合政策課	

基本目標6　　【地域経営】市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち

施策	指標	単位	計画時基準値（令和元年度）	実績値 令和3年度	目標値（令和6年度）	所管課	備　考
6－3 市民に信頼される行政サービスの提供	行政情報の提供に満足している市民の割合	%	83.6	－	93.0	秘書広報課	アンケート調査未実施のため。
	市ホームページの閲覧件数（年間）	件	560,000	1,492,163	600,000	秘書広報課	
	情報公開制度等に関する職員研修会の実施回数（年間）	回	1	2	1	総務課	
	情報公開・個人情報保護制度運用状況の公表回数（年間）	回	1	1	1	総務課	
6－4 効果的・効率的な行政経営の推進	任期の定めのない正職員数	人	584	585	584以下	職員課	令和4年4月1日時点
	公共施設の総延床面積（普通会計）	万㎡	29.1	29.1	↓	資産経営課	
	日向圏域定住自立圏内の人口	人	86,279	83,797	84,600	総合政策課	令和4年4月1日時点
6－5 未来につなげる財政運営	経常収支比率	%	94.8	87.8	↓	財政課	
	実質公債費比率	%	10.8	10.7	↓	財政課	
	将来負担比率	%	71.8	40.8	↓	財政課	
	市税収納率	%	97.1	97.7	97.2	税務課	
	ふるさと日向市応援寄附金額（年間）	—	6億3,443万円	6億5,765万円	10億円	ふるさと物産振興課	

第２期日向市総合戦略
令和３年度実績（施策評価）

凡　　例

令和３年度に計画期間がスタートした「第２次日向市総合計画・後期基本計画」では、重点戦略・アクションプランを「第２期日向市総合戦略」に位置付け、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理や成果検証を行いながら着実に推進していくこととしており、同戦略の取組状況や成果を分かりやすく公表するため、施策レベルの評価を行っています。

１　プロジェクトに関する評価

第２期日向市総合戦略の重点プロジェクトごとに令和３年度における各項目の成果指標の達成状況について評価を行っています。

２　令和３年度施策レベル評価

総合戦略に掲げる各取組項目(施策の内容)における達成状況を、Ａ、Ｂ、Ｃの三段階で評価しています。

３　取組項目（施策の内容）ごとの達成状況

取組項目（施策の内容）ごとに設定した令和３年度の目標値に対する達成状況をＡ、Ｂ、Ｃの三段階で評価しています。達成状況は90％以上であれば「Ａ」、70％以上90％未満は「Ｂ」、70％未満は「Ｃ」を表示しています。

４　予算事業名及び決算内容ページ

施策の内容について、対応する予算事業がある場合は事業名及び決算内容ページを表示しています。

対応する予算事業がない場合や、決算額がないものについては「－」を表示しています。

戦略１　未来へつなげる人づくり

１－１　未来を支える「ひゅうがっ子」育成プロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が3個と【B】が1個となりました。コロナ禍により事業推進に影響を受けたものもありましたが、概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、コミュニティ・スクール制度による各校の特色を生かした取組や世代間交流活動の支援などによって、地域で子どもを育てる体制づくりが進んでいるほか、GIGAスクール構想により整備したタブレット端末を活用するなど、子どもの学力向上に向けた取組を進めています。また、不登校の児童生徒が増加傾向にあることから、 スクールソーシャルワーカーを派遣し、引き続き児童生徒の相談にきめ細かに対応するとともに、関係機関との連携を充実させていく必要があります。

１－１－１　生きる力を育む教育の推進 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合 【R1】89.0% ↓ 【R6】90.0%	1 コミュニティ・スクール制度に基づく学校運営協議会を開催し、学校の教育方針を踏まえ、地域などと連携した学校教育を行います。	学校教育課	コミュニティ・スクール（小・中学校）に要する経費	202 203	学校運営協議会において、単なる説明や情報開示だけになっており、地域人材が参画する学校運営協議会に至っていない学校もあり、取組に差が出ています。	コミュニティ・スクール推進上の課題や各学校の取組状況を把握し、研修の充実を図ることで、課題の解決を図るとともに、地域の方々の参画を得ながら地域とともにある学校づくりを推進します。	各学校における学校運営協議会の開催回数（1協議会ごとの平均）	4	回	3.2	B	コロナ禍の中、学校運営協議会や合同運営協議会（中学校区）を4回以上開催した学校もあるなど、地域で子どもを育てる体制づくりが進んでいる状況が見られます。	学校運営協議会において、地域人材を活用し、学校経営に生かしている学校も見られますが、学校の活動報告が主な内容になり、学校経営に関する協議が不足している学校も見られるなど、取組に差が出てきています。 また、学校運営協議会の取組について学校全体で共有できる環境を構築していく必要があります。	各学校の学校運営協議会が年間計画に沿って、協議が進めていけるよう助言を行うほか、必要な研修会を開催し、学校からの提案だけでなく委員からの提案も出てくるよう促していきます。
2		2 小中一貫教育の推進のために、中学校区で作成したグランドデザインを基に、9年間を見据えた系統的で一貫性のある教育に取り組みます。	学校教育課	小中連携・一貫推進事業	－	各中学校区でグランドデザインを作成し、9年間で目指す子ども像や学校像を共有しながら、系統的で一貫性のある教育活動を行っています。	小中一貫教育推進上の課題を整理し、さらなる充実を図るために、コミュニティ・スクールやキャリア教育と関わりをもたせた研修の充実を図ります。	小中一貫教育合同研修会を1回以上実施した中学校区数	7	中学校区	7	A	合同研修会を各学期1回開催する学校もあり、小中学校9年間で子どもを育てるという意識が教職員にも浸透しつつあります。また、小中学校の教諭が連携して、ICTを活用した授業研究会にも取り組みました。	各中学校区で作成しているグランドデザインについて、学校運営協議会の委員や保護者等に更に理解を深めていただき、地域とともにある学校づくりに資することができるよう取組を推進していく必要があります。	小中一貫教育の取組を生かして、地域とともにある学校づくりを推進するため、体制整備にも取り組んでいく必要があります。
3		3 幼児期の体験や学びを円滑に小学校の学習につなぐ取組を推進し、幼児教育との連携・充実に努めます。	学校教育課	－	－	幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の職員が合同での研修会を通して、接続の重要性を共通理解しています。	幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の職員が一緒に学ぶことができる研修を実施するとともに、日向市スタートカリキュラムの更なる活用を図ります。	幼保小連携協議会の開催回数	3	回	3	A	幼保小の連携・接続に関する先進的な取組について研修を行い、今後の実践に向けた方向性を共通理解しました。	小学校が作成している「スタートカリキュラム」や、幼稚園等が作成している「アプローチカリキュラム」を、さらに具体的に示していく必要があります。	小学校と幼稚園等が互いに授業等の参観・交流を活発に行いながら、「スタートカリキュラム」や「アプローチカリキュラム」の見直しを行い、めざす子どもの姿をより具体的に示していきます。

１－１－１　生きる力を育む教育の推進 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
4	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合 【R1】89.0% ↓ 【R6】90.0%	4　学校ICT環境の整備を推進し、ICTを効果的に活用した教育を行います。	学校教育課	学校ICT環境整備事業（小学校）（中学校）	197	年次的にパソコンの更新は行っているものの通信環境機器に不具合が生じている学校があります。また、整備された機器を活用したわかる授業実施への支援が必要です。	ICT支援員を配置し、GIGAスクール構想により整備したタブレットの有効活用を図ります。また、学校内の環境把握や整備を行います。	教員のICT活用指導力の調査における、「授業にICTを活用して指導する能力」について、「できる・ややできる」と回答する教員の割合	78.2	%	78.3	A	「授業にICTを活用して指導する能力」について、県平均(62.1%)、全国平均(70.2%)とも上回り、概ね目標値を達成することができました。	ICTを生かした学びの保障と個別最適化した学びを実現していくため、学校に対し、分かる授業の推進に向けた支援を行っていく必要があります。	教員のICT活用能力の向上を図るため、ICT支援員を配置し、計画的な支援（機器操作指導・授業及び教材準備支援・校内ICT研修等）を実施します。
5		5　将来を見据えた通学区域の検討を行います。	学校教育課	就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費	195	本市の小中学校数は、人口規模からみると多い状況にあり、学校規模の適正化について研究や協議が必要です。	学校の適正配置について、児童生徒数や地区人口の推移、各学校の課題等を整理し、調査研究を行います。	庁内ワーキンググループ会議の開催回数	1	回	0	C	庁内検討委員会の立ち上げに向けた規程の整備や他市での状況について情報収集を行いました。	児童生徒の減少が進む中、将来にわたって本市の児童生徒の学びを保障し、適切な環境の中で教育を受けさせるため、適正な学校配置の方向性について協議を進めていく必要があります。	適正な学校配置に向け、協議を開始するために、庁内検討委員会を立ち上げます。

１－１－２　魅力ある教育体制や環境の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
6	不登校児童生徒が学校に復帰した割合 【R1】26.8% ↓ 【R6】29.1%	1　スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の悩み相談など心のケアを行います。	学校教育課	スクールサポート事業	196	児童生徒が抱える悩みや問題は、様々な社会的背景を反映し多様化するとともに、増加傾向にあります。その解決には、学校外の専門機関との連携を図る必要があります。	児童生徒の相談に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、きめ細かに対応するとともに、専門的で福祉的な知見を活かし、生活環境の調整や関係機関との連携を充実させます。また、関わりを継続することにより、これまで抱えている問題の解決を図ります。	不登校児童生徒が学校に復帰した割合	22.5	%	23.1	A	年間60件以上の事案について、福祉部局や関係機関と連携を図りながら、教育相談の対応や支援に当たった結果、不登校傾向にある児童については、9件において問題が解決したほか、13件の事案が改善されました。	不登校の要因は、家庭の状況をはじめ、学校での人間関係やコロナ禍など、様々な社会的背景が複雑に絡み合うなど多様化してきており、福祉部局や関係機関と更なる連携を図る必要があります。また、不登校件数も増加しており、支援体制の強化を図る必要があります。	各学校との積極的な情報の共有に努めるとともに、福祉部局など関係機関との連携強化を図りながら、学校が対応に苦慮するケースの迅速な解決に向けて、一体となって取り組みます。
7		2　適応指導教室などで児童生徒の不登校解消に向けた相談・指導を行います。	学校教育課	スクールサポート事業	196	複雑な社会的背景を反映し、学校への不適応から不登校になる生徒は、本市でも増加傾向にあります。その解決には、学校と連携しながら、個別の特性や状況に応じたきめ細かな指導を行う必要があります。	適応指導教室において、学校以外での学習の場を提供するとともに、安心できる居場所としての機能を充実させます。また、学校や関係機関と連携を図ることで、児童生徒本人や家庭への効果的な支援を行います。						適応指導教室では、児童生徒、保護者、教職員から、年間120件以上の教育相談を受け、個別の特性や状況に応じた支援を行いました。また、通級する児童生徒の生活リズムの改善や個別の学習支援を行いながら、月1回を目途に各学校との情報共有を行うなど、連携を図りながら学校復帰の支援を行いました。	不登校の児童生徒が増加傾向にある中、さらにコロナ禍による非常変災不安による欠席等が大きな影響を与えており、当面、この状況が続くことが予測されます。適応指導教室での支援の在り方も、より個別のニーズに対応しつつ、学校に復帰するという意識付けをどのように行っていくか検討を行う必要があります。	適応指導教室での活動や支援について、広く保護者に周知を図るとともに、長期化する児童生徒の学習保障という観点から、積極的にタブレット端末を活用するなど、個別の特性や状況に応じた支援の在り方を検討する必要があります。また、オンラインで学校と児童生徒をつなぐなど、学級や教員との接点を見いだすことについても検討する必要があります。

１－１－２　魅力ある教育体制や環境の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
8	－	3　細島小学校・細島公民館・細島地区コミュニティセンターの機能を集約した複合施設を整備します。	教育総務課	細島小学校改築事業	193	令和2年度からの継続事業で、今年度は最終年度であることから、コロナ禍であるが遅滞なく計画的に事業を進めます。	新校舎（複合施設）校舎整備 既存校舎の解体撤去のうえ運動場整備 外構及び既存校舎との取り合い整備	複合施設を含めた細島小学校施設整備の進捗率	100	%	100	A	事業完了		
9	－	4　児童生徒が安全で安心して教育を受けられるよう、学校施設の改修・整備に努めます。	教育総務課	小学校各校整備事業 中学校各校整備事業	321 322	施設の経年劣化により教育環境向上が求められています。	継続的に取り組んでいる、体育館の高所照明器具の改修に取り組みます。	小中学校の体育館の高所照明をLED照明への改修率	89	%	89	A	3校を改修（坪谷小学校、寺迫小学校、美々津中学校）	特にありません。	体育館以外の灯具についてもLED照明へ改修していきます。

１－１－３　地域が一体となった青少年の育成 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
10	－	1　世代間交流活動を支援し、地域における教育力を高め、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育みます。	生涯学習課	地域教育力活性化事業	210	地域における体験活動をとおして子どもの健全育成に寄与していますが、実施団体が固定化しているため新たな団体の取組を促す必要があります。	地域の団体が主体となり、子どもたちとともに農業体験や伝統芸能などの活動を行い、地域の子どもは地域で育てることを実践します。	大人の参加割合	50	%	47	A	申請があった10団体のうち、コロナ禍の影響により実施できたのが5団体でした。その5団体の中でも規模を縮小して実施した団体もあり、当初想定した活動ができませんでした。	市の広報で事業の案内をしているところですが、なかなか新しい実施団体が現れず、例年同じ団体の活動が多い現状があります。	今後ともPTAや子ども会、それに区長会等を通じて積極的に事業の周知が図られるよう努めていきます。
11	－	2　地域の協力により放課後子ども教室を開設し、子どもたちが安全に安心して過ごすことのできる居場所づくりに努めます。	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	211	令和2年度より新たに夏季休業期間中にも開設した教室があり、全体的に活動日数も増加していますが、子どもの活動を見守るサポーターが少ない教室もあり、新たなサポーターの確保が課題です。	学校の放課後等に小学校等を利用し、地域住民の参画を得て、勉強、屋外活動、文化活動などの取組を支援します。 平岩小、細島小、塩見小、美々津小、寺迫小、東郷学園（2教室）にて開設	登録児童数	220	人	221	A	子どもたちが安全で安心して過ごすことのできる居場所として6小学校7教室で開設しました。 年度後半においては、コロナ禍の影響により、参加児童が少なくなった教室もありましたが、感染防止に十分に配慮し、予定どおり開設しました。	夏季休業期間中も5つの教室で開設していますが、子どもたちの活動を見守るサポーターの確保が困難であるため、他の教室と開設日数に差が生じている教室もあります。 また、積極的に体験活動を行っている教室がある一方、あまり行っていない教室もあるなど活動に差が生じています。	サポーターが不足している教室にあっては、サポーター間のネットワークやまちづくり協議会との連携により、その確保に努めていきます。 市内7教室のサポーターを集めての研修と情報公交換を兼ねた会議を独自に開催し、他の教室で行っている活動や課題解決に向けての取組を参考にし、それぞれの教室の活性化に向けた取組につなげていきます。

１－１－４　読書活動の推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
12	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数（平均） 小学生 【R1】 13.6冊 ↓ 【R6】 15.0冊 中学生 【R1】 3.9冊 ↓ 【R6】 4.2冊	1　ブックスタート事業として、乳幼児に絵本を贈り、本に親しむ機会を提供します。	図書館	児童サービスに要する経費	206	7か月・1歳6か月・3歳児健診に合わせて絵本を贈っていますが、本を渡すだけで、活用方法等については伝えられていません。 コロナ禍に対応した健診スタイルの中、保護者の方とお話しできる機会を作ることが必要です。	絵本を贈る際に、貸出カードの作成案内やおはなし会などのイベントの案内を渡して、図書館利用の契機とします。	ブックスタート対象者に対して配布できた割合	100	%	100	A	7か月、1歳6か月、3歳児健診に合わせてブックスタート対象者に対して絵本を贈り、親子で本に親しむきっかけ作りや、読書習慣を身に付ける一助となりました。	コロナ禍に対応した健診スタイルの中、限られた機会で保護者の方へ活用方法や読み聞かせの必要性などを理解してもらうことが必要です。	継続的に読書習慣を身に付けるため、今後も3回の健診に合わせて事業を行います。 対面での説明時間は限られるため、口頭での説明に加え、小冊子、パンフレット等を渡して、読書の必要性について理解が深まるよう努めます。
13		2　図書館、学校図書館、公民館図書室が連携し、子どもの読書活動を支援します。	図書館 学校教育課	図書館サービス・資料の充実に要する経費	206	公立公民館図書室に配本したり、学校図書室に図書館の蔵書を団体貸出ししたりして、子どもの読書環境の充実に努めていますが、コロナ禍により、巡回図書が休止している状態です。	○公立公民館図書室の配本、学校図書室への団体貸出し等に加え、令和3年2月より始めた放課後子ども教室への団体貸出しを継続します。 ○巡回図書再開について学校と協議を行います。	貸出冊数（年間）	190,000	冊	169,813	B	コロナ禍による外出自粛や図書館の臨時休館などにより来館者が減る中、公立公民館図書室や学校、幼稚園・保育園、児童クラブ、放課後子ども教室等の団体貸出しを行い、図書館に来館しなくても読書ができる環境の整備に努めました。	団体貸出しの際の配本手続きについて、お互いに負担がかからないよう検討する必要があります。 利用のない団体への働きかけが必要です。	団体貸出しの利用を行っていない学校や施設等に、利用を働きかけます。 配本計画を練って、配本の際の負担を減らせるよう努めます。
14		3　学校図書館司書を配置し、児童生徒が読書に親しむ環境づくりに取り組みます。	学校教育課	読書活動充実事業	196	学校図書館司書は2～3校に1名を配置しており、主に図書室環境整備を行っています。図書室の月平均の貸出冊数は県平均に達していません。	学校図書館司書を配置し、学校の図書担当教員と連携した図書室の環境整備及び読書活動推進のための取組を支援します。	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数（平均）	小15 中 4	冊	小15.5 中5.3	A	すべての小中学校に、7名の学校図書館司書を計画的に配置しました。また、学校図書館に子どもたちが通いたくなるよう読書環境の整備に努め、読書意欲を向上させることができました。	現在、学校図書館司書は、一人で複数校（2～3校）を担当している状況にあり、週2回の勤務となる学校もあることから、事務の効率化を図るとともに体制の強化に向けた取組も進めていく必要があります。	市立図書館と連携し、様々なジャンルの図書に子どもたちが触れる機会を提供します。また、各学校図書館が連携し、効果的な取組を共有するなど読書環境の充実を図っていきます。

1－2　安心して産み育てるみんなで子育てプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が5個となりました。概ね順調に進捗しているものと評価していますが、個別の事業では、課題を抱えているものもありますので、PDCAサイクルを回すことにより、継続的に事業の改善・見直しを図っていく必要があります。 本プロジェクトでは、ヘルシースタート事業の充実や子育て世代の経済的負担の軽減、子育て支援体制の充実により、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めています。今後も、事業内容の見直しや拡充、制度の周知等を図ることにより、さらなる環境の充実に取り組みます。 また、放課後児童クラブの開設や一時預かり事業などにより、子育てと仕事の両立支援と環境の充実を図るほか、各事業所が女性活躍を推進するための研修会を開催するなど、女性が社会で活躍できる環境づくりを進めています。

1－2－1　ヘルシースタート事業の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
15	産後ケア事業や家事支援における満足度 【R1】87.9% ↓ 【R6】98.0%	1　ヘルシースタート事業として、妊婦健康診査の助成や産後ケア事業、多胎妊婦サポーター事業、家事支援事業など、安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。	こども課	ヘルシースタート事業	133	妊婦健診の助成、産婦健診・産後ケアの実施をベースに、多胎妊産婦や家事支援など、多様な状況に応じた切れ目のない支援メニューを拡充していくことが課題です。	妊婦健診の助成、産婦健診・産後ケアの実施に加え、新たに多胎児妊産婦サポート事業及び家事支援事業など、ヘルパー派遣による個別支援の拡充を図ります。	産後ケア事業や家事支援における満足度	90.0	%	90.6	A	事業実施機関との連携体制が整っているため、要支援者の把握や支援事業へのつなぎがスムーズに行えています。多胎妊産婦サポーター事業は利用実績はありませんが、事業を開始し支援の拡充を行いました。	妊婦・産婦健診の助成、産後ケアの実施をベースに、多様な状況に応じた支援メニューを拡充していくことが課題です。	事業利用者のアンケートを基に、事業内容の見直しや拡充を行います。
16		2　日向市子育て世代包括支援センターの利用促進を図ります。	こども課	ヘルシースタート事業	133	引き続き、産前・産後サポート事業や、支援プログラムの利用促進を図ることが課題です。	産前・産後サポート事業として、子育てサロンや各種支援プログラムを実施します。	母子手帳を交付した妊婦のうち支援を行った割合	25.0	%	27.9	A	妊娠届時に全ての妊婦と面談し状況を確認することで、要支援者の抽出及び妊娠期からの早期支援につなげています。産前・産後サポート事業においては、妊産婦の育児不安の軽減、育児に関する知識や手技の習得が図られるよう支援を行っています。	コロナ禍において、家庭や地域での妊産婦の孤立感や不安感の解消を図るとともに、安心して子育てができるよう、産前・産後サポート事業や支援プログラムの利用を推進することが必要です。相談・支援窓口として子育て世代包括支援センターの周知を行い利用促進を図ることが課題です。	産前・産後サポート事業として、子育てサロンや各種支援プログラムを実施します。妊娠・出産・育児に関する相談・支援窓口として子育て世代包括支援センターの周知を図り、必要な支援メニューへのつなぎを推進します。
17		3　地域母子保健・育児支援システムの構築を図ります。	こども課	ヘルシースタート事業	133	妊娠期から出産を経て、乳幼児期に至るプロセスの中で支援が必要な家庭に対して、支援拠点における交流や支援機会を的確に提供していくことが課題です。	地域子育て支援センター及びつどいの広場における乳幼児と保護者の交流・子育て支援と、ファミリーサポートセンターにおける子育ての助け合いを促進します。	地域子育て支援センター利用者数	4,000	人	5,489	A	出生届や乳幼児健診、家庭訪問等の機会に、地域子育て支援センター及びつどいの広場、ファミリーサポートセンター事業の周知を図り、利用促進に努めました。コロナ禍により減少していた利用者数も回復基調にあり、多くの保護者へ交流や支援機会を提供しています。	妊娠期から出産を経て、乳幼児期に至るプロセスの中で支援が必要な家庭に対して、支援拠点における交流や支援機会を的確に提供していくことが課題です。	地域子育て支援センター及びつどいの広場における乳幼児と保護者の交流・子育て支援と、ファミリーサポートセンターにおける子育ての助け合いを促進します。
18		4　特定不妊治療への助成を行います。	こども課	特定不妊治療費助成事業	265	令和3年1月より国県において特定不妊治療費助成制度の拡充が進められており、本市においても助成の拡充に取り組む必要があります。	特定不妊治療費助成の拡充に取り組みます。	特定不妊治療費助成件数	40	件	51	A	助成の拡充もあり、対象者1人あたりの治療回数が増加する中で、治療費の助成を行うことで対象者の経済的負担の軽減を図りました。	不妊治療が保険適応となるため、特定不妊治療費助成は令和4年度で終了となります。移行期のため申請漏れ等の混乱が生じることがないよう、関係機関や対象者への十分な周知が必要です。	特定不妊治療費助成事業について、ホームページや広報誌へ情報掲載を行い周知を図ります。今後、県の事業開始に伴い、不妊検査受験者への支援の拡充に向けて取り組みます。

１－２－２　子育て世代の経済的な負担の軽減 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
19	市民アンケート調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	1　子ども医療費を中学3年生まで助成します。	こども課	子ども医療助成事業	127	助成額、対象児童数ともに減少傾向です。時間内受診、ジェネリック医薬品の推奨により医療費の抑制が必要です。	中学3年生までの児童の医療費を助成（自己負担350円）することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、児童の健全育成を図ります。	受給者数	8,400	人	7,835	B	対象児童数の減少とともに、助成額も減少傾向ではあったが、令和2年度より増加しました。	令和2年度に比べ、「医療費が増加したこともあり、時間内受診、ジェネリック医薬品の推奨により医療費の抑制が必要です。	出生届時の医療費助成受給資格証交付時に時間内受診、ジェネリック医薬品の利用を啓発します。
20		2 「幼児教育・保育の無償化」などにより、保育料、幼稚園使用料の負担の軽減を図ります。	こども課	子育てのための施設等利用給付事業	266	令和2年7月まで償還払いであったが、法定代理受領へ変更することで保護者、園の事務負担軽減を行いました。	支給要件を満たした子どもが対象施設を利用した際に要する費用を支給することで、幼児教育の無償化の適正な事務に取り組みます。	特定教育・保育施設入所児童数	2,380	人	2,390	A	法定代理受領を実施することで保護者、園の事務負担の軽減を行いました。	認可外保育施設は償還払いであるため、保護者に手続きをお願いしています。	引き続き保護者や園の負担軽減のため、法定代理樹朗を実施していきます。
21		3　ひとり親家庭の生活支援や就業支援を行います。	こども課	児童扶養手当給付事業	261	毎月、一定の認定申請はあるものの、一方で婚姻等による資格喪失も多く、受給者数、給付額ともに年々減少しています。	父または母と生計を同じくしていない児童を監護・養育している者に手当を支給し、生活の安定と児童の福祉の増進を図ります。	児童扶養手当延べ受給者数（毎月末時点の受給者数の計）	9,600	人	9,618	A	離婚届時等に制度の周知を図り、児童扶養手当の申請を促しました。申請者数、支給額ともに減少傾向です。	離婚時等にこども課窓口において、制度の説明は行っているものの、こども課に来ない場合もあり、制度を周知を図れないことが課題です。	他の部署等と連携を図り、情報共有を行いながら、児童扶養手当の対象となりえる者を把握し、制度の周知を図ります。
22	市民アンケート調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	3　ひとり親家庭の生活支援や就業支援を行います。	こども課	ひとり親家庭医療費助成事業	129	助成金は年度によって増減はありますが、受給資格者は年々減少しています。適正な受診を促し、医療費の抑制を図ることが課題です。	母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成し、健康増進と自立更生の向上を図ります。自己負担額は、月額1,000円。	負担軽減世帯数	1,050	世帯	689	B	離婚届時等に、児童扶養手当と併せて制度の周知を図り、母子及び父子家庭等医療費助成受給資格証の申請を促しました。受給資格者数は減少傾向です。	助成金は年度によって増減はありますが、受給資格者は年々減少しています。適正な受診を促し、医療費の抑制を図ることが課題です。	離婚届時等に制度の周知徹底を図り、受給資格申請時や児童扶養手当の現況届時に、適正な受診を促します。
23		3　ひとり親家庭の生活支援や就業支援を行います。	こども課	高等職業訓練促進給付金等事業	129	例年10人前後に給付金を支給しており、そのほとんどが看護師または准看護師の養成機関で修業しています。就職率は100%となっています。	母子家庭の母、父子家庭の父が就職の際に有利で、生活の安定に役立つ資格取得の養成訓練の受講に際し、安定した修業環境を提供するため給付金を支給します。	受講後の就業率	100	%	100	A	看護師及び准看護師の養成期間で修業した母子家庭の母に給付金を受給しました。受講後は資格を取得し、医療機関等に就業し、母子家庭の自立につながっています。	例年10人前後に給付金を支給しており、そのほとんどが看護師または准看護師の養成機関で修業しています。他の資格（介護士、薬剤師等）の養成機関受講でも給付金の対象となることを周知させることが課題です。	日向市母子寡婦福祉連絡協議会への協力依頼だけでなく、資格取得の養成機関にも制度の周知を依頼します。
24		3　ひとり親家庭の生活支援や就業支援を行います。	こども課	自立支援教育訓練給付金等事業	130	令和元年度、令和2年度の助成者数は0人、2人であり、周知されていない状況です。	母子家庭の母または父子家庭の父が、雇用保険の一般教育訓練給付の対象となる教育訓練を受講した場合に、受講料の一部を支給します。	受講後の就業率	100	%	100	A	雇用保険の一般教育訓練給付金の給付対象となる講座を受講した者に給付金を支給しました。受講後は、就業し、母子家庭等の自立につながっています。	令和元年度以降、助成者数は2人程度であり、周知されていない状況です。	雇用保険の一般教育訓練給付金の申請窓口であるハローワークに対象者への制度の周知を依頼し、受給者の増加を図ります。

１－２－３　子育て支援体制の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
25	市民アンケート調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	1　乳幼児健康診査や家庭訪問、赤ちゃん相談など子育てに関する支援に取り組みます。	こども課	ヘルシースタート事業・発達障がい相談員設置事業	131 133	乳幼児健康診査や各種訪問支援をとおして、子どもの発達に応じた切れ目のない子育て支援を充実していく必要があります。	乳幼児健康診査、乳幼児家庭全戸訪問、赤ちゃん相談、養育支援訪問を一体的に取り組み、切れ目のない子育て支援を引き続き取り組みます。	乳幼児健診の受診率（法定健診分）	95.0	%	98.0	A	乳幼児健診未受診者対策に取り組み、受診率の向上に努めました。健診や育児相談、家庭訪問、保育園等訪問をとおして、要支援者の把握および継続的な支援を行いました。	乳幼児健診や各種訪問支援をとおして、子どもの発達に応じた切れ目のない子育て支援を充実していく必要があります。	切れ目のない子育て支援を行うために、関係機関との連携体制の構築を図りながら、事業を推進していきます。
26		2　児童虐待の防止や子どもの貧困対策の充実に取り組みます。	こども課	児童虐待防止対策支援事業・子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	132 133	要保護児童対策地域協議会を核に個別の世帯支援を強化するとともに、民間団体と連携した子どもの貧困対策等の拡充が求められています。	要保護児童対策地域協議会を養育支援及び虐待防止のベースとしながら、個別世帯の見守り支援やフードドライブの推進を図ります。	支援対象児童等見守り支援事業実施団体数	2	団体	2	A	要保護児童対策地域協議会の一部縮小や書面開催を経つつ、個別ケースの進行管理を行いました。支援対象児童等見守り強化事業は子ども食堂実施2団体に委託し、令和3年10月より事業開始し、19世帯計94人に宅食等による見守りを行いました。また令和3年4月よりフードドライブを開始しました。	要保護児童対策地域協議会は、個人情報保護に配慮しつつ、効率的な会議進行を検討していく必要があります。支援対象児童等見守り支援事業の実施時は、団体ごとに研修を行い、個人情報保護の取り組みを届け出させました。フードドライブの繰り返しの啓発が必要です。	要保護児童対策地域協議会については、効率的な会議進行への見直しを行います。支援対象児童等見守り支援事業は継続します。フードドライブは年度をとおして啓発月を設け、市広報やフェイスブック等各種媒体をとおして市民に周知を行います。
27		3　子ども家庭総合支援拠点を設置します。	こども課	児童虐待防止対策支援事業	132	子ども家庭総合支援拠点については、令和4年度までの設置が努力義務とされており、本年度において具体的な検討を進める必要があります。	子ども家庭総合支援拠点の令和4年度の設置に向けた、具体的な協議・検討を取り組みます。	令和4年度における子ども家庭総合支援拠点の設置予定数	1	ヶ所	1	A	子ども家庭総合支援拠点の設置について具体的な方針をまとめ、庁内調整を経て、人員体制・施設整備の構想に至り、令和4年度における人員配置（子ども家庭支援員2人及び子ども虐待対応専門員1人）および関連事業費（施設整備）の予算配当に至りました。	令和4年度に、子ども家庭総合支援拠点の施設等整備に伴う、拠点機能（相談室・親子交流スペース）を整備する必要があります。	令和4年度において相談室・親子交流スペースの整備を行います。

１－２－４　子育てと仕事の両立支援と環境の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
28	放課後児童クラブ利用定員数(年度末時点) 【R1】380人 ↓ 【R6】580人	1　放課後児童クラブを活用し、子育てをしながら安心して働ける放課後対策の充実に取り組みます。	こども課	放課後児童クラブ事業	128	民間施設も活用し、11クラブ（定員420人）を開設していますが、申込み数が多く入会できない児童が出ている状況です。	放課後児童クラブを11クラブ定員420人で開設し、放課後に保護者の監護を受けられない児童の適切な遊び場、生活の場を提供し健全育成を図ります。	放課後児童クラブの年間延べ利用者数	80,000	人	78,297	A	年度当初から11クラブ定員420人を開設し、放課後に保護者の監護を受けられない児童の遊び場、生活の場を提供し、子育てと仕事の両立を促しました。	年度当初は、定員よりも申込者数が多く、入会できない児童がいますが、年度途中からは退会者が出て、定員を割る現状です。放課後児童クラブを設置していない学校区の保護者から放課後児童クラブの設置要望が出されています。	小学4年生までの児童を受入れることとして募集します。放課後児童クラブの拡充（新たな設置）については、関係機関と協議を行います。

１－２－４　子育てと仕事の両立支援と環境の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
29	市民アンケート調査で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】 41.0% ↓ 【R6】 50.0%	2　一時預かりや病児・病後児保育など、子どもの状態や保護者の就労形態に対応した保育サービスの提供に努めます。	こども課	一時預かり事業 延長保育促進事業 病児・病後児保育事業	135 136	働き方改革により、保護者の働き方も多様化しており、その就労形態に対応した保育サービスが求められています。	保護者が安心して子育てと仕事が両立できる体制を支援します。	利用人数 一時預かり事業 延長保育事業 病児・病後児保育事業	25,000 30,000 2,000	人	24,737 26,392 2,323	A	保護者が安心して子育てと就労の両立を図れるよう体制の支援を行いました。	働き方の多様化により、その就労形態に対応した保育サービスが求められています。	利用促進に向けホームページや子育てアプリ、広報誌への情報掲載を行います。
30		3　保育士や幼稚園教諭など子育て支援を担う人材の確保に取り組みます。	こども課	保育の質の向上のための幼保合同研修等推進事業	－	コロナ禍の中で、集団で研修を行うことが難しく感染対策や開催人数を考える必要があります。	保育士、幼稚園教諭を対象とした「保育の質の向上のための研修」開催に取り組みます。	研修会の開催	1	回	1	A	施設長、主任保育士を対象とした研修（災害時における安全確保対策について）をオンラインで行いました。	コロナ禍の中で、集団での研修を行うことが難しく、感染対策や開催方法・人数等を考える必要があります。	コロナ禍の中で、集団での研修を行うことが難しいため、開催方法を工夫しながら行います。

１－２－５　女性の活躍推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
31	市民アンケート調査で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】 41.0% ↓ 【R6】 50.0%	1　女性会議を開催し、女性の意見を施策に反映します。	総合政策課	女性活躍推進事業	94	女性活躍に関する施策を検討・実施するにあたり、女性の政策決定過程への参画率が低く、女性の意見が反映されているとは言い難い現状があります。	男女共同参画推進審議会を開催し、女性活躍に関する施策にかかる審議を行います。	男女共同参画推進審議会の開催回数	4	回	4	A	男女共同参画推進審議会の意見等を踏まえ、女性の政策決定過程への参画をはじめ、あらゆる分野への女性の参画拡大と活躍に関する目標を盛り込んだ第6次日向市男女共同参画プランを策定しました。	固定的性別役割分担意識が根強く残っていることや男性優位の組織運営などにより、女性の参画が進まない現状を改善していく必要があります。	固定的性別役割分担意識の解消に取り組むとともに、審議会等への女性の参画拡大や各種団体においての方針決定過程への女性参画を促進します。
32		2　各種啓発セミナーを開催するなど、官民が連携して女性の活躍推進に取り組みます。	総合政策課	女性活躍推進事業	94	女性の活躍が進んでいるとは言い難く、あらゆる分野で活躍している女性のロールモデルとなる方が少ない現状があります。	女性活躍に関する講演会を開催します。	女性活躍推進セミナーの参加者数	30	人	38	A	事業所が各職場における課題解決や取り組みについての参考となるよう、女性活躍を推進するためのポイントや対策、働きやすい職場づくりに関する研修を実施しました。	組織のリーダーの理解や意識醸成、女性の意識向上や人材育成と合わせ、ワーク・ライフ・バランスの実現などの環境整備が課題となっています。	女性人材の育成や起業支援などさまざまな分野における女性の活躍を推進します。

１－２－５　女性の活躍推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
33	－	3　女性の再就職に向けた支援を行います。	商工港湾課	[新型コロナ対策]就職支援事業	372	市内女性の結婚・出産期にあたる世代の就業率が低いことから、育児等が落ち着き再就職を目指す女性の就職活動に対する支援が必要です。	出産や子育て等で再就職を目指している女性を対象にした就職説明会及びセミナーを開催します。	就職説明会及び就職応援セミナーの女性参加者数	25	人	33	A	令和3年8月に開催を予定していた就職説明会については、開催直前に新型コロナウイルス感染症がまん延したことにより中止となりました。 10月以降は、運営を再開した日向市地域雇用創造協議会が主催する就職説明会及び再就職応援セミナーの開催を支援しました。 ハローワーク日向、関係機関等との連携により、女性参加者数については、目標を上回りました。	ハローワーク日向等関係機関と連携を密にすることで、目標の女性参加者数を上回ることができましたが、そのうち実際に就職に繋がった人の割合は、８人でした。	女性参加者のうち就職に繋がった人の割合を高めるため、ハローワーク日向等と連携し女性求職者のニーズ把握に努め、募集方法、開催時期、講師選定、カリキュラム等の見直しを行っていきます。
34	－	4　中学生・高校生を含む保健医療職者を目指す女性に対し、地域医療講演会などを通して情報発信を行います。	健康増進課	－	－	日向入郷医療圏域は他の地域と比べて医師をはじめ医療従事者が特に少ない地域です。加えて、コロナ禍の影響により看護職も不足しており、医療人材の確保が求められています。	地域医療講演会や地域医療を支える人材育成講演会などを通じ、地域の中高生に医療にかかわる職業に興味を持ってもらい、将来の医療従事者の育成につなげます。	講演会参加者	100	人	80	B	在宅医療をテーマに2年ぶりに地域医療講演会を開催しました。 参加者数は会場25人、Web視聴55件（実人員不明）で、主に医療職や福祉職の参加が多くなっています。 地域医療を支える人材育成講演会は中止となりました。	本講演会は地域の医療を守るための啓発のほか、地域医療を支える人材育成の観点から中高生もターゲットとして開催しましたが、若い世代の参加者はありませんでした。	年に一度の講演会にとどまらず、中高生に地域医療に興味を持ってもらえる仕掛けづくりに取り組みます。

１－３　ふるさと愛する心豊かな人づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が2個、【B】が3個、【C】が1個となりました。コロナ禍により人を多く集める催しや企画が実施できなかったことから、参加人数等を成果指標に設定していた事業の達成度が低くなっています。一方で、個別の事業では、順調に推移しているものもありますので、今後も継続してPDCAサイクルを回すことにより、事業の改善・見直しを図っていきます。 本プロジェクトでは、同和教育をはじめとする人権教育の充実などにより、豊かな人権感覚を持った人づくりを進めるほか、男女共同参画意識の醸成にも取り組んでいます。また、ふるさと教育など郷土愛を育む教育を推進するとともに、産学官の連携によりキャリア教育の推進にも力を入れるほか、市内県立高校の魅力向上や地域づくりを担う人材づくり事業にも取り組んでいます。

１－３－１　豊かな人権感覚を持った人づくり 【令和３年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
35	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合 【R1】 91.7% ↓ 【R6】 95.0%	1 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	地域コミュニティ課	人権・同和行政推進事業	98	人権問題を解決するためには、より多くの市民に「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」の理念を広め、市民への啓発活動や効果的な取り組みを推進する必要があります。	・人権・同和問題の啓発活動を積極的に展開し、市民の人権意識の高揚に取り組みます。 ・「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づき、人権が尊重されるまちづくりを進めます。	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合	92.0	%	90.8	A	・第39回日向市人権・同和問題啓発推進協議会総会 令和３年６月３日　参加者数　88人 ・日向市人権・同和問題啓発講師団研修 令和３年８月５日 参加者数　324人（うち市職員72人） ・第38回日向市人権・同和問題市民講演会（オンライン録画配信）　令和4年2月	2020年市民アンケート調査において、市が実施する人権・同和問題研修について、「参加したことはない」と「知らなかった」を合わせると73.4%となっています。この結果から、講演会に参加したことがない方々の参加を促すような開催方法・周知方法の検討や、企業・地域等に対して行政から積極的に働きかけて研修を実施するなど、幅広い年代や職域の方に対する啓発が必要といえます。また、コロナ禍においては、オンライン開催や少人数開催の推奨といった工夫も求められていますが、オンラインでの参加が困難な市民へ配慮する必要があります。	オンライン開催となる場合でも会場視聴を基本とし、スマホ等での視聴も可能とする方法により、誰もが参加しやすい講演会となるよう努めます。
36	－	1 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	学校教育課	同和教育の充実に要する経費	333	「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に従い、生涯学習課、地域コミュニティ課人権・同和行政推進室と連携し、同和教育をはじめとする人権教育の充実に取り組みます。	教育集会所での活動や、各種研究大会、講演会等による啓発活動に取り組みます。	市・人権同和教育研究大会への参加者数	600	人	0	C	日向市学校人権・同和教育推進協議会の活動をはじめ、教育集会所活動など、感染症対策を行いながら、できる活動に取り組みました。	部落差別をはじめとする人権研修に継続的に取り組むとともに、オンラインでの開催など、工夫をしながら取組を進めていく必要があります。	同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題の解決に向けての理解と認識を深めていきます。また、オンライン等による大会や研修会の開催についても取組を進めていきます。
37	－	1 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	生涯学習課	社会教育一般事務費	347	人権講座を4回開催しており、平均して約60人の参加者がいます。内容についてもタイムリーな話題などを取り上げるようにしています。	4回の人権講座の開催広報誌、HP、これまでの参加企業への案内などして、参加者を募るようにします。	人権講座の受講者アンケートにおける満足度（大変良かった・良かったと回答した参加者の割合）	85	%	98	A	予定どおり4回開催することができました。講座内容も高齢者の人権、LGBT、子どもの人権といった多岐にわたり、参加者も前回（令和元年度）の251人から301人に増加することができました。	近年の人権意識の高まりから様々な社会のニーズがあり、講座内容の選定に苦慮することがあります。	講座内容の選定においては、地域コミュニティ課や学校教育課、それに社会教育指導員などと協議を行い、現代の課題を的確に反映した内容にふさわしい講師を選定し、実施していきます。

１－３－１　豊かな人権感覚を持った人づくり 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
38	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合 【R1】 91.7% ↓ 【R6】 95.0%	2　ダイバーシティの推進に向けた教育・啓発を行います。	地域コミュニティ課	人権・同和行政推進事業	98	人権問題を解決するためには、より多くの市民に「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」の理念を広め、市民への啓発活動や効果的な取り組みを推進する必要があります。	R4年度の事業実施に向けた調査・研究に取り組みます。	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合	92.0	%	90.8	A	・性的少数者に関する各種研修会に出席 ・宮崎市主催のパートナーシップ宣誓制度勉強会に出席 ・市職員を対象とした性的少数者の人権に関する研修を実施（令和3年12月～令和4年3月） ・人権について考える市民の集いのオンライン録画配信 「LGBTを理解する」	令和4年度の早い時期に導入するパートナーシップ宣誓制度については、市職員への制度内容浸透を図るとともに、市民への制度周知を十分に行う必要があります。	パートナーシップ宣誓制度に関する職員向け説明会を行うとともに、広報ひゅうがで制度内容等を掲載することにより、市民への周知を図りながら、性的少数者の人権に関する理解が深まるよう取り組みます。

１－３－２　男女共同参画意識の醸成 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
39	DV防止講座、啓発活動の実施回数（年間） 【R1】 4回 ↓ 【R6】 6回	1　若年世代に対するDV（デートDVを含む。）防止のための教育や啓発を推進します。	総合政策課	男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営事業	224	コロナ禍によりDVが増えていると言われていることから、若年世代へのDV防止のための教育、啓発が必要となっています。	男女共同参画社会づくり推進ルーム（さんぴあ）において、DV（デートDV）防止のための講座や啓発を行います。	DV(デートDV含む)防止のための講座・研修の受講者数	30	人	70	A	職員向けのDV防止研修を実施したほか、新規採用職員研修においてもデートDV防止の内容を取り上げました。また、「さんぴあ」でもDV防止講座を開催し、市民にも啓発を行いました。	若年層に対する啓発がまだ不十分であると考えられます。	若年層に対する啓発を進めるため、若年層と接する機会が多い教職員等に対する啓発に取り組みます。

１－３－３　郷土愛を育む教育の推進 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
40	－	1　総合的な学習の時間を活用し、ふるさと教育の充実を図ります。	学校教育課	牧水教育事業	－	児童生徒が郷土の歌人「若山牧水」の短歌に親しむ機会として牧水かるた大会を開催していますが、参加が一部の児童生徒に限られています。	牧水かるた大会を開催し、若山牧水の短歌に親しむ機会を提供し、牧水への理解を深めます。	牧水かるた大会への参加校数	20	校	0	C	第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭などで、本市児童が牧水短歌を披露するなど牧水への理解を広めました。（コロナ禍で牧水かるた大会は中止）	児童生徒が郷土の歌人「若山牧水」の短歌等に親しむ機会をさらに広げていく必要があります。	牧水かるた大会の開催をはじめ、若山牧水の顕彰事業などを児童生徒に情報提供し、若山牧水の短歌等に親しむ機会を広げ、牧水への理解を深めます。
41	－	2　囲碁教室の開催など囲碁文化の継承に努めます。	学校教育課	「囲碁のまち日向市」モデル事業	195	児童生徒数の減少や余暇活動の多様化、また授業時数の確保等により、学校と連携した取組が困難な状況にあります。	放課後子ども教室や公立公民館が主催する土曜教室など、他機関との連携方策について協議します。	児童生徒を対象とした囲碁教室の開催回数	80	回	48	C	市内小学校（1校）で囲碁教室を開催したほか、放課後こども教室等でも初心者囲碁教室を開催しました。	児童生徒数の減少をはじめ、余暇活動の多様化や授業時数の確保等により、学校と連携した取組が困難な状況にあります。	放課後子ども教室や公立公民館が主催する土曜教室を活用した囲碁教室の拡大など、他機関との連携方策について協議します。

１－３－３　郷土愛を育む教育の推進 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
42	－	3　若山牧水の短歌に親しみ、牧水への理解を深めます。	スポーツ・文化振興課	牧水顕彰事業	209	牧水・短歌甲子園や青の國若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	・牧水顕彰会創立70周年記念企画展 ・牧水・短歌甲子園 ・牧水祭 ・青の國若山牧水短歌大会 ・若山牧水賞記念講演会	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数（年間）	4,800	人	2,173	C	牧水・短歌甲子園はコロナ禍で令和2年度に続き、リモート開催となりました。一方、これまでの取組が高く評価され、宮崎日日新聞賞教育賞を受賞しました。	牧水・短歌甲子園や青の國若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	牧水顕彰事業全般に若い世代の参加が少ないことから、若い世代に関心を持ってもらえるような取組を行っていきます。SNSを活用するなど、積極的なPR活動を行います。
43	－	4　中学生が思い描いている夢に向かいチャレンジする取組を支援します。	生涯学習課	ふるさと再発見！子どもの実現夢サポート事業	211	子どもの夢サポート事業では、新型コロナウイルスの影響もありますが、応募者を増やすことが課題であり、あらゆる方策を探り、実施につなげていきます。	中学生3人を選出し、自らの夢に向かってチャレンジする取り組みを支援していきます。	申込者数	17	人	7	C	コロナ禍にあっても様々な方策を探りながら、選ばれた生徒が自らの夢に向かってチャレンジする取組の実施につなげることができました。また、過去2年開催することができなかった活動の成果を発表する報告会も開催することができ、生徒自身の大きな成長につなげることができました。	新型コロナウイルスへの影響からか申込者数が7名で、想定していた人数より少ない結果となりました。 今後は様々な生徒の思いを聞き、選考できるよう申込者を増やす取組が必要です。	これまでの周知方法を見直す必要があり、その一つとして前回の3名の生徒による活動内容を動画にまとめたDVDを作成します。これまでの募集チラシのほかに、作成したDVDを市内の中学校に配布し、申込者数の増加につなげていきます。
44	学校給食食材に占める地産地消率 【R1】 61.4% ↓ 【R6】 64.0%	5　学校給食への地元食材の活用や地産地消交流学校給食会の開催など、学校給食における地産地消を推進します。	学校給食センター	給食調理に要する経費	204	保護者が負担する給食費で大量で規格の揃った安価な食材を購入する必要があるため、市外産、外国産の食材を調達している状況があります。	地元食材の購入に努め、学校を訪問し交流学校給食会を開催します。	学校給食に占める地元食材の割合	64.0	%	59.4	A	学校給食会及び栄養士と連携し、給食における地元食材の購入を進めました。 ２、３学期の交流学校給食会については、コロナ禍により開催を見合わせました。	コロナ禍において、交流学校給食会や施設見学等の見合わせが続いています。	徹底した感染防止対策に基づき、衛生的な維持管理が必要な施設であることから、交流学校給食会及び施設見学の開催に関しては今後も慎重に判断します。

１－３－４　キャリア教育の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
45	「日向市が好き」と答えた中学生の割合 【R1】 82.4% ↓ 【R6】 88.2%	1　産学官や地域の大人が連携し、「日向の大人はみな子どもたちの先生」をスローガンにキャリア教育支援事業「よのなか教室」を市民運動として推進します。	学校教育課	キャリア教育推進事業	198	令和2年度はコロナ禍により「よのなか教室」を推進することが十分にできませんでした。 コロナ禍の状況を踏まえ、「よのなか教室」の効果的な活動について検討している状況にあります。	「よのなか教室」について、対面式やオンデマンド方式等を充実させながらキャリア教育の推進を図るとともに、これまでの本市のキャリア教育の在り方を見つめ、今後の方向性を決めます。	「日向市が好き」と答えた中学生の割合	78.9	%	79.8	A	「よのなか教室」について、オンデマンド方式やオンライン方式等を活用しながらキャリア教育の推進を図ったほか、日向市等の職業人による働く意味や生き方について学べる動画を作成し、市内小中学校に配布しました。また、キャリア教育推進懇話会を開催し、本市のこれからのキャリア教育の在り方について意見交換を行いました。	キャリア教育の考え方や今後の方向性について、児童生徒だけでなく、保護者等にも広く周知を図り、一体となって取組を推進していく必要があります。また、発達の段階に応じて計画的にキャリア教育を実施する必要があります。	保護者や企業等に対して、キャリア教育の内容や今後の方向性を周知しながら、広く活用してもらえるような取組を行うほか、発達段階に応じたキャリア教育のあり方について検討を進めていきます。

１－３－５　高校・高等専門教育機関への支援の充実 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
46	「日向市が好き」と答えた中学生の割合 【R1】 82.4% ↓ 【R6】 88.2%	1　小学校・中学校・高校の連携強化や市内の県立高校の魅力向上への支援など、市内高校への進学率の向上に努めます。	学校教育課	－	－	中学卒業後、子どもたちは市内外の高校に通っている状況にあります。市外の高校に通う生徒も多数おり、今後、更に中学生に対して、市内の高校の魅力をアピールする必要があります。	市内の高校が各中学校において魅力を発信する場を設定するなど、市内の高校への関心を高めるような取組を充実させます。	「日向市が好き」と答えた中学生の割合	78.9	%	79.8	A	各中学校において高校説明会を設定し、市内の高校の魅力を発信する機会を設定しました。	市外に進学する生徒が増えてきており、中高連携等の機会を通じて、市内高校の魅力発信に向けた取組について、さらに協議を進めていく必要があります。	市内の高校が各中学校で魅力を発信するための具体的な場面や方法等について、検討を行います。
47	市内から通学する高校3年生のうち、「将来日向市に住みたい」と答えた割合 【R1】 26.1% ↓ 【R6】 30.0%	1　小学校・中学校・高校の連携強化や市内の県立高校の魅力向上への支援など、市内高校への進学率の向上に努めます。	総合政策課	高校魅力向上支援事業	89	人口減少の要因である若者の人口流出を抑制し、将来、地域を支える人材を育成するために、市内高校と連携した人材づくりに取り組む必要があります。	市内県立高校の魅力向上や人材育成を支援するため、魅力向上支援事業に対する助成や日向高校課題型学習への協力を行います。	高校魅力向上支援事業補助金を活用する高等学校の数	3	校	3	A	市内の全ての高校が補助金を活用し各学校の特色を生かした教育活動に取り組まれました。 また、日向高校との連携協定に基づき、同校が実施する地方創生の実現に向けた課題型学習の支援を行いました。	現状の分析を行い、地元の生徒が地元の高校に進学するよう、市内高校の魅力向上につながる取組を進めていく必要があります。	市内県立高校の魅力向上や人材育成を支援するため、魅力向上支援事業に対する助成や日向高校課題型学習への協力を行います。
48		2　市内の県立高校の存続に向けた研究に取り組みます。	総合政策課	高校魅力向上支援事業	89	人口減少の要因である若者の人口流出を抑制し、将来、地域を支える人材を育成するために、定員割れしている市内県立高校の進学率向上を図る必要があります。	令和2年度に実施した進路意識調査結果を基に課題を把握し、課題解決に向けた施策の検討を行います。	高校魅力向上支援専門部会の開催回数	2	回	1	C	圏域市町村間において施策の検討を行いましたが課題解決となるところまでの整理は出来ませんでした。また、県内の先進地視察を行い事項の整理を予定していましたが、コロナ禍の影響により実施に至りませんでした。	圏域内に4校の学校があり、それぞれに特色ある学科が設置されていることから、各学校の魅力向上における自治体との連携や支援の在り方について整理していく必要があります。	圏域市町村間において、進学率向上に向けた情報整理を行い、先進地視察等含め課題解決への施策の検討を継続して進めていく必要があります。
49		3　大学などとの連携を強化し、地域活性化に向けた調査研究や連携事業を推進します。	総合政策課	総合政策一般事務費	219	大学等の高等教育機関が持つ専門的知識を地域活性化に生かし、地方創生の担い手として市のまちづくりに参画してもらうことで、若者が活躍できるまちづくりを推進します。	現在の連携事業について洗い出し、さらに連携を強化するとともに、各大学等の取組を研究し、新たな取組に向けた検討を行います。	各課が取り組んでいる大学等との連携事業に関する調査照会	1	回	0	C	県内の大学が実施している連携事業について情報収集を行うとともに、過去に実施した各課と大学等との連携事業の調査回答の結果を整理しました。	各課が取り組んでいる大学等との連携事業の洗い出しと状況分析、新たな取組を検討するための体制を構築する必要があります。	他事業との調整を図りながら、新たな連携事業の在り方について検討を行います。
50	－	4　放送大学宮崎学習センターの情報発信や入学料に対する市民への支援など利用促進に努めます。	生涯学習課	放送大学支援事業	209	放送大学宮崎学習センターの学生数が減少傾向にあるため、入学者数を増やす取組が必要です。	放送大学宮崎学習センター振興協議会への補助金交付、市民の入学者に対する入学料の半額を補助します。	入学奨励金申請者数	10	人	7	B	放送大学宮崎学習センターや放送大学宮崎学習センター振興協議会と連携し、学生募集に努めました。市民が放送大学に入学する際の入学料の半額補助の申請者数は前年度に比べ減少しました。	放送大学宮崎学習センター全体の学生数は、前年度に比べ増加しているが、そのうち本市に住所がある学生数は、減少しています。学習センターの所在地として、その学生数を増やす取組が求められます。	放送大学宮崎学習センター振興協議会の取組である授業料の免除と入学料の半額免除を組み合わせた体験入学生募集について、市としてもその支援を行い、学生数の増加につなげていきたいと考えております。 今後も学習センターが主催する市民を対象とした公開講座の支援を行うなど、市民に関心をもっていただけるような取組を進めていきます。

１－３－６　若者（ワケモン）の活躍支援 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
51	市内から通学する高校3年生のうち、「将来日向市に住みたい」と答えた割合 【R1】 26.1% ↓ 【R6】 30.0%	1　若者の意見を市政に反映するために、若者会議を開催します。	総合政策課	総合計画・SDGs推進事業	90	重点戦略「若者と女性に選ばれるまち」を推進するため、市政運営に若者の意見を反映する必要があります。	若者の意見や提案を施策に反映するため広聴の機会を設けます。	若者との意見交換会の数	1	回	0	C	意見交換会については実施できませんでしたが、若者の意見を市政に反映する方法等について情報の収集を行いました。	コロナ禍における広聴のあり方を検討する必要があります。	秘書広報課とも連携を図りながら、コロナ禍を前提とした広聴の手法等を検討し、若者のニーズや考え方の把握に努めます。
52	地域づくり人材セミナー等参加者数（累計） 【R6】 80人	2　地域を牽引する地域リーダーの養成に努めます。	地域コミュニティ課	ひまわり基金事業	97	地域づくりを担う人材づくり事業を実施していますが、市内からの参加が少ない状況です。また、多様な分野において、地域の担い手確保が求められているため、SDGsの視点を取り入れた新たな人材づくり事業について検討する必要があります。	人材づくり事業：「ひまわり塾」地域資源を活用した地域づくりや地域課題解決などの手法を学び、将来のまちづくりや地域づくりの担い手となる人材を育成します。	人材づくり事業「ひまわり塾～SDGs編～」の塾生数	20	人	20	A	人材づくり事業：「ひまわり塾～SDGs編～」については、20名の塾生が参加しました。9月に計2回、10月以降に計5回の全7回の講座を開催し、市内の今後の課題解決に活かす様々なアイデアについて学習しました。そして、12月の公開プレゼンテーションにおいて、「地域での活動の提案」や「市（行政）と取り組む提案」等、実行性のあるプランを発表しました。	「ひまわり塾～SDGs編～」の塾生募集については、様々な方法で周知を行いましたが、募集当初は応募者が少なく塾生の確保が課題となりました。 様々な分野で地域の担い手が求められているため、市民が参加しやすい講座の内容等を見直していく必要があります。	塾生については、20～25名程度を想定し、市内在住の20代から40代までの方たちをターゲットとします。募集は広く行いますが、ひまわり基金事業推進協議会の各委員が所属する団体をはじめ、自治会(区)やまちづくり協議会等にも案内し、幅広い人材が集う場を目指します。また、若手市職員にも参加を促し、地域づくりに参画する大切さの理解を図ります。
53		3　若者が持つ柔軟なアイデアを自身の夢の実現や地域活性化に活用できるよう支援します。	地域コミュニティ課	ひまわり基金事業	97	少子・高齢化の進行に伴い市民活動団体の減少や活動の衰退が進んでおり 、市民活動団体の公益的活動に対する支援を行うことにより協働のまちづくりの推進を図ります。	市民活動助成事業：市民活動団体が取り組む、公益的なまちづくり、人づくり等の経費に対し、15万円を限度に助成を行います。	市民活動団体の公益的活動に対する助成件数	5	件	4	B	市民活動助成事業については、4件を採択しました。そのうち、新規団体は3件ありました。 採択件数のうち1件はコロナ禍により、主催者の判断で事業を中止しました。	少子・高齢化の進行に伴い市民活動団体の減少や活動の衰退が進んでいるため 、市民活動団体の公益的活動に対する支援を行うことにより、協働のまちづくりの推進を図る必要があります。	行政と協働の担い手として期待されている市民活動団体等からの公益的な提案事業への支援を行うことにより、協働のまちづくりを推進します。

戦略2　活力を生み出すにぎわいづくり

２－１　活力を生み出す「しごと」づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が3個と【B】が1個となりました。コロナ禍により事業推進に影響を受けたものもありましたが、概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトにおける主な事業として、企業誘致の推進により新たな雇用が生まれる一方で、工業用地の不足やIT人材の育成などが課題として挙がっています。また、中小企業の支援では「ひむか一Biz」のコーディネーターによる伴走型の支援により、販路拡大や売上アップ、新分野進出等の成果をあげていますが、「ひむか一Biz」や取組に対する認知度向上が課題となっています。今後、重点戦略である「若者と女性に選ばれるまち」を実現するには、「若者や女性が活躍できる雇用の場」を創出していくことが必要であり、改善点を踏まえた継続的な取組が求められています。

２－１－１　若者や女性が活躍できる企業誘致の推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計） 【R6】20件	1　国内主要都市での企業立地セミナーを開催します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	例年、首都圏等で開催される企業立地セミナーに参加し、企業誘致や販路拡大支援等に取り組んでいますが、令和2年度以降は新型コロナの影響もあり、リモートによるセミナー参加のみの対応となっています。	展示会等を活用した企業誘致や販路拡大支援等に取り組むとともに、アフターコロナに向けての新たな働き方にも対応する企業誘致への対応を検討します。	企業立地セミナーへの参加回数	2	回	2	A	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、東京都での展示会に1回、オンラインでのセミナーに1回参加し、日向市の企業誘致の奨励措置等を紹介しました。	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現地（対面）でのセミナー参加が難しい状況が続いています。オンライン・セミナーにも参加していますが、視聴者にどのように日向市をPRしていくのかが課題と認識しています。	今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、対面・オンライン両面でのセミナー等へ参加します。オンラインについては、魅力的な情報発信の手法の研究も合わせて行います。
2		2　県外企業などの本社機能移転や地元企業の本社機能拡充などを促進します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	市外に本社を置く誘致企業等への本社機能移転の提案についても検討していますが、本社機能移転を提案できる企業が少ないため、地元企業の拡充等を重点的に支援しています。	地元企業の本社機能の拡充に取り組むとともに、コロナ禍により地方への移転を検討する企業等に向けて、本社機能移転の提案をしていきます。	企業訪問等の企業への接触	100	社	180	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面形式での企業訪問の機会は減少していますが、オンラインや電話でのヒアリングを進めました。	本社機能移転を検討している企業の情報が少ないため、情報収集の場が必要な状況です。	本社機能移転を検討する企業の情報収集に努めるとともに、地元企業の拡充等を重点的に支援していきます。
3	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計） 【R6】20件	3　細島4区工業団地の市有地について、企業立地や地場企業の事業拡大に向けた情報発信に取り組みます。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	H30年度末に購入した細島4区工業団地用地が令和2年度に完売しており、コロナ禍においても多くの問い合わせがある細島工業団地への企業誘致が、民有地へのマッチングのみの対応となっています。	企業訪問や企業立地セミナーへの参加等により、最新の企業ニーズの把握に努めるとともに、都市部からのUIJターンの促進や優良な人材の育成を通じ、新たな企業の誘致や地元企業の発展・成長を推進します。	企業立地セミナーへの参加回数	2	回	2	A	コロナ禍であったものの、これまでの企業誘致活動の結果、令和3年度は、5社（指定業種4社、その他の業種1社）の立地企業を認定しました。	H30年度末に購入した細島4区工業団地用地が令和2年度に完売しており、工業用地不足が課題となっています。	民有地を活用した企業誘致のマッチングを推進するとともに、新たな工業用地の掘り起こしに務めます。
4		4　IT事業者などを対象に、空き店舗・空き家を活用した企業誘致に取り組みます。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	若者や女性から求職ニーズが高いIT関連企業を誘致するために適した物件が少ない状況です。	ワーケーションやサテライトオフィス、コワーキングスペースといった新しい働き方に対応する誘致施設への企業誘致に向け、情報収集と企業へのアプローチに取り組みます。また、ワーケーション実証実験に参加する企業、個人への誘致に向けた情報提供等を行います。	企業立地セミナーへの参加回数	2	回	2	A	情報サービス産業における誘致企業の掘り起こしを目的とした「誘致対象企業リサーチ業務」を通じて、IT事業者とのマッチングを行い、企業ニーズの把握や日向市の課題の抽出を行いました。	IT事業者の企業誘致にあたり、事業者のニーズに対応する物件が少ないことが大きな課題となっています。	企業ニーズに対応した物件情報の収集に取り組みます。

２－１－１　若者や女性が活躍できる企業誘致の推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
5	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計） 【R6】 20件	5 IT関連技術者の育成及び県外からのIT関連従事者の移住（UIJターン）を促進します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	サテライトオフィスの設置が想定されるIT事業者の企業誘致についても、コロナ禍により在宅勤務のみの形態を取る企業も増えており、対策を講じる必要があります。	IT技術者の育成や、高度な技術を持ったUIJターン者の確保に取り組むとともに、その受け入れ先となる関連企業の誘致に取り組みます。	企業立地セミナーへの参加回数	2	回	2	A	情報サービス産業における誘致企業の掘り起こしを目的とした「誘致対象企業リサーチ業務」を通じて、IT事業者とのマッチングを行い、企業ニーズの把握や日向市の課題の抽出を行いました。	「IT事業者が進出先に求める要件」として、人材育成と答える企業が多いため、市内に該当する機能がないことが潜在的課題となっています。	企業ニーズに対応したIT人材の育成に向けた取り組みを進めます。

２－１－２　中小企業、小規模事業者への支援 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
6	－	1 「日向市産業支援センター」を運営し、中小企業の抱える様々な悩みや相談・課題解決策の提案を行います。	商工港湾課	ひむかーBiz運営事業	146	市内商工業者数が減少する中、商工業者の経営安定、新規起業、事業承継等の推進を図るため、コーディネーターを配置し積極的に相談・支援業務を行う必要があります。	「日向市産業支援センター」を運営し、販路拡大や新たな分野への進出、若者や女性の起業を後押しするため、細やかな経営相談とフォローアップを行います。	相談件数	480	件	442	A	市内商工業者の経営安定、新規起業、事業承継等の推進を図るため、日向市産業支援センター「ひむかーBiz」において、経営相談やセミナー等を行いました。 相談事業者は、専任のコーディネーターによる伴走型の支援・アドバイスにより、販路拡大や売上アップ、新分野進出等の成果をあげています。	目標の相談件数は概ね達成しましたが、今後さらに伸ばしていく必要があります。 また、市民に対し「ひむかーBiz」の存在及び事業成果の認知度が低いことも課題としてあげられます。	「ひむかーBiz」の事業内容及び成果を積極的に発信し、相談件数を延ばしていくとともに、市民に応援される相談機関となるよう成功事例をメディア等を通じて積極的にアピールしていきます。
7	－	2 事業計画、商品開発、資金調達、販路開拓に至る支援や起業に関する相談・支援を行います。	商工港湾課	ひむかーBiz運営事業	146	市内商工業者数が減少する中、商工業者の販路拡大や新分野への進出、新規起業・事業承継を後押しするため、相談・支援業務を強化する必要があります。	日向地区中小企業支援機構、日向市産業支援センター、日向商工会議所、東郷町商工会、日本政策金融公庫等関係機関との連携を強化し、商工業者及び起業希望者等の支援を行います。	市内で起業した件数	10	件	12	A	関係機関等との連携会議における情報交換やコーディネーターによるきめ細やかな相談とフォローアップにより、「ひむかーBiz」開設以来、最高の実績となりました。 また、女性起業家を対象とした「WOMAN Biz」（15人参加）を開催し、女性起業家等のネットワークの構築を図りました。	「ひむかーBiz」のコーディネーターが1名であるため、支援内容や相談件数には限界があります。	引き続き各支援機関と連携するとともに、Bizの全国ネットワークを活用する等、支援内容の充実を図ります。 また、必要に応じITの外部アドバイザーを活用し、市内事業者のデジタル化の推進を図ります。

２－１－３　産業人材の確保と誰もが働けるしごと環境の充実 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
8	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（累計） 【R6】 200人	1　人材育成セミナーや雇用拡大セミナーなどを実施します。	商工港湾課	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	143	就業率が低下する中、雇用の確保・創出を図るため、人材育成セミナーや雇用拡大セミナー等を積極的に行う日向市地域雇用創造協議会の運営を支援する必要があります。	日向地域雇用創造協議会を開催するとともに、運営再開を支援します。	日向市地域雇用創造協議会が主催したセミナーの参加者数	65	人	61	A	令和3年10月から厚生労働省の地域雇用活性化推進事業に取り組む日向地域雇用創造協議会の運営再開を支援しました。 また、運営再開後に同協議会が取り組む求職者や事業者を対象としたセミナーや就職説明会の開催を支援しました。	人手不足が顕著な状況ですが、セミナー参加者の内、就職に繋がった人の割合は23%でした。	ハローワーク等との連携を強化し、募集方法、開催時期、講師選定、カリキュラム等を見直すなど、就職に繋がる人の割合を高めていきます。
9	市民アンケート調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】 41.0% ↓ 【R6】 50.0%	2　障害者就労支援事業の推進や高齢者の生きがいにつながる雇用の創出に努めます。	福祉課	訓練等給付事業	259	工賃向上の継続的な取り組みにより、工賃向上が図られています。 しかし、事業所によって受託業務内容や量に濃淡があり、工賃にも影響が生じてます。	就労継続支援事業所で生産、製造された商品の市庁舎内での販売、市庁舎内のトイレ清掃管理業務の受託により、障がい者の賃金及び工賃向上を図ります。	訓練等給付事業のうち、就労継続支援B型の利用者数 ※第6期日向市障がい福祉計画	215	人	243	A	障がい者就労支援の推進としては利用者総数も増加しており、就労支援の場の提供につながっています。	工賃向上の継続的な取り組みにより、工賃向上が図られていますが、事業所間で受託業務内容や量に差があり、工賃にも影響が生じています。	令和4年度「日向市障がい者就労施設等からの物品等調達推進方針」を継続して策定し、工賃自体の底上げを図るため、引き続き積極的な優先調達を推進します。
10	－	2　障害者就労支援事業の推進や高齢者の生きがいにつながる雇用の創出に努めます。	高齢者あんしん課	シルバー人材センター支援に要する経費	138	コロナ禍により受注先の減少等の影響により、令和2年度収入減となっており、大変厳しい運営を迫られています。	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会の拡大への支援を行います。	シルバー人材センターの就業実績率（就業実績／会員数）	92.0	%	92.9	A	収入状況は前年度（令和2年度）並みを維持できましたが、令和2年度はコロナ禍による受注先の減少等の影響により前年度比かなりの収入減となっていましたので、引き続き厳しい運営状況にあります。	コロナ禍により受注先の確保が課題となっています。	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会の拡大への支援を行います。
11	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（累計） 【R6】 200人	3　地域ナレッジ情報サイトを活用した求人など総合的な情報発信を行います。	商工港湾課	就業支援に要する経費	143	就業率が低下する中、就業機会の拡大や移住・定住の促進を図るため、就職に関する総合的な情報提供を行う必要があります。	既存の就職情報ポータルサイトを統合し、就職や福祉、くらしの情報等の充実・一元化を図り、情報発信の強化に努めます。	「ひゅうがJOBナビ」の企業情報掲載数	65	者	66	A	就職情報ポータルサイト「る一くる」を閉鎖し、就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」に統合しました。 統合されリニューアルした「ひゅうがJOBナビ」では、市内の企業情報やハローワーク日向の求人情報、セミナー情報が閲覧できる等、内容充実を図っています。	リニューアル後期間が浅いことから、次年度以降にPV数等の分析を行うこととしています。	PV数等の分析を定期的に行うとともに、多くの方にサイトを活用していただけるよう、広報活動を強化します。
12		4　高校生・大学生、都市部の地元出身者などを対象とした就職説明会を開催します。	商工港湾課	就業支援に要する経費	143	地元高校生の市内就職率が低い等若者の人口流出が危惧される中、次世代を担う人材の育成・確保に努める必要があります。	若者の人口流出を抑制するため、高校生を対象とした就職準備セミナー等を開催します。	高校生就職準備セミナーの回数	1	回	0	C	年度当初から管内高校と連携しながら同セミナーの準備を進めていましたが、開催時期に本市がまん延防止等重点措置の区域指定を受けたことにより、中止としました。	管内高校の市内就職率が他の地域と比べ低くなっておりますが、高校生の就職状況、課題等に関する情報収集の機会が少なく、その要因を分析できていません。	管内の高校、市内企業、ハローワーク日向、関係機関等の意見交換の場を設け、高校生の就職情報の共有を図る必要があります。

２－１－４　ワーク・ライフ・バランスの推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
13	－	1　ワーク・ライフ・バランスについて理解促進を図るために、商工会議所など関係機関と連携し、周知拡大に取り組みます。	商工港湾課	商工業振興事業	145	雇用の確保・創出を図るため、誰もが活躍できる仕事づくりを目指し、ワークライフ・バランスの推進等働く環境の整備・充実に努める必要があります。	労働者が長く働き続けられる環境を目指し、退職金共済等の加入を促進する等、企業の労働環境の改善を支援します。	退職金共済制度の新規加入者数	200	人	246	A	退職金共済等の加入を促進するため、中小企業退職金共済加入促進事業補助金を交付し、企業の労働環境の改善を支援しました。	新規加入者数は目標以上の成果を上げていますが、新規に加入した企業は多くありません。	新規加入企業の目標を設定し、商工会議所等と連携し、退職共済制度の周知徹底、加入促進を図っていきます。
14	－	1　ワーク・ライフ・バランスについて理解促進を図るために、商工会議所など関係機関と連携し、周知拡大に取り組みます。	総合政策課	男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営事業	224	ワーク・ライフ・バランスの理解促進が進んでいるとは言い難く、男性の育児休業取得率もまだ低い状況にあります。	男女共同参画社会づくり推進ルーム（さんぴあ）において、育児休業等に関する講座を開催するとともに、周知を図ります。	男性の育児休業に関する講座の参加者数	15	人	17	A	さんぴあ講座を実施しました。コロナ禍により参加者数の制限がありましたが、オンライン参加も可能としたことにより、定員を超えた参加が可能となりました。	参加者の固定化が見られます。	リアル参加に加え、オンライン等の積極的な活用に努めます。
15	－	2　ワーク・ライフ・バランスなどに取り組む優良企業を認定し、社員が生き生きと働くことができる環境づくりを促進します。	商工港湾課	商工業振興事業	145	雇用の確保・創出を図るため、企業が行うワーク・ライフ・バランスの取組みを推進し、多様な人材が活躍できる社会づくりを目指します。	ワーク・ライフ・バランス等に取り組む優良企業を認定し、社員が生き生きと働くことができる環境づくりを推進します。	「社員が輝く！先進企業」の認定件数	1	件	1	A	ワーク・ライフ・バランス等に取り組む優良企業（1社）を「社員が輝く！先進企業」に認定しました。	「社員が輝く！先進企業」の認定制度、認定企業の周知・啓発が不十分であり、認定の利点が明確でない状況にあります。	「社員が輝く！先進企業」認定制度を見直し、企業の利点を明確にし、積極的に制度や認定企業の周知・啓発を図っていきます。

２－２　強みを生かした「稼げる」産業振興プロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が4個、【B】が2個、【C】が1個となりました。コロナ禍によりイベントが中止となるなど事業に影響を受けたものもありましたが、概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、細島港については、コロナ禍によるコンテナ不足の影響を受けたものの、積極的な要望活動が実を結び、大型RORO船が着岸可能な19号岸壁の事業化が決定されるなど、さらなる飛躍が期待されています。また、農林業の担い手確保、資源循環型林業システムの推進、水産資源の確保など本市の強みを生かした各種の事業に取り組むほか、へべすなど地場産品の認知度向上やふるさと納税を活用した地場産品の流通拡大に取り組んでいます。農林水産業においては、コロナ禍に加えて高齢化や担い手不足の影響が顕在化しており深刻な課題となっています。

２－２－１　細島港の機能強化と物流の促進 【令和３年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
16	コンテナ貨物取扱量（空コンテナを除く。）（年間）【R1】21,411TEU↓【R6】23,000TEU	1　ポートセールスや貨物集荷奨励事業、荷役効率の向上などにより競争力の強化を図ります。	商工港湾課	物流等対策事業	149	奨励補助について、他港との競争力で劣ることの無い補助の在り方を検討する必要があります。	新型コロナ感染症の状況を見ながら、県内外の企業訪問を行い、新規貨物の取り込みのため、県とも連携してポートセールス活動を行うとともに、コンテナ補助等のインセンティブについても、他港の情報収集を行いながら、適宜見直しを行います。	港湾利用者への接触	50	社	57	A	コロナ禍に加え、世界的なコンテナ不足の影響は受けたものの、大型RORO船が着岸可能な19号岸壁の事業化が決定されるなど、節目の1年となりました。	奨励補助について、他港との競争力で劣ることの無い補助の在り方を検討する必要があります。	引き続き、県や関係機関と連携してポートセールス活動を行い、貨物量の増加につなげます。
17	コンテナ貨物取扱量（空コンテナを除く。）（年間）【R1】21,411TEU↓【R6】23,000TEU	2　RORO船の貨物集荷、増便を促進します。	商工港湾課	物流等対策事業	149	市内企業の大型RORO船就航により、貨物量の増加が期待されましたが、コロナ禍により増加のスピードが鈍化しています。また、増便に対応する岸壁が受け入れ先である大阪府・大阪市ともに不足しているため、引き続き調整や支援が必要となります。	横須賀市や大阪府、大阪市などと連携を図り、定期航路の維持や新規航路の実現に向けた協議・検討を行います。 港運事業者や関連団体と連携し、インセンティブの充実を図ることで、物流の効率化やモーダルシフトを推進します。	港湾利用者への接触	50	社	57	A	コロナ禍に加え、世界的なコンテナ不足の影響は受けたものの、大型RORO船が着岸可能な19号岸壁の事業化が決定されるなど、節目の1年となりました。	市内企業のRORO船の大型化により、貨物量の増加が期待されましたが、コロナ禍により増加のスピードが鈍化しています。また、増便に対応する岸壁が受け入れ先である大阪府・大阪市ともに不足しているため、引き続き調整や支援が必要となります。	横須賀市や大阪府、大阪市などと連携を図り、定期航路の維持や新規航路の実現に向けた協議・検討を行います。
18		3　細島臨海工業団地に隣接した岸壁の整備を促進します。	商工港湾課	重要港湾等整備事業	148	RORO岸壁や18号岸壁の事業化について、関係者との調整に充分な協議と説明が必要となります。	国、県はもとより、関係機関や地元との更なる連携を図るとともに、港湾協会等を活用し、細島港の整備と機能の充実を推進します。	国・県への要望回数	3	回	3	A	積極的な要望活動が実を結び、同一港湾としては異例とも言える16号岸壁に引き続いての19号岸壁の事業化が決定されました。	事業化を目指す20、21号岸壁及び18号岸壁の整備については、国・県への要望と合わせて、関係者との調整に充分な協議と説明が必要となります。	引き続き、関係機関と連携し、各種岸壁整備の事業化に向けて取り組みます。
19	－	4「みなとオアシスほそしま」を中心とした港湾のにぎわい創出に取り組みます。	商工港湾課	みなとオアシス推進事業	149	賑わい創出に向けた事業計画を策定したものの、コロナ禍により令和2年度に事業が行えないなど、事業の遅れが見られます。 また、令和2年度に九州の関係自治体による組織が結成されましたが、事業自体は行っていない状況です。	みなとオアシスほそしま協議会を中心に、県や地元団体、企業等と連携して、「細島港商業港地区の活性化に向けた将来構想」に基づく取組を推進します。 また、「みなとオアシス」九州ブロック協議会に参加し、地域間連携に取り組みます。	みなとオアシスほそしま協議会会議等への出席回数	5	回	4	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一昨年同様、計画通りの事業実施はできなかったものの、感染状況を見ながら行ったクリスマスイベントでは、多くの来場者がみなとオアシスを訪れ、大いに賑わいました。 また、今後の情報発信のツールとして、有志によるPR動画撮影を行い、今後のPR素材が完成しました。	観光業同様、人の移動を伴うみなとオアシスの賑わい創出については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなります。 また、事業を行うにあたっての人員不足についても、今後の課題となる可能性があります。	ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、どのような手法で賑わいを創出していくのかを今一度見直し、効果的な情報発信を行っていきます。

２－２－２　強みを生かした新たな産業の拡大 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
20	－	1　東九州メディカルバレー構想に基づき、地元企業の医療機器産業への新規参入を支援します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	医療関連ビジネスは、製品開発や品質管理などにおいて新規参入のハードルが高く、難しい面があります。	東九州メディカルバレー構想に基づき、県や他市町村と連携して、医療関連ビジネスへの参入を目指す地場企業への継続的な支援に取り組んでいきます。	企業訪問等の企業への接触	100	社	180	A	継続して製品開発を行う事業者はあるものの、圏域における市内事業者の新規参入の相談はありませんでした。	医療関連ビジネスは、製品開発や品質管理などにおいて新規参入のハードルが高く、難しい面があります。	協議会と連携しての市内事業者への情報周知を含め、事業の効果向上に向けた見直しを行います。
21	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計）【R6】20件	2　電池産業に対する事業拡大を支援します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	近年の米中貿易摩擦の影響を受け、自動車関連産業である電池産業にも影響が出ている状況です。一方で、国内での防災意識の高まりに伴い、乾電池などの製品については、好調な動きを見せています。	引き続き、工場の新設や増設等に対して、企業立地促進条例に基づく支援をしていきます。	企業訪問等の企業への接触	100	社	180	A	企業との情報交換を積極的に行い、令和3年度は、関連事業者の増設の立地認定が実現しました。	製造ライン増設には広大な用地を必要とするケースが多いことから、工業団地内の用地不足が今後、課題となる可能性があります。	更なる事業の拡大に向け、引き続き、積極的な意見交換を進めるとともに、工業用地の掘り起こしについても進めていきます。
22	－	3　再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた研究開発や事業に対する支援を行います。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	マグネシウム循環社会構想推進協議会は、意見交換のみで進展があまり見られませんが、関連企業との接触機会としては貴重なものとなっています。	引き続き、マグネシウム循環社会構想推進協議会に参加し、情報収集や意見交換を行います。また、再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた支援や各種調整を行っていきます。	再生可能エネルギー関連会議等への参加回数	1	回	1	A	マグネシウム循環社会構想推進協議会の会議に参加し、情報収集や意見交換を行いました。	マグネシウム循環社会構想推進協議会が取り組んでいるプロジェクトについてはハードル高く、まだ、研究・実証実験段階であり、事業化にはかなりの時間が必要と思われます。	マグネシウム循環社会構想推進協議会のプロジェクトは、事業化にはかなりの時間が必要と思われますが、関連企業との接触機会としては貴重なものとなっているため、引き続き、意見交換を継続していきます。

２－２－３　農業の担い手確保と生産性の向上 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
23	新規就農者数（累計）【R6】20人	1　就農希望者、新規就農者に対する農地のあっせんや事業の活用支援など、農業の担い手の確保・育成に努めます。	農業畜産課	農業人材力強化総合支援事業	154	農産物価格の低迷、燃油や資材の高騰など、厳しい経営環境にある中、担い手の確保・育成を図るためには、経営が不安定な新規就農者等に対する支援が必要です。	国の農業次世代人材投資事業費補助金による支援を継続するとともに、同補助金の交付対象とならない親元就農等の新規就農者に対し、県事業を活用し支援を行います。	新規就農者数	5	人	3	C	・農業次世代人材投資事業費補助金（国）交付者5人 ・農業人材投資事業費補助金（県）交付者5人	・トレーニングセンター等の研修受講後の経営開始に際しての支援（施設等の設置補助）の充実が求められています。	・引き続き、国及び県の新規就農者に対する支援事業を活用するとともに、就農に当たっての施設等の整備に関する補助事業等の情報収集に努めます。

２－２－３　農業の担い手確保と生産性の向上 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
24	新規就農者数（累計） 【R6】 20人	2　集落営農の組織化や農作業支援組織の利用促進、女性農業者や農業法人に対する支援など、多様な担い手の確保に努めます。	農業畜産課	多面的機能支払交付金事業	159	高齢化の進展に伴う農家数の減少により、農地や農業用施設の維持管理が困難な状況が生じていることから、地域住民と一体となって取り組む共同活動を支援する必要があります。	着実な事業推進を図るため、活動組織における様々な地域課題の解決に向けた助言等の支援を行います。	多面的機能活動組織の維持	9	組織	9	A	着実な事業推進を図るため、活動組織における様々な地域課題の解決に向けた助言等の支援を行いました。	高齢化の進展に伴う農家数の減少により、農地や農業用施設の維持管理が困難な状況が生じていることから、地域住民と一体となって取り組む共同活動を支援する必要があります。	着実な事業推進を図るため、活動組織における様々な地域課題の解決に向けた助言等の支援を行います。
25		3　担い手への農地集積を推進し、作業の効率化による収益の向上を図ります。	農業畜産課	農地中間管理事業	287	担い手不足や高齢化の進展等による農地の荒廃化の防止や、担い手の経営安定化を図るため、農地集積を支援する必要があります。	担い手への集積が計画されている下水流地区及びほ場整備を行っている鵜毛・籾木地区において、農地集積を推進するため、利用権設定に係る支援を行います。	農地中間管理事業の実施総面積	105.0	ha	11.2	C	・下水流地区1.02ha ・鵜毛籾木地区4.77ha の利用権設定あり	・未相続の土地の農地集積が進まない状況です。	・農地中間管理事業の現行規定内容の見直しを含め、今後も、担い手不足や高齢化の進展等による農地の荒廃化の防止や担い手の経営安定化を図るため、農地集積を支援します。
26		3　担い手への農地集積を推進し、作業の効率化による収益の向上を図ります。	農業委員会	農地中間管理機構支援事業	217	・担い手数の減少 ・収益の上がる作物がない	農地あっせん制度を利用し、貸したい、売りたい土地について、担い手へあっせんを行います。	年間の農地集積面積	35.1	ha	30.0	B	担い手に農地の集積を行うことができました。	農地の資産保有意識や兼業農家が農地を手放さない等の貸し手側の意識が課題となっています。	継続して貸し手側に農地集積の必要性を説明します。
27		4 「へべす」など地域の特性を生かした農畜産物の安定的な生産を推進します。	ふるさと物産振興課	日向地域のブランド確立推進事業	173	へべすの需要拡大に伴う、出荷量の拡大と安定的な生産の必要があります。	新たに作付けを希望する生産者に対し、苗木の補助を行い、生産拡大に取り組みます。	JA日向における「へべす」の出荷量（年間）	140.0	t	118.5	B	苗木新植については、農地取得の遅れにより、当初見込より減少しました。	生産拡大のためには、へべす販売単価の上昇と新たに植栽を希望する生産者への農地斡旋が必要です。	販売単価の安定、増加のためには、日向のへべす消費拡大プロジェクト会議などで販促活動や魅力的な商品開発支援を引き続き実施します。

２－２－４　資源循環型林業システムの推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
28	造林面積（年間） 【R1】48.0ha ↓ 【R6】65.0ha	1　林道などの路網の整備推進や間伐などの森林整備を促進します。	林業水産課	森林整備推進事業	171	林道や森林作業道等の路網の整備、人材育成及び普及啓発等の必要な措置を講じ、持続可能な森林経営を支援する必要があります。	・森林施業に必要な林道の改良（1箇所）及び市民への普及啓発を目的に森林公園の整備を行います。 ・伐採等の森林整備時に支障となる既存の作業道を継続的に使うための路網改良に対する支援を行います。	間伐等の森林整備に必要な路網の改良	1	箇所	5	A	・上大谷森林公園の四阿ほか改修 ・林道1箇所の改良 ・作業道の改良　4件	森林環境譲与税の活用条件（次年度迄の間伐等に係る路線）に該当する施行箇所が少なく、林道の改良工事や作業道改良への事業費補助の予定が立てにくいため、関係機関と連携した森林整備の事前把握が必要です。	国の補助事業における間伐面積要件の緩和に伴い、改良実施可能な路線が増となる予定であるため、早期に予定箇所の調整を行い、実施計画を立案します。
29	造林面積（年間） 【R1】48.0ha ↓ 【R6】65.0ha	2　林業担い手の確保などに対する支援を行います。	林業水産課	林業成長産業化地域創出モデル事業	163	本市の林業就業者数は、横ばいの状況で推移していますが、高齢化が進んでいるため、新たな林業の担い手の確保に努めるとともに、就労環境の充実に取り組む必要があります。	地域構想に基づき、①再造林の推進、②担い手の確保、③森林資源の利活用、④普及啓発の推進に係る各種事業に取り組みます。	地域林業サミット（セミナー、フィールドワーク、ワークショップ）の開催回数	3	回	3	A	地域林業サミットや木育（イスづくり）の開催により、木に触れ合う機会を創出し、林業をより身近に感じていただくことができました。	本市の林業従事者は、高齢化が進んでいるため、新たな林業の担い手の確保に努めるとともに、就労環境の充実に取り組む必要があります。	県内だけでは、担い手確保が難しい現状であることから、積極的に都市部において林業就労希望者の募集を行います。 令和4年度から森林環境譲与税を財源とした担い手対策事業を推進していきます。
30		2　林業担い手の確保などに対する支援を行います。	林業水産課	林業振興費	164	本市の林業就業者数は、横ばいの状況で推移していますが、高齢化が進んでいるため、新たな林業の担い手の確保に努めるとともに、就労環境の充実に取り組む必要があります。	林業担い手の確保及び育成並びに福利厚生の増進を図るため、林業担い手総合対策基金事業補助金を交付します。	耳川広域森林組合日向支所の林業従事者数	40	人	32	B	事業体が負担する保険料の一部を補助することで、雇用の維持を図りました。	林業従事者の高齢化が進んでいるため、新たな林業の担い手の確保に努めるとともに、就労環境の充実に取り組む必要があります。	県内だけでは、担い手確保が難しい現状であることから、積極的に都市部において林業就労希望者の募集を行います。 令和4年度から森林環境譲与税を財源とした担い手対策事業を推進していきます。
31		3　木材利用の拡大を図ります。	林業水産課	林業振興費	164	構造材だけではなく内装材などへの新たな利活用や輸出による木材需要の拡大、木材加工施設の生産性向上を図ることにより、森林所有者の所得向上につなげる必要があります。	公共施設や民間住宅、商業施設などへの木材の利用を促進します。	木材需要拡大のためのPR活動回数	1	回	1	A	広報ひゅうがの特集記事にて「木材利用促進の日」をPRすることができました。	構造材だけではなく内装材などへの新たな利活用や輸出による木材需要の拡大、木材加工施設の生産性向上を図ることにより、森林所有者の所得向上につなげる必要があります。	木材利用促進の日にあわせて、広報ひゅうが等を活用し、PRしていきます。

２－２－４　資源循環型林業システムの推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
32	造林面積（年間） 【R1】48.0ha ↓ 【R6】65.0ha	4　コンテナ苗による通年造林を推進し、「伐って、使って、すぐ植える」仕組みづくりに取り組みます。	林業水産課	林業成長産業化地域創出モデル事業	163	主伐する森林所有者が増加する一方で、高齢化や後継者不足などにより再造林が進まない状況です。コンテナ苗の普及による通年造林を促し、森林資源の循環利用を図る必要があります。	地域構想に基づき、①再造林の推進、②担い手の確保、③森林資源の利活用、④普及啓発の推進に係る各種事業に取り組みます。	再造林情報バンク事業推進会の開催回数	6	回	6	A	再造林に必要な情報の「見える化」のため、「再造林等情報バンク」を構築しました。	主伐する森林所有者が増加する一方で、高齢化や後継者不足などにより再造林が進まない状況です。 コンテナ苗の普及による通年造林を促し、森林資源の循環利用を図る必要があります。	この事業は令和3年度で終了しました。 今後は、森林環境譲与税を財源とした担い手対策事業を推進するとともに、日向市再造林等情報バンクを活用し、再造林を推進していきます。
33	造林面積（年間） 【R1】48.0ha ↓ 【R6】65.0ha	4　コンテナ苗による通年造林を推進し、「伐って、使って、すぐ植える」仕組みづくりに取り組みます。	林業水産課	森林づくり推進事業	165	スギ・ヒノキなどの人工林が主伐期を迎えており、森林資源の循環利用や国土保全を図る上からも再造林の推進が必要です。	国土保全造林事業を継続実施し、再造林に対する露地苗造林補助（100千円以内/ha）とスギコンテナ苗木造林補助（120千円以内/ha）を行います。	伐採パトロールの実施	6	回	6	A	再造林に対する補助を行うことにより、森林資源の造成を図りました。 補助対象面積：19.84ha	造林を行う事業者の体制づくりや、伐採と連動した森林整備が必要です。	関係機関と連携しながら、造林に対する支援を継続します。

２－２－５　水産資源の確保・増殖と経営基盤の強化 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
34	日向市漁業協同組合における総水揚額（年間） 【R1】2,984百万円 ↓ 【R6】2,984百万円	1　藻場の保全や水産資源の保護・増殖に努め、生産基盤の強化を支援します。	林業水産課	水産多面的機能発揮対策事業	297	不安定な海況や藻場の消失など漁場を取り巻く環境は厳しく、水揚高にも影響を及ぼしており、藻場の造成などの生産基盤の整備に取り組む必要があります。	平岩港地先の藻場において、ウニ等の駆除及びモニタリング等により、藻場を再生・保全し、藻場干潟等の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。	水産多面的機能発揮対策事業地区のクロメ（海藻）繁殖総面積	8.6	ha	8.9	A	グループの活動により、藻場面積が拡大し、魚介類が増加傾向にあります。 また、宮崎海洋高校の体験学習やボランティアの参加も得ることができました。	後継者対策と継続的な活動が必要です。	活動を維持しながら、若い漁業者やボランティアの参加を呼びかけます。
35		2　漁船や機関・設備の近代化、漁業の担い手確保などに対する支援など漁業者の経営基盤の強化を図ります。	林業水産課	漁業振興育成事業	170	高齢化の進行や後継者不足等により組合員が減少し、組織・経営の健全化及び安定化が課題となっており、新たな就業者の確保や外国人材の活用など、経営安定化に向けた取り組みが必要です。	漁船保険料の助成及び各種利子助成、新規就業者への支援等により、漁業経営の安定化及び水産業の振興を図ります。	日向市漁業協同組合における総水揚額（年間）	3,028	百万円	3,229	A	漁船保険料の助成など各種支援を行いました。 また、マグロ延縄漁が豊漁だったことで、過去最高の水揚額となりました。	高齢化により漁協組合員は減少しており、外国人材の活用が増加傾向にあります。 新規就業者や外国人材への支援が必要です。	新規就業者や外国人材の支援と、漁業経営の安定化を図り、水揚額の維持・増加を目指します。

２－２－５　水産資源の確保・増殖と経営基盤の強化 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
36	養殖岩ガキの生産量（年間） 【R1】 32.0t ↓ 【R6】 42.0t	3 「細島いわがき」の生産拡大やブランド力の強化に向けた支援を行います。	林業水産課	漁業振興育成事業	170	イワガキの生産量は年々増加しており、新たな特産品として生産拡大が期待されますが、気象の影響等により生育状況に差があるため、安定した生産体制の構築を図る必要があります。	「細島いわがき」のブランド確立・生食出荷のための支援等により、漁業経営の安定化及び水産業の振興を図ります。	養殖イワガキの生産量（年間）	32	t	22	C	コロナ禍によるイベント中止などにより、出荷量は目標に届きませんでしたが、生食出荷のための衛生検査の支援を行い、品質の維持を図りました。	気象の影響等により生育状況に差があり、また一部、食害による被害もあったことから、生産者間で情報共有しながら、更なる生産体制の安定化を図る必要があります。	イワガキの衛生検査や養殖イカダの補修、販路拡大の支援などを継続することで、更に安定した生産体制の構築を図り、出荷量の増加を目指します。

２－２－６　地場産品の流通拡大とふるさと納税制度の活用 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
37	JA日向における「へべす」の出荷量（年間） 【R1】 83.0t ↓ 【R6】 200.0t	1 「へべす」など特色ある地域資源の認知度向上・流通拡大に取り組みます。	ふるさと物産振興課	へべす振興対策事業	173	今までの認知度向上の取り組みにより、需要が高まっているため、高付加価値化と更なる消費拡大に取り組む必要があります。	発祥の地としての強みを生かした「へべす」の情報発信や関係機関等と連携した販路の拡大・定着に取り組みます。	へべす販促活動実施回数	5	回	7	A	大手飲食店でのへべすメニュー提供やオンラインを活用したイベントなど、新たな販促活動を行いました。	へべすの消費拡大のためには、へべすの料理方法の周知など、魅力を分かりやすく伝える取り組みや県外でのさらなる認知度向上が必要です。	デジタル化の進展に伴い、オンラインやSNSの活用など、新たな販促活動を実施するとともに、都市圏の飲食チェーンなどにへべすの魅力を伝え、店舗での利用促進を図ります。
38	－	2 地域資源を活用した6次産業化による新たなサービスや加工品の開発など「稼げる」産業の支援を行います。	ふるさと物産振興課	[新型コロナ対策]稼げる地場産品プロジェクト推進事業	383	コロナ禍による消費動向の変化をとらえ、本市の強みを生かした新たな地場産品の開拓、販路拡大等が必要とされています。	本市の強みを生かした地場産品等の開拓のため、専門家の知見を取り入れた現状分析、課題の整理、次年度以降の施策概要の計画策定に取り組みます。	稼げる地場産品の仕組み（方向性）の提案の策定	1	回	1	A	稼げる地場産品の仕組みとして、地域商社が適しているとの方向性を示すことができました。	民間の機動力・稼ぐ力を生かした「地域商社」が、ふるさと納税事務を含む地場産品の振興に有効であるとの方向性が示されました。どのような形で、どのような法人が、これを担うか、本市に適した地域商社のあり方を整理する必要があります。	地域商社のあり方について、関係団体、庁内での意見聴取や、ふるさと納税事務の一括代行について、十分に検討し、本市の産業振興に資する地域商社の機能をまとめます。
39	ふるさと日向市応援寄附金事業者数（年間） 【R1】 45事業者 ↓ 【R6】 85事業者	3 ふるさと納税制度を活用した地場産品の流通拡大に取り組みます。	ふるさと物産振興課	ふるさと日向市応援寄附金事業	172	返礼品事業者数72者（R3.3.31現在） 更なる返礼品事業者及び返礼品数の増加を図り、ポータルサイト掲載など地場産品の情報発信の機会を創出し、流通拡大につなげます。	・商工会議所やひむか-Bizなど市内関係機関と連携し、返礼品事業者及び返礼品の新規開拓を図ります。 ・返礼品事業者連絡会を開催し、返礼品数の拡大につなげます。	ふるさと日向市応援寄附金返礼品事業者数	80	事業者	98	A	ふるさと日向市応援寄附金返礼品事業者連絡会でリモート研修会や返礼品持ち寄り勉強会を実施したほか、返礼品の展示会を開催し、市内事業者の意欲向上を図りました。	コロナ禍により、返礼品事業者連絡会をリモート開催にするなど影響があったほか、県外イベントが中止になり、情報発信の機会が例年と比べ減少しました。	情報発信の機会や手段に制限がかかる状況のもと、市外に向けて効果的な情報発信を行い流通拡大につなげます。

２－２－７　観光４駅の活性化 【令和３年度施策レベル評価：Ｂ】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
40	－	1　食の魅力や特色あるお土産品など、様々なメディアを活用し、国内外へ向けた情報発信に取り組みます。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	これまで長年、日向の食の魅力の開発などに取り組んできましたが、市域への観光誘客を牽引するグルメの開発に至っていません。	旅行先選定の大きな要素であるその土地のならではのグルメやお土産品などを、観光情報とともに広く情報発信し、市外からの誘客につなげていきます。	ロケ誘致件数等	10	件	31	A	観光ドラマや旅行番組等のさまざまな機会を捉え、メディア露出を図ることで、日向の観光地や新たな取り組み、また日向の食などをPRすることができました。	まずは域内観光を推進するうえで、地元TV局や報道機関などと連携を深める必要があります。	引き続き、地元TV局や報道機関などに新鮮な情報を提供し、旬な情報をいち早く届けることができるよう、SNSなどを多用しながら情報の発信や提供に努めていきます。
41	観光４駅の売上金額（年間） 【R1】 486,170千円 ↓ 【R6】 501,000千円	1　食の魅力や特色あるお土産品など、様々なメディアを活用し、国内外へ向けた情報発信に取り組みます。	ふるさと物産振興課	へべす振興対策事業 [新型コロナ対策]稼げる地場産品プロジェクト推進事業	173 383	へべすなど本市の地域特性を生かした地場産品の情報発信力強化を図る必要があります。	発祥の地としての強みを生かした「へべす」やその他地場産品の情報発信を行います。	へべす販促活動実施回数	5	回	7	A	へべすや本市の移住環境を伝えるオンラインイベントの実施のほか、日向のへべす消費拡大プロジェクト会議HPやFacebookで各種情報発信に努めました。	コロナ禍で対面による販促活動などが限られるなか、オンラインなどICTを活用した新たな情報発信が必要とされています。	イベントなどで使用した地場産品が継続して販売できるような事業者の掘り起こしと支援を行い、販路拡大につながる情報発信がさらに必要とされています。
42	－	2　市外の観光イベントなどへ参加し、販売促進に取り組みます。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	コロナ禍にあって、都市圏などとの往来が制限されるなか、観光物産展などの観光プロモーション事業の実施が困難となっています。	ウィズコロナ期においては、近隣自治体や隣県など、マイクロツーリズム層を意識した近場のイベント等に積極的に参加します。	県内外イベント等参加件数	6	件	2	C	コロナ禍により県内外におけるプロモーション機会として活用してきたイベント等は大半が中止されたが、東京新宿KONNEの催事には参加することができ、日向観光や日向の食をPRできました。	今年度においては、コロナ禍にあっても、PRイベント等は開催されると想定されるため、十分な感染対策を講じ、誘客活動に努める必要があります。	コロナ禍にあっても全国的にPRイベント等が開催されると考えられることから、積極的に市外イベントに参加しプロモーションを展開することで、市外からの誘客を図っていきます。
43	－	2　市外の観光イベントなどへ参加し、販売促進に取り組みます。	ふるさと物産振興課	へべす振興対策事業 [新型コロナ対策]稼げる地場産品プロジェクト推進事業	173 383	魅力ある地場産品の開発を行い、販売促進を図る必要があります。	へべすなど、本市の強みを生かした地場産品の販売促進に取り組みます。	へべす販促活動実施回数	5	回	7	A	魅力ある地場産品として、カモミールジン、へべすジン、へべすオリーブオイルの開発支援を行いました。	コロナ禍により、観光イベントが制限されたなか、地場産品の開発支援等を行ったが、アフターコロナも見据えた対面イベントの実施が必要とされています。	カモミールなどの薬草、細島いわがきなど、へべすに加えた新たな本市の地場産品が注目されており、これらの販促活動も必要とされています。

２－３　新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が1個、【B】が3個、【C】が5個となり、大変厳しい結果となりました。このプロジェクトで取り組む各種の観光施策については、コロナ禍により甚大な影響を受けており、順調に進捗しているとはいえない状況ではありますが、一方で着実に進んでいる事業もありますので、今後は、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた事業展開を図っていく必要があります。 本プロジェクトの主な事業の状況として、本市の文化資源である短歌を軸とした観光プロモーションや牧水・短歌甲子園（リモート開催）など、本市ならではの特色を生かした取組を行いました。また、リラックス・サーフタウン日向の推進については、コロナ禍による行動制限等により、観光関連産業が大きな打撃を受けていることから、市内の観光関連事業者等とともにポストコロナ観光戦略（計画期間3カ年）を策定しました。その他、ワーケーション事業の実証実験では、参加者から高い評価を得るなど将来的な商業化に向けた取組を進めています。

２－３－１　地域資源を生かした観光交流の推進 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
44	観光入込客数（年間） 【R1】1,486,000人 ↓ 【R6】1,532,000人	1　差別化された観光プロモーションや「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの造成に取り組みます。	観光交流課	[新型コロナ対策]観光誘客再起事業	378	インバウンド需要は消滅し国内旅行も激減する中、マイクロツーリズムや新しい生活様式に対応したコンテンツを造成する必要があります。	ウィズ・アフターコロナ期においては、「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案し、収束を見据えた観光客の再誘客のための事業を展開していきます。	観光入込客数（年間）	1,263,000	人	810,328	C	日向ファン拡大プロモーション事業のリリース時期が、東京2020オリンピック開催やコロナの感染爆発と重なり、想定していたほどメディアへ取り上げられませんでしたが、その後の推進事業において動画再生回数は32万回を超えるなど、国内へ向け着実に観光情報を届けることができました。	コロナ禍により、予定した事業の半分が実施することができませんでしたが、国の地方創生交付金を活用して、継続した取り組みが求められます。	短歌を軸としたプロモーションを継続することで、本市が誇る短歌文化や豊かな地域資源などを、さらに発信し、関係交流人口の拡大に努めていきます。
45		2　既存観光資源や5つの観光拠点伊勢ヶ浜門前まち、細島地区、美々津地区、東郷地区、中心市街地）を生かした周遊型観光を推進します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	新型コロナウィルス感染症の収束時期も明らかでない状況にあるが、コロナ禍の中、ウィズ・アフター・コロナ期における観光施策の方針として、観光戦略を策定する必要があります。	観光関連産業のV字回復や、アフターコロナ期の旅行需要、その後のインバウンド需要の回復を見据えた新たな観光戦略を策定します。	観光入込客数（年間）	1,263,000	人	810,328	C	コロナ禍で疲弊した市内観光関連産業の再起を図るべく、市内の観光関連事業者等とともにポストコロナ観光戦略（計画期間3カ年）を策定しました。	戦略では6つの基本施策を掲げ、3つの重点施策を推進していくこととしていますが、一日も早い目標達成のためには、観光関連事業者や様々な業種がそれぞれの役割に応じた、連携した取り組みが不可欠です。	観光戦略の基本施策である1.観光地域づくりの実践 2.受け入れ体制整備とおもてなしの実践　3.広域連携の推進強化　4.効果的で継続的な情報発信の強化　5.スポーツ環境を活かした誘客の推進　6.戦略の効果的な推進に取り組みます。

２－３－２　広域観光圏による観光ルートの磨き上げと観光交流の拠点づくり 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
46	観光入込客数（年間） 【R1】1,486,000人 ↓ 【R6】1,532,000人	1　インフラツーリズムやサイクルツーリズムなど、県や近隣市町村と連携し、効果的な広域観光事業に取り組みます。	観光交流課	広域観光ルート推進事業	150	誘客の多角化や観光資源の磨き上げを通じた域内連携が推進されるなか、より効果的でスピード感のある事業を展開するために、国や県事業等を活用する必要があります。	マイクロツーリズム層をターゲットに絞り、圏域の魅力をSNSなどを活用して情報発信し、さらに新しい生活様式に対応した新たな観光コンテンツの充実に取り組みます。	観光入込客数（年間）	1,263,000	人	810,328	C	域内観光を推進するためのドライブマップの増刷、また県の補助金を活用し需要の高まっているサイクルマップを作成しました。さらに、広域観光情報のSNS発信にも積極的に取り組みました。	域内の商業施設やルート沿いの住民などに、圏域外から訪れたサイクリストをもてなす気運の醸成を図る必要があります。	圏域商店や住民などにトイレや水場などの協力を依頼し、サイクリストが安全に安心して走れるひゅうが奥日向路を目指します。さらにパーキングエリヤやレンタカー店、またサイクルショップなどに作成したマップを配布し、活用に努めます。

２－３－３　リラックス・サーフタウン日向の推進 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
47	サーフィン等利用客数（年間） 【R1】253,592人 ↓ 【R6】260,000人	1　サーフィンを核とした観光プロモーションを展開し、国内有数のサーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	153	サーフタウン日向の情報発信に特化したホームページの運営とSNSを活用した情報発信を継続して行っていきます。	サーフタウン日向の情報発信に特化したホームページの運営とPR動画の配信、リアルタイムでの波情報の提供、インスタグラムを活用したサーフスポットの情報を発信していきます。	サーフィン等利用客数（年間）	215,553	人	128,415	C	コロナ禍による海水浴場の利用制限についての情報を発信し、利用者への理解に努めました。 また、インスタグラムによる情報発信により、お倉ヶ浜をはじめとした本市の魅力を広く発信しました。	ホームページの情報発信に加え、SNS等もこれまで以上に魅力ある発信を続けていくことが必要です。	ビーチイベントやサーフィン大会等はもとより様々な情報をタイムリーに発信し、本市のファン拡大に努めます。
48		2　国内外のサーフィン大会や合宿を誘致し、地域経済の活性化に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	153	お倉ヶ浜ビーチハウス内に安全で安心なサーフスポットを提供する目的でサーモセンサーを設置しました。また、水難事故防止、新型コロナ感染症対策として注意喚起アナウンスや看板等を設置しました。	開催が予定されている国際サーフィン大会や国内の大会をサポート、PRしていくことでサーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	サーフィン等利用客数（年間）	215,553	人	128,415	C	コロナ禍の影響を受け、医科歯科大学サーフィン大会、国際サーフィン大会は中止を余儀なくされました。	大会開催の可否については、全国的なコロナの感染状況や各サーフィン大会の主催者の意向に左右されますが、大会が開催される場合には感染防止対策に最大限努め、安全・安心な環境を整えておく必要があります。	大会主催者と連携を密に取りながら、感染防止を図った大会開催の協力・支援を行います。
49		3　ビーチを楽しむ環境づくりに取り組みます。	観光交流課	ビーチイベント開催事業	153	県内外から多くのサーファーが訪れるお倉ヶ浜では、安心で安全なサーフスポットを提供するための検温等を実施し、市民に対しても安心して旅行者を受け入れる体制を整える必要があります	９月に予定しているビーチイベントの開催やサーフィン教室、定着しつつあるビーチアルティメット大会をサポートしていきます。また、感染状況を見ながら検温所の設置などを検討していきます。	サーフィン等利用客数（年間）	215,553	人	128,415	C	コロナ禍の影響を受け、ビーチイベント、ビーチアルティメットは中止を余儀なくされました。 コロナ対策として、お倉ヶ浜海水浴場に検温場の設置やサーモセンサーを設置し、感染拡大防止に努めました。 日向海上保安署が実施する水難防止訓練に参加し、連携強化を図りました。	市主催の各種行事等との整合性を図り、コロナの感染状況に応じたイベントの開催に取り組んでいく必要があります。	コロナ感染防止を徹底したイベントを開催し、市民や観光客が安全、安心にお倉ヶ浜に訪れ、楽しんでいもらう機会を創出します。
50		4　滞在型観光メニューの開発に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	153	サーフィン以外の観光客を滞在させるための観光メニュー開発には至っておらず、サーファーでなくとも楽しめる体験コンテンツの造成が必要です。	リラックスサーフタウン日向基本構想に基づき、サーフィン以外でも多様な楽しみ方ができる環境づくりに務めます。	「地方コト消費型」観光メニューの開発数	3	個	0	C	コロナ禍にあって、さまざまな体験メニューを企画するも、造成、催行するに至りませんでした。	サーフィンを軸とした体験メニューの造成には限界があり、観光戦略の重点施策のひとつに掲げた、一般旅行者の滞在時間の延長につながり、観光消費拡大に効果的な、滞在型体験メニューの造成にシフトしていくことが必要です。	観光客誘致推進事業に統合

２－３－３　リラックス・サーフタウン日向の推進 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
51	サーフィン等利用客数（年間） 【R1】 253,592人 ↓ 【R6】 260,000人	5　お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	153	お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化を検討するにあたり、他自治体の状況を調査しました。有料化するためには駐車場に隣接する民有地への対応が大きな課題です。	駐車場に隣接する民有地の状況を調査し、各地権者の意向を確認しながら、有料化に向けて検討していきます。	サーフィン等利用客数（年間）	215,553	人	128,415	C	有料化の検討にあたり、PPPやPFIの手法の導入可能性について民間事業者や内閣府専門官派遣制度を活用しました。その結果、有料化による収益性の可能性はあるとのことでした。	有料化による収益性等については可能性がありますが、コロナ禍により駐車場に隣接する民有地の地権者や関係者等の意見集約が十分にできていない状況です。	地権者や関係者等の意見聴取を十分に行い、有料化に向けた更なる調査・研究に取り組みます。
52	新たな移住者（UIJターン）数（累計） 【R6】 400人	6　サーファーや海に近い場所での暮らしを希望する移住者を呼び込みます。	総合政策課	定住促進事業	90	コロナ禍の影響もあり、移住相談は増加していますが、住まいや仕事とのマッチングが難しい状況です。特に住まいについては、空き家は多いものの、空き家等情報バンクの登録件数が少なく活用が進んでいません。	市単独移住セミナーの開催、サーフィン専門雑誌での情報発信等を検討します。	市単独移住セミナーの開催	1	回	1	A	コロナ禍を考慮し、対面型の移住相談会は開催せず、オンラインで開催しました。 【2/25開催】 参加者数　20組、27人 また、コロナ禍に伴う往来自粛が続いたため、専門誌等を活用したPRについては行っていません。	オンライン形式の移住相談会は対面型と比べて伝えられる情報が少ないため、開催方法の工夫を検討する必要があります。	コロナ禍を考慮しながら、移住相談会を開催し、ターゲットを絞った情報発信に努めます。

２－３－４　牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
53	－	1　青の国若山牧水短歌大会や短歌甲子園など、牧水顕彰事業の拡充に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	牧水顕彰事業	209	牧水・短歌甲子園や青の國若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	・牧水顕彰会創立70周年記念企画展 ・牧水・短歌甲子園 ・牧水祭 ・青の國若山牧水短歌大会 ・若山牧水賞記念講演会	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数（年間）	4,800	人	2,173	C	牧水・短歌甲子園はコロナ禍で令和2年度に続き、リモート開催となりました。一方、これまでの取組が高く評価され、宮崎日日新聞賞教育賞を受賞しました。	牧水・短歌甲子園や青の國若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	牧水顕彰事業全般に若い世代の参加が少ないことから、若い世代に関心を持ってもらえるような取組を行っていきます。SNSを活用するなど、積極的なPR活動を行います。
54	－	2　若山牧水記念文学館の来館者増加や牧水公園の利用促進に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	若山牧水記念文学館管理運営費	345	牧水記念文学館の来場者を増やすために、各種企画展の開催をはじめ、東郷町ふるさと公社や各種団体等と連携を図り、人を呼び込む施策に取り組む必要があります。	・牧水顕彰会創立70周年記念企画展（スポット）	牧水記念文学館入館者数（年間）	3,700	人	1,903	C	コロナ禍の休館などで入館者数は減少していますが、日向若山牧水顕彰会創立70周年事業の「繁と敏夫」展は牧水の魅力を発信する企画展として、好評を得ることができました。	牧水記念文学館の来場者を増やすために、各種企画展の開催をはじめ、東郷町ふるさと公社や各種団体等と連携を図り、人を呼び込む施策に取り組む必要があります。	コロナ禍により入館者数が減少していますが、顕彰会自主事業の企画展内容の充実を図り、入館者増加につなげていきます。

２－３－４　牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
55	－	3　新しい生活価値観や野外キャンプの需要の高まりに合わせ、地域の魅力を広く情報発信します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	牧水庵の有効活用については、昨年度条例を改正し、民間への貸し出しする公募を実施しましたが、優先交渉者が辞退したことにり、再公募を余儀なくされました。再公募においても、応募者がいなかったことから、条件等の見直しを検討する必要があります。	観光拠点の魅力の一つとなりえる牧水庵貸出の公募条件等を見直し、再度公募を実施します。また、日向ファン拡大プロモーション及び推進事業により、誘客に務めます。	「地方コト消費型」観光メニューの開発数	10	件	0	C	牧水庵の有効活用については、昨年度条例を改正し、民間への貸し出しする公募を実施しましたところ、令和3年8月1日に、美郷町ジビエ振興協議会と公有財産貸付契約書を締結しました。	美郷町ジビエ振興協議会が経営する「ジビエバーガーを主軸とした飲食店」の継続について契約者との協議が必要です。	店舗の運営について、契約者との協議を進めます。また、日向ファン拡大推進事業や体験型観光コンテンツ造成により、新たな誘客に努めます。

２－３－５　重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
56	－	1　滞在型・体験型観光メニューの造成を支援し、広く情報発信します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	令和2年度をもってお舟出プロジェクトは終了しましたが、引き続き、伝建地区の魅力や、お舟出の地をアピールしていく必要があります。	民宿やゲストハウス、またカフェなどの民間事業者と連携して、マイクロツーリズムやワーケーションも意識した滞在型・体験型観光コンテンツの造成をすすめます。	「地方コト消費型」観光メニューの開発数	10	件	0	C	観光戦略策定時のワークショップにおいて、様々な業種の観光関連事業者等に参画してもらい、さまざまなアイデアや企画案を聴取しました。	最終的には、各コンテンツ提供事業者が自走化できる取り組みとしたいが、収益化するには、息の長い支援が必要です。	体験型観光コンテンツ造成協議会を組織し、さまざまな観光関連事業者が連携し、市民や事業者の取り組みを支援していきます。
57	－	2　伝統的建造物の保存修理と町並みの良好な景観形成に取り組みます。	教育総務課	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業（補助・単独）	194	特定物件の83%が大規模修理を終え、歴史的な町並み景観の復元が進んできていますが、空き家の利活用と後継者不足が課題です。	国庫補助事業を活用して、修理・修景事業に対する補助事業を実施し、伝統的な建造物の保存に取り組みます。	修理修景等の補助件数	4	件	13	A	国庫補助事業：立磐神社3期工事 市単独事業：原田家漆喰修理ほか11件	特定物件の86%が大規模修理を終え、歴史的な町並み景観の復元が進んできていますが、空き家の利活用と後継者不足が課題です。	地域住民と連携ながら、町並み景観の復元に取り組んだり、伝建地区の魅力を発信したりしていきます。
58	－	3　日向市歴史民俗資料館などの公共施設の利用促進に取り組みます。	教育総務課	歴史民俗資料館管理運営費	331	コロナ禍で観光客数が激減していますが、アフターコロナや五輪によるインバウンド増加を見据えた対策が課題です。	指定管理者と連携して、日向市歴史民俗資料館を核とした伝建地区の活性化に取り組みます。	日向市歴史民俗資料館入館者数（おひなさん祭り期間中）	200	人	380	A	伝建地区施設の指定管理者を一本化し、施設間の連携を図りました。 おひなさん祭りを3月8日～27日に開催、期間中に美々津県設置150年記念「ミニ資料展」を実施しています。	おひなさん祭りが定着化してきており、コロナ禍にもかかわらず、多くの方に来ていただきました。地域の活性化に住民がさらに協力したいと思わせるような雰囲気づくりをしていくことが課題です。	指定管理者と連携しながら、伝建地区の魅力を発信していきます。

２－３－５　重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
59	－	4　空き家・空き店舗の利活用促進に取り組みます。	建築住宅課	－	－	・保存地区には、活用可能な空き家がありますが、様々な事情から活用されないまま放置されています。	・令和2年度に実施した美々津地区の空き家所有者等の意向調査に基づき、関係団体と活用策を検討します。	空き家等情報バンク登録件数	20	件	15	B	・空き家の状況調査を行い、5件が利活用され、16件が利活用可能であることを把握しました。 ・大学等の民俗学・古民家の専門家とまち歩きを実施し、意見交換しました。	・空き家所有者等が遠方にいたり、家財があるため、利活用に関心が低い状況です。 ・伝統的工法のため改修費用が高額となります。	・空き家ごとの所有者等の状況を踏まえた利活用策を検討します。

２－３－６　スポーツタウン日向の推進【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
60	－	1　プロ野球やJリーグ、社会人、大学生などによるスポーツキャンプ、大会の誘致及び環境整備に取り組みます。	観光交流課	スポーツキャンプ活性化事業	152	引き続き、県や関係機関等と連携しながら、プロ野球をはじめとしたスポーツキャンプの誘致を進めていくとともに、老朽化している野球場や新たなスポーツキャンプのニーズに対応する環境の整備を図る必要があります。	プロ野球やプロサッカーチームのキャンプのほか、集客性のあるスポーツイベント等を県や関係機関と連携して誘致し、観光誘客と地域経済の活性化を目指します。	プロ及び社会人等チームキャンプ誘致数	3	チーム	2	C	令和3年度は社会人野球の2つのチームが本市でキャンプを実施しました。	コロナ禍によりスポーツの誘致活動が進んでいない状況です。 また、ニーズに応じた環境の整備を計画的に図ることが必要です。	相手方との連絡を密に取りながら、誘致活動に取り組みます。 また、関係課との連携を深めながら、受入のための環境整備充実に努めます。

２－３－７　移住定住の促進【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
61	新たな移住者（UIJターン）数（累計） 【R6】 400人	1　サーファーや子育て世代、女性をターゲットとした効果的な移住情報の発信に取り組みます。	総合政策課	定住促進事業	90	移住相談件数は増加しているものの、子育て世代や女性をターゲットとした効果的な情報発信について検討する必要があります。	子育て世代や女性の移住希望者が必要としているニーズを把握し、効果的な情報発信の方法について検討を行い実践します。	定住促進方針の策定(改訂)	策定	―	策定済み	A	令和3年12月に「第2期日向市移住・定住促進方針」を策定しました。 同方針の策定に合わせ、移住者等を対象としたアンケート調査を実施するなどニーズ把握に努めました。	移住促進に向けた支援制度などの情報が移住希望者に十分届いていない状況があります。	令和3年度に新たに開設した移住サイトの活用などにより、積極的な情報発信に努めます。

２－３－７　移住定住の促進 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
62	新たな移住者（UIJターン）数（累計） 【R6】400人	2　移住に関する相談、支援体制の充実に取り組みます。	総合政策課	定住促進事業	90	現在、市職員専任1名体制で移住相談を受けていますが、相談件数が増加しているため、相談体制の強化を図る必要があります。また、より充実した相談体制を構築するために、オンライン相談に対応できるよう検討する必要があります。	・移住相談体制の強化及び関係団体との連携強化に向けた検討をします。 ・オンライン相談体制の検討を行います。	移住連絡会の開催	1	回	1	A	令和4年3月に関係団体や移住体験者等が参加する移住連絡会を開催し、関係団体等の連携強化に向けた情報交換などを行いました。	ここ数年、移住相談件数が増加しており、相談体制の強化が必要となっています。	相談体制の強化に向けて調査研究を行います。
63		3　県や広域で連携した移住相談会の開催やお試し滞在施設・空き家等情報バンクの利用促進に取り組みます。	総合政策課	定住促進事業	90	コロナ禍の影響により、全国各地からリモートによる相談会参加者が増えています。 お試し滞在施設の問い合わせも増加しており、受付をお断りするケースも頻発しています。	県主催移住相談会への参加、お試し滞在施設の拡充（幸脇地区）および拡充検討（東郷地区）を行います。	県主催移住セミナーへの参加	2	回	1	C	令和4年3月に大阪で行われた県主催の移住相談会にオンラインで参加し、来場者へのプレゼンや個別相談に対応しました。	オンライン形式の移住相談会は対面型と比べて伝えられる情報が少ないため、開催方法の工夫を検討する必要があります。	県主催移住相談会への積極的な参加、お試し滞在施設の活用および拡充検討（東郷地区）を行います。
64		3　県や広域で連携した移住相談会の開催やお試し滞在施設・空き家等情報バンクの利用促進に取り組みます。	建築住宅課	－	－	・市内には、活用可能な空き家が多数ありますが、空き家等情報バンク登録物件が少ないため、登録促進や移住希望者とのマッチングに取り組む必要があります。	・空き家所有者等の利活用の意向を把握するためアンケート調査を実施し、空き家等情報バンク登録を促進します。 ・利用希望者の情報を登録し、希望する条件の空き家等が登録された際に情報提供できる取り組みを実施します。	空き家等情報バンク登録件数	20	件	15	B	・納税通知書に空き家等情報バンクのチラシを同封しました。 ・空き家の所有者等を調査し、8月に東郷地区、1月に幸脇地区の利活用意向アンケート調査を実施しました。 ・空き家等情報バンク設置要綱を改正し、利用希望者を登録できるようにしました。 ・空き家等情報バンクに登録された物件のうち17件が利活用されました。	・納税管理人が不明な空き家、課税対象となっていない空き家の所有者には、バンク登録の案内が届きません。 ・利活用アンケートの回収率は41.6%となっており、所有者等の関心を高め、回収率を向上させる取組が必要です。	・空き家所有者等を特定し、空き家データベースの構築を進めます。

２－３－８　新たな関係人口の創出 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
65	市内宿泊者数（年間） 【R1】 172,000人 ↓ 【R6】 177,000人	1　旅行者や全国のひょっとこ踊り愛好者、各種イベント参加者のほか、ふるさと納税やワーケーションなどを通して関わりを持った方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組みます。	観光交流課 商工港湾課	【観光】 ※繰越事業 [新型コロナ対策] 観光消費喚起事業 [新型コロナ対策]観光誘客再起事業 【商工】 [新型コロナ対策]ワーケーション推進事業	378 375	【観光】 　アフターコロナ社会を見据え、本市における「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案するなどの総合的なプロモーションを展開することで、新たな関係人口の創出と地域経済の立て直しを図る必要があります。 【商工】 　令和2年度からワーケーション実証実験を行い、企業による協業の打診や報道機関からの取材対応など、大きな反響があったところです。 　一方で、海岸部や市街地において、施設整備等に対し法規制により事業実施が制限されるなどの課題も浮き彫りとなったため、今後の対応が必要となります。	【観光】 　日向ファン拡大プロモーション事業の成果物等を活用し、さらに推進事業により参加体験型観光イベントを実施することで、さらなる関係人口や移住者の増加を図ります。 【商工】 　ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	市内宿泊者数（年間）	146,000	人	124,980	B	【観光】 　コロナ禍の人流制限により、予定していた日向ファン拡大推進事業のうち、直接的に誘客につながる事業は実施できませんでした。 【商工】 　新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開始時期の延期や予約のキャンセル等があったものの、現地でのワーケーション参加者が55名、代替事業として行った副業人材を活用したワーケーション課題解決調査に25名が参加しました。 　また、一連の取組が県内の先進事例として報道等で大きく報じられました。	【観光】 　観光地としての認知度向上や今後の誘客や関係交流人口の拡大のためには、継続したプロモーションや情報発信が不可欠です。 【商工】 　過去の実証実験の中でも課題として指摘されている2次交通対策は継続の課題であると認識しています。	【観光】 　プロモーション事業の成果物等を有効に活用し、また国の地方創生推進交付金を活用し、新たな誘客事業を展開することで、交流人口の拡大に努めます。 【商工】 　市民バスの活用はもちろん、2次交通対策として有効な施策の調査研究を進めます。
66	－	1　旅行者や全国のひょっとこ踊り愛好者、各種イベント参加者のほか、ふるさと納税やワーケーションなどを通して関わりを持った方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組みます。	ふるさと物産振興課	ふるさと日向市応援寄附金事業	172	体験型の返礼品については、コロナ禍により県外からの受け入れが困難な状況が発生した場合、寄附受付の調整を行うなどの影響が考えられます。 　寄附者全員に「使い道のご報告」を発送し、寄附の使途について報告を行い、本市の取り組みへの賛同につなげています。	・アフターコロナを見据えた新たな体験型返礼品の開拓を行います。 ・寄附者全員に「使い道のご報告」を発送し、本市の取組への賛同を得ることでリピーター確保につなげます。	ふるさと納税返礼品による寄附の受付件数	34,000	件	37,153	A	ふるさと納税「使い道のご報告」を全寄附者に配布したほか、希望者を対象にダイレクトメールの配信を開始しました。また、体験型返礼品として宿泊クーポンを返礼品に採用し、寄附の募集を開始しました。	コロナ禍により体験型返礼品の開拓が困難な状況が続いています。	リピーター増加や関係人口の創出に向け、引き続き取り組んでいきます。
67	－	2　在京日向会や近畿日向会に参加し、県外在住者との交流を深めます。	秘書広報課	秘書広報一般事務費	225	毎年、在京日向会・近畿日向会の総会（集い）に参加していたが、令和2年度は、コロナ禍によりそれぞれ中止となった。今後のｺﾛﾅｳｲﾙｽの感染状況により、開催や参加の状況が難しくなってくることも予想されます。	令和3年度の在京日向会・近畿日向会に参加し、本市出身者との交流を深めることにより、本市への帰省・往来などの関係人口の創出を図ります。	在京日向会・近畿日向会の総会（交流会）への参加	2	回	0	C	コロナ禍により、在京日向会及び近畿日向会ともに総会・懇親会が中止となったため、本市の特産品の提供など、情報発信することができませんでした。 　本市に寄贈されている桜の木「ソメイヨシノ」の開花写真をそれぞれの事務局に提供し、近況報告をすることで、交流を図りました。	コロナ禍の中、対面による総会や交流会の準備をどのように進めるべきかが課題となっています。	アフターコロナ・ウィズコロナを見据え、オンラインによる参加等、新たな情報発信、交流の方法について研究します。

２－３－８　新たな関係人口の創出 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
68	－	2　在京日向会や近畿日向会に参加し、県外在住者との交流を深めます。	ふるさと物産振興課	ふるさと日向市応援寄附金事業	172	在京日向会及び近畿日向会を通してふるさと納税の情報発信を行っています。令和2年度はコロナ禍により総会自体が開催されず、参加することができませんでした。	在京日向会（毎年11月開催）及び近畿日向会（毎年2月開催）へ出席し、ふるさと納税や返礼品事業者の紹介を行います。 開催されない場合は、カタログを送付する等ふるさと納税の周知依頼を行います。	ふるさと納税返礼品による寄附の受付件数	34,000	件	37,153	A	コロナ禍により、在京日向会及び近畿日向会の総会が中止となったため、カタログやパンフレットを送付し、ふるさと納税の周知依頼を行いました。	コロナ禍による総会中止が続いているため、情報発信に制限があります。	在京日向会や近畿日向会の総会が中止になり、参加できない状況が続いていますが、引き続きふるさと納税の情報発信を行っていきます。

２－３－９　新たな交流拠点の整備研究 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
69	－	1　新たな交流拠点、知の拠点としての役割を果たす複合的な機能を備えた図書館の整備について調査研究を行います。	図書館 総合政策課 資産経営課	政策調査研究費	－	老朽化している図書館について、複合的な機能を備えた交流拠点として建て替える方向で調査研究を行う必要があります。	資産経営課、図書館と連携し、複合施設の整備に向けた先進事例や建設手法等に関する調査研究を行い、令和4年度以降の方向性を定めます。	先進事例として調査研究を行った自治体の数	2	団体	2	A	先進事例として、都城市立図書館と新富町立図書館について、施設の整備概要やコンセプト等について調査研究を行いました。	他の公共事業との調整を図りながら、施設のコンセプトや規模、複合的な機能などを検討していく必要があります。	引き続き情報収集に努め、複合施設の整備に向けた調査研究を行うとともに、関係課による協議を継続します。

戦略３　笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり

３－１　住み慣れた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が4個、【B】が1個、【C】が1個となりました。コロナ禍によるイベントの中止や行動制限等により影響を受けた事業もありましたが、概ね順調に進捗しているものと評価しています。今後も高齢者の増加が予想されており、包括的な支援体制の充実や地域医療を守る取組などの重要性が増しています。 本プロジェクトの主な事業としては、超高齢化社会を迎える中、「生活支援サポーター」の確保・育成などによる介護予防活動の拡充など、高齢者の生活支援の体制づくりを進めています。また、認知症施策では、「認知症サポーター養成講座」等を開催し、支援や啓発活動を行うほか、法人後見の体制整備などに取り組んでいます。また、地域医療体制の充実に関しては、二次救急医療機関への財政支援や南分遣所への救急車配備、東郷診療所における訪問看護の24時間体制の構築などに取り組みました。

３－１－１　高齢者の活動機会の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	生活支援サポーター養成者数の総 【R1】189人 ↓ 【R6】280人	1 「生活支援サポーター」の養成や「いきいき百歳体操」など住民主体の介護予防活動の拡充に取り組みます。	高齢者あんしん課	生活支援体制整備事業	396	「いきいき百歳体操」などの介護予防教室を住民主体で継続的に実施・拡充するために、「生活支援サポーター養成講座」を生活圏域ごとに実施し「生活支援サポーター」のさらなる確保と活用を図る必要があります。	「生活支援コーディネーター」が中心となって、「生活支援サポーター」など企画・運営に携わる人材の確保と育成を行い、地域住民と連携した介護予防活動の拡充を推進します。	生活支援サポーター養成者数の総数 【R1】189人 ↓ 【R3】210人	210	人	199	A	「生活支援コーディネーター」が中心となって、10～11月に、「生活支援サポーター」へ対し「生活支援サポーター養成講座」（4回シリーズ）を実施し、「いきいき百歳体操」などの住民主体型サービスなどの企画・運営に携わる人材23人の育成を行いました。また、介護予防活動の拡充を推進するため、2箇所の新たな通いの場の創設をしました。	「いきいき百歳体操」などの介護予防教室等を住民主体で継続的に実施・拡充する必要があります。	「生活支援サポーター養成講座」を実施し、「生活支援サポーター」のさらなる確保と活用を図る必要があります。
2			高齢者あんしん課	一般介護予防事業	396										
3	－	2 「健康」「友愛」「奉仕」活動に取り組む高齢者クラブへの支援を行います。	高齢者あんしん課	高齢者社会参加・促進事業	137	高齢者クラブ数及び会員数が年々減少しており、歯止めがかからない状況です。 令和3年4月現在、21クラブとなっています。	高齢者、あるいは各自治区への周知及び働きかけについて、各自治区の集まりなどへの参加による広報啓発について検討します。	各自治区に対して、高齢者クラブについてのアンケートを実施し、課題の精査を行います。	1	回	1	A	市内各自治区及び高齢者クラブに対して、高齢者クラブについてのアンケートを行い意見を集約しました。	アンケート内容については、市だけではなく、日向市高齢者クラブ連合会との意見調整を行いながら、分析及びその後の施策反映へとつなげる必要があります。	アンケート内容について、日向市高齢者クラブ連合会が実施する理事会等を活用しながら、市と連合会とそれぞれの意見の調整を行いながら、結果の分析及びその後の施策反映へとつなげます。
4	－	3 高齢者の生きがいづくりや地域の活性化に取り組むシルバー人材センターへの支援を行います。	高齢者あんしん課	シルバー人材センター支援に要する経費	138	コロナ禍により受注先の減少等の影響により、令和2年度収入減となっており、大変厳しい運営を迫られています。	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会の拡大への支援を行います。	シルバー人材センターの就業実績率（就業実績／会員数）	92.0	%	92.9	A	収入状況は前年度（令和2年度）並みを維持できましたが、令和2年度はコロナ禍による受注先の減少等の影響により前年度比かなりの収入減となっていましたので、引き続き厳しい運営状況にあります。	コロナ禍により受注先の確保が課題となっています。	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会の拡大への支援を行います。
5	－	4 高齢者の文化、スポーツ活動への参加を促進します。	高齢者あんしん課	高齢者社会参加・促進事業	137	富高四半的道場、ひまわり卓球場、屋根付運動広場を活動の場として提供しているが、老朽化が進んでおり、修繕が必要な状況です。	公共施設マネジメント推進会議では、今後のあり方について「見直し」が必要な施設として位置付けています。令和3年度も引き続き公マネ会議において協議します。	公共施設マネジメント会議ワーキンググループ会議開催数	2	回	2	A	公共施設マネジメント推進会議福祉施設ワーキンググループ会議及び東郷地区施設ワーキンググループ会議を各2回実施し、施設のあり方、今後の方向性について検討しました。	ひまわり卓球場については施設の状況から現状維持の方針ですが、老朽化が進んでいる富高四半的道場及び屋根付運動広場の在り方については、施設の継続した利用があり、関係者の理解を得るための調整が必要です。	令和4年度に市としての方針を定めた上で、関係者への説明を行います。

３－１－２　地域包括ケアシステムの深化・推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
6	65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点） 【R1】13.4% ↓ 【R6】13.4%	1　新しい介護予防・日常生活支援総合事業に取り組みます。	高齢者あんしん課	介護予防・生活支援サービス事業	396	移動手段が確保できない高齢者がいることなど、住み慣れた自宅で生活していくうえで必要な支援策の検討が求められています。	日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関係機関と連携し訪問型（移動支援）のサービス創設に取り組みます。	65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点） 【R1】13.4% ↓ 【R3】13.4%	13.4	%	12.7	A	11月に日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関係機関と地域課題検討会を実施し、1月に総合政策課を加え情報交換を行い、サービス創設に向けた検討を行いました。	既存事業や住民ニーズとの調整が必要です。	日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関係機関と連携し訪問型（移動支援）のサービス創設に取り組みます。
7		2　生活支援サービス体制の充実に取り組みます。	高齢者あんしん課	生活支援体制整備事業	396	「圏域別地域ケア会議」や「協議体」において、地域住民等が一体となって地域資源や支援ニーズの把握を行い、地域の支え合い・助け合いを促進するための基盤整備を図る必要があります。	「生活支援コーディネーター」が中心となって、医療・介護の専門職や民生委員などが連携する「圏域別地域ケア会議」を開催し地域課題の抽出を行い、「協議体」を活用した課題解決に努めます。						コロナ禍において、医療・介護の専門職や民生委員などが連携する「圏域別地域ケア会議」や「協議体」は開催することができませんでした。	コロナ禍においても「圏域別地域ケア会議」や「協議体」を開催することができる方法の検討が必要です。	コロナ禍においても「圏域別地域ケア会議」や「協議体」と同様の取り組みができるように、「生活支援コーディネーター」等と実施方法の検討を行います。
8		3　中重度の要介護状態になっても在宅生活が継続できる体制づくりに取り組みます。	高齢者あんしん課	介護予防ケアマネジメント事業	396	高齢者の生活全般にわたるニーズと社会資源との間に立って、複数のサービスを適切に結びつけ、包括的・継続的にサービス提供を確保する必要があります。	地域包括支援センターと連携し、高齢者の状態や置かれている環境等に応じて目標を設定し、その達成に向けて支援を行います。						「自立支援型地域ケア会議」を34回（95事例）開催するとともに、年数回研修会を開催し、地域包括支援センター職員の対応力向上を図りました。	今後も高齢者の増加が見込まれていることから、引き続き、地域包括支援センターと連携し、高齢者の支援を行う必要があります。	引き続き、「自立支援型地域ケア会議」の継続開催、研修機会の充実等に努め、地域における最も身近な高齢者の相談窓口である地域包括支援センター職員の対応力向上を図ります。
9	－	4　在宅医療と介護の連携を図ります。	高齢者あんしん課	在宅医療・介護連携推進事業	396	日向市・東臼杵郡の市町村が連携し、医療機関、介護サービス事業所等の住所やサービス内容等をインターネット上に「資源リスト」として掲載していますが、更新が不十分なため活用方法を検討する必要があります。	関係機関と連携し、「地域資源リスト」の情報を随時更新し、有効的な活用に努めます。	医療・介護の関係機関と連携し、「地域資源リスト」の情報を随時更新し、有効な活用を促します。	1	回	1	A	8月に、日向市・東臼杵郡の町村・医療機関、介護サービス事業所等（368ヶ所）と連携し、「地域資源リスト」の情報の随時更新や有効な活用を促しました。	「資源リスト」の更新が不十分なため活用方法を検討する必要があります。	日向市・東臼杵郡の町村・医療機関、介護サービス事業所等と連携し、「地域資源リスト」の情報の随時更新や有効な活用を促します。

３－１－３　認知症施策の充実【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
10	－	1　認知症初期集中支援チームの活用などにより、認知症の人が適切な医療・介護などを受けられるよう支援します。	高齢者あんしん課	認知症総合支援事業	396	対象者が重症化しているケースも見受けられるため、「認知症初期集中支援チーム」を初期段階から利用できる仕組みを検討する必要があります。	「認知症初期集中支援チーム」に専門医3名、看護師1名、作業療法士1名、精神保健福祉士1名の認知症に対する専門知識と経験を持つ適切な専門職員配置を行い、症状が重症化する前に適切な医療が受けられるように支援を行います。	認知症初期集中支援チームの活用により、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族の訪問、アセスメント、家族支援等の初期の支援を行い、自立生活のサポートを行い、進捗について関係者会議にて情報共有を図ります。	12	回	6	C	地域包括支援センター等の関係機関の介入により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を行い、自立生活のサポートを行い、進捗について、コロナ禍において毎月ではありませんが、関係者会議にて情報共有を図りました。	対象者が重症化しているケースが見受けられます。	「認知症初期集中支援チーム」を初期段階から利用できる仕組みを検討する必要があります。
11	－	2　認知症サポーターの養成や認知症カフェの開催などの支援や啓発活動に取り組みます。	高齢者あんしん課	認知症総合支援事業	396	認知症予防は、早期発見や認知機能を維持する日頃の生活習慣が有効であることから、地域住民に対して知識や理解の普及啓発に努めるとともに、認知症に関する相談・支援体制の充実に取り組む必要があります。	「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」を開催し、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みます。	認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組むために、「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」を開催します。	550	人	451	B	「認知症サポーター養成講座」を15回（451人）開催するとともに、市内4ヶ所で定期的に「認知症カフェ」を開催し、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みました。	認知症の早期発見や認知機能を維持する日頃の生活習慣が有効であることから、地域住民に対して知識や理解の普及啓発に努めるとともに、認知症に関する相談・支援体制の充実に取り組む必要があります。	引き続き、「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」の開催により、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みます。
12	－	3　成年後見制度の利用促進、相談支援体制の強化に努めます。	高齢者あんしん課	在宅高齢者支援事業	138	成年後見制度の利用が伸びているなかで、受任できる専門職の数が不足しており、日向市社会福祉協議会が実施する法人後見は、その受け皿として、大きな役割を果たしています。	法人後見の体制整備について引き続き財政的な支援を行うとともに、市民後見人の育成等必要な支援、連携を図っていきます。	法人後見の体制整備について引き続き財政的支援を行うとともに、必要な連携を図ります。	1	法人	1	A	法人後見の体制整備について要綱を整備し、法人後見を実施する日向市社会福祉協議会に対して財政的支援を行いました。	後見等（後見・保佐・補助）を受ける人数は全国的に、そして本市でも増加の一途であり、受任できる専門職の不足が課題である。そのなかで、法人として後見を受任できる体制の存在意義はきわめて高く、引き続きの事業実施が求められます。	市の要綱の期限が令和5年3月31日となっており、その必要性について、日向市社会福祉協議会との間で協議を行い、要綱を整備します。

３－１－４　地域医療・救急医療体制の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
13	－	1　かかりつけ医の利用促進や時間外受診の抑制など市民への啓発活動に取り組みます。	健康増進課	地域医療体制整備事業	142	医師不足の深刻化により救急医療体制の維持が危機的な状況に向かう中、不要不急の受診は医療現場に大きな影響を与えます。 地域の救急医療体制を守るため、適正受診について市民の意識変革、受診行動の改善を促進し、医師の負担軽減を図ることが急務となっています。	救急医療体制を守ることに関し、「日向市の地域医療を考える会」の活動を支援するなど、市民の自主・自立的な活動の育成・強化に努めます。 また、市広報や地域医療講演会を通じた啓発に取り組みます。	講演会参加者	100	人	80	B	○「日向市の地域医療を考える会」とともに市民に対する啓発活動に取り組みました。 ・啓発用パンフレットの作成、世帯配布 ・地域医療講演会の開催 ○日向市東臼杵郡医師会と看護師の確保や救急医療などに関し意見交換を行いました。 ○「広報ひゅうが」で初期救急や休日・夜間の相談先の周知を行いました。	医師少数区域に属する本市において、医師の高齢化・診療科の偏在などの課題があります。 コロナ禍の中にあって、医療従事者等の負担を軽減するため、市民一人ひとりに地域医療を守る取組が求められています。	引き続き、適正受診について市民の意識変革、受診行動の改善を促進し、医療従事者の負担軽減を図ります。
14	二次救急医療体制：休日や夜間 【R1】365日 ↓ 【R6】365日	2　二次救急医療機関への支援や県北地域でのドクターカー運用に向けた支援策を検討します。	健康増進課	－	－	二次救急医療体制に必要な休日・夜間の勤務医の確保について、依然として厳しい状況が続いています。 二次救急医療を民間医療機関に依存している本市においては、安定した救急医療体制を維持するための取組が必要です。	二次救急医療機関に対する補助及び県立延岡病院のドクターカー運行経費の一部負担について、コロナ感染症の動向及び県と市町村との役割分担を踏まえた検討を行います。	二次救急医療体制の維持	365	日	365	A	二次救急医療機関に対する財政支援により初期及び二次救急医療体制に係る医療環境を維持するとともに、医師・看護師等の医療人材の安定確保が図られました。 救急勤務医支援事業補助金について、依然として医師確保が困難な状況が続いており、「医師の働き方改革」を考慮し、補助制度を継続することとしました。 なお、ドクターカーに運行経費の支援に係る協議は県からの要請が無く行われませんでした。	令和6（2024）年から医師の働き方改革が適用されることで、これまで以上の医師不足と必要な人件費が増加することが見込まれます。 二次救急医療を民間医療機関に依存する日向入郷医療圏にあって、救急医療体制を堅持するための財源確保が課題となっています。	二次救急医療提供体制の維持について、圏域市町村の姿勢・取組を示すことが求められていることから、財政支援の在り方や対応についての検討を進めます。
15	－	3　東郷分遣所への救急車の配備など、救急体制の充実・強化に取り組みます。	消防本部	救急体制の強化に要する経費	189	東郷分遣所への救急車配備の方針が決定され具体的な取り組みが始まりました。コロナ感染症へも状況に合わせた柔軟な対応が求められます。	・救急需要に合わせ、関係機関との連携を十分に取り活動を行う。本署救急車の更新及び東郷分遣所への救急車配備に向けた準備を行います。	本署救急車の更新及び東郷分遣所への救急車配備に向けた準備	1	台	1	A	救急車両の更新については、令和3年11月26日に納車され運用が開始されました。	感染症拡大時における関係機関との連携強化の必要性。	保健所及び各医療機関と更なる連絡体制を強化し、情報の共有を図っていきます。
16	東郷診療所（仮称）の整備 【R6】供用開始	4　東郷診療所の在宅医療などの充実や老朽化した施設の整備に取り組みます。	東郷診療所	東郷診療所特別会計	395	在宅医療の充実等を図るほか、保健事業にも積極的に取り組むこととしているが、新型コロナのワクチン接種を優先して対応する必要がでてきている。施設整備に向けては基本計画の作成を進めています。	訪問看護の24時間体制を開始し、在宅医療の充実を図るほか、施設整備に向け基本計画の策定及び基本設計にも着手します。	東郷診療所の整備に向けての進捗状況	基本設計の策定		策定済	A	訪問看護の24時間体制を開始し、在宅医療の充実を図ったほか、施設整備については、基本計画及び基本設計の策定を終え、実施設計にも着手しました。	在宅医療の取り組みである訪問診療や訪問看護に対する住民の認知度が低い状況にあります。 施設整備については、進捗状況は計画通り進んでいるものの、施設面積が整備基本計画策定時より増加したことや建築資材の高騰等により、事業費が整備基本計画時に比べ増加する見込みとなっています。	在宅医療の周知を図り、必要とする住民の利用につながるように努めます。 施設整備については、可能な限り事業費の圧縮や財源の確保に努めます。

３－１－５　障がいのある人への支援の充実 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
17	市民アンケート調査で「子育てがしやすいか」との問に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	1　基幹相談支援センターと事業所、行政が連携して相談支援体制の充実に取り組みます。	福祉課	相談支援事業	124	令和2年8月1日より「日向・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター」を開設したが、コロナ禍によりセンター、各事業所及び行政との連携した取り組みが不十分な状況です。	コロナ禍おいても、基幹相談支援センター、各事業所及び行政との効果的な連携のあり方を検討し、相談体制の充実に努めます。	基幹相談支援センターと相談支援機関との連携強化の取り組みの実施 ※第6期日向市障がい福祉計画	36	回	29	B	コロナ禍により、基幹相談支援センター、各事業所及び行政との情報共有の場を定期的に開催することは難しかったのですが、基幹相談支援センターの役割は浸透してきています。	コロナ禍により、関係機関等との集合形式の意見交換が困難となっています。	日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会の専門部会である相談支援部会とも連動し、相談支援体制の充実に取り組みます。
18		2　障がいのある人の社会参加の充実や促進に取り組みます。	福祉課	障害者社会参加促進事業	123	文化・スポーツ活動等の社会参加に係る情報提供について、特に団体へ所属していない方への充実に努める必要があります。 また、コロナ禍で外出が制限される中においても社会参加を実感できる施策の検討が必要です。	文化・スポーツ活動に携わる担当課や市障がい者センターなどと連携し、市ホームページや広報等の活用を図るとともに、情報を入手しやすい環境づくりに努めます。	市障がい児・者スポーツ大会の参加者数増加を目指すもの。	220（第4次日向市障がい者プランより）	人	0	C	市障がい児・者スポーツ大会を令和3年10月に開催予定であったが、新型コロナ感染拡大防止のため中止しました。	市障がい児・者スポーツ大会について、多数の方が一堂に会する従前の方法では、新型コロナウイルス感染症を拡大させる可能性があり実施しにくい状況です。 社会参加や地域における自立生活を促進するため、スポーツ活動の場の今後の提供方法に工夫が必要となっています。	可能な限り、市障がい児・者スポーツ大会の実施に向けて努めつつ、自宅や身近な場所で自ら行える運動の仕方を、紙媒体、市ホームページ等を通じて情報発信します。
19	障がい者センター「あいとぴあ」の利用者数（年間） 【R1】11,648人 ↓ 【R6】13,000人	3　障がい者センター「あいとぴあ」の利活用促進に努めます。	福祉課	障害者センター管理運営費	257	障がいのある人が障がいのない人とともにいきいきと活動できる拠点施設として認識されるよう、同センターのあり方や周知について、継続して検討する必要があります。	同センター利用実績の分析や利用者の意見を基に、センター職員と意見交換しながらより使いやすい施設のあり方を目指します。	互いに理解しながら暮らせる社会づくりの推進拠点と位置づける障がい者センター「あいとぴあ」の利用者数増加を目指すもの。	10,000	人	5,676	C	新型コロナ感染拡大により休館期間を設けたため、開館日数が例年より約100日少なく、利用者数の減少に影響を与えました。	引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら運営し、利用者アンケート等を基に、より利用しやすい施設のあり方を目指す必要があります。	同センターの指定管理者団体等と連携し、利用しやすい施設のあり方について調査・研究します。

３－１－６　ごみ等の排出困難者への支援の充実 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
20	市民アンケート調査で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 【R1】75.4% ↓ 【R6】80.0%	1　ごみ等の排出が困難な世帯に対し、戸別収集「まごころ収集」によるごみ排出の支援を行います。	環境政策課	ごみ処理事業	114	収集・回収時に、安否確認と合わせて、声かけや、分別方法の説明を行うとともに、高齢者あんしん課と連携し日常生活の自立を促します。 収集時の「声かけ」を希望しない場合があり、意思疎通方法の検討が必要です。 高齢化社会の進行に伴い、「まごころ収集」希望者の増加が予想されます。	高齢者あんしん課や関係機関と協議し、利用者との意思疎通を図りながら、見守り活動の充実をめざします。	まごころ収集実施世帯数	70	戸	64	A	対象世帯からの問い合わせもあり、見守り効果が上昇しました。 直近の収集曜日や申請者に考慮して対応しました。 関係課、関係機関と対象世帯の状況変化に対応した連携ができつつあります。	対象世帯が長期留守にする場合に連絡が遅れることがありました。 意思疎通をきらう世帯へのアプローチが難しいことがありました。	世帯主(員)への周知及び包括支援センター等と連絡を取っていきます。意思疎通が困難な世帯とは、焦らずにアプローチの方法、機会を探っていきます。
21		2　ごみ収集時に安否確認を行うなど、見守り活動の充実に取り組みます。													
22		3　ごみ等搬出が困難な世帯に対し、分別方法の説明を行い、日常生活の自立を促します。													

３－２　笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が1個と【B】が3個となりました。コロナ禍により、イベント（大会）の中止やスポーツ施設の利用者減など、大きく影響を受けた事業もありましたが、概ね順調に進捗しているものと評価しています。今後も感染状況を考慮しながら事業を進めていく必要があります。 本プロジェクトの主な事業として、がん検診や特定健康診査などの受診率向上を図るため、休日や夕方の検診実施や無料クーポン券の発行などを行うほか、「こころの電話帳」の配布等による自殺予防対策や医療機関と連携したコロナワクチンの接種など、誰もが健康で元気に暮らし続けるまちづくりに取り組んでいます。また、市民の健康づくり、スポーツ、災害時の拠点施設となる総合体育館の整備については、市民アンケートの調査結果等を踏まえ「日向市総合体育館整備基本計画」を取りまとめました。

３－２－１　健康づくりの推進 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
23	大腸がん検診受診率（年度末時点） 【R1】7.8% ↓ 【R6】12.0%	1　がん検診や特定健康診査など検診を受けやすい体制づくりや受診率の向上に向けた情報発信、受診勧奨に取り組みます。	健康増進課	健康増進事業	139	受診しやすい体制作りや様々な方法を用いた受診勧奨に取り組んでいますが、受診率は国の目標値に届いていません。	受診しやすい体制づくりに加え、事業所などへの啓発の強化を図ります。	大腸がん検診受診率	10.0	%	8.1	B	・休日や夕方に検診を実施するなど、検診を受けやすい体制づくりに努めました。 ・市ホームページや電話、訪問、文書通知等により、受診勧奨や検診に関する情報発信を行いました。	受診しやすい環境づくりや様々な方法を用いた受診勧奨に取り組んでいますが、受診率は国の目標値に届いていません。	検診の受診率が低い若い世代や、検診未受診者などを対象とした受診勧奨の方法について検討します。
24				特定健診・保健指導事業	393										
25		2　子宮がん、乳がん、大腸がん検診の対象者に対し、無料クーポン券を発行します。	健康増進課	がん検診推進事業	140	無料クーポン券の利用率は低い状況です。 クーポン券のさらなる利用促進を図ります。	検診受診の意識付けと検診を受けやすい体制づくりのため、無料クーポン券を送付するとともに利用について周知に努めます。	大腸がん検診 クーポン券利用率	25.0	%	15.9	C	・子宮がん、乳がん、大腸がん検診の対象者へ無料クーポン券を送付しました。 ・クーポン券対象者について、電話や検診案内を送付するなど受診勧奨を行いました。	無料クーポン券の利用率は低い状況です。 若い世代に対する効果的な周知方法について、検討が必要です。	無料クーポン券の更なる利用促進を図ります。
26	特定健康診査受診率（年度末時点） 【R1】32.0% ↓ 【R6】40.0%	3　特定健康診査の受診結果に応じて生活習慣病の発症予防や重症化の予防など適切な保健指導を行います。	健康増進課	特定健診・保健指導事業	393	特定保健指導実施率は国の目標値に達していますが、特定健診受診者で受診勧奨判定値となった者の医療機関受診率が低いため、保健指導を充実していく必要があります。	重症化予防連絡票を活用した受診勧奨や健診受診者の結果に応じた保健指導の充実を図ります。	特定保健指導実施率	72.5	%	９月確定	―	・対象者の状況に応じて、訪問のみではなく、手紙や電話、骨密度測定会での個別相談など様々な方法や機会を活用し、保健指導を行いました。	就業者について、保健指導の日程調整や確保が難しい状況です。	対面での保健指導が困難な人については、健診結果に応じた資料送付や健診当日の保健指導の実施を検討します。
27	－	4　食生活改善に向けた講習会の開催や訪問による適切な指導を行います。	健康増進課	食生活改善推進事業	139	コロナ禍により、定例会や講習会などの活動が行えていない状況があります。	感染症対策を行いながら、食生活の見直しや改善につながるよう対象者に沿った講習会等を開催します。	食生活改善推進員講習会の実施回数	20	回	7	C	コロナ禍で講習会の開催が難しく、目標を大きく下回りましたが、高齢者や親子に向けて栄養についてのリーフレット配布による啓発を行いました。	コロナ禍の感染に対する不安から、講習会等への参加を控える人がみられます。	・感染対策を徹底し、参加人数を分散して講習会を開催します。 ・調理実習に頼らない講習会の実施など内容の検討を行います。
28	－	5　児童生徒の健康づくりや食育に取り組みます。	学校教育課 学校給食センター	－	―	望ましい食習慣を身につけさせるために、「弁当の日」の実施や、栄養教諭による食育の出前授業をとおして、食育の推進を図る必要があります。	全小・中学校（特別な事情のある学校を除く）において、「弁当の日」を実施します。また、栄養教諭による食育の出前授業を行い、食育の推進を図ります。	栄養教諭による食育の出前授業回数	154	回	130	B	コロナ禍の影響もありましたが、食育授業や「弁当の日」を可能な限り実施したことで、望ましい食習慣に係る知識を身に付けさせ、栄養バランスのとれた食事への意識付けを図ることができました。	食生活の乱れや肥満・痩身傾向が見られる子どもたちがまだ多くみられます。	望ましい食習慣を身に付けさせるために、「弁当の日」の実施や、栄養教諭による食育の出前授業をとおして、食育の更なる推進を図っていきます。

３－２－１　健康づくりの推進 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
29	－	6　市民が身近な場所で気軽に運動できるよう健康遊具の設置に取り組みます。	市街地整備課	都市公園管理運営費	183	平成29年度より年次的に健康遊具（2基/年）を設置し、現在までの設置公園数は6箇所です。今後は各公園のネットワーク化に取組みます。	公園アプリを活用し、公園情報を市民に提供します。新規に健康遊具を設置します。	健康遊具を設置した公園数	1	箇所	1	A	・亀崎近隣公園に健康遊具を設置しました。	公園利用の促進に向け、老朽化が進行する健康遊具の計画的な更新や適切な維持管理を行っていく必要があります。	・公園アプリの更なるPRを図ります。 ・老朽化施設の状況を踏まえて、撤去や更新する施設の優先順位を決定します。

３－２－２　自殺予防対策の充実 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
30	－	1　悩みや不安を抱える市民が相談できる窓口の周知に努めます。	健康増進課	自殺対策事業	141	「こころの電話帳」を作成し、区を通じて世帯配布を行うとともに、薬局、スーパーなどに配布して相談先の周知を図っています。区未加入世帯、若い世代へのさらなる周知を図る必要があります。	様々な媒体を用いて、相談窓口の周知に努めるとともに、区未加入者や若い世代などへの周知を図るため、健診などの機会を利用し啓発を行います。	「こころの電話帳」配布数	20,000	部	20,000	A	・若年者、女性の自殺率が増加していることから、「こころの電話帳」にSNSの相談窓口を掲載しました。 ・「こころの電話帳」を全世帯及び市内薬局、スーパー、金融機関等に配布するとともに、乳幼児健診や商工会議所を通じての配布を行いました。	区未加入世帯や若い世代への更なる周知を図る必要があります。	関係部署や関係機関と連携し、相談窓口の周知啓発に努めます。
31	－	2　自殺予防対策を支える人材を育成するため、ゲートキーパー研修を開催します。	健康増進課	自殺対策事業	141	市職員、高齢者支援施設関係者を対象としたゲートキーパー研修を実施しました。引き続き研修を通して、自殺のサインに気づき、適切な対応ができる人を育成していく必要があります。	市職員、関係機関・団体を対象にゲートキーパー研修を実施しゲートキーパーの知識を持った人材を増やしていきます。	ゲートキーパー研修の開催	3	回	2	C	民生委員を対象にゲートキーパー研修会を実施し、81名の参加がありました。新型コロナウイルスの感染拡大により市職員を対象とした研修会は開催できませんでした。	コロナ禍のため、人数を集めての研修が難しい状況です。	・民生委員など住民に身近な支援者や関係者を対象に研修を行います。 ・感染対策を講じた上で、職員や関係機関の人が参加しやすい研修を行います。
32	－	3　自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発活動に取り組みます。	健康増進課	自殺対策事業	141	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせパネル展示などの啓発を行っています。周知、啓発方法を検討し、幅広い世代にさらなる周知を図る必要があります。	自殺予防週間、自殺対策月間にあわせて啓発を行います。	自殺予防週間、自殺対策強化月間における周知啓発	4	回	4	A	９月の自殺予防週間、３月の自殺対策強化月間にあわせて、パネル展示やFMひゅうが、市ホームページ等を活用しての啓発を行いました。	自殺対策について、より多くの人や幅広い年代に向けた啓発が必要です。	これまでの取組を進めるとともに、幅広い年代の多くの人に向けた効果的な啓発方法等について検討します。

３－２－３　感染症予防対策の推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
33	－	1　予防接種の実施により感染症の予防に努めます。	健康増進課	新型コロナウイルスワクチン接種推進事業	371	コロナワクチン接種を行うにあたり、医療機関の通常業務に上乗せして協力をお願いすることとなり、医療機関の負担がかなり大きいことが課題となっています。	コロナワクチン接種について、市民の皆さんの健康と暮らしを守るため、医療機関等と連携して、市内医療機関での個別接種、市内1会場での集団接種を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めます。	コロナワクチン接種対象者（12歳以上）における2回接種率	70.0	%	83.8	A	コロナワクチン接種について、市内医療機関での個別接種に加え、市が設置する集団接種会場における接種を推進したことにより、当初の見込みを上回る接種率となりました。市民の新型コロナウイルス感染症の予防、重症化リスクの軽減に努めることができました。	コロナワクチン接種を行うにあたり、医療機関の通常業務に上乗せして協力をお願いすることとなり、医療機関の負担が大きいことが課題となっています。	個別接種における医療機関の負担を軽減するため、引き続き、市が設置する集団接種会場における接種を土日等で実施し、個別接種の補完及び市民の利便性の向上に努めます。

３－２－３　感染症予防対策の推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
34	－	2　感染症に関する正しい知識の普及に取り組み、拡大防止に努めます。	健康増進課	－	－	新型コロナウイルス感染症については、広報ひゅうがに毎月記事を掲載しました。FMひゅうがでの周知、市ホームページでの情報発信などで感染状況に応じた啓発を行いました。	新型コロナウイルス感染症等の感染発生状況に応じ、感染防止対策について市民への周知啓発を行います。	感染症に関する周知啓発回数	12	回	23	A	感染状況に応じて、随時日向市のホームページに感染防止対策についての記事を掲載し、市民への周知、啓発に努めるとともに、広報ひゅうが、FMひゅうが等での情報発信を行いました。	感染状況に応じた対応の周知に際し、最新の情報を掲載する媒体がホームページやフェイスブックに限られることが課題となっています。	様々な情報発信の方法や媒体の活用を検討し、市民への感染防止対策の周知啓発に努めます。

３－２－４　スポーツを生かした生きがいづくりや健康づくりの推進 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
35	－	1スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会の提供や運動習慣の定着に努めます。	スポーツ・文化振興課	【市制施行70周年】日向ひょっとこマラソン大会開催事業費	－	日向ひょっとこマラソンの参加者数は、どこの自治体でも同様のイベントが開催されており、年々減少傾向となっています。今後は、誰もが参加できるスポーツイベントへの転換も含めて方向性を検討します。	「日向ひょっとこマラソン大会」を3月の第2日曜日に約400人のボランティアスタッフの協力を得て大会を実施します。 ・実行委員会　8回	大会参加者数	1,500	人	大会中止	C	実行委員会の中でコロナ禍の影響、感染状況を考慮し、8月に中止を決定しました。 今後の開催に向け、大会開催時の感染対策等を協議しました。	日向ひょっとこマラソンの参加者数は、どこの自治体でも同様のイベントが開催されており、年々減少傾向となっています。 今後は、誰もが参加できるスポーツイベントへの転換も含めて方向性を検討します。	令和5年度で30回を迎えるにあたり、大会の意義、内容の見直しを含め、今後の大会のあり方について協議していきます。
36	市主催のスポーツ教室等への参加者数（年間） 【R1】 856人 ↓ 【R6】 920人	2　総合型スポーツクラブへの支援など生涯スポーツの推進に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	生涯スポーツ推進事業	344	市のスポーツ推進委員が主管するスポーツ教室は、子どもから高齢者まで多くの市民が参加していますが、参加者が少ない教室も見受けられ、さらなる啓発や内容の見直しが必要となっています。 総合型地域スポーツクラブは、会員の増加が図れていないことから、自立した運営が難しい状況となっています。	スポーツ推進委員については、人員の確保に努め、更なるスキルアップのため研修会等に積極的に参加できるよう支援します。 「ひむかYOUゆうクラブ」については、会員や活動場所の確保、人材育成などの支援を行いながら、自立した運営を目指します。	市が主催するスポーツ教室等参加者数 （延数）	460	人	329	B	コロナ禍の影響でスポーツ教室等の開催回数が計画より半減する中、毎月開催しているスポーツ推進員定例会において、内容や周知方法の見直しなどを協議しました。 「ひむかYOUゆうクラブ」については、会員や活動場所の確保、人材育成などの支援を行いました。	市のスポーツ推進委員が主管するスポーツ教室は、子どもから高齢者まで多くの市民が参加していますが、参加者が少ない教室も見受けられ、さらなる周知や内容の見直しが必要です。 また、総合型地域スポーツクラブは、会員の増加が図られていないことから、自立した運営が難しい状況となっています。	今まであまり運動をしていない人でも参加しやすいように、活動場所の確保や広報活動を行うとともに、減少傾向にあるスポーツ推進委員の増員、関連団体を運営する人材の確保、育成なども支援していきます。

３－２－４　スポーツを生かした生きがいづくりや健康づくりの推進 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
37	スポーツ施設の利用者数（年間）【R1】233,817人 ↓ 【R6】234,000人	3　スポーツ施設の適切な維持管理や利用促進を図ります。	教育総務課	お倉ヶ浜総合公園（野球場・屋内運動場以外）管理運営費他	323	管理するほとんどのスポーツ施設が整備して年数が経過し、老朽化が進行しています。安全・安心に利用できるよう計画的な維持管理を行うことが必要です。	指定管理者と定期的に協議を行い情報共有するとともに、その他の施設は定期的に点検を行い必要に応じ修繕等を行います。	スポーツ施設の年間利用者数	140,000	人	148,235	A	下記のとおり、維持修繕を実施しました。 ・お倉ヶ浜総合公園：テニスコート照明、サンドーム内シャッター等 ・大王谷運動公園：トイレバルブ等 ・東郷地区：グラウンド内水銀灯取替、体育館ステージパネル昇降器具 ・体育センター：エアコン修繕、武道館水銀灯取替 ・美々津運動広場：浄化槽ブロワ	お倉ヶ浜総合公園の照明器具は老朽化に伴い、テニスコート、野球場、サンドームと全体的にさび付いており、早急な対応が必要です。	令和9年度に予定されている「国民スポーツ大会」の会場等となる施設を優先して改修を行います。 その他の施設についても、老朽化の度合いや利用状況等から優先順位をつけ計画的な改修・修繕を行います。
38	－	4　国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会の開催に向けた受入体制の構築に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	国民スポーツ大会宮崎大会推進事業	208	国民スポーツ大会での競技実施に向けて、事務局の体制づくり及び競技団体等とのさらなる連携が必要です。	令和9年度に開催される国民スポーツ大会宮崎大会に向けて、今年度開催される三重国民体育大会を視察し、早期に市準備委員会を設置等の準備を確実に進めていきます。	視察協議の回数	3	回	0	C	予定されてた三重大会が中止となり視察等できない状況となりましたが、本市開催予定のビーチバレーボール会場の実施設計を行うなど、本大会及びリハーサル大会の円滑な競技運営に向け準備を行いました。	国民スポーツ大会での競技実施に向けて、事務局の体制づくり及び競技団体等とのさらなる連携が必要です。	令和9年度開催に向け、開催地視察や関係機関・関係団体と連携体制を強化しながら準備を進めていきます。
39	－	5　小学校、中学校、高校が連携し、競技団体を中心にアスリートの育成に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	競技スポーツ推進事業	207	国民スポーツ大会等の全国規模の大会出場を見据え、それらの大会に出場する選手を育成するためには、小・中・高の運動部活動の顧問やスポーツ指導者と競技団体をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に取り組むことが重要です。	指導者を対象にした講演会及び研修会を実施します。 また、体育協会加盟団体のうち3競技団体に委託し、競技別に小学生、中学生、高校生を対象に強化練習を実施し、競技力の向上を図ります。	講演会の回数	2	回	2	A	スポーツ少年団本部と連携して、指導者や保護者等を対象にリモート方式で講演会を2回開催しました。 また、ジュニア育成事業やアスリート育成事業、奨励金事業を実施し、競技団体の競技力向上のため、各スポーツ団体の支援を行い、アスリートの育成を図りました。	国民スポーツ大会等の全国規模の大会出場を見据え、それらの大会に出場する選手を育成するためには、小・中・高の運動部活動の顧問やスポーツ指導者と競技団体をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に取り組むことが重要です。	令和9年度開催予定の国民スポーツ大会に向け、本市開催競技種目を中心に指導者研修や強化練習を行うことで、競技力の強化向上を図ります。
40	－	6　市民の健康づくり、スポーツ、災害時の拠点施設となる総合体育館の整備に取り組みます。	資産経営課	日向市総合体育館整備事業	106	市民への丁寧な説明に努めるとともに、市民生活や地域経済の状況を見極めつつ、コスト縮減策や事業手法等について慎重に検討する必要があります。	市民サービスの向上やコスト縮減を念頭に、詳細な機能や最適な事業手法等について検討を進め、「基本計画」の策定に取り組みます。	日向市総合体育館整備市民検討委員会の開催回数	3	回	3	A	施設の詳細な機能や最適な事業手法等について検討を行うとともに市民アンケート調査結果等を踏まえ「基本計画」の取りまとめを行いました。	コロナ禍により、2月に予定していた市民説明会が延期となったため、令和3年度中の「基本計画」策定に至りませんでした。 そのため、今後、開催手法について検討していく必要があります。	市民への丁寧な説明や事業進捗における情報発信についても、市広報やHPを活用し適宜、行っていきます。 また、市民生活や地域経済の状況を見極めつつ、整備におけるコスト縮減策や事業手法等について引き続き慎重に検討していく必要があります。

３－３　共に支え合う地域づくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が1個と【B】が3個となりました。コロナ禍による行動制限や市民等活動の自粛等により影響を受けた事業もありましたが、概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、地域コミュニティの維持向上を図るため、区加入促進をはじめとした地域コミュニティの支援や地区公民館の機能強化に取り組むほか、地域住民の複雑化・複合化する支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築などにより、地域福祉の推進を図っています。また、東郷地域が将来にわたって活力ある社会を維持していくため、「日向市東郷地域振興計画」を策定しました。急速な人口減少や少子高齢化が進行し、市民ニーズが多様化する中で、今後もより一層の取組の充実が求められています。

３－３－１　地域コミュニティの維持、支援 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
41	自治会（区）加入率 【R1】65.9% ↓ 【R6】67.0%	1　自治会区と連携して区加入促進を図ります。	地域コミュニティ課	自治公民館活動支援事業	97	自治会（区）未加入世帯への加入促進により組織強化を図るとともに、小規模自治会（区）の活動を維持するため、地域が主体となった活動を支援する必要があります。	区未加入者対策に対する取組を支援します。	自治会（区）加入率	66.2	%	64.4	A	・6・7月区加入強化月間の取組及び宅建業協会県北支部に対する協力依頼については、コロナ禍の中、R1年度以来、2年ぶりに実施できました。 ・特に、区加入強化月間による区加入実績が226世帯となり、H19年度に次ぐ成果が見られました。 ・インターネットによる区加入申込フォームを作成し、新チラシにて活用を図りました。	・少子化・高齢化に伴い人口減少が進行している一方で、核家族化等により世帯数は増加しています。また、コロナ禍により、生活様式も急激に変化しています。 ・アパート等の単身世帯に向けた区加入促進対策として、宅建業協会県北支部との連携強化、市内企業への協力依頼が必要となっています。	・区公連との連携のほか、関係機関等と協力し、区加入促進に取り組みます。 ・若年層や市内企業向けの区加入促進策として、インターネットによる区加入を推奨します。 ・区活動の大切さを啓発し、担い手の確保・人材育成につながるよう支援します。
42	自治会（区）加入率 【R1】65.9% ↓ 【R6】67.0%	2　自治会区の再編に対する相談や支援の検討を行います。	地域コミュニティ課	自治公民館活動支援事業	97	人口減少、高齢化に伴い、自治会（区）の構成世帯数も減少しており、既存自治会での活動自体が困難となることが懸念されています。そのため、自治会（区）の再編の際の支援策について検討する必要があります。	各自治会の構成世帯数などの変化状況や各区長などの情報を参考に自治会区の再編に対する支援策について検討を行います。	自治会(区)加入率	66.2	%	64.4	A	・「日向市地域コミュニティ推進基本方針」については、自治会(区)、まちづくり協議会、市議会議員に配布・説明したほか、市ホームページにて周知を図りました。 ・各区長からの相談対応については、随時行っていますが、自治会(区)の再編に関する相談はありませんでした。	・大字地区の協議の場において、複数の区で合同の行事・イベントを実施することから始めたいといった意見も出されています。 ・自治会(区)が再編する場合に調整すべき項目を整理し、今後、区から再編に関する相談があった際に、対応できるよう備えておく必要があります。	・各区長からの相談内容などから、各自治会(区)の現状把握に努めます。 ・自治会(区)が再編する場合の一般的な調整項目についてリスト化するなど、再編に関する相談に対応できる体制を整備します。 ・必要に応じて、自治会(区)の再編に関する支援策を検討します。
43	自治会（区）加入率 【R1】65.9% ↓ 【R6】67.0%	3　自治公民館の整備に対する支援を行います。	地域コミュニティ課	自治公民館の整備助成	96	自治公民館は、地域住民の学習の場として活用されていますが、自治公民館の多くが老朽化しているため整備に対する支援を行う必要があります。	自治公民館の新築・改修・修繕・屋外放送設備・空調設備の整備に対する助成を行います。	自治公民館の整備に対する助成件数	3	件	4	A	・R3年度の補助事業については、予定どおり、3区（鵜毛区、広見区、新財市区）で事業完了しました。 ・一般コミュニティ助成事業について、江良区の申請が助成決定となったことから、6月議会にて補正予算対応し、助成を行いました。	・自治公民館整備費補助金については、予算上、1年に補助できる数に制約があることから、計画的に実施する必要があります。 ・一般コミュニティ助成事業については、(一財)自治総合センターの助成決定如何によるので、市として事業計画が立てにくい状況にあります。	・自治公民館整備費補助金については、緊急性・必要性の高い自治公民館を優先して事業実施します。 ・一般コミュニティ助成事業については、ニーズ把握に努め、申請に際しては、市が定めた基準に従い、適切に対応します。

３－３－１　地域コミュニティの維持、支援 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
44	市民アンケート調査で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 【R1】 75.4% ↓ 【R6】 80.0%	4　まちづくり協議会の活動への支援や新たな設立に向けた支援を行います。	地域コミュニティ課	新しい地域コミュニティ組織制度事業	96	まちづくり協議会は、自治会区活動の補完的役割や地域の共通課題を解決する役割を担っていますが、担い手不足や自治会区との役割分担行事の調整などの課題があります。また新たに協議会を設立を希望する地区に対して、設立までの相談や支援を行う必要があります。	市民活動支援基金を活用した交付金を交付することにより、持続可能な地域づくりと地域課題の解決に向けた活動への支援を行います。 また、新たな地域での設立の支援については、説明会や情報提供など地元の活動を支援します。	4地区合同会議及び事業説明会の実施件数	8	回	4	C	・まちづくり協議会については、既存4地区のうち、2地区に対し、交付金を交付しました。残り2地区については、コロナ禍によりイベント等が実施できないなどの理由により、交付金の申請自体が行われませんでした。 ・関係会議については、4地区合同会議を1回、新たな地域での設立に関する説明会を3回行いましたが、日向市地域コミュニティ推進基本方針策定委員会の関係団体による意見交換会は実施できませんでした。	・まちづくり協議会については、コロナ禍の中で、十分な活動ができていない現状がありますが、市の委託業務の実施など、その役割を果たしています。 ・新たな地域での設立については、市が主導的に動くのではなく、地域の機運醸成による部分が大きいので、丁寧に相談対応・支援を継続する必要があります。	・既存のまちづくり協議会については、コロナ禍でも実施できている取組事例もあることから、4地区合同会議等において情報共有し、お互いの組織の活性化に努めます。 ・新たな地域での設立については、地域の機運醸成につながるよう、継続して相談対応を行い、地域の活動を支援します。
45		5　交流事業などを通して、在住外国人と市民のきずなを深めます。	地域コミュニティ課	外国青年招致及び国際交流まちづくり推進事業	95	在住外国人がともに安心して生活できるように、市民との相互理解を深めるとともに生活に必要な情報を手軽に入手できる体制づくりに努める必要があります。また、在住外国人が地域の中で共に生活していくために、地域の生活ルールなどについて助言し困りごとを相談できる体制の構築が求められています。	国際交流員や市内在住の外国人を活用した世界各国の文化や伝統を紹介するイベント等を開催し、国際交流の場を市民に提供します。	国際交流イベントの実施件数	6	件	6	A	・国際交流員による国際交流活動及び市民向け英会話教室は、1年を通じて実施できました。 ・下半期に、散歩・海岸清掃イベント、防災・観光交流バスツアー、クリスマスイベント、おしゃべりイベント（オンライン）を開催しました。 ・在住外国人支援の観点から、多文化共生アンケートを実施したほか、市職員向け「やさしい日本語」講座を開催しました。 ・県国際交流協会主催の「地域日本語教室」では、駅通り区と協力し、地域の在住外国人との交流を図りました。	・イベント実施など、どうしても対面が基本となる事業のため、コロナ禍にあっては、計画的に事業が進めにくい状況にあります。 ・R3年度は、下半期にイベントが集中しましたが、新たな取組も実施できたので、今後もそれらを参考にして、企画立案していきます。 ・多文化共生アンケートから見えてきた課題に対して、順次取り組み、在住外国人を支援する必要があります。	・国際交流まちづくり推進協議会での協議・検討のもと、協議会30周年イベントを実施します。 ・コロナ禍でも取り組むことができるイベントを企画・立案し、参加人数の多寡ばかりではなく、参加者の満足度の高い内容を目指します。 ・国際交流員による「やさしい日本語」講座の一般開催など、在住外国人支援の新たな取組を検討・実施します。

３－３－２　地域福祉の推進 【令和3年度施策レベル評価A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
46	市民アンケート調査（20歳から39歳までの回答者）で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 【R1】 41.0% ↓ 【R6】 50.0%	1　地域福祉に関する普及啓発に努め、「自助・互助・共助・公助」の理念に対する理解や支え合いの意識を醸成します。	福祉課	重層的支援体制整備事業への移行準備事業	118	人口減少や少子高齢化が進み、支え合いの基盤が弱まっています。 　地域で支援を求める人に住民が気付き、住民相互で支援活動を行うつながりを再構築し、自治会（区）や民生委員・児童委員をはじめとした関係者、団体とのネットワークの強化が必要となっています。	（1）参加支援体制の構築 （2）多機関の協働による包括的支援体制の構築 （3）アウトリーチ等を通じた継続的支援体制の構築 （4）地域福祉部の設置推進・担い手育成 （5）介護、障がい、子ども、生活困窮分野の相談支援機関間等の連携 （6）移行計画の策定、庁内連携体制の構築	重層的支援会議（または支援会議）の開催数	5	回	6	A	制度の周知や重層的支援会議等の開催を通じて、支援の充実や関係機関との連携等の一定の成果が表れてきています。 　関係機関の意見等を踏まえ、「重層的支援体制整備事業への移行計画」を策定しました。	コロナ禍により、関係機関等との集合形式の意見交換や研修等の実施が困難な状況が続いています。	関係機関だけでなく、市民や市職員等への周知・啓発のため、支援事例等の研修を開催したいと考えています。

３－３－２　地域福祉の推進 【令和3年度施策レベル評価A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
47	市民アンケート調査（20歳から39歳までの回答者）で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 【R1】41.0% ↓ 【R6】50.0%	3　地域課題解決に向け、日向市社会福祉協議会、自治会（区、民生委員・児童委員、ボランティア団体などの地域福祉を支える組織の機能やネットワークの強化を図ります。	福祉課	重層的支援体制整備事業への移行準備事業	118	人口減少や少子高齢化が進み、支え合いの基盤が弱まっています。 地域で支援を求める人に住民が気付き、住民相互で支援活動を行うつながりを再構築し、自治会（区）や民生委員・児童委員をはじめとした関係者、団体とのネットワークの強化が必要となっています。	(1)参加支援体制の構築 (2)多機関の協働による包括的支援体制の構築 (3)アウトリーチ等を通じた継続的支援体制の構築 (4)地域福祉部の設置推進・担い手育成 (5)介護、障がい、子ども、生活困窮分野の相談支援機関間等の連携 (6)移行計画の策定、庁内連携体制の構築	地域福祉部の設置地区数	45	地区	45	A	地域福祉部の設置は45地区となりました。人材育成のための研修は、コロナ禍のため実施できませんでした。	コロナ禍で活動が制限される状況であるため、地域福祉部の設置を推進するだけでなく、設置後の活動に関するフォローアップが必要となっています。	他の地域福祉部と合同研修等を開催することで、新たな活動や連携に繋げていきたいと考えています。
48		2　地域福祉を支える人材やボランティアを育成します。	福祉課	ボランティア活動支援事業	116	幅広い年齢層で身近で気軽にボランティア活動ができる体制を整える必要があります。 有事に備え、平常時からボランティアの力が活用できる体制整備が必要となっています。	(1)ボランティア活動の相談、支援、調整、啓発 (2)災害ボランティアの育成・拡大 (3)ボランティアネットワークの強化・推進 (4)福祉教育・体験・人材育成	ボランティア研修の開催	1	回	1	A	研修を開催し、ボランティア活動の推進、体制の整備を図りました。 富島高校生と連携して、医療的ケア児の避難訓練を計画していましたが、コロナ禍のため中止となりました。	コロナ禍で活動が制限されている状況ですが、有事に備え、平常時からボランティアの力が活用できる体制整備が今後も必要となっています。	継続して、ボランティア研修等を通じた体制整備を図っていきます。

３－３－３　地区公民館※の機能強化 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
49	－	1　地域の核となる地区公民館の機能強化を図ります。	生涯学習課	子ども土曜教室事業	215	地区公民館では、暮らしに役立つ講座を開催し、仲間づくりの場としても利用されていますが、さらに幅広い年齢層や男性が参加しやすい講座の充実に取り組む必要があります。	「生涯学習だより」を通じて、主体的な学びを促し生涯学習の推進を図ります。市民ニーズに対応し幅広い世代が参加できるよう生涯学習講座の内容を充実していきます。	延べ参加者数	560	人	498	B	コロナ禍で定員の削減、中止、延期などがありましたが、参加者は様々なジャンルで楽しく有意義に学ぶことができていました。	応募者の減少や低年齢化が見られ、保護者の中には土曜日の放課後子ども教室的に考える傾向が見られます。また、校区を基本としているため、応募者が集まらない公民館も出ています。	学校週５日制の補完としての土曜教室ではなく、子どもの生涯学習を充実させるため、特に文化的な分野を中心に、校区に限定しない教室の開設を検討する必要があります。
50	－			高齢者学習支援事業	215			延べ参加者数	360	人	340	A	コロナ禍で定員の削減、中止、延期などがありましたが、参加者は様々なジャンルで楽しく有意義に学ぶことができていました。	参加者の平均年齢が70歳を超え、受講者の高齢化・固定化も進み、内容の検討が必要となっています。学習内容も、希望の多い研修視察や料理などが実施できなかったので、応募者の減少も進んでいます。	公民館主催高齢者学習の福祉系の高齢者サロンや自治公民館の高齢者クラブなどと差別化を図り、高齢者が現代生活に適応できるような内容（スマホやネットなど）を検討する必要があります。

３－３－３　地区公民館※の機能強化 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
51	－	1　地域の核となる地区公民館の機能強化を図ります。	生涯学習課	公民館主催講座事業	216	地区公民館では、暮らしに役立つ講座を開催し、仲間づくりの場としても利用されていますが、さらに幅広い年齢層や男性が参加しやすい講座の充実に取り組む必要があります。	「生涯学習だより」を通じて、主体的な学びを促し生涯学習の推進を図ります。市民ニーズに対応し幅広い世代が参加できるよう生涯学習講座の内容を充実していきます。	延べ参加者数	2,748	人	2,048	B	コロナ禍で定員の削減、中止、延期などがありましたが、抽選となる人気講座もありました。参加者は趣味・教養・生活・健康・実用などの各分野で満足できていました。	高齢者中心の講座が多くなってきており、働く世代の学びたい内容や夜間、休日などの講座の開講が必要と思われます。生涯学習だよりが年1回発行のため、前後期制の見直し、また学習発表会のあり方も再検討の必要があります。	若い世代に向けた夜間や託児付の講座を開設し、年間を通じての内容や集中的な講座の開設など検討する必要があります。対象者も成人に限定せず、全世代が一緒に学べる講座をめざしていきます。また、学習発表会の分散化を検討します。
52	－	2　老朽化している地区公民館の整備や新たな地区公民館の整備に向けた検討を行います。	生涯学習課	－	－	地区公民館は、避難所の役割も果たしていますが、7施設中3施設は建築年数40年を超えており、老朽化している状況です。	第2次日向市行財政改革大綱及び日向市公共施設等総合管理計画に沿って、老朽化している地区公民館の整備や新たな地区公民館の整備に向けた検討を進めていきます。	修繕箇所	10	箇所	9	A	限られた予算内で優先順位を決めて修繕を行い、突発的な修繕については資産経営課の予算で対応しました。	突発的な修繕を優先し、当初計画していた修繕が後回しになることがあります。	修繕の必要な箇所の台帳を作成し、優先順位を決めて適正な管理を行います。

３－３－４　中山間地域の活性化 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
53	過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数（年間） 【R1】 6事業 ↓ 【R6】 7事業	1　日向市東郷地域振興計画を策定し、過疎地域振興基金事業などを活用した元気で活力ある地域づくりを支援します。	東郷地域振興課	中山間地域振興事業	187	東郷地域は人口減少や少子高齢化が進行し、集落機能の低下や地域コミュニティの存続が危ぶまれるなどの地域課題を抱えており、活力ある地域社会の確立が課題となっています。	人口減少、少子高齢化を見据えながら、東郷地域のまちづくりの方向性を定め地域課題を解決するため「日向市東郷地域振興計画」を策定します。	地域課題集約のための住民ワークショップ参加者数	120	人	149	A	「地域住民がみんなでつくり上げた計画」とするため、地域の各団体からの推薦者で組織する「策定検討委員会」を組織するとともに、区長・住民アンケートや、中学生とのワークショップ、東郷えんがわ会議などを実施して地域住民からの幅広い意見を集約し、計画を策定しました。 また、随時「かわら版」を発行し、計画策定の過程を区の班回覧等で周知しました。	「日向市東郷地域振興計画」の推進による地域課題の解決には、実際に住んでいる地域住民の方が地域課題を自分の問題と捉え、自分に何ができるのかを考え、行動することが不可欠であることから、当計画の内容や必要性、解決に向けた取組への関わり合いなど、自分たちの地域は自分たちで守るという意識の醸成が必要です。	各地区において、計画の内容や地域の現状や課題、安心して暮らし続けていくために、自分たちに何ができるのかなどの説明会・ワークショップを開催します。 地域の担い手となる人材を育成するために必要な研修等を実施します。
54		2　自治会（区）やまちづくり協議会、集落の活動を支援し、中山間地域を支える人材の発掘や育成に取り組みます。	東郷地域振興課	中山間地域振興事業	187	人口減少や少子高齢化が進行し、地域の担い手となる人材が不足しており、地域を支える人材の発掘や育成が課題となっています。	過疎地域振興基金事業補助金を交付し、東郷地域において実施する元気で活力ある地域づくりを支援することで、まちづくり事業の企画・運営を促し、人材育成を図ります。	過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数	6	事業	0	C	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、想定された各団体とも活動を自粛を余儀なくされたことから、申請もない状況となりました。	当補助金は東郷地域における元気で活力ある取組に対して補助金を交付することから、人を多く集めたイベントなどの開催が多く、コロナ禍の影響を受けやすい状況にあります。	各団体とも、コロナ禍でも感染防止対策を取りながらイベント等が行えるような工夫を行う必要があります。引き続き、中山間の活性化に資する事業の支援に努めます。

戦略４　自然豊かで快適な強いまちづくり

４－１　助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が1個と【B】が2個となっており、概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、近年頻発している様々な自然災害から市民の生命と財産を守るため、地域防災力向上のためのソフト事業を推進していますが、コロナ禍により地域での防災訓練等が実施しにくい環境となっており、市民の防災意識の低下につながる懸念があります。また、国土強靭化の推進では、災害発生時に緊急輸送路となる橋梁の長寿命化や急傾斜地の崩壊対策工事、水道施設における管路の耐震化などにより、災害に強いまちづくりを進めています。着実に進捗している事業がある一方で、コロナ禍や資材調達の遅れなどにより進捗が遅れた事業などもあります。今後も、感染状況に留意しつつ、各事業の計画的かつ着実な事業推進が求められています。

４－１－１　自主防災力の向上 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	地区防災計画の取組地区の総数 【R1】 5地区 ↓ 【R6】 10地区	1「避難所運営マニュアル」を基に、自主防災会と地域の防災士が一体となった避難所運営を推進します。	防災推進課	－	－	大規模災害に備え、市職員のみでは避難所運営に支障をきたすことが考えられるため、自主防災組織や施設管理者等の協力を得て避難所を運営することが必要となります。	避難所運営マニュアル等に基づく避難所運営訓練を通して、避難所の適切な運営に取り組みます。	地区防災計画策定に向けた取組地区総数	7	地区	7	A	避難所担当職員への説明会や訓練の実施、施設管理者との避難者受入れの施設利用などの協議を行いました。 コロナ禍により、自主防災会や防災士と連携した避難所運営訓練には至らなかったところです。	大規模災害時には、自主防災組織や施設管理者等の協力を得て避難者とともに避難所を運営することとなるが、コロナ禍のなか、屋内に人数を集めて訓練を実施することが難しい状況です。 また、女性の積極的な参加が必要です。	自主防災組織や施設管理者など、多様な主体を対象とした避難所運営訓練を通し、避難所担当職員を含め、連携した避難所運営を行うことが必要です。
2		2　自主防災会が主催する避難訓練や防災講座を支援するとともに、地区防災計画策定の取組を推進します。	防災推進課	－	－	コロナ禍の影響もあり、防災講座等の開催が減少しています。地区防災計画については、なかなか進んでいない状況です。	自主防災会連絡協議会をとおし、福祉部局とも連携した計画策定に向けた支援等に取り組みます。						地区防災計画に取り組む地区との連携を図りました。	コロナ禍以前と比較すると、防災講座等の開催が減少した状況が続いています。また、地区防災計画に着手している地区についても、コロナの影響により会議等を開催できない状況があります。	感染対策を実施したうえでの防災講座等の実施と併せ、地域の様々な活動の場を捉えて啓発等を行います。
3	地域防災訓練などへの参加者数（年間） 【R1】 19,780人 ↓ 【R6】 25,000人	3　地域の実情に応じた防災訓練の支援や参加しやすい環境づくりに取り組みます。	防災推進課	－	－	市民の防災意識の向上を図るためにも、防災訓練等への参加が重要です。	住民主体の避難行動体制の構築に取り組みます。	地域防災訓練などへの参加者数（年間）	22,000	人	11,760	C	感染対策をとりながら、防災講話等を実施しましたが、コロナの影響により延期や中止となる場合もありました。	コロナの影響により、訓練の延期や中止が続く状況があります。	地域の様々な活動の場を捉えて啓発等を行うことで、防災意識の向上を図ります。

４－１－１　自主防災力の向上【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
4	市防災情報配信サービス登録者（年度末時点） 【R1】1,700人 ↓ 【R6】2,200人	4　防災情報伝達の多重化のため、防災訓練や防災講座を通じて防災情報配信サービスへの登録を推進します。	防災推進課	防災情報収集・伝達事業	104	あらゆる災害の発生に備え、音声情報では聞き取れなかった避難情報等を文字情報として発信するなど、情報伝達方法の多重化が求められています。	地域等で実施される防災訓練や防災講座において、防災情報配信サービスの普及を図り、登録者の増加に努めます。	市防災情報配信サービス登録者（年度末時点）	1,900	人	1,973	A	地域での防災訓練や防災講話等において周知を図ることにより着実に登録者数が増えています。 災害のおそれのある場合には、配信サービスの運用により適切な情報発信を行い、早期避難の啓発に努めました。	コロナ禍による防災訓練等の実施が難しいなか、どのように市民に対し周知していくか、その方法を検討する必要があります。	地域での防災訓練や防災講話に加え、防災に関するイベント等に合わせ積極的に登録を促します。
5		5　避難所内での感染症拡大防止のため、分散避難などの周知に取り組みます。	防災推進課	－	－	災害の規模が大きくなるにつれ、避難者が増加することが考えられるため、避難所等における感染防止対策のほか、避難者による感染予防及び分散避難について周知を図る必要があります。	避難所運営マニュアルに基づき、災害時における感染症対策及び分散避難についての意識啓発に務めます。						大字区長会や市広報紙において、災害時における分散避難について周知啓発を行いました。 なお、令和3年度においては、避難所での避難者受入れ実績はありませんでした。	新型コロナウィルスの感染をおそれ、避難行動が消極的にならないよう、避難所等における感染防止対策のほか、避難者による感染予防及び分散避難について、引き続き周知していく必要があります。	避難所運営訓練を通し、感染症対策の徹底を図るとともに、早期避難による分散避難への意識啓発に努めます。

４－１－２　消防団の機能充実【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
6	消防団員の定数に対する充足率（年度末時点） 【R1】94.2% ↓ 【R6】100%	1　不足する消防団員の確保や機能別消防団員の有効活用、女性消防団員の勧誘強化に取り組みます。	消防本部	－	－	バイク隊の結成や出初め式等の行事のあり方の改革、SNS等での積極的な情報発信など消防団の活性化に取り組んでいるが、団員不足については、南部地区や東郷地区の地元の入団適齢者不足が大きな要因になっています。	・様々な活性化策で消防団をアピールし、若者や女性の勧誘につなげます。	女性消防団員の新規入団者数	30	人	6	C	令和3年度の新規女性消防団員は6名となりました。	コロナ禍で消防団の行事が中止になり消防団活動の様子等をアピールすることができませんでした。	現役女性消防団員を中心に今後の取組内容を再度協議していきます。
7		2　消防団の部の統廃合などに対応した組織再編の検討を行います。	消防本部	－	－	南部地区・東郷地区では部の団員数が10名程度の部が散見されます。	・現状維持を目指しながら、組織の再編の協議を継続します。	消防団員にアンケート調査を行い現状を把握し今後の取組を協議する	1	回	1	A	令和3年6月に、団本部、機能別消防団員を除く全ての基本団員（798人）を対象にアンケート調査を実施し629人(回答率78．8%）から回答がありました。	アンケート調査結果を参考に団員確保のための取組を協議する必要があります。	団員の増員が望ましいが、まずは団員の確保を優先して取り組んでいきます。

４－１－３　国土強靭化の推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
8	－	1　防災関連施設の充実に取り組みます。	防災推進課	地震・津波防災施設整備事業	105	南海トラフ地震等の大規模災害に備え、分散備蓄を図る必要があり、拠点となる備蓄倉庫の整備を進めています。	財光寺地区に、備蓄倉庫の整備を行います。	財光寺地区への備蓄倉庫の整備	1	棟	1	A	財光寺中学校に備蓄倉庫を整備し、分散備蓄を図りました。	分散備蓄を図るため、引き続き、拠点となる備蓄倉庫の整備を進める必要があります。	富高地区に、備蓄倉庫の整備を行います。
9	－	2　緊急輸送路に架かる橋梁の耐震化や長寿命化に取り組みます。	建設課	橋梁長寿命化事業	179	橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の修繕を計画的に行い、維持管理費のトータルコストの抑制と平準化を図る必要があります。	・橋梁補修等設計業務（N=7橋）、橋梁補修工事（N=5橋）及び橋梁定期点検業務（N=58橋）の実施により、「日向市橋梁・横断歩道橋長寿命化修繕計画」を推進します。	橋梁長寿命化補修工事を実施した橋梁数	5	橋	2	C	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修工事や落橋防止対策を実施し、交付金の減額や資材調達の遅れにより、計画していた5橋の補修工事の年度内完成には至りませんでしたが、対策は着実に進んでいます。	今後、更に加速する施設の老朽化に伴い、コストの増加が懸念されます。	点検結果を踏まえ施設の健全度・補修の優先順位を見極めながら、橋梁長寿命化計画に基づき効率的な長寿命化対策、予算の平準化を図っていきます。
10	急傾斜地崩壊対策事業実施箇所（累計） 【R6】 4か所	3　県との連携により土砂災害防止対策事業に取り組みます。	建設課	急傾斜地崩壊対策事業	175	異常気象や土砂災害警戒区域指定の進捗に伴い、市民の防災・減災意識が高まっています。今後、急傾斜地における土砂災害対策に対する要望が多くなると思われることから、緊急度、優先度を見極めながら事業を推進していく必要があります。	・新財市地区において、県施工区間に引き続き、市施工区間の急傾斜地崩壊対策事業を実施します。 ・県が実施する岩崎地区、本谷地区の急傾斜地崩壊対策事業に対し、規定の事業費を負担します。	急傾斜地崩壊対策事業整備済区間の延長	50	m	50	A	計画的な事業の推進により、保全人家数の増加など、地域住民の安心・安全な生活環境の向上を図りました。	激甚化・頻発化している自然災害による被害の防止・最小化を図るため急傾地崩壊対策事の計画的な推進が求められます。	緊急度、優先度を見極めながら計画的な急傾地崩壊対策事業の推進を図ります。
11	－	4　上下水道施設の耐震化や老朽化した施設の更新に取り組みます。	水道課	水道事業	399	老朽化した施設の更新や激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策に関して取組の更なる加速化・深化を図る必要があります。	老朽管路更新や耐震化及び施設・設備類の長寿命化対策並びに、権現原浄水場更新基本計画を策定します。	老朽管路の更新延長	4	km	4.4	A	老朽管路の更新と併せ管路の耐震化を図ることにより、大規模地震等への対策を進捗させることが出来ました。 また、権現原浄水場更新基本計画を策定することにより、今後予定している大規模更新へ向けた条件整理を行いました。	原材料等の高騰に伴う水道用資機材価格の上昇により、工事価格が上昇しています。	今後も基幹管路更新工事や権現原浄水場更新事業も予定していることから、事業費の拡充を図る必要があります。

４－１－３　国土強靭化の推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
12	－	4　上下水道施設の耐震化や老朽化した施設の更新に取り組みます。	下水道課	下水道事業	401	下水道の整備、施設の長寿命化を図る必要があります。	往還地区の下水道の整備並びに施設の長寿命化対策工事を行います。	第2期日向市下水道ストックマネジメント計画における進捗率	100	%	100	A	下水道布設工事については、入札不調により、進捗に遅れが生じましたが、一定区域について供用開始しました。 施設の長寿命化対策については、計画通り進捗しました。	衛生的な市民生活の維持に係る責務として施設の耐震化、耐津波化等自然災害への対応も求められていますが、経営的に先送りにしている状況があります。	持続可能な事業経営を図るため、老朽化対策を優先して行います。また、未普及対策については、令和7年度までに事業計画区域の完成を目指します。
13	－	5　配水池の非常用電源の整備に取り組みます。	水道課	水道事業	399	配水池やポンプ施設は非常用電源が整備されておらず、停電が長期化すると断水となることから、大規模停電災害に備え非常用発電機を整備する必要があります。	配水池・ポンプ施設非常用発電機整備計画を策定します。	非常用発電機整備予定箇所の現地調査	22	箇所	22	A	現地調査により、災害時に大規模な被害が想定される施設を選定し、非常用発電機の設置に向けた予算措置を行いました。	発電機整備費用は高額であることから、単年度での整備が困難となります。	発電機設置については、停電による断水被害の大きい施設を優先することとし、それ以外については、移動用発電機による対応を可能とするため、配電盤の改良を行うこととします。 また、断水被害を最小限にとどめるため、直圧給水への切り替えを検討します。
14	－	6　浸水被害対策に取り組みます。	都市政策課	－	－	内水等の浸水被害多発地区において、被害の低減と解消の対策を進めていく必要があります。	内水被害の低減策として、大雨が予想される際に仮設排水ポンプ設置を行うとともに、関係機関や団体と連携しながら、応急及び抜本的対策の検討を進めます。	流域治水プロジェクトの検討・策定	1	件	1	A	県や近隣市町村が連携して、「耳川」、「塩見川」の流域治水プロジェクトを策定し、令和3年8月末に公表しました。 また、3月に2地区において説明会を実施しました。	これまでも分野ごとにさまざまな防災対策を講じてきましたが、頻発・激甚化する自然災害を踏まえ、更なる関係団体との連携により、防災対策の強化と市民の防災意識を高めていく必要があります。	県や近隣町村と連携し、「耳川」、「塩見川」以外の2級河川の流域治水プログラムを策定します。
15	－	6　浸水被害対策に取り組みます。	下水道課	浸水被害軽減対策事業	315	浸水被害の軽減を図るための対策を行う必要があります。	台風やゲリラ豪雨等により、浸水被害が想定される場合に、早急に排水ポンプを設置し、被害の軽減を図ります。	下水道計画区域内での浸水による人的被害の件数	0	件	0	A	豪雨等による浸水被害が予測される地区に排水ポンプを設置し、浸水被害の軽減対策を行いました。 ・排水ポンプ設置稼働回数2回	現状の対策は、浸水被害に対する抜本的な解決手段ではなく、軽減策です。 現時点では、抜本的な浸水被害の解消を図るための具体的な整備手法および時期が未定の状況です。	引き続き、関係地区との意見交換を行いつつ、時代の潮流や最新の住民ニーズ等を適格に捉え、最適な事業手法を整理する必要があります。

４－１－３　国土強靭化の推進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
16	－	7　木造住宅やブロック塀などの耐震化に取り組みます。	建築住宅課	日向市木造住宅耐震化促進事業	185	耐震改修工事費が高額となるため、耐震診断の結果、耐震性が不十分とされた住宅所有者が改修を断念する事例が見られます。	アドバイザー派遣15件、耐震診断10件、耐震改修5件 耐震診断を行い耐震性がないと判断された所有者へのフォローアップを行います。	耐震診断 耐震改修	10 5	件 件	10 5	A A	・コロナ禍により相談会は実施しませんでした。 ・耐震診断の評点が1.0未満の住宅で改修未実施の所有者に対しフォローアップを行いました。 ・目標どおりの耐震診断・改修補助を実施しました。	・対象となる木造住宅の所有者の多くは高齢者であり、高額な工事費を負担しきれないため、工事を断念する事例が見られます。 ・改修工事や耐震診断を促進するには工事費のローコスト化、精度の高い概算見積の所有者への提示が必要となりますが、事業者が不足しローコスト化が進まない状況が見られます。 ・相談、申請件数が減少傾向です。	・空き家も対象となるよう耐震化補助の拡充を検討します。 ・工事費のローコスト化や事業者の確保が必要となるため、県が進める勉強会に事業者が参加するよう促します。 ・さらなる耐震化の促進に向けた対応策について検討し、必要に応じて事業内容を見直します。
17	－	7　木造住宅やブロック塀などの耐震化に取り組みます。	建築住宅課	日向市危険ブロック塀等除却推進事業	185	危険ブロック塀は未だ多数残存しており、補助対象区域外の除却促進にも取組んで行く必要があります。	ブロック塀除却補助 10件 補助対象区域外除却 5件	ブロック塀除却補助 補助対象区域外チラシ配布	10 100	件 件	14 0	A C	・制度周知のチラシをポスティングすること等により目標件数以上の除却補助が活用されました。 ・小学校から500m圏内を重点的に実施するため、対象区域外へのチラシ配布は行いませんでした。	・補助対象範囲内に3年間周知のチラシポスティングをしてきましたが申請が増えない状況となっています。	・小学校から500mの補助対象範囲を拡大する方向で検討します。
18	－	8　公共建築物の耐震化や老朽化した施設の改修・更新に取り組みます。	資産経営課	公共施設老朽化対策事業	106	市の公共施設の多くは老朽化が進行しているため、計画的な改修・更新が必要です。	建物系施設の老朽化対策として、計画的な修繕・維持補修工事を総括的に行います。	修繕・維持補修工事等の老朽化対策に取り組んだ公共施設数	10	施設	16	A	総括的な修繕・維持補修工事について、優先順位を付した上で16施設の工事を実施しました。	事後保全的な工事が多くなっており、必ずしも計画的なマネジメントにつながっているとは言えない状況です。	計画的な修繕、維持補修に取り組んでいくためにも、予防保全としての工事も進めていく必要があります。
19	－	9　防災重点ため池の整備に取り組みます。	農業畜産課	県営ため池整備事業	162	地元との調整を行い、事業を実施する必要があります。	令和4年度からの工事着手に向けた実施設計業務にかかる地元調整を行います。	事業着手に向けた地元同意率	100	%	100	A	令和4年度からの工事着手に向けた実施設計業務にかかる地元調整を行いました。	地元との調整を行い、事業を実施する必要があります。	円滑な事業推進に向け、地元調整を実施します。

４－２　便利で住みやすいまちづくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が2個、【B】が1個となり、概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業として、長期化している土地区画整理事業については、必要な予算を確保し、計画的な事業進捗に努めるとともに、市民の安全性と利便性を向上させるため、市道整備に取り組んでいます。また、地域公共交通の維持確保を図るため、市民バスの利用促進に向けた取組を行うとともに、路線存続に向けたバス事業者への補助金交付などを行いました。その他、情報通信基盤の整備として、市内全域の超高速通信網の整備が完了したところであり、今後は、行政手続きのオンライン化など、より質の高い住民サービスの提供や効果的な行政運営を図ります。

４－２－１　快適で便利な都市・生活拠点の整備　【令和３年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
20	土地区画整理事業区域内の新築・増築件数（累計） 【R6】 85件	1　長期化する土地区画整理事業（財光寺南地区・日向市駅周辺地区）の早期完了に向けて取り組みます。	市街地整備課	財光寺南土地区画整理事業 日向市駅周辺土地区画整理事業	180 181	（財光寺南地区） 令和4年度までの移転完了を目標に建物移転を重点的に推進します。 （日向市駅周辺地区） 県道土々呂日向線の早期完成に向けて、関係機関との調整が必要です。	（財光寺南地区） 関連する宅地造成工事、排水工事、道路築造工事を実施しながら、計画的な建物移転を推進します。 （日向市駅周辺地区） 旭通り区の計画的な建物移転・道路整備や、事業計画の変更を実施します。	土地区画整理事業施行区域内の新築・増築件数	（財光寺南地区）52 （駅周辺地区）2	件	54	A	（財光寺南地区） ・計画どおり建物移転等を推進しました。 （駅周辺地区） ・計画どおり建物移転等を推進しました。 ・事業計画の変更を実施しました。	（財光寺南地区） ・事業着手から29年が経過しており、早期完成が求められます。 （駅周辺地区） ・事業着手から23年が経過しており、早期完成が求められます。 ・人口減少が進行するなか、中心市街地の活性化対策が求められます。	（財光寺南地区） ・事業長期化の解消策の一つとして建物移転を重点的に推進します。 ・令和3年度から出来形確定測量等に着手し、業務量及び予算の平準化を実施します。 （駅周辺地区） ・長期化している事業の早期完了に向け、換地処分、建物移転に取り組みます。 ・街区単位で協議する場を設定し、情報共有及び共通理解を図り、円滑な建物移転を実施します。
21	－	2　日向市駅周辺にある公有地の高度化や有効活用について検討を行います。	都市政策課	－	－	人口減少に伴う都市のスポンジ化の進行が懸念されるため、土地の有効利用を図り、定住人口や交流人口の増加を目指す必要があります。	日向市駅周辺の公有地の高度化や有効活用の検討を進め、まちなかの活性化につなげます。	利用状況調査 通行量調査	1 1	回 回	1 1	A	・月ごとに、日向市駅東駐車場の利用状況調査を実施しました。 ・10月に日向市駅東駐車場利用者にアンケート調査を実施し、利用状況やニーズの把握に努めました。 ・11月に駅周辺地区の歩行者、自転車、車両の通行量を実施しました。	人口減少に伴う都市のスポンジ化の進行が懸念されるため、土地の有効利用を図り、定住人口や交流人口の増加を目指す必要があります。	令和3年度調査では、コロナ禍により低下していた通行量等に改善の兆しが見られました。 今後も、まちなかの定住人口や交流人口の増加に向けて、土地利用のニーズ等の把握に努めながら土地の有効利用の促進を図ります。

４－２－１　快適で便利な都市・生活拠点の整備 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
22	日向市道路整備実施計画で予定している市道のうち、道路改良が完了した路線数（累計） 【R6】 5路線	3　地域と連携を図りながら、計画的な道路整備を推進します。	建設課	南日向・日の平線改良事業（辺地）	175	市道整備においては、市民への情報発信や事業の理解を深めてもらうため、計画段階から市民が参加できる「協働のみちづくり」を進めています。今後については、限られた経営資源で整備効果を上げるため、「選択と集中」の考え方に基づいた、効率的な市道整備を推進していく必要があります。	道路改良（延長50m）を行います。	道路改良進捗率	67.4	%	67.1	A	見通しの悪い箇所の視距を確保するための道路拡幅整備し、安全性・利便性を向上させることができました。	本路線は、地区間を結ぶ主要な生活道として位置づけられており、令和３年度末進捗率67%となっています。本路線の安全性、利便性の早期確保及び早期完成が求められています。	本路線は、長期継続路線となっていることから、重点整備路線と位置付け早期完了に努めます。
23		3　地域と連携を図りながら、計画的な道路整備を推進します。	建設課	臨時地方道整備事業	176		・向ヲ原山ノ口線の道路改良（延長100m）を行います。 ・富高塩見線の測量設計を行います。 ・たぶ峠線の用地取得に取り組みます。	・向ヲ原山ノ口線 道路改良進捗率 ・たぶ峠線 道路改良進捗率	100 100	% %	100	A	道路整備を行い、離合箇所の確保や交差点改良により、安全性・利便性ともに向上させることができました。	道路整備実施計画で事業化した路線の早期整備を図るとともに、今後も、計画的な道路整備に取り組む必要があります。	向ヲ原山ノ口線、たぶ峠線が事業完了となったことから、その他の整備計画路線についても、道路整備実施計画に基づく市道整備を推進し、早期完了を目指します。
24		3　地域と連携を図りながら、計画的な道路整備を推進します。	建設課	籾木線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）	176		道路改良（延長160m）を行います。	道路改良進捗率	72.1	%	72.1	A	幅員狭小区間の切土工事を行い車両等の離合が可能となり、安全性・利便性ともに向上させることができました。	本路線は、地区間を結ぶ主要な生活道として位置づけられており、見通しの悪い箇所の視距を確保などによる安全性・利便性の向上が求められています。	本路線は、長期継続路線となっていることから、重点整備路線と位置付け早期完了に努めます。
25		3　地域と連携を図りながら、計画的な道路整備を推進します。	建設課	塩見美々津線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）	177		橋りょう上部工事を実施します。	道路改良進捗率	57.4	%	57.4	A	歩道部の橋梁設置工事を行い、計画していた橋梁上部工までを完成させることができました。	本路線周辺には、学校や病院等の施設が点在し歩行者の利用も多く、歩行者の安全確保の観点から、早期完成が求められています。	歩道部の橋梁設置工事を令和４年度までに完了させ、令和5年度までの事業完了を目指します。
26		3　地域と連携を図りながら、計画的な道路整備を推進します。	建設課	福士線（交付金）道路改良事業	177		測量設計を行い、用地を確保し、道路改良工事（延長35m）を実施します。	道路改良進捗率	10.9	%	12.0	A	道路の拡幅、排水対策等の道路改良により安全性・利便性ともに向上させることができました。	本路線は、地域再生計画に基づき、交通ネットワークの向上や森林施業の円滑化を図るため、事業の早期完了が求められています。	地域再生計画に基づく国の交付金を活用し、事業の早期完了に努めます。
27		3　地域と連携を図りながら、計画的な道路整備を推進します。	建設課	東郷橋田野線（交付金）道路改良事業	178		測量設計を行い、用地の確保に取り組みます。	測量設計調査 進捗率	40	%	40	A	見通しの改善や離合場所の確保を図る道路拡幅を実施するための、測量設計を行いました。	本路線は、地域再生計画に基づき、交通ネットワークの向上や森林施業の円滑化を図るため、事業の早期完了が求められています。	地域再生計画に基づく国の交付金を活用し、事業の早期完了に努めます。

４－２－２　地域公共交通の維持確保　【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
28	市民バスの利用者数（年間） 【R1】81,096人 ↓ 【R6】81,100人	1　市民が自由に移動できる手段を確保し、自立した生活が送れるよう支援するため、周辺地域と市街地を結ぶ市民バスを運行します。	総合政策課	地域生活交通対策事業	91	地域内集落や交通弱者等に対応するきめ細かな移動手段を確保するため、日常的に利用しやすい公共交通ネットワークの確保・維持に取り組む必要があります。	市民バスのさらなる利便性向上に向けて啓発活動等を実施し、運行見直しを含む利用者のニーズに対応する改善を図ります。	市民バス利用者数の維持	73,000	人	64,038	B	コロナ禍の影響により、利用促進に向けた啓発活動を十分に行うことができませんでした。利用者等のニーズに対応する改善として試験運行による調査やまちづくり協議会と連携し見やすい時刻表の作成等を行いました。	市民バスの利便性を高めて、通院や買い物などにおける移動手段の一つとして市民バスを生活に取り入れていただくことが必要です。	引き続き、市民バスの利用促進に向けて周知活動を行っていくとともに、ニーズに対応する改善に向けた検討を行っていきます。
29		2　近隣市町村と連携し、広域的な路線バスの維持・確保に努めます。	総合政策課	地域生活交通対策事業	91	市民生活の維持及び福祉の向上のため、基幹的交通ネットワークの充実を図る必要があります。	バス事業者と連携した利用促進や運行補助金の交付による路線の存続に努め、地域住民の利便性確保と福祉の向上を図ります。	路線バスの運行系統の維持	6	系統	6	A	補助金交付による路線の存続に努めましたが、コロナ禍の影響により、利用者は減少しています。	計画期間満了による国県補助の見直しや運行経費の増額により、今後、さらなる運行補助の負担増加が懸念されます。	関係する沿線自治体と連携し、運行系統を確保しつつ、減便等による検証を行い、負担増加を抑える調整を行っていきます。

４－２－３　情報通信技術(ICT)利活用の推進　【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
30	オンライン申請可能な行政手続の総数 【R1】22件 ↓ 【R6】60件	1　情報通信技術（ICT）の利活用による地域課題の解決を推進します。	総合政策課 ↓ R4から行政改革・デジタル推進課	業務システム運用事業	223	本市においても、人口減少・少子高齢化が急速に進んでいるため、IoTやAI、ロボットなどの情報技術を積極的に導入し、様々な地域課題の解決に取り組む必要があります。	先進事例を研究するとともに、庁内の関係部署による横断的な取組体制を整備し、ICT利活用の検討を図ります。	日向市DX推進計画の策定	100	%	100	A	「日向市情報化推進委員会」による全庁的・横断的な体制を整備するとともに、積極的かつ効果的なDX推進を図るよう「日向市DX推進計画」を策定しました。	行政手続きのオンライン化をはじめ、各分野にわたる施策が多いため横断的な取組体制が必要です。	「日向市情報化推進委員会」による全庁的・横断的な体制のもと、各課DXリーダーや関係部署によるDX検討チームを活用しながら積極的かつ効果的にDX推進を図ります。
31		2　行政手続のオンライン化（電子申請）による住民サービスの向上を図ります。	総合政策課 ↓ R4から行政改革・デジタル推進課			行政手続のオンライン化（電子申請）による住民サービスの向上に取り組む必要があります。	行政手続きのオンライン化において、庁内の行政手続きを洗い出し、紙書類による申請のうち押印廃止できるものから移行を推進します。	オンライン申請が可能な行政手続数	30	申請・届出	45	A	電子申請システムの活用により住民を対象としたアンケート等をオンライン化することができ、住民の利便性の向上と職員の業務効率化を図ることができました。	国では、マイナポータルのぴったりサービスを活用した行政手続きのオンライン化が推進されており、本市においても自庁の電子申請システムとあわせて各手続きのオンライン化を進める必要があります。	ぴったりサービスにおいては、国の標準申請様式が用意されている手続きを積極的にオンライン化します。それ以外の手続き等については、自庁の電子申請システムを活用し、行政手続きのオンライン化を図ります。

4－3　自然が残る美しいまちづくりプロジェクト

プロジェクトに関する評価	各施策において設定した成果指標の達成状況については、【A】が3個、【B】が1個となり、【C】が1個となり、コロナ禍の影響を受けた事業もありましたが、概ね順調に進捗しているものと評価しています。 本プロジェクトの主な事業は、自然に親しむ環境づくりとして児童生徒が環境保全をテーマにした学習に取り組むほか、持続可能な開発目標（SDGs）の目標達成に向けた研修会の開催や市民向けの啓発活動を行いました。また、地域住民の生活に深刻な影響を及ぼすことが懸念される空き家については、特定空家等に認定し、除却や改善の指導を行っています。今後も、持続可能な美しいまちづくりに向けて、より一層の取組が求められています。

4－3－1　自然に親しむ環境づくり 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
32	－	1　子どもが自然環境に触れ、学ぶ機会を作ります。	学校教育課	－	－	総合的な学習の時間において、自然環境の調査を行ったり、環境保全に関するボランティアに取り組んだりして、身近な環境との関わり方について考えさせています。	総合的な学習の時間において、川の水質調査や水辺の生き物調査を行ったり、環境保全のためのボランティアをしたりして、自然環境との関わりについて考えさせます。	身近な環境保全をテーマとした学習に取り組んだ学校数の割合	20	校	20	A	総合的な学習の時間や特別活動等において、自然環境の調査を行ったり、環境保全に関するボランティアに取り組んだりして、身近な環境との関わり方について考えさせることができました。	自然環境との関わりについて、考えさせる機会を継続的に設定するとともに、自ら行動できる意識の醸成を図っていく必要があります。	SDGsの視点とも関連させながら、身近な自然を保全しようとする実践意欲を高めていきます。
33	ごみ総排出量（年間） 【R1】21,541.7t ↓ 【R6】20,059t	2　環境に関する学習会や自然環境の保全活動を支援します。	環境政策課	自然保護事業	111	環境問題や環境学習に積極的に取り組むNPO、人材の育成が求められています。	河川環境モニターの監視活動、小学生による水辺環境調査、クリーンアップ日向の実施、保存樹等の管理に対する補助、ボランティア清掃活動を支援します。	①河川環境モニター活動報告件数 ②水辺環境調査の実施回数 ③クリーンアップ日向参加者数	①156 ②7 ③600	①件 ②回 ③人	①154 ②　8 ③542	A	コロナ禍のため、中止していた「クリーンアップ日向」を実施しました。	「クリーンアップ日向」の参加者において国、県出先機関の参加依頼をするべきでした。	県北部港湾事務所や県土木事務所には、次回は是非参加をお願いしますと声かけをしているので、文書で参加依頼を行います。

4－3－2　SDGsの推進 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
34	SDGsセミナー参加者の満足度 【R6】90.0%	1　SDGsについて学ぶ機会の創出や啓発活動に取り組みます。	総合政策課	総合計画・SDGs推進事業	90	「地方創生SDGsの実現」を重点戦略の横断的な目標に掲げていますが、SDGsに対する市民の理解が不足しているため、市民の意識向上を図り、市民一人ひとりがステークホルダーとして参画してもらえるまちづくりを目指す必要があります。	市民への周知活動、研修会等を実施します。	職員又は民間企業等を対象とした研修会の開催回数	2	回	1	C	令和4年1月に職員を対象としたSDGs研修会をリモートで開催しました。民間企業向けセミナーについては、令和4年3月に実施することとして参加企業(者)を募集しましたが、募集期間が「まん延防止等重点措置」の期間に重なったことなども影響し、応募者が最少催行人員に達しなかったため開催を見送りました。広報ひゅうがを活用した啓発については、令和3年5月号に特集記事を掲載したほか、12月号からはSDGs推進に向けた記事を連載しています。	感染状況によっては、人が集まることが制限される可能性がある中で、対面形式のセミナーを企画することが難しい状況です。	研修会については、感染状況に応じてリモート開催を検討するなど、状況に応じた情報発信のあり方を検討し実践していきます。

４－３－２　SDGsの推進 【令和3年度施策レベル評価：C】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
35	SDGsセミナー参加者の満足度 【R6】90.0%	2　SDGsの達成に向け、官民が一体となった推進体制を構築します。	総合政策課	総合計画・SDGs推進事業	90	「地方創生SDGsの実現」を図るため、行政だけではなく企業や民間団体、個人がステークホルダーとして参画してもらえるような仕組みを作る必要があります。	日向市SDGsパートナーシップ制度（仮称）を構築し、市民に活動内容を周知するとともに、参画団体等を増やします。	SDGsをテーマとした講演会の開催回数	1	回	0	C	地方創生SDGsの推進に向けた行政と企業等とのパートナーシップ制度の事例について情報収集を行いました。 SDGsをテーマとした講演会については、コロナ禍を考慮して開催を見送りました。 市民の皆さんが主体的にSDGsに取り組むための機運醸成に向けて、広報ひゅうがにSDGsの推進に関する連載記事を掲載しています。	SDGsへの関心や知識については、企業や個人に差が生じており、的を絞った啓発が必要になっています。	「地方創生SDGsの実現」を図るため、行政だけではなく企業や民間団体、個人がステークホルダーとして参画してもらうことが必要であることから、ターゲットを明確にした情報発信を行うなど、啓発を強化します。

４－３－３　ひゅうが海景の形成 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
36	－	1 「ひゅうが海景」（日向岬～権現崎）の適正な維持管理を行い、地域資源を生かした良好な景観形成を図ります。	市街地整備課	全市緑花推進事業	181	日豊海岸国定公園内の公共用地においては、適切に管理を実施していますが、民有地においては所有者の同意、維持管理にかかる経費等の課題があります。	日豊海岸沿道修景の眺望確保、適正な維持管理を実施します。	日豊海岸等沿道における魅力的な眺望確保の箇所数	4	箇所	4	A	適正な維持管理を行いました。	・日豊国定公園を中心とする海岸線の眺望は日向市の魅力の一つであり、今後も魅力的な眺望確保にための継続した取り組みが望まれます。	・コスト縮減に努め、継続的な除草等の維持管理に努めます。

４－３－４　空き家の適切な管理と利活用 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
37	－	1　地域住民の生活に深刻な影響を及ぼすことが懸念される空き家の適正な管理を促進します。	建築住宅課	日向市空家等対策推進事業	186	・周辺環境に悪影響を及ぼすおそれのある空き家については、特定空家等に認定し、除却や改善の指導を行っています。	・相談や苦情のあった空家等の所有者等へ適正管理、利活用について助言・指導を行います。 ・危険空家5件の除却支援を行います。	老朽化が著しい空き家の除却件数	20	件	27	A	・特定空家等　新規認定2件・除却2件 ・空き家の状況が最も悪いDランク所有者の調査を行いました。 ・危険空家4件の除却補助を行いました。	・苦情相談のあった空き家所有者等へ適正管理を依頼していますが、対応されることが少ない状況です。	・苦情対応されない空き家は、立入調査を実施し、状況に応じて、危険空家除却補助制度の案内や、特定空家等の認定を検討します。

４－３－４　空き家の適切な管理と利活用 【令和3年度施策レベル評価：B】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
38	－	2　空き家・空き店舗を移住者向け住居やワーケーションなどに活用します。	建築住宅課 市街地整備課	日向市空家等対策推進事業	186	・市内には、活用可能な空き家が多数ありますが、様々な事情から活用されないまま放置されています。 ・令和2年度末の中心市街地の空き店舗数は21件で、年々増加傾向にあり、更に今後はコロナ禍の影響が懸念されます。	・空き家所有者等の利活用の意向を把握するためアンケート調査を実施し、空き家等情報バンク登録を促進します。 ・移住者が空き家等情報バンク物件を活用する場合に改修工事費を補助します。 ・空き家等情報バンクに登録する場合に、家財道具処分や樹木剪定等の環境整備費を補助します。 ・中心市街地空き店舗対策事業の情報発信を行いながら、商工会議所等と連携して空き店舗の有効活用を図ります。	空き家等情報バンク登録件数 中心市街地空き店舗対策事業補助金交付件数	20 3	件 件	15 4	B A	・空き家の所有者等を調査し、8月に東郷地区、1月に幸脇地区の利活用意向アンケート調査を実施しました。 ・空き家等情報バンクに登録された物件のうち17件が利活用されました。 ・空き家等情報バンク登録を条件に1件の家財処分、清掃費を補助しました。 ・全国空き家アドバイザー協議会宮崎県日向支部が設立されました。	・利活用アンケートの回収率は41.6%となっており、所有者等の関心を高め、回収率を向上させる取組が必要です。 ・空き家等情報バンク物件の改修工事費の補助が活用されていません。	・空き家等情報バンク物件の改修工事費等の支援制度の活用を含め、関係団体と連携を図りながら、同バンクの利用改善に取り組みます。
39	－	2　空き家・空き店舗を移住者向け住居やワーケーションなどに活用します。	商工港湾課	[新型コロナ対策]ワーケーション推進事業	375	ワーケーションは、あくまでも企業誘致や移住への入口なので、活用可能な施設についても、しっかりと検討を重ねる必要があります。	ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	ワーケーション実証実験への参加者数	90	人	80	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開始時期の延期や予約のキャンセル等があったものの、現地でのワーケーション参加者が55名、代替事業として行った副業人材を活用したワーケーション課題解決調査に25名が参加しました。 また、一連の取組が県内の先進事例として報道等で大きく報じられました。	ワーケーションで活用する施設については、物理・情報セキュリティ面だけでなく、交通アクセスや通信環境など、クリアすべきさまざまな要件があるため、しっかりと活用に向けた検討を重ねる必要があります。	日向市におけるワーケーションオフィスについては、市が直営で運営する形態ではないため、活用していくのであれば、補助制度の創設等、支援体制の検討が必要となります。

４－３－５　適切なごみ処理の促進 【令和3年度施策レベル評価：A】

番号	代表的な指標（KPI）	施策の内容	所管課	予算事業名	決算内容ページ	現状と課題	R3取組内容（目標）	令和3年度　成果指標					事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
								指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
40	ごみ総排出量(年間) 【R1】21,541.7t ↓ 【R6】20,059t	1　適切なごみの排出に関する指導を行います。	環境政策課	ごみ処理事業	114	コロナ禍の中、不適正なごみ排出が増加している。感染防止の観点から破袋作業を中断し、戸別訪問指導していないことも、ひとつの原因と思われます。	クリーンステーションへ排出された、適正でないごみの貼紙啓発を行います。また、適正でない排出者に対し、適正排出のチラシ等の投函や戸別訪問を実施します。	貼り紙啓発件数	21,600	件	42,950	A	コロナ禍においても、特に悪いごみ排出者には、啓発チラシを戸別投函しました。	コロナ禍による活動自粛のため、不適正なごみ出しが顕在化しています。	ウィズコロナの下で、戸別訪問を再開していきます。
41		2　不法投棄の防止に向けた啓発を行います。	環境政策課	不法投棄対策事業	115	不法投棄の発生場所については、市内10ヶ所ほどが固定化しており、市内を5つのエリアに分け、パトロールを実施しているが、不法投棄は後を絶たない状況です。	不法投棄が固定化している箇所を中心に、さらなるパトロールの強化及び関係機関との連携を密に不法投棄防止に努めます。	不法投棄パトロール回数	パトロール回数180（月15回×12ヶ月＝180）	回	149	A	固定化していた不法投棄箇所の一部は、解消できました。	家庭ごみの不法投棄が後を絶たず警察案件までとなったケースがありました。	監視カメラを追加購入したので、抑止力の効果を上げていきます。

凡　　例

凡　　例

令和３年度に施行された事業について評価を行い、評価結果を成果説明書として作成しました。評価の対象とならない事業については、各事業の歳出明細を作成しております。また、新型コロナウイルス感染症対策事業については、緊急を要する感染症対策や経済対策の経費として、事業の目的と活動内容、効果を記載し作成しております。

評価の対象とならない事業

①法定義務経費

②公債費、基金積立、災害復旧費等

③特別会計への繰出金等

④事務費、施設管理費、協議会（報酬、旅費のみ）等

⑤指定管理者制度を導入している公の施設の管理運営費　など

所　管　部　局：事業の所管部局名を表示しています。

所　　管　　課：事業の所管課名・係名を表示しています。

款　　項　　目：事業の款名・項名・目名を表示しています。

事業（大事業）：事業の大事業名を表示しています。

事業（中事業）：事業の中事業名を表示しています。

事業（小事業）：事業の小事業名を表示しています。

細節コード：事業の細節コードを表示しています。

細節等名称：事業の細節等の名称を表示しています。

支出済額（細節）：事業の細節等の支出済額を表示しています。

予算現額：事業の令和３年度の予算額を表示しています。

支出済額：事業全体の細節等の支出済額を表示しています。

翌年度繰越額：継続費逓次繰越、繰越明許費、事故繰越しの額を表示しています。

不用額：事業全体の予算の不用額（予算残額）を表示しています。

決算額の財源内訳：決算額の財源内訳を国庫支出金・県支出金・市債・その他・一般財源で表示しています。

目的：事業の実施によって何を実現するか、どういった効果(成果)を得ようとしているかについて表示しています。

事業活動内容：事業の活動内容について全体概要を表示しています。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：事業の「委託料」「工事請負費」「負担金補助及び交付金」について、明細を表示しています。
ただし、明細の数が多い事業は、主な内容のみを表示しています。

成果及び改善点等：成果の欄は、事業の活動によって得られた成果について表示しています。
課題・改善点の欄は、事業の現状や抱える課題の抽出、それらの課題解決のための方策を表示しています。

今後の方向性：コスト投入や成果等を踏まえた事業の方向性(「拡充」「維持」「縮小」「終了」「要改善」)について表示しています。

事業効果：新型コロナウイルス感染症対策としての事業の活動によって得られた効果や成果について表示しています。
(新型コロナウイルス感染症対策事業)

令和3年度成果説明書　事業目次

【評価対象事業】

■一般会計

（総合政策部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総合政策課	02	01	07	01	04	01	高校魅力向上支援事業	89
総合政策課	02	01	07	23	05	04	東京2020オリパラ・ホストタウン事業	89
総合政策課	02	01	07	39	02	02	定住促進事業	90
総合政策課	02	01	07	41	01	05	総合計画・SDGs推進事業	90
総合政策課	02	01	07	47	02	38	市制施行70周年記念PR事業	91
総合政策課	02	01	07	32	03	01	地域生活交通対策事業	91
総合政策課	02	01	07	41	04	02	定住自立圏形成推進事業	92
総合政策課	02	01	07	09	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業	92
総合政策課	02	01	07	09	01	02	男女共同参画プラン策定事業	93
総合政策課	02	01	07	09	03	01	DV対策推進事業	93
総合政策課	02	01	07	09	01	03	女性活躍推進事業	94
秘書広報課	02	01	03	40	01	02	広報・広聴機能の充実に関する事業	94
秘書広報課	02	01	08	40	01	01	ホームページ等運用事業	95
地域コミュニティ課	02	01	01	10	02	02	外国青年招致及び国際交流まちづくり推進事業	95
地域コミュニティ課	02	01	07	38	01	02	新しい地域コミュニティ組織制度事業	96
地域コミュニティ課	10	05	02	04	02	01	自治公民館の整備助成	96
地域コミュニティ課	10	05	02	38	01	05	自治公民館活動支援事業	97
地域コミュニティ課	02	01	07	38	02	01	ひまわり基金事業	97
地域コミュニティ課	02	01	07	38	02	02	協働のまちづくり推進事業	98
地域コミュニティ課	02	01	16	08	02	01	人権・同和行政推進事業	98

（総務部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総務課	02	01	01	08	03	01	平和推進事業	99
総務課	02	01	01	47	02	37	市制施行70周年記念式典事業	99
財政課	02	01	04	41	01	01	公会計制度改革に要する経費	100
財政課	02	01	04	41	01	09	行政経営推進事業	100
職員課	02	01	02	45	02	01	福利厚生制度の充実に要する経費	101
職員課	02	01	01	41	02	02	行政改革推進に要する経費	101
職員課	02	01	02	40	02	01	人事評価制度推進事業	102
職員課	02	01	02	40	02	02	職員研修事業	102
防災推進課	02	01	13	25	01	01	災害予防対策事業	103
防災推進課	02	01	13	25	01	04	防災計画等策定事業	103
防災推進課	02	01	13	25	01	06	防災情報収集・伝達事業	104
防災推進課	02	01	13	25	01	05	地域防災力向上支援事業	104
防災推進課	02	01	13	25	02	01	地震・津波防災施設整備事業	105
資産経営課	02	01	04	41	03	01	公共施設マネジメント推進事業	105
資産経営課	02	01	06	41	03	07	公共施設老朽化対策事業	106
資産経営課	10	06	02	07	03	04	日向市総合体育館整備事業	106

（市民環境部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
税務課	02	01	04	42	02	08	債権の適正管理事業	107
市民課	02	03	01	40	04	03	住民基本台帳事務費	107
市民課	02	01	14	26	03	02	消費者行政強化事業	108
市民課	02	01	14	26	04	01	各種相談(人権・法律等)事業	108
市民課	04	01	03	26	05	01	畜犬(登録・狂犬病予防)事業	109
市民課	02	01	14	26	02	02	地域安全啓発事業	109
市民課	02	01	14	26	02	03	交通安全対策事業	110
市民課	02	01	14	26	02	04	水難防止啓発事業	110
市民課	02	03	01	40	04	05	マイナンバーカード取得推進事業	111
環境政策課	02	01	15	28	01	02	自然保護事業	111
環境政策課	04	01	03	28	01	04	環境衛生に要する経費	112
環境政策課	04	01	05	28	03	01	公害対策事業	112
環境政策課	04	02	03	46	04	03	財光寺汚泥処理場施設管理運営費	113
環境政策課	04	02	02	27	01	01	樹木リサイクル事業	113
環境政策課	04	02	02	27	02	01	ごみ処理事業	114
環境政策課	04	01	05	27	01	03	生ごみリサイクル推進事業	114
環境政策課	04	02	01	27	01	02	資源回収事業	115
環境政策課	04	02	02	27	02	02	不法投棄対策事業	115

（福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	01	15	01	01	ボランティア活動支援事業(民生委員活動費の補助等)	116
福祉課	03	01	01	15	01	02	日向市社会福祉協議会の支援に要する経費	116
福祉課	03	01	01	15	01	03	民間福祉活動支援事業	117
福祉課	03	01	01	15	01	04	「地域福祉計画」推進事業	117
福祉課	03	01	01	15	01	13	重層的支援体制整備事業への移行準備事業	118
福祉課	03	04	01	25	02	14	災害応急対策の充実に要する経費	118
福祉課	03	01	02	14	01	02	福祉関係団体運営補助に要する経費(市単)	119
福祉課	03	01	02	14	02	05	人工透析者交通費助成事業(市単)	119
福祉課	03	01	02	14	02	08	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	120
福祉課	03	01	02	14	02	12	心身障害児介護手当給付事業(市単)	120
福祉課	03	01	02	14	02	13	理容・美容サービス事業(市単)	121
福祉課	03	01	02	14	02	14	福祉機器貸与・リサイクル事業(市単)	121
福祉課	03	01	02	14	02	15	障害者地域生活支援事業	122
福祉課	03	01	02	14	02	16	意思疎通支援事業	122
福祉課	03	01	02	14	03	02	障害者社会参加促進事業	123
福祉課	03	01	02	14	03	03	重度障害者タクシー料金助成事業(市単)	123
福祉課	03	01	02	14	02	07	障害児療育等援助事業(市単)	124
福祉課	03	01	02	14	02	22	相談支援事業	124

（福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	02	14	02	23	移動支援事業	125
福祉課	03	01	02	14	02	24	地域活動支援センター事業	125
福祉課	03	03	01	15	02	02	生活保護の適正実施推進事業(補助対象)	126
福祉課	03	03	01	15	02	03	生活保護の適正実施推進事業(市単)	126
福祉課	03	03	01	15	02	04	生活困窮者自立支援事業	127
こども課	03	02	01	11	03	11	子ども医療費助成事業	127
こども課	03	02	01	11	04	01	放課後児童クラブ事業	128
こども課	03	02	02	11	06	02	寡婦医療費助成事業	128
こども課	03	02	02	11	06	04	ひとり親家庭医療費助成事業	129
こども課	03	02	02	11	06	05	高等職業訓練促進給付金等事業	129
こども課	03	02	02	11	06	06	自立支援教育訓練給付金事業	130
こども課	03	02	02	11	06	08	母子・父子自立支援員設置事業	130
こども課	03	02	01	11	03	13	発達障がい児相談員設置事業	131
こども課	03	02	01	11	03	14	子育て短期利用事業	131
こども課	03	02	01	11	07	01	家庭児童相談員設置事業	132
こども課	03	02	01	11	07	02	児童虐待防止対策支援事業	132
こども課	03	03	01	15	03	01	子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	133
こども課	04	01	02	11	02	01	ヘルシースタート事業	133
こども課	04	01	02	12	01	05	小児予防接種事業	134
こども課	03	02	01	11	03	08	保育所等整備事業	134
こども課	03	02	01	11	03	15	一時預かり事業	135
こども課	03	02	01	11	03	17	障がい児保育事業	135
こども課	03	02	01	11	04	02	延長保育促進事業	136
こども課	03	02	01	11	04	03	病児・病後児保育事業	136
こども課	03	02	01	11	04	04	認可外保育施設支援事業	137

（健康長寿部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	02	高齢者社会参加・交流促進事業	137
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	03	シルバー人材センター支援に要する経費	138
高齢者あんしん課	03	01	04	13	02	05	在宅高齢者支援事業	138
健康増進課	04	01	02	12	01	01	食生活改善推進事業	139
健康増進課	04	01	02	12	01	08	健康増進事業	139
健康増進課	04	01	02	12	01	10	がん検診推進事業	140
健康増進課	04	01	02	12	01	11	感染症対策に要する経費	140
健康増進課	04	01	02	12	01	13	自殺対策事業	141
健康増進課	04	01	01	12	02	02	救急医療体制整備事業	141
健康増進課	04	01	01	12	02	05	地域医療体制整備事業	142
健康増進課	04	01	06	12	02	03	初期救急診療所事業	142

（商工観光部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
商工港湾課	05	01	02	21	01	06	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	143
商工港湾課	05	01	02	21	01	07	就業支援に要する経費	143
商工港湾課	07	01	02	20	01	02	商工会議所等運営補助事業	144
商工港湾課	07	01	02	20	01	12	中小企業特別融資事業	144
商工港湾課	07	01	02	20	01	16	住宅リフォーム促進事業	145
商工港湾課	07	01	02	20	01	19	商工業振興事業	145
商工港湾課	07	01	02	20	02	02	地場産業振興事業	146
商工港湾課	07	01	02	22	02	01	ひむかーBiz運営事業	146
商工港湾課	07	01	02	20	01	17	ふるさと融資事業	147
商工港湾課	07	01	02	22	01	01	企業誘致推進事業	147
商工港湾課	07	01	02	22	01	10	[R02国補正]地方創生テレワーク交付金事業	148
商工港湾課	08	04	01	36	01		重要港湾等整備事業	148
商工港湾課	08	04	01	36	02	01	物流等対策事業	149
商工港湾課	08	04	01	36	02	05	みなとオアシス推進事業	149
観光交流課	07	01	03	23	01	03	広域観光ルート推進事業	150
観光交流課	07	01	03	23	03	02	観光客誘致推進事業	150
観光交流課	07	01	03	23	04	01	観光振興事業	151
観光交流課	07	01	03	23	04	02	日向市観光協会運営補助事業	151
観光交流課	07	01	03	46	07	13	その他の観光施設等管理運営費	152
観光交流課	07	01	03	23	05	02	スポーツキャンプ活性化事業	152
観光交流課	07	01	03	23	05	01	サーフタウン日向推進事業	153
観光交流課	07	01	03	23	05	06	ビーチイベント開催事業	153

（農林水産部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
農業畜産課	06	01	03	17	01	04	経営継承・発展等支援事業	154
農業畜産課	06	01	03	17	01	05	農業人材力強化総合支援事業	154
農業畜産課	06	01	03	17	03	04	農業振興事業	155
農業畜産課	06	01	03	17	03	05	農業施設付帯設備設置促進対策事業	155
農業畜産課	06	01	03	17	03	06	中山間地域等直接支払交付金事業	156
農業畜産課	06	01	03	17	03	07	圃場物流体制整備事業	156
農業畜産課	06	01	03	17	06	01	環境保全型農業直接支援対策事業	157
農業畜産課	06	01	03	46	06	01	農産加工施設管理運営費	157
農業畜産課	06	01	09	17	01	03	農業経営対策事業	158
農業畜産課	06	01	04	17	04	01	生産性向上対策事業	158
農業畜産課	06	01	04	17	04	02	家畜防疫推進事業	159
農業畜産課	06	01	05	17	05	04	多面的機能支払交付金事業	159
農業畜産課	06	01	05	17	05	20	農地耕作条件改善事業	160
農業畜産課	06	01	05	17	05	22	中山間地域農業農村総合整備事業	160
農業畜産課	06	01	05	17	05	23	農道橋梁長寿命化対策事業	161
農業畜産課	06	01	06	17	05	08	県営鵜毛・親木地区基盤整備事業	161
農業畜産課	06	01	08	17	05	05	土地改良施設維持管理適正化事業	162
農業畜産課	06	01	08	17	05	06	県営ため池等整備事業	162

（農林水産部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業畜産課	06	01	08	17	05	12	富島幹線用水路整備事業	163
林業水産課	06	02	02	18	01	12	林業成長産業化地域創出モデル事業	163
林業水産課	06	02	02	18	02	01	林業振興費	164
林業水産課	06	02	02	18	02	02	有害鳥獣対策事業	164
林業水産課	06	02	02	18	04	05	森林づくり推進事業	165
林業水産課	06	02	02	18	01	04	林道整備県営事業負担金	165
林業水産課	06	02	02	18	01	05	横瀬・広瀬線(交付金)林道改良事業	166
林業水産課	06	02	02	18	01	08	林道等改良事業	166
林業水産課	06	02	02	18	01	09	熊山線(交付金)林道改良事業	167
林業水産課	06	02	02	18	01	13	林道施設長寿命化対策事業	167
林業水産課	06	01	05	32	01	01	地籍調査事業	168
林業水産課	06	03	02	19	01	01	漁業近代化施設整備事業	168
林業水産課	06	03	02	19	01	02	魚貝類放流事業	169
林業水産課	06	03	02	19	01	03	保護水面管理事業	169
林業水産課	06	03	02	19	02	01	漁業振興育成事業	170
林業水産課	06	03	02	19	03	01	魚貝類放流事業(内水面)	170
林業水産課	06	03	02	19	03	02	増養殖場整備事業	171
林業水産課	06	02	02	18	04	10	森林整備推進事業	171
林業水産課	06	02	02	18	04	08	森林経営管理制度事業	172
ふるさと物産振興課	02	01	07	42	02	02	ふるさと日向市応援寄附金事業	172
ふるさと物産振興課	06	01	03	17	02	03	日向地域のブランド確立推進事業	173
ふるさと物産振興課	06	01	03	17	02	05	へべす振興対策事業	173

（建設部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
都市政策課	08	05	01	32	01	05	日向市立地適正化計画策定事業	174
都市政策課	08	05	01	35	01	03	景観まちづくり推進事業	174
建設課	08	01	01	25	01	15	急傾斜地崩壊対策事業	175
建設課	08	02	03	34	02	01	南日向・日の平線改良事業(辺地)	175
建設課	08	02	03	34	02	02	臨時地方道整備事業	176
建設課	08	02	03	34	02	03	剱木線道路改良事業(社会資本整備総合交付金)	176
建設課	08	02	03	34	02	06	塩見美々津線道路改良事業(社会資本整備総合交付金)	177
建設課	08	02	03	34	02	17	福士線(交付金)道路改良事業	177
建設課	08	02	03	34	02	18	東郷橋田野線(交付金)道路改良事業	178
建設課	08	02	02	34	02	09	市道維持管理費	178
建設課	08	02	04	34	02		橋梁長寿命化事業	179
建設課	08	02	03	33	01	04	幡浦地区住環境整備事業(社会資本整備総合交付金)	179
建設課	08	01	01	34	01	02	東九州自動車道協力事業	180
市街地整備課	08	05	02	33	01		財光寺南土地区画整理事業	180
市街地整備課	08	05	02	33	01		駅周辺土地区画整理事業	181
市街地整備課	08	05	01	35	02	03	全市緑花推進事業	181
市街地整備課	08	05	04	34	02	12	高砂通線改良事業(社会資本整備総合交付金)	182
市街地整備課	08	05	07	33	02	02	お倉ヶ浜総合公園整備事業	182
市街地整備課	08	05	07	33	02	05	都市公園管理運営費	183
市街地整備課	07	01	02	32	02	01	中心市街地活性化対策事業	183
市街地整備課	07	01	02	32	02	03	市制施行70周年タイムカプセル開封事業	184
建築住宅課	08	01	02	31	02	02	建築行為等に係る道路拡幅整備事業	184
建築住宅課	08	01	02	31	02	05	日向市木造住宅耐震化促進事業	185
建築住宅課	08	01	02	31	02	10	日向市危険ブロック塀等除却推進事業	185
建築住宅課	08	01	02	31	02	11	住宅マスタープラン策定事業	186
建築住宅課	08	01	02	31	03	01	日向市空家等対策推進事業	186

（東郷総合支所）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
東郷地域振興課	02	01	07	39	01	01	中山間地域振興事業	187

（消防本部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
消防本部総務課	09	01	02	24	02	01	消防団活性化の推進に要する経費	187
消防本部総務課	09	01	02	24	02	02	非常備消防装備の充実に要する経費	188
消防本部総務課	09	01	02	24	02	03	非常備消防の活動に要する経費	188
消防本部予防課	09	01	01	24	01	03	火災予防体制の強化に要する経費	189
消防本部警防課	09	01	01	24	01	04	救急体制の強化に要する経費	189
消防本部警防課	09	01	01	24	01	05	救助・警防体制の強化に要する経費	190
消防本部警防課	09	01	03	24	01	08	常備消防施設等の整備に要する経費	190
消防本部警防課	09	01	03	24	02	05	非常備消防施設の充実に要する経費	191

（上下水道局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
下水道課	04	01	03	30	03	02	生活排水対策(浄化槽設置整備事業)	191

（議会事務局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
議会事務局	01	01	01	43	02	01	市議会だより発行事業	192
議会事務局	01	01	01	43	02	07	議会中継に要する経費	192

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
教育総務課	10	02	03	02	04		細島小学校改築事業	193
教育総務課	10	05	01	06	02	01	文化財の保存と活用に要する経費	193
教育総務課	10	05	01	06	02	03	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(補助)	194
教育総務課	10	05	01	06	02	04	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(単独)	194
学校教育課	10	01	02	01	02	01	就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費	195
学校教育課	10	01	02	01	02	09	「囲碁のまち日向市」モデル事業	195
学校教育課	10	01	02	01	02	14	読書活動充実事業	196

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
学校教育課	10	01	02	02	01	01	スクールサポート事業	196
学校教育課	10	02	02	01	02	33	学校ICT環境整備事業(小学校)	197
学校教育課	10	03	02	01	02	34	学校ICT環境整備事業(中学校)	197
学校教育課	10	01	02	01	02	23	日向市教育振興会の助成に要する経費	198
学校教育課	10	01	02	01	02	25	キャリア教育推進事業	198
学校教育課	10	01	02	01	02	38	外国語教育推進事業	199
学校教育課	10	01	02	01	02	50	教職員の働き方改革推進事業	199
学校教育課	10	01	02	01	02	60	コミュニティ・スクール活性化推進事業	200
学校教育課	10	01	02	01	03	01	障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費	200
学校教育課	10	06	01	02	02	01	就学時健康診断に要する経費	201
学校教育課	10	06	01	02	02	02	保健体育の充実に要する経費	201
学校教育課	10	06	01	02	02	03	安全教育の推進に要する経費	202
学校教育課(小学校)	10	01	02	01	02	39	コミュニティ・スクール(小学校)に要する経費	202
学校教育課(小学校)	10	02	02	01	02	28	教育振興に要する経費(小学校)	203
学校教育課(中学校)	10	01	02	01	02	40	コミュニティ・スクール(中学校)に要する経費	203
学校教育課(中学校)	10	03	02	01	02	30	教育振興に要する経費(中学校)	204
学校給食センター	10	06	03	02	03	02	給食調理に要する経費(学校給食センター)	204
学校給食センター	10	06	03	02	03	03	安全衛生対策に要する経費(学校給食センター)	205
学校給食センター	10	06	03	02	03	09	学校給食費公会計化導入事業	205
図書館	10	05	03	05	01	01	図書館サービス・資料の充実に要する経費	206
図書館	10	05	03	05	02	01	児童サービスに要する経費	206
図書館	10	05	03	05	02	02	生涯学習ボランティア(図書館)の育成事業	207
スポーツ・文化振興課	10	06	01	07	02	07	競技スポーツ推進事業	207
スポーツ・文化振興課	10	06	01	07	02	08	国民スポーツ大会宮崎大会推進事業	208
スポーツ・文化振興課	10	05	01	06	01	01	芸術文化事業	208
スポーツ・文化振興課	10	05	01	06	03	01	牧水顕彰事業	209
生涯学習課	10	05	01	01	04	03	放送大学支援事業	209
生涯学習課	10	05	01	03	01	01	子ども情報提供事業	210
生涯学習課	10	05	01	03	01	02	地域教育力活性化推進事業	210
生涯学習課	10	05	01	03	01	03	放課後子ども教室推進事業	211
生涯学習課	10	05	01	03	01	06	ふるさと再発見！子どもの夢実現サポート事業	211
生涯学習課	10	05	01	03	02	01	青少年育成センター事業	212
生涯学習課	10	05	01	04	01	02	社会教育指導員事業	212
生涯学習課	10	05	01	04	01	03	学習情報提供事業	213
生涯学習課	10	05	01	04	01	04	成人式に要する経費	213
生涯学習課	10	05	01	04	03	01	自主学級事業	214
生涯学習課	10	05	01	04	04	01	社会教育団体育成事業	214
生涯学習課	10	05	02	03	01	05	子ども土曜教室事業	215
生涯学習課	10	05	02	04	01	06	高齢者学習活動事業	215
生涯学習課	10	05	02	04	02	02	公民館主催講座事業	216

（選挙管理委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
選挙管理委員会事務局	02	04	02	44	01	01	選挙啓発に要する経費	216

（農業委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業委員会事務局	06	01	02	17	05	16	農地中間管理機構支援事業	217

【評価対象外事業】

（総合政策部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
総合政策課	02	01	07	32	01	04	土地利用規制等対策事務費	219
総合政策課	02	01	07	47	02	17	総合政策一般事務費	219
総合政策課	02	01	07	41	04	01	広域連携の推進事業	220
総合政策課	02	05	01	41	02	07	学校基本調査	220
総合政策課	02	05	01	41	02	09	統計調査員確保対策事業	221
総合政策課	02	05	01	41	02	14	経済センサス	221
総合政策課	02	05	01	47	02	19	統計一般事務費	222
総合政策課	02	01	07	47	02	18	情報政策一般事務費	222
総合政策課	02	01	08	37	01	02	庁内LAN運用費	223
総合政策課	02	01	08	41	02	03	業務システム運用事業	223
総合政策課	02	01	07	46	02	03	男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営費	224
秘書広報課	02	01	01	47	02	20	市長・副市長の公務に要する経費	224
秘書広報課	02	01	01	47	02	21	市長車運行管理費	225
秘書広報課	02	01	01	47	02	22	秘書広報一般事務費	225
地域コミュニティ課	02	01	01	38	01	04	行政文書配布・調査取りまとめに関する事業	226
地域コミュニティ課	02	01	07	47	02	23	市民活動推進一般事務費	226
地域コミュニティ課	02	01	07	46	02	02	市民活動支援センター管理運営費	227
地域コミュニティ課	02	01	16	47	02	25	人権・同和行政推進一般事務費	227

（総務部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
総務課	02	01	01	47	02	01	総務一般事務費	228
総務課	02	01	01	47	02	02	マイクロバス運行管理費	228
総務課	02	01	11	47	02	04	公平委員会費	229
総務課	02	01	17	47	02	03	自衛官募集事業	229
総務課	02	02	01	47	02	05	固定資産評価審査委員会事務費	230
総務課	02	01	01	37	01	01	法制支援システムに要する経費	230
総務課	02	01	01	40	04	02	情報公開、個人情報保護及び行政不服審査制度の運用に要する経費	231
総務課	02	01	01	47	02	07	法務一般事務費	231
総務課	02	01	01	47	02	08	契約一般事務費	232
財政課	02	01	01	48	01	01	減債・財政調整・公共施設整備基金積立に要する経費	232

（総務部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
財政課	02	01	04	41	02	01	財務会計システムの運用に要する経費	233
財政課	02	01	04	47	02	10	財政一般事務費	233
財政課	12	01	01	50	01	01	借入金元金の返済に要する経費	234
財政課	12	01	02	50	02	01	借入金利子の返済に要する経費	234
財政課	14	01	01	51	01	01	一般会計予備費	235
職員課	02	01	02	47	02	14	人事研修一般事務費	235
職員課	02	01	01	47	02	15	給与厚生一般事務費	236
職員課	02	01	01	48	01	02	退職手当基金積立に要する経費	236
防災推進課	02	01	13	47	02	16	防災推進一般事務費	237
防災推進課	02	01	13	25	01	08	災害応急対策・復旧対策事業	237
資産経営課	02	01	01	41	03	03	普通財産管理に要する経費	238
資産経営課	02	01	06	41	03	02	公有財産台帳管理事業	238
資産経営課	08	01	01	49	02	01	土地開発基金への繰出金	239
資産経営課	02	01	01	47	02	12	管財一般事務費	239
資産経営課	02	01	06	46	02	01	本庁舎等管理運営費	240
資産経営課	02	01	06	47	02	13	公用車集中管理に要する経費	240

（市民環境部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
税務課	02	02	01	47	02	26	税務一般事務費	241
税務課	02	02	02	42	02	03	市民税賦課に要する経費	241
税務課	02	02	02	42	02	04	固定資産税賦課に要する経費	242
税務課	02	02	02	42	02	07	収納事務に要する経費	242
国民健康保険課	03	01	01	49	01	06	国民健康保険事業特別会計への繰出金	243
国民健康保険課	03	01	06	16	02	02	後期高齢者医療事業	243
国民健康保険課	03	01	06	49	01	08	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金	244
国民健康保険課	04	01	02	49	01	24	国民健康保険東郷診療所特別会計への繰出金	244
市民課	02	03	01	40	04	04	中長期在留者住居地届出等事務費	245
市民課	02	05	01	41	02	17	人口動態調査事務費	245
市民課	02	05	01	41	02	18	現住人口調査事務費	246
市民課	03	01	03	16	03	01	国民年金事務費	246
市民課	02	01	14	26	03	01	消費生活事業	247
市民課	04	01	03	46	04	01	市営納骨堂管理運営費	247
市民課	04	01	03	49	01	09	城山墓園事業特別会計への繰出金	248
市民課	04	01	04	26	05	02	斎場費	248
市民課	02	01	10	47	02	27	美々津支所一般事務費	249
市民課	02	01	10	47	02	28	岩脇支所一般事務費	249
市民課	02	01	10	47	02	29	細島支所一般事務費	250
環境政策課	02	01	15	28	01	01	環境基本計画推進事業	250
環境政策課	04	01	03	28	04	01	地球温暖化防止対策実行計画推進事業	251
環境政策課	04	02	01	27	03	01	環境衛生の充実に要する経費	251
環境政策課	04	02	01	46	04	02	環境政策課庁舎管理運営費	252
環境政策課	04	02	01	47	04	01	環境政策一般事務費	252
環境政策課	04	02	02	27	03	02	車両管理費	253
環境政策課	04	02	02	46	04	04	一般廃棄物埋立処分場(第4)管理運営費	253

（福祉部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
福祉課	03	01	01	47	03	01	福祉管理一般事務費	254
福祉課	03	01	02	14	02	03	重度心身障害児者医療費助成事業	254
福祉課	03	01	02	14	02	04	自立支援医療給付事業	255
福祉課	03	01	02	14	02	06	障害児・者補装具給付事業	255
福祉課	03	01	02	14	02	09	身体障害者福祉電話運営事業(市単)	256
福祉課	03	01	02	14	02	10	特別障害者手当等給付事業	256
福祉課	03	01	02	14	02	11	特別児童扶養手当事務費	257
福祉課	03	01	02	46	03	02	障害者センター管理運営費	257
福祉課	03	01	02	47	03	02	障がい福祉一般事務費	258
福祉課	03	01	02	14	02	19	介護給付事業	258
福祉課	03	01	02	14	02	20	訓練等給付事業	259
福祉課	03	01	02	14	02	21	障害者給付認定審査会運営事業	259
福祉課	03	01	02	14	02	25	障害児通所支援事業	260
福祉課	03	03	02	15	02	01	生活保護費	260
福祉課	03	01	01	47	03	09	福祉法人監査一般事務費	261
こども課	03	02	01	11	03	12	児童手当給付事業	261
こども課	03	02	01	11	06	01	児童扶養手当給付事業	262
こども課	03	02	01	46	03	03	日知屋児童センター管理運営費	262
こども課	03	02	01	46	03	04	大王谷児童館管理運営費	263
こども課	03	02	01	47	03	03	子育て支援一般事務費	263
こども課	03	02	02	11	06	03	母子寡婦福祉事業	264
こども課	03	02	02	11	06	09	ひとり親家庭等日常生活支援事業	264
こども課	04	01	01	11	02	03	未熟児養育医療給付事業	265
こども課	04	01	01	11	01	03	特定不妊治療費助成事業	265
こども課	03	02	01	11	03	16	施設型給付事業	266
こども課	03	02	01	11	03	25	子育てのための施設等利用給付事業	266
こども課	10	01	03	01	01	02	学校評議員(幼稚園)	267
こども課	10	04	01	46	10	01	「幼稚園」施設管理運営費	267
こども課	03	02	03	11	04	06	保育事業(上町保育所)	268
こども課	03	02	03	46	03	05	上町保育所施設管理運営費	268
こども課	03	02	03	47	03	04	上町保育所一般事務費	269
こども課	03	02	03	11	04	07	保育事業(細島保育所)	269
こども課	03	02	03	46	03	06	細島保育所施設管理運営費	270
こども課	03	02	03	47	03	05	細島保育所一般事務費	270

（健康長寿部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
高齢者あんしん課	03	01	04	49	01	10	介護保険事業特別会計(保険事業勘定)への繰出金	271
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	01	敬老事業	271
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	04	高齢者保健福祉計画に要する経費	272
高齢者あんしん課	03	01	04	13	02	04	養護老人ホームの措置に要する経費	272
高齢者あんしん課	03	01	04	13	02	09	権利擁護人材育成・資質向上支援体制づくり事業	273
高齢者あんしん課	03	01	04	13	03	06	介護施設等の施設開設準備経費等支援事業	273
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	07	老人福祉センター(春原)管理運営費	274
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	08	美々津老人福祉センター管理運営費	274
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	09	平岩ふれあい館管理運営費	275
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	10	ひまわり寮施設管理運営費	275
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	11	鈴峰園管理運営費	276
高齢者あんしん課	03	01	04	47	03	06	高齢者福祉一般事務費	276
高齢者あんしん課	04	01	02	49	01	25	国民健康保険東郷診療所特別会計(訪問看護事業)への繰出金	277
健康増進課	04	01	01	47	04	02	健康増進一般事務費	277
健康増進課	04	01	02	12	01	03	「健康ひゅうが21計画」推進会議の運営に要する経費	278
健康増進課	04	01	06	46	04	06	初期救急診療所管理運営費	278

（商工観光部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
商工港湾課	07	01	01	47	07	04	商工業振興一般事務費	279
商工港湾課	07	01	02	46	07	01	日向地区ひとものづくりセンター管理運営費	279
商工港湾課	07	01	02	46	07	02	企業誘致関連施設管理運営費	280
商工港湾課	08	04	01	47	08	01	港湾一般事務費	280
観光交流課	07	01	03	47	07	03	観光振興一般事務費	281
観光交流課	07	01	03	23	01	13	地域・観光情報拠点施設管理運営費	281
観光交流課	07	01	03	46	07	04	日向サンパーク体育施設等管理運営費	282
観光交流課	07	01	03	46	07	05	日向サンパーク温泉管理運営費	282
観光交流課	07	01	03	46	07	06	道の駅「日向」管理運営費	283
観光交流課	07	01	03	46	07	09	石並川キャンプ場管理運営費	283
観光交流課	07	01	03	46	07	10	日向岬グリーンパーク管理運営費	284
観光交流課	07	01	03	46	07	11	海水浴場管理運営費	284
観光交流課	07	01	03	46	07	14	道の駅「とうごう」管理運営費	285
観光交流課	07	01	03	46	07	15	牧水公園管理運営費	285

（農林水産部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業畜産課	06	01	02	17	05	03	農村公園管理運営費	286
農業畜産課	06	01	02	47	06	01	農業振興一般事務費	286
農業畜産課	06	01	03	17	03	01	農地中間管理事業	287
農業畜産課	06	01	03	17	03	08	農産物価格安定対策事業	287
農業畜産課	06	01	03	17	03	09	各種資金利子補給事業	288
農業畜産課	06	01	03	17	03	10	経営所得安定対策等推進事業	288
農業畜産課	06	01	03	17	05	02	農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業	289
農業畜産課	06	01	03	46	06	03	農村交流館・塩見農村公園管理運営費	289
農業畜産課	06	01	04	17	04	03	各種資金利子補給(畜産)	290
農業畜産課	06	01	04	46	06	04	畜産センター管理運営費	290
農業畜産課	06	01	04	46	06	05	畜産資源リサイクルセンター管理運営費	291
農業畜産課	06	01	04	47	06	02	畜産振興一般事務費	291
農業畜産課	06	01	05	17	05	13	農道管理費	292
農業畜産課	06	01	05	46	07	16	奥野河川プール管理運営費	292
農業畜産課	06	01	05	47	06	03	農村整備一般事務費	293
農業畜産課	06	01	08	17	05	14	用排水路施設管理運営費	293
農業畜産課	11	01	01	25	02	06	農地・農業用施設災害復旧事業	294
林業水産課	06	02	01	47	06	04	林業振興一般事務費	294
林業水産課	06	02	01	18	01	11	林道管理費	295
林業水産課	08	01	01	33	02	01	九州自然歩道管理事業(東郷地区)	295
林業水産課	11	01	02	25	02	07	林道災害復旧事業	296
林業水産課	06	03	01	47	06	06	水産振興一般事務費	296
林業水産課	06	03	02	19	01	04	水産多面的機能発揮対策事業	297
林業水産課	06	02	02	18	04	07	公有林等管理運営費	297
ふるさと物産振興課	06	01	02	47	06	07	ブランド振興一般事務費	298

（建設部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
都市政策課	08	05	01	46	08	02	駅駐車場管理運営費	298
都市政策課	08	05	01	46	08	03	駅前広場等管理運営費	299
都市政策課	08	05	01	47	08	05	都市計画一般事務費	299
建設課	08	01	01	47	08	02	建設土木一般事務費	300
建設課	11	02	01	25	02	09	道路河川災害復旧事業	300
建設課	08	02	03	26	02	01	交通安全施設整備事業	301
建設課	08	03	01	25	01	18	耳川河川改修関連支援事業	301
建設課	08	03	01	25	01	19	河川水門管理費	302
建設課	08	02	01	34	02	10	道路橋梁総務費	302
市街地整備課	08	05	01	47	08	03	市街地整備一般事務費	303
市街地整備課	03	02	04	46	03	01	児童遊園施設管理運営費	303
市街地整備課	08	05	01	46	08	01	日向市駅周辺交流拠点施設管理運営費	304
建築住宅課	08	06	01	49	01	05	公営住宅事業特別会計への繰出金	304
建築住宅課	08	01	02	31	02	01	建築指導費	305
建築住宅課	08	06	02	47	08	04	建築一般事務費	305

（東郷支所）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
東郷地域振興課	02	01	06	46	02	04	東郷総合支所管理運営費	306
東郷地域振興課	02	01	06	47	02	32	公用車集中管理に要する経費(東郷地区)	306
東郷地域振興課	02	01	09	47	02	31	東郷総合支所一般事務費	307

（会計課）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
会計課	02	01	05	47	02	30	会計一般事務費	307

（消防本部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
消防本部総務課	09	01	01	46	09	01	消防庁舎管理運営費	308
消防本部総務課	09	01	01	46	09	02	南分遣所管理運営費	308
消防本部総務課	09	01	01	46	09	03	消防訓練広場管理運営費	309
消防本部総務課	09	01	01	46	09	04	東郷分遣所管理運営費	309
消防本部総務課	09	01	01	47	09	01	常備消防一般事務費	310
消防本部総務課	09	01	02	46	09	05	非常備消防施設管理運営費	310
消防本部警防課	09	01	04	24	01	07	水防体制の強化に要する経費	311
消防本部警防課	09	01	01	24	01	09	常備消防車両管理費	311
消防本部警防課	09	01	02	24	02	06	非常備消防車両管理費	312

（上下水道局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
水道課	04	01	01	49	01	13	簡易給水施設特別会計への繰出金	312
水道課	04	01	01	49	01	14	水道事業会計への繰出金	313
水道課	04	01	01	49	01	22	簡易水道事業会計への繰出金	313
下水道課	06	01	05	49	01	23	農業集落排水事業会計への繰出金	314
下水道課	08	05	05	49	01	15	下水道事業会計への繰出金	314
下水道課	08	05	06	25	01	20	浸水被害軽減対策事業	315

（議会事務局）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
議会事務局	01	01	01	43	01	01	市議会議員報酬	315
議会事務局	01	01	01	43	02	02	議長の交際に要する経費	316
議会事務局	01	01	01	43	02	03	各種市議会議長会に要する経費	316
議会事務局	01	01	01	43	02	04	市議会議員の活動に要する経費	317
議会事務局	01	01	01	47	01	01	議会一般事務費	317
議会事務局	01	01	01	43	02	06	会議録発行事業	318
議会事務局	01	01	01	46	01	01	議会施設管理運営費	318

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
教育総務課	10	01	01	02	04	02	教育委員会の運営に要する経費	319
教育総務課	10	01	02	01	04	02	就学の支援に要する経費	319
教育総務課	10	01	02	47	10	01	学校教育総務一般事務費	320
教育総務課	10	01	02	47	10	02	学校教育施設一般事務費	320
教育総務課	10	02	01	46	10	03	小学校教職員住宅管理運営費	321
教育総務課	10	02	03	02	04	03	小学校　各校整備事業	321
教育総務課	10	03	01	46	10	04	中学校教職員住宅管理運営費	322
教育総務課	10	03	03	02	04	14	中学校　各校整備事業	322
教育総務課	10	06	02	46	10	36	お倉ヶ浜総合公園(野球場・屋内運動場以外)管理運営費	323
教育総務課	10	06	02	46	10	37	大王谷運動公園(陸上・野球・プール以外)管理運営費	323
教育総務課	10	06	02	46	10	38	美々津運動広場管理運営費	324
教育総務課	10	06	02	46	10	39	東郷地区体育施設管理運営費	324
教育総務課	10	06	02	46	10	40	武道館管理運営費	325
教育総務課	10	06	02	46	10	41	お倉ヶ浜総合公園屋内運動場管理運営費	325
教育総務課	10	06	02	46	10	42	日向市体育センター管理運営費	326
教育総務課	10	06	02	46	10	43	大王谷陸上競技場管理運営費	326
教育総務課	10	06	02	46	10	44	お倉ヶ浜野球場管理運営費	327
教育総務課	10	06	02	46	10	45	大王谷野球場管理運営費	327
教育総務課	10	06	02	46	10	46	大王谷市営プール管理運営費	328
教育総務課	10	05	01	06	02	05	妙国寺庭園管理事業	328
教育総務課	10	05	01	06	02	08	関本勘兵衛家管理運営費	329
教育総務課	10	05	01	46	10	20	防災センター管理運営費	329
教育総務課	10	05	01	46	10	21	美々津軒管理運営費	330
教育総務課	10	05	01	46	10	22	美々津まちなかセンター管理運営費	330
教育総務課	10	05	01	46	10	25	細島みなと資料館管理運営費(「その他の博物館」)	331
教育総務課	10	05	01	46	10	26	歴史民俗資料館管理運営費(「その他の博物館」)	331
教育総務課	10	05	01	46	10	27	まちなみ広場管理運営費	332
学校教育課	10	01	02	01	02	04	通学支援事業	332
学校教育課	10	01	02	02	01	04	日向・東臼杵いじめ問題対策事業	333
学校教育課	10	01	02	08	01	02	同和教育の充実に要する経費	333
学校教育課	10	01	02	47	10	03	学事係一般事務費	334
学校教育課	10	02	02	01	02	15	要・準要保護児童の援助に要する経費(小学校)	334
学校教育課	10	03	02	01	02	17	要・準要保護生徒の援助に要する経費(中学校)	335
学校教育課	10	05	01	46	10	07	社会同和教育集会所新財市会館管理運営費	335
学校教育課	10	06	01	47	10	04	学校教育保健一般事務費	336
幼稚園	10	04	01	46	10	09	「幼稚園」施設管理運営費[施設係]	336
学校教育課(小学校)	10	02	01	46	10	10	小学校施設　管理運営費[施設係]	337
学校教育課(小学校)	10	02	01	46	10	11	小学校施設　管理運営費[学事係]	337
学校教育課(小学校)	10	02	01	46	10	12	小学校施設　管理運営費[総務企画係]	338
学校教育課(小学校)	10	06	01	47	10	06	小学校保健一般事務費	338
学校教育課(中学校)	10	03	01	46	10	13	中学校施設　管理運営費[施設係]	339
学校教育課(中学校)	10	03	01	46	10	14	中学校施設　管理運営費[学事係]	339
学校教育課(中学校)	10	03	01	46	10	15	中学校施設　管理運営費[総務企画係]	340
学校教育課(中学校)	10	03	02	01	02	31	中学校教師用指導書購入事業	340
学校教育課(中学校)	10	06	01	47	10	07	中学校保健一般事務費	341
学校給食センター	10	06	03	02	03	04	調理設備等の充実に要する経費(学校給食センター)	341
学校給食センター	10	06	03	46	10	16	日向市学校給食センター管理運営費	342
学校給食センター	10	06	03	47	10	08	日向市学校給食センター一般事務費	342
図書館	10	05	03	46	10	18	日向市立図書館施設管理運営費	343
図書館	10	05	03	47	10	10	市立図書館一般事務費	343
スポーツ・文化振興課	10	06	01	07	01	05	生涯スポーツ推進事業	344

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
スポーツ・文化振興課	10	06	01	47	10	19	社会体育一般事務費	344
スポーツ・文化振興課	10	05	01	46	10	28	若山牧水記念文学館管理運営費	345
スポーツ・文化振興課	10	05	04	46	10	23	日向市文化交流センター施設管理運営費	345
スポーツ・文化振興課	10	05	04	46	10	24	東郷地区文化センター管理運営費	346
生涯学習課	10	05	01	04	01	01	社会教育委員事業	346
生涯学習課	10	05	01	46	10	19	細島地区コミュニティセンター管理運営費	347
生涯学習課	10	05	01	47	10	11	社会教育一般事務費	347
生涯学習課	10	05	02	46	10	29	中央公民館施設管理運営費	348
生涯学習課	10	05	02	47	10	12	中央公民館一般事務費	348
生涯学習課	10	05	02	46	10	30	日知屋公民館施設管理運営費	349
生涯学習課	10	05	02	47	10	13	日知屋公民館一般事務費	349
生涯学習課	10	05	02	46	10	31	大王谷公民館施設管理運営費	350
生涯学習課	10	05	02	47	10	14	大王谷公民館一般事務費	350
生涯学習課	10	05	02	46	10	32	美々津公民館施設管理運営費	351
生涯学習課	10	05	02	47	10	15	美々津公民館一般事務費	351
生涯学習課	10	05	02	46	10	33	南日向公民館施設管理運営費	352
生涯学習課	10	05	02	47	10	16	南日向公民館一般事務費	352
生涯学習課	10	05	02	46	10	34	細島公民館施設管理運営費	353
生涯学習課	10	05	02	47	10	17	細島公民館一般事務費	353
生涯学習課	10	05	02	46	10	35	東郷公民館管理運営費	354
生涯学習課	10	05	02	47	10	18	東郷公民館一般事務費	354

（選挙管理委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
選挙管理委員会事務局	02	04	01	44	02	01	選挙管理委員会の運営に要する経費	355
選挙管理委員会事務局	02	04	01	47	02	33	選挙管理事務局一般事務費	355
選挙管理委員会事務局	02	04	03	44	03	01	衆議院議員選挙	356

（監査委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
監査委員事務局	02	06	01	47	02	34	監査事務局一般事務費	356

（農業委員会）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
農業委員会事務局	06	01	02	17	03	13	農業者年金事務事業	357
農業委員会事務局	06	01	02	47	06	08	農業委員会事務局一般事務費	357
農業委員会事務局	06	01	01	17	05	17	農業委員会行政事務費	358
農業委員会事務局	06	01	02	17	03	15	特例事業(農業振興公社)	358
農業委員会事務局	06	01	02	17	05	15	国有農地等管理処分事業事務費	359

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

（総合政策部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
総合政策課	02	01	07	41	01	08	[新型コロナ対策]影響調査に要する経費	361
総合政策課	02	01	07	32	03	02	[新型コロナ対策]地域生活交通対策事業	361
総合政策課	02	01	08	37	01	07	[新型コロナ対策]高度無線環境整備推進事業	362
総合政策課	02	01	07	09	01	04	[新型コロナ対策]女性生活支援事業	362
秘書広報課	02	01	03	40	01	05	[新型コロナ対策]広報強化に要する経費	363

（総務部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
総務課	02	01	01	41	02	27	[新型コロナ対策]電子入札システム導入事業	363
職員課	02	01	02	47	02	36	[新型コロナ対策]職員派遣に要する経費	364
資産経営課	02	01	06	46	02	06	[新型コロナ対策]公共施設環境整備事業	364

（福祉部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
福祉課	03	03	01	15	02	06	[新型コロナ対策]生活困窮者自立支援金給付事業	365
福祉課	03	03	01	15	02	07	[新型コロナ対策]住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	365
こども課	03	02	01	11	03	30	[新型コロナ対策]低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯分)	366
こども課	03	02	01	11	03	31	[新型コロナ対策]低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親以外)	366
こども課	03	02	01	11	03	32	[新型コロナ対策]乳児子育て応援特別給付金給付事業	367
こども課	03	02	01	11	03	33	[新型コロナ対策]子育て世帯等臨時特別支援事業	367
こども課	03	02	01	11	03	35	[新型コロナ対策]放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業	368
こども課	03	02	01	11	07	03	[新型コロナ対策]児童虐待防止対策支援事業	368
こども課	03	02	01	15	03	03	[新型コロナ対策]子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	369
こども課	03	02	01	11	03	34	[新型コロナ対策]保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	369
こども課	03	02	03	11	04	08	[新型コロナ対策]保育環境改善等事業	370
こども課	03	02	03	11	04	09	[新型コロナ対策]保育事業(上町保育所)	370
こども課	03	02	03	11	04	10	[新型コロナ対策]保育事業(細島保育所)	371

（健康長寿部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
健康増進課	04	01	02	12	01	17	新型コロナウイルスワクチン接種事業	371

（商工観光部）

所管課	款項目			大中小			事　業　名	頁
商工港湾課	05	01	02	21	01	12	[新型コロナ対策]就職支援事業	372
商工港湾課	07	01	02	20	01	26	[新型コロナ対策]中小企業特別融資事業	372
商工港湾課	07	01	02	20	01	27	[新型コロナ対策]住宅・店舗等リフォーム促進事業	373
商工港湾課	07	01	02	20	01	28	[新型コロナ対策]応援消費プレミアム付商品券発行事業	373
商工港湾課	07	01	02	20	01	32	[新型コロナ対策]営業時間短縮要請協力金交付事業	374

（商工観光部）

所管課	款項目			大中小			事　　業　　名	頁
商工港湾課	07	01	02	20	01	33	[新型コロナ対策]中小企業等緊急支援事業	374
商工港湾課	07	01	02	20	01	36	[新型コロナ対策]地産外消日向地場産品販売促進事業	375
商工港湾課	07	01	02	22	01	09	[新型コロナ対策]ワーケーション推進事業	375
観光交流課	07	01	03	23	01	16	[新型コロナ対策]観光施設等感染拡大防止対策事業	376
観光交流課	07	01	03	23	01	17	[新型コロナ対策]交通事業者運行継続支援事業	376
観光交流課	07	01	03	23	01	18	[新型コロナ対策]魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業	377
観光交流課	07	01	03	23	01	19	[新型コロナ対策]観光事業者経営安定支援事業	377
観光交流課	07	01	03	23	03	10	[新型コロナ対策]観光消費喚起事業	378
観光交流課	07	01	03	23	03	11	[新型コロナ対策]観光誘客再起事業	378
観光交流課	07	01	03	46	07	17	[新型コロナ対策]日向サンパーク体育施設等管理運営費	379
観光交流課	07	01	03	46	07	21	[新型コロナ対策]牧水公園管理運営費	379
観光交流課	07	01	03	46	07	22	[新型コロナ対策]日向サンパーク整備事業	380
観光交流課	07	01	03	46	07	25	[新型コロナ対策]石並川キャンプ場管理運営費	380

（農林水産部）

所管課	款項目			大中小			事　　業　　名	頁
農業畜産課	06	01	03	17	03	21	[新型コロナ対策]インドア花いっぱい応援事業	381
農業畜産課	06	01	03	17	03	22	[新型コロナ対策]県産農畜水産物応援消費推進事業(農畜産物)	381
農業畜産課	06	01	03	17	03	25	[新型コロナ対策]地元産農産物消費拡大支援事業	382
林業水産課	06	03	02	19	02	07	[新型コロナ対策]水産業各種資金利子補給事業	382
ふるさと物産振興課	06	01	03	17	02	09	[新型コロナ対策]稼げる地場産品プロジェクト推進事業	383

（建設部）

所管課	款項目			大中小			事　　業　　名	頁
市街地整備課	08	05	01	35	02	05	[新型コロナ対策]心身のリフレッシュを図る公園環境整備事業	383

（消防本部）

所管課	款項目			大中小			事　　業　　名	頁
消防本部警防課	09	01	01	24	01	11	[新型コロナ対策]救急体制の強化に要する経費	384

（議会事務局）

所管課	款項目			大中小			事　　業　　名	頁
議会事務局	01	01	01	43	02	08	[新型コロナ対策]文字通訳システム導入事業	384

（教育委員会）

所管課	款項目			大中小			事　　業　　名	頁
学校教育課	10	02	02	01	02	42	[新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(小学校)	385
学校教育課	10	03	02	01	02	43	[新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(中学校)	385
学校教育課（小学校）	10	02	01	46	10	50	[新型コロナ対策]小学校施設　管理運営費[学事係]	386
学校教育課（中学校）	10	03	01	46	10	51	[新型コロナ対策]中学校施設　管理運営費[学事係]	386
図書館	10	05	03	05	01	04	[新型コロナ対策]図書館サービス・資料の充実に要する経費	387
スポーツ・文化振興課	10	05	04	46	10	47	[新型コロナ対策]日向市文化交流センター施設管理運営費	387
生涯学習課	10	05	01	04	01	07	[新型コロナ対策]成人式に要する経費	388

【特別会計・企業会計】

所管課	会　　計　　名	頁
建築住宅課	公営住宅事業特別会計	389
市街地整備課	財光寺南土地区画整理事業特別会計	390
市民課	城山墓園事業特別会計	391
水道課	簡易給水施設特別会計	392
国民健康保険課	国民健康保険事業特別会計	393
東郷診療所	国民健康保険東郷診療所特別会計	395
高齢者あんしん課	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）	396
高齢者あんしん課	日向入郷地域介護認定審査事業特別会計	397
国民健康保険課	後期高齢者医療事業特別会計	398
水道課	水道事業会計	399
水道課	簡易水道事業会計	400
下水道課	下水道事業会計	401
下水道課	農業集落排水事業会計	402

評価対象事業

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	01 高校魅力向上支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0716	記念品料	9,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	15,000			
1004	燃料費	0			
1103	手数料	111,650			
1301	使用料及び賃借料	0			
1852032	高校魅力向上支援事業補助金	767,295			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
976,000	902,945	0	73,055

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	902,945
主な財源					

目的

産学官や地域が連携し市内高校の魅力を高めることにより、学力や技術を向上させ、社会人、職業人として貢献できる人材を育成するため、高校の魅力向上等に資する取組に対し支援を行う。また、市内の経済団体や教育関係者等で組織する研究会において地元高校への支援の在り方等を検討する。

事業活動内容

○高校魅力向上支援事業補助金
日向高等学校（課題型学習）、日向工業高等学校（魅力ある高等学校づくり事業）、
富島高等学校（デザインスキル講習会・視察研修と講習会）
○日向市高等学校の未来を考える研究会
圏域の市町村間において、日向・東臼杵圏域中学生進路意識調査の結果をもとに意見交換を実施したが、研究会については、コロナ禍の影響により実施できなかった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○高校魅力向上支援事業補助金

日向高等学校	290,000
日向工業高等学校	225,856
富島高等学校	251,439

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍により活動に制限がある中、市内県立高校3校が魅力向上に向けて特色ある事業に取り組めた。

【課題・改善点】

少子化や私立高校授業料の実質無償化、全県一学区制などにより、市内の県立高校はいずれも定員割れが続く厳しい状況であるが、地域の高校を存続させるためにも、今後、研究会や日向・東臼杵市町村振興協議会において課題を共有し、地域の生徒が地元の高校へ進学できるような魅力向上の取組が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	05 地域資源を活用したスポーツ交流の拡大
小事業	04 東京2020オリパラ・ホストタウン事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0	1808083	2020東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合負担金	100,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	80,000	1808086	日本トーゴ友好協会負担金	0
0716	記念品料	36,120			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	80,000			
1005	食糧費	22,236			
1006	印刷製本費	110,000			
1101	通信運搬費	5,132			
1103	手数料	210,886			
1108	その他の保険料	5,000			
1206	その他の委託料	99,000			
1301	使用料及び賃借料	921,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,500,000	1,670,174	0	3,829,826

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,600,000	70,174
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

令和3年4月25日、本市において東京2020オリンピック競技大会の聖火リレーが行われることから、出発地点となる大御神社でミニセレブレーションを実施し、大会に向けて機運の醸成を図る。また、本市がホストタウンに登録されているトーゴ共和国の選手団の来日に合わせて交流事業を実施する。

事業活動内容

機運醸成に向けた聖火リレーミニセレブレーションの実施及び本市がホストタウンとして登録されているトーゴ共和国との交流事業を実施した。
○聖火リレーミニセレブレーションの実施
○トーゴ共和国建国61周年記念オンライン式典（市長メッセージ動画の提供）
○トーゴ共和国スポーツ大臣等とのリモート会談（千羽鶴の贈呈）
○トーゴ共和国パラリンピック出場選手をオンラインで応援（市民共同応援）
○トーゴ共和国パラリンピック出場選手と東郷学園の児童がオンラインで交流

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
聖火リレーミニセレブレーション
に係る音響業務委託　99,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了

聖火リレーミニセレブレーションについてはコロナ禍により規模を縮小したが開催することができた。また、ホストタウン事業については、トーゴ共和国のスポーツ大臣や選手団とオンラインを活用して交流を図ることができた。市民の皆さんにも、オンライン選手応援や千羽鶴の提供で協力をいただき機運を高めることができた。

【課題・改善点】

令和3年度をもって事業終了

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係		
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業 大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進				
事業 中事業	02 移住の促進				
事業 小事業	02 定住促進事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	10,000	1206	その他の委託料	0
0802	普通旅費	0	1301	使用料及び賃借料	68,176
1001	消耗品費	59,622	1808080	ふるさと回帰センター負担金	50,000
1004	燃料費	76,930	1852036	お試し移住応援補助金	142,100
1005	食糧費	1,680	1867040	日向市移住支援金	1,600,000
1007	光熱水費	94,068			
1008	修繕料	19,800			
1101	通信運搬費	36,929			
1103	手数料	143,777			
1106	火災保険料	2,408			
1108	その他の保険料	1,430			
1201	施設維持管理委託料	23,650			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,859,000	2,330,570	0	1,528,430

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,000	1,347,000	0	90,000	888,570
主な財源	地方創生推進交付金、移住等促進支援事業補助金、移住支援事業補助金、お試し滞在施設使用料				

目的

第2期日向市総合戦略に基づき、移住の促進を図るため、移住専用サイト（ホームページ）等を活用した情報発信を行うほか、都市部のサーファー等を対象とした移住相談会を実施する。また、移住を検討している人のニーズに応えるため、お試し滞在施設（2棟）を管理運営する。

事業活動内容

ホームページ等を活用した情報発信や移住相談会の実施、お試し滞在施設の管理運営等を行った。
○県主催の魅力発信イベント（開催場所：大阪市）にリモート参加し移住相談等に対応（1回）
○市主催のリモートによる移住相談会を実施（1回）
○第2期日向市移住・定住促進方針の策定
○お試し滞在施設の管理運営（利用実績　11組　25人　90日　※2棟の合計）
○移住専用サイト（ホームページ）の開設
○日向市移住支援金の交付（2件）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
　浄化槽維持管理業務　23,650
○お試し移住応援補助金
　日向市移住促進レンタカー補助金　142,100
○日向市移住支援金
　単身の世帯（1件）　600,000
　2人以上の世帯（1件）　1,000,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

移住専用サイトの開設により情報発信力の強化が図られたほか、リモートとはなったが市単独の移住相談会を実施することができた。相談会の参加者が本市に移住した事例もあるため、今後も継続して実施していきたい。

【課題・改善点】

移住促進については各自治体が取り組んでおり、今後さらに競争の激化が予想される。他都市との差別化を図り、本市の地域資源を生かした特色ある取組が求められている。また、移住者が安心して地域で生活できるよう、サポート体制を構築していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係		
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進				
事業 中事業	01 計画的な行政経営の推進				
事業 小事業	05 総合計画・SDGs推進事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0702	出会謝金	65,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	28,730			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	0			
1204	調査・計画策定委託料	6,776,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,776,000	6,869,730	0	906,270

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,869,730
主な財源					

目的

令和3年2月に策定した「第2次日向市総合計画・後期基本計画（第2期日向市総合戦略）」の着実な進捗を図る。また、同計画に掲げたSDGsの推進についても一体的に取り組んでいく。

事業活動内容

第2期日向市総合戦略の着実な推進を図るため第1期総合戦略の取組について成果検証を行うほか、SDGsについて理解を深めるため職員研修会を実施した。
○「日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」の開催（1回）
○SDGs職員研修会（1回）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○調査・計画策定委託料
　第2次日向市総合計画・後期基本計画
　及び第2期総合戦略策定支援業務　6,776,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

「日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において、「第1期日向市総合戦略（平成27年度（2015年度）から令和2年度（2020年度）」の取組について検証を行い、その後の「日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」での審議を経て、成果等をまとめた「総括報告書」を公表した。

【課題・改善点】

感染対策はもとより、コロナ禍や物価高騰等で疲弊した地域経済や市民生活の支援に取り組みながら、「第2期日向市総合計画・後期基本計画」に掲げた施策の着実な推進を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	38 市制施行70周年記念PR事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	112,859			
1006	印刷製本費	354,090			
1101	通信運搬費	18,200			
1103	手数料	862,033			
1104	広告料	1,674,200			
1206	その他の委託料	2,499,970			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,500,000	5,521,352	0	978,648

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,400,000	121,352
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

市制施行70周年を迎えるあたり、情報発信や記念事業を行うことにより、市民のふるさとへの愛着を深め市勢発展に向けた機運の醸成を図る。

事業活動内容

市制施行70周年の機運を醸成するためPR事業等を実施した。
○市制施行70周年PRに要する経費
ポスター作成　700枚
懸垂幕の掲示、のぼり旗の設置、公用車及び市内タクシー用マグネットシートの作成・貼付け
新聞広告の掲載　2紙に掲載
○70周年記念「短歌集」制作に係る経費
牧水・短歌甲子園作品集の制作　2,000冊作成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
「牧水・短歌甲子園短歌集」作成業務　2,499,970

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　終了
コロナ禍により70周年記念事業の多くが中止となったが、各種のPR事業を積極的に行い市勢発展に向けた機運を高めるとともに、市政について情報発信を図ることができた。

【課題・改善点】
令和3年度をもって事業終了

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	03 交通ネットワークの充実
小事業	01 地域生活交通対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	90,000	1808035	東九州軸推進機構負担金	0
0802	普通旅費	13,046	1869004	生活バス路線運行費補助金	5,562,000
1001	消耗品費	74,668	2601	国に対する公課費	114,000
1006	印刷製本費	297,000			
1008	修繕料	5,282,845			
1103	手数料	107,250			
1107	自動車損害保険料	243,905			
1203	事業委託料	43,435,840			
1702	機械器具費（事業執行用）	4,507,163			
1805036	宮崎県鉄道整備促進期成同盟会負担金	17,400			
1805065	宮崎空港振興協議会負担金	250,231			
1806078	日向・東臼杵地域公共交通活性化協議会負担金	104,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,186,000	60,099,548	0	3,086,452

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,748,000	0	0	19,402,000	28,949,548
主な財源	地域公共交通確保維持改善事業費補助金、市民バス使用料、地域振興基金利子、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、地域振興基金繰入金、自動車損害共済金、コミュニティバス広告料				

目的

自ら車を運転できない学生や高齢者の方などの移動手段を確保するため、市が市民バスを運行するほか、日向・東臼杵圏域を運行する路線バスに対し、沿線市町村と連携して運行補助金の交付や利用促進に努め、地域の公共交通の維持を図る。

事業活動内容

バス対策協議会地域分科会にて、県・関係自治体と地域間幹線系統のあり方を協議したほか、市民バスのルートの一部見直し、路線バスの周遊バスパックの販売など、利用促進に努めた。

○市民バスの運行　利用者数：64,038人
①ぷらっとバス：8路線、②南部ぷらっとバス：1路線、③乗合バスなんぶ：予約型(火、水、木)、
④乗合バスとうごう：予約型(月～金)、⑤乗合タクシーほそしま：予約型(月、水、金)
○路線バスの運行補助等：6路線　利用者数：116,274人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
市民バス運行業務委託　40,762,050
上椎葉日向線快速型ミニバス運行委託　1,686,790
廃止路線代替バス運行委託　987,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
コロナ禍により、市民バスの利用者は前年度比7.4%の減少となり、路線バスの利用者も9%の減少となるなど、厳しい状況である。

【課題・改善点】
地域公共交通は、自家用車など自ら交通手段を持たない市民にとって必要不可欠な移動手段であるため、地域公共交通会議が中心となって公共交通計画を策定し、持続可能な公共交通の維持・確保に取り組む。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進		
事業 中事業	04 広域連携の推進		
事業 小事業	02 定住自立圏形成推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	60,000			
0802	普通旅費	777			
1001	消耗品費	5,346			
1808073	定住自立圏推進負担金	1,157,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,420,000	1,223,523	0	196,477

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,223,523
主な財源					

目的

日向圏域の中心市として、また、延岡市を中心市とする宮崎県北圏域における周辺市として、定住自立圏の形成に取り組み、圏域の市町村と連携・協力することで、将来にわたり安心して暮らし続けられる魅力ある地域の形成を図る。

事業活動内容

産業、医療福祉、生活面など、様々な分野において、関連が強い日向圏域定住自立圏の連携を深めるため、定住自立圏共生ビジョンの見直しや圏域職員の研修を実施した。
○共生ビジョン懇談会
圏域の民間や地域の関係者等で構成する懇談会の開催。
○BSR研修の開催
圏域職員を対象として、職場において実際に遭遇する諸状況を模擬体験し、課題解決能力の向上を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
共生ビジョンの見直しや職員研修の中で、関係者が圏域の課題を共有し、市町村相互の連携につなげることができた。
【課題・改善点】
人口減少が進む中、公共サービスなどを維持していくためには、中心市と周辺市町村とが連携し、圏域で課題解決に向けた各施策を展開していくことが求められている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0041 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		
事業 大事業	09 男女共同参画社会づくり		
事業 中事業	01 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備		
事業 小事業	01 男女共同参画社会づくり推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	185,600			
0701	講師謝金	27,620			
0801	費用弁償	19,721			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	15,226			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
388,000	248,167	0	139,833

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	248,167
主な財源					

目的

性別にかかわらず、全ての人の人権が尊重され、その個性や能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、推進体制の充実を図る。

事業活動内容

「男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画推進の取組を総合的かつ効果的に行った。
○男女共同参画推進審議会の開催　3回
○市職員を対象にした男女共同参画に関する研修会の実施　1回
○男女共同参画意識啓発事業の実施　2カ所（庁舎1階市民ホール、市立図書館2階）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
令和3年度も「一人ひとりが大切にされるまち」を目指した啓発に努めた。男女共同参画週間に合わせ、新たにFMラジオを活用した情報発信にも努めた。また、第6次日向市男女共同参画プラン策定にあたり、市長からの諮問により男女共同参画推進審議会において内容を調査審議し、答申を行った。
【課題・改善点】
男女共同参画社会の実現のためには、市民一人ひとりに男女共同参画意識の浸透を図る必要があることから、今後とも、行政、市民、事業者等が一体となった推進体制の整備・強化を進めるとともに、研修や啓発活動に努めたい。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0041 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	09 男女共同参画社会づくり
中事業	01 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備
小事業	02 男女共同参画プラン策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	30,000			
0702	出会謝金	105,000			
1001	消耗品費	6,789			
1006	印刷製本費	374,000			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
717,000	515,789	0	201,211

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	515,789
主な財源					

目的

「第5次日向市男女共同参画プラン」の計画期間が令和3年度で終了することから、「第6次日向市男女共同参画プラン」を策定する。

事業活動内容

第5次日向市男女共同参画プランの見直しを行うとともに、今後取り組むべき施策、事業の検討を行い、第6次日向市男女共同参画プランを策定した。
○プラン策定委員会委員、審議会委員、ワーキンググループメンバーを対象にした研修会の実施　1回
○プラン策定委員会の開催　4回
○プラン策定委員会ワーキンググループ会議の開催　7回
○日向市男女共同参画行政推進会議幹事会の開催　3回
○日向市男女共同参画行政推進会議の開催　3回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了
第6次日向市男女共同参画プランを策定した。
【課題・改善点】
日向市男女共同参画推進審議会及び日向市男女共同参画プラン策定委員会などにおいて、市民の意見を取り入れたプラン策定に努めたが、委員会に将来を担う若い世代の参画が少なく、幅広い年代層からの意見聴取が課題である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0041 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	09 男女共同参画社会づくり
中事業	03 安全・安心な暮らしの実現
小事業	01 DV対策推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,260,000			
0701	講師謝金	0			
0801	費用弁償	31,529			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	3,211			
1101	通信運搬費	48,263			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,802,000	1,343,003	0	458,997

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,343,003
主な財源					

目的

配偶者等からの暴力を許さない地域社会づくりに向けた啓発を行うとともに、DV被害者への支援体制の充実を図る。

事業活動内容

配偶者等からの暴力の防止につながる啓発とDV被害者への支援を行った。
○男女共同参画相談員による面接・電話相談の実施（週4日：月、火、木、金）
○県主催講座、市主催研修会を活用した相談員研修の実施
○DV防止に関する啓発事業の実施　2カ所（市役所1階市民ホール、市立図書館2階）
○日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんぴあ」でのDV防止講座　1回
○民生委員対象のDV防止講座　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持
関係機関との情報共有及び庁内関係各課とのケース会議開催により、被害者の意向に沿った迅速な対応に努めた。
【課題・改善点】
今後とも関係機関と連携し、被害者の適切な支援に努める必要がある。また、求められる支援は複雑多様化していることから、相談員のスキルアップを図る必要がある。さらに、若年層に対するデートDV防止にも注力するため、啓発や相談方法を検討する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0042 女性活躍推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	09 男女共同参画社会づくり
中事業	01 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備
小事業	03 女性活躍推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	64,000			
0701	講師謝金	0			
0801	費用弁償	5,624			
1001	消耗品費	352			
1101	通信運搬費	0			
1301	使用料及び賃借料	500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
539,000	70,476	0	468,524

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	70,476
主な財源					

目的

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を可能とする環境の整備や女性活躍を推進することで、お互いを尊重し合い、誰もが輝き活躍する日向市の実現を目指す。

事業活動内容

第2次日向市総合計画・後期基本計画の重点プロジェクト「若者と女性に選ばれるまち”日向”未来づくり戦略」を実現するため、誰もがワーク・ライフ・バランスを可能とする環境の整備や女性活躍の推進に取り組んだ。
○「女性活躍推進」及び「仕事と育児の両立」に関する事業者アンケートの実施（対象：従業員30人以上の127事業者）
○女性活躍推進セミナーの開催（参加者38人）
○附属機関等の設置及び運営に関する指針の改正（女性委員の推薦を促進）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

事業所が各職場における課題解決や取組についての参考となるよう、女性活躍を推進するためのポイントや対策、働きやすい職場づくりに関する研修に取り組むことができた。

【課題・改善点】

組織のリーダーの理解や意識醸成、女性の意識向上や人材育成と合わせ、ワーク・ライフ・バランスの実現などの環境整備が課題となっている。今後も、女性人材の育成や起業支援などさまざまな分野における女性の活躍を推進していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	03 文書広報費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	02 広報・広聴機能の充実に関する事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,439,064	1301	使用料及び賃借料	576,022
0301	職員手当	305,800	1701	庁用器具費（一般的事務用）	0
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	256,134	1808020	日本広報協会負担金	24,000
0801	費用弁償	24,000	1825002	研修会負担金	0
0802	普通旅費	5,220			
1001	消耗品費	560,907			
1004	燃料費	17,363			
1006	印刷製本費	11,221,980			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	150,000			
1104	広告料	305,800			
1203	事業委託料	3,987,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,559,000	18,873,790	0	685,210

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	528,000	18,345,790
主な財源	広報ひゅうが広告料				

目的

市政情報をわかりやすく市民に伝えるとともに、広聴活動を通じて、住民と行政との情報共有化を図ることで、市民協働のまちづくりに向けた意識を醸成していく。また、観光客の増加や定住促進などへの波及効果を図るため、各種施策やイベント等の情報を市内はもとより県内外へ積極的に発信する。

事業活動内容

広報紙、ホームページ、Facebook、公式アプリ、Youtube等の活用により、市政情報の発信に努めた。また、効果的に情報を発信するため、各課での広報計画の作成や情報発信PDCAシートによる評価・検証を行った。まちづくり座談会については、コロナ禍により実施できなかった。

○広報ひゅうがの発行　月20,000部
○ケーブルメディアワイワイ番組放映　5回/月（7分）×10月
○FM日向番組制作・放送　3回/日（5分）×12月

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
広報番組制作・放送業務委託　2,337,500
ラジオ番組制作・放送業務委託　1,650,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

記者会見等による報道機関への情報提供や多様な広報媒体等を活用して、積極的に情報発信を行うことができた。

【課題・改善点】

市民や事業者に正確かつ迅速に情報を伝えるため、引き続き、職員の広報意識の醸成や情報発信力の強化に取り組むとともに、新たな情報発信ツールの導入についても検討する必要がある。また、コロナ禍により、座談会等の開催には至らなかったが、今後も、市民の声を市政に反映させるため、広聴機能の充実に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	01 ホームページ等運用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	627,792			
1205	システム開発等委託料	0			
1206	その他の委託料	52,800			
1301	使用料及び賃借料	990,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,715,000	1,670,592	0	44,408

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	413,000	1,257,592
主な財源	ホームページバナー広告料				

目的

行政と市民との情報共有化を図るため、ホームページ、公式アプリを活用して市政情報を積極的に発信するとともに、本市の魅力ある事業を市内はもとより県内外へ広く発信することで、観光客の誘客や移住定住の促進を図る。

事業活動内容

ホームページ、公式アプリを管理し、市からのお知らせ、イベント情報など、市の魅力を掲載、配信するなど、広報活動の充実に努めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
ホームページ保守業務委託　627,792
○その他の委託料
デジタルアーカイブ維持管理業務　52,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

新型コロナ感染症関連情報や緊急経済対策等の案内など、随時、市政情報の更新を行ったことなどにより、ホームページへのアクセス数は向上した。
（ホームページアクセス数 R2：959,455回　R3：1,492,163回）

【課題・改善点】

高度化・多様化する閲覧者のニーズやアクセシビリティへの対応が求められる中、検索しやすく、わかりやすい体系の構築を図る必要がある。また、コロナ禍により、一時的にアクセス数が増加している面もあり、効果的な情報発信の在り方について、他自治体の取組等も参考に、調査研究を進めていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	10 国際化への対応と国際交流の推進
中事業	02 国際交流の推進
小事業	02 外国青年招致及び国際交流まちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,800,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	551,527			
0801	費用弁償	50,210			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	16,000			
1301	使用料及び賃借料	576,000			
1808013	自治体国際化協会負担金	92,000			
1808014	JETプログラム負担金	21,600			
1825002	研修会負担金	16,800			
1832002	日向市国際交流まちづくり推進協議会補助金	98,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,351,000	5,222,137	0	128,863

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	416,000	4,806,137
主な財源	日向市市民活動支援基金繰入金、国際交流員住宅家賃収入				

目的

国際化の進展に伴い、国際社会の一員として広い視野を持ち、多文化共生による相互理解を深めることが求められている中で、市民に国際交流の場を提供し、国際感覚の醸成を図る。また、市内在住外国人や本市に来訪する外国人に対する行政情報の発信や国際港湾都市日向の魅力を発信していく。

事業活動内容

国際交流員を活用し、英会話教室、幼稚園・保育園等への訪問活動を行い、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、市広報紙及び市ホームページにおいて、異文化紹介などの情報発信を行った。また、国際交流まちづくり推進協議会主催の国際交流イベントを開催し、市民への国際交流の場の提供及び在住外国人の支援を図った。

○英会話教室及び国際交流イベント参加者数　129人
○国際交流イベント実施件数　6回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

国際交流イベントは、屋外やオンラインで開催するなど、コロナ禍でもできる内容に取り組み、参加者にも満足いただけた。異文化・国際理解が図られ、また、在住外国人の支援に取り組むことができた。

【課題・改善点】

本市の在住外国人が増加している中、多文化共生の地域づくりに向けて、国際交流員による活動や各種国際交流イベントに加えて、在住外国人の支援策も求められている。市民や在住外国人のニーズを把握し、計画的に各事業を実施していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	01 地域コミュニティの活性化
小事業	02 新しい地域コミュニティ組織制度事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	24,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	46,013			
1005	食糧費	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	0			
1832010	新しい地域コミュニティ制度事業交付金	1,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,617,000	1,470,013	0	146,987

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,400,000	70,013
主な財源	市民活動支援基金利子、日向市市民活動支援基金繰入金				

目的

少子高齢化や人口減少の進展などにより、地域コミュニティ意識が希薄化している中、自治会（区）単位では実施が困難な活動や、広範囲な地域課題への対応など、新たな地域コミュニティ組織による活動を通して、持続可能な地域づくりと地域コミュニティの活性化を図る。

事業活動内容

各まちづくり協議会に対し、持続可能な地域づくりと地域コミュニティの活性化、地域課題の解決に向けた活動への支援として、交付金の交付等を行った。まちづくり協議会設立地区の合同会議を開催し、意見交換及び情報共有したほか、未設立地区に対して、制度概要の説明を行った。

○地域課題解決型事業実施件数　16件
○4地区合同会議・制度説明会開催件数　4回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

各まちづくり協議会においては、行政だけでは対応できない地域課題への対応や地域コミュニティの維持・向上を図る事業等が行われており、各地域で特色のある住民主体のまちづくりが進められている。

【課題・改善点】

人口減少により地域力が低下している中、自治会（区）単位を超えて、さまざまな主体が連携して地域活動を実施する本事業は、今後ますます重要になってきている。設立地区に対しては継続した支援を行い、未設立地区に対しては本制度の導入を促進していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	02 公民館活動の充実
小事業	01 自治公民館の整備助成

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1860016	自治公民館整備費補助金	1,349,000			
1860020	コミュニティ助成事業補助金	2,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,900,000	3,849,000	0	51,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,500,000	1,349,000
主な財源	コミュニティ助成事業助成金				

目的

地域住民の憩いの場、防災拠点、福祉・子育て支援など、地域活動の拠点となる自治公民館等を整備することによって、自治会（区）活動及び地域コミュニティの活性化を図る。

事業活動内容

自治公民館の新築（建替）・改修・修繕・屋外放送設備・空調設備・備品の整備に対する助成を行った。

○自治公民館整備費補助金の件数　3件／鵜毛区（屋外放送設備）、広見区（修繕）、新財市区（空調設備）
○コミュニティ助成事業補助金の件数　1件／江良区（備品整備）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金、補助及び交付金
①自治公民館整備費補助金
鵜毛区（屋外放送設備）　782,000
広見区（修繕）　238,000
新財市区（空調設備）　329,000
②コミュニティ助成事業補助金
江良区（備品整備）　2,500,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

老朽化が進んでいる自治公民館も多く、各自治会（区）から、改修等の整備要望を受け付けているが、必要性及び緊急性の高いものから年次的に助成を行っており、自治会（区）の活動支援につなげることができた。

【課題・改善点】

自治公民館は、各自治会（区）が地域活動を行っていくための重要な拠点施設であることから、国・県などの助成制度も活用しながら、自治会（区）及び市の負担軽減を図りつつ、今後も継続して施設整備等の支援を行っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	01 地域コミュニティの活性化
小事業	05 自治公民館活動支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	61,281			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	52,164			
1005	食糧費	10,000			
1006	印刷製本費	59,180			
1206	その他の委託料	159,700			
1805017	宮崎県公民館連合会負担金	25,800			
1825002	研修会負担金	1,000			
1840015	区長公民館長連合会運営補助金	2,700,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,471,000	3,070,425	0	400,575

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,070,425
主な財源					

目的

地域コミュニティの中核を担う日向市区長公民館長連合会の運営費や事業費等の助成を行うほか、各自治公民館活動への運営支援を行うことにより、住民の創意と工夫にあふれた明るく住みよい地域づくりを促進する。

事業活動内容

日向市区長公民館長連合会に対し、運営事務経費、各種事業・研修大会等に係る経費及び各自治公民館の活動費を助成し、活動支援を行った。また、日向市区長公民館長連合会と協力して、区加入促進月間の取組を実施し、自治会（区）の未加入者対策を図ったほか、地域担当職員制度等により、各自治会（区）の活動支援を行った。

○自治会（区）加入率　64.4%（令和3年4月1日現在）
○各種大会・研修会開催件数　3回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
区加入促進ための広報紙等配布業務　159,700

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

区加入率が減少傾向にある中、区加入促進月間の取組で226件の区加入実績が上がった。区長公民館長連合会ではコロナ禍で実施できない事業もあったが、研修会等を通して学びの機会が確保できた。

【課題・改善点】

少子化・超高齢化、人口減少が進展する中、地域の中核的役割を担う自治会（区）は、地域コミュニティの維持及び向上において、ますます重要なものとなっている。今後も区長公民館長連合会や各自治公民館活動への支援を行い、地域が主体となった安全安心で住みよいまちづくりを促進していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0003 市民活動支援係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	02 NPOの育成・支援
小事業	01 ひまわり基金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867004	日向市ひまわり基金事業推進協議会補助金	1,100,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,100,000	1,100,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,099,000	1,000
主な財源	ひまわり基金利子、ひまわり基金繰入金				

目的

協働の担い手である市民活動団体等からの公益的な提案事業への支援を行うことにより、協働のまちづくりを推進する。また、若者を対象とした人材育成事業を開催し、地域の現状や課題を知るとともに課題解決のための手法等を学び、考える機会や交流の場を提供することで、地域の将来を担う人材の育成と地域の活性化を図る。

事業活動内容

市民活動団体が取り組む公益的なまちづくり、人づくり等の事業の経費に対して、1団体につき15万円を限度に助成を行った。また、地域活動で活躍しているリーダー等を講師に迎え、若者を対象にワークショップ等の講座を実施し、市内の地域資源を活用した地域づくりや地域課題解決などの手法を参加者同士で学び、将来のまちづくりや地域づくりの担い手となる人材の育成を図った。

○市民活動助成事業提案件数　4件
○人材づくり事業「ひまわり塾～SDGs編～」講座回数　8回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

助成事業では、新規団体3件を含む4件を採択した。人材づくり事業では、オンライン開催などにも取り組み、各講座を通して、市内の今後の課題解決に活かす様々なアイデアについて学んだ。そして、公開プレゼンテーションで実行性のあるプランを発表した。

【課題・改善点】

少子・高齢化の進展に伴い市民活動団体数の減少や活動の衰退が進んでいるため、引き続き、協働のまちづくりを推進し、新たな市民活動の促進につなげることが重要である。また、多様な分野で地域の担い手確保が求められるため、今後も多くの市民が参加するために、講座内容等を見直す必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0003 市民活動支援係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	02 NPOの育成・支援
小事業	02 協働のまちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0707	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金 財務	60,000			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	0			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	45,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	0			
1852012	市民提案事業公募補助金	1,542,000			
2403	その他特定目的基金積立金	9,363,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,216,000	11,011,300	0	204,700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	10,863,000	148,300
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、ミニボートピア日向環境整備協力費				

目的

市民活動団体等から自発的に提案される公益的な事業を支援することにより、市民力・地域力を活用した協働のまちづくりの推進や地域課題の解決を図る。また、市民や市職員を対象に協働に関する情報発信、研修会等を実施し理解を深めることで「自助・共助・公助」のバランスがとれた地域づくりを進める。

事業活動内容

市民活動団体等への支援を行うことを通して、協働のまちづくりを推進することを目的に、市民活動団体等が自由な発想で自らが主体となって行う企画提案事業に対して、日向市市民まちづくり支援事業補助金の交付を行った。（本年度は市制70周年記念事業として、補助率を一部引き上げて支援を行った。）ホームページでの情報発信を通して、協働のまちづくりに対する意識の醸成を図った。市職員を対象とした協働に関する研修は、コロナ禍により実施できなかった。
○企画提案事業件数　6件
○事業周知回数　12回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金
（市民提案事業公募補助金）

農業体験を通して豊かな感性を育む大王谷農業小学校	186,000
映画「キネマの神様」日向市特別先行上映会	427,000
さぁ、広げよう農業小学校	236,000
まちなかハロウィン2021	130,000
サーフタウン日向のリラックスベンチを作ろう	228,000
幸麗（高齢）者のためのピアノコンサート	335,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
市民活動団体等から自発的に提案される公益的な事業を支援することで、地域力を活用した協働のまちづくりの推進や地域課題解決につなげることができた。

【課題・改善点】
本事業は、市民活動団体が企画提案して実施する公益的な事業への支援を通して、市民活動の促進と地域力を高めるためのものであるため、新規団体による活用が広がる取組をはじめ、より活用しやすい補助制度にするため、補助内容の見直し等も必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0011 人権・同和行政推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	16 人権・同和行政推進費		

事業	
大事業	08 人権・平和の尊重
中事業	02 人権・同和行政の推進
小事業	01 人権・同和行政推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	340,000			
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	270,889			
1006	印刷製本費	57,200			
1103	手数料	15,400			
1203	事業委託料	1,350,311			
1805073	宮崎県人権啓発推進協議会	109,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,495,000	2,142,800	392,800	959,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	100,000	0	0	2,042,800
主な財源	「人権の花」運動委託金				

目的

女性・子ども・高齢者・障がい者・同和問題・外国人・HIV感染者・性的少数者など、様々な人権問題について、正しい理解と認識を深めることにより、全ての人の人権が尊重され、互いに認め合い、あらゆる差別のない誰もが幸せに暮らすことができる地域社会の実現に寄与する。

事業活動内容

市民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが安心して幸せに暮らすことができる人権のまちづくりに向けて、様々な人権問題について、正しい理解と認識を深めるため、人権教育・啓発を推進した。
2つの市民向け講演会については、オンライン録画配信で開催した。
(1)人権週間への取組、人権の花運動の取組
(2)日向市人権・同和問題啓発推進協議会委託事業
(3)日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例について周知する研修等の開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（事業委託料）

日向市人権・同和問題啓発推進事業業務	1,350,311

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
コロナ禍において対面式の講演会等の開催が困難だったことから、オンライン録画研修に切り替えて実施し、学習機会の確保が図られた。

【課題・改善点】
オンライン録画配信による講演会については、会場での視聴を主とするなどインターネットに不慣れな方への配慮が必要である。また、令和4年度から実施するダイバーシティ推進事業については、パートナーシップ宣誓制度の開始をはじめ、多様性を認めるまちづくりを進めるとともに、インターネットやSNSにおける差別拡散の防止に向けた取組、効果的な啓発手法の確立が重要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	08 人権・平和の尊重
中事業	03 平和教育の推進と啓発活動
小事業	01 平和推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1108	その他の保険料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808008	日本非核宣言自治体協議会負担金	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
739,000	30,000	0	709,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	30,000
主な財源					

目的

広島・長崎での原爆投下や太平洋戦争の犠牲者を追悼するとともに、市民に対し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて啓発活動を行い、平和意識の醸成や高揚を図る。特に、次代を担う子どもたちに対して、戦争を風化させないために、平和の尊さを実感させる機会を提供する。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、非核平和宣言自治体として、核兵器の廃絶と世界恒久平和を願うための事業を行った。
○サイレン吹鳴
広島、長崎の原爆投下時刻と、終戦記念日の正午に1分間のサイレン吹鳴を行った。
○被爆体験講話の開催（リモート開催）　大王谷学園
○原爆写真・パネル展の開催
○中学生平和交流団の派遣（青少年ピースフォーラム）は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
コロナ禍により、派遣事業は実施できなかったが、リモートでの被爆体験講話の開催や、原爆写真・パネル展の開催などにより、子どもから大人まで、幅広い年代に対し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考え、実感する機会を提供することができた。
【課題・改善点】
戦後75年以上が経過し、戦争経験者が高齢となっていることから、被爆体験講話については、直接、生の声を聴くことが年々難しくなっている。リモートや体験を語り継ぐ証言者の活用など、多様な機会の提供を検討することが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	37 市制施行70周年記念式典事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	60,000	1301	使用料及び賃借料	266,850
0714	その他の役務提供等に対する報償金	50,000	1852010	日向市い坊市交流促進協議会事業補助金	0
0715	報奨金	0			
0716	記念品料	1,041,600			
0802	普通旅費	118,946			
1001	消耗品費	267,107			
1005	食糧費	6,192			
1006	印刷製本費	768,130			
1101	通信運搬費	150,000			
1103	手数料	122,650			
1105	筆耕翻訳料	190,905			
1206	その他の委託料	196,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,000,000	3,239,280	0	2,760,720

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,100,000	139,280
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

70年間の日向市のあゆみを振り返るとともに、市勢発展に尽力された方々へ敬意を表することで、今後の更なる発展の契機とする。

事業活動内容

○日向市市制施行70周年記念式典の開催
令和3年11月20日（土）、参加者約550名

○「日向市市制施行70周年　70年のあゆみ」作成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
日向市市制施行70周年記念事業
舞台・音響・記録映像業務委託　196,900

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　終了
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策（人数制限、座席指定、検温、手指消毒等）を行いながら記念式典を実施し、市勢発展に尽力された方々へ敬意を表することで、新たな歴史を築き上げる契機となった。
一般表彰（157名、33団体）、青の国大賞顕彰（7名）、日向市民栄誉賞・日向市民栄誉特別賞（2名）

【課題・改善点】
令和3年度をもって事業終了

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0003 行政経営係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	01 公会計制度改革に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	1,616,800			
1301	使用料及び賃借料	210,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,827,000	1,826,800	0	200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,000	1,822,800
主な財源	財務会計システム使用料負担金				

目的

国が示す統一的な基準による財務書類を作成し、予算編成や公共施設の更新等の財政運営や政策決定等に活用する。また、財務情報の開示により、第三セクター等を含めた財政的リスクや将来世代の負担等を明らかにすることで、適切な説明責任の履行、財政的課題の共有を図る。

事業活動内容

公認会計士による支援のもと、固定資産台帳の更新を行うとともに、一般会計のほか広域連合や第三セクター等を加えた連結財務書類を作成し公表した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
統一的な基準による財務書類
作成支援業務委託　1,300,000
地方公会計システム等保守業務委託　316,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
財務書類の作成を通して得られた固定資産台帳等の情報について、予算編成における公共施設の老朽化対策等での活用を図った。
【課題・改善点】
財務書類については、予算編成や公共施設マネジメントでの活用のほか、他自治体との財政状況の比較分析や施設別・事業別のセグメント分析による「見える化」の取組も重要であることから、引き続き、効果的・効率的な活用方法の検討を進めていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0003 行政経営係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	09 行政経営推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	50,000			
0802	普通旅費	3,640			
1001	消耗品費	131,359			
1006	印刷製本費	539,000			
1101	通信運搬費	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
815,000	723,999	0	91,001

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	723,999
主な財源					

目的

部局経営方針の策定や進捗管理を通して、第2次日向市総合計画に掲げる重点戦略と重点プロジェクトを推進するとともに、第2次日向市行財政改革大綱を着実に実行しながら、PDCAサイクルに基づく事務事業の評価・検証により、効果的・効率的な行政経営を実現する。

事業活動内容

部局経営方針の作成・公表をはじめ、年度途中の取組状況の取りまとめや中間報告を行いながら、適切な進捗管理に努めた。
また、主な施策の成果説明書の事務事業評価に基づき、次年度に向けた新規・拡充事業の検討や予算編成における事務事業の見直しに取り組むとともに、施策評価の導入についての検討を進めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
次年度予算編成の中で、事務事業の見直しを行い、事業費の縮減等につながった。
また、施策評価の導入に向けて、事務事業評価の様式等の見直し内容について整理することができた。
【課題・改善点】
部局経営方針の策定や事務事業評価等のPDCAサイクルに基づく行政経営の取組を体系的に整理し、事務の効率化を図るとともに、その結果を市民に対してわかりやすく公表していくため、施策評価の導入や事務事業評価の手法の見直しについて、引き続き検討を進めていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	45 適正な職員等管理
中事業	02 福利厚生制度の充実
小事業	01 福利厚生制度の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0715	報奨金	2,299,105			
1001	消耗品費	52,500			
1103	手数料	4,231,257			
1206	その他の委託料	882,825			
1890003	職員互助会交付金	2,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,767,200	9,665,687	0	101,513

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	313,000	9,352,687
主な財源	広域消防負担金、共済保険等取扱事務費				

目的

「職員の保健、元気回復、その他の厚生」に関する福利厚生事業の充実を図ることにより、職員の健康管理、勤労意欲及び職務能率の向上に努め、住民サービスの向上につなげる。

事業活動内容

職員の福利厚生の増進を図るため、地方公務員法第42条に基づき下記の事業を実施した。

○人間ドック受診に係る費用の助成
○定期健康診断等、職員に係る健康診断の実施
○産業医によるメンタルヘルス相談及びストレスチェック事業の実施
○職員の福利厚生事業を行っている「日向市職員互助会」への交付金交付

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
産業医業務委託（単価契約）　337,500
ストレスチェック業務委託（単価契約）　545,325

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

職員に対し、健康診断等の受診勧奨を継続的に行った結果、健康診断やストレスチェックの受診率は、99%以上となっている。前年度と比較すると、定期健康診断の受診率はわずかに下回っており、高ストレス者の割合は低下している。

【課題・改善点】

職員の健康維持は、円滑な市政運営の推進に資することから、時間外勤務の削減など労働環境の適切な維持に努める必要がある。特に、健康診断の徹底や高ストレスを抱える職員へのサポートなど予防対策の充実が重要であるため、職員研修や福利厚生事業、産業医との連携強化等に取り組みたい。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0004 行革推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	02 行政改革推進に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0704	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　行政通則	60,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	21,000			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	3,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	31,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
404,000	115,900	0	288,100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	115,900
主な財源					

目的

健全で持続可能な行財政基盤の確立を図り、市民満足度の高い市政を実現するために、「第2次日向市行財政改革大綱」（令和3年度～令和6年度）に基づいた行財政改革を推進する。

事業活動内容

「第2次日向市行財政改革大綱」を推進するため、以下の取組を行った。
○民間委員（13人）で構成する「日向市行政改革推進委員会」の開催
○庁内に設置する「日向市行政改革推進本部会」や「日向市行政改革推進本部専門委員会」の開催
○その他、特定の案件について検討や協議を行う会議の開催
○「第2次日向市行財政改革大綱実施計画」の進行管理・公表
○組織の改編

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

第2次日向市行財政改革大綱実施計画における実施項目の年次目標に対する達成率は約56%であった。また、デジタル化による全庁的な事務の簡素化・効率化を図るために「行政改革・デジタル推進課」を新設する等、効果的・効率的な行政経営を推進するための組織改編を行った。

【課題・改善点】

行政需要が多様化する中、全庁的な業務量を調査して、ICTの活用等による業務効率化を推進するとともに、定年引上げを踏まえた組織体制及び定員管理の最適化を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0005 人財育成係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	02 職員の育成
小事業	01 人事評価制度推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600			
1206	その他の委託料	946,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,138,000	948,600	0	189,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	948,600
主な財源					

目的

人事評価制度を活用して、職員の能力・資質の向上を図るとともに、職場のコミュニケーション増進とOJTの充実、業務マネジメント（PDCAサイクル）を機能させることにより組織力の向上を図る。

事業活動内容

公平公正な評価を行うため、評価者、被評価者ともに研修を行った。また、管理職の人事評価について、勤勉手当に結果を活用し、法に基づいた人事管理を図った。
また、よりよい制度に改善していくため、庁内検討委員会を開催した。

○評価者研修の回数　8回
○被評価者研修の回数　4回
○日向市職員人事評価検討委員会の回数　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
人事評価研修委託料　946,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充
コロナ禍ではあったが、オンラインにより研修を開催し、職員の評価に対する目線合わせを行うことができた。職員アンケートの結果でも、納得度は高い。また、令和3年度より管理職の勤勉手当に評価結果の活用を図っている。
【課題・改善点】
令和4年度から人事評価結果を管理職の処遇（昇給、昇格、分限処分等）に反映する予定であり、令和6年度には管理職以外の職員に活用する予定。そのため、処遇反映の検証を行いながら、運用の見直しを行うとともに、人事評価研修の充実を図ることにより、職員の能力向上、人材育成に取り組む必要がある。また、令和4年度には、人事評価システムを導入予定であり、より適切な制度の運用に努めたい。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0005 人財育成係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	02 職員の育成
小事業	02 職員研修事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	264,000			
0803	特別旅費	650,520			
1001	消耗品費	372,308			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	2,970			
1206	その他の委託料	408,180			
1301	使用料及び賃借料	14,460			
1808019	日本経営協会負担金	50,000			
1825002	研修会負担金	173,900			
1852018	日向市職員自主研修助成金	39,206			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,231,000	1,975,544	0	1,255,456

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	130,000	1,845,544
主な財源	ひとづくり助成金				

目的

各種研修を受講することにより、職員の意識改革と資質の向上に努める。また、広い視野と豊かな見識を持ち、地域の課題を的確にとらえ、困難な課題にも創意と工夫で果敢にチャレンジしていく職員を育成することで、市民サービスの向上を図る。

事業活動内容

職員の能力向上を図り、内部研修を実施するとともに、市町村振興協会やその他の研修機関へ職員を派遣した。

○主な内部研修の延べ受講者数　443人
○市町村職員研修センター及び中央研修機関への職員派遣者数　249人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
コンプライアンス研修業務委託料　408,180

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
コロナ禍のため、対面による研修の受講ができないことが多かったが、オンライン等の利用により、意識の向上・スキルアップを図ることができた。受講後アンケートでも、満足度は高い傾向にある。
【課題・改善点】
コロナ禍のため、研修が開催できず、階層別研修についても予定者の受講ができない状況があった。今後は、職員のニーズに合わせて受講できるよう、Eラーニング等の手法も検討していく必要がある。また、正職員だけでなく、再任用職員や会計年度任用職員など多様な任用形態に合わせた研修の充実に取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	01 災害予防対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	34,000			
1001	消耗品費	4,920,038			
1206	その他の委託料	297,000			
1301	使用料及び賃借料	8,430			
1702	機械器具費（事業執行用）	360,800			
1808074	市町村広域災害ネットワーク負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,878,000	5,620,268	0	257,732

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,000,000	1,620,268
主な財源	企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

あらゆる自然災害に対して、事前の備えを確立することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。

事業活動内容

災害用備蓄品を整備するとともに、市町村広域災害ネットワークとの連携や防災ハザードマップの作成、災害時応援協定の締結を推進した。

(1)市町村広域災害ネットワークWEB会議への参加（首長会議、担当者会議2回）
(2)災害用備蓄品の整備（非常食、飲料水、粉ミルク、災害用備蓄品の購入）
(3)WEB版防災ハザードマップデータの更新
(4)災害支援協定の締結　1件（NTT西日本）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
日向市WEB版防災ハザードマップ保守業務委託　297,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

日向市備蓄計画に基づき、アルファ化米などの主食や飲料水のほか、災害用備蓄品の計画的な購入を行った。また、避難情報の変更や宮崎県が公表した高潮浸水想定区域について、WEB版ハザードマップを更新するなどの防災に対する意識啓発に努めた。

【課題・改善点】

日向市備蓄計画に基づき、計画的な備蓄品の確保及び年次的な更新を行うほか、避難所における要配慮者や感染症対策に係る備蓄品等についても確保していく必要があることから、継続した事業実施が求められる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	04 防災計画等策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	76,800			
0801	費用弁償	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
172,000	76,800	0	95,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	76,800
主な財源					

目的

災害に対する日ごろからの備えや応急対策、復旧・復興に対する各種計画を策定し、安全・安心なまちづくりを推進する。

事業活動内容

災害対策基本法の改正に伴う避難情報の発令に関する事項など、必要な事項について市地域防災計画の改定を行った。

(1)防災会議の開催（書面）
(2)地域防災計画の改定

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍の影響により、防災会議については、書面決議となったものの、避難情報の見直しなど、災害対策基本法の改正に伴う内容について、市地域防災計画を改定し、運用することができた。

【課題・改善点】

市地域防災計画については、年次的に見直しを行っているが、その内容について、市総合防災訓練や地域での防災訓練・講話を通して、市民に対し周知を行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	06 防災情報収集・伝達事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	560,159			
1007	光熱水費	667,966			
1101	通信運搬費	2,569,896			
1103	手数料	324,720			
1108	その他の保険料	68,471			
1201	施設維持管理委託料	3,476,000			
1206	その他の委託料	2,640,000			
1301	使用料及び賃借料	136,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,945,943	10,443,512	0	502,431

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	16,000	10,427,512
主な財源	防災施設電気使用料				

目的

災害時において、的確な避難情報等を発令し、市民の生命、身体及び財産を災害から守る。

事業活動内容

気象情報等を収集するためのシステムや市民への情報伝達システムを構築するとともに、平常時から運用体制の整備を行った。
(1)同報系防災行政無線の運用
(2)防災情報配信サービスの運用
(3)衛星携帯電話の運用
(4)水防対策支援システムの運用
(5)IP無線機の運用

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
日向市同報系防災行政無線保守管理業務委託　3,476,000
○その他の委託料
日向市防災気象業務支援サービス業務委託　2,640,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
台風接近などによる災害のおそれのある場合や津波注意報発表時など、同報系防災行政無線や防災情報配信サービスを活用し、気象情報や避難情報など、的確な情報伝達を行った。
【課題・改善点】
台風時や津波発生時など、市民に対し的確な避難情報等の伝達を行うため、同報系防災行政無線のほか、複数の伝達手段を備え、平常時から保守点検や訓練等で運用していくことが重要である。
また、デジタル化等による様々な手段が開発されることが予想されることから、より効率的な情報収集・伝達方法の確保に努めていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0004 地域防災係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	05 地域防災力向上支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,565,781			
0301	職員手当	141,678			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	291,140			
0801	費用弁償	16,000			
1001	消耗品費	10,821			
1103	手数料	0			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1865009	日向市自主防災会連絡協議会補助金	300,000			
1865010	日向市自主防災組織育成補助金	1,395,000			
1869013	防災士養成補助金	35,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,161,000	3,755,420	0	1,405,580

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	995,000	2,760,420
主な財源	自主防災組織育成助成事業補助金				

目的

市民の防災意識の向上と、自助・共助による安全・安心なまちづくりを推進する。

事業活動内容

地域の防災訓練や防災講話などの啓発事業を実施し、市民の防災意識の向上を図るとともに、地域の防災リーダーとなる防災士の資格取得への支援を行った。
また、日向市自主防災会連絡協議会に関する事務を行うとともに、県企業局が実施する「県営発電所周辺地域振興事業」等を活用し、自主防災会に資機材を整備した。
○各地区、団体等の防災講話・訓練への支援　参加者数11,760人
○防災資格取得支援　補助金交付者数7名　○自主防災会への資機材配備　配備地区数15地区
○地区防災計画　策定済4地区（公園通り、曙、長江、大王谷）　策定中3地区（寺迫、向江町、幸脇）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
防災講話・訓練については、コロナ禍の影響により中止となることも多かったが、昨年度より増加しており、また、助成事業を活用した自主防災会への資機材配備を図ることで、地域の防災力向上に繋がっている。
【課題・改善点】
頻発・激甚化する災害に対応するためには、自助・共助の取組を推進し地域防災力の向上を図ることが重要であり、継続して地域の防災訓練や防災士の資格取得を支援していく必要がある。
また、助成事業を活用した防災資機材の整備についても引き続き取り組んでいく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0004 地域防災係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	01 地震・津波防災施設整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1008	修繕料	2,995			
1201	施設維持管理委託料	0			
1202	工事施工を伴う委託料	7,920,000			
1401	建設工事費	17,424,000			
1501	原材料費	1,860			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	269,500			
1852028	日向市津波避難経路等整備費補助金	336,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,418,000	25,954,955	0	463,045

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,350,000	84,000	9,400,000	0	3,120,955
主な財源	社会資本整備総合交付金（防災・安全）、県単減災力強化推進事業費補助金				

目的

近い将来想定されている震災に備えて、防災施設の整備充実を行うことにより、防災力を向上させ、市民の安全・安心に寄与する。

事業活動内容

南海トラフ地震等の大規模災害に備えた分散備蓄体制を構築するため、財光寺中学校敷地内に備蓄倉庫の整備を行った。
また、円滑な避難を図るため、往還2号避難タワーと国道10号横断歩道橋を接続する往還避難路の設計を行うとともに、自治会等が実施する避難経路等の整備に補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
往還避難路設計業務委託　7,920,000
○工事請負費
財光寺地区備蓄倉庫建設工事　17,424,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
地震や津波の影響による道路の寸断等に備え、財光寺地区備蓄倉庫を整備し、分散備蓄体制の構築を推進した。

【課題・改善点】
公的備蓄と分散備蓄体制の整備を継続して推進するとともに、自助・共助による備蓄についても啓発を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	01 公共施設マネジメント推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	45,740			
1001	消耗品費	16,000			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	9,350			
1101	通信運搬費	7,000			
1205	システム開発等委託料	435,600			
1206	その他の委託料	2,750,000			
1301	使用料及び賃借料	11,748			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,467,000	3,275,438	0	191,562

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	40,000	3,235,438
主な財源	ひとづくり助成金				

目的

公共施設を資産として捉えるとともに、経営的な視点を持ちながら、総合的かつ計画的な管理に取り組んでいく「公共施設マネジメント」を推進し、公共施設の安全・安心の確保、総量の最適化及びライフサイクルコストの縮減を図り、持続可能な行政サービスの提供や財政の健全化を実現する。

事業活動内容

公共施設マネジメントの基本計画として位置付ける「日向市公共施設等総合管理計画」に基づく各種取組を実施した。
○廃校施設の利活用
旧岩脇中学校の利活用方針を決定したほか、旧福瀬小学校や旧東郷幼稚園の利活用の検討を進めた。
○安全・安心の確保
市有施設の安全性の確保とともに更なる長寿命化を図るため、建物定期点検を継続して行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
公共施設マネジメント支援システム運用保守業務　435,600
建築基準法に基づく建物定期点検業務　2,750,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
旧岩脇中学校の利活用方針を決定するなど、次年度以降につながる具体的な進展がみられた。

【課題・改善点】
日向市公共施設等総合管理計画の基本目標である、安全・安心の確保、総量の最適化、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、個別施設計画に基づき、施設のあり方の見直しや統廃合等の検討を継続して推進していくことが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	07 公共施設老朽化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	890,120			
1103	手数料	266,200			
1204	調査・計画策定委託料	4,353,800			
1206	その他の委託料	979,000			
1402	維持補修工事	12,723,920			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,000,000	19,213,040	0	786,960

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	19,213,040
主な財源					

目的

公共施設の老朽化の進行に対応するため、修繕・維持補修及び計画的な改修・更新に関する予算の一元的な管理を行うとともに、優先度を踏まえた執行管理を行う。
また、安全性に課題のある施設については、改修や解体等を進め、安全・安心の確保を図る。

事業活動内容

○東郷体育館の現状調査
耐震性に課題のある東郷体育館について、令和4年度以降の耐震補強設計の基となる耐震診断調査を行った。

○建物系施設の老朽化に伴う修繕・維持補修や改修工事等
安全性等の観点から優先順位を検討し、計21件の改修工事等を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

東郷体育館耐震診断業務	4,353,800
駅高架下施設木天井点検	330,000
駅前交流広場野外ステージ屋根点検	390,500
駅前交流広場野外ステージ吊物点検	220,000
旧南分遣所解体アスベスト事前調査	38,500

○工事請負費

中央公民館機械室屋上防水	7,370,000
中央公民館非常用蓄電池交換	2,244,000
社会同和教育集会所空調機更新	924,000
上町保育所屋根漏水補修	451,000
放送大学外壁等防水	968,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

東郷体育館の耐震診断及び優先順位に基づく修繕・維持補修や改修工事など、施設の老朽化に対応した取組を実施した。

【課題・改善点】

老朽化している施設が多いため、事後保全が主となっている。ライフサイクルコストの縮減と安全・安心の確保のため、点検や部品交換などの予防保全に取り組んでいく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0002 体育館建設準備係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	03 スポーツ施設の整備と活用
小事業	04 日向市総合体育館整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	159,000			
0802	普通旅費	72,900			
1001	消耗品費	74,000			
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	91,300			
1007	光熱水費	14,000			
1101	通信運搬費	416,494			
1202	工事施工を伴う委託料	6,780,400			
1301	使用料及び賃借料	1,290			
2403	その他特定目的基金積立金	62,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,962,000	7,671,384	0	290,616

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	61,000	7,610,384
主な財源	総合体育館建設基金利子				

目的

市民の誰もが日常的に利用できるスポーツ活動、健康づくりの拠点施設として、さらには、災害時の避難拠点施設となる総合体育館を整備する。

事業活動内容

「日向市総合体育館整備基本構想」を踏まえ、具体的な機能や設備等について、市民ニーズの把握や分析及び市民検討委員会等での検討を行い、「日向市総合体育館整備基本計画」の策定を進めた。

○日向市総合体育館整備市民検討委員会の開催　3回
○市民アンケート調査及び日向高校生アンケート調査の実施
○日向市総合体育館整備基本計画（案）のパブリックコメントの実施
○日向市総合体育館建設基金利子の積立

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事施工を伴う委託料

地質調査業務委託	3,828,000
造成測量設計業務委託	2,860,000
プール施設石綿事前調査委託	92,400

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

市民アンケートやパブリックコメント等での市民のご意見を踏まえ、「日向市総合体育館整備基本計画（案）」を作成した。コロナ禍により市民説明会が延期となり、令和4年4月の策定となった。

【課題・改善点】

今後も市民への丁寧な説明に努めるとともに、基本計画に基づき事業における課題について検討していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0011 債権管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	08 債権の適正管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	21,874			
1101	通信運搬費	50,000			
1103	手数料	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
289,000	73,174	0	215,826

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	73,174
主な財源					

目的

市が提供する行政サービスの公平負担の原則に基づき、累積する未収債権の圧縮を図る。

事業活動内容

債権を、税・公課（強制徴収公債権）・公債権（非強制徴収公債権）・私債権に分類し、回収、放棄等の適正管理を行った。
(1) 研修の実施・・・債権管理研修　2回
(2) 管理の支援・・・処理困難案件への指導助言、支払督促等の司法手続きの支援
(3) 会議の開催・・・債権管理関係者会議　4回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
債権担当課による適切な対応ができたことで債権の回収が進み、債権額の圧縮が図られている。
【課題・改善点】
公平性の観点から、債権の圧縮を図ることを目的とした適切な債権管理を行う必要があり、また、各課の担当職員の徴収スキルも向上してきてはいるが、困難事例や担当者の人事異動による変更等に対応するため、研修会等を通して、更なる知識と技術の習得を継続して行う必要性がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費
目	01 戸籍住民基本台帳費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	03 住民基本台帳事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,486,381	1701	庁用器具費（一般的事務用）	160,600
0301	職員手当	256,504	1805015	宮崎県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金	21,400
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	559,856	1808085	コンビニ交付運営負担金	2,728,000
0801	費用弁償	49,700			
0802	普通旅費	87,372			
1001	消耗品費	1,175,308			
1002	消耗品費追録	277,222			
1006	印刷製本費	2,156,880			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	34,660			
1206	その他の委託料	16,848,374			
1301	使用料及び賃借料	15,436,736			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,043,000	43,278,993	1,567,500	3,196,507

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,634,000	0	0	27,942,000	10,702,993
主な財源	社会保障・税番号制度システム整備費補助金、税関係証明手数料、戸籍手数料、個人番号カード交付事務費補助金、住民票発行手数料、印鑑登録証発行手数料、自動車臨時運行許可手数料など				

目的

市民に関する記録の管理を適正に行い、市民の利便性の向上と行政の合理化を図る。

事業活動内容

○戸籍法、住民基本台帳法及び印鑑登録証明条例等に基づく届出（申請）受理、記録の管理及び身分等の公証等を行った。
・本籍・住所・印鑑に関する異動等の記録管理及び公証
・臨時ナンバーの貸付
・船員手帳の発行及び船舶航行報告証明等
○課税台帳等の閲覧及び税務証明書の発行を行った。
○各種証明書のコンビニ交付サービスを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

証明書コンビニ交付システム（戸籍）保守業務委託	1,858,560	戸籍総合システム保守業務委託	5,187,600
証明書コンビニ交付システム（住民情報）保守業務委託	3,300,000		
戸籍システム文字コード変換ツール（法務省分）業務委託	2,109,855		
戸籍システム住基法改正対応作業（総務省分）業務委託	2,304,225		

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
市民に関する記録の管理を適正に行ったことで、コンビニ交付など市民の利便性が向上し、行政の合理化が図られた。
【課題・改善点】
マイナンバーカードの普及により、コンビニ交付など利便性が高まれば、市民サービスの向上と窓口業務の効率アップが期待できる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0003 市民相談係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		
事業 大事業	26 安全・安心な生活環境の確保		
事業 中事業	03 消費者教育・啓発の推進		
事業 小事業	02 消費者行政強化事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	5,859,825			
0301	職員手当	1,251,518			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,129,728			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	154,000			
0801	費用弁償	92,400			
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	80,542			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,476,000	8,573,213	0	902,787

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,382,000	0	1,425,000	2,766,213
主な財源	消費者行政強化交付金事業補助金、日向地区広域消費生活センター運営負担金				

目的

日向地区広域消費生活センターにおいて、消費生活相談に対応するとともに、啓発および消費者教育に取り組むことで、消費者被害の救済および未然防止、被害拡大防止を図る。

事業活動内容

日向東臼杵圏域の消費生活相談に対応するとともに、情報誌、FMラジオや出前講座、自治会の班回覧等を活用して啓発活動に取り組んだ。また、定期的に無料法律相談を実施した。
〇令和3年度相談件数　354件
〇無料法律相談　年6回
〇センター窓口相談、関係町村の巡回相談　年24回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

日向地区広域消費生活センターが管轄する日向東臼杵圏域や関係機関と情報共有を図りながら、消費生活相談に対応することで、問題の解決と被害の拡大防止につなげた。

【課題・改善点】

消費者被害の未然防止、トラブル解決を図るため、できるだけ多くの機会を通じて、消費者に情報提供を行い啓発に努める必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0003 市民相談係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		
事業 大事業	26 安全・安心な生活環境の確保		
事業 中事業	04 生活相談体制の充実		
事業 小事業	01 各種相談(人権・法律等)事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,399,116			
0301	職員手当	193,252			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	270,992			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	192,500			
0801	費用弁償	85,200			
1001	消耗品費	13,393			
1005	食糧費	11,450			
1006	印刷製本費	1,980			
1101	通信運搬費	120,000			
1805010	宮崎県人権擁護委員連合会負担金	168,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,680,700	2,455,883	0	224,817

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,455,883
主な財源					

目的

市民からの要望・陳情等に対して、課題解決に向け適切な対応を図る。

事業活動内容

市民からの要望・陳情等に対して、関係機関と連携して課題解決に努めた。また、定期的に無料法律相談会を開催するとともに、人権相談や行政相談について啓発を行った。
〇市への陳情・要望の受付、進行管理
〇人権・行政相談時における相談員の活動支援
〇なんでも相談ホットラインによる相談の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

相談者が抱える課題の把握に努め、その解決に向けて、アドバイスを行うなど、関係機関と連携して対応した。また、定期的に無料法律相談を実施するとともに、行政相談や人権相談に関しての広報や、相談員の活動支援を行い、市民に定期的に専門家への相談機会を提供することができた。

【課題・改善点】

要望・陳情等に対しては、今後とも関係機関と連携して課題解決に努める。行政が介入できない民事トラブルに関する相談も多いことから、引き続き無料法律相談を実施し、各種相談会の広報に努め、市民に相談機会の提供を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	05 衛生対策の推進
小事業	01 畜犬(登録・狂犬病予防)事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	11,971			
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	144,474			
1007	光熱水費	30,000			
1101	通信運搬費	230,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
477,000	416,445	0	60,555

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	416,445	0
主な財源	畜犬登録事務手数料				

目的

狂犬病予防法に基づく、犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、狂犬病の発生とまん延を防止する。

事業活動内容

日向保健所および宮崎県獣医師会日向支部と協力し、自治公民館や公共施設等で狂犬病予防集合注射を実施した。また、犬の登録や狂犬病予防注射について、個別に案内するとともに啓発を行った。
〇犬の登録情報、狂犬病予防注射履歴の管理
〇狂犬病予防注射の案内（年2回）
〇登録鑑札、狂犬病予防注射済票及びシールの配布
〇FMラジオ等による啓発（年2回）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
FMラジオ等を利用して狂犬病予防注射の必要性およびペットの適正飼育について啓発を行うとともに、未登録犬や未注射犬の飼い主に随時案内を行ったことで、登録の徹底や接種率の向上につなげることができた。
【課題・改善点】
接種率の向上を図るため、今後も引き続き集合注射の実施と、犬の登録および狂犬病予防注射の必要性に関する啓発に取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	02 地域安全啓発事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	47,976	2601	国に対する公課費	35,400
1007	光熱水費	5,890,000			
1008	修繕料	158,400			
1103	手数料	15,400			
1107	自動車損害保険料	52,710			
1301	使用料及び賃借料	12,222,000			
1402	維持補修工事	807,015			
1805007	宮崎県防犯協会連合会負担金	45,700			
1805061	(社)みやざき被害者支援センター負担金	114,000			
1806006	日向地区防犯協会負担金	1,685,400			
1832009	日向市安全で安心な街づくり推進協議会運営補助金	250,000			
1852029	防犯灯設置補助金	238,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,157,000	21,562,801	0	594,199

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	385,000	21,177,801
主な財源	防犯灯移設等負担金				

目的

安全で安心なまちづくりのため、市民の防犯意識の高揚を図り、啓発活動を主体とした防犯への取組を推進する。

事業活動内容

関係機関と連携して、街頭啓発キャンペーンや見守り活動を行い、犯罪抑止と市民の防犯意識の高揚を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。
〇地域安全・防犯パトロール　随時

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
警察等の関係機関や自主防犯ボランティア団体の協力を得ながら、街頭における広報啓発、青色パトロールカーによる地域安全パトロール、子どもの見守り等の各種地域活動を積極的に実施し、犯罪抑止に努めた。その結果、令和3年度における市内の刑法犯認知件数については203件であり、令和2年度と比較して32件減少した。
【課題・改善点】
うそ電話詐欺の被害防止の啓発や、子供や女性の犯罪被害を防止するための関係機関と連携したパトロール等を強化していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	03 交通安全対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	1,600,000			
0801	費用弁償	3,900			
0802	普通旅費	16,420			
1001	消耗品費	8,916			
1003	消耗品費被服	198,000			
1101	通信運搬費	0			
1806019	日向地区交通指導員連絡協議会負担金	62,000			
1806055	日向地区交通安全協会負担金	1,741,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,701,000	3,630,836	0	70,164

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,630,836
主な財源					

目的
住民の交通安全に対する意識啓発を促進する。

事業活動内容
市内における交通死亡事故発生ゼロと飲酒運転根絶を目標に、各種キャンペーンや公用車による広報巡回など啓発活動を主体として取り組み、あわせて警察や関係団体等との連携強化を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
本年はコロナ禍により活動を制限せざるを得ないこともあったが、警察や関係団体等と連携を密にしながら街頭啓発活動等を行った結果、令和3年度における交通死亡事故者数は2名で、令和2年度と同数であった。
【課題・改善点】
高齢者対策として、制限運転をはじめとする実効ある対策を一層推進するとともに、重大事故に直結するおそれがある飲酒運転の根絶運動の推進、横断歩道の横断者に対する交通ルール遵守の啓発活動などにも力をいれ、市民の交通安全に対する意識をさらに高めていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	04 水難防止啓発事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	3,325			
1808009	宮崎県水難救済会負担金	20,000			
1832006	日向市水難事故防止対策協議会運営補助金	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100,000	53,325	0	46,675

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	53,325
主な財源					

目的
水難事故防止の啓発促進を図る。

事業活動内容
水難事故の発生抑止を目標として、関係機関と連携して啓発活動を主体に取り組み、市民の水難事故防止に対する意識高揚を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
警告・立入り禁止看板の整備や、海水浴客等に対する啓発活動等を実施し、水難事故防止に対する意識の高揚を図った。その結果、令和3年度の水難事故の死者数は2名で、過去3年の平均件数3人を下回った。
【課題・改善点】
注意・警告看板や、県内外の利用者に対する広報啓発活動などをさらに推進し、水難事故防止に対する意識の高揚を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0008 マイナンバーカード係
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費
目	01 戸籍住民基本台帳費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	05 マイナンバーカード取得推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	631,759			
1006	印刷製本費	198,000			
1101	通信運搬費	855,687			
1206	その他の委託料	19,799,800			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	92,730			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,582,000	21,577,976	0	4,024

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	21,429,000	0	0	13,000	135,976
主な財源	個人番号カード交付事業費補助金、個人番号カード再交付手数料、個人番号カード交付事務費補助金				

目的
デジタル社会の基盤であるマイナンバーカードの普及を図る。

事業活動内容
マイナンバーカードの申請受付から交付、カード所有者の住民異動に対応したカード券面の更新や、カード電子証明書の更新等を実施した。また、普及の取組として、写真撮影等の申請サポートや、マイナポイントの申込みサポートを実施した。
○令和3年度交付数　9,368枚
○令和3年度マイナンバーカード申請サポート　2,552件
○令和3年度マイナポイント手続きサポート　4,251件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○その他の委託料
マイナンバーカード発行等事務委託料　19,799,800

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
マイナンバーカードを交付するにあたり、必ず1度は対面での本人確認が必要であることから、コロナ禍での外出を控える等で交付数は伸びなかった。
（令和3年度交付数9,368枚、令和2年度交付数9,157枚）
【課題・改善点】
カード普及に向けて、申請サポートや休日開庁といった申請・交付の機会の拡充を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0002 環境公害係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	15 環境保全費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	01 自然環境の保全
小事業	02 自然保護事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	234,000			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	339,670			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	0			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	0			
1108	その他の保険料	129,400			
1203	事業委託料	849,200			
1869001	保存樹・樹林管理補助金	100,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,261,000	1,654,870	0	606,130

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	883,000	208,000	0	0	563,870
主な財源	生物多様性保全推進支援交付金、宮崎県市町村権限移譲交付金				

目的
市民の環境に対する理解と関心を深めるとともに、、本市の豊かな自然環境の維持保全に努める。
また、特定外来生物の生息域拡大防止に努めることにより、日本固有の自然環境の維持保全を図る。

事業活動内容
本市の豊かな自然環境の維持保全に努めるために、市内小学校を対象とした水辺環境調査、河川環境モニターによる河川監視活動、市民等と協働で行うクリーンアップ日向について、市民の方とともに活動した。また、保存樹や保存樹林の適正管理への補助金交付を実施した。
また、国の交付金事業を活用し、特定外来生物である「スウィンホーキノボリトカゲ」の生息調査及び駆除を行うための「日向市スウィンホーキノボリトカゲ防除計画策定事業」を実施した。
○クリーンアップ日向参加者数542人
○水辺環境調査6校165人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
スウィンホーキノボリトカゲ防除計画
策定事業に伴う捕獲業務委託　849,200

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
水辺環境調査、河川環境モニターによる河川監視活動、市民等と協働で行うクリーンアップ日向、保存樹や保存樹林の適正管理、ボランティア清掃活動は、概ね予定通り実施できた。国の交付金事業を活用した、スウィンホーキノボリトカゲ防除計画策定事業については生息調査及び駆除を効率的に行うため草刈りを予定していたものの、コロナ禍の影響により実施できなかったが、生息調査及び駆除作業は実施できた。
【課題・改善点】
クリーンアップ日向に参加してもらうため、周知を強化していく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	01 自然環境の保全
小事業	04 環境衛生に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	425,568			
1008	修繕料	16,865			
1206	その他の委託料	304,150			
1867012	側溝清掃補助金	396,000			
1867034	飲用井戸等水質検査費用補助金	2,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,441,000	1,144,583	0	296,417

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,144,583
主な財源					

目的
各地区が行う側溝清掃活動や害虫駆除を支援することで、本市の良好な環境衛生の維持保全を図る。

事業活動内容
各地区が行う側溝清掃に対する補助、側溝清掃で発生した土砂の運搬に対する支援、ユスリカなどの成長を阻害する発泡錠剤の配布、害虫駆除薬剤散布用の動力煙霧機の貸出し等を行った。また、飲用井戸等の水質検査に係る費用の一部を補助した。

○側溝清掃補助金　7地区、13件
○飲用井戸等の水質検査件数　1件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○その他委託料
地区側溝清掃に伴う廃棄物運搬
業務委託（7地区、2トンダンプ車7台）　304,150

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
側溝清掃等が継続的に行われ、環境衛生の維持保全が図られた。

【課題・改善点】
各地区の状況を考慮し、必要最小限の予算を確保しながら、現状の取組を維持していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	05 公害対策費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	03 公害対策の推進
小事業	01 公害対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1806026	耳川水系汚濁防止協議会負担金	29,000
0702	出会謝金	0			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	3,920			
1001	消耗品費	0			
1003	消耗品費被服	32,780			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	18,300			
1201	施設維持管理委託料	1,034,000			
1203	事業委託料	572,000			
1204	調査・計画策定委託料	4,807,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,932,000	6,497,000	0	435,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	25,000	0	0	6,472,000
主な財源	みやざきの家畜防疫強靭化事業補助金				

目的
河川等の水質調査や自動車騒音調査などの定期的な環境モニタリングにより、市民が安全で安心して暮らせる生活環境の維持保全を図る。

事業活動内容
河川水、最終処分場の水質調査や街区公園等のダイオキシン類調査、主要幹線道路の自動車騒音調査を行った。また、旧富高鉱山からの排水を処理する施設の清掃を行った。
○普通旅費（宮崎県ウラン対策専門委員連絡会議ほか）
○手数料（普通騒音計（NA-24）移動検定手数料）
○施設維持管理委託料（旧富高鉱山排水処理沈殿槽及び排水路清掃業務）
○事業委託料（自動車騒音調査業務）
○調査委託料（河川、最終処分場等の水質調査や河川、街区公園等のダイオキシン類調査業務）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○施設維持管理委託料
旧富高鉱山沈殿槽及び
排水路清掃業務委託　1,034,000

○事業委託料
自動車騒音常時監視
調査面的評価業務委託　572,000

○調査・計画策定委託料
日向市河川水及び最終
処分場水質検査業務委託　4,807,000

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
環境モニタリングの結果は、毎年環境基準を達成しており、成果は、本市の環境変化の監視に活用している。

【課題・改善点】
市民が安全で安心して暮らせる環境のために、長期的に継続しなければならない事業である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	03 し尿処理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	03 財光寺汚泥処理場施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0	1825002	研修会負担金	0
1001	消耗品費	2,862,000			
1007	光熱水費	5,318,000			
1008	修繕料	3,832,708			
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	13,662			
1201	施設維持管理委託料	27,033,271			
1206	その他の委託料	478,170			
1402	維持補修工事	30,250			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	15,400			
1818006	し尿処理一次処理負担金	13,183,625			
1818008	し渣焼却処理負担金	326,681			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,849,500	53,093,767	1,699,500	1,056,233

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,322,000	51,771,767
主な財源	財光寺汚泥処理場使用料、財光寺汚泥処理場管理室（菜切集会場）光熱水費使用料				

目的

生活排水（し尿及び浄化槽汚泥）処理施設の財光寺汚泥処理場の機能が、適正に維持されるよう施設及び設備の管理を行う。また、処理によって発生する脱水汚泥やし渣等の適切な処分を行う。

事業活動内容

財光寺汚泥処理場を適正に維持管理した。

○し尿処理一時処理負担金（浄化センターによるし尿処理に係る負担金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
- 日向市財光寺汚泥処理場
- 維持管理業務委託　22,660,000
- 脱水汚泥処分業務委託　1,909,641
- 財光寺脱水汚泥運搬業務委託　1,662,508
- 財光寺汚泥処理場植栽等管理委託　484,000
- 財光寺汚泥処理場脱水し渣運搬業務委託　158,722
- 日向市財光寺汚泥処理場
- 電気工作物保安業務委託　158,400

○その他の委託料
- 財光寺汚泥処理場
- 水質等分析業務委託　478,170

○維持補修工事
- 財光寺汚泥処理場
- 出入口安全ミラー設置工事　30,250

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
人口減少や下水道接続又は浄化槽転換により、し尿量は減っているが、一方、浄化槽汚泥量は増加している。

【課題・改善点】
生活排水処理機能の維持が図られるよう適切な設備の修繕や施設の維持管理を継続していく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0003 業務係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
小事業	01 樹木リサイクル事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	31,974			
1008	修繕料	100,000			
1103	手数料	3,800			
1106	火災保険料	2,672			
1201	施設維持管理委託料	13,750			
1702	機械器具費（事業執行用）	315,370			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
496,000	467,566	0	28,434

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	467,566
主な財源					

目的

循環型社会形成に資するため、剪定樹木をチップ化・腐葉土化することにより資源のリサイクル及び焼却ごみの減量化を図る。

事業活動内容

一般家庭及び事業者から排出される剪定樹木を樹木粉砕機によりチップ化・腐葉土化し、市民に無償で提供した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
- 浄化槽保守点検委託料　13,750

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
剪定樹木の受入量は増えており、計画的な粉砕によりチップ堆肥と薪の市民に提供できる量は増加してきている。

【課題・改善点】
剪定樹木のチップ堆肥等の需要は年々伸びていることと、焼却施設や最終処分場の施設延命化を考えると事業として維持していくには、現在、経年劣化からくる機械の不良が目立つ樹木チッパー機等の計画的な備品購入を検討していく必要がある。量の確保、品質の保持を維持していける状況を作り上げ、「有償化」の方向性を見いだす必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0003 業務係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	02 ごみの適正処理の推進
小事業	01 ごみ処理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	850,168			
1007	光熱水費	1,021,042			
1008	修繕料	45,100			
1203	事業委託料	168,574,600			
1601	土地購入費	1,378,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
172,065,000	171,869,710	0	195,290

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	37,228,000	134,641,710
主な財源	最終処分場利用負担金、廃棄物処理手数料				

目的

「日向市ごみ処理基本計画」に基づき、ごみの減量化と適正処理を推進することにより、市民・事業者のごみへの意識高揚と、焼却施設や最終処分場の施設延命化を図る。

事業活動内容

循環型社会の実現に向け、ごみの減量化・資源化を推進し、ごみ収集業務の効率化及び適正化に努めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
一般廃棄物収集運搬
貼紙啓発業務（北部・南部地区）　168,574,600

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍で、不適正なごみの排出が見られていたが、一時休止していた戸別訪問指導を再開したことで、ごみの減量化と適正排出を推進することができた。

【課題・改善点】

令和2年度から収集運搬体制を民営化し、順調に業務を遂行しているが、不適正なごみの排出は、まだまだ解決できていない。今後も戸別訪問等に注力する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0004 適正処理推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	05 公害対策費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
小事業	03 生ごみリサイクル推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	276,903			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
314,000	276,903	0	37,097

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	276,903
主な財源					

目的

家庭や飲食店等から排出される燃やせるごみの約4割は生ごみであることから、生ごみの発生・排出抑制、減量化・資源化を推進し、環境へ負荷が少ない循環型社会の構築を図る。

事業活動内容

コロナ禍ではあったが、感染防止対策を行い、小学校や民生委員、高齢者クラブ等に出前講座を実施し、家庭における生ごみの発生抑制、堆肥化等を推進する啓発を行った。また、市で実施している生ごみ処理器等の無償貸与や使用方法、取り扱いの説明を行った。

○普通旅費(視察及び研修等)
○消耗品費(生ごみ処理器及び啓発資材の購入)
コンポスト、EMバケツ等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

市民からの生ごみ処理器の関心が高まりつつあり、生ごみを堆肥化することでごみの減量化、焼却施設や最終処分場の延命化による財政負担の軽減にも繋げることができた。

【課題・改善点】

今後は、食品ロス削減や、生ごみをリサイクルし、減量化していくため、「生ごみ」ひとしぼりの啓発を進め循環型社会の構築に向けて啓発を行う。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0004 適正処理推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
小事業	02 資源回収事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0715	報奨金	4,292,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	85,386			
1006	印刷製本費	1,659,994			
1203	事業委託料	278,405,954			
1206	その他の委託料	1,398,716			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	64,900			
1867013	資源回収実施地区補助金	10,092,500			
1869002	古紙保管庫設置助成金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
298,799,000	295,999,450	0	2,799,550

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	38,758,000	257,241,450
主な財源	有価物売払収入、有償入札拠出金				

目的

日向市ごみ処理基本計画に基づき、ごみの減量化や資源化の推進による財政負担の軽減を図るとともに、民間企業のリサイクル施設と連携を取りながら、ごみの減量化及び資源化を推進し、適正なごみ処理体制の構築を図る。

事業活動内容

循環型社会の構築に向け、資源回収業務・中間処理委託業務を民間に委託し実施するとともに、各地区の資源物回収を奨励促進するため、各地区に対して補助金を交付した。
○普通旅費（研修会等）
○消耗品費（啓発用資材及び防風ネット等）
○事業委託料（資源回収業務、中間処理業務等）
○資源回収実施地区補助金（95地区）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
燃やせないごみ・資源物等処理業務委託　91,850,000
資源回収業務委託（缶類・空き瓶ほか、古紙類、プラスチック製容器包装、）　106,309,500
中間処理業務委託（空き缶類、古紙類カセットボンベ・スプレー缶、プラ容器包装、ペットボトル）　79,674,840
再商品化業務委託　571,614

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
日向市ごみ処理基本計画に基づき、市民、事業者、行政が一体となり、循環型社会の構築に向け、ごみの減量化、資源化に取り組み、成果をあげている。

【課題・改善点】
コロナ禍などによる社会経済状況の影響で、市民のライフスタイルが変化しており、ごみの排出状況の予測がつきにくい。ごみの減量化を推進するため、新たな資源品目の調査研究が必要である。また、ガイドブック、ごみ分別アプリの活用について周知していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0004 適正処理推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	02 ごみの適正処理の推進
小事業	02 不法投棄対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	118,000			
1004	燃料費	120,000			
1103	手数料	466,719			
1301	使用料及び賃借料	191,400			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	100,000			
2602	その他の公課費	2,376			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,046,000	998,495	0	47,505

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	100,000	898,495
主な財源	環境政策事業費寄附金				

目的

市内全域及び不法投棄が頻発する箇所を巡回し、監視を行い不法投棄を抑制することで、市民の環境美化意識の高揚を図る。

事業活動内容

市内全域を巡回し、不法投棄箇所や投棄者の調査を行うとともに、投棄物の回収及び処理を行う。また、投棄者が判明した場合は、警察や保健所等の関係機関と連携して適正処理などの指導を行った。
また、監視カメラを設置活用することで、不法投棄の抑止を図った。

○消耗品費(看板等資材)
○燃料費
○自動車借上料(軽トラックリース料)

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
市内全域の巡回パトロールや監視カメラの設置によりね、不法投棄の発生を抑制することで、慢性的に不法投棄の場所となっている事例を解消できた。

【課題・改善点】
不法投棄の発生場所は固定化されつつあることから、今後は監視カメラを活用しながら巡回パトロールを強化し、関係機関と連携を密に図りながら、不法投棄をさせない対策を取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	01 ボランティア活動支援事業（民生委員活動費の補助等）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833002	民生委員活動費補助金	24,018,960			
1853002	ボランティアまちづくり事業補助金	1,776,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,288,000	25,794,960	0	493,040

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,463,000	0	0	15,331,960
主な財源	民生委員活動費負担金				

目的

民生委員・児童委員及びボランティア等、地域の民間福祉活動の推進を図る。

事業活動内容

日向市民生委員児童委員協議会の活動、事務局の運営及び日向市社会福祉協議会のボランティアまちづくり事業に対して補助金を交付した。
○民生委員・児童委員活動費補助
○民生委員児童委員協議会事務局補助
○ボランティアまちづくり事業補助

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○民生委員活動費補助金
民生委員児童委員活動費補助金　20,830,960
民生委員児童委員協議会事務局補助金　3,188,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
市民の身近な相談窓口として、市との連携や情報共有を行う民生委員・児童委員の活動を支援することで、地域福祉の向上を図った。
ボランティア・市民活動センターを支援することにより、災害ボランティアの研修等を実施し、人材育成及び体制構築に取り組むことができた。
【課題・改善点】
民生委員・児童委員の高齢化や後継者不足等が懸念されており、人材確保に向けて、地域と協力した取組が求められる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	02 日向市社会福祉協議会の支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833001	日向市社会福祉協議会運営補助金	47,210,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,210,000	47,210,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	47,210,000
主な財源					

目的

本市の各種福祉業務を広範囲にわたり実施している日向市社会福祉協議会を支援することにより、地域福祉の向上と推進を図る。

事業活動内容

地域福祉の拠点である日向市社会福祉協議会の運営について補助を行った。
【補助対象内容】
○事務局人件費
○総合福祉センター管理運営費
○東郷支所管理運営費
○福祉推進員事業費
○東郷地域総合福祉センター管理運営費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
地域共生や自立支援、在宅支援など本市の地域課題の解決に向けた取組を実施しており、地域福祉の推進における中心的な役割を担うことができた。

【課題・改善点】
運営面は、一定の改善がみられているが、引き続き、賛助会費の増収など、自主財源の確保に向けた取組が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援		
事業 中事業	01 地域福祉の推進		
事業 小事業	03 民間福祉活動支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867009	うるおい福祉基金事業補助金	95,717			
2403	その他特定目的基金積立金	1,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,830,000	1,395,717	0	434,283

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,395,717	0
主な財源	うるおい福祉基金利子、うるおい福祉基金寄附金				

目的

市民の創意と工夫を生かした自発的な保健福祉事業を推進することにより、地域福祉の向上が図られ、市民のうるおいのある生活が促進される。

事業活動内容

日向市うるおい福祉基金事業推進委員会に補助を行い、基金事業の募集により1団体へ助成し、地域福祉の推進を図った。
また、市で受け入れた寄附金について、基金への積立を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

民間団体が主催する障がい者等の研修会に対して助成を行うことで、地域福祉の向上を図ることができた。

【課題・改善点】

補助制度自体の見直しが課題となっていたため、複数年の事業実施を可能にするなど、令和4年度に要綱等の見直しを行うこととした。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援		
事業 中事業	01 地域福祉の推進		
事業 小事業	04「地域福祉計画」推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	135,000			
1101	通信運搬費	188,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
328,000	323,000	0	5,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	323,000
主な財源					

目的

自助、互助、共助、公助の役割分担に基づく地域福祉推進体制を整備するとともに、計画に基づいた各種事業を展開し、地域福祉の推進を図る。

事業活動内容

平成29年度に策定した「第3次日向市地域福祉計画」の各種推進施策について、市及び社協による内部評価を行い、日向市地域福祉推進委員会において、その進行管理と評価を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

第3次日向市地域福祉計画の具体的な推進施策の進捗状況の調査及び内部評価を行うとともに、日向市地域福祉推進委員会において評価及び審議を行うことで、改善等を図ることができた。

【課題・改善点】

各種施策の適正な推進及び改善等について、継続して取り組む必要がある。
令和4年度に「第3次日向市地域福祉計画」の計画期間が終期を迎えることから、第4次計画の策定に取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	13 重層的支援体制整備事業への移行準備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	8,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,400,000	8,400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,300,000	0	0	0	2,100,000
主な財源	重層的支援体制整備事業への移行準備事業補助金				

目的

これまでのモデル事業（地域力強化推進事業：平成30年度(2018年度)～令和2年度(2020年度)）の取組内容を基本とし、介護、障がい、こども・子育て、生活困窮分野をはじめとする行政機関・民間団体等との連携体制の構築、移行計画の策定等を行い、重層的支援体制整備事業への円滑な移行を図る。

事業活動内容

「地域共生社会」を実現するため、既存の相談支援事業の維持又は拡充を図り、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築した。
○地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続支援体制構築の取組
○介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮分野の相談支援関係機関の連携推進
○重層的支援体制整備事業への移行計画の策定、庁内連携体制の構築
○地域福祉部の設置推進、担い手育成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
重層的支援体制整備事業への
移行準備事業業務　8,400,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充
日向市社会福祉協議会と協力して、相談支援関係機関や庁内関係部署への説明、意見交換、移行計画の策定、地域福祉部の設置推進等、整備事業への移行に向けた事業の推進を図った。
複雑・複合化したケースに対し、課題を一つずつ整理することで、必要な関係機関が連携して支援を実施することができた。
【課題・改善点】
本事業は、令和4年度に「重層的支援体制整備事業」として、本格的な事業実施を前提としているため、人員体制の増強を含めた見直しが必要となっている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	04 災害救助費
目	01 災害救助費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	14 災害応急対策の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0717	見舞金	271,000			
1001	消耗品費	22,000			
1006	印刷製本費	41,000			
1205	システム開発等委託料	655,600			
1301	使用料及び賃借料	467,280			
1942	災害救助扶助費（市単独）	0			
2001	貸付金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,609,000	1,456,880	0	152,120

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,456,880
主な財源					

目的

・避難行動要支援者の情報を自治会や民生委員等の関係者と共有し、避難支援体制の整備を図る。
・大規模災害に備え、特別に配慮が必要な避難者のために、福祉避難所の充実を図る。
・被災世帯の復興と福祉の増進を図る。

事業活動内容

○「避難行動要支援者管理システム」により支援体制を整備した。名簿登録者数7,479人（令和4年3月末現在）
○災害救助法その他の法令の適用を受けない規模の災害による被災世帯に対して、小災害見舞金及び小災害弔慰金を支給した。
・小災害見舞金 【全壊：5件、半壊：0件、一部破損：1件】
・小災害弔慰金 【死亡：1件】
○宮崎県・市町村災害時安心基金による支援金を支給する。【0件】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充
避難行動要支援者名簿について、データ更新と新規対象者等に意思確認を行い、同意者名簿を自主防災会長（区長）、民生委員、日向警察署、日向市消防本部と共有し、支援体制の構築を図った。
【課題・改善点】
同意者の中には、健康で自力避難が可能な方も含まれているため、優先度の選別が必要となっている。
コロナ禍により、個別避難計画の策定が進まない状況が続いているため、特定の地区についてモデル的に計画を作成するなど、対策が求められている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	01 権利擁護の推進
小事業	02 福祉関係団体運営補助に要する経費（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833003	障害者団体運営補助金	147,000			
1833004	日向市障害者団体連絡協議会事務局運営補助金	174,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
343,000	321,000	0	22,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	321,000
主な財源					

目的

市内の障がい者福祉団体等の運営費の一部を助成することにより、各団体の活発な活動を推進し、障がい者福祉の向上を図る。

事業活動内容

日向市社会福祉関係団体運営補助金交付要綱に基づき、障害者団体等（7団体）及び特定非営利活動法人日向市障害者団体連絡協議会に対し運営費の助成を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○障害者団体運営補助金

日向視覚障害者福祉会	21,000
日向市肢体障害者「友愛会」	21,000
日向聴覚障害者協会	21,000
特定非営利活動法人日向市手をつなぐ育成会	21,000
日向市肢体不自由児者父母の会	21,000
日向地区腎臓病患者友の会	21,000
宮崎県原爆被爆者の会日向支部	21,000

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
コロナ禍の影響により、例年より活動回数や規模は縮小したものの、自発的な活動が行われるなど、障がい福祉の増進につながっている。

【課題・改善点】
今後は、当該団体の実施事業の充実を図るため、会員確保等の取組が求められている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	05 人工透析者交通費助成事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867025	人工透析者交通費助成金	3,984,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	3,984,000	0	16,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,984,000	0
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

腎臓機能障害を有し、血液透析療法の治療を受けている人の経済的負担を軽減することにより、健康維持及び福祉の増進を図る。

事業活動内容

自宅から医療機関までの片道距離に応じ、交通費の一部を助成した。【受給者数：140人】
・片道10kmまで月額2,000円（10km増える毎に2,000円を加算、上限10,000円）を支給する。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
血液透析は、週に数回の通院を永続的に行う治療法であることから、交通費を助成することで受給者の経済的負担を軽減することができた。

【課題・改善点】
制度の周知に努め、継続した支援を行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部		所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係	
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業	大事業	14 障がい福祉の充実			
	中事業	02 地域生活の支援			
	小事業	08 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1902	社会福祉扶助費（県単補助）	86,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200,000	86,000	0	114,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	43,000	0	0	43,000
主な財源	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業補助金				

目的

身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児（18歳到達年度まで）で、補聴器の使用により一定の効果が期待できると医師が判断する方を対象に、購入費用等の一部を助成するもの。これにより、言語の習得やコミュニケーション能力の向上等を図り、児童の健やかな生育を支援する。

事業活動内容

補聴器の購入、修理に係る申請各1件に対し、それぞれ費用の3分の2を助成した。
【助成額】
基準価格（消費税額を含む。）又は購入費等のいずれか低い額の3分の2
（ただし、生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の場合は、10分の10）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持
補聴器の購入費用等の一部を助成することで、軽度・中等度難聴児が日常生活や学習などを円滑に行うことができている。

【課題・改善点】
難聴児の成長過程の発達を促進するため、補助制度の周知が求められている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部		所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係	
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業	大事業	14 障がい福祉の充実			
	中事業	02 地域生活の支援			
	小事業	12 心身障害児介護手当給付事業（市単）			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1922	児童福祉扶助費（市単独）	7,881,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,900,000	7,881,000	0	19,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	7,881,000	0
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

心身に障がいのある児童の保護者の負担を軽減するとともに、在宅福祉の向上を図る。

事業活動内容

○以下の対象障がい児（20歳未満）を抱える保護者に対し手当を給付した。
【受給者延べ人数：364人、給付対象障がい児延べ人数：376人】
・身体障害者手帳所持者
・療育手帳所持者
・長期にわたり安静を必要とする疾病を有する者で、特別児童扶養手当の支給を受けている者
・支給月額　5,000円
※児童扶養手当、特別児童扶養手当並びに障害児福祉手当受給者は月額3,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：縮小
各種給付制度の一つとして、障がい児の保護者等の経済的負担軽減につながっている。

【課題・改善点】
本事業を開始した平成6年度以降、各種福祉制度の拡充が図られているため、事業の効果等の検証を含め、今後の事業の方向性を検討する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	13 理容・美容サービス事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	183,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
250,000	183,300	0	66,700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	183,000	300
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

在宅で寝たきりの重度心身障がいのある人及び高齢者等に対し、居宅において理容又は美容サービスを提供することにより、対象者の保健衛生及び健康管理の向上を図る。

事業活動内容

理容師又は美容師が対象者の居宅を訪問し、理容・美容サービスを提供した。【登録者数：19人、サービス実施件数：50件】

〇利用登録者
・身体障害者手帳1、2級の所持者（下肢又は体幹に障がいのある者に限る）
・介護保険法に規定する要介護者
〇自己負担額：1回あたり500円
〇利用実績　理容：3,666円/回×38件＝139,308円　美容：3,666円/回×12件＝43,992円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇事業委託料
重度心身障がい者等理容サービス業務　139,308
重度心身障がい者等美容サービス業務　43,992

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍の影響を受け、登録者数及び実施件数が減少した。

【課題・改善点】

日常生活の一部にあたる本事業内容は、清潔保持及び健康増進のために欠かせないものであり、今後も必要な方へ助成が行き渡るよう制度の周知に努めることが求められる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	14 福祉機器貸与・リサイクル事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,125,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,125,000	2,125,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,125,000	0
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

在宅の障がいのある人などに対し、家庭等で不用となった福祉機器を貸与することにより、経済的負担の軽減及び社会参加の促進を図る。

事業活動内容

福祉機器等の回収・貸出、修理、清掃・消毒等の管理業務を就労サポートセンター「太陽の樹」に委託した。
・新規貸出、更新件数：237件
・主な福祉機器：ギャッジベッド、車椅子、ポータブルトイレなど

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇事業委託料
福祉機器貸与・リサイクル事業業務　2,125,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

前年度より利用件数が増加した。また、本事業に係る問い合わせも多く、市民の関心が高まっている。

【課題・改善点】

福祉機器の効果的貸与を図るため、周知及び需要動向を把握することが求められている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	15 障害者地域生活支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	360,000			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	38,650,117			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,560,000	39,010,117	0	1,549,883

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,003,000	5,355,000	0	0	22,652,117
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、小児慢性特定疾病児日常生活用具給付事業補助金				

目的

障がいのある人が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、地域の特性（地理的条件や社会資源の状況）や利用者の状況に応じた事業を実施する。

事業活動内容

○知的障がい者の自立更生を図るため知的障害者職親を委託した。【1名】
○在宅での日常生活を容易にするため障害児・者日常生活用具を給付した。【1,686件】
○障がい者の日中活動や児童生徒の放課後活動の場を確保するための日中一時支援事業を実施した。【443名】
○在宅入浴が困難な人に対する訪問入浴サービスを提供した。【9名】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
知的障害者職親業務　360,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

障がい者総合支援法に基づき、障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう必要なサービス等を提供することができた。

【課題・改善点】

地域生活支援事業の各事業の実施に当たっては、サービス需要の把握と適正なサービスの提供が求められている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	16 意思疎通支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,941,612	1825002	研修会負担金	0
0301	職員手当	412,592			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	293,059			
0701	講師謝金	10,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	721,800			
0801	費用弁償	26,560			
1001	消耗品費	25,806			
1006	印刷製本費	58,242			
1101	通信運搬費	64,283			
1108	その他の保険料	10,320			
1203	事業委託料	582,000			
1301	使用料及び賃借料	3,850			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,567,242	4,150,124	0	417,118

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,168,000	568,000	0	2,000	2,412,124
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、手話通訳報酬受入金				

目的

聴覚、言語機能等に障がいがある人の円滑なコミュニケーションを支援し、社会参加の促進を図るとともに、障がい理解に関する啓発活動及び手話奉仕員の技術向上に関する取組を推進する。

事業活動内容

(1) 手話通訳者等派遣事業 【手話通訳者派遣件数：236件、要約筆記者派遣件数：8件】
手話通訳者及び要約筆記者を派遣し、聴覚に障がいのある人などが意思疎通を図るための支援を行った。
(2) 専従手話通訳者の設置
市窓口での手話通訳、手話奉仕員の育成及び活動支援並びに聴覚障がい理解のための啓発活動等を行った。
(3) 手話奉仕員養成事業 【講座受講数：12名】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
手話奉仕員養成事業業務　582,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

手話通訳者派遣依頼件数が、昨年に比べ増加した。また、手話奉仕員養成講座については、コロナ禍の影響により長期の休講期間を設けざるを得なかったため、年度内に修了することができなかった。

【課題・改善点】

障がいの有無にかかわらず、情報入手や意思疎通が円滑にできる生活環境、特に医療機関受診時の意思疎通が可能な環境の構築のため、手話通訳登録者を増やす取組が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	03 社会参加の促進		
事業 小事業	02 障害者社会参加促進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	280,000			
1853003	身体障害者スポーツ交流事業補助金	7,630			
1865002	自動車運転免許取得・改造助成事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
724,000	287,630	0	436,370

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	79,000	38,000	0	0	170,630
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

目的

在宅の障がいのある人の就労、文化・スポーツ活動等の社会参加を支援し、地域における自立生活を促進する。

事業活動内容

○知的障がい者の活動を支援するため、非営利活動法人に本人活動支援事業業務を委託した。
○市障がい者スポーツ大会は、コロナ禍により中止となった。
○身体障害者スポーツ交流事業を実施するため、日向市障害者団体連絡協議会に対し補助金を交付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
本人活動支援事業業務　280,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

各種事業がコロナ禍の影響を受けたが、本人活動支援事業については、予定していたイベントの規模を縮小して開催し、障がい者自身やその家族等の自発的活動を支援するという事業目的を達成できた。

【課題・改善点】

各種事業は、社会参加の機会創出のほか、地域における自立生活を促進し、障がいや障がい者への理解にもつながるため、引き続き支援する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	03 社会参加の促進		
事業 小事業	03 重度障害者タクシー料金助成事業（市単）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	99,330			
1301	使用料及び賃借料	4,804,830			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,904,830	4,904,160	0	670

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,799,000	105,160
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

重度の障がいがある人に対してタクシー利用券を交付し、日常生活の利便性の向上及び社会活動の範囲の拡大を図る。

事業活動内容

○市内タクシー事業所共通の基本料金券を補助した。
・車いす用以外のタクシー利用券 【利用件数：3,314件】
身体障害者手帳1、2級又は療育手帳（A判定）所持者（年間24枚／人）
・車いす用利用券 【利用件数：2,885件】
身体障害者手帳1、2級所持者（下肢又は体幹に障害がある者）及び介護保険法による要介護者で一定の要件を満たす者（年間30枚／人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

タクシー利用券の交付により、障がい者の日常生活の充実及び社会参加促進につながっている。

【課題・改善点】

引き続き、制度の周知に努め、継続した支援を行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	07 障害児療育等援助事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,387,408			
1809021	宮崎市総合発達支援センター運営負担金	169,310			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,557,310	2,556,718	0	592

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,551,000	5,718
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

目的

障がいのある幼児及び発達の遅れがある幼児を早期療育することにより、障がいの軽減や基本的な生活能力の向上を図る。

事業活動内容

○療育等援助事業を実施するため、社会福祉法人浩和会に業務を委託した。
・療育等を受けた障がいのある幼児数 【156人】
・音楽療法等の実施回数【126回】
○宮崎市総合発達支援センター運営経費の一部を負担した。
各市町村が利用者数に応じて負担 【本市の利用者延べ30人】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
療育等援助事業業務　2,387,408

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

早期の療育につなげることにより、障がい程度の軽減や基本的な生活能力の向上が図られた。また、障害者手帳の所持に関わらず支援を行うことで、障がいの早期発見及び療育開始へつながっている。

【課題・改善点】

今後、効率的に事業を推進するため、教育、保育及び医療等の関係機関との連携を強化する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	22 相談支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0702	出会謝金	40,000			
1001	消耗品費	5,982			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	8,000			
1103	手数料	15,400			
1203	事業委託料	9,637,463			
1853004	身体障害者相談員事業補助金	247,000			
1904	居宅生活支援費(障害者支援費)	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,774,000	9,953,845	0	820,155

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,272,000	619,000	0	0	8,062,845
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

目的

障がいのある人などからの相談に応じ、必要な情報の提供や支援等を行う。また、障がい者虐待防止等権利擁護のための支援を行うことで、自立した日常生活や社会生活を確立することを目的とする。

事業活動内容

○日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会及び専門部会に係る事務局運営業務を特定非営利活動法人に委託した。
○圏域内の相談支援機能の強化を図るため、基幹相談支援センターを設置し、運営業務を委託した。
○障害者虐待防止法に基づき、障がい者虐待防止対策を実施した。
○成年後見制度利用に関する各手続等の支援を実施した。
○各種相談・障がい福祉サービスの情報を提供するため、日向市障害者相談員協会に身体障害者相談員事業補助金を交付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
日向市障害者相談支援事業業務　3,655,463
日向市・東臼杵郡障がい者
自立支援協議会事務局運営業務　1,577,000
日向市・東臼杵郡障がい児者
基幹相談支援センター運営業務　4,405,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

相談支援事業所での相談等が着実に行われており、障がい者の相談窓口としての認識が高まりつつある。

【課題・改善点】

地域生活支援拠点等の面的整備を推進するため、日向・東臼杵圏域において共同して委託した「日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター」を中心に、圏域で協議を行っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	23 移動支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	26,593			
1004	燃料費	15,626			
1008	修繕料	62,810			
1101	通信運搬費	33,000			
1103	手数料	14,300			
1107	自動車損害保険料	34,214			
1203	事業委託料	57,750			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	11,608,286			
2601	国に対する公課費	24,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,100,000	11,877,179	0	1,222,821

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,343,000	1,625,000	0	0	6,909,179
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

目的
屋外での移動が困難な障がい者（児）が外出する際の支援を行うことにより、地域において自立した生活や社会参加への機会を促進する。

事業活動内容
○屋外での移動が困難な障がい者（児）の外出を支援するため、ガイドヘルパーを派遣した。【418回】
○障がい者団体の研修、福祉大会等への参加、スポーツ活動など障がい者（児）の自立と社会参加の促進を図るため、リフト付福祉バスの運行業務を委託した。【3回】
（利用実績　2,310円/時間×25時間＝57,750円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○事業委託料
障害者（児）福祉バス運行管理業務　57,750

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
屋外での移動が困難な障がい者（児）の外出機会の創出を図ることで、日常や社会生活の質の向上につながった。

【課題・改善点】
屋外での移動が困難な障がい者（児）の外出ニーズは多様化しているため、個々の利用や新たなニーズに応じた支援について検討し、暮らしやすい日常生活等を実現していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	24 地域活動支援センター事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853036	地域活動支援センター事業補助金	4,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	4,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	753,000	366,000	0	0	2,881,000
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

目的
障がい者等に対し、創作的活動や生産活動の機会・場所を提供することにより、社会との交流の促進を図る。

事業活動内容
障がい者等に対し、就労の場などを提供するとともに、作業指導や生活訓練を通じて自立を支援するため、地域活動支援センターⅢ型を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
障がい者等に対し、創作的活動や生産活動の機会を提供することで、社会との交流や地域生活への自立を促進することができた。

【課題・改善点】
令和2年度末に「日向地域活動支援センターⅠ型はまゆう」が閉所されたが、令和4年度に新たに「地域活動支援センターⅠ型こころ」が開所する予定であるため、積極的に広報等行い広く周知していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	02 生活保護の適正実施推進事業(補助対象)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,146,316			
0301	職員手当	2,581,090			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	2,289,877			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	114,000			
0801	費用弁償	250,800			
0802	普通旅費	0			
1006	印刷製本費	76,000			
1101	通信運搬費	580,000			
1203	事業委託料	843,000			
1301	使用料及び賃借料	330,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,248,930	19,211,083	0	37,847

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,946,000	0	0	0	5,265,083
主な財源	被保護者就労支援事業負担金、生活困窮者自立支援事業（必須事業）負担金、生活保護適正実施推進事業補助金				

目的

生活困窮者、生活保護受給者に対して、自立生活相談員や医療扶助相談指導員による支援、特別指導員による指導困難者への対応、面接相談員による申請相談受付等を実施し、事業の適正化を図る。

事業活動内容

専門員、指導員を配置し、生活保護受給者への就労支援や健康管理支援、さらには指導困難者への対応などにより、生活保護の適正化を図った。また、医療扶助の適正化を目的にレセプト点検に取り組んだ。

居場所づくり支援事業では、引きこもり状態等にある生活保護受給者の社会復帰、就労自立を目的に社会福祉協議会に委託し、3名が利用した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

・診療報酬明細書整理点検業務　363,000

・生活保護受給者居場所サロン事業業務　480,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

自立生活相談員、医療扶助相談指導員を配置することによって、生活保護受給者の就労、健康のための生活改善につながっており、事業の適正実施に結びついている。

【課題・改善点】

事業の推進にあたっては、今後とも事業ごとに専門職員を配置し、支援の充実を図ることが求められている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	03 生活保護の適正実施推進事業(市単)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	855,000			
0802	普通旅費	35,120			
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	140,000			
1004	燃料費	143,918			
1007	光熱水費	48,000			
1008	修繕料	103,070			
1103	手数料	833,413			
1107	自動車損害保険料	31,262			
1301	使用料及び賃借料	1,420,320			
1825002	研修会負担金	140,400			
2201	償還金	54,981,387			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
59,013,070	58,731,890	0	281,180

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	103,070	58,628,820
主な財源	自動車損害共済金				

目的

生活保護の適正実施を推進するため、国庫補助対象外の各事務事業を実施する。

事業活動内容

生活保護受給者の病院受診点検のため、2名の嘱託医師を配置し、医療扶助の適正化を図った。また、生活保護業務推進のため、ケースワーカー職員の資格取得に取り組んだ。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

医療扶助については、嘱託医配置により、病院受診審査やレセプト管理審査を行い適正化が図られた。現業員であるケースワーカーについては、社会福祉主事資格が必須であり、2名が取得した。

【課題・改善点】

生活保護の適正な運用と、被保護者への支援の充実を図るためには、今後も医療扶助・介護扶助の適正化及び職員の資格取得等に努める必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
事業 中事業	02 生活支援と自立の促進
事業 小事業	04 生活困窮者自立支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	23,999,000			
1865028	住宅手当緊急特別補助金	795,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,019,000	24,794,600	0	224,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	16,213,000	0	0	0	8,581,600
主な財源	生活困窮者自立支援事業（必須事業）負担金、生活困窮者自立支援事業（任意事業）補助金				

目的

生活困窮者自立支援法に基づき、日向市生活相談・支援センター「心から（ここから）」を日向市社会福祉協議会に委託し、必須事業である自立相談支援事業と3つの任意事業を実施し、生活保護に至る前に対象世帯の困窮解消を図る。

事業活動内容

自立相談支援事業は、生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応じる相談窓口で、生活困窮者の抱えている課題を適切に評価・分析（アセスメント）し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を作成するなどの支援を行った。また、関係機関との連絡調整や支援の実施状況の確認などを行った。

また、離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれがある者に対し、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労自立を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

生活困窮者自立相談支援事業業務	15,625,000
生活困窮者等子どもの学習・生活支援事業業務	4,600,000
生活困窮者家計改善支援事業業務	1,462,000
生活困窮者居場所サロン事業業務	1,412,000
子どもの居場所づくり事業運営業務	900,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

令和3年度の自立相談支援事業の新規相談件数が281件とコロナ禍において生活福祉資金による貸付の相談件数が増加し、複雑化した相談が増加する中で、関係機関との連携を行い、伴走的な支援を行っている。

【課題・改善点】

生活困窮者に関する問題の背景には、経済的な側面に関わる課題だけでなく、生活全般にわたる課題が関わっている場合もあることから、総合的・包括的にアセスメントすることが重要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実
事業 小事業	11 子ども医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,290,906			
0301	職員手当	200,566			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	235,267			
0801	費用弁償	22,000			
1103	手数料	6,750,992			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	189,214,394			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
201,957,000	197,714,125	0	4,242,875

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	44,819,000	0	33,960,000	118,935,125
主な財源	子育て支援乳幼児医療費助成事業補助金、乳幼児医療費助成金診療報酬事務手数料補助金、うるおい福祉基金利子、うるおい福祉基金繰入金、乳幼児医療高額療養費等返還金				

目的

子どもの医療費に係る保護者の負担を軽減することにより、子育て支援が図られる。

事業活動内容

子どもに係る医療費の一部を助成した。
・助成対象　15歳の誕生日以降の最初の3月31日までの児童
・自己負担額　各受診医療機関において、1診療科ごとに月350円（調剤薬局は無料）
ただし、県外受診及び中学生の県内医療機関時間外診療については償還払い。
○診療報酬1件あたり　1,829円
○助成延件数　103,432件
○助成金額　189,214千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

子育て世帯の経済的な負担の軽減に効果があり、子どもの健全育成が図られている。

【課題・改善点】

子どもの医療費を助成することで、保護者の経済的負担が軽減されるだけでなく、子どもの健全育成にもつながり、安心して子どもを生み育てられる環境の充実が図られている。

制度の周知とともに、医療機関への適正受診について啓発及び後発医薬品の利用促進に努めることが課題である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援		
事業 小事業	01 放課後児童クラブ事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	39,600			
1201	施設維持管理委託料	0			
1203	事業委託料	51,154,860			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,601,000	51,194,460	0	1,406,540

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	17,064,000	17,064,000	0	0	17,066,460
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

目的

放課後児童の健全育成と、子育て世代の就労支援を図る。

事業活動内容

保護者の就労やその他の理由により、放課後に保護者の監護を受けられない児童について、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全育成を図った。
令和2年7月から1クラブ（定員40名）増設し、6校区11クラブ（定員420名）開設している。

○　年間延利用者数　78,297人
○　登録児童数　435人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○放課後児童健全育成事業委託料

放課後児童健全育成事業管理運営委託料	49,032,500
キャリアアップ処遇改善加算	944,000
児童クラブ利用料減免補てん分	781,560
児童クラブ保険料	396,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

共働きやひとり親家庭の増加もあり、子育て家庭を支援する事業として、成果が上がっている。

【課題・改善点】

年度初めなど、時期によっては待機児童が発生することもあることから、令和4年4月から新たに児童クラブを1か所開設するための準備を行った。
今後も放課後児童クラブの拡充を検討する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援		
事業 小事業	02 寡婦医療費助成事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1903	社会福祉扶助費（市単独）	20,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
150,000	20,200	0	129,800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	20,200
主な財源					

目的

一人暮らしの寡婦である者の経済的負担を軽減し、健康増進と福祉の向上を図る。

事業活動内容

寡婦である者の医療費の一部を助成した。
○対象となる要件
・市内に住所がある寡婦の者・60歳以上70歳未満で一人暮らしであること・国民健康保険に1人で加入していること・他の制度により医療費の全額給付を受けていないこと・市町村民税が課税されていないこと
○1人当たり助成額　20,200円
○助成人数　1人
○助成金額　20,200円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

一人暮らしの寡婦である者の経済的負担の軽減に効果がある。

【課題・改善点】

一人暮らしの高齢である寡婦の医療費に係る経済的負担を軽減することにより、健康増進と重病化の予防が図られている。
制度の周知とともに、医療機関への適正受診について啓発及び後発医薬品の利用促進に努めることが課題である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	04 ひとり親家庭医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	4,300			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	35,796,105			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,807,000	35,800,405	0	6,595

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	17,682,000	0	358,000	17,760,405
主な財源	ひとり親家庭医療費助成事業補助金、母子及び父子家庭等医療高額療養費等返還金				

目的

ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、健康増進と自立更正を図る。

事業活動内容

母子及び父子家庭等に対し医療費の一部を助成した。
・支給対象　母、父等は扶養している児童が20歳に到達する月まで、児童は18歳に達した年度末まで
・本人負担額　月額1,000円
○負担軽減世帯数　689世帯
○助成延件数　6,987件
○助成金額　35,797千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

病院受診の際に自己負担額が一定となるため、母子及び父子家庭等の経済的な負担が少なくなり、重症化を防止することができている。

【課題・改善点】

ひとり親家庭医療費助成事業を推進することにより、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減、健康増進、重病化の予防が図られている。

今後も、制度の周知とともに、医療機関への適正受診について啓発及び後発医薬品の利用促進に努めることが課題である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	05 高等職業訓練促進給付金等事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890013	高等職業訓練促進費給付金	7,879,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,879,000	7,879,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,909,000	0	0	0	1,970,000
主な財源	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金				

目的

養成訓練の受講期間中における生活の安定を支援することにより、ひとり親世帯の自立更生を図る。

事業活動内容

母子家庭の母、父子家庭の父が就職の際に有利で、生活の安定に役立つ資格（看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士・准看護師等）を取得するための養成訓練の受講に際して、その期間中の生活の不安を解消し、安定した修業環境を提供するために高等職業訓練促進給付金を支給する。また就職時の負担軽減のため、高等職業訓練修了支援給付金を支給する。
○就業率　100%
○給付人数　8人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

当該資格取得の期間中における生活の不安が解消され、資格取得のための受講環境の確立と家庭への支援に大きな役割を果たしている。

【課題・改善点】

資格を取得することは、ひとり親の就労の促進及び経済的自立に繋がることから、今後とも事業の周知を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援		
事業 小事業	06 自立支援教育訓練給付金事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890008	自立支援教育訓練給付金	144,160			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
204,000	144,160	0	59,840

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	108,000	0	0	0	36,160
主な財源	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金				

目的

母子家庭の母又は、父子家庭の父の雇用の安定及び再就職の促進により、経済的な自立を図る。

事業活動内容

母子家庭の母又は、父子家庭の父の主体的な能力開発の取組を支援するもので、雇用保険の一般教育訓練給付金の対象となる教育訓練（ホームヘルパーや医療事務の講座など）を受講した場合に、受講料の一部を支給する。
【支給額】受講料の60%（1万2千1円以上で20万円を上限）（雇用保険の一般教育訓練給付金を受給できる場合は、その額を控除）
○受講後の就業率　100%
○給付人数　2人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
就職等の相談があった際に、制度の周知を行い、申請につながった。

【課題・改善点】
ハローワークにおいても雇用保険の一般教育訓練給付金を申請する際に、本事業との併給も可能である旨を説明しており、利用につなげることができている。
今後もハローワークと連携し、本事業の周知徹底を図りながら、利用を促進することが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援		
事業 小事業	08 母子・父子自立支援員設置事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0301	職員手当	399,614			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	350,705			
0801	費用弁償	24,000			
1107	自動車損害保険料	19,145			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,758,000	2,674,008	0	83,992

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,674,008
主な財源					

目的

ひとり親家庭等の生活の安定と自立支援につなげる。

事業活動内容

法に基づき、こども課内に母子・父子自立支援員を設置し、ひとり親家庭等からの相談全般に応じるとともに、自立に必要な情報提供及び指導を行ったり、職業能力の向上及び求職活動に関する支援等を行った。
・母子・父子自立支援員　1名　平成28年4月から市で設置（平成28年3月まで県から派遣）
○相談時年度内完結率　100%
○全体相談件数　1,578件
○就労に関する相談件数　199件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
ハローワークへの相談や社会福祉協議会へのつなぎ支援等、各相談事業との連携ができている。
【課題・改善点】
母子家庭、父子家庭ともに相談件数は増加傾向にある。相談内容も多岐にわたり、経済的問題、子どもの養育相談等、市民からのニーズも高い状況にある。
長引くコロナ禍にあっては、経済的に困窮している母子家庭、父子家庭に対し、制度活用等とともに、寄り添った相談支援業務を行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	13 発達障がい児相談員設置事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,078,332			
0301	職員手当	425,952			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	365,108			
0801	費用弁償	24,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,036,000	2,893,392	0	142,608

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,893,392
主な財源					

目的

発達障がい等の疑いがある児童の保護者に対して、相談しやすい環境をつくり、関係機関と連携することで、発達障がい等の早期発見・早期支援を図る。

事業活動内容

発達障がい児相談員を配置し、乳幼児期等における発達障がいのある児童(疑いを含む)や保護者等への相談支援、訪問を行い、関係機関と連携しながら適切な支援ができる体制の充実を図った。
○発達障がい児相談員　1名配置
○発達障がいに関する相談　22件
○保育園等全園訪問事業　実施園：33園　延訪問回数：69回
○健診事後教室　ドレミ教室　実施回数：9回　対象親子：実35組（延80組 163人参加）
ソラシド教室　実施回数：10回　対象親子：実27組（延51組 110人参加）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
保育園等全園訪問事業、乳幼児健診や事後教室、保護者からの相談によって早期発見から関係機関へのつなぎを行っており、児童の発達段階に応じた支援や療育に向けた早期の対応につながっている。
【課題・改善点】
保育園等全園訪問事業や相談等において、発達障がいが疑われる児童の家庭や保育園等に対し、適切な活動や配慮等の助言を行うなど、発達障がい児相談員の専門性により果たす役割は大きい。今後も、乳幼児期から就学へのスムーズな支援を継続していくために、関係機関とも更なる連携を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	14 子育て短期利用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	81,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
324,000	81,900	0	242,100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	23,000	23,000	0	11,000	24,900
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、子育て短期利用負担金				

目的

児童を養育している保護者が疾病、育児疲れなど、身体・精神・環境上の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童福祉施設において養育・保護を行うことで、その児童及び家庭の福祉の向上を図る。

事業活動内容

家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童福祉施設において一時的にショートステイよる養育・保護(原則7日以内)を行った。

○世帯・児童の利用実数　2世帯・2人（通算で13日間の利用 ）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
短期入所生活援助（ショートステイ）
事業委託料　81,900

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
傷病をもつ保護者のレスパイトや、家庭事情から養育者が不在となるケースについて、近隣市町村の児童養護施設と委託契約を行い、児童のショートステイを実施し、養育環境の整備・調整に取り組むことができた。
【課題・改善点】
短期利用事業は子育て支援サービスであるが、保護者が養育不安をもつ世帯については、児童虐待の未然防止や、児童への生活習慣づくりの支援にもつながる。要保護児童等の世帯に対して、かかえる養育・生活課題に応じて、その改善・解消に向けた本事業の利用助言を行っていきたい。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	07 要保護児童等に対する支援の充実
小事業	01 家庭児童相談員設置事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,004,480			
0301	職員手当	425,952			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	384,860			
0801	費用弁償	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,968,000	2,815,292	0	152,708

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,815,292
主な財源					

目的

家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上を図る。また、相談支援体制の強化を図ることにより、様々な問題を抱える家庭や児童の相談、虐待の未然防止、早期支援につなげる。

事業活動内容

家庭児童相談員を配置し、要保護児童対策地域協議会や児童相談所等、関係機関との連携を図ることで、児童に関する問題(家庭相談、虐待相談、養育相談等)について、専門的な相談指導や継続的な支援を行った。

○家庭児童相談員の対応件数(実人数)　50人
○家庭児童相談員の関わりが終了した世帯の割合　26%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

主に不登校傾向のみられる児童や、保護者に養育不安のあるケースの相談に応じ、定期的な児童への訪問面接や保護者への適切な助言を行うことにより、各ケースの課題の解消を図った。また要保護児童対策地域協議会校区部会の事務局として、担当ケースへの支援を通して、児童虐待の早期発見・未然防止に大きな役割を果たしている。

【課題・改善点】

支援ケースが複雑化・多様化している中で、児童虐待や児童相談に対応する専門職の確保が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	07 要保護児童等に対する支援の充実
小事業	02 児童虐待防止対策支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,956,096			
0301	職員手当	589,650			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	345,086			
0701	講師謝金	0			
0801	費用弁償	1,300			
0802	普通旅費	71,790			
1001	消耗品費	60,558			
1006	印刷製本費	65,560			
1101	通信運搬費	21,000			
1103	手数料	0			
1203	事業委託料	275,000			
1809022	オレンジリボンたすきリレー負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,862,000	3,386,040	0	475,960

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,507,000	147,000	0	40,000	1,692,040
主な財源	児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金、子ども・子育て支援交付金（国・県）、ひとづくり助成金				

目的

市民や関係機関への広報啓発や、専門職員の配置および人材育成などの取組により、児童相談の体制が充実・強化され、児童虐待防止につながる。

事業活動内容

市民や関係機関への児童虐待に関する啓発活動を行うとともに、安全確認等対応職員の配置等による児童相談体制の充実や、対応職員の研修参加による資質向上を図ることで、要保護児童対策地域協議会事務局として、児童虐待防止の支援体制の強化を図った。

○児童虐待受理件数　39件
○市民及び関係機関への児童虐待防止対策強化のための啓発活動　10回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
児童相談・支援記録管理システム
サポート業務委託料　275,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

児童虐待防止推進月間等における啓発活動や関係機関への研修を実施しながら、要保護児童対策地域協議会中学校校区部会を中心に、学校、関係機関、地域との連携を図りながら、養育困難の解消や児童虐待の解消に向けた子ども家庭支援に取り組むことができた。令和3年8月から県から市町村へ虐待通告事案の一部送致が試行され、児童虐待受理件数は増加した。

【課題・改善点】

令和4年度から県から市町村へ虐待通告事案の一部送致が開始となり、相談対応の増加が見込まれており、「子ども家庭総合支援拠点」の設置により、更なる相談体制の強化を図っていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	03 子どもの未来を応援する施策の推進
小事業	01 子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	65,120			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
218,000	65,120	0	152,880

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	65,120
主な財源					

目的

子どもの貧困対策について、関係行政機関、NPO、地域の企業、自治会等の地域ネットワークを形成することをとおして、子どもの発達・成長段階に応じた切れ目のない支援や、地域における児童・家庭への関わりや機会の提供を推進していく。

事業活動内容

フードドライブの試行を経て令和3年9月より開始し、市民から寄付を受けた食料品・日用品等を、民間支援団体等に定期的に提供を行った。また、「くらし子育て応援ガイド」第2版を発行し、関係機関や個別世帯への配布を行った。

〇フードドライブにおける食料品・日用品・学用品の寄付数　744品目

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

フードドライブを開始し、市民からの食料・日用品等の寄付を民間支援へつなぐ支え合いのサイクルを形成できた。また、くらし・子育ての相談窓口や各種支援、民間支援等を紹介した「くらし子育て応援ガイド」第2版を、今後の個別支援や市民への啓発における媒体として活用していく。

【課題・改善点】

コロナ禍により「日向市子どもの未来応援会議」を開催できなかった。民間支援と連携した個別支援に取り組んでおり、支援・施策に関する意見集約の機会を工夫して形成しながら、「第2期日向市子どもの未来応援推進計画」を推進していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	02 乳幼児の健康・育児に対する支援の充実
小事業	01 ヘルシースタート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	4,527,881	1108	その他の保険料	108,670
0301	職員手当	851,904	1203	事業委託料	66,265,292
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	753,792	1301	使用料及び賃借料	30,000
0701	講師謝金	0	1952	衛生扶助費（市単独）	459,021
0714	その他の役務提供等に対する報償金	923,190			
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	6,500			
1001	消耗品費	389,771			
1006	印刷製本費	268,620			
1008	修繕料	192,125			
1101	通信運搬費	383,000			
1103	手数料	27,466			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
79,516,000	75,211,232	0	4,304,768

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	10,562,000	6,049,000	0	614,000	57,986,232
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、母子保健衛生費国庫補助金、児童福祉費寄附金、自動車損害共済金				

目的

妊娠期から出産後の新生児期、乳幼児期等のライフステージごとに、切れ目なく医療や保健福祉サービスの支援を実施することにより、安心して産み育てる社会づくりを推進する。

事業活動内容

すべての子どもが幸せな人生のスタートができるように応援するため、妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援ができるように、子育て世代包括支援センターを拠点に、関係機関との連携を図りながら、産前・産後サポート事業、産後ケア事業や乳幼児健診事業等の充実を図り、地域の特性に応じた「地域母子保健・育児支援システム」の構築を図った。

〇産婦健診受診率　99.1%
〇2歳6か月児歯科健診受診率　95.1%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇業務委託料

妊婦一般健康診査事業（県医師会）	35,229,290
産婦健康診査事業（県医師会）	4,050,000
乳児一般健康診査事業（県医師会）	2,443,410
地域子育て支援センター事業	8,057,000
つどいの広場（たんぽぽきっず）事業	5,074,000
ファミリーサポートセンター事業	2,254,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

産婦健診、新生児聴覚検査の利用率は高く、事業を必要とする妊産婦、新生児に提供することが出来ている。コロナ禍により開催中止や人数制限があり利用者数が減少した事業もあったが、産前・産後サポート事業や産後ケア事業等において、利用者に対し育児不安や孤立感の解消を図ることができた。

【課題・改善点】

新たに多胎妊産婦を対象とした子育てサロン、サポーター事業を開始したが、利用者が少ないため対象者や関係機関への更なる周知が必要である。全ての事業においても、必要とする方が適切な支援とサービス利用ができるよう、更なる周知・広報が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	01 保健体制の充実
小事業	05 小児予防接種事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	211,285			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	141,943			
1006	印刷製本費	36,666			
1101	通信運搬費	0			
1108	その他の保険料	200,235			
1203	事業委託料	122,731,726			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	2,302,100			
1950	衛生扶助費（国直接・間接補助）	53,386			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
128,130,000	125,677,341	0	2,452,659

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	88,000	646,000	0	0	124,943,341
主な財源	感染症予防事業費等国庫補助金、愛の予防接種助成事業補助金				

目的

伝染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を予防することにより、公衆衛生の向上が図られ、市民の安心・安全な生活が実現する。ポリオ生ワクチン2次感染者、BCG予防接種健康被害者が、医療機関を継続的に受診し、適切な医療を提供されることで、対象者や家族の精神的苦痛を軽減することができる。

事業活動内容

○各種予防接種等の実施により、感染症の予防を行うことで、感染症のまん延や病気の重症化防止を図った。
・定期予防接種の実施　15種類
・任意予防接種費用の助成　2種類　おたふくかぜ：642件　三種混合：253件（令和3年11月より開始）
○国が医療費及び医療手当の給付対象として認定したポリオ生ワクチン2次感染者、BCG予防接種健康被害者に対する給付は、対象者の医療機関受診がなかったため実績はなかった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
小児予防接種業務委託料
日向市東臼杵郡医師会　114,210,584
宮崎県医師会（広域予防接種）　7,729,142
ロタウイルスワクチン開始に係る
情報連携委託料　792,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充
出生数の減少に伴い、いずれのワクチンも接種者数が前年度より減少傾向にあるが、概ね高い接種率は維持しており、感染症の発生や蔓延を予防し子どもの健やかな成長に大きな役割を果たしている。
【課題・改善点】
予防接種の種類の増加や推奨される接種時期が重なることもあるため、接種事故等が発生しないよう、実施医療機関に対し注意喚起を促す必要がある。令和4年度からは、HPVワクチンのキャッチアップ接種及びキャッチアップ対象者への償還払いが開始となる。今後も国・県の動向に応じて、予防接種の拡充と更なる接種勧奨を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	08 保育所等整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853042	認定こども園事業費補助金	1,900,000			
1853045	保育所等緊急整備事業補助金	7,975,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,509,000	9,875,000	29,634,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,584,000	0	2,600,000	0	691,000
主な財源	保育所等整備交付金、認定こども園整備事業費補助金				

目的

老朽化による保育環境整備（施設整備）に要する費用の一部を補助することにより、安全確保と保育の継続確保を図る。

事業活動内容

国の交付金を活用し、私立保育園等の新設、修理、改造、整備を実施する際に、設置者負担の軽減を図るために、費用の一部を助成する。
○事業主体：社会福祉法人日向福祉会 認定こども園日向保育園（令和3年度～令和4年度・2か年事業）
○補助対象事業費　9,875千円（国1／2、市1／4、事業主体1／4）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
2か年事業の1年目となる。老朽化した園舎の改築（新築）を行うことで、安心安全な保育の確保が図られる。

【課題・改善点】
令和3年度はコロナ禍等による資材高騰による設計見直し等により工期等に変更が生じたため、早期完成を図る必要がある。なお、令和4年度における事業完了予定に変更はない見込みである。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	15 一時預かり事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	20,674,050			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,100,000	20,674,050	0	425,950

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,224,000	6,224,000	0	1,141,000	7,085,050
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、一時預かり事業負担金(法人)				

目的

常日頃、保育所を利用していない家庭における一時的な保育の需要に対応することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。また、一時預かり事業を行うことで、保護者の多様なニーズに対応し、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。

事業活動内容

(1)一般型：保護者の就労や傷病等の理由により、一時的に家庭で保育が困難な場合に、保育園で一時的に預かり、児童の福祉の向上を図る。
　〇利用児童数　令和元年度：1,171人　令和2年度：636人　令和3年度：679人
(2)幼稚園型：幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児を、保護者の就労や傷病等の理由により、教育時間の前後又は長期休業日等に当該幼稚園等において一時的に預かる。
　〇利用児童数　令和元年度：25,874人　令和2年度：23,230人　令和3年度：24,058人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
　一時預かり事業委託　20,674,050

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

家庭の諸事情により一時的に保育が困難となった児童を、保育園等で預かることにより、保護者の育児負担の軽減に繋がった。

【課題・改善点】

保育園等での一時預かりについては、保護者からのニーズも高く、一時的な保育を必要としている家庭からの需要は今後も増えると見込まれる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	17 障がい児保育事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	5,408,720			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,223,000	5,408,720	0	814,280

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,408,720
主な財源					

目的

集団保育が受けられることにより、障がい児の福祉の増進を図る。

事業活動内容

軽度の心身障害を有する児童及び特別児童扶養手当支給対象となっている障がい児を保育所に受け入れ、集団保育を行った。

・令和元年度　該当児童　10人（7園）
・令和2年度　該当児童　8人（4園）
・令和3年度　該当児童　9人（8園）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
　障がい児保育事業委託　5,408,720

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

保育の必要性がある障がい児が集団保育を受けることにより、障がいについての理解が深まり、また、障がい児の心身の発達にも繋がった。

【課題・改善点】

障がい児の特性に応じ、その環境整備や保育士の配置が必要になるため、受け入れ施設に対しては十分な配慮が必要であり、情報提供や連携を図りながら継続して事業を実施して行く必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援		
事業 小事業	02 延長保育促進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	11,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,400,000	11,400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,800,000	3,800,000	0	0	3,800,000
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

目的

保護者の就労形態の多様化に対応するため、通常の開所時間の前後において保育を実施することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。

事業活動内容

開所時間11時間を超えて30分以上の延長保育を行う。平成27年度の「子ども・子育て支援制度」の施行に伴い、法人立認可保育園に加え、認定こども園についても委託を行っている。

○開園時間前又は後30分　10園
○開園時間前30分及び開所時間後30分　14園

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
延長保育事業委託　11,400,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

保護者の就労形態の多様化に対応するため、市内のほとんどの園で実施することができている。

【課題・改善点】

保護者のニーズに対応し、安心して子育てと仕事の両立を図ることが出来る環境を整備するため、継続して事業を実施する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援		
事業 小事業	03 病児・病後児保育事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	33,309,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,423,000	33,309,000	0	114,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,103,000	11,103,000	0	0	11,103,000
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

目的

保護者の子育てと就労の両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備することで、児童の福祉の向上を図る。

事業活動内容

（病児保育事業）
・委託先　お倉が浜kidsクリニック
・利用児童数　令和元年度：1,052人、令和2年度：567人、令和3年度：911人
（病後児保育事業）
・委託先　ひよこ保育園、日知屋保育園
・利用児童数　令和元年度：1,113人、令和2年度：962人、令和3年度：1,412人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
病児保育事業委託　17,041,000
病後児保育事業委託　16,268,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

回復期に至っていない児童を保育する「病児保育」や回復期にある児童を保育する「病後児保育」は、保護者が安心して子育てできる環境の整備に繋がり、子育て世帯の就労と子育ての両立の支援に繋がった。

【課題・改善点】

保護者の就労継続に与える影響は大きく、保護者の子育てと就労の両立を支援するためにも、本事業を推進することが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	04 認可外保育施設支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853024	乳幼児すこやか健康管理事業補助金	220,000			
1853039	認可外保育施設の衛生・安全対策事業補助金	25,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
285,000	245,200	0	39,800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	126,000	0	0	119,200
主な財源	乳幼児すこやか健康管理事業補助金、認可外保育施設の職員健康診断費助成事業補助金				

目的

認可外保育施設の入所児童に対する定期的な健康診断を実施することにより、乳幼児の健康管理の一層の向上を図る。また、認可外保育施設の職員に対する健康診断を実施することにより、衛生・安全対策を行い、児童福祉の向上を図る。

事業活動内容

○乳幼児すこやか健康管理事業
認可外保育施設に嘱託医を置き、入所児童に対して年2回健康診断を実施した。
令和3年度　3園　延べ148人
○認可外保育施設の衛生・安全対策事業
認可外保育施設に従事する職員に対して健康診断を実施した。
令和3年度　2園　6人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

認可外保育施設での入所児童及び保育事業者に対する健康支援に繋がった。

【課題・改善点】

認可及び認可外保育施設の児童が同等の健康支援を受けることは公平性の観点からも必要であるため、今後も継続した支援が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	02 高齢者社会参加・交流促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	2,200			
1106	火災保険料	45,676			
1833006	単位高齢者クラブ補助金	970,363			
1833007	高齢者クラブ連合会運営補助金	638,000			
1853008	高齢者クラブいきいきバス補助金	100,000			
1853012	高齢者外出利用バス補助金	802,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,951,000	2,558,739	0	1,392,261

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	863,000	0	0	1,695,739
主な財源	高齢者クラブ補助金				

目的

高齢者がスポーツ等を楽しむ機会を確保し、生きがいや健康・体力づくりに向けての支援を行うため、四半的道場やひまわり卓球場、屋根付運動広場の提供を行う。また、日向市高齢者クラブ連合会及び単位高齢者クラブに対して補助金を交付し、高齢者の自主的な活動の促進と高齢者クラブ会員相互の仲間づくりや社会参加の確保を図る。

事業活動内容

(1)高齢者をはじめとする地域住民の交流及び健康増進を図るため、四半的道場・卓球場・屋根付運動広場などのスポーツ施設の提供を行った。
(2)高齢者の福祉と地域社会の発展に寄与している高齢者クラブ活動の活性化を図るため、地域ごとの単位高齢者クラブと市全域を対象とした高齢者クラブ連合会に対して、運営費の一部として補助金を交付した。
(3)高齢者福祉の増進を図るため、70歳以上の高齢者が、宮崎交通が発行する高齢者用定期券（悠々パス）を購入する際、購入費の2分の1を助成した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍による外出自粛のなか、それぞれ工夫して活動が継続されており、相互の仲間づくりや社会参加の機会が確保されている。

【課題・改善点】

地域包括ケアシステムの中核となる高齢者の自立に向けた支援体制の構築は、高齢者の健康・体力維持、社会参加の機会づくりのために重要であり、引き続き推進する必要がある。高齢者クラブについては、アンケート結果を連合会役員とともに共有し、さまざまなニーズを的確にとらえながら施策の展開を検討していくことが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	03 シルバー人材センター支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	9,666			
1809006	全国シルバー人材センター協会賛助会負担金	50,000			
1833008	シルバー人材センター運営補助金	10,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,360,000	10,359,666	0	334

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,359,666
主な財源					

目的
働く意欲と能力を持った高齢者へのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的またはその他の軽易な就業」機会の提供と、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じた、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現のため、地域社会の福祉の向上と活性化に取り組む団体に対し、補助金を交付する。

事業活動内容
概ね60歳以上の高齢者が、健康維持や生きがいを持ちながら豊富な人生経験や技術を活かせる就業機会の確保を図るため、公益社団法人 日向市シルバー人材センターに運営費の一部として、補助金を交付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
収入状況は令和2年度並みを維持できたが、令和2年度実績はコロナ禍による受注先の減少等の影響により令和元年度と比べてかなりの収入減となったことから、令和3年度も引き続き厳しい運営状況にある。そうした中で、会員数は微増の結果となっており、受注先の拡充等さらなる就業機会の確保が必要な状況である。
【課題・改善点】
コロナ禍による受注先の減少等の影響により、会員の就業先の縮小や会員同士の行事の減少等で厳しい運営状況にあるが、今後についても高齢者の就業機会の確保のため、引き続き、市による財政的支援を行うとともに、受注機会の拡大のための広報啓発活動を行うことが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	02 地域で暮らし続けるための支援の充実
小事業	05 在宅高齢者支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
1001	消耗品費	36,811			
1101	通信運搬費	142,928			
1103	手数料	120,000			
1106	火災保険料	20,410			
1108	その他の保険料	45,612			
1203	事業委託料	17,236,170			
1206	その他の委託料	574,112			
1301	使用料及び賃借料	0			
1853061	法人後見体制整備支援事業補助金	2,800,000			
1911	高齢者福祉扶助費(県単補助)	625,000			
1912	高齢者福祉扶助費(市単独)	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,642,000	21,601,043	0	4,040,957

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,400,000	468,000	0	10,000	19,723,043
主な財源	生活困窮者就労準備支援事業補助金、安心システム事業費用負担金、介護保険利用者負担軽減対策費補助金				

目的
高齢者が住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を続けることができるよう、介護保険制度外の各種サービスを実施する。

事業活動内容
高齢者に対し、地域や生活の実情に応じた様々な在宅サービスを提供した。
○配食サービス事業　20,109食
○生活管理指導短期宿泊事業
○寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業
○在宅高齢者等安心システム事業
○法人後見体制整備支援事業補助金
○介護保険利用者負担額軽減対策費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○事業委託料

配食サービス事業	17,131,570
生活管理指導短期宿泊事業	18,800
寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業	85,800

○その他の委託料

在宅高齢者等安心システム通報センター業務	440,000
緊急通報装置保守運用業務	134,112

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
地域包括支援センター等の関係機関と連携し、高齢者に対して配食サービスによる見守りや、在宅高齢者等安心システム事業による緊急通報対応等を提供し、高齢者が可能な限り自立した生活を継続するための支援を行うことができた。
【課題・改善点】
高齢者人口が増加する中、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムを推進するうえで、見守り等の介護保険制度外サービスの継続は今後も必要不可欠である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	01 保健体制の充実		
事業 小事業	01 食生活改善推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	7,260			
1203	事業委託料	140,261			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
331,000	150,121	0	180,879

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	150,121
主な財源					

目的

食生活改善推進員及び市民が研修会や講習会を通して、適切な食生活やその実践方法を学ぶことにより、地域、家庭での健康づくりにつなげる。

事業活動内容

地域における健康づくりを実践する食生活改善推進員の育成を図るために研修を実施し、地域での活動を支援した。

○食生活改善推進員定例研修会の開催　22回
○地区講習会（親子料理教室、地区食生活改善教室）の実施回数、受講者数　7回　113人
○百歳体操やいきいきサロンの場等での啓発チラシ配付　466人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
食生活改善推進事業業務　140,261

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　要改善

コロナ禍により予定を下回ったものの、地区講習会の開催や低栄養予防チラシの配付などに取り組み、食を通じた健康づくりを実践した。

【課題・改善点】

担い手不足が課題となっていることから、推進員活動の周知を図り、新規推進員の養成に努める。感染防止対策を徹底し地区講習会を開催するとともに、食生活改善に向けた啓発に取り組む。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	01 保健体制の充実		
事業 小事業	08 健康増進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	3,600			
1001	消耗品費	14,237			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	185,528			
1008	修繕料	52,800			
1101	通信運搬費	207,000			
1203	事業委託料	3,125,217			
1205	システム開発等委託料	6,435,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,151,800	10,023,382	0	5,128,418

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,752,000	0	52,800	4,218,582
主な財源	健康増進事業県負担金、情報標準化整備事業補助金、自動車損害共済金				

目的

健康教育や健康相談、若年者の健康診査等を実施することにより、市民の健康の保持増進を図る。

事業活動内容

健康増進法に基づく健診（肝炎ウイルス検診、若年者の健康診査、生活保護受給者の健康診査、歯周疾患検診（30歳から70歳までの5歳毎））、健康教育、健康相談事業を実施した。

○肝炎ウイルス検診無料クーポン券　対象者数 2,743人　利用率 9.6%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料　3,125,217
肝炎ウイルス検診
若年者（19歳～39歳）の健康診査
生活保護受給者の健康診査
歯周疾患等検診

○システム開発等委託料　6,435,000
健（検）診結果の利活用に向けた
情報標準化整備事業

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

肝炎ウイルス検診は、無料クーポン券対象者に電話による受診勧奨を行ったが利用率の向上にはつながらなかった。生活保護受給者の健康診査は福祉課と連携を図り、受診勧奨を行うことで受診者数の増加につなげることができた。

【課題・改善点】

肝炎ウイルス検診、若年者の健康診査、歯周疾患等検診の受診者数は横ばい又は微増傾向であるため、健（検）診を疾病の予防や早期発見に役立てていただけるよう引き続き受診勧奨に努める。肝炎ウイルス検診は一生に一度の検診であるため、無料クーポン券対象者について受診勧奨を強化する。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	01 保健体制の充実		
事業 小事業	10 がん検診推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	58,852			
1006	印刷製本費	644,015			
1101	通信運搬費	671,798			
1203	事業委託料	44,012,388			
1301	使用料及び賃借料	0			
2201	償還金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,115,000	45,387,053	0	727,947

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	118,000	0	0	0	45,269,053
主な財源	がん検診推進事業補助金				

目的
各種がん検診を実施することにより、疾病の早期発見、早期治療につなげる。

事業活動内容
各種がん検診（肺がん・胃がん・子宮がん・乳がん・大腸がん・前立腺がん）を個別及び集団検診により実施した。子宮がん、乳がん及び大腸がん検診については、対象者に無料クーポン券を発行することにより受診勧奨を行った。
○がん検診無料クーポン券対象者数及び利用率（個別検診・集団検診）
子宮がん検診　31歳：203人　26.6 %
乳がん検診　41歳：367人　25.9 %
大腸がん検診　41歳：685人　15.9 %

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○事業委託料　44,012,388
肺がん検診
胃がん検診
子宮がん検診
乳がん検診
大腸がん検診
前立腺がん検診

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
検診未受診者対策として、広報媒体を活用するとともに、電話での受診勧奨、区未加入世帯への情報提供を行うなど受診勧奨に努めたことにより、胃がん、子宮がん及び乳がん検診は受診率が増加した。
健診結果で精密検査が必要な人について、職員が訪問し結果を説明することで、医療機関への受診を勧奨した。
【課題・改善点】
がんの早期発見・早期治療は、本人や家族の身体的・精神的負担を軽減し、医療費削減につながることから、引き続き、受診しやすい環境づくりや受診率向上に向けた周知、啓発に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	01 保健体制の充実		
事業 小事業	11 感染症対策に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	12,914			
1006	印刷製本費	417,736			
1011	医薬材料費	14,177			
1101	通信運搬費	1,799,000			
1103	手数料	163,500			
1203	事業委託料	41,481,000			
1205	システム開発等委託料	1,617,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	30,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,760,200	45,536,127	0	224,073

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,539,000	0	0	0	42,997,127
主な財源	緊急風しん抗体検査等事業補助金、感染症対策特別促進事業補助金				

目的
伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防することにより、公衆衛生の向上を図る。

事業活動内容
伝染性が強く、まん延による社会的影響が大きい疾病の検診や個人予防に重点を置いた疾病の予防接種を実施した。
結核検診（65歳以上）
高齢者インフルエンザ予防接種（65歳以上）　接種率　49.9%
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種（65・70・75・80・85・90・95・100歳）　接種率　18.2%
成人男性風しん抗体検査及び風しん第5期定期接種　検査率　8.1%
（平成31（2019）年度から令和6（2024）年度まで実施）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○事業委託料　41,481,000
結核検診
高齢者インフルエンザ予防接種
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種
成人男性風しん抗体検査及び
風しん第5期定期接種
○システム開発等委託料　1,617,000
新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく住民接種に係る予防接種記録システム改修委託

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
前年度に比べ、高齢者インフルエンザ予防接種のワクチン供給時期が遅れたが、実施期間を延長し、接種希望者の接種機会を確保することができた。
【課題・改善点】
感染症を予防しまん延を防ぐことは、安全で安心な市民生活を守ることにつながることから、引き続き、検診・予防接種を受けやすい環境づくりに取り組むとともに、周知、啓発に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	01 保健体制の充実
小事業	13 自殺対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	25,000			
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	53,935			
1006	印刷製本費	83,600			
1101	通信運搬費	27,000			
1203	事業委託料	735,500			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,030,000	925,035	0	104,965

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	451,000	0	0	474,035
主な財源	地域自殺対策強化事業補助金				

目的
様々な悩みにより、心理的に追い詰められている人が孤立することのないよう相談支援体制の充実を図る。

事業活動内容
「日向市自殺対策行動計画」を推進するため、関係機関・団体と連携を図った。
自殺対策事業対面型相談支援業務（民間業者に相談員を配置し、相談しやすい環境を整備）
自殺予防週間や自殺対策強化月間における啓発
自殺対策行動計画推進会議の開催

○ゲートキーパー研修会の開催　2回　参加者数　81名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○事業委託料　735,500
自殺対策事業対面型相談支援業務

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
市民の身近な支援者である民生委員を対象としたゲートキーパー研修会を開催し、自殺対策を支える人材育成につなげた。様々な悩みを抱える人の相談窓口を掲載した「日向市こころの電話帳」を区加入世帯に配布するだけでなく、市内スーパーや乳幼児健診での配布、商工会議所の会報に同封するなど、区加入世帯以外にも届くようにした。
【課題・改善点】
生きづらさや深い悩みを抱えている人が相談窓口につながることができるよう、自殺対策推進協議会等を通じて関係課や外部団体等との連携を図るとともに、引き続き各種相談窓口の周知を図る。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0002 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	02 医療体制の確保
小事業	02 救急医療体制整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	66,000			
1108	その他の保険料	937,820			
1203	事業委託料	14,105,080			
1301	使用料及び賃借料	681,912			
1805081	宮崎県救急医療行政連絡協議会負担金	357,000			
1806024	日向市東臼杵郡医師会立日向市看護高等専修学校負担金	661,900			
1806074	日向地区救急医療対策協議会負担金	118,300			
1810011	延岡市小児夜間急病センター負担金	14,018,611			
1834004	二次救急医療体制整備補助金	111,099,000			
1834010	日向市救急勤務医支援事業補助金	21,885,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
164,964,000	163,930,623	0	1,033,377

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	52,709,000	111,221,623
主な財源	在宅当番医制整備事業負担金、日向地区二次救急医療体制整備負担金、地域振興基金繰入金				

目的
初期救急及び二次救急に係る救急医療体制を維持し、市民の安全で安心な暮らしを確保する。

事業活動内容
市単独又は日向入郷医療圏域自治体と共同して、日曜及び祝日等の診療体制の維持に必要な支援や、一次救命措置に必要な自動体外式除細動器（AED）の更新を行った。
○日曜及び祝日の軽症患者受入体制（在宅当番医）の維持（参加医療機関：7病院・37診療所）
○日曜日の歯科患者受入体制（在宅当番医）の維持（参加医療機関：20診療所）
○本医療圏域の民間二次救急告示病院に対する二次救急医療の体制整備及び救急勤務医手当増額部分に係る補助
○市内の公共施設及び小中学校のAED（リース）の更新設置（64か所）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
在宅当番医（医科）病院運営業務　12,840,080
在宅当番医（歯科）病院運営業務　1,265,000

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
軽症患者の応急診療や夜間の小児急病時の対応、二次救急医療体制の整備等、救急医療体制の維持及び確保が図られた。
【課題・改善点】
本医療圏域は特に医師が少なく、また医師の高齢化も進んでいる。今後、医師の働き方改革等により、なお一層医師確保が困難となり、救急医療をはじめ、地域医療を取り巻く環境はより厳しさを増すことが予想される。引き続き、二次医療圏間の格差が生じないよう国県に対し財政支援の充実を求めるとともに、圏域自治体で協力して公的支援の継続に努めていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0002 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	02 医療体制の確保		
事業 小事業	05 地域医療体制整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	24,186			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1103	手数料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1810013	宮崎県医師確保対策推進協議会負担金	300,000			
1833022	日向市の地域医療を考える会運営補助金	760,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,793,000	1,084,186	0	708,814

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	380,000	0	0	704,186
主な財源	オピニオンリーダー育成・強化補助金				

目的

医療関係者との関係構築を図りながら本市医療体制の確保に努め、安全で安心な医療環境の実現を目指す。また、本市の医療を取り巻く厳しい現状を市民に理解してもらい、限られた医療資源を大切にしていこうという意識の醸成を図る。

事業活動内容

医療人材の確保に向けた取組、市民への適正受診等に関する啓発活動の推進等、地域の医療を守る活動を行った。
○宮崎県医師確保対策推進協議会が実施する医師確保対策事業への参画
○医療に関して共通認識を持つための日向市東臼杵郡医師会との意見交換会の開催（1回）
○オピニオンリーダーを育成するための「日向市の地域医療を考える会」への運営支援
○適正受診を促すリーフレットの作成と全世帯配布（「日向市の地域医療を考える会」と共同）
○在宅医療に関しての地域医療講演会の開催（1回・「日向市の地域医療を考える会」共催）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
コロナ禍の中にあっても、出来得る限り本市の医療を取り巻く現状を情報発信し、医療関係者との繋がりを保つことができた。
【課題・改善点】
人口減少、少子高齢社会において、地域の医療提供体制を安定的に確保していくことは地域存続の鍵を握る重要な課題である。このため、医療人材の確保に向けて、引き続き、医師会と一体となって医療関係者との関係構築に取り組むとともに、限られた医療資源を守り、医療従事者が働きがいのある地域医療を作るために、市民への医療に対しての理解を求めるための啓発も必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0002 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	06 診療所費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	02 医療体制の確保		
事業 小事業	03 初期救急診療所事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	4,865,582	1108	その他の保険料	643,940
0301	職員手当	317,000	1203	事業委託料	18,485,500
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	312,027	1205	システム開発等委託料	312,840
0801	費用弁償	108,190	1208	コンピューター・システム導入委託料	450,780
1001	消耗品費	116,499	1301	使用料及び賃借料	541,908
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	30,600			
1006	印刷製本費	11,000			
1007	光熱水費	385,074			
1011	医薬材料費	769,144			
1101	通信運搬費	140,009			
1103	手数料	311,346			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,704,780	27,801,439	0	1,903,341

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	12,000	0	0	6,290,000	21,499,439
主な財源	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金、初期救急診療所運営負担金、一部負担金収入、健康保険診療収入、督促手数料、自動販売機電気料収入、医療提供体制設備整備交付金				

目的

日向市初期救急診療所において、夜間、時間外の軽症患者の応急診療を行うことにより、市民に対する安全で安心な医療の確保を図り、併せて、二次救急医療機関の負担軽減にも努める。

事業活動内容

日向入郷医療圏域1市2町2村の負担により日向市初期救急診療所を運営し、平日夜間帯の軽症患者の応急診療を行った。
○診療科　内科・外科
○診療日　月曜日から金曜日（祝日、1月2日、1月3日及び12月29日から12月31日までを除く）
○診療時間　午後7時30分から午後9時30分まで
○診療体制　医師2名・薬剤師1名・看護師2名・事務員1名
○診療実績　診療日数242日　受診者数208人　1日平均0.86人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

運営業務（医師会）	11,272,250
医療調剤業務（薬剤師会）	2,857,250
医療事務業務	4,356,000
初期救急診療所医療事務システム保守業務	312,840
初期救急診療所オンライン資格確認システム導入業務	450,780

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
軽症患者に対する応急診療を提供することで、二次救急医療機関の負担軽減に繋がった。
【課題・改善点】
医師会所属医師の高齢化や医療機器の老朽化などの課題があるものの、引き続き、平日夜間における軽症患者の受入先として運営を継続し初期救急医療体制を確保する。
地域の医療を守るためには、市民一人ひとりが、かかりつけ医を持つことや診療時間内での適正受診を心掛け、健康づくりに取り組むことが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	05 労働費	項	01 労働諸費
目	02 労働諸費		

事業	
大事業	21 雇用の確保と創出
中事業	01 就業の場の確保と雇用の創出
小事業	06 日向市地域雇用創造協議会に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	940,272			
0301	職員手当	59,942			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	151,322			
0702	出会謝金	50,000			
0801	費用弁償	12,000			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	4,437			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	4,295			
1107	自動車損害保険料	2,814			
1203	事業委託料	24,420			
2001	貸付金	8,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,164,000	9,752,102	0	411,898

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	8,502,814	1,249,288
主な財源	地域雇用創造協議会運営資金貸付金収入、自動車損害共済解約返戻金				

目的

厚生労働省の「地域雇用活性化推進事業」に取り組む日向市地域雇用創造協議会が行う人材育成セミナーや就職説明会、企業面談会等を支援することで、若者や女性の雇用促進及び市内中小企業等の雇用の安定を図る。

事業活動内容

令和3年10月から厚生労働省の「地域雇用活性化推進事業」に取り組む日向市地域雇用創造協議会の運営再開を支援した。

○貸付金

日向市地域雇用創造協議会運営資金貸付金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市地域雇用創造協議会事務所警備委託　24,420

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍により企業の人手不足や雇用のミスマッチ、デジタル化、働き方改革が加速する中、それらに対応し雇用促進に取り組む日向市地域雇用創造協議会の活動を支援することで、多くの求職者を就業に繋げることができた。

【課題・改善点】

「地域雇用活性化推進事業」は事業期間が2年6カ月であることから、継続して成果をあげるためには、毎年セミナー内容や募集方法を見直す等の創意工夫が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	05 労働費	項	01 労働諸費
目	02 労働諸費		

事業	
大事業	21 雇用の確保と創出
中事業	01 就業の場の確保と雇用の創出
小事業	07 就業支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
1203	事業委託料	825,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
856,000	825,000	0	31,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	825,000
主な財源					

目的

コロナ禍で就業率が低下する中、就職情報サイトを運営し情報発信の強化に努める等、若者の地元定着や早期離職の防止を図る。併せて、労働環境改善に関する情報提供やワーク・ライフ・バランスの推進等、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりを支援する。

事業活動内容

○就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」のリニューアル

・掲載内容　ハローワーク日向の求人情報、企業情報、事業者向け・求職者向けのセミナー情報等

○高校生就職準備セミナーの開催

・管内高校と連携し開催準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。

○働く環境づくりに関する啓発活動の実施

・市ホームページや関係団体の会報等を活用し、市民や市内事業所への労働環境改善等に関する情報提供を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

日向市地域ナレッジコミュニティ型

情報サイト「るーくる」運営事業業務委託　330,000

「ひゅうがJOBナビ」ウェブサイト等

運営維持管理業務委託　495,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」をリニューアルし、ハローワーク日向や関係団体等との連携により、求人情報、企業情報、セミナー情報等の情報発信の強化が図られた。

【課題・改善点】

管内高校生の市内就職率の向上を目指し、管内高校や市内事業者、関係団体等との連携会議を開催する等、地域が一体となって若者定着に向けた取組を行っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	02 商工会議所等運営補助事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837003	日向商工会議所活性化事業補助金	1,630,000			
1837013	東郷町商工会活性化事業補助金	1,466,000			
1837018	市民交流プラザ運営補助金	1,800,000			
1857004	小規模事業者経営改善普及事業補助金	7,135,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,031,000	12,031,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12,031,000
主な財源					

目的

商工業者に対し、経営相談や補助金申請、新規創業等のサポートを行うなど、地域経済の活性化に重要な役割を担っている日向商工会議所、東郷町商工会の活動を支援し、市内商工業者の経営安定及び地域経済の振興を図る。

事業活動内容

○商工団体に対する運営支援
　商工会議所及び商工会に対する運営費の補助
○市民交流プラザに対する運営支援
　商工会館1階「市民交流プラザ」の利用促進と円滑な運営を図るため、維持管理経費の一部を補助
○中小企業相談所に対する事業支援
　商工会議所・商工会に対して県が交付する小規模事業経営支援事業費補助金の15／100の額を補助

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

日向商工会議所、東郷町商工会に対する運営補助及び事業補助を行うことで、コロナ禍により事業継続及び雇用の維持等に苦慮する市内中小企業等への経営指導体制の充実・強化が図られた。

【課題・改善点】

日向商工会議所及び東郷町商工会による経営支援等の取組は、地域経済の活性化を図る上で非常に重要な役割を果たしており、今後もその取組を県と連携し支援していくことが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	12 中小企業特別融資事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867018	中小企業特別融資制度保証料補助金	10,890,073			
2001	貸付金	335,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
345,900,000	345,890,073	0	9,927

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	335,000,000	10,890,073
主な財源	商工業振興貸付金収入				

目的

市内の中小企業等が、経営安定や創業時に必要とする運転・設備資金の調達を支援し、コロナ禍により低迷している地域経済の安定化を図る。

事業活動内容

日向市中小企業特別融資制度及び日向市小規模企業特別融資制度を取り扱う金融機関に対し、融資原資を預託するとともに、県信用保証協会に対し、融資に係る保証料を補助した。
○融資件数　83件
○融資利率　日向市中小企業特別融資制度　　年1.8%
　　日向市小規模企業特別融資制度　年1.6%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

金融機関等と連携し継続して本事業を実施することで、中小企業等が事業資金を調達しやすい環境が構築されている。市内中小企業等からのニーズも高く、経営安定及び雇用の維持に寄与している。

【課題・改善点】

コロナ禍に加え原油・資材高騰が長期化する中、本制度の需要はますます高まるものと思われる。中小企業等の経営安定及び雇用の維持を図る上で、本融資制度を継続していくことは必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	16 住宅リフォーム促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857027	住宅リフォーム促進事業補助金	3,916,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	3,916,000	0	84,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,916,000
主な財源					

目的

新しい生活様式に対応した住環境の整備及び市内小規模登録事業者等の受注機会の創出を図るため、市内住宅のリフォーム工事に係る費用の一部を補助する。

事業活動内容

市内小規模登録事業者等を利用して、市内の住宅のリフォーム工事を行う者に対して、経費の一部を補助した。
○住宅リフォーム 43件
自宅のリフォーム工事費20万円以上に対し、補助対象工事費の10%（最大10万円）を補助

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
本事業により、市内小規模登録事業者等を利用した住宅リフォーム工事が促進され、コロナ禍における市内事業者の受注機会の創出及びアフターコロナを見据えた住環境の整備が図られた。

【課題・改善点】
令和3年度は、半導体・部品の調達遅延等により、予定していたリフォーム工事を取り止め、変更する事例が目立った。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	19 商工業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	25,000			
0716	記念品料	44,050			
0802	普通旅費	8,010			
1001	消耗品費	52,886			
1005	食糧費	8,000			
1857034	技能まつり補助金	0			
1867026	中小企業退職金共済加入促進事業補助金	1,230,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,844,000	1,367,946	0	476,054

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,367,946
主な財源					

目的

商工業者の経営安定や従業員の勤労意欲の向上を図るため、日向市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき中小企業振興会議を開催し中小企業等の現状を把握するとともに、企業及び従業員等の表彰を行う。

事業活動内容

○優良従業員表彰
市内同一事業所に15年以上勤務し、業務に精励し技能が優れ市民の模範となる12名を表彰した。
○優良企業の認定
ワークライフバランス及び女性の活躍等に取り組む優良企業1社を「社員が輝く!先進企業」に認定した。
○中小企業退職金共済加入促進事業補助金
中小企業退職金共済制度に新規又は追加契約した中小企業等70社に対し、新規加入従業員1人あたり5,000円を補助した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
表彰等の実施を通して労働環境の改善、従業員の勤労意欲の向上に寄与するとともに、中小企業振興会議を通して中小企業側が抱える課題や施策に関する意見等を聴取することができた。
【課題・改善点】
表彰制度の認知度が低いことから、周知・啓発を強化する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	02 高度な技術力を生かした工業の振興
小事業	02 地場産業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	495,792			
0301	職員手当	158,033			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	107,069			
0801	費用弁償	8,000			
0802	普通旅費	0			
1813033	耳川流域地場産業振興対策協議会負担金	20,000			
1813053	国文祭・芸文祭日向市実行委員会負担金	301,212			
1857007	日向市地場産業振興対策補助金	291,000			
1857009	はまぐり碁石まつり実行委員会補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,183,000	1,381,106	0	3,801,894

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,381,106
主な財源					

目的

地場産業の振興を図るため、地場産業振興団体が取り組む活動を支援する。また、全国唯一のはまぐり碁石の産地として、「日向はまぐり碁石まつり」を開催するなど、碁石産業の活性化を図る。

事業活動内容

○地場産業振興団体に対する活動支援
販路拡大や事業者の活力向上を図るため、日向物産振興協会が行うセミナーの開催経費等を補助した。
○日向はまぐり碁石まつり及び囲碁サミットの開催
「国文祭・芸文祭みやざき」の一環として「日向はまぐり碁石まつり」及び「囲碁サミット」の開催を支援していたが、同まつり等が新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止となった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：要改善
コロナ禍によりイベント等が中止となり、地場産品のPR及び展示即売の機会が減る中、関係団体等と連携し、地場産業振興団体が行うウィズコロナに向けた取組を支援した。
【課題・改善点】
ウィズコロナ、アフターコロナに向け、地場産業振興団体への支援のあり方や、「日向はまぐり碁石まつり」の開催方法等について、関係団体等と協議を深め、今後の施策等を検討していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	02 新たな産業の育成支援
小事業	01 ひむか－Biz運営事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1007	光熱水費	40,000			
1101	通信運搬費	27,000			
1203	事業委託料	25,419,659			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,200,000	25,486,659	0	2,713,341

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	14,000,000	11,486,659
主な財源	企業版ふるさと日向市応援寄附金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

地域経済の活性化を図るため、日向市産業支援センター「ひむか－Biz」において、高いビジネススキルを有する専任コーディネーターによる伴走型支援や事業者間のマッチング等を行い、日向地域の中小企業等の新商品開発や販路拡大、新規起業等を後押しする。

事業活動内容

日向市産業支援センター「ひむか－Biz」を運営し、専任コーディネーターによる中小企業等の売上アップや起業希望者等への相談支援サービスを提供した。また、コワーキングスペース等のビジネススペースを市民に提供するとともに、経営力向上に資するセミナー等を開催した。
○相談件数　442件
○新規起業件数　15件
○セミナー等開催　女性起業家を対象とした「WOMAN Biz」ほか2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
ひむか-Biz運営業務委託　25,419,659

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持
「ひむか-Biz」は、事業者等の抱える様々な課題の解決を図る支援機関として市民に定着しており、中小企業等に対する伴走型支援により、新規創業及び新商品開発等に繋がった好事例を多数創出している。また、女性起業家を対象とした「WOMAN Biz」を開催するなど、女性起業家のネットワークの構築も図っている。
【課題・改善点】
「ひむか－Biz」のコーディネーターが1名であるため、引き続き商工会議所、商工会、金融機関、関係機関等との連携を図りながら、効果的な事業者支援に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	17 ふるさと融資事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857075	ふるさと融資物流等支援事業補助金	3,250,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,250,000	3,250,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,250,000
主な財源					

目的

保証料補助を通じて新造船に係る負担を軽減することで、安定した物流体制の構築、細島港の利便性の向上を図り、取扱貨物量の増加や物流コストの削減につなげる。

事業活動内容

〇ふるさと融資物流等支援事業補助金
ふるさと融資を活用する事業者は民間金融機関等に連帯保証料を支払う制度となっており、地方自治体が保証料補助を行う場合、補助額の75%は交付税措置が講じられる。この制度を利用し、保証料補助の支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
コロナ禍にあってもRORO船の貨物量は徐々に増加しており、大型化のメリットが効果を上げつつある。
【課題・改善点】
今後、物流業界における「2024年問題」を契機とした物流業界の動きも注目されていることから、引き続き、継続的支援を行っていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	01 企業誘致の推進
小事業	01 企業誘致推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	32,000	1825002	研修会負担金	18,000
0802	普通旅費	47,780	1867002	企業立地奨励金	43,690,000
1001	消耗品費	80,000	1867003	雇用促進奨励金	600,000
1005	食糧費	22,640			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	15,000			
1203	事業委託料	990,000			
1206	その他の委託料	1,614,250			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808076	Mg循環社会構想推進協議会負担金	110,000			
1813009	日向・細島地区企業立地促進協議会負担金	650,000			
1813037	宮崎県市町村間連携支援交付金事業負担金	3,432,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
104,152,000	51,301,670	0	52,850,330

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,166,000	0	0	49,135,670
主な財源	宮崎県市町村間連携支援交付金				

目的

奨励措置を通じて、新規企業の誘致や既存企業の増設等を促進することにより、本市産業の振興と新たな雇用の場の創出を図る。

事業活動内容

〇企業訪問活動（企業誘致セミナー参加）
企業訪問に加え、企業誘致オンラインセミナーに参加し、情報収集に努めた。
〇立地企業フォローアップ活動
既に立地している企業に対して、定期的な企業訪問と聞き取りを行い、きめ細やかなフォローアップを行った。
〇企業立地及び雇用促進奨励金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇企業立地奨励金

工場等用地取得助成金	32,350,000
工場・オフィス賃借料助成金	10,000,000
通信回線使用料	390,000
立地企業廃校等利活用事業貸付料等補助金	950,000

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
コロナ禍により県外企業訪問や企業誘致セミナーへの参加機会は減少したものの、地元企業を中心に積極的な誘致活動を行った。
【課題・改善点】
不足する工業用地の確保に加え、内陸型の東郷工業団地計画についても、高額な造成費用や交通インフラ面などが課題となっているため、新たな用地の掘り起こしを進めるとともに、国県への積極的な要望活動を行っていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	01 企業誘致の推進
小事業	10 [R02国補正]地方創生テレワーク交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	5,899,520			
1857090	サテライトオフィス等開設支援事業補助金	10,000,000			
1857091	サテライトオフィス等進出支援事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,000,000	15,899,520	0	2,100,480

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,925,000	0	0	0	3,974,520
主な財源	地方創生テレワーク交付金（過年度）				

目的

コロナ禍によりテレワークなどの新しい生活様式が普及するなか、サテライトオフィスの開設支援やワーケーションのプロモーションに取り組むことにより、地方への新しい人の流れを創出し、地方分散型の活力ある地域社会の実現を図る。

事業活動内容

○その他の委託料
　日向市地方創生テレワーク推進プロモーション事業業務委託
○日向市サテライトオフィス等開設支援事業補助金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
　日向市地方創生テレワーク推進
　プロモーション事業業務委託　　5,899,520

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：終了

コロナ禍により注目の集まる「ワーケーション」を中心とした地方創生テレワーク推進を目的として、民間事業者が取り組むワーケーション専用施設の整備に対する助成を行うとともに、整備施設を中心としたプロモーション活動を展開することで、日向市ワーケーションのブランディングに大きく寄与した。

【課題・改善点】

ワーケーションを通じて、整備施設を利用する企業は一定数獲得できたものの、地方進出を決意する企業の誘致までは実現できなかったため、引き続き、情報発信を行っていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		

事業	
大事業	36 港湾機能の充実と活用
中事業	01 港湾の整備
小事業	重要港湾等整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802007	港湾整備県営事業負担金	92,200,000			
1814013	県港湾協会特別負担金	395,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
92,921,000	92,595,000	0	326,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	85,000,000	0	7,595,000
主な財源					

目的

東九州における物流拠点である重要港湾細島港の、外郭施設（沖防波堤）及び港湾施設（新たな岸壁やふ頭用地）の整備を推進することにより、地域産業の振興と経済の活性化を図る。

事業活動内容

○令和3年度事業概要
（国直轄事業）
・南沖防波堤整備
（県営事業）
・16号岸壁整備、余島防波堤改良、岸壁改良

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

県が実施する港湾整備事業に対して負担金を支出することにより細島港白浜地区国際物流ターミナル（16号岸壁）の整備促進が図られたほか、官民連携による積極的な要望活動、国への働きかけが実を結び、RORO船用岸壁である19号岸壁の事業化が正式決定された。

【課題・改善点】

船舶の大型化への対応、トラックドライバー不足の解消を図るため、同岸壁の早期整備及びその他の岸壁整備の事業化に向けた要望活動を展開していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		

事業	
大事業	36 港湾機能の充実と活用
中事業	02 物流体制とポートセールスの強化
小事業	01 物流等対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	21,640			
1006	印刷製本費	0			
1813030	船舶給水料金負担金	2,649,380			
1814015	宮崎県ポートセールス協議会負担金	1,200,000			
1857031	貨物集荷奨励事業補助金	12,483,550			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,964,000	16,354,570	0	609,430

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	16,354,570
主な財源					

目的

貨物集荷奨励事業の活用やポートセールス活動を通して、県外他港に流れている貨物の細島港利用を促進するとともに、陸上アクセス性の向上や海外コンテナ定期航路、内航RORO航路の便の良さなど、細島工業団地の立地条件の良さをPRすることにより、港湾活用型の企業立地を進め、細島港の振興につなげる。

事業活動内容

○ポートセールス活動
○船舶給水料金負担金
　細島港を利用する船舶に対する給水料金について、競争力強化のための減額措置分を負担した。
○貨物集荷奨励補助金
　細島港を利用して輸出入を行うコンテナ貨物等に対する補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

新型コロナウイルス感染症や世界的なコンテナ不足、コンテナ価格高騰といった影響を受けたものの、前年度と同程度の奨励措置を行った。

【課題・改善点】

港湾における物流は、コロナ禍の影響等により停滞し、その後、回復に転じたものの、世界的なコンテナ不足等の影響を受け、厳しい状況が続いている。そのため、他港への貨物の流出防止はもちろん、細島港利用者へのインセンティブも含めて、引き続き、支援を継続することが妥当と考えられる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		

事業	
大事業	36 港湾機能の充実と活用
中事業	02 物流体制とポートセールスの強化
小事業	05 みなとオアシス推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	37,880			
1857071	みなとオアシスほそしま協議会運営補助金	59,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
259,000	96,880	0	162,120

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	96,880
主な財源					

目的

地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化を目指す「みなとオアシスほそしま協議会」の取組を支援することで、地域の交流や賑いづくりを推進する。

事業活動内容

○みなとオアシスほそしま協議会運営補助金
　みなとオアシスほそしまの賑わい創出のため、映画上映会やミニコンサートの企画を行ったが、コロナ禍により実施ができなかった。年末に、みなとオアシス内の店舗との共催で実施した「ほそしまクリスマス・マルシェ」では、3日間でおよそ600名の参加者がみなとオアシスを訪れ、大いに賑わった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍によりイベント実施が難しい状況が続いたが、「ほそしまクリスマス・マルシェ」の開催など、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたイベントを実施することができた。

【課題・改善点】

引き続き、コロナ禍で活動に制限がかかる状況ではあったが、ウィズコロナ、アフターコロナに向けた事業の検討、フィジビリティスタディの実施などに取り組んでいる状況である。今後も、継続的な事業の支援が必要と考える。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
小事業	03 広域観光ルート推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1806067	日向・東臼杵広域観光推進協議会負担金	1,805,000			
1857010	広域観光ルート推進事業補助金	601,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,406,000	2,406,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	601,000	0	0	1,805,000
主な財源	稼ぐ観光地域づくり推進支援事業等補助金				

目的

日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の1市2町2村で組織する「日向・東臼杵広域観光推進協議会」で、圏域の恵まれた気候風土や自然景観、伝統文化、食などの観光資源を生かした「体験・交流・滞在型観光」を推進することで、圏域における関係交流人口の拡大や地域活性化を図る。

事業活動内容

圏域市町村の負担金を財源として、新しい生活様式に対応したインフラ・サイクルツーリズムなどを推進した。
しかし、体験・交流型観光メニュー「ひゅうが奥日向“旅”博覧会（通称：タビハク）」では、5つのツアーを企画したが、感染状況の悪化により催行することができなかった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍により人流は制限され、地域イベントの大半も中止。域外へ向けた誘客活動や体験・交流型観光メニュータビハクについても催行するに至らなかった。一方でサイクルツーリズムの推進においては、屋外活動として感染リスクも低く、「新しい生活様式」に対応した新たな誘客コンテンツとして着目されていることから、サイクリスト目線で圏域10コースを造成し、県の補助を受けサイクルマップを作成した。

【課題・改善点】

今後のコロナの感染状況を注視しながら、より誘客力や発信力の強く、さらに持続可能な地域イベント等を企画するほか、SNS等を活用した観光情報発信に取り組み、交流人口の拡大につなげていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 効果的な情報発信とプロモーション
小事業	02 観光客誘致推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	15,000	1813043	宮崎県教育旅行誘致推進協議会負担金	30,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0	1813048	研修会負担金	5,000
0716	記念品料	0	1813052	自転車活用全国組織負担金	10,000
0802	普通旅費	448,450			
1001	消耗品費	72,172			
1005	食糧費	3,120			
1006	印刷製本費	691,933			
1103	手数料	165,000			
1104	広告料	2,272,500			
1108	その他の保険料	0			
1206	その他の委託料	3,978,150			
1301	使用料及び賃借料	721,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,078,000	8,412,925	3,300,000	1,365,075

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,989,000	0	0	3,600,000	2,823,925
主な財源	地方創生推進交付金、企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

コロナ禍により疲弊した地域経済を回復させるために、旅行者の呼び戻しとさらなる誘客を図るとともに、国内に向けた差別化したプロモーション等で注目を集め、さらに既存観光地の磨き上げなどを広く発信することにより、関係交流人口の拡大を目指す。

事業活動内容

本市の恵まれた地域資源や伝統文化などが持つそれぞれの魅力を生かし、これまで取り組んできた観光施策を継承・発展させながら、観光事業者や体験型観光コンテンツ提供事業者、特産品開発事業者など幅広い業種の方と連携してウィズコロナ・アフターコロナ期における観光入込客や観光消費のV字回復に向けた効果的な施策を展開していくために、日向市ポストコロナ観光戦略（計画期間：令和4年度から令和6年度の3年間）を策定した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市ポストコロナ観光戦略策定業務　3,978,150

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍における域内観光の推進に向け、プロモーション活動等を展開したほか、市民や事業者、行政が一体となって会議やワークショップを重ね、「日向市ポストコロナ観光戦略」を策定した。

【課題・改善点】

観光関連事業者等の事業活動の継続に向けた支援を継続しつつ、旅行需要の回復に合わせ、強力な誘客プロモーション等を展開し、交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげていく必要がある。さらに安全で安心な誘客コンテンツの造成や、既存観光地の新たな魅力創出等に取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	04 観光産業を担う組織や人材育成・強化
小事業	01 観光振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857015	十五夜祭り補助金	122,272			
1857047	細島港船舶寄港受入補助金	1,000,000			
1857052	日向市観光大使イベント運営補助金	370,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,493,000	1,492,272	0	728

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,400,000	92,272
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

本市地域経済の活性に大きな力となる日向三大祭や、季節の観光イベント等の開催を支援することで、国内外に向け観光地としての情報発信を図る。また、滞在型観光を推進することで、交流人口や消費の拡大を目指す。さらに観光地域づくりの主役となる組織や人材の育成を図る。

事業活動内容

○イベント等への支援
・日向三大祭　日向ひょっとこ夏祭り（中止）、細島みなと祭り（中止）、
　日向十五夜祭り（中止。一部、PR動画を作成し情報発信する事業のみ実施）
・季節イベント　日向みなと・夢・みらい花火大会（中止）
・その他　細島港クルーズ客船受入協議会（国内船2回入港）、
　観光大使等イベント実行委員会（新宿KONNEイベント出店ほか）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

イベント等の中止要因は、すべて新型コロナウイルス感染症感染拡大による。長引くコロナ禍にあっても、それぞれの実行委員会においては、SNSなどの多様な情報発信ツールを活用しPRに努めた。

【課題・改善点】

残念ながら2カ年連続の開催中止に追い込まれたが、地域活性化を担う観光イベントとしての実行委員会の意識は高く、次期開催に向けて、メンバーが一丸となって準備を進めている。ポストコロナ期の市民主体の観光まちづくりを推進していくうえで、交流関係人口の拡大や地域活性化に、絶大な効果が見込まれており、今後も運営や感染対策等について支援していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	04 観光産業を担う組織や人材育成・強化
小事業	02 日向市観光協会運営補助事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837006	日向市観光協会運営補助金	21,370,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,300,000	21,370,000	0	930,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	21,370,000
主な財源					

目的

本市における観光振興や地域経済の活性化を含め、本市地域の魅力を高めるため、一般社団法人日向市観光協会の活動運営を支援する。

事業活動内容

○日向市観光協会に対する運営支援
　一般社団法人日向市観光協会に対する運営費の補助

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

観光入込客数は対前年比18%減の81万人、コロナ前の令和元年度値と比較すると54%まで落ち込んだ中、協会本来の業務である誘客等にかかる事業は縮小したものの、協会への運営補助を行うことで、組織体制の強化はもとより、コロナ禍収束を見据えた観光情報の発信強化など、観光産業の活性化が図られた。

【課題・改善点】

令和4年3月策定のポストコロナ観光戦略においても、観光事業者だけではなく、さまざまな事業者と連携を図り、積極的に活動する事業者や地域等の取組を支援し、牽引していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	13 その他の観光施設等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600	1501	原材料費	152,060
1001	消耗品費	129,032	1701	庁用器具費（一般的事務用）	289,790
1004	燃料費	12,365	1825002	研修会負担金	0
1007	光熱水費	849,929			
1008	修繕料	987,281			
1103	手数料	152,828			
1106	火災保険料	124,826			
1201	施設維持管理委託料	5,383,100			
1205	システム開発等委託料	36,110			
1206	その他の委託料	319,000			
1301	使用料及び賃借料	552,919			
1402	維持補修工事	10,275,976			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,516,976	19,267,816	0	249,160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,884,000	0	908,000	14,475,816
主な財源	水力発電施設周辺地域交付金、石並駐車場トイレ自動販売機電気使用料、建物総合損害共済災害共済金				

目的

観光施設及び観光地等の利便施設などの清掃、維持管理業務を適正に管理し、美しい観光地としてのイメージづくりを行う。また、地元住民や活動団体に業務委託することにより、地域住民が観光資源の意識を高めるとともに、施設機能の安定化を図り、観光振興を推進する。

事業活動内容

観光施設や利便施設などの清掃、維持管理を適正に行い、美しい観光地としてのイメージづくりを行った。

○修繕料　観光施設修繕
○手数料　浄化槽法廷検査、看板製作
○委託料　トイレ等清掃、浄化槽管理、植栽管理、遊具点検、ごみ収集業務、フェニックス薬剤散布
○工事請負費　観光施設維持補修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料		○工事請負費	
観光施設樹木伐除草等	2,852,000	牧水公園ふるさとの家外壁補修工事	5,126,000
市内観光地ごみ収集等業務	723,000	観光案内板標識整備工事	2,108,168
観光トイレ浄化槽維持管理及び貯水槽清掃業務	645,101	道の駅日向高圧変電設備更新工事	1,507,000
黒田の家臣・桜ヶ丘公園管理業務	194,000	ふるさとの家消防設備災害復旧工事	872,740
米の山清掃管理業務委託	103,000	馬ヶ背東屋解体工事	662,068

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

予算の範囲の中で、優先順位を付し、管理している施設の改修工事、又は設備の更新が実施できた。

【課題・改善点】

観光施設についても、日向市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定しているが、計画に沿った施設の改修及び設備の更新を行う必要がある。また、市民団体の協力を得て、施設の清掃、維持管理に努めている中で、今後も、市民のおもてなし意識の醸成と、観光誘客による地域の活性化を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0011 スポーツタウン推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	05 地域資源を活用したスポーツ交流の拡大
小事業	02 スポーツキャンプ活性化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0	1402	維持補修工事	91,520
0716	記念品料	63,441	1701	庁用器具費（一般的事務用）	180,510
0802	普通旅費	1,300	1857066	スポーツキャンプ等誘致推進協議会補助金	128,510
1001	消耗品費	134,097			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1008	修繕料	13,200			
1103	手数料	102,080			
1104	広告料	55,000			
1108	その他の保険料	0			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	3,045,860			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,978,000	3,815,518	0	2,162,482

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	13,200	3,802,318
主な財源	自動車損害共済金				

目的

本市の豊かな自然や恵まれた気象条件、体育施設など、スポーツキャンプ地としての優位性をアピールし、プロ野球をはじめとしたプロスポーツなどのキャンプ誘致を図ることにより、市内外の観光の誘客及び地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

スポーツタウンとしてのイメージの定着と滞在型観光の推進を図るため、県や市内の関係団体等と連携し、プロ野球球団をはじめとするスポーツキャンプの誘致活動のほか、社会人野球チームの受入等を行った。

また、昨年度に引き続きコロナ禍のキャンプ受入となり、感染対策を講じての実施となった。

○本市でスポーツキャンプを実施した団体数　2団体（社会人硬式野球チーム）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

お倉ヶ浜野球場練習場LED照明取替修繕工事	91,520

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍により、楽天2軍のキャンプは中止となったが、新たに社会人硬式野球チームのキャンプが増え、キャンプの誘致活動の一定の成果が出ていると考える。今後も県をはじめとした関係自治体、市内の関係機関と連携を図り、誘致活動を継続していく必要がある。

【課題・改善点】

お倉ヶ浜総合公園野球場の改修により本市の野球におけるキャンプの優位性は更に高まることから、引き続き野球を中心としたスポーツキャンプ誘致の推進を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0012 サーフタウン交流推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	23 地域を活性化する観光の振興		
事業 中事業	05 地域資源を活用したスポーツ交流の拡大		
事業 小事業	01 サーフタウン日向推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	107,414			
1005	食糧費	2,330			
1104	広告料	407,000			
1206	その他の委託料	5,288,800			
1301	使用料及び賃借料	87,120			
1857018	日本医科歯科大サーフィン大会補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,149,000	5,892,664	0	256,336

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,644,000	0	0	3,200,000	48,664
主な財源	地方創生推進交付金、企業版ふるさと日向市応援寄附金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

全国トップクラスのサーフスポットを有する本市の優位性を生かし、サーフィンを目的とした観光旅行やワーケーションの促進及びサーフィン大会等の支援・実施を行い、関係交流人口の増加による観光振興、地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

サーフィンを活用した関係交流人口のさらなる増加を図るため、優れたサーフィン環境の情報発信をはじめ、各種サーフィン大会等のイベントを支援、実施し、サーフタウン日向推進事業を進めていくこととしていたが、コロナ禍によりイベントは中止をせざるを得なくなり、情報発信中心の事業展開となった。

○本市の魅力あるサーフィン環境等の情報発信（ヒュー日向ホームページ（PR動画3本継続配信、公式インスタグラム）　通年

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

ヒュー日向ホームページ等管理運用業務委託　5,288,800

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】

昨年度に続き、コロナ禍でサーフィン大会等のイベント中止やお倉ヶ浜海水浴場の一時閉鎖など、思うような取組が展開できず、たいへん厳しい状況であったが、ホームページ等を活用した情報発信により、サーフタウン日向をアピールすることができた。

【課題・改善点】

ウィズコロナの浸透により各種事業が徐々に実施されてきていることから、引き続き情報発信をはじめ、各種サーフィン大会の実施、支援等を行い、「サーフタウン日向」を市内外に広くアピールし、関係交流人口の増加による観光振興、地域経済の活性化に努めていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0012 サーフタウン交流推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	23 地域を活性化する観光の振興		
事業 中事業	05 地域資源を活用したスポーツ交流の拡大		
事業 小事業	06 ビーチイベント開催事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857088	ビーチイベント開催事業補助金	87,867			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
88,000	87,867	0	133

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	87,867
主な財源					

目的

本市の魅力ある海岸線を生かしたビーチスポーツの体験会をはじめビーチクリーンを実施し、ビーチの楽しさや海岸環境への理解を深めることにより、交流人口による観光の振興、地域経済の活性化を図る。

事業活動内容

サーフィンをはじめ、ビーチバレーやビーチテニス等の体験イベント「日向ビーチスポーツフェス」を令和3年9月19日に開催するために実行委員会を開催し、準備を行おうとしたが、コロナ禍により中止となった。

○実行委員会の開催　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】

昨年度に続き、コロナ禍でビーチスポーツフェスが開催できず、大変厳しい状況であった。

【課題・改善点】

ウィズコロナの浸透により各種事業が実施されてきていることから、本事業についても感染防止に努めながら継続して実施し、ビーチスポーツによる関係交流人口の増加を図り、観光振興及び地域経済の活性化に努めていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	01 担い手の育成・確保		
事業 小事業	04 経営継承・発展等支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
1001	消耗品費	5,000			
1004	燃料費	5,000			
1101	通信運搬費	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,000	30,000	0	30,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	30,000	0	0	0
主な財源	経営継承・発展等支援事業費補助金				

目的
地域の農業者・農地の状況把握、中心経営体の位置付けによる人・農地プランの実質化や担い手の確保・育成の取組を支援することで、将来にわたって地域の農地利用等を担う中心経営体等の確保を図る。

事業活動内容
人・農地プランの実質化に係る経費
○出会謝金（日向市人・農地プラン作成検討会議の開催なし）
○消耗品費
○燃料費（公用車ガソリン代）
○通信運搬費（郵便料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、対面式の会議が開催できなかった。

【課題・改善点】
プランに位置付けするための統一した基準等がない。ほかの自治体のプランに対する考え方等を参考にして、よりよいプランを作成していきたい。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	01 担い手の育成・確保		
事業 小事業	05 農業人材力強化総合支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	19,000			
1004	燃料費	10,000			
1101	通信運搬費	15,000			
1856138	農業次世代人材投資事業費補助金	6,000,000			
1856193	農業人材投資事業費補助金	4,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,050,000	10,044,000	0	6,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	7,376,000	0	0	2,668,000
主な財源	農業次世代人材投資事業費補助金、農業人材投資事業費補助金				

目的
就農直後の経営の不安定な時期に給付金を交付し、経営面でのリスクを軽減することにより、新規就農者の育成・確保を図る。

事業活動内容
人・農地プランに位置づけられた（見込みでも可）独立・自営で農業経営を開始した新規就農者に対して、給付金の給付（最長5年間）を行った。
○令和3年度交付者数
・農業次世代人材投資事業費補助金（経営開始型）　6人
・農業人材投資事業費補助金　4人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
新規就農者に対する支援が適切に行われた。

【課題・改善点】
移住・定住化の促進活動で新規就農に関する相談が増えてくると考えているが、当事業を活用した支援と合わせ、農業技術の習得に係る支援や農地の斡旋など、今後も、関係機関が連携した支援を行っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	04 農業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,701			
1004	燃料費	22,000			
1301	使用料及び賃借料	52,800			
1806052	東臼杵南部農業改良普及事業協議会負担金	43,000			
1806079	日向地域農業再生協議会負担金	268,000			
1856197	担い手確保・経営強化支援事業費補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,120,701	390,501	685,000	45,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	390,501
主な財源					

目的

農業用ハウスの強靭化や、水田輪作作物の導入実証に対する支援を行うとともに、市町村及び関係機関で組織する協議会における新規就農者の確保・育成、集落営農の推進、労働力確保等の取組を支援することで、地域農業の振興と農業者の経営安定を図る。

事業活動内容

①水稲に高収益作物を組み合わせた輪作体型導入実証に対する支援（水田高度利用産地育成支援事業）
②各種農業団体が実施する事業に対する支援（負担金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

システムのリースや各協議会負担金など適正に行われた。

【課題・改善点】

日向地域農業再生協議会の取組について、引き続き、関係機関との連携により、担い手の確保・育成や労働力の確保等を推進する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	05 農業施設付帯設備設置促進対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856039	農業施設付帯設備設置促進対策事業補助金	1,099,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,500,000	1,099,000	0	401,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,099,000
主な財源					

目的

農業施設付帯設備導入に対する支援を行うことにより、農産物のブランド化推進及び生産性向上を図る。

事業活動内容

農業用ハウス付帯設備の導入経費に対する支援を行った。
・加温機　　2件
・自動開閉装置　1件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

生産力の向上を図るために必要な設備導入に対する適切な支援を行うことができた。

【課題・改善点】

予算確保が厳しい状況の中で事業要望への対応に厳しい面もある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	06 中山間地域等直接支払交付金事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	90,000			
1004	燃料費	13,000			
1101	通信運搬費	15,000			
1869009	中山間地域等直接支払交付金	9,362,477			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,239,000	9,480,477	0	758,523

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	7,081,000	0	0	2,399,477
主な財源	中山間地域等直接支払交付金				

目的

農地、農業用水路、農道の維持管理等の共同活動の推進により、農村地域が有する多面的機能の維持・発揮及び農業生産活動の継続を図る。

事業活動内容

中山間地域の条件不利な農地での農業生産活動の継続と農地が持つ多面的機能を確保するため、集落協定に基づいた共同作業等を行う集落に対して交付金の交付を行った。
〇第5期対策（令和2年度～令和6年度）
〇対象地域
・旧日向市地域　4集落（高森山、上松葉山、馬込奥、本宮）
・旧東郷町地域　3集落（越表3、本村、八重原）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

交付金の交付により、中山間地域の農業生産活動の継続と農地が持つ多面的機能の保全が図られた。

【課題・改善点】

農業者の高齢化・少子化等に伴い、全国的に当事業に取り組む集落数・面積が減少している中、いかに集落協定数を維持し、農業生産活動の継続を図るかが課題である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	07 圏域物流体制整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856038	JA日向圏域物流体制整備事業補助金	931,351			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
932,000	931,351	0	649

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	931,351
主な財源					

目的

農作物の輸送に係る経費の一部を補助することにより、出荷コストを削減し、農業者の経営安定を図る。

事業活動内容

JA日向管内（5市町村）が農産物輸送条件の不利地域であることから、宮崎市並の輸送コストにするため、輸送費（横持ち運賃）の一部助成を行った。
〇負担区分　市町村1/3、JA日向1/3、生産者1/3

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

農作物の輸送に係る経費の一部を補助することで出荷コストを削減し、農業者の経営安定を図ることができた。

【課題・改善点】

燃油価格高騰により輸送費用が上昇している中で、農業者の安定した経営を支援していくための一部助成は必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	06 環境保全型農業の推進		
事業 小事業	01 環境保全型農業直接支援対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890009	環境保全型農業直接支払交付金	842,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,042,000	842,400	0	199,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	632,000	0	0	210,400
主な財源	環境保全型農業直接支払交付金				

目的
有機物を主体とした土づくりなど環境にやさしい農業に取り組む農業者団体を支援することにより、生物多様性の保全等、農業の多面的機能の発揮を促進する。

事業活動内容
減農薬・減化学肥料及び堆肥施用に取り組む農業者団体に対し、支援を行った。
・堆肥施用　3件
・有機農業　5件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
減農薬・減化学肥料及び堆肥施用に取り組む農業者団体の支援により、生物多様性の保全等が図られた。

【課題・改善点】
持続可能な農業の実現のため、循環型農業や有機農業など農業に関する環境問題（水質汚染や土壌汚染など）への解決に向けた取組が求められている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	06 農林水産施設管理運営費		
事業 小事業	01 農産加工施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	675,493			
1008	修繕料	99,990			
1106	火災保険料	86,615			
1207	指定管理者委託料	5,133,333			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,321,000	5,995,431	0	325,569

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	694,000	5,301,431
主な財源	東郷町農産加工施設電力料金収入				

目的
地域資源を活かした加工品の開発や地産地消の推進により、地域の活性化を図る。

事業活動内容
農産加工や加工体験を行う東郷町農産加工施設及び鶴野内農産加工施設について、指定管理者に委託して維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
コロナ禍ではあったが、指定管理者による農産加工や加工体験を行う東郷町農産加工施設及び鶴野内農産加工施設の適正な維持管理が行われた。

【課題・改善点】
コロナ禍で農産加工体験数の減少が見られたが、今後どう回復していくかが課題である。なお、鶴野内農産加工施設については、令和4年度に廃止する。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係		
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	09 農業経営対策事業費
事業 大事業	17 農業の振興				
事業 中事業	01 担い手の育成・確保				
事業 小事業	03 農業経営対策事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,053,718			
0301	職員手当	399,614			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	361,191			
0801	費用弁償	24,000			
1004	燃料費	20,000			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,923,000	2,858,523	0	64,477

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,858,523
主な財源					

目的

経営改善支援センターを中心に、認定農業者の経営改善計画に対する指導・助言を行うことで、認定農業者の育成・確保を図る。

事業活動内容

農業経営改善支援センター専任職員を配置し、認定農業者の認定（新規・更新）を受けようとする担い手への指導・助言を行った。また、認定農業者に対し、営農に関する相談や各種事業及び制度資金の活用等に係る資料の配布を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】

コロナ禍のために戸別巡回等が実施できなかったことから、2～3月にアンケート調査を実施し、現状把握等に努めた。また、11月に認定農業者連絡協議会会員宛に広報誌を配布した。

【課題・改善点】

コロナ禍の影響で、認定農業者の訪問ができていない状況ではあるが、今後は、感染状況を見極め、感染防止対策に努めながら適切な指導や助言を行っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係		
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費
事業 大事業	17 農業の振興				
事業 中事業	04 畜産業の振興				
事業 小事業	01 生産性向上対策事業				

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	35,690			
1856081	種豚導入事業補助金	2,249,998			
1856101	日向市和牛改良推進事業補助金	130,000			
1856144	養牛経営基盤強化対策事業補助金	7,090,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,890,000	9,505,688	0	384,312

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	9,505,688
主な財源					

目的

優良家畜の導入を支援することで、生産基盤の強化とともに、畜産経営の維持安定を図った。

事業活動内容

市子牛品評会や郡子牛共進会への出品に係る支援を行うとともに、購買者ニーズに即した繁殖雌牛、肥育素牛、繁殖雌豚及び種豚の導入・更新に係る経費の一部を支援した。

○市子牛品評会及び郡子牛共進会への出品頭数　65頭
○繁殖雌牛及び肥育素牛の導入頭数　135頭
○繁殖雌豚及び種豚の導入頭数　156頭

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】

子牛品評会等への出品頭数は、コロナ禍による中止や縮小開催の影響により、コロナ前（平成30年度）の47%であった。繁殖雌牛及び肥育素牛の導入頭数は、子牛セリ価格が高値で推移したことから、前年度比11%の減少となった。繁殖雌豚及び種豚の導入頭数についても、前年度比8%の減少となった。

【課題・改善点】

配合飼料や資材価格等の高騰等に伴い、優良家畜の導入・更新の中止や後ろ倒しによる生産基盤の弱体化が懸念されることから、支援の継続により、畜産経営の維持安定を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	04 畜産業の振興
小事業	02 家畜防疫推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,420,880			
1836021	自衛防疫推進協議会補助金	450,000			
1856011	牛異常産四種混合ワクチン予防接種事業補助金	375,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,937,000	3,245,880	0	691,120

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,000	0	2,400,000	844,880
主な財源	家畜防疫手数料事務委託金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

消毒用石灰の配布や、牛異常産四種混合ワクチン等の予防接種を推進することで、家畜伝染病等による経済的損失を防止し、畜産経営の安定を図った。

事業活動内容

日向市自衛防疫推進協議会を実施主体として、牛の予防接種や家畜衛生・防疫に係る補助事業を実施した。また、全ての畜産農場に対し消毒用石灰を配布し、自衛防疫意識の啓発と畜産経営の安定を図った。

○消毒用石灰の配布農場数　259農場（養牛122、養豚5、養鶏132農場）
○牛異常産四種混合ワクチン接種頭数　750頭

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

消毒用石灰を配布することで、畜産農家における自衛防疫意識の啓発が図られた。また、牛異常産四種混合ワクチンの接種は、5歳未満の繁殖雌牛について、97.7%と高い接種率を達成している。

【課題・改善点】

令和3年度、国内において高病原性鳥インフルエンザが17例、豚熱が13例発生しており、家畜伝染病の発生リスクが非常に高い状況にあることから、家畜の飼養衛生管理基準の遵守、自衛防疫意識の啓発に努め、発生防止と畜産経営の安定を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	04 多面的機能支払交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	548,681			
0802	普通旅費	59,580			
1001	消耗品費	130,739			
1004	燃料費	105,000			
1007	光熱水費	120,000			
1101	通信運搬費	36,000			
1856152	多面的機能支払交付金	30,806,748			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,807,000	31,806,748	0	252

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	24,105,000	0	0	7,701,748
主な財源	多面的機能支払推進交付金				

目的

地域共同による農地・農業用水等の資源の基礎的な保全管理活動への支援、施設の長寿命化のための活動や高度な農地・水の保全活動等への支援を行うことで、集落のコミュニティ機能向上のため、地域に根ざした活動組織を核とした、地域主体の保全管理等の取組の強化・拡大を図る。

事業活動内容

多面的活動の取組組織に対して、支援を行った。
○活動内容及び交付金対象面積
農地維持活動　N＝ 9組織　A＝491ha
資源向上（共同活動）N＝ 9組織　A＝488ha
資源向上（長寿命化）N＝ 8組織　A＝329ha

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

高齢化と担い手不足による農村地域において、組織を維持することができた。

【課題・改善点】

高齢化や担い手不足などにより活動組織の維持が懸念されるが、本事業を活用した農村環境の保全が図られている。

今後は、地域主体による農地・農業用施設の保全管理を強化するために、新たな組織の立ち上げと広域化を推進する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	20 農地耕作条件改善事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	2,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,500,000	2,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,625,000	0	500,000	375,000
主な財源	農地耕作条件改善事業補助金、農地耕作条件改善事業分担金				

目的

農地中間管理事業の重点実施地区において、農地中間管理機構と連携しつつ、担い手への農地集積の推進や高収益作物への転換を図るため、ほ場の基盤整備を行う。

事業活動内容

富高本谷地区のほ場の基盤整備を行った。
○富高本谷地区（A＝4.5ha）
事業期間：R3年度～R4年度
R3年度：A＝2.3ha
R4年度：A＝2.2ha
・畦畔除去工
・基盤調整

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
本谷地区ほ場整備工事　2,309,414
本谷地区農地整備工事　190,586

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
農地中間管理機構と連携し、ほ場の区画整理や区画拡大を行うことで、担い手への農地集積の推進等が図られた。

【課題・改善点】
今後もこの事業を活用し、多様な担い手が効率的に農業経営を行えるよう農地の集積・集約化やスマート農業に対応したほ場整備、さらには高収益作物への転換を図る。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	22 中山間地域農業農村総合整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1204	調査・計画策定委託料	2,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,000,000	2,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,000,000	0	0	1,000,000
主な財源	中山間地域農業農村整備事業補助金				

目的

平地に比べて整備が遅れている中山間地域の農地、農業水利施設、農道等の生産基盤整備とともに、生産施設等の振興環境基盤（生活環境基盤）の一体的な整備を行うことにより、中山間地域の農業・農村の活性化を図る。

事業活動内容

中山間地域における生産基盤整備と振興環境整備を一体的に事業実施を行うための基本構想を策定した。
R3年度基本構想設計（県単実施計画事業主体：日向市）
R4年度事業実施設計（国庫農村振興実施計画事業主体：県）
R5年度事業評価、国ヒアリング、事業採択申請、法手続き
R6年度事業採択（事業主体：県）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
中山間地域総合整備事業基本構想
策定業務委託　2,000,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
中山間地域における生産基盤整備と振興環境整備を一体的に事業実施を行うための基本構想を策定した。

【課題・改善点】
県営事業での事業実施に向け、県と協力し、地元調整を図りながら、実施設計及び事業採択に取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	23 農道橋梁長寿命化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1204	調査・計画策定委託料	5,017,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,017,100	5,017,100	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,500,000	0	0	2,517,100
主な財源	農山漁村地域整備交付金				

目的

農道施設の点検・診断結果に基づいた個別施設計画により、将来にわたるインフラ機能の発揮に向けた中長期的な維持管理・更新等に係るライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図る。

事業活動内容

インフラ長寿命化基本計画に基づき、個別施設計画策定に向けた点検、診断を行った。
○個別施設計画対象となる施設
・橋梁（土地改良事業により造成された橋梁（橋長15m以上））
　農道橋　N＝12橋

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
農道橋定期点検診断業務委託　　5,017,100

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

令和4年度の農道橋の個別施設計画策定に向けた点検・診断を行った。

【課題・改善点】

農道橋の長寿命化計画が策定されることで、日向市橋梁長寿命化計画として総合的に優先順位を付け、中長期的な維持管理・更新費用の縮減及び予算の平準化を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	06 ほ場整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	08 県営鵜毛・籾木地区基盤整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	152,395			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	20,000			
0802	普通旅費	7,820			
1001	消耗品費	24,703			
1004	燃料費	102,000			
1301	使用料及び賃借料	115,300			
1501	原材料費	177,782			
1802008	県営事業負担金	7,363,922			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,964,000	7,963,922	0	78

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	300,000	6,400,000	0	1,263,922
主な財源	土地利用調整事業補助金				

目的

本事業の導入により、ほ場の大規模化が実現でき、同時に用排水路や道路の整備により、農作業の効率化や労力の省力化、水管理の縮減化を図るとともに、山間部の農地を守るための組織づくりや農業機械の集約化が可能となる。また農村に活気が生まれ、雇用や後継者（担い手）の育成に寄与する。

事業活動内容

県営整備事業に係る負担金の拠出を行った。
令和3年度事業費　50,000千円
○建設工事費　　排水路工　L＝564m　　法面工　A＝572㎡
○換地費　1式
・全体事業概要
事業名：県営農地整備事業（経営体育成型）　事業期間：平成24年度(2012年度)～令和4年度(2022年度)
総事業費：C＝1,057,000千円　　受益面積：A＝20.9ha

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

日の平地区、籾木地区が完成し、鵜毛地区の大部分においても供用が開始された。

【課題・改善点】

今後も、農業従事者の高齢化や担い手不足を解消するため、早期完成と懸案事項の解決に向けて県と協力し、工事完了後の引き渡しに向けて地元土地改良区との協議を進めていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	05 土地改良施設維持管理適正化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1812018	農業用施設適正化事業負担金	240,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
240,000	240,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	240,000
主な財源					

目的

本事業の導入により、施設管理者の意識の高揚を図るとともに、施設の機能保持と耐用年数の確保を行う。
また、設備の性能を向上することにより、施設管理の効率化と農作業の省力化を図る。

事業活動内容

秋留地区にある揚水ポンプの更新工事（令和2年度実施）に伴う負担金の拠出を行った。
事業期間：平成30年度(2018年度)～令和4年度（2022年度）（※5ヶ年）
秋留地区：C＝4,000千円（令和2年度工事実施）
〇事業拠出金：C＝1,200千円（240千円／年）
〇事務賦課金：C＝120千円（令和2年度）
※事業費補助：C＝3,600千円（国30%、県30%、市30%）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
農業用施設の計画的な更新により、施設の長寿命化が図られている。

【課題・改善点】
老朽化が進み故障等により多額の修繕費を要する施設に対し、計画的に改修を行うことができる事業であるため、今後もこの事業を活用し農業用施設の長寿命化を図る。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	06 県営ため池等整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802008	県営事業負担金	1,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,300,000	1,300,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	1,100,000	0	200,000
主な財源					

目的

本施設が決壊すると下流にある施設や民家に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、取水施設の整備や漏水の防止等の抜本的な対策を行い、農業用水の安定的な確保と災害防止に努め、活力ある農村の基盤作りを図る。

事業活動内容

県営整備事業に係る負担金の拠出を行った。
令和3年度事業費　13,000千円
〇業務委託費　地質調査業務　1式　詳細設計業務　1式

・全体事業概要
事業名：ため池等整備事業（危険ため池）長谷地区　事業期間：令和3年度～令和5年度
総事業費：C＝115,300千円　受益面積：A＝5.30ha　受益戸数：21戸

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
県と協力し、地元調整を行いながら、事業実施に向けた詳細設計等を行った。

【課題・改善点】
今後も県と協力し、地元調整を行いながら、早期完成を目指し、農業用水の安定的な確保と災害防止に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	12 富島幹線用水路整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	0			
1401	建設工事費	80,118,500			
2101	補償金	16,774,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
127,419,000	96,892,500	30,526,500	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	58,125,000	17,400,000	19,389,500	1,978,000
主な財源	地域農業水利施設ストックマネジメント事業補助金、富島幹線整備負担金				

目的

富島幹線用水路は、大規模改修から50年以上が経過していることから、コンクリートの経年劣化など施設の強度低下が進行しているため、機能診断を行なった結果、施設の保全対策が必要となった。富島4期事業による機能保全計画に基づき補修・補強工事を行い、農業用水及び生活用水の安全かつ安定的な水資源の確保を図る。

事業活動内容

富島幹線用水路の改修工事及び工事期間に係る水補償を行った。
○富島幹線用水路長寿命化計画に基づく改修工事
富島4期・5期地区　全体計画延長　L＝583.6m

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
富島幹線用水路5期地区　水路補強工事（その1）　53,900,000
富島幹線用水路5期地区　水路補強工事（その2）　24,178,000
富島幹線用水路5期地区　隧道内土砂撤去工事　2,040,500

○補償金
富島幹線用水路整備事業に伴う受水費用補償金　16,774,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

対策工事を行うことで、施設の長寿命化はもとより漏水箇所の減少が図られた。
また、宮崎県企業局から、工業用水を購入する2ヶ月の限られた期間内に、予定していた工事を完成することができた。

【課題・改善点】
本年度施工箇所付近において、隧道内に新たな劣化・損傷が確認されたことから、早急に水路の機能診断及び実施設計を行い、損傷個所の補強工事を繰越により行うこととし、早期完成を目指す。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	12 林業成長産業化地域創出モデル事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	54,200			
1203	事業委託料	550,000			
1856169	林業成長産業化地域創出モデル補助金	2,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,808,440	2,804,200	0	4,240

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,700,000	0	0	104,200
主な財源	次世代林業基盤づくり事業補助金				

目的

国のモデル事業を活用し、素材生産量の増加に対応した再造林対策や担い手対策を進めることにより、資源循環型林業システムの構築を図る。

事業活動内容

林業成長産業化地域構想に基づき、①再造林の推進、②担い手の確保、③森林資源の利活用、④普及啓発の推進に係る各種事業を実施した。

○資源循環型林業推進協議会の開催回数　15回
○再造林面積（平成29年度（2017年度）～令和3年度（2021年度））　365.8ha

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
未来の担い手リクルート事業委託　330,000
低コスト造林実証事業委託　220,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　終了

再造林面積については、ほぼ計画どおりに進めることができた。再造林に係る担い手対策については、林業の魅力を発信するワークショップや高校生を対象とした教育プログラム等を実施し、林業への理解を図ることができた。

【課題・改善点】
令和3年度で林業成長産業化地域創出モデル事業は終了したが、素材生産量の増加に対応するため、再造林の推進及び担い手の育成・確保は不可欠である。今後は、森林環境譲与税を活用し、資源循環型林業の確立を目指していく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興		
事業 中事業	02 林業経営の改善		
事業 小事業	01 林業振興費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0	1856098	椎茸種駒購入事業補助金	1,109,531
0802	普通旅費	10,400			
1001	消耗品費	58,156			
1004	燃料費	76,000			
1101	通信運搬費	30,000			
1805042	宮崎県緑化推進機構負担金	24,000			
1805054	宮崎県木材需要拡大推進会議負担金	12,000			
1806029	宮崎県林業研究グループ連絡協議会負担金	54,000			
1806050	耳川流域森林・林業活性化センター負担金	135,000			
1812032	生産森林組合活動支援事業負担金	72,000			
1856062	林業担い手対策基金事業補助金	4,146,000			
1856094	日向市林業研究グループ活動補助金	100,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,386,000	5,827,087	0	558,913

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,123,000	0	2,000,000	1,704,087
主な財源	林業担い手対策基金事業補助金、林業研究グループ等育成事業補助金、企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

林業関係団体や林業担い手の育成・確保及び特用林産物の生産振興に努めることにより、林業の振興を図る。

事業活動内容

担い手対策や椎茸生産の支援などを通じて、担い手の育成・確保、就労環境の整備及び椎茸の生産振興を図った。

○森林組合の林業作業班員数　32人
○乾椎茸の生産量　7,829kg

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

県外での移住相談会がリモートになるなど担い手確保に向けた取組は十分とは言えなかったが、別のモデル事業において、高校生向けの教育プログラムなどの実施により、担い手育成を図った。また、乾椎茸の生産量については、不作により目標に届かなかった。

【課題・改善点】

就労環境の整備や林家への支援を通じ、関係団体と連携を図りながら、新たな担い手の確保や林業事業体の各種事業の円滑な実施に努めていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興		
事業 中事業	02 林業経営の改善		
事業 小事業	02 有害鳥獣対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,221			
1108	その他の保険料	519,620			
1856099	有害鳥獣対策推進事業補助金	413,000			
1856125	日向市有害鳥獣捕獲促進事業補助金	4,824,000			
1856165	狩猟免許取得促進事業補助金	61,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,869,000	5,821,841	0	47,159

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	564,000	0	0	5,257,841
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、市町村有害鳥獣捕獲促進事業補助金				

目的

有害鳥獣による農林産物の被害が深刻化しているため、地域ぐるみの被害防止活動を推進し、侵入防護柵の設置や鳥獣を呼び寄せない取組（研修会や地域点検等）を積極的に行うとともに、猟友会と連携し、効率的な捕獲を行うことにより、農林水産業等に係る被害の軽減を図る。

事業活動内容

日向市鳥獣被害防止計画に基づき、日向市有害鳥獣対策協議会と連携し、被害防止施策について総合的かつ効果的に実施した。

○有害鳥獣による農林作物等の被害面積　49.27ha
○有害鳥獣の捕獲数　3,974頭・羽

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

シカによる森林被害が多かったため、被害面積の軽減には至らなかったが、有害鳥獣の捕獲数は、目標値を上回った。

【課題・改善点】

猟友会や関係機関等と連携し、有害鳥獣の捕獲を進めるとともに、狩猟者の確保や防護柵の設置及び地域に野生鳥獣を呼び寄せない地域一帯となった取組など、総合的な対策を推進する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	04 森林の適正な管理の推進
小事業	05 森林づくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	517,408			
1203	事業委託料	1,133,000			
1856082	国土保全造林事業補助金	1,425,186			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,526,000	3,075,594	0	450,406

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,133,000	0	1,400,000	542,594
主な財源	森林病害虫防除事業委託金、企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的

森林の有する公益的機能を維持・増進するため、森林の適切な管理や再造林の推進を図る。

事業活動内容

○市有林のSGEC認証の維持審査に要する経費
○お倉ヶ浜の松林（15ha）に対する薬剤散布業務（県委託10／10）
○再造林経費に対する国県補助金への上乗せ補助
（路地苗100千円／ha以内、コンテナ苗120千円／ha以内）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
お倉ヶ浜松くい虫防除業務委託料　1,133,000
○補助金
国土保全造林事業補助金　1,425,186
（補助対象面積：19.84ha）

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

防除業務については、県と連携しながら計画どおりに実施した。
また、国土保全造林事業については、森林所有者の負担を軽減することにより再造林の推進につながった。

【課題・改善点】

再造林に当たって、林業の担い手不足や所有者負担が課題となっているため、関係機関と連携し、森林環境譲与税を活用した新たな施策に取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	04 林道整備県営事業負担金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802008	県営事業負担金	2,715,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,715,000	2,715,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	2,700,000	0	15,000
主な財源	0				

目的

県営林道事業を推進することにより、林道網の拡充を促進し林業経営の安定を図る。

事業活動内容

○県に対する負担金
県営事業林道長迫・小原線舗装事業負担金
負担率＝総事業費の10%（うち日向市54.3%、美郷町45.7%）
○補償金
県営開設事業に対する立木補償金は、協議により県が権利者と直接契約することに変更し、事務の簡素化を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

路線の全体延長L＝9,219.9m（令和2年度末）に対する舗装を完了することができた。併せて木材加工団地の取付け道419mを林道に編入し、引き続き県営事業での改良事業実施の調整を行った。

【課題・改善点】

林道長迫・小原線の編入箇所の舗装改良は、森林施業事業者等の安全性や林産材の品質向上等を確保する重要な事業であり、早期に事業を完了させる必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興		
事業 中事業	01 生産基盤の整備		
事業 小事業	05 横瀬・広瀬線（交付金）林道改良事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	34,000			
1001	消耗品費	65,000			
1004	燃料費	116,531			
1401	建設工事費	18,008,469			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,260,000	18,224,000	0	36,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,980,000	7,200,000	0	44,000
主な財源	地域再生林道事業交付金				

目的

広範囲の利用区域を有する当林道を開設することで、森林施業の円滑化を図るとともに、集落間連絡の確保や林業・環境基盤の整備を図る。

事業活動内容

地域再生計画に位置づけられた林道整備事業の内、横瀬・広瀬線の開設工事を行った。

○横瀬・広瀬線林道開設　L＝82m、W＝4.0m
［地域再生計画概要（横瀬・広瀬線）］
開設延長：L＝330m　総事業費：C＝70,000千円　事業期間：令和3年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
横瀬・広瀬線開設工事　18,008,469

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
全線開通までの残延長330mのうち、25%にあたる82mを開設し、事業計画どおりの進捗を図ることができた。
【課題・改善点】
本林道の整備は、森林施業の効率化・省力化等の削減を図るために重要であり、また、全線開通後は周辺集落アクセスの迂回ルートとしての機能も果たすことから、早期に全線開通することが望まれている。路線全体の約95%が開設済みとなっているが、林道規程の改正等に伴い事業費が増大することが考えられるため、全線開通に向けて事業計画の見直しを行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興		
事業 中事業	01 生産基盤の整備		
事業 小事業	08 林道等改良事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	2,504,451			
1856033	県単林道等改良事業補助金	1,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,704,451	3,704,451	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,350,000	0	0	2,354,451
主な財源	林道等改良事業補助金				

目的

林道等の舗装や林道横断暗渠の改修工事を行うことにより、路面の洗堀や大規模な災害を防止でき、通行の安全の確保、森林施業の円滑化や経費の縮減を図る。

事業活動内容

既存林道の改良工事や作業道舗装の補助金の交付により森林路網の強化を図った。

○林道山ノ口・五郎太線の暗渠改修　重圧管：L＝17.0m　φ800
○作業道（路）生コン舗装補助　2路線（新九郎谷川線、射場ノ原線）　L＝220m、W＝3.0m

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
山ノ口・五郎太線暗渠改修工事　2,504,451

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
事業を実施した路線については、森林施業の効率化・省力化等コスト削減や森林施業の安全性の向上が図られた。
【課題・改善点】
森林環境譲与税による補助制度との棲み分けや組み合わせを行いながら、今後も効果的、計画的な整備を行っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	09 熊山線（交付金）林道改良事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	45,000			
1004	燃料費	54,568			
1202	工事施工を伴う委託料	489,500			
1401	建設工事費	7,510,932			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,100,000	8,100,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,720,000	3,300,000	0	80,000
主な財源	地域再生林道事業交付金				

目的

路網ネットワークの中核を担う市最長の林道「熊山線」について、森林施業の効率化、集落間アクセスの改善、維持補修コストの縮減等を図る。

事業活動内容

地域再生計画に位置づけられた林道整備の内、熊山線の舗装を行った。

○熊山線舗装整備　L＝305m、W＝4.0m

［地域再生計画概要（熊山線］
舗装延長：L＝2,600m　総事業費　C＝60,000千円　事業期間　令和3年度～令和7年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
熊山線測量業務委託　489,500

○建設工事費
熊山線舗装工事　7,510,932

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

設計の直営化により委託費の削減を図り、計画延長300mを超える舗装工事を行い、計画どおりの事業進捗を図ることができた。

【課題・改善点】

熊山にはテレビや防災等の通信中継施設が集約化されており、本林道が施設管理のアクセス道となっている。このため、アクセス道の安全性の向上と円滑な通行のための対応が求められており、事業のスピードアップが課題となっている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	13 林道施設長寿命化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	253,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
300,000	253,000	0	47,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	253,000
主な財源	0				

目的

林道橋の長寿命化のために定期点検や補修等を行い、その結果を踏まえながら長寿命化計画の更新を重ねることにより、トータルコストの抑制と事業費の平準化を図る。

事業活動内容

林道の橋梁長寿命化修繕計画に基づき補修（塗装）を予定している橋梁において、実施に先立ち橋梁の塗料に含有するPCB等の濃度を把握し適正な処理を行うため、塗膜調査を行った。

○調査橋梁：下渡川・日の平線　無名橋　1橋

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
下渡川・日の平線
橋梁塗膜調査業務委託　253,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

調査により塗膜にPCB含有は確認されなかったが、塗膜剥離の際に飛散防止対策が必要な重金属の含有が確認できた。

【課題・改善点】

重金属含有により、本橋梁の補修には単年度で多額の事業費が必要となるため、国の補助事業が活用できるよう、現存の地域再生計画を変更し路線の追加を行った。今後は同計画内の他の路線整備との事業調整が必要となる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0003 地籍調査係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	01 計画的な土地利用の推進
小事業	01 地籍調査事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1203	事業委託料	35,487,162
0301	職員手当	316,066	1301	使用料及び賃借料	1,073,880
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	269,305	1812052	宮崎県国土調査推進協議会負担金	67,000
0801	費用弁償	24,000	1825002	研修会負担金	31,900
0802	普通旅費	9,100	2601	国に対する公課費	9,700
1001	消耗品費	103,215			
1003	消耗品費被服	8,030			
1004	燃料費	100,000			
1008	修繕料	70,763			
1101	通信運搬費	288,000			
1103	手数料	16,500			
1107	自動車損害保険料	19,730			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,733,560	39,381,727	0	351,833

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	28,428,000	0	63,000	10,890,727
主な財源	地籍調査事業費補助金、その他証明手数料				

目的

土地の最も基礎的な情報である地籍を明らかにし、その結果を記録することにより、公共事業の円滑化、迅速な災害復旧、境界紛争の予防などに役立てる。

事業活動内容

国土調査法に基づく地籍調査

美々津Ⅹ-2	FⅡ-2・G・H工程	0.35k㎡
美々津Ⅺ	FⅡ-2・G・H工程	0.28k㎡
美々津Ⅺ-2	E・FⅠ・FⅡ-1工程	0.36k㎡
迫野内Ⅷ	E・FⅠ・FⅡ-1工程	0.15k㎡
迫野内Ⅸ	FⅡ-2・G・H工程	2.22k㎡
迫野内Ⅹ	C・E・FⅠ・FⅡ-1工程	1.17k㎡

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

美々津Ⅹ-2外1測量委託業務	2,046,000
美々津Ⅺ-2一筆地調査委託業務	5,940,000
美々津Ⅺ-2測量委託業務	6,160,000
迫野内Ⅷ地区測量委託業務	4,331,000
迫野内Ⅷ地区一筆地調査委託業務	3,368,000
迫野内Ⅸ地区測量委託業務	2,464,000
迫野内Ⅹ地区測量委託業務	3,335,000
迫野内Ⅹ地区一筆地調査委託業務	7,356,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

美々津地区の字前ノ原など0.99k㎡と、迫野内地区の字河原など3.54k㎡の調査を年間計画どおり実施することができた。

【課題・改善点】

従来の調査方法に加え、山間部の調査については、航空レーザを活用したリモートセンシング測量の導入に向け、調査研究し、進捗率の向上を図る。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進
小事業	01 漁業近代化施設整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856122	増養殖管理化推進施設整備事業補助金	180,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200,000	180,000	0	20,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	180,000
主な財源					

目的

日向市漁協が実施する餌蓄養施設設置及び簡易漁礁設置等に対して助成することにより、燃料費削減、主力魚の漁獲量増加、漁業経営の安定化を図る。

事業活動内容

○餌蓄養施設設置事業補助金

日向市漁協の基幹漁業であるマグロ、シイラなど延縄漁業について、活餌である、イワシ、アジ、サバの餌蓄養施設の補修に対して補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

マグロ延縄漁は、餌蓄養施設の活用により、安定した漁獲に繋がった。マグロも高値で取引されたことから、日向市漁協の総水揚額は過去最高となった。

【課題・改善点】

資材などの負担増もあり、主力魚の漁獲量増加と水産資源の持続的利用を推進することが、漁家及び漁協の経営安定化において重要である。関係機関と連携して増養殖施設の整備を継続的に行うことで、持続可能な漁業を推進する。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		
事業 大事業	19 水産業の振興		
事業 中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進		
事業 小事業	02 魚貝類放流事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200			
1856026	魚貝類放流事業補助金	250,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
256,000	255,200	0	800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	255,200
主な財源					

目的

県資源管理実践漁業者協議会において決定される放流計画に基づき、稚魚の放流を行うことで、計画的に水産資源の保護増殖を図り、持続的な漁業活動を推進する。

事業活動内容

○魚貝類放流事業補助金
日向市漁協が実施するヒラメ等の稚魚放流事業に係る種苗費に対する補助を行った。令和3年度は、県資源管理実践漁業者協議会の決定により、資源動向からヒラメ 33,000尾の放流を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
ヒラメ・カサゴの水揚量は、前年度4.1tに対し、3.9tと減少したが、平年並みの漁獲量を保っており、成果は上がっている。
【課題・改善点】
沿岸水産資源が年々減少しているが、県資源管理実践漁業者協議会において決定される放流計画に基づく放流事業は、資源量増加の成果を上げており、県内漁協及び沿海市町と連携をとって進める必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		
事業 大事業	19 水産業の振興		
事業 中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進		
事業 小事業	03 保護水面管理事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	137,970			
1203	事業委託料	496,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
638,000	634,770	0	3,230

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	115,000	0	0	519,770
主な財源	保護水面管理委託金				

目的

絶滅危惧種に指定され、本市においても漁獲量が激減しているハマグリについて、密漁を防止し、生息状況を把握分析することにより、保護増殖及び水産資源保護を図る。

事業活動内容

○保護水面管理事業
保護水面における密漁及び不法投棄の監視（延べ監視人数：210人、6月下旬～2月末）

○ハマグリ生息状況調査事業
坪刈りによる稚貝生育状況等の調査　2回
潜水による成貝の生育状況調査　1回
貝桁網による成貝の生育状況調査　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
チョウセンハマグリ生育調査業務委託　76,000
チョウセンハマグリ潜水調査業務委託　298,800
チョウセンハマグリ貝桁網調査業務委託　122,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
生息状況調査結果より資源量は依然として低位と判断されるが、平成29年度以降は微増傾向にある。県水産試験場の協力により、底質調査も同時に実施し、底質の状況を確認することができた。

【課題・改善点】
ハマグリの漁獲量は、平成8年度の39tをピークに激減し、近年は1tにも満たない状況にある。今後も、関係機関と協議しながら、資源の保護増殖のため継続的な生息状況調査等が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	02 漁業の経営基盤強化
小事業	01 漁業振興育成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	15,000	1856020	漁業近代化資金利子補給補助金	128,060
0716	記念品料	95,000	1856155	種子島周辺漁業対策事業補助金	7,600,000
0802	普通旅費	10,200	1865035	日向市漁業協同組合信用事業譲渡資金利子助成金	789,379
1001	消耗品費	19,846			
1103	手数料	57,200			
1301	使用料及び賃借料	6,250			
1812024	宮崎県水産振興協会負担金	338,800			
1812048	宮崎県漁港漁場協会負担金	208,000			
1812049	宮崎のさかなビジネス拡大協議会負担金	100,000			
1856014	水産物ブランド販売促進事業補助金	382,000			
1856017	漁船保険育成事業補助金	9,774,289			
1856018	漁獲共済育成事業補助金	1,609,406			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,395,000	21,133,430	0	261,570

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	7,600,000	0	0	13,533,430
主な財源	種子島周辺漁業対策事業補助金				

目的

イワガキ等の特産品化により収益性向上を図るとともに、漁船保険料及び漁獲共済掛金の助成、漁業近代化資金及び日向市漁業協同組合信用事業譲渡資金に対する利子助成による金利負担軽減により、漁業経営の安定化を図る。

事業活動内容

細島いわがき等のブランド確立及び漁業者の経営安定を図るための支援を行った。
①負担金補助（宮崎県水産振興協会、宮崎県漁港漁場協会、宮崎のさかなビジネス拡大協議会）
②水産物ブランド販売促進事業（細島いわがきの生産資材及び食品検査費用の一部助成）
③漁船保険育成事業（保険料の一部助成）
④漁獲共済育成事業（共済掛金の一部助成）
⑤漁業近代化資金利子補給事業（近代化資金借入に対する利子の一部助成）
⑥漁業協同組合信用事業譲渡資金利子助成事業（信用事業譲渡資金借入に対する利子の一部助成）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

イワガキについては、食品検査（6回）等の支援を行い、安定した品質を保つことができた。コロナ禍で出荷が減少したものの、直売所やネット販売により、回復傾向となっている。また、各種支援により、漁業経営の安定化が図られた。

【課題・改善点】

漁家経営が厳しい状況において、制度資金及び国庫事業の有効活用を図り、経営安定化及び生産性向上を支援していく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	03 内水面漁業の振興
小事業	01 魚貝類放流事業（内水面）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856026	魚貝類放流事業補助金	2,189,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,189,000	2,189,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,189,000
主な財源					

目的

内水面漁業の河川環境の保全維持、水産資源の保護増殖により内水面漁業の安定、活性化を図る。

事業活動内容

耳川水系管理委員会、市内4内水面漁協（美幸内水面漁協、余瀬・飯谷漁協、耳川漁協、富島河川漁協）及び上小丸川漁協が行う魚貝類放流事業に対する補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

漁獲量の前年度との比較では、シジミは減少したものの、アユ・ウナギ・モクズガニは増加しており、事業の成果は上がっている。

【課題・改善点】

内水面における水産資源は減少傾向にあると考えられることから、今後も、資源量水準が低位、または減少傾向にある魚種について、内水面漁協及び県内漁連と連携した取組を継続的かつ計画的に行う。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	03 内水面漁業の振興
小事業	02 増養殖場整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856029	内水面漁場整備事業補助金	319,148			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
378,000	319,148	0	58,852

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	319,148
主な財源					

目的
河川環境保全及び水産資源の保護増殖により内水面漁業の安定、活性化を図る。

事業活動内容
市内3内水面漁協（美幸内水面漁協、余瀬・飯谷漁協、富島河川漁協）が行う漁場整備事業（アユの産卵場整備、河川の清掃活動、河川敷の草刈り等）に対する補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
漁場整備等により、アユの漁獲量は、前年度と比べ1.6倍ほどに増加しており、事業の成果は上がっている。

【課題・改善点】
内水面における水産資源は減少傾向にあると考えられることから、保護増殖及び河川環境保全について、今後も関連団体と協力して取り組むことが重要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0005 森林経営係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	04 森林の適正な管理の推進
小事業	10 森林整備推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	1,382,700			
1856186	森林整備作業道改良事業補助金	3,379,303			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,763,000	4,762,003	0	997

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,762,000	3
主な財源	森林環境譲与税基金繰入金				

目的
森林環境譲与税を活用し、森林の適切な経営管理を推進するため、除間伐等の森林整備に必要な林道改良工事や森林作業道改良の支援を行う。また、森林資源の循環利用に対する意識醸成を図るため、公共建築物等における木材利用の促進を図る。

事業活動内容
○建設工事
・除間伐等の森林整備に利用する既存の林道改良工事（1件）
・木造建築物の改修（1件）
○森林整備作業道改良事業補助金
除間伐等の森林整備に利用する既存の森林作業道の改良及び補修に対する補助（4件）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○工事請負費
林道出口線　改良工事　883,300
上大谷森林公園あずま屋改修工事　499,400

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
除間伐等に利用する林道改良工事や作業道補修等を支援したことで、森林整備の推進につながっている。

【課題・改善点】
令和3年度からの新規事業であり、作業道改良事業補助金については、関係機関への周知を行うとともに、関係機関と連携し、適切な森林整備に資する事業のニーズを把握することにより、拡充に努める必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0005 森林経営係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興
事業 中事業	04 森林の適正な管理の推進
事業 小事業	08 森林経営管理制度事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,418,031			
0301	職員手当	313,698			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	275,476			
0801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	46,000			
1004	燃料費	10,000			
1101	通信運搬費	40,000			
1106	火災保険料	5,160			
1203	事業委託料	224,400			
1301	使用料及び賃借料	23,628,000			
2403	その他特定目的基金積立金	54,718,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
80,706,000	80,702,765	0	3,235

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	25,986,000	54,716,765
主な財源	森林環境譲与税基金利子、森林環境譲与税基金繰入金				

目的

森林の適切な経営管理を推進するため、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づく各種取組を推進する。

事業活動内容

①森林経営管理システムを活用した森林所有者への意向調査の実施
②意向調査の結果に基づき、市に経営管理を委ねたい所有者の意思等の再確認
③上記に基づき、経営管理権集積計画の策定
④集積計画に基づく森林整備（間伐等）の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
森林整備事業業務委託料（間伐）　224,400

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

令和元年度に実施した森林所有者への意向調査の結果に基づき、再度、所有者の意思確認を行い、1件の「経営管理権集積計画」を策定するとともに、森林整備（間伐　0.72ha）に取り組むことにより、適切な森林経営管理の推進につながった。

【課題・改善点】

令和4年度から「地域林政アドバイザー」を任用し、更に制度の推進を図ることとしている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課 0001 ふるさと応援係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業 大事業	42 未来につなげる財政運営
事業 中事業	02 自主財源の確保
事業 小事業	02 ふるさと日向市応援寄附金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	430,556	1301	使用料及び賃借料	1,320,000
0301	職員手当	0	2403	その他特定目的基金積立金	356,548,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	66,571			
0719	返礼品代	186,499,377			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	88,870			
1006	印刷製本費	1,529,809			
1101	通信運搬費	8,492,972			
1103	手数料	109,787,592			
1104	広告料	1,815,000			
1205	システム開発等委託料	206,800			
1206	その他の委託料	10,398,210			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
677,592,000	677,183,757	0	408,243

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	677,183,757
主な財源					

目的

ふるさと納税制度を活用して寄附を受け入れることで、自主財源を確保し本市の事業推進を図る。また、ふるさと納税の返礼品として本市の農産物や地場産品などを全国に発信し、消費拡大につなげる。

事業活動内容

ふるさと納税の返礼品事業者や返礼品を積極的に採用し、ポータルサイトへの掲載やダイレクトメールの配信を行うなど情報発信に努めた。また、ふるさと日向市応援寄附金返礼品事業者連絡会において勉強会を行い、事業者による返礼品の開発やブラッシュアップを図った。
○返礼品事業者数および返礼品数　98者　435品目（令和4年3月31日現在）
○ふるさと日向市応援寄附金返礼品事業者連絡会の開催　3回開催
○事業者紹介パンフレットの配布　20,000部　○寄附金の使い道のご報告作成　31,000部
○ワンストップ特例申請データ作成件数　10,084件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
ワンストップ特例申請データ作成業務委託　4,941,596
ふるさと納税寄附証明書およびワンストップ特例申請書の印刷封緘業務委託　3,872,614
楽天ふるさと納税サイト保守業務委託　792,000
ふるさと納税返礼品写真撮影および写真加工業務委託　792,000
システム保守業務委託　110,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

返礼品事業者数および返礼品数ともに増加したことで、より多くの寄附者のニーズに応えることが可能となったほか、本市のふるさと納税サイトの閲覧などを通して情報発信を行う機会を増やすことにつながり、寄附受入金額が過去最高となった。

【課題・改善点】

ふるさと納税制度に関する総務省規定を遵守しつつ、返礼品事業者の販路拡大による地域産業の活性化を図り、本市の魅力や情報の積極的な発信に取り組むことで、自主財源の確保につなげていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課 0002 物産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興
小事業	03 日向地域のブランド確立推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	17,300			
1001	消耗品費	0			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	62,139			
1301	使用料及び賃借料	800			
1501	原材料費	0			
1856166	日向市ブランド品目植栽事業補助金	183,470			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,693,000	263,709	0	1,429,291

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	200,000	63,709
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

日向地域のブランド確立推進を行うことで、ブランド品目の普及拡大と新規栽培者の確保、耕作放棄地の解消を図る。また、補助事業等を活用し、6次産業化に取り組む生産者を支援することでブランド確立を図る。

事業活動内容

ブランド品目の普及拡大のため、対象品目の苗木等の購入に係る一部助成や薬草の加工処理手数料を負担した。
○日向市ブランド品目植栽事業補助金
　へべす苗木新植補助（413本）、オリーブ苗木新植補助（52本）
○加工処理手数料
　カモミール加工処理（10.5kg）、ホーリーバジル加工処理（13.57kg）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

カモミールジンの商品化により、東郷町の薬草が注目され、販路拡大や関係人口の増加に繋がった。

【課題・改善点】
薬草のブランド品目確立に向けては、生産体制の確立と安定した生産量の確保が課題である。
また、へべす・細島いわがきに続く、新たなブランド品目の確立も課題となっている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課 0002 物産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興
小事業	05 へべす振興対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856004	へべす振興対策事業補助金	4,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,500,000	4,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,500,000	0
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

本市の特産品であるへべすの消費拡大に向け、県内外への販促活動やへべす発祥の地としてのPR活動を強化し、へべすの取扱量と売上高の増加を目指す。また、高付加価値をつけること等により農業経営の安定化を図る。

事業活動内容

「日向のへべす消費拡大プロジェクト会議」が実施する、日向市特産のへべすの消費拡大活動を支援した。
○プロジェクト会議の開催
○県内外への販促活動
○効果的なPR活動
○宮崎産業経営大学との連携
○販促資材の作成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

日本記念日協会から、9月6日を「へべすの日」として認定を受けたことや、首都圏の企業との協業により、へべすを使ったメニューを6,000食ほど販売した事などを通じて、へべすの認知度向上を図った。また、料理動画を作成・配信し、消費拡大に繋げた。

【課題・改善点】
へべすの生産が県内全域に拡大されたことにより、日向発祥のへべすの差別化及び日向へべすの価値向上を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0002 都市企画係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	01 計画的な土地利用の推進
小事業	05 日向市立地適正化計画策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	12,500			
0802	普通旅費	0			
1006	印刷製本費	499,510			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
595,000	512,010	0	82,990

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	512,010
主な財源					

目的

「日向市立地適正化計画」の円滑な運用を図ることにより、人口減少・高齢化が進展するなかにあって、市民生活の利便性と安全性を確保した持続可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の都市形成を図る。

事業活動内容

令和3年3月に「日向市立地適正化計画」を策定後、同年6月1日の計画公表までに、住民説明会の開催をはじめ、「届出制度の手引き」を策定し、関係団体への説明、配布のほか、市の広報紙やホームページ、ケーブルテレビ、ユーチューブなどを活用した事前の周知活動を行うことにより、公表後の円滑な制度運用を図った。
○住民説明会　6回
○関係団体説明会　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○印刷製本費
立地適正化計画等印刷・製本　499,510

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　終了
計画公表前からの周知活動により、公表後の円滑な届出制度の運用が図られた。

【課題・改善点】
人口減少・高齢化が進展するなか、「コンパクト・プラス・ネットワーク」型都市構造の実現に向けて、住居や都市施設の適正な誘導を図っていくため、計画内容の周知に努めながら、関係機関等との連携により各種事業の推進を図っていくとともに、社会経済情勢等の変化を踏まえて定期的に計画の見直しを行っていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0003 技術調整係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	35 美しい景観の保全と形成
中事業	01 景観まちづくりの推進
小事業	03 景観まちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1858013	日向市景観形成活動支援補助金	241,000
0701	講師謝金	0			
0702	出会謝金	50,000			
0716	記念品料	57,100			
0801	費用弁償	1,256			
0802	普通旅費	82,620			
1001	消耗品費	28,714			
1005	食糧費	650			
1006	印刷製本費	44,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	0			
1858008	日向市景観まちづくり推進事業補助金	136,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,093,000	641,340	0	1,451,660

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	120,000	0	500,000	21,340
主な財源	美しい宮崎づくり推進事業（景観形成活動支援）補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

市民一人ひとりの景観への意識向上に向けた取組の推進により、市民協働による良好な景観を守り育てる体制の整備・充実を図り、もって、市全域の魅力向上と、地域に対する愛着の醸成に資することを目的とする。

事業活動内容

景観セミナーや景観表彰等の啓発活動、建築計画に対する景観アドバイザー制度の活用、また、景観計画区域においては、各景観計画に基づく規制や誘導を行い、景観まちづくり団体と連携を図りながら景観まちづくりを推進した。
○景観セミナー　1回
○景観賞選考及び表彰　1部門
○景観アドバイザー協議　1回
○景観計画策定地区　4地区

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○日向市景観まちづくり推進事業補助金
細島小学校新校舎景観づくり事業　136,000

○日向市景観形成活動支援補助金
平岩遊歩道整備事業　144,000
庄手区つつじ山整備事業　97,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
コロナ禍の影響で、一部イベントを中止としたが、景観賞や景観セミナーに取り組むことができ、活動団体の新規掘り起こしなどを行うことができた。

【課題・改善点】
今後も、地域固有の財産である景観を活かし、市民との協働による住民主体の景観づくりを推進するため、景観に関する情報発信や活動支援補助金の周知・活用等を図りながら、継続して取り組んでいく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	15 急傾斜地崩壊対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	28,221,647			
1802006	急傾斜地崩壊防止県営事業負担金	3,628,000			
2101	補償金	99,604			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,850,000	31,949,251	16,900,396	353

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,750,000	21,700,000	0	499,251
主な財源	急傾斜地崩壊対策事業補助金				

目的

急傾斜地の崩壊を防止することにより、急傾斜地崩壊危険区域内に居住する住民の生命・財産を保護する。

事業活動内容

県と連携を図りながら、住民説明会の開催や新規事業要望箇所の検討を進めた。また、市施工の新財市地区において、急傾斜地崩壊対策工事を行った。

○新財市地区　法面保護工　L＝50m、A＝555㎡
○事業の協力体制の推進（説明会等の開催）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
令和2年度　新財市地区急傾斜地崩壊対策工事　17,221,647
新財市地区急傾斜地崩壊対策工事　11,000,000

○負担金
急傾斜地崩壊防止県営事業負担金　3,628,000
（本谷地区、岩崎地区、中村地区）

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

新財市地区において、県と連携を図りながら、計画的に整備を推進した。また、岩崎地区、本谷地区において、県による測量設計調査が行われた。

【課題・改善点】

異常気象や土砂災害警戒区域指定の進捗に伴い、市民の防災意識が高まり、土砂災害防止対策に対するニーズは高い。今後、地区からの要望が増加することが予想されることから、緊急度、危険度を総合的に判断したうえで、県と連携を図りながら、計画的な事業進捗を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	01 南日向・日の平線改良事業（辺地）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	34,000			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	82,000			
1101	通信運搬費	50,000			
1401	建設工事費	23,808,741			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,000,000	23,974,741	0	25,259

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	23,900,000	0	74,741
主な財源					

目的

鵜毛地区と南日向駅や国道10号を結ぶ市道南日向・日の平線の拡幅整備を行うことにより、地域間の交流強化と道路交通の安全性の確保を図る。

事業活動内容

地元の推進組織と整備にかかる協議を随時行い、住民に対しては、「道づくりだより」を発行し情報提供を行った。整備については、見通しの悪い箇所の視距を確保するための拡幅整備を実施し、安全性・利便性の向上を図った。

○道路拡幅整備　L＝63m
○事業の協力体制の推進（推進委員会の開催）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
南日向日の平線道路改良工事　23,808,741

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

見通しの悪い箇所の視距を確保するための道路拡幅整備を実施し、安全性・利便性を向上させることができた。

【課題・改善点】

本路線は、長期継続整備路線となっており、本路線の安全性、利便性の早期確保及び早期完成に対する地元からの期待は高い。今後は、交通安全上危険度が高い区間の整備を優先していく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		
事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備		
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理		
事業 小事業	02 臨時地方道整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	34,000			
1101	通信運搬費	50,000			
1202	工事施工を伴う委託料	3,293,374			
1401	建設工事費	10,119,070			
1601	土地購入費	2,055,312			
2101	補償金	2,609,181			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,306,000	18,160,937	0	145,063

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	14,600,000	0	3,560,937
主な財源					

目的

市道における幅員の確保や曲線部の視拒確保などの改良を実施することにより、道路のネットワーク機能強化や安全性を確保し、市民生活の向上を図る。

事業活動内容

関係機関や地元区長と協議を行いながら、整備の進捗を図り、市道向ヲ原山ノ口線、市道たぶ峠線の事業を完了させた。また、市道富高塩見線の整備について、建設推進委員会を設立し、離合困難区間の解消を図るため、協働による整備計画を作成した。

○向ヲ原山ノ口線　L＝156m
○たぶ峠線　L＝28m
○事業の協力体制の推進（関係機関との協議）　4回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
たぶ峠交差点不動産鑑定業務委託　276,100
たぶ峠交差点改良用地測量等業務委託　1,129,900
たぶ峠交差点改良用地登記業務委託　138,374
富高塩見線測量業務委託　1,749,000

○建設工事費
向ヲ原山ノ口線舗装工事　6,954,893
たぶ峠線舗装工事　3,164,177

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

「市道向ヲ原山ノ口線」と「たぶ峠線」の整備が完了し、安全性・利便性ともに向上させることができた。また、「市道富高塩見線」において、地元推進委員会と協働による道路設計を行い、令和4年度中に着工できる見込みとなった。

【課題・改善点】

道路の安全性、利便性の向上に対する地元からのニーズは高い。第4期道路整備計画（令和3年～令和7年）に基づき、計画的な道路整備に取り組む。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		
事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備		
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理		
事業 小事業	03 籾木線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	10,400			
1001	消耗品費	25,894			
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	86,000			
1101	通信運搬費	123,000			
1401	建設工事費	24,160,246			
2101	補償金	1,159,754			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,821,000	25,565,294	0	255,706

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,926,000	0	10,200,000	0	1,439,294
主な財源	社会資本整備総合交付金（籾木線）				

目的

平岩金ヶ浜地区と籾木地区を結ぶ幹線道路であり、生活道路、通学路でもある市道籾木線を整備することにより、地域住民の利便性の向上及び、道路交通の安全性の確保を図る。

事業活動内容

地元の推進組織との協議や、住民への「道づくりだより」の発行等により、市民協働のみちづくりに資する情報提供に努めながら、見通しの悪い箇所の視距を確保するための拡幅整備を実施し、安全性・利便性を向上を図った。

○籾木線道路改良　L＝117m
○事業の協力体制の推進（推進委員会の開催）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
籾木線道路改良工事　24,160,246

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

見通しの悪い箇所の視距を確保するための山切工及び法面保護工を実施し、安全性・利便性を向上させることができた。

【課題・改善点】

本路線の安全性、利便性の向上に資する事業であることから、地元からの早期完成に対する期待は高い。また、本路線は、長期継続整備路線となっていることから地元建設推進委員会と連携を図りながら早期完成を目指す。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	06 塩見美々津線道路改良事業(社会資本整備総合交付金)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,000			
1007	光熱水費	90,000			
1401	建設工事費	34,564,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,664,000	34,664,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	19,010,000	0	13,900,000	0	1,754,000
主な財源	社会資本整備総合交付金（塩見美々津線）				

目的

日向ひまわり支援学校や日向高等学校、病院施設が集中している市道塩見美々津線（広域農道）の権現原地区において、歩道整備を行うことにより、通院・通学などに利用する歩行者の安全確保や交通の円滑化を図る。

事業活動内容

隣接する関係者への説明や河川管理者との協議を経て、円滑に橋桁設置工事を実施した。

○塩見美々津線歩道橋工事　L＝26.8m
○事業の協力体制の推進（関係機関との協議）　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
塩見美々津線歩道橋上部工工事　34,564,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

計画していた橋梁構造物の上部工までを完成させることができた。

【課題・改善点】

施工箇所は、国道交差点から近く大型車両等交通量が多く、交通の円滑化と歩行者の安全確保に向けて、周辺学校等からの早期完成に対する期待は高いことなどから、早期完了に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	17 福士線（交付金）道路改良事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	20,000			
1007	光熱水費	80,000			
1202	工事施工を伴う委託料	3,048,185			
1401	建設工事費	7,095,493			
1601	土地購入費	161,343			
2101	補償金	71,819			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,700,000	10,476,840	0	223,160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,150,000	0	5,300,000	0	26,840
主な財源	地方創生道整備推進交付金				

目的

地域再生計画に基づき、市道・林道のネットワーク化を推進し、観光施設への回遊性や災害時の迂回路機能、道路交通の円滑化を図り、安全、安心なまちとしての魅力向上と、地域の活性化を図る。

事業活動内容

事業用地の取得を進めるとともに、幅員狭小による離合困難区間の解消を図るための拡幅整備を実施した。

○福士線道路改良　L＝22m
○事業用地の取得（用地交渉）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
福士線道路改良事業分筆登記業務委託　59,515
福士線道路改良事業所有権移転登記業務委託　17,325
東郷橋田野線外測量設計調査業務委託　2,971,345

○建設工事費
福士線道路改良工事　7,095,493

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

道路幅員の拡幅、道路排水対策等の整備により、事業の進捗を図り、安全性・利便性を向上させることができた。

【課題・改善点】

地域再生計画に基づき、交通ネットワークの向上や森林施業の円滑化に向けて、本路線の計画的な事業進捗を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	18 東郷橋田野線（交付金）道路改良事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,000			
1007	光熱水費	0			
1202	工事施工を伴う委託料	1,700,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,100,000	1,710,000	0	390,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	850,000	0	800,000	0	60,000
主な財源	地方創生道整備推進交付金				

目的

市道東郷橋田野線は、硯野地区と福士地区を結ぶ生活道路で、定期バス路線や木材運搬のための産業道路としても活用され、国道446号にアクセスする生活幹線道路であり、周辺の林道と併せて整備を実施することにより、地域産業の活性化や生活環境の改善を図る。

事業活動内容

本路線の、見通しの改善や離合場所の確保を図る整備を実施するための、測量設計を行った。

○東郷橋田野線測量延長　L＝148m
○設計協議（設計受注業者）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
東郷橋田野線外測量設計調査業務委託　1,700,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

道路整備に向けて、測量設計を実施した。

【課題・改善点】

本路線は、地域再生計画に基づき、交通ネットワークの向上や森林施業の円滑化を図るため、迅速な事業用地取得を行い、早期着工に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	02 道路維持費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	09 市道維持管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	7,800	1401	建設工事費	41,941,402
1001	消耗品費	387,978	1402	維持補修工事	30,000,000
1003	消耗品費被服	140,360	1501	原材料費	5,976,061
1004	燃料費	485,331	1702	機械器具費（事業執行用）	153,280
1006	印刷製本費	0	1825002	研修会負担金	110,580
1008	修繕料	8,999,199	2601	国に対する公課費	22,800
1103	手数料	37,068			
1106	火災保険料	8,921			
1107	自動車損害保険料	67,192			
1201	施設維持管理委託料	27,563,162			
1202	工事施工を伴う委託料	264,220			
1301	使用料及び賃借料	1,110,163			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
117,567,000	117,275,517	0	291,483

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,473,000	0	35,600,000	0	78,202,517
主な財源	社会資本整備総合交付金				

目的

市道の適切な維持管理により、地域住民の安全性及び円滑な道路交通網の確保を図る。

事業活動内容

市道1,300路線（591km）のパトロールや修繕を行った。
○パトロール日数　178日　　○市道補修件数　1,045件
○修繕料　小規模な市道補修、その他管理施設の修繕
○施設維持管理委託料　市道の除草、街路樹の管理、トンネル保守点検
○その他の委託料　浸水対策雨水排水業務
○工事請負費　市道の舗装補修、側溝整備
○原材料費　道路補修材の購入、地区への里道等整備の材料支給

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
市道路肩除草業務委託　ほか16件　21,581,890
道路等除草業務委託（地域委託）23件　5,981,272
向江町雨水排水業務委託　264,220
○工事請負費
大王町3号線排水整備工事　ほか31件　71,941,402
・建設工事　22件
・維持補修工事　10件

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

パトロールや地元住民からの通報で確認した道路陥没や排水施設の損傷、道路に面した樹木等の、道路異常について、職員の直営作業や業者依頼により、迅速に道路施設の安全確保を図った。

【課題・改善点】

今後ますます道路施設の老朽化が進むなか、安全・安心な道路環境の提供にはパトロールの効率化や予防保全による計画的な維持補修が重要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	04 橋りょう維持費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	橋梁長寿命化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	9,100			
1001	消耗品費	20,658			
1007	光熱水費	117,000			
1202	工事施工を伴う委託料	84,217,342			
1402	維持補修工事	38,823,349			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
134,886,000	123,187,449	11,046,651	651,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	60,177,000	0	44,500,000	0	18,510,449
主な財源	社会資本整備総合交付金（橋梁長寿命化事業）、道路メンテナンス事業補助金（橋梁長寿命化事業）				

目的

橋梁の定期点検及び予防的な補修を実施することで、安全・安心な交通環境を確保するとともに、架替に伴う長期の交通制限等、社会的な損失の軽減を図る。
また、橋梁の耐震性の向上を図り、交通の安定化及び市民の生命と財産を守る。

事業活動内容

○橋梁長寿命化事業
橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、定期点検と予防保全型の修繕を計画的に行い、維持管理費のトータルコストの抑制と平準化を図った。（橋梁点検69橋、補修設計7橋、補修工事2橋）

○橋梁
緊急輸送道路である市道塩見美々津線の橋梁の耐震化対策を実施し、安心して利用できるインフラ施設の確保を目指した。（耐震補強設計1橋、耐震化工事1橋）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市橋梁点検業務委託	25,404,732
耳川大橋耐震補強設計業務委託	23,320,000
東郷橋補修設計業務委託	9,177,692
秋留橋補修設計業務委託	5,383,002
御手洗橋補修設計業務委託	5,060,000

○工事請負費

中原橋補修工事	14,608,000
田の原大橋補修工事	13,800,000
後田橋補修工事	10,415,349

成果及び改善点等

今後の方向性：拡充

【成果】
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修設計及び工事を計画的に実施し、健全度の向上を図った。

【課題・改善点】
今後、更に加速する施設の老朽化に伴い、コスト増が懸念されることから、橋梁長寿命化修繕計画に基づき予防保全型の修繕を計画的に行い、維持管理費のトータルコストの抑制と平準化を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0006 住環境整備係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	04 幡浦地区住環境整備事業（社会資本整備総合交付金）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	7,800			
1001	消耗品費	25,189			
1003	消耗品費被服	14,080			
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	70,000			
1101	通信運搬費	0			
1401	建設工事費	8,067,549			
1858016	幡浦地区住環境整備事業竣工記念式典実行委員会補助金	202,650			
2101	補償金	1,720,186			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,720,186	10,107,454	0	612,732

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,912,000	0	4,300,000	0	895,454
主な財源	社会資本整備総合交付金（幡浦住環境整備事業）				

目的

道路、排水等の改良工事を行い、良好な住環境を形成するとともに、防災道路としての機能強化を図り、住民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。

事業活動内容

狭小道路や排水路等の整備により、防災機能の強化を図るための住環境整備事業を推進してきたが、令和3年度の整備（L＝39m）で事業完了とすることが出来た。

○令和3年度末進捗率　100.0%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
白浜線道路改良工事　8,067,549

成果及び改善点等

今後の方向性：終了

【成果】
当該事業完了により生活環境や防災機能が向上し、道路拡幅に伴い家屋の建て替えなども促進されるなど、地域の住環境整備が図られた。

【課題・改善点】
令和3年度をもって事業完了

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0007 事業調整係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	01 広域交通網の整備促進
小事業	02 東九州自動車道協力事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	16,730			
1001	消耗品費	19,000			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1814032	道づくりを考える日向・門川女性の会負担金	60,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
288,000	95,730	0	192,270

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	95,730
主な財源					

目的

要望活動や総会等を通じて、高速道路の必要性と整備効果を広くアピールしていくことにより、東九州自動車道及び九州中央自動車道の早期全線整備を目指す。

事業活動内容

東九州自動車道及び九州中央自動車道の全線整備に向け、関係機関への要望活動や推進団体の講演会、研修会、交流会への参加を支援した。あわせて「道づくりを考える日向・門川女性の会」と連携を図りながら、高速道路整備のための予算獲得について国、県、ネクスコ等への提言活動を行った。

○県内みちづくり女性団体（書面）要望
○全国みちづくり女性団体（WEB）要望活動参加

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

「日向～都農」間の4車線化に向け関係機関と連携し情報収集に努めた。また、女性の会の活動は、コロナ禍による制限が続くなか、国、県に対し、WEBで要望活用を実施した。

【課題・改善点】

コロナ禍収束が見えない状況のなか、高速道路の早期整備に向けて、WEB等を活用した要望活動の実施をはじめ、女性の会の活動促進に向けた支援の充実が必要である。また、東九州自動車道の日向～都農間における4車線化優先整備区間の早期事業化に向けて、事業協力や支援などに積極的に取り組んでいく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0001 区画整理係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	02 土地区画整理事業費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	財光寺南土地区画整理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0203	一般職給料	9,100,000	1301	使用料及び賃借料	49,170
0301	職員手当	0	1401	建設工事費	235,408,977
0802	普通旅費	13,000	1825002	研修会負担金	31,900
1001	消耗品費	679,299	2101	補償金	524,336,540
1003	消耗品費被服	113,550			
1004	燃料費	360,325			
1006	印刷製本費	203,500			
1007	光熱水費	804,029			
1008	修繕料	13,508			
1101	通信運搬費	340,000			
1103	手数料	29,700			
1202	工事施工を伴う委託料	56,231,235			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
940,087,401	827,714,733	109,890,861	2,481,807

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	393,109,000	0	380,300,000	0	54,305,733
主な財源	社会資本整備総合交付金				

目的

本地区は、宮崎県北地方拠点都市地域において「財光寺居住拠点地区」として位置づけられており、本市の発展の一翼を担う地区として、公共・公益施設の体系的な整備改善を行う。あわせて、民有空間との一体的な景観形成等の取組により、安心・安全で自然と共生する快適な住環境の形成を図る。

事業活動内容

計画的に、移転補償、造成、及び舗装工事等を実施し、事業の進捗を図った。
○建設工事費　宅地造成　V＝12,464㎡　道路舗装 A＝9,293㎡
○補償金　家屋移転　19戸31棟

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

令和3年度財光寺南地区仮換地変更及び確定測量等業務委託	19,883,549
令和3年度財光寺南地区建物（調査）業務委託（その1）外4件	18,350,457
令和3年度財光寺南地区測量設計業務委託（その1）外1件	4,895,000

○工事請負費

令和3年度財光寺南地区築造工事（その1）外7件	152,505,000
令和3年度財光寺南地区舗装工事（その1）外1件	32,958,000
令和3年度財光寺南地区交差点改良工事	44,137,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

建物移転計画に基づいた移転先の宅地造成を実施できたことで、要移転対象物件のスムーズな移転が可能となった。

【課題・改善点】

事業も長期化しているため、令和5年度末の建物移転完了を目標に事業を継続する。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0003 街なか整備係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	02 土地区画整理事業費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	駅周辺土地区画整理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	108,800	1201	施設維持管理委託料	605,876
0203	一般職給料	8,500,000	1202	工事施工を伴う委託料	72,333,167
0301	職員手当	500,000	1301	使用料及び賃借料	0
0802	普通旅費	86,980	1401	建設工事費	28,339,384
1001	消耗品費	188,415	1501	原材料費	46,930
1004	燃料費	142,445	1825002	研修会負担金	31,900
1005	食糧費	1,760	2101	補償金	266,512,778
1006	印刷製本費	15,565	2201	償還金	265,500
1007	光熱水費	600,000			
1008	修繕料	328,790			
1101	通信運搬費	183,000			
1108	その他の保険料	109,320			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
424,801,396	378,900,610	45,303,909	596,877

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	176,841,000	21,500,000	148,100,000	0	32,459,610
主な財源	社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金、公共施設管理者負担金				

目的

日向市駅周辺の中心市街地は、宮崎県北地方拠点都市地域において「日向市生活・文化交流拠点地区」に位置付けられ、人、物、情報の集発散拠点となる「地域の顔」、「まちの顔」としての役割を担うことから、公共施設の整備改善とあわせて土地の高度利用の促進、商店街の再構築を行い、賑わいのある中心市街地の創出を図る。

事業活動内容

計画的に、移転補償、造成、及び舗装工事等を実施し、事業の進捗を図った。また、住民の負担軽減や事業の早期完成を目的として、施行区域の縮小を実施した。
○補償費　建物移転　5戸8棟
○建設工事費　排水工　L＝261.7m　舗装工　A＝524.3㎡

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（工事施工を伴う委託料）

出来形測量及び確定測量業務委託	43,479,560
建物等調査算定業務委託(その1)	4,829,000
建物等調査算定業務委託(その2)	4,173,719
建物等調査算定業務委託(その3)	8,654,080
建物等調査算定業務委託(その4)	5,387,950

○工事請負費

築造工事(その1)	4,236,524
築造工事(その2)	11,328,047
築造工事(その3)	12,375,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

施行区域の縮小により、法的規制が解除され、対象地権者の負担軽減が図られた。第1工区の換地処分に向けて家屋移転及び出来形確定測量を完了することが出来た。

【課題・改善点】

事業も長期化しているため、令和10年度末の事業完了を目標に事業を継続する。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	35 美しい景観の保全と形成
中事業	02 緑花あふれる美しい風景づくり
小事業	03 全市緑花推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	1,866,818			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	132,000			
1201	施設維持管理委託料	5,499,898			
1401	建設工事費	1,951,100			
1501	原材料費	17,050			
1825004	水道新設負担金	0			
1838005	全市緑花推進協議会補助金	2,145,000			
1858011	全市公園化事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,108,000	11,614,466	0	493,534

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,000	11,602,466
主な財源	みどりのまちづくり基金利子				

目的

本市が持つ自然、歴史及び文化等の地域資源を活かした緑化や花づくりを積極的に推進し、市民との協働により地域の活性化や、市全域を緑と花による豊かな美しい憩いの場となることを目指す。

事業活動内容

市全域において、市民との協働により、地域資源を活かした緑花事業に取り組みながら、花と緑あふれるまちづくりを推進した。
○緑化や花づくりイベント数　4回
○植栽や花づくり等への緑化参加者数　855人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

公共花壇管理業務委託（1工区）	2,568,398
公共花壇管理業務委託（2工区）	306,900
日向岬眺望スポット草刈業務委託	1,353,000
県道日知屋財光寺線植栽業務委託	927,300
県道日知屋財光寺線外沿道修景業務委託	286,000

○工事請負費

日向岬修景工事	440,000
大王谷運動公園遊歩道修景工事	512,600
公共花壇客土改良工事	473,000
中央通線景観改善工事	478,500

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

これまでの「花壇コンクール」を「まちかど花フェア」に名称を変更し、応募項目を増やすなど幅広く市民が参加できる取組を行った。

【課題・改善点】

全市緑花推進事業計画に基づいた各公園化拠点ゾーンの整備や沿道修景軸等の整備を推進し、市民との協働による継続した維持管理体制の構築が必要となる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	04 街路事業費		
事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備		
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理		
事業 小事業	12 高砂通線改良事業（社会資本整備総合交付金）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	806,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
806,300	806,300	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	806,300
主な財源					

目的

市民の生活環境の向上を図るため、市街地の道路ネットワークの構築に向けた街路整備を行い、安全で円滑な交通網を確保する。

事業活動内容

高砂通線の鉄道高架から市道天神山通線区間の開通に向けた工事を行った。
○令和3年度供用開始延長　130.2m
○区画線設置工事　141m
○歩道切下工事　1か所

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
高砂通線区画線設置工事　605,000
市道天神山線歩道切下工事　201,300

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
国道10号から市道天神山通線までの区間を開通した。

【課題・改善点】
防災機能を備えた道路ネットワークとして効果を発揮するには、国道10号線と市役所までの区間を早急に完成させる必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	07 公園費		
事業 大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備		
事業 中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備		
事業 小事業	02 お倉ヶ浜総合公園整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2403	その他特定目的基金積立金	500,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000,000	500,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	500,000,000	0
主な財源	お倉ヶ浜総合公園野球場整備寄附金				

目的

市民のスポーツ振興と健康増進、プロスポーツキャンプの誘致を見据えた市民に開かれた総合公園としての施設整備を図る。

事業活動内容

お倉ヶ浜総合公園野球場整備事業にかかる資金積立基金積立を行った。
○公共施設整備等資金積立基金積立金　1式
○先進地視察（宮崎市、西都市）　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性　拡充

【成果】
日向市お倉ヶ浜総合公園野球場整備事業調整会議を立ち上げ、庁内調整を図った。

【課題・改善点】
原油高騰や資材及び機器調達に時間を要することが懸念されるため、プロスポーツキャンプ誘致やその後に予定されている宮崎国体に合わせたスケジュール調整を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	07 公園費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
小事業	05 都市公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	7,800	1702	機械器具費（事業執行用）	184,910
1001	消耗品費	302,126	1825002	研修会負担金	25,000
1004	燃料費	123,519			
1007	光熱水費	3,191,167			
1008	修繕料	1,648,757			
1103	手数料	73,950			
1106	火災保険料	43,597			
1107	自動車損害保険料	13,314			
1201	施設維持管理委託料	18,217,478			
1301	使用料及び賃借料	194,400			
1402	維持補修工事	3,431,957			
1501	原材料費	199,007			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,478,000	27,656,982	0	821,018

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	367,000	27,289,982
主な財源	自動販売機電気料、建物総合損害共済災害共済金、賃貸借物品LED公園街灯修繕保険料				

目的

都市公園等の施設の充実を図り、安全かつ快適なレクリエーションの場を確保し、地震・津波等の有事の際には、避難場所となる公園施設の充実を図る。

事業活動内容

都市公園施設等の維持管理にかかる業務委託や工事発注を行った。
○都市公園区管理業務委託　37区　67公園
○公園樹木管理業務委託　10公園
○遊具点検業務委託　62公園
○健康遊具設置工事　1公園　2基
○公園外灯補修工事　2公園

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

都市公園等区管理業務委託	6,751,000
公園樹木等管理業務委託その1	2,627,857
公園樹木等管理業務委託その2	2,136,177
河川堤緑地樹木等管理業務委託	2,447,500
公園法面草刈業務委託	1,672,000

○工事請負費

向江第1街区公園外構工事	1,250,700
亀崎近隣公園健康遊具設置工事	868,882
石橋山緑地急傾斜法面伐採工事	458,700
若宮近隣公園外灯灯具修繕工事	187,000
春原街区公園土砂流出防止工事	187,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍で身近な公園施設のニーズが高まるなか、健康遊具の新設や老朽化施設の補修を行うなど、安全かつ快適な都市公園施設の維持管理を行うことができた。

【課題・改善点】

遊具施設の老朽化により、維持管理費が増大するなか補修等が困難な施設にあっては、撤去についても検討する必要があり、様々な市民ニーズに対応出来なくなる可能性がある。また、自治会加入者の減少や高齢化により、日常の公園管理が困難になっている箇所があることから、新たな仕組みや体制づくりが必要になっている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0005 街なか活性化係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	02 コンパクトな拠点の整備
小事業	01 中心市街地活性化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	9,100			
1001	消耗品費	7,775			
1006	印刷製本費	0			
1825002	研修会負担金	0			
1837015	中心市街地活性化協議会運営補助金	380,000			
1857012	空き店舗対策事業補助金	1,050,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,898,000	1,446,875	0	1,451,125

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,446,875
主な財源					

目的

日向入郷圏域の顔として、中心市街地の賑わい創出と交流人口及び定住人口の増加を目指し、中心市街地の活性化を推進する。

事業活動内容

○中心市街地活性化協議会運営補助金
・日向まちゼミ（検討会議等8回開催、参加店舗14店、参加者数87人）、通行量調査、空き店舗調査等
・宮崎大学地域資源創成学部国内インターンシップの活用による調査研究（協議等9回開催、2名参加、事業指標の成果報告会など）
○空き店舗対策事業補助金
・家賃補助4件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○運営補助（商工）
中心市街地活性化協議会運営補助金　380,000

○事業補助（商工）
中心市街地空き店舗対策事業補助金　1,050,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

「まちなかハロウィン」や新たに「Ilove宮崎」が駅前交流広場で開催された。また、「日向まちゼミ」が対面方式で開催されるなどイベント等が徐々に復活し、集客数が増えてきている。また、宮崎大学の学生と協力して中心市街地活性化の事業効果を検証する調査研究を行った。

【課題・改善点】

中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業は、未だ新型コロナウイルス感染症の影響により実績が目標値を下回っている。イベント等の復活から中心市街地の賑わいも徐々に戻ってくると思われるため、今後もハードとソフトの両輪で事業を継続しながら、時勢に合わせた事業の見直しを進めていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0005 街なか活性化係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	02 コンパクトな拠点の整備
小事業	03 市制施行70周年タイムカプセル開封事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	16,000			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	143,409			
1006	印刷製本費	99,330			
1101	通信運搬費	3,902			
1103	手数料	191,203			
1301	使用料及び賃借料	182,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	52,580			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
720,000	691,024	0	28,976

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	600,000	91,024
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

市制施行70周年に合わせてタイムカプセル開封セレモニー等を実施し、新たな魅力づくりと賑わいの創出により中心市街地の活性化を目指す。

事業活動内容

○タイムカプセル開封セレモニー
日向市駅西口駅前広場の完成記念として平成20年（2008年）3月9日に埋設したタイムカプセルを開封するセレモニーを開催し、市民から応募のあった未来へ宛てた手紙（964通）を各自に郵送した。また、日豊本線開業100周年記念"木符（きっぷ）"の配布やコンテナガーデン展の表彰式などを行い、大きな節目を祝った。
○新たな魅力づくり
・駅ピアノの設置（R3.11.6～R4.1.28）　・駅伝言板

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　終了
イベントの開催と駅ピアノの設置により、日向市駅を活用して、乗客だけでなく様々な人が集い、街のにぎわいを創出することができた。

【課題・改善点】
新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等が延期・中止になっているが、収束に伴い復活してくると思われる。コロナ禍以前の状況までの回復から、それ以上の活性化のために、継続して取組を実施し、賑わいの創出を実現していく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	02 建築行為等に係る道路拡幅整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	32,081			
1206	その他の委託料	2,209,206			
1402	維持補修工事	2,046,000			
2101	補償金	241,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,650,000	4,528,987	0	121,013

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,207,000	0	0	0	2,321,987
主な財源	社会資本整備総合交付金（県地域住宅計画）				

目的

建築基準法第42条第2項に基づき、幅員4m未満の狭い道路に接して建築する場合は、道路中心より2m後退しなければならない。この後退を円滑かつ確実に進めることにより、将来的に4mの道路幅員を確保し、消防及び避難活動に支障をきたさない防災面に優れた安全な住環境の向上を図る。

事業活動内容

○道路後退用地の寄付採納による分筆・所有権移転委託　分筆9件、所有権移転登記9件
○道路後退用地の整備費　10箇所　142.76㎡
○道路後退用地の工作物等の補償費　ブロック塀3件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
登記業務（18件）　2,209,206
○維持補修工事費
建築行為に伴う道路拡幅工事（2件）　2,046,000
○補償金
工作物補償金（3件）　241,700

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
安全な住環境確保に向け、事業により後退（14件）に対応し、一部では自主的な後退（3件）も促せた。

【課題・改善点】
建築行為等に係る道路拡幅事業は、歩行者等の安全性向上をはじめ、緊急車両の進入、火災時の延焼防止、避難経路の確保及び日照や通風等の住環境の改善など、安全・安心なまちづくりに資する事業であることから、今後とも、必要な予算確保を図りながら、事業の効果や必要性に関する周知・啓発活動に努めつつ、事業を継続していくことが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	05 日向市木造住宅耐震化促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1006	印刷製本費	0			
1206	その他の委託料	60,000			
1858002	日向市木造住宅耐震診断促進事業補助金	4,436,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,615,000	4,496,000	1,000,000	119,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,178,000	930,000	0	0	1,388,000
主な財源	社会資本整備総合交付金(県地域住宅計画)、県木造住宅耐震化推進事業補助金				

目的

木造住宅の耐震化を促進することにより、地震による倒壊等の被害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強い都市の形成を図る。

事業活動内容

昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震性の向上を図るため、耐震診断、耐震補強設計及び耐震改修に要する費用の一部補助及びアドバイザーの派遣を行った。

○木造住宅耐震診断アドバイザー派遣業務　15件
○木造住宅耐震診断補助金　10件
○木造住宅耐震改修補助金　5件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
アドバイザー派遣業務（15件）　60,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

改修工事の年間目標5件に対して、補助の実績5件を確保し、所有者等の安全を確保することができた。

【課題・改善点】

南海トラフ地震の切迫性が高まるなか、木造住宅の耐震化は、市民ニーズが高く、喫緊の課題であると認識している。今後も、木造住宅の耐震化促進に向けて、制度の周知に努めていくとともに、所有者の負担低減に向けた安価な工法等に関する情報発信や耐震診断・改修工事事業者の確保等を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	10 日向市危険ブロック塀等除却推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1858014	日向市危険ブロック塀等除却推進事業補助金	1,040,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,040,000	1,040,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	520,000	208,000	0	0	312,000
主な財源	社会資本整備総合交付金(県地域住宅計画)、県木造住宅耐震化推進事業補助金				

目的

登下校時の児童の安全確保を図るとともに、地震時の避難や救助活動の経路を確保し、災害に強いまちづくりを推進する。

事業活動内容

小学校から概ね半径500mの範囲における倒壊の危険性の高いブロック塀等の除却について補助を行った。

○日向市危険ブロック塀等除却推進事業補助金　14件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

制度の普及啓発に関するチラシをポスティングすることなどの周知活動により、年間目標10件に対し14件の除却を行うことができ、避難路等の安全を確保することができた。

【課題・改善点】

事業により除却が進んでいるが、危険なブロック塀はまだ多数残存しており、南海トラフ地震の切迫性が高まるなか、今後は、制度の普及啓発による対象区域内の危険ブロック塀の除去を進めていくとともに、対象区域内の進捗状況を踏まえながら、対象区域の拡大についても検討していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0004 建築係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	11 住宅マスタープラン策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	0			
1204	調査・計画策定委託料	7,348,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,350,000	7,348,000	0	2,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,262,000	0	0	0	4,086,000
主な財源	社会資本整備総合交付金（県地域住宅計画）				

目的

日向市の地域特性、住宅事情などから住生活の安定向上に関する課題を明らかにし、これをもとに住宅施策を計画的、総合的に推進するための基本となる住宅マスタープラン（住生活基本計画）を策定する。

事業活動内容

住宅マスタープラン策定
○庁内検討委員　3回
○地域共生・住宅ストック政策検討チーム　5回
○地域防災・建築マネジメント政策検討チーム　5回
○日向市居住支援セミナー　3回
○市民アンケートの実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○調査・計画策定委託料
日向市住宅マスタープラン策定委託料　7,348,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
本市の特性等を踏まえた今後5年間の住宅施策の計画を策定することができた。その検討過程を通じて、特に重点的に取り組むべき施策のうち、「居住支援協議会」の設立に向けた福祉団体や民間団体との連携体制構築のための「日向市居住支援セミナー」を前倒しで行うことができた。
【課題・改善点】
計画に従い、各施策を検討・実施する必要がある。特に重点施策である居住支援協議会設立に向けて、設立準備会を早期に開催し構成団体との連携体制を構築し、令和4年度中の設立を目指す。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0011 空家対策推進係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	03 空き家の適正管理と活用の促進
小事業	01 日向市空家等対策推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	102,400	1825002	研修会負担金	19,800
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1858010	日向市空家等対策推進事業補助金	2,479,000
0301	職員手当	316,066	1858015	日向市空き家利活用促進事業補助金	100,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	269,305			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	125,000			
0801	費用弁償	4,204			
0802	普通旅費	20,800			
1001	消耗品費	53,997			
1005	食糧費	1,160			
1006	印刷製本費	99,255			
1101	通信運搬費	100,000			
1206	その他の委託料	774,862			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,618,000	5,953,225	0	664,775

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,450,000	105,000	0	225,000	4,173,225
主な財源	社会資本整備総合交付金（県地域住宅計画）、建築指導手数料、移住・定住促進支援事業補助金、移住者向け空き家利活用促進支援事業補助金				

目的

空き家所有者等への助言・指導や支援により、空き家の適正管理、利活用及び特定空家等や危険空家の除却の促進を図り、地域住民の生活環境を保全する。

事業活動内容

○苦情・相談のあった空き家の所有者等へ適正管理依頼　28件
○特定空家等の所有者等へ助言・指導　8件、勧告　1件、命令　1件
○特定空家等の認定　2件、除却による認定解除　2件
○危険空家除却補助　4件、空き家利活用促進事業補助　1件
○日向市空き家等情報バンクの運営　新規登録　15件、成約　17件
○空き家所有者等へ管理や利活用意向のアンケート調査を実施　東郷地区　150件、幸脇地区　40件
○空家等管理事業者紹介制度の整備　登録　5者

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
空き家所有者等特定業務委託　502,062
空家等緊急安全措置業務委託　272,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充
危険空家除却補助制度の周知、所得制限や跡地活用の補助要件の緩和により、補助金の利用促進が図られ、除却によって周辺環境への悪影響が改善された。
【課題・改善点】
今後も、特定空家等への認定や危険空家除却補助金を活用した除却等を促進していくために、助言・指導を図っていくとともに、空き家等情報バンクの成約件数が増加する一方で、登録件数が頭打ちの傾向にあるため、空き家等情報バンク登録による利活用についても積極的に働きかけていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進
中事業	01 中山間地域の活性化
小事業	01 中山間地域振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	195,000			
1006	印刷製本費	24,640			
1101	通信運搬費	112,959			
1204	調査・計画策定委託料	4,950,000			
1808065	過疎地域振興協議会負担金	0			
1808068	全国過疎地域自立促進連盟負担金	50,400			
1852021	過疎地域振興基金事業補助金	0			
2403	その他特定目的基金積立金	21,079,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,513,000	26,411,999	0	101,001

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	21,000,000	5,360,000	51,999
主な財源	過疎地域振興基金利子、過疎地域振興基金繰入金				

目的

著しい人口減少や高齢化の進行に伴い、地域活力の低下が危惧される中山間地域において住民が安心して住み続けられるよう、持続可能な地域づくりを推進する。

事業活動内容

○日向市東郷地域振興計画の策定

東郷地域の人口減少や高齢化の進行を見据えながら、東郷地域のまちづくりの方向性を定め、地域が抱える課題の解決に向けた指針となる「日向市東郷地域振興計画」を策定した。策定にあたっては、住民の意見を最大限に反映した計画とするため、地域団体代表や公募委員で構成する「日向市東郷地域振興計画策定検討委員会」を組織するとともに、住民アンケートや、東郷えんがわ会議と称した住民ワークショップ（計7回）、中学生を対象としたワークショップ（1回）などを開催した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市東郷地域振興計画

策定支援業務委託　4,950,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

中学生や高校生を含む幅広い年齢層の東郷地域住民が一堂に会して、東郷地域が持つ強みや弱み、地域課題などを真剣に話し合い、課題解決に向けた具体的な施策を提案するなど、持続可能な地域づくりに向けた意識の醸成が図られた。

【課題・改善点】

当計画に掲げた課題解決プロジェクトを着実に推進するため、「日向市東郷地域振興計画推進会議」を設置しており、実施主体となる団体等への働きかけや過疎地域振興基金の効果的な活用方法の検討など、継続的な進捗管理が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	01 消防団活性化の推進に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0105	消防団員報酬	28,234,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	13,774,000			
0716	記念品料	3,795			
0801	費用弁償	25,473			
1001	消耗品費	0			
1005	食糧費	0			
1301	使用料及び賃借料	2,880			
1839001	消防団分団運営補助金	180,000			
1839002	消防団部運営補助金	1,188,000			
1839003	消防団本部運営補助金	3,018,432			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,152,000	46,426,580	0	1,725,420

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,734,000	33,692,580
主な財源	消防団員退職報償金				

目的

地域防災の中核的役割を担う消防団員への報酬支給や消防団への運営支援など、消防団活動環境の整備や団員の処遇改善を行うことにより、団員の確保や組織の活性化を図り、消防力の充実強化につなげる。

事業活動内容

消防団活動の活性化に係る事務処理を行った。

○団員への年額報酬、費用弁償の支出事務　団長以下910名に支給

○退職団員への退職報償金の支給　支給該当団員31名

○消防団本部・分団・部の運営支援

○会議及び各種研修会への派遣

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

消防団員の加入活動については、コロナ禍のため制限があったが、出来る範囲で活動を行った。また、国の通知に基づき、団員の年額報酬と出動報酬の改定を行った。これらによって、団員の士気向上及び消防団の活性化を図った。

【課題・改善点】

地域人口が減少する中、消防団員も年々減少しており、団員確保は厳しい状況である。団員の確保及び団員加入のために年間行事の見直しや更なる処遇改善など消防団体制の整備が必要になる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	02 非常備消防装備の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	34,650			
1003	消耗品費被服	3,299,725			
1008	修繕料	215,259			
1702	機械器具費（事業執行用）	1,386,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,068,000	4,935,634	0	132,366

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	657,000	0	0	4,278,634
主な財源	地域消防防災活動支援事業費補助金				

目的

消防防災活動を安全かつ円滑に遂行するために団員の装備や資器材等を整備し、被害の軽減や二次災害の防止を図る。

事業活動内容

消防団活動に必要な資器材の整備を行った。
○消耗品の購入支給
　・小型ポンプ用バッテリー
○活動に必要な装備の購入貸与
　・制服、活動服、安全靴、手袋等
○活動に必要な資器材の配備
　・消防用ホース、ポンプ用吸管

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

装備品の更新により、消防団員の安全確保はもとより活動意欲や士気の向上にも繋がっている。

【課題・改善点】

資器材や装備品の整備については、国や県の補助助成事業等を有効に活用し計画的に整備を進めている。老朽化した資器材については活用状況等を検証し、計画的な更新が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	03 非常備消防の活動に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0404	消防団員に係る保険料	2,021,163			
0502	非常勤職員災害補償費	0			
0801	費用弁償	15,452,330			
1001	消耗品費	96,863			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	33,000			
1103	手数料	8,400			
1301	使用料及び賃借料	20,000			
1805001	宮崎県消防協会負担金	303,701			
1806005	宮崎県消防協会日向支部負担金	290,400			
1815010	退職報償金負担金	18,240,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,607,000	36,465,857	0	1,141,143

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	36,465,857
主な財源					

目的

消防団員が安心して業務に従事出来るように公務災害に対する補償を充実させる。また、消防団活動を円滑に行うための環境を整備し、消防団員の資質の向上を図るとともに非常備消防業務の健全な運営を行う。

事業活動内容

消防団関係の諸事務処理を行った。
○公務災害補償に係る保険加入（消防団員等公務災害補償等基金負担金）
○消防団員の会議や行事等への参加に対する支援
○消防団活動に係る費用の弁償（出動手当）
　・R4年度からは、消防団活性化の推進に要する経費から支出
○各種負担金の支出

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

消防団員の会議や研修等は、一部規模を縮小しての開催もあったが、ほとんどが実施できなかった。コロナ禍で消防団活動が実施できず、ポンプ運用訓練や資器材の点検などを行うなど各部で自主訓練を行う事で技術力を維持できたと思われる。

【課題・改善点】

消防団に対する市民の期待は大きく、消防団に対する補償等の充実は必要であるため、今後も引き続き消防団活動を円滑に行うための環境を整備していきたい。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	02 消防本部予防課 0001 予防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	03 火災予防体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	10,000			
0716	記念品料	28,000			
0802	普通旅費	0			
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	108,871			
1006	印刷製本費	40,000			
1103	手数料	5,903			
1702	機械器具費（事業執行用）	96,580			
1806014	日向地区危険物安全協会負担金	58,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
430,000	348,254	0	81,746

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	39,000	0	309,000	254
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、広域消防負担金、危険物施設検査手数料、罹災証明手数料				

目的

事業所や住宅及び危険物施設に対し建築時の指導を強化するとともに、予防査察や火災調査体制を充実させ、火災予防の徹底を図る。

事業活動内容

火災予防に関連する事務処理を行った。
○各種研修会への職員派遣
　・派遣なし
○防火意識高揚に資する防火ポスターの募集及び展示・表彰
○火の用心短冊の購入及び配布
○住宅用火災警報器の設置促進活動

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

住宅用火災警報器設置率は令和2年度は74%だったが、令和3年度は76%と着実に上昇している。

【課題・改善点】

火災予防は市民の生活等に直接関わる施策であり、今後も事業を推進しなければならない。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	04 救急体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0	1815008	宮崎県救急医学会施設負担金	0
0714	その他の役務提供等に対する報償金	190,000	1825002	研修会負担金	1,730,960
0802	普通旅費	159,061	2601	国に対する公課費	9,000
0803	特別旅費	459,520			
1001	消耗品費	1,999,955			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	46,200			
1008	修繕料	328,361			
1103	手数料	804,979			
1108	その他の保険料	165,870			
1206	その他の委託料	2,860,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	299,970			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,777,000	9,053,876	0	723,124

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,056,000	6,997,876
主な財源	広域消防負担金				

目的

救急救命士を養成し、各種研修への派遣及び救急処置に関する事後検証を実施することで救急隊員の資質の向上を図る。併せて、救急活動に必要な資器材の確保及び維持管理並びに賠償責任保険への加入等を通じて、救急隊員の活動環境の整備を図る。

事業活動内容

救急隊員の資質の向上及び活動環境の整備に向け各種事業を行った。
○救急に関する講習会開催
○講習会・研修会への職員派遣
○救急救命士の養成
○救急資器材の購入・保守点検
○映像伝送システムの活用及び保守点検（救急車搭載）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
　救急自動車映像伝送システム保守　2,640,000
　救急救命士就業前教育　220,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

救急業務は、市民の安全安心な生活を守るために重要な役割を果たしており、体制を強化により、救命率が昨年度より2%上昇するなど成果は上がっている。

また、新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、感染症患者隔離搬送用資器材（アイソレーター）を整備し、コロナ禍においても、救急隊員が安心して活動することが出来た。

【課題・改善点】

高齢化の進展等により救急需要は増加することが予想されるため、資器材の整備や感染症対策など、更なる体制強化が必要になってくる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	05 救助・警防体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	24,700			
0803	特別旅費	131,500			
1001	消耗品費	509,868			
1006	印刷製本費	8,250			
1008	修繕料	449,464			
1103	手数料	4,892,900			
1206	その他の委託料	2,015,460			
1301	使用料及び賃借料	44,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	841,700			
1815007	宮崎労働基準協会負担金	19,000			
1825002	研修会負担金	490,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,644,000	9,427,642	0	216,358

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,141,000	7,286,642
主な財源	広域消防負担金				

目的

救助・警防活動に必要な資格や技術の習得などにより隊員の資質の向上を図るとともに、災害現場活動に必要な資器材の購入や整備を通して安全かつ的確に職務が遂行出来るように活動環境の充実を図る。

事業活動内容

隊員の資質向上及び活動環境の充実に向け各種事業を行った。
○研修会や訓練、資格取得講習会等への職員派遣
○資器材等の購入（空気呼吸器用ボンベ、ウエットスーツ等）
○資器材の修繕や維持管理
○資器材の保守点検
○資格取得研修・技術研修（潜水士）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

泡消火薬剤産業廃棄物処理業務委託	1,760,000
潜水技術取得研修（初級）	102,300
潜水維持研修	43,560
二級小型船舶免許取得	109,600

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

隊員の資質の向上や資器材の充実により、災害現場における迅速な活動や安全性が向上している。

【課題・改善点】

救助・警防活動に必要な資格や技術の習得については、高い専門性が求められるが、隊員の資質の向上や資器材の整備に要する経費も増加しており、限られた人員・予算内での費用対効果を検討する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	03 消防施設費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	08 常備消防施設等の整備に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	13,000			
1006	印刷製本費	0			
1008	修繕料	462,143			
1103	手数料	8,698,261			
1205	システム開発等委託料	3,245,000			
1401	建設工事費	836,000			
1501	原材料費	207,007			
1702	機械器具費（事業執行用）	16,413,320			
1815004	防火水槽水代負担金	11,616			
1815013	消火栓新設・移設工事費負担金	10,687,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,180,862	40,573,347	0	607,515

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	25,675,000	14,898,347
主な財源	広域消防負担金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

災害時等に迅速かつ的確な消防活動を実施するため、消防車両等の定期的な更新や消防水利の整備を行うことにより、消防力の充実強化を図る。

事業活動内容

消防力の充実強化に向け各種事業を行った。
○高規格救急自動車の更新
○ネット119緊急通報システム整備
○水道管埋設工事にあわせた消火栓の整備

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

ネット119緊急通報システム整備	495,000
無停電電源装置取替業務委託	2,750,000

○工事請負費

IP-VPN回線切替工事	836,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

消防車両の更新や施設の整備により、消防力は向上している。

【課題・改善点】

更新時期を延長している消防車両や経年劣化している消防施設等もあることから、これらの維持費・修繕費の増加が見込まれる。費用対効果を検証しながら、計画的に更新を行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	03 消防施設費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	05 非常備消防施設の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	8,000			
1008	修繕料	181,830			
1103	手数料	48,000			
1401	建設工事費	13,090,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,327,830	13,327,830	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	13,000,000	0	327,830
主な財源					

目的

消防団活動の拠点施設である消防機庫の建て替えや修繕を行う事により地域防災力の維持向上を図る。

事業活動内容

地域防災力の維持向上にむけ各種事業を行った。
○消防機庫の建設工事
○消防機庫の修繕等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
第9部機庫建設工事　13,090,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
消防機庫の建設を予定通り実施できたことにより、消防団員の安全と資機材等の万全な状態での保管に繋がった。

【課題・改善点】
地域住民の消防団に対する期待は大きく、地域防災力の維持向上のためには、消防機庫や消防車両の更新を計画的に行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	30 生活排水の適切な処理
中事業	03 合併処理浄化槽の普及と適正管理
小事業	02 生活排水対策（浄化槽設置整備事業）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	53,000			
1101	通信運搬費	29,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	20,450			
1805053	宮崎県浄化槽普及促進協議会負担金	17,000			
1867014	浄化槽設置整備事業補助金	2,606,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,747,000	2,728,050	0	18,950

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,183,000	425,000	0	0	120,050
主な財源	循環型社会形成推進交付金、浄化槽設置整備事業補助金				

目的

市が行う生活排水対策として、公共下水道・農業集落排水事業の計画区域外において設置される浄化槽に対して、補助金を交付することにより、家庭から排出される生活雑排水を処理し、公共用水域を保全する。

事業活動内容

10人槽以下の合併浄化槽で、小型合併処理浄化槽機能保証制度により保証登録されたものについて、日向市浄化槽設置整備補助金交付要綱に基づき補助金を交付した。
○補助限度額【転換】　5人槽　332,000円
6～7人槽　414,000円
8～10人槽　548,000円
○補助限度額【配管補助】　100,000円
※配管補助は、単独浄化槽からの転換のみ対象。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金
・日向市浄化槽設置整備事業補助金　2,606,000
設置基数　7基
浄化槽設置内訳
【転換】　5人槽　6基
6～7人槽　1基
【配管補助】うち単独槽からの転換2基

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
目標設置基数を下回っているものの、着実な転換の推進により、生活環境の改善が図られている。
【課題・改善点】
事業制度の周知については、これまでのホームページや広報での周知に加え、対象家屋へのチラシの配布等、PR強化に努めている。今後とも生活環境の改善をはじめ、河川等の公共用水域の保全につながる本事業の加速化を図っていく必要がある。
また、令和4年度から配管補助について、新たにくみ取り便槽からの転換を補助対象に加え、事業の拡充を行ったところである。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	01 市議会だより発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	2,293,632			
1206	その他の委託料	1,223,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,590,000	3,516,832	0	73,168

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,516,832
主な財源					

目的

市民に議会の活動状況を分かりやすく知らせるため、議会広報誌を通じて、傍聴に来ることができない人の利便性の向上や議会の情報発信機能の充実を図り、市民の議会に対する理解を深め、市民に開かれた議会を構築する。

事業活動内容

議会広報誌「ひゅうが市議会だより　陽だまり」を、議会広報特別委員会において編集を行い、年4回発行するとともに、誌面をホームページにも掲載した。
〇発行部数　1号あたり18,100部（年4回）
〇掲載内容　各定例会提出議案・請願等の審議結果、委員会審査・一般質問、その他議員活動

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料
ひゅうが市議会だより編集業務委託料　1,223,200

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
市民の議会に対する理解を深めるため、年4回の定例会情報、各種議会活動の掲載に加え、インスタでの情報発信など、委員間で工夫を重ねながら、分かりやすい誌面作りに取り組んだ。編集業務を外部委託することで誌面構成に専門性が加わり、市民や職員から「読みやすくなった」との評価を得ている。
【課題・改善点】
誌面への好意的な評価がある一方で、どの程度情報が伝わっているのかは把握しづらく、若年層への情報発信が課題でもある。誌面と議会ホームページやデジタルメディアとの連携など、多面的な取り組みも必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	07 議会中継に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	1,471,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,480,000	1,471,800	0	8,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,471,800
主な財源					

目的

議会本会議の映像をインターネットで生中継及び録画配信し、パソコンやスマートフォンで視聴できるようにすることで、議会の審議内容や市政の情報発信の機会を増やし、市民への議会活動への理解と関心を高める。

事業活動内容

議会中継システムを活用し、パソコンやスマートフォンから議会の視聴が可能となるよう、本会議の様子をインターネットで中継・配信を行った。
〇中継回数：5回（定例会：年4回、臨時会：1回）　〇議会中継の視聴者数：R3実績：740人
〇中継内容：本会議（議案の提案理由説明、質疑、討論、採決、一般質問）当日の様子をインターネットで同時配信した。また、配信した映像の録画配信を行った。
〇文字通訳情報の表示・配信：令和3年6月議会から文字通訳アプリを導入し、議場内スクリーン及びインターネット配信で文字情報による表示を開始した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
インターネット映像配信業務　1,471,800

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
市民の議会への関心の高まりに対応するため、インターネットで議会中継・録画配信することにより、自宅等で視聴可能としたほか、文字情報の表示開始により、市民にわかりやすい議会情報を発信することができた。また、コロナ禍の中、議会中継・配信により、傍聴に来られない方への対応など感染拡大防止対策にも寄与することができた。
【課題・改善点】
議会中継の際、通信不具合の解消に努め、機器の操作を円滑に行うことで、スムーズな中継配信を行うことが必要である。また、文字情報が誤訳された場合は、その都度正確な表示に変更する作業が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	03 学校建設費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	細島小学校改築事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	144,320			
1006	印刷製本費	14,080			
1007	光熱水費	0			
1101	通信運搬費	251,825			
1206	その他の委託料	625,130			
1401	建設工事費	897,524,139			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	1,895,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
902,792,000	900,454,794	0	2,337,206

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	259,207,000	0	536,400,000	0	104,847,794
主な財源	学校施設環境改善交付金				

目的

危険校舎を改築することで耐震性の向上及び安全で安心な学校施設を整備するとともに、地域のコミュニティの核として周辺地域との複合化を図る。

事業活動内容

細島小学校校舎の改築を行った。

○整備建物
校舎を含めた複合施設
（鉄筋コンクリート造　3,000㎡程度）
外構
避難ブリッジ　2箇所
避難階段　　1箇所

○事業期間（平成29年度（2017年度）～令和3年度(2021年度)）
平成29年度　（2017年度）　：先進地調査・研究
平成30年度　（2018年度）　：基本計画・設計
令和元年度　（2019年度）　：実施設計
令和2・3年度(2020～2021年度)：整備工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

建築主体工事	457,700,000
電気設備工事	96,997,000
解体工事	81,737,700
運動場整備工事	80,784,239
空調換気設備工事	73,279,000
避難路整備工事（繰越分）	24,619,100

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　終了

校舎の建て替えに伴い学校施設と公民館機能を複合化することで、子供たちに多様な学習機会を創出し、児童を含めた地域コミュニティを形成するまちづくりの核としての役割を担う施設を整備することができた。また、地震による津波等の災害から生徒らの安全を確保するため、校舎から直接背面の山へ避難できるブリッジを整備することで、防災機能を強化することができた。

【課題・改善点】
令和3年度をもって事業終了

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	01 文化財の保存と活用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1103	手数料	24,386
0104	会計年度任用職員報酬	2,064,300	1204	調査・計画策定委託料	50,000
0301	職員手当	0	1206	その他の委託料	1,640,540
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0	1301	使用料及び賃借料	98,946
0714	その他の役務提供等に対する報償金	10,000	1816012	県博物館等連絡協議会負担金	10,000
0801	費用弁償	107,387			
0802	普通旅費	91,302			
1001	消耗品費	210,651			
1003	消耗品費被服	1,760			
1004	燃料費	20,000			
1008	修繕料	586,630			
1101	通信運搬費	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,350,000	4,935,902	0	2,414,098

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	62,000	0	3,500,000	1,373,902
主な財源	文化財保存事業補助金、埋蔵文化財調査負担金				

目的

市内に存在する文化財の調査・研究を行い、地域の歴史解明に資するものとし、それらの保存・活用を図ることで、市民の郷土愛を育み後世へ伝えていく。

事業活動内容

○県指定文化財「富高2号墳」「美々津古墳」「鈴鏡塚古墳」「権現原の照葉樹林」の維持管理
○県指定文化財「アカウミガメ及びその産卵地」の保護及び実態調査
○市指定文化財「西南の役細島官軍墓地」の維持管理
○国文祭分野別フェスティバル「九州ウミガメサミット」を実施（展示：351人、サミット：93人）
○埋蔵文化財発掘調査を実施（3遺跡）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

「アカウミガメ及びその産卵地」実態調査業務委託	50,000
県指定文化財維持管理業務委託	405,900
「西南の役細島官軍墓地」維持管理業務委託	149,600
発掘調査に伴う草刈り作業委託	79,200
発掘調査に伴う空中写真撮影業務委託	429,000
発掘調査に伴う機械作業業務委託	561,000
試掘調査埋め戻し作業委託	15,840

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

市内文化財の把握及び適正な維持管理を行った。また、九州ウミガメサミットでは、これまでの調査成果や最新の研究事例を展示・PRし、活動について周知することができた。サミットは環境問題を再認識する機会ともなり、大変好評であった。

【課題・改善点】
発掘調査の出土品を保管展示する場所の整備が課題となっている。また、市が取り組んでいる文化財関係事業の内容を周知する場や機会が少ないので、改善していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	03 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(補助)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	38,967			
1001	消耗品費	31,708			
1006	印刷製本費	0			
1860015	伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金	14,661,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,140,266	14,731,675	0	1,408,591

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,364,000	390,000	3,400,000	0	3,577,675
主な財源	国宝重要文化財等保存整備費補助金（国・県）				

目的

国選定日向市美々津重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的な建造物等の修理・修景事業を行うことで、文化財の保存や景観の維持を図り、郷土愛を育む。

事業活動内容

○伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催（1回、書面決議1回）
○大規模修理事業に対する補助事業を実施（1件）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金

立磐神社拝殿修理（第2期）※繰越明許分	6,661,000
立磐神社本殿弊殿修理（第3期）	8,000,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

伝建事業は35年が経過して次第に歴史的な町並みが復元されてきている。令和3年度は立磐神社本殿弊殿修理の補助事業を実施し、文化財の保存に取り組むことができた。

【課題・改善点】

特定物件の約86%が大規模修理を終えたことから、それらのメンテナンス等に補助を要望する声が年ごとに増加しており、また、少子高齢化と後継者不足も進んでいるため、空き家対策が課題である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	04 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(単独)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	32,000			
0801	費用弁償	6,056			
0802	普通旅費	68,595			
1001	消耗品費	8,000			
1007	光熱水費	24,735			
1106	火災保険料	3,388			
1402	維持補修工事	649,000			
1816010	全国伝統的建造物群保存地区協議会負担金	50,000			
1860015	伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金	3,906,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,952,000	4,747,774	0	204,226

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,747,774
主な財源					

目的

国選定日向市美々津重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的な建造物等の修理・修景事業を行うことで、文化財の保存や景観の維持を図り、郷土愛を育む。

事業活動内容

○伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催（1回、書面決議1回）
○伝統的建造物等の修繕工事を実施（2件）
○修理事業に対する補助事業を実施（12件）
○美々津の歴史的町並みを守る会を「美しい宮崎づくり大賞」に推薦（大賞受賞）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○維持補修工事		小城一成家主屋（建具）	61,000
日向市歴史民俗資料館玄関壁クロス張替工事	363,000	戸高英史家主屋（板壁塗装）	448,000
まちなみセンター漆喰修繕工事	286,000	廣田一雄家主屋（漆喰）	313,000
		山中清一家主屋（白蟻）	96,000
○負担金補助及び交付金		安藤溶家主屋（白蟻）	66,000
保存整備費補助金		小城一成家主屋（白蟻）	123,000
旧下町井戸（屋根修理）	378,000	立縫区公民館（白蟻）	124,000
髙木靖洋家主屋（漆喰・板壁修理）	882,000	内藤直美家主屋（白蟻）	92,000
原田研一家主屋（漆喰・板壁塗装）	1,228,000	矢野義弘家主屋（白蟻）	95,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

伝建事業は35年が経過して次第に歴史的な町並みが復元されてきている。R3年度は修繕工事2件と補助事業12件を実施し、文化財の保存に取り組むことができた。また、美々津の歴史的町並みを守る会が「美しい宮崎づくり大賞」に選ばれ、その活動をPRすることができた。

【課題・改善点】

特定物件の約86%が大規模修理を終えたことから、それらのメンテナンス等に補助を要望する声が年ごとに増加しており、また、少子高齢化と後継者不足も進んでいるため、空き家対策が課題である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	01 就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	147,200			
0801	費用弁償	16,280			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
421,000	163,480	0	257,520

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	163,480
主な財源					

目的

障がいのある幼児、児童及び生徒に対し適正な就学支援を行うことにより、「教育機会の均等」を確保する。また、児童生徒の安全で安心な通学を確保するため、通学区域等の変更を行う。

事業活動内容

就学支援委員会では、教育委員会の諮問に応じ、障がいのある幼児及び児童生徒の調査や審議（年2回）を行い答申した。

通学区域審議会では、教育委員会の諮問に応じ、小中学校の通学区域の変更等について、通学距離や地理的要因等について審議を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

障がいのある幼児及び児童生徒に対し、学校や関係機関等の専門的な立場からの意見を参考にして、適正な就学支援を行うことで、「教育機会の均等」を確保することができた。

【課題・改善点】

就学支援は、年々、相談件数が増加するとともに障がいの状態も多様化しており、児童生徒の特性に配慮し、きめ細かな支援を行うため、学校や各種機関と連携を深めるなど、充実を図る必要がある。通学区域の見直しや統廃合を含めた学校再編整備については、地域住民や保護者の意見に配慮しながら、よりよい教育環境のなかで児童生徒を育んでいけるよう慎重に検討を進めていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	09「囲碁のまち日向市」モデル事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	165,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
165,000	165,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	165,000
主な財源					

目的

子どもたちが囲碁教室で囲碁を学ぶことにより、「はまぐり碁石のまち」日向市における囲碁の普及を図る。

事業活動内容

市内小学校や公民館において、日本棋院日向支部と連携して講師を派遣し、囲碁教室を開催した。

令和3年度は前年度と比較して、囲碁教室の開催回数が増えたものの、コロナ禍による感染症対策のため「はまぐり碁石まつり」が中止となった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

囲碁の次世代育成活動事業業務委託　165,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

市内小学校で囲碁教室を開催したほか、公民館において囲碁教室を48回（令和2年度は46回）開催し、囲碁の普及を図ることができた。

【課題・改善点】

児童生徒数の減少や余暇活動の多様化、また授業時数の確保等により、学校と連携した取組が困難な状況になってきており、事業の充実を図るためには放課後子ども教室や公民館活動等との連携をさらに強化していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	14 読書活動充実事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	4,122,820			
0802	普通旅費	0			
1108	その他の保険料	45,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,496,000	4,167,820	0	328,180

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,167,820
主な財源					

目的
子どもたちの読書活動の拠点である学校図書館の環境等を整備することで、児童生徒の読書量や語彙力を増やすとともに、児童生徒の感性や想像力、表現力の向上を図る。

事業活動内容
各中学校区に、学校図書館司書を配置し、各学校の図書主任（学校図書館担当職員）をはじめ、他の学校の同司書の取組を視察するなど連携を図りながら、学校図書館の運営業務及び児童生徒の読書活動推進のための環境整備等の工夫・改善を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
今後の方向性：拡充

【成果】
学校図書館の環境等を整備したことで、1か月あたりの読書平均冊数が、小学校15.5冊、中学校5.3冊に伸びた。（令和2年度　小学校14.3冊　中学校4.7冊）

【課題・改善点】
児童生徒の読書量が増えており、今後も学校図書館司書による読書活動の推進に向けた取組の効果は大きいと考えられるため、学校図書館司書の資質向上に向けた研修や、学校図書館司書体制の充実について検討する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	01 児童生徒の相談支援体制の充実
小事業	01 スクールサポート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	7,289,504			
0301	職員手当	1,111,653			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,096,048			
0801	費用弁償	179,133			
0802	普通旅費	246,600			
1001	消耗品費	61,431			
1101	通信運搬費	0			
1107	自動車損害保険料	66,842			
1301	使用料及び賃借料	6,837			
1816046	全国適応指導教室連絡協議会負担金	5,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,186,743	10,063,048	0	1,123,695

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	988,000	0	0	9,075,048
主な財源	スクールソーシャルワーカー活用事業補助金				

目的
不登校の児童生徒に対し、学校以外の場における学習や集団生活の場を提供することで、学習の機会を確保するとともに、生活リズムを整え、学校復帰できるようにしていく。また、相談活動をはじめ、きめ細かな支援を行うことで、本人だけでなく保護者の心理的な負担軽減も図る。

事業活動内容
不登校の児童生徒（引きこもり傾向や怠学傾向等の児童・生徒を含む。）に対し、学校、家庭、関係機関が連携を図り、適応指導教室（ひまわりラウンジ）や家庭など、学校以外の環境のもとできめ細かな支援を行った。
・不登校の児童生徒及び保護者への支援
・学校以外の学習の場の提供
・スクールソーシャルワーカーの活用
・不登校の児童生徒に対する適応指導
・不登校の児童生徒及び保護者への相談活動等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
今後の方向性：拡充

【成果】
学習習慣や生活のリズムを身に付けさせることや、コミュニケーションに苦手意識を持つ児童生徒に対して、人との接し方に関するトレーニングを保護者と一体となって取り組んだ。また、各学校においてスクールソーシャルワーカーを積極的に活用し、問題を抱えた児童生徒が置かれている環境改善に向けた働きかけを行ったり、福祉機関等とのネットワークを活用したりすることができた。

【課題・改善点】
学校・家庭・福祉機関等が児童生徒の学校復帰をはじめ、いじめ問題や不登校の未然防止という目的を共有し、教育相談体制の充実など、多様な支援方法を用いて課題解決を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	33 学校ICT環境整備事業（小学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	198,696			
1202	工事施工を伴う委託料	862,400			
1206	その他の委託料	4,255,350			
1301	使用料及び賃借料	23,135,599			
1805090	宮崎県統合型校務支援システム（構築費）負担金	4,486,860			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,744,216	32,938,905	0	805,311

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	32,938,905
主な財源					

目的

ICT機器の整備・充実及びICT支援員による授業支援により、児童の学習意欲や学力の向上を図るとともに、校務支援システムを有効に活用することで、校務の効率化を図り、教職員が児童一人ひとりの実態に応じた指導に、より多くの時間を割くことを可能とする。

事業活動内容

校務支援システムの全校での運用をはじめ、教職員用のパソコンの配備や児童及び教師へのタブレットの配備、ICT支援員（2名）による授業支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事施工を伴う委託料

財光寺小学校ネットワーク機器改修業務委託	844,800
小中学校インターネット設備構築業務委託	17,600

○その他の委託料

日向市ICT支援員配置業務委託	4,192,650
日知屋東小学校キャビネット移設工事業務委託	62,700

成果及び改善点等

今後の方向性　拡充

【成果】

校務支援システムにより、校務の効率化が図られているとともに、ICT支援員の配置により、ICT機器の操作方法の支援や不具合の改善及びICT機器を活用したわかる授業が構築されるなど、当事業による効果は出ている。

【課題・改善点】

児童に1人1台のタブレットが配備され、それらの機器を活用した授業を行う教職員の研修や年度更新作業等の維持管理に係る業務が増加している。また、今後、機器の更新が必要となることから、コスト面も考慮しつつ、年度毎の負担を平準化していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	34 学校ICT環境整備事業（中学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	198,696			
1202	工事施工を伴う委託料	6,050			
1206	その他の委託料	4,238,850			
1301	使用料及び賃借料	15,121,493			
1805090	宮崎県統合型校務支援システム（構築費）負担金	2,563,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,897,000	22,128,089	0	768,911

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	22,128,089
主な財源					

目的

ICT機器の整備・充実及びICT支援員による授業支援により、生徒の学習意欲や学力の向上を図るとともに、校務支援システムを有効に活用することで、校務の効率化を図り、教職員が生徒一人ひとりの実態に応じた指導に、より多くの時間を割くことを可能とする。

事業活動内容

校務支援システムの全校での運用をはじめ、教職員用のパソコンの配備や生徒及び教師へのタブレットの配備、ICT支援員（2名）による授業支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事施工を伴う委託料

小中学校インターネット設備構築業務委託	6,050

○その他の委託料

日向市ICT支援員配置業務委託	4,192,650
大王谷中学校キャビネット移設工事業務委託	46,200

成果及び改善点等

今後の方向性　拡充

【成果】

校務支援システムにより、校務の効率化が図られているとともに、ICT支援員の配置により、ICT機器の操作方法の支援や不具合の改善及びICT機器を活用したわかる授業が構築されるなど、当事業による効果は出ている。

【課題・改善点】

生徒に1人1台のタブレットが配備され、それらの機器を活用した授業を行う教職員の研修や年度更新作業等の維持管理に係る業務が増加している。また、今後、機器の更新が必要となることから、コスト面も考慮しつつ、年度毎の負担を平準化していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	23 日向市教育振興会の助成に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1805079	宮崎県へき地・小規模校教育研究連盟負担金	58,400			
1840033	日向市教育振興会補助金	503,000			
1860024	日向市小・中学校音楽発表会「ひまわりフェスティバル」補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
799,160	561,400	0	237,760

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	561,400
主な財源					

目的
教職員の資質の向上及び教育内容の充実を図るため、校長・教頭・教務主任等の職能別研修、教科別等の研究を行い、児童生徒の豊かな心を育て、生きる力を育む教育を推進する。

事業活動内容
各学校及び教科別などで調査研究事業を推進した。
・各学校が行う調査研究事業
・職能別で教職員が行う研究事業
・教科別等に教職員が行う調査研究事業
・日向市教育研究所の資質の向上等を図るために行う事業

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
教育研究所では、ICTを活用した実践的な取組について研究し、市内の教職員の授業力向上に資する資料の作成や教職員の働き方改革に向けた勤務環境の改善に向けた研究を行うことができた。各小・中学校ごとに合唱や合奏等を発表する小中学校音楽発表会については、コロナ禍により中止とした。

【課題・改善点】
コロナ禍の2年間の間は、教科等研究会の十分な取組に至らない状況も見られたため、研究会体制の整理を改めて行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	25 キャリア教育推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	35,000			
1206	その他の委託料	10,700,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,800,000	10,735,000	0	65,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,400,000	5,335,000
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的
キャリア教育コーディネーターを配置することで、地域の企業や人材を生かした教育活動を充実させ、働く喜びや学ぶ楽しさを実感する機会を増やし、子どもたちが、自立した社会人・職業人としてたくましく社会を生き抜くための基礎となる能力や態度の育成を図る。

事業活動内容
産官学連携のもとに「キャリア教育」を推進する「日向市キャリア教育支援センター」の設置・運営に関する業務委託。
・市、企業、学校との連絡調整を図るキャリア教育コーディネーターの配置
・よのなか花まる先生の雇用　・キャリア教育推進懇話会の開催
・キャリア教育通信の発行　・キャリア教育に関するホームページの運営・更新
・社会体験学習の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
日向市キャリア教育支援センターの
設置・運営に関する業務委託　10,700,000

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
「よのなか教室」について、オンデマンド方式等を活用しながら、コロナ禍でのキャリア教育推進を図ることができたほか、日向市の職業人による働く意味や生き方について学べる動画を制作し、市内小中学校にDVDを配布した。また、キャリア教育推進懇話会を開催し、本市のこれからのキャリア教育のあり方について意見交換を行うことで、キャリア教育活動の充実を図ることができた。
【課題・改善点】
キャリア教育の考え方を、保護者や地域にも周知を図り、「よのなか教室」や「14歳のよのなか挑戦」のさらなる充実に向けた具体的方策の検討が必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	38 外国語教育推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,968,163			
0301	職員手当	464,690			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,978,787			
0801	費用弁償	171,199			
1001	消耗品費	12,980			
1103	手数料	1,302,500			
1107	自動車損害保険料	51,394			
1206	その他の委託料	18,480,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,094,894	35,429,713	0	665,181

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	35,429,713
主な財源					

目的

外国語指導助手（ALT）によるネイティブな音声指導を取り入れ、英語による実践的コミュニケーションの素地を育成し、言語だけではなく、ジェスチャー等を使った豊かな表現方法や外国の多様な文化を理解する機会を提供するとともに、外国語教育における指導の工夫改善を図る。

事業活動内容

小学校及び中学校の全学年において、外国語教育の充実を図った。
・外国語指導助手（ALT）を派遣（業務委託4名、市雇用3名）
・外国語教育アドバイザーを配置
・外国語教育の指導方法について情報提供

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市外国語指導助手業務委託料　18,480,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

ALTを活用した効果的な外国語教育を行ってきたことで、児童生徒が主体的に取り組めるような外国語活動の授業実践を行えているほか、教師の指導力の習熟も見られた。

【課題・改善点】

これまでの取組により、各家庭においても外国語教育への意識が高まってきている中、ALTを活用した効果的な指導体制を維持、継続し、外国語に慣れ親しむ雰囲気の醸成や、グローバルな視点に立って、活躍することのできる人材の育成を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	50 教職員の働き方改革推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	9,558,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	32,975			
0801	費用弁償	288,174			
1206	その他の委託料	978,340			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,334,340	10,857,489	0	476,851

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	8,736,000	0	0	2,121,489
主な財源	スクール・サポート・スタッフ配置事業補助金				

目的

教職員の業務負担の軽減を図ることで、教職員が児童生徒に向き合う時間や、授業の準備時間等を確保し、授業を中心とした質の高い教育活動につなげる。

事業活動内容

学校における「働き方改革」を推進することにより、授業を中心とした質の高い教育活動の充実を図った。
・スクール・サポートスタッフの配置12名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市立小中学校
留守番電話装置設置業務委託　978,340

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

業務に追われる教員をサポートすることにより、教員が児童生徒と向き合う時間を確保することができてきている。また、授業の準備や印刷だけでなく、新型コロナウイルス感染症対策として校内の消毒などにも従事し、安全で安心な学校づくりも含め取り組むことができた。

【課題・改善点】

業務の負担軽減だけでなく、コロナ禍においては感染防止対策のための消毒作業など必要不可欠な役割も担っており、今後も、現在の配置について維持・継続していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	60 コミュニティ・スクール活性化推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	2,306,400			
0802	普通旅費	23,186			
1001	消耗品費	398,000			
1101	通信運搬費	220,959			
1108	その他の保険料	63,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,013,000	3,011,545	0	1,455

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,006,000	0	0	1,005,545
主な財源	地域学校協働活動事業補助金				

目的

保護者や地域の方々が学校運営に参画することにより、教育に関するニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となってよりよい教育の実現を図る。

事業活動内容

学校運営協議会では、地域住民、保護者から構成された委員と小中学校がともに学校運営に携わっていく取組を推進した。
また、地域学校協働活動事業では、地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働しながら様々な活動を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍により、例年と比べ地域と協働した取組は制限されたものの、可能な範囲で地域の課題解決にも児童生徒が関わるなど、学校と地域が一体となった活動を推進することができた。

【課題・改善点】

地域学校協働活動については、全ての中学校区に地域と学校が一体となった教育を推進するための地域学校協働本部を整備し、その活動を開始した。今後は、更に地域との連携を深めるとともに、学校を核とした地域づくりのために具体的に実践していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	03 特別支援教育の充実
小事業	01 障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	26,618,332			
0301	職員手当	5,275,166			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	732,226			
0801	費用弁償	1,047,927			
0802	普通旅費	27,188			
1001	消耗品費	40,638			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,388,000	33,741,477	0	4,646,523

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	33,741,477
主な財源					

目的

一人一人の課題に応じた適切な指導を行うことで、学習上・生活上の困難さの改善及び克服を図る。
また、病気や障がいのある児童生徒の個々のニーズに応じた生活支援や学習支援を行うことにより、児童生徒の心の安定や授業・学習運営の円滑な実施を図る。

事業活動内容

病気や障がいなどにより、特別な支援が必要な児童生徒が、学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立を図るために必要な指導や支援を図った。
・通級指導教室　チャレンジ教室「ひなた」の設置　1人
・特別支援教育支援員の配置　22人
・特別支援教育相談員の配置　1人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

特別支援教育支援員を配置することで、日常生活介助や学習活動等に関する適切な支援体制を整えていくことができた。また、チャレンジ教室「ひなた」の通級指導教室においては、在籍児童をはじめ就学前の子どもたちのため、特性に合わせた支援を行うことができた。

【課題・改善点】

障がいや病気により、特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあるため、学校や関係機関と連携し、日常生活や学習に対して、ニーズに合わせた支援を行うとともに、支援体制の充実を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進
小事業	01 就学時健康診断に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	9,900			
1001	消耗品費	78,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
105,000	87,900	0	17,100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	87,900
主な財源					

目的

就学予定者の心身の健康状態を把握し、保健上必要な助言や健康指導、適正な就学指導を実施する。

事業活動内容

学校教育法施行令第2条の規定により、次年度就学予定者に対し、市内就学予定の小学校11箇所で健康診断を行った。就学予定者の心身の状況を把握するために、内科・歯科・眼科健診、面接・視力・聴力検査を実施し、保健上必要な指導・助言を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

就学時健康診断を行い、健診結果に基づき、治療が必要な幼児の保護者には、早期に医療機関を受診をするように勧奨するとともに、学校生活をおくる上で必要な助言を行うことで、適正な就学を図ることができた。

【課題・改善点】

就学時健康診断について、心身の状況を的確に判断し、保健上必要な受診の勧奨をはじめ、安心して就学できるよう関係機関と連携を図りながら、支援していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進
小事業	02 保健体育の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	14,709,666	1860006	県中学校体育大会派遣補助金	3,046,000
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	26,000			
1006	印刷製本費	307,483			
1011	医薬材料費	58,300			
1206	その他の委託料	17,439,953			
1301	使用料及び賃借料	32,120			
1805014	宮崎県学校保健会負担金	11,252			
1805060	宮崎県中学校体育連盟負担金	38,869			
1806064	日向地区中学校体育連盟負担金	69,800			
1860003	日向市学校保健会補助金	0			
1860004	日向市小学校体育連盟補助金	10,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,751,000	35,749,443	0	1,001,557

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	35,749,443
主な財源					

目的

学校健診の実施により、疾病等の早期発見・早期治療等の勧奨等を行い、重症化を防ぐとともに、児童生徒、教職員の健康に対する意識の醸成を図る。また、児童生徒のスポーツ等を通じた相互交流により、他者との視点を広げるとともに、競技力の向上と健康の増進を図る。

事業活動内容

各学校や学校医・学校歯科医・関係事業所と連携し、学校健診を実施した。各種健康診断の実施や、保健教育の強化により、健やかな人生を送るための健康づくりについて、自ら学び、考え、実践する児童を育成した。また、陸上教室等の各種大会への参加等を奨励し、競技を通じての満足感や達成感を体験するなど学校生活の充実を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

貧血検査・小児生活習慣病予防健診業務委託料	2,412,740
腎臓病検診業務委託料	5,920,798
心臓病検診業務委託料	3,957,872
教職員健康診断業務委託料	2,919,290
小児生活習慣病予防健診判定及び事後指導業務委託	1,655,995

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

学校健診は、学校医・学校歯科医の協力のもと感染症対策を行い、全学校で実施した。小児生活習慣病予防健診後の個別栄養相談については、コロナ禍の影響により対面での実施はできなかったが、宮崎県栄養士会日向事業部の協力により、個別に必要な栄養指導や資料を作成し提供することができた。

【課題・改善点】

学校健診を、感染予防対策を図りながら安全に実施するため、学校と学校医・学校歯科医と実施方法や日程調整など、十分に連携を図っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進
小事業	03 安全教育の推進に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	6,467			
1008	修繕料	0			
1011	医薬材料費	1,697,003			
1103	手数料	1,157,310			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	4,669,070			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,736,000	7,529,850	0	206,150

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,972,000	5,557,850
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

目的

学校の環境を点検し、良好に保つことにより、児童生徒が安全で、安心して学校生活を送ることができる。

事業活動内容

小中学校の環境における各種点検を実施した。
・学校保健安全法、学校環境衛生基準に沿った、学校薬剤師による学校環境衛生検査（ダニ・アレルゲン・ホルムアルデヒド等）の実施。
・飲料水水質を常に良好に保つための残留塩素測定の実施。
・小中学校及び市立幼稚園の保健関係備品の点検。
・児童生徒の学校管理下の活動における災害共済給付制度への加入。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

学校保健安全法に基づき、学校と学校薬剤師と連携を図り、飲料水・プール水の水質管理・環境衛生検査を適宜実施し、改善が必要な場合は、学校薬剤師からの学校に対する助言により改善を図ることができた。

【課題・改善点】

児童生徒が、安全に、安心して学校生活が送れるようにするために、学校薬剤師による学校環境衛生検査は必要不可欠であるため、今後も連携を図り、必要に応じて助言を受けながら、学校環境衛生基準に基づいた環境整備に取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	39 コミュニティ・スクール（小学校）に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	965,400			
0801	費用弁償	17,390			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,115,000	982,790	0	132,210

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	982,790
主な財源					

目的

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図り、学校運営に地域の声を積極的に生かして、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。

事業活動内容

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において、地域住民、保護者等で構成された委員と小学校がともに学校運営に携わり、取組を推進した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充

学校の取組状況の報告や学校運営協議会の制度についての研修などに取り組むことで、地域とともにある学校づくりを推進することができた。

【課題・改善点】

コミュニティスクール推進上の課題や各学校の状況を把握し、研修の充実を図ることで、課題の解決につなげるとともに、地域の方々の参画を得ながら、さらに地域に開かれた学校づくりを推進していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	28 教育振興に要する経費（小学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	6,409,530			
1006	印刷製本費	1,136,080			
1008	修繕料	24,200			
1301	使用料及び賃借料	315,335			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	5,091,526			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,529,000	12,976,671	0	552,329

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	402,000	0	0	0	12,574,671
主な財源	理科教育等設備整備費補助金				

目的

小学校における教材・備品等の整備を進め、教育の振興を図る。

事業活動内容

○主な内容
・消耗品費（教師用教科書、指導書、テスト用紙など）
・修繕料（備品などの修繕）
・印刷製本費（社会科副読本）
・備品購入費（学校図書館用図書、理科振興備品、教材備品）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

大型テレビや机、椅子など、各学校が同じ備品を購入する際は合同で入札を行うなど、予算の効率的な執行を図りながら、各校が必要とする教材等の整備を行うことができた。

【課題・改善点】

総合計画の「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」の実現のために、予算をより効果的・効率的に運用しながら計画的に整備を進める必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	40 コミュニティ・スクール（中学校）に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	312,000			
0801	費用弁償	6,364			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
339,000	318,364	0	20,636

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	318,364
主な財源					

目的

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図り、学校運営に地域の声を積極的に生かして、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。

事業活動内容

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において、地域住民、保護者等で構成された委員と中学校がともに学校運営に携わり、取組を推進した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：拡充

コロナ禍の影響もあり、学校の取組状況の報告や同協議会の制度についての研修などが学校運営協議会活動の中心となっているが、一部の学校では同協議会と連携し「制服」の見直しに取り組むことができた。

【課題・改善点】

コミュニティスクール推進上の課題や各学校の状況を把握し、研修の充実を図ることで、課題の解決につなげるとともに、地域の方々の参画を得ながら、さらに地域に開かれた学校づくりを推進していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	30 教育振興に要する経費（中学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,195,460			
1008	修繕料	60,500			
1301	使用料及び賃借料	239,488			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	5,242,527			
1806010	日向東臼杵南部地区進路指導協議会負担金	18,000			
1806023	日向地区中学校英語教育研究会負担金	16,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,432,000	7,772,675	0	659,325

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	637,000	0	0	0	7,135,675
主な財源	理科教育等設備整備費補助金				

目的

中学校における教材・備品等の整備を進め、教育の振興を図る。

事業活動内容

○主な内容
・消耗品費
・修繕料（備品などの修繕）
・備品購入費（学校図書館用図書、理科振興備品、教材備品）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

大型テレビや机、椅子など、各学校が同じ備品を購入する際は合同で入札を行うなど、予算の効率的な執行を図りながら、各校が必要とする教材等の整備を行うことができた。

【課題・改善点】

総合計画の「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」の実現のために、予算をより効果的・効率的に運用しながら計画的に整備を進める必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	03 学校給食の充実
小事業	02 給食調理に要する経費（学校給食センター）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	200,000			
1203	事業委託料	141,834,000			
1840024	日向市学校給食会補助金	4,039,156			
2001	貸付金	10,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
156,073,156	156,073,156	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	10,000,000	146,073,156
主な財源	学校給食会貸付金収入				

目的

安全・安心な学校給食を提供するとともに、円滑で安定した学校給食運営を実施する。

事業活動内容

日向市内の市立幼稚園・小学校・中学校への安全・安心な学校給食の安定した提供を行った。
○消耗品費（防水ハンディ温度計、調理用バケツほか）
○委託料（調理業務、搬送業務）
○補助金（日向市学校給食会の運営補助及び地産地消食材費の補助）
○貸付金（日向市学校給食会物資会計運転資金の貸付）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（事業委託料）

学校給食調理業務	108,900,000
学校給食搬送業務	32,934,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

安全・安心な学校給食の提供について、安定した運用のもと実施することができた。

【課題・改善点】

物価高騰により、食材価格も上昇していることから、国・県の補助事業等の活用のほか、栄養教諭、学校給食会と連携し、食材発注や献立等の工夫が必要となっている。

また、給食センター供用開始から7年が経過していることから、調理器具・設備等のメンテナンス、修繕等についても安定した予算計上を行う必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	03 学校給食の充実
小事業	03 安全衛生対策に要する経費（学校給食センター）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	300,000			
1003	消耗品費被服	57,552			
1009	賄材料費	465,000			
1103	手数料	694,143			
1201	施設維持管理委託料	649,000			
1301	使用料及び賃借料	25,960			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,345,861	2,191,655	0	154,206

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,191,655
主な財源					

目的

衛生的な施設・作業環境等を整備することにより、児童生徒への安全・安心な学校給食を提供する。

事業活動内容

施設及び職員の衛生保持に係る資材等の調達及び法定検査等を行った。
○消耗品費（消毒液、洗剤、手袋、タオルペーパー、白衣ほか）
○賄材料費（保存食）
○手数料（検便検査、食材食品調査、排水水質検査ほか）
○使用料及び賃借料（施設内衛生マット）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（施設維持管理委託料）
総合環境衛生管理（害虫駆除）業務　649,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
給食センター職員の感染等による学校給食の停止はなく、安全・安心な学校給食を安定して提供することができた。
【課題・改善点】
安全衛生対策は、安全・安心な学校給食を提供するために徹底して行う必要があるため、引き続き、調理業務・搬送業務委託事業者と一体となって衛生管理、安全指導等を含めて取り組んでいく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	03 学校給食の充実
小事業	09 学校給食費公会計化導入事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	7,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
180,000	7,800	0	172,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,800
主な財源					

目的

市内小中学校20校及び市立幼稚園1園の学校給食費を市の会計に組み入れる「公会計制度」を導入し、学校、園が行っている学校給食費の徴収・管理業務を市に移行することで、教職員等の業務負担の軽減、保護者の利便性の向上、徴収管理の効率化を図る。

事業活動内容

学校事務代表者会議で、学校給食費徴収管理業務における現状と課題、学校と市の連携等について協議するとともに、庁内関係部課担当者で組織した日向市学校給食費公会計導入検討委員会で、公会計化に伴う業務や移行スケジュール、学校給食費管理システムの導入等について協議した。また、本市と児童生徒数が同規模であり、令和3年4月から公会計制度を導入している大分県日田市を視察し、調査研究を行った。
○学校事務代表者会議、日向市学校給食費公会計導入検討委員会の回数　各3回
○学校給食費管理システムデモの回数　4回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充
日向市学校給食費公会計導入検討委員会等での協議を通して、課題や今後の取組の方向性の整理ができた。また、先進地視察により公会計化への円滑な移行に係る取組について学ぶことができた。

【課題・改善点】
令和5年4月からの学校給食費の公会計化に向け、例規の整備、学校給食費管理システムの導入、保護者への手続の説明などについて、学校、関係機関等と連携を図ることが、円滑な移行につながる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		

事業	
大事業	05 図書館サービスの充実
中事業	01 図書館機能の充実
小事業	01 図書館サービス・資料の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,513,463			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	8,955,864			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,500,000	10,469,327	0	30,673

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,469,327
主な財源					

目的

新刊図書をはじめとした図書資料の的確な収集・整理・保存を行い、蔵書の充実を図るとともに、市民の幅広いニーズに応えるため、リクエストや国内外の情勢に対応した選書を行う。また、インターネット用パソコンの設置、レファレンスサービス等により市民の自主的な学習活動を支援する。

事業活動内容

○図書資料の購入（本館及び地区公民館図書室）
・消耗品費（新聞・雑誌）
・図書（一般・児童用図書、AV（DVD、CD等）・郷土資料）
○年間貸出冊数　169,866冊
○年間図書等受入数（図書、AV）　4,946冊

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍の影響で、臨時休館や館内利用の制限を余儀なくされたため、開館日数も貸出冊数も減少したが、臨時休館を活用して除籍作業を行い、新型コロナ対策予算分と併せて蔵書を整備することで、例年以上に図書サービスの充実を図ることができた。

【課題・改善点】

今後は極力休館を避け、引き続き感染対策を講じながら、安全安心な利用を継続していく必要がある。さらに、感染リスクへの不安から来館を躊躇する利用者への対応を検討する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		

事業	
大事業	05 図書館サービスの充実
中事業	02 読書活動の推進
小事業	01 児童サービスに要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,200,000	1,200,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,200,000
主な財源					

目的

乳幼児から小学生までを主な対象として、読書に親しむ機会を提供し、幼児期から読書習慣を身につけ読書意欲を高めることができるよう支援する。

事業活動内容

○ブックスタート
・7か月児健診時に絵本1冊、布製バッグ、説明パンフレットを配布した。
○ブックスタートプラス
・1歳6か月児健診時に絵本1冊を配布した。
○ブックスタートツープラス
・3歳児健診時に絵本1冊を配布した。
○読書活動の推進に係る事業
・館内おはなし会　毎月3回　・としょかんまつり　11月　・夏休み子ども学習会　7月
・クリスマスおたのしみ会　12月　・ブックバトン　7～8月　・団体貸出　毎月

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍の影響で、年度前半の春のとしょかんまつりやおはなし会が中止となったが、後半は秋のとしょかんまつりを2日間開催し、おはなし会についても人数制限を行いながら開催することができた。また、ブックスタート事業は乳幼児健診と併せて実施し、全ての対象者に絵本の提供ができた。

【課題・改善点】

ブックスタート事業では、対面して保護者に説明する機会が減っているため、パンフレットや案内資料等の配布により、親子で本を通してふれ合う機会を持つことの重要さを伝える必要がある。また、引き続き感染対策を講じながら、おはなし会やとしょかんまつり等のイベントを開催していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		

事業	
大事業	05 図書館サービスの充実
中事業	02 読書活動の推進
小事業	02 生涯学習ボランティア（図書館）の育成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
1108	その他の保険料	19,200			
1840017	図書館ボランティア「友の会」補助金	11,712			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
73,000	30,912	0	42,088

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	30,912
主な財源					

目的

図書館ボランティアを育成し、市民との協働による図書館づくりを推進する。

事業活動内容

図書館ボランティア「友の会」の活動を支援するとともに、図書館や保育園等でのおはなし会や図書館の環境整備を協力しながら行った。また、読み聞かせボランティアの養成講座を県と協力して実施した。

○図書館ボランティアの活動人数（延べ人数）　124人
○読み聞かせボランティア養成講座の開催回数　1回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍の影響で、ボランティアの活動やおはなし会等のイベントが制限された中でも、極力ボランティアの活躍の場を設けるとともに、植栽や本の修理については引き続き取り組むことができた。また、新たなボランティアの開拓に向けた市内の高校との協議や、県と協力して読み聞かせボランティア養成講座を開催することができた。

【課題・改善点】

ボランティアのメンバーや活動が固定化してきているため、新たなボランティアの拡充と自由な発想を取り入れた活動に取り組む必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	02 競技スポーツの推進
小事業	07 競技スポーツ推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
1001	消耗品費	12,974			
1203	事業委託料	428,600			
1206	その他の委託料	70,000			
1816014	延岡西日本マラソン大会負担金	886,309			
1860011	県民総合スポーツ祭選手派遣費補助金	1,201,373			
1860042	日向市体育協会補助金	2,642,000			
1860043	日向市スポーツ少年団補助金	0			
1860047	日向市カップ九州ジュニアサッカー宮崎県大会補助金	123,000			
1860052	日向お船出九州少年ソフトボール大会補助金	0			
1869005	日向市文化スポーツ振興基金補助金	1,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,093,000	6,664,256	0	1,428,744

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,727,000	4,937,256
主な財源	文化スポーツ振興基金利子、文化スポーツ振興基金繰入金				

目的

小学校・中学校・高校と本市スポーツ協会加盟の競技団体と連携し、本市のスポーツ競技力の向上を図るとともに、令和9年に本県で開催される国民スポーツ大会に向けて、アスリートの育成に努める。

事業活動内容

令和3年度は感染症対策に配慮し、リモート方式も併用した形で競技力向上のための講演会・講習会を実施した。また、令和2年度に引き続き、コロナ禍の影響で事業や大会を中止や縮小する競技団体もあったが、令和2年度に比べると回復傾向にあった。

○スポーツ競技力向上のため、各種競技団体等への支援に努めた。
・みやざき県民総合スポーツ祭選手派遣補助金（ 6競技 337人が参加）
・日向市カップ九州ジュニアサッカー宮崎県大会（ 89チーム 1,477人が参加）
・日向市文化スポーツ振興基金（38大会 264人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
スポーツアスリート事業　70,000
○事業委託料
ジュニアスポーツ育成事業　101,300
日向市総合文化祭（体育部門）事業　327,300

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

コロナ禍の影響を受けながらも、各々の競技ごとに競技別ガイドラインを作成したり、市の通知を遵守しながら活動を再開したりする動きが多く見られ、大会数も増加傾向にあった。市としても感染症対策に配慮しながら競技力向上の取組を行うことができた。

【課題・改善点】

令和9年度本県開催予定の国民スポーツ大会等を見据え、それらの大会の主役となる選手を育成するためには、小学校、中学校、高校の連携やスポーツ団体の指導者等をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に継続的に取り組むことが重要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	02 競技スポーツの推進
小事業	08 国民スポーツ大会宮崎大会推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	7,800			
1206	その他の委託料	770,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
969,000	777,800	0	191,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	770,000	0	0	7,800
主な財源	国民スポーツ大会市町村競技施設整備補助金				

目的

令和9年（2027年）度に日向市で開催される予定である、第82回国民スポーツ大会(みやざき2027)の本大会及びリハーサル大会の円滑な競技運営を目指す。

事業活動内容

日向市お倉ヶ浜海水浴場を会場とするビーチバレーボールについて、大会施設基準を満たす競技施設の整備に係る基本設計を行い、競技に必要な施設の配置計画・概算事業費の算定を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
2027宮崎県国民スポーツ大会
特殊競技会場設計業務委託　770,000
（ビーチバレー）

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

令和9年度の大会開催に向け、大会施設基準を満たす競技施設の整備に必要な用具や備品、諸経費等について把握することができた。

【課題・改善点】

会場が砂地の自然海浜であるため、競技施設周辺に設置する仮設物等の規模や配置、施工手順等について検討していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	01 芸術文化活動の推進
小事業	01 芸術文化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	70,400	1103	手数料	51,975
0104	会計年度任用職員報酬	1,393,308	1105	筆耕翻訳料	5,000
0301	職員手当	193,252	1108	その他の保険料	1,691
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	239,351	1203	事業委託料	2,491,000
0716	記念品料	76,600	1301	使用料及び賃借料	1,105,140
0801	費用弁償	28,255	1816047	国文祭・芸文祭日向市実行委員会負担金	1,983,632
0802	普通旅費	6,500	1860048	日向市文化連盟事業補助金	380,000
1001	消耗品費	115,693			
1005	食糧費	5,000			
1006	印刷製本費	54,800			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	81,920			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,209,000	8,333,517	0	1,875,483

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,593,000	4,740,517
主な財源	文化スポーツ振興基金繰入金				

目的

様々な芸術文化事業を実施し、芸術文化の振興を図る。

事業活動内容

○日向市文化功労者の選考及び授与式の開催
○市民参加型の文化事業の開催
・第57回日向市総合文化祭
○日向市文化連盟の活動支援
○第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会の分野別フェスティバル事業の開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
第57回日向市総合文化祭実施運営業務　416,000
第41回日向市美術展覧会実施運営業務　2,075,000

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

日向市美術展覧会や総合文化祭は、市民の芸術文化活動の発表の場であり、また、市民もそれらを享受できる機会として捉えていることから、コロナ禍による感染症対策を工夫しながら、例年どおりの開催に努め、芸術文化意識の向上を図ることができた。

【課題・改善点】

各芸術文化団体の高齢化が進展し、担い手不足が深刻化していることから、各団体と連携して市民がより芸術文化に親しみ、将来の担い手確保につながる環境づくりを推進していく必要がある。
また、各事業において市民の参加意欲や興味を高める事業を展開していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	03 地域の先人の顕彰と活用
小事業	01 牧水顕彰事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	13,540			
0802	普通旅費	166,996			
1001	消耗品費	480			
1101	通信運搬費	38,520			
1103	手数料	0			
1206	その他の委託料	1,954,784			
1816029	若山牧水賞運営委員会負担金	500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,985,000	2,674,320	0	310,680

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,674,320
主な財源					

目的

地域の先人を顕彰し、短歌文学の普及や文化の振興を図るとともに、牧水を生かした地域づくりや「牧水の生誕地・日向市」の魅力を全国に発信する。

事業活動内容

国民的歌人・若山牧水をはじめとする郷土の偉人の功績について広く周知を図り、生誕地としての強みを生かした事業を実施した。
・第11回青の國若山牧水短歌大会（全国の一般と県内の小・中・高校生を対象に開催）
・第11回牧水・短歌甲子園（全国の高校生を対象に開催：リモート審査）
・第71回牧水祭

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

第11回青の國若山牧水短歌大会開催業務	1,300,000
第11回牧水・短歌甲子園開催業務	583,000
第71回牧水祭開催業務	71,784

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

牧水祭の規模縮小や牧水・短歌甲子園のリモート開催などコロナ禍による制約を受けたが、青の國短歌大会の表彰式を2年ぶりに開催するなど、可能な範囲で継続した事業を実施することができ、顕彰活動の維持を図ることが出来た。

【課題・改善点】

若い世代など、幅広い世代の市民に参加・参画してもらえるような顕彰事業を展開し、牧水や短歌の愛好者を増やしていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	03 放送大学支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,448			
1852001	放送大学宮崎学習センター振興協議会補助金	861,000			
1867001	放送大学入学奨励費補助金	43,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,000,000	909,948	0	90,052

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	909,948
主な財源					

目的

放送大学宮崎学習センターの所在市として、学習センターの円滑な推進を支援するとともに、市民の生涯学習の推進を図る。

事業活動内容

(1)放送大学入学奨励費補助金
　放送大学に入学した市民に対し、入学料の2分の1を補助した。
(2)放送大学宮崎学習センター振興協議会補助金
　放送大学宮崎学習センター振興協議会が行う放送大学宮崎学習センターの支援事業に対して助成した。
〇主な事業内容
　大学入学のPR活動及び学生のサークル活動、学園祭への助成、優秀学生表彰等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

放送大学宮崎学習センター振興協議会による学生数を増やす取組の一つとして、体験入学への助成を行っていることも影響し、全体の学生数は増えてきており、その成果でもあると考えられる。

【課題・改善点】

放送大学宮崎学習センター全体の学生数は増加しているものの、そのうち日向市民の数は減少傾向にある。これまでの市の広報を使っての周知のほかに、体験入学の継続した取組や市民の関心がある公開講座の開催を通じて、放送大学に関心を持ってもらう仕組みを作っていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	03 地域が一体となった青少年の育成		
事業 中事業	01 青少年教育の充実		
事業 小事業	01 子ども情報提供事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	48,000			
1001	消耗品費	26,767			
1006	印刷製本費	306,900			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
415,000	381,667	0	33,333

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	381,667
主な財源					

目的
児童生徒等に対し、みらくるキッズを通じて体験活動等の情報を提供することにより、多くの子どもたちに各種の体験をしてもらう契機とし、家族間のコミュニケーションの醸成を図る。

事業活動内容
(1)情報誌　みらくるキッズ発行
①年3回発行　市内小・中学校児童生徒及び公立公民館や市内幼稚園・保育所へ配布
②編集委員会の開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　維持
みらくるキッズの内容の見直しを行い、親子で一緒に取り組める特集記事を多く掲載するなど誌面の充実を図ることができた。
【課題・改善点】
年の発行回数を4回から3回にしたことにより、児童生徒からの投稿数は減少したが、親子で取り組める記事を多く掲載したことで、家族間のコミュニケーションを図ることにつなげることができたと考える。編集委員が切望している児童生徒を編集委員として募集し、誌面の作成に携わってもらう取組は、コロナ禍により実施できなかったため、今後において実施に向けた取組を進めていく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	03 地域が一体となった青少年の育成		
事業 中事業	01 青少年教育の充実		
事業 小事業	02 地域教育力活性化推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	516,232			
1203	事業委託料	238,627			
1860001	児童生徒健全育成事業補助金	291,865			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,380,000	1,046,724	0	333,276

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	500,000	546,724
主な財源	青少年健全育成寄附金				

目的
地域の子どもと大人の世代間交流活動や、各中学区における学校、保護者及び地域住民が相互に連携・協力して行う活動をとおして、家庭及び地域社会がもつ教育力を高めるとともに、子どもたちの豊かな心と確かな学力及びたくましく生きる力の育成を図る。

事業活動内容
(1)地域教育力活性化推進事業の主な内容
①自然体験活動　②伝統芸能の伝承活動　③福祉体験活動　④社会貢献活動　⑤学習支援
(2)児童生徒健全育成事業補助金の主な補助対象事業
①児童生徒意見発表会　②学習発表会　③地域奉仕（福祉）作業　④教育講演会
⑤地域文化の継承活動　⑥地域環境美化活動
(3)青少年健全育成寄附金を活用し、児童生徒の登校時の安全を見守る市内小学校の交通安全監視員へパトロール用ベストと帽子を配布した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
地域教育力活性化推進事業業務　238,627

成果及び改善点等
【成果】　今後の方向性　拡充
コロナ禍により活動することができた団体数が前年度に比べ、1団体減り、全体の参加者も減少した。一方、取り組むことができた団体にあっては、農業体験等を通じて、地域の大人と子どもが一緒になって活動することができ、自己有用感や自己肯定感を高める取組につなげることができた。

【課題・改善点】
申請団体を増やすため、これまでの市の広報やホームページ以外にも育成会の会議に参加したり、区長会で説明したりするなどして、これまで以上に周知を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	03 放課後子ども教室推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	4,162,065			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	55,002			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	114,266			
1101	通信運搬費	128,972			
1103	手数料	3,245			
1106	火災保険料	18,086			
1108	その他の保険料	100,000			
1201	施設維持管理委託料	37,950			
1203	事業委託料	3,480,059			
1301	使用料及び賃借料	36,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,888,000	8,166,245	0	1,721,755

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,642,000	0	979,000	3,545,245
主な財源	放課後子ども教室補助金、放課後子ども教室利用料				

目的

放課後等において、地域住民の参画により児童の活動支援を行うことで、地域全体で子どもを育てるという意識の醸成を図るとともに、児童が様々な大人との関わりのなかで社会規範を身につけられる場の提供を行う。

事業活動内容

○事業内容等
学校の放課後等に小学校や公民館等を活用し、地域住民の参画を得て、子どもたちとともに勉強、スポーツ、文化活動等を行う事業を実施した。

○実施場所等
6校区、7教室
細島小、塩見小、平岩小、美々津小、寺迫小、東郷小2教室

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
旧鶴野内保育園
消防防災設備保守点検業務　37,950
放課後子ども教室推進事業業務　3,480,059

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
児童の放課後における安全で安心して過ごすことのできる居場所として、地域住民の参画を得て、開設することができた。また、登録児童数もこれまでで1番多い、221人であった。

【課題・改善点】
放課後子ども教室に対する保護者のニーズは高いものの、活動を見守るサポーターが減少している傾向にあるため、新たに市の広報紙を使うなどして、広く募集する必要がある。また、サポーターの研修も充実させ、資質の向上を図り、よりよい教室の運営につなげていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	06 ふるさと再発見！子どもの夢実現サポート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	12,000			
0802	普通旅費	200,600			
1001	消耗品費	811			
1005	食糧費	800			
1103	手数料	26,400			
1301	使用料及び賃借料	136,136			
1860051	子どもの夢サポート事業補助金	218,434			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,564,000	595,181	0	968,819

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	564,000	31,181
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金利子、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

目的

夢に向かって取り組む過程において、多くの大人と関わり、また様々な課題に対してチャレンジする青少年を育てることにより、日向市の次代を担う人材の育成を図る。市内の文化施設等を見学する機会をつくることで、優れた施設や偉人の功績を見直し、ふるさと日向市の良さを再発見することにつなげる。

事業活動内容

(1) 日向市の未来を担う中学生が将来の「なりたい自分」を思い描き、様々な大人のサポートを受けながら、自らの夢に向かってチャレンジする取組を支援するとともに、将来の進路選択の幅を広げることにつなげた。
・中学生を対象に3名を選出し、夢や目標に向かってチャレンジするための機会を設け、必要な経費を補助した。
(2) 小学校6年生、中学校3年生を対象に若山牧水記念文学館や市内の文化施設等を見学する際のバスの借り上げについての支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
選考会でのプレゼンテーションを通して、相手に自らの思いを伝え、また現地に赴いた際には受入先に対して積極的に質問するなど取組を通して自らチャレンジしていく姿勢が感じられ、大きな成長が見られた。この取組を契機として、世界で活躍する人材とふるさと日向市を愛し、貢献する人材の育成につなげていく。
【課題・改善点】
応募者が少ないことはコロナ禍の状況も要因の一つとして考えられるが、募集チラシ以外の周知方法についても検討を行い、応募者の増加につなげていきたい。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	03 地域が一体となった青少年の育成		
事業 中事業	02 青少年の健全育成		
事業 小事業	01 青少年育成センター事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0801	費用弁償	2,600			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	35,774			
1006	印刷製本費	36,300			
1101	通信運搬費	90,329			
1805028	宮崎県青少年育成県民会議負担金	35,700			
1816028	宮崎県青少年補導センター連絡協議会負担金	1,000			
1840035	市青少年指導員連絡協議会運営補助金	641,957			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,192,000	843,660	0	348,340

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	843,660
主な財源					

目的

日向市青少年育成センターを設置することにより、悩みなどを気軽に相談できる場を作り、解決の一助とする。また、青少年の指導に関係のある団体や行政機関、学校と連携し、青少年の非行の未然防止につなげ、青少年が安全で安心して暮らすことのできる地域づくりに努めるとともに健全育成を図る。

事業活動内容

○青少年育成センターの職務内容
①青少年健全育成事業の推進
②非行防止事業（各地区内イベントでの巡回指導）
③環境浄化事業（有害図書の調査、回収活動）
④教育相談事業（教育相談室との連携）
⑤啓発事業（チラシ等による啓発）

○市青少年指導員連絡協議会補助金
青少年指導員79名の地域パトロール経費（謝金、傷害保険など）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

新型コロナウイルスの影響により自粛していた青少年指導員による巡回活動は、活動機会を徐々に増やしたことで前年度に比べ増加した。青少年指導員による巡回活動は非行の抑止力にもなっており、今後も学校や警察など関係団体と連携を図りながら、取組を推進していく必要がある。

【課題・改善点】

青少年育成センターにおける相談受理件数が減少しているが、潜在的に相談先を求めている青少年やその家族もいると考えられるため、相談室の案内チラシの内容を工夫するとともに、相談に対応する社会教育指導員がメディア安全に関する研修を受講するなどして資質の向上に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	04 社会教育の推進		
事業 中事業	01 生涯学習環境の充実		
事業 小事業	02 社会教育指導員事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	22,315,956			
0301	職員手当	4,611,544			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	4,254,325			
0801	費用弁償	292,800			
1001	消耗品費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,628,000	31,474,625	0	1,153,375

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	31,474,625
主な財源					

目的

各社会教育施設に社会教育指導員を配置し、生涯学習及び社会教育の振興を図る。

事業活動内容

○配置人数　12人
中央公民館2人、地区公民館6人、青少年育成センター2人、
社会同和教育集会所1人、生涯学習係1人

○職務内容
①生涯学習についての直接指導及び学習相談
②公民館事業の援助協力
③社会同和教育事業
④自治公民館活動の指導助言
⑤社会教育団体の育成
⑥青少年の健全育成及び相談

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

社会教育指導員が企画・運営している公民館主催講座により、市民が生涯にわたって学び続けられるよう、学ぶことができる場を提供し、生きがいをもって暮らしていける社会の実現を図ることができた。

【課題・改善点】

あらゆる機会に、あらゆる場所において学ぶことができる生涯学習社会の実現のためにも公民館等に社会教育指導員を配置することは効果的である。今後も効果を高めるため効率的な運営を検討し、市民ニーズを的確に把握した講座の開催や人権、青少年の健全育成に係る業務を推進していく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	03 学習情報提供事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,521			
1006	印刷製本費	148,500			
1101	通信運搬費	45,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
199,000	198,021	0	979

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	198,021
主な財源					

目的

生涯学習に関する講座や指導者の情報提供体制を整備し、生涯学習の振興を図る。

事業活動内容

○「生涯学習だよりの発行」
生涯学習事業、各公立公民館主催事業の情報提供を行った。（年1回、5月に発行）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　拡充
公民館講座の参加者の多くは、生涯学習だよりを通して申し込まれる方であり、生涯学習だよりに対する市民のニーズは高いため、内容の充実を図り、今後も継続的に取り組んでいく。
【課題・改善点】
生涯学習だよりの発行回数を2回から1回にしたことによりコストの削減は図られたが、新型コロナウイルスの状況も相まって申込者が減少した。講座の内容については、社会教育指導員が考案しているが、受講者からのアンケートも参考にしており、市民ニーズを反映するよう心掛けている。受講者の多くは比較的高齢の方であり、紙媒体に頼る方が多いため、今後内容等の充実を図っていきたい。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	04 成人式に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	40,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
0716	記念品料	508,959			
1001	消耗品費	39,182			
1006	印刷製本費	112,200			
1101	通信運搬費	91,560			
1103	手数料	56,100			
1105	筆耕翻訳料	15,000			
1206	その他の委託料	93,500			
1301	使用料及び賃借料	178,620			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,408,000	1,135,121	0	272,879

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,135,121
主な財源					

目的

新成人を祝福するとともに、新成人が人生の節目である20歳を迎えた喜びと、これまでお世話になった多くの方々への感謝の気持ちを確かめ合い、今後の人生において、希望をもって自分らしく生きていくための新たな目標設定の契機としてもらうために開催する。

事業活動内容

成人式実行委員会が主体となって、成人式当日の企画や運営について会議を重ねてきた。（5回開催）
式典は、感染症対策を十分に行い、2年ぶりに実施した。

○令和3年度対象者数　447名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
成人証書授与式動画制作委託料　93,500

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持
コロナ禍により対象者以外の入場を制限しての開催であったが、式典内容は従前の形式で行うことができ、参加者からは喜んでいただけた。新型コロナウイルス対策として、スタッフの数を多く配置したり、効率の良い運営方法に切り替えるなどして対応することができた。
【課題・改善点】
実行委員会が主体となった開催内容の検討と合わせ、感染症対策については市が主体となり、取り組むことによって、お互いに連携が図られ、参加者が20歳になった喜びを感じていただくとともに安心して参加できるよう対応していく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	04 社会教育の推進		
事業 中事業	03 自主学級活動の充実		
事業 小事業	01 自主学級事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0716	記念品料	0			
1001	消耗品費	0			
1005	食糧費	0			
1103	手数料	0			
1203	事業委託料	307,087			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,261,000	307,087	0	953,913

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	307,087
主な財源					

目的

家庭教育学級（対象：幼稚園・保育園・小中学校の保護者）、高齢者学級（対象：65歳以上の市民）及び女性学級をそれぞれ自主学級として開設し、継続的・計画的に環境、人権、健康、消費生活、子育て等の地域社会の課題を自主的に学ぶ場を支援し、地域における人材育成及びリーダーを養成する。

事業活動内容

○家庭教育学級事業
①家庭教育学級開設
市内幼稚園、保育所、小中学校に開設し、課題の解決やコミュニティづくりのための講座を自主運営した。（10学級）
○女性学級及び高齢者学級開設
それぞれの年代が抱えている課題の解決やコミュニティづくりのための講座を自主運営した。（9学級）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

家庭教育学級	164,132
高齢者学級	78,841
女性学級	64,114

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
コロナ禍にあって開設することができた学級においては、様々な活動を通じて学級生同士のコミュニケーションが図られ、特に家庭教育学級においては、子どもに関する悩みや子育てに関する情報を共有することができた。
【課題・改善点】
コロナ禍の状況にあり、開設することができた学級は以前に比べ減少した。
今後、活動をより有意義にしていくために、実施内容について県が実施するプログラムを取り入れるなど、これまでにない新たな内容を取り入れていくことが求められる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	04 社会教育の推進		
事業 中事業	04 社会教育団体の育成		
事業 小事業	01 社会教育団体育成事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1840006	青年団連絡協議会運営補助金	0			
1840007	子ども会育成連絡協議会補助金	30,972			
1860007	日向市PTA活動及び研修費補助金	457,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
762,000	487,972	0	274,028

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	487,972
主な財源					

目的

社会教育団体への活動支援を行い、地域における生涯学習社会づくりのための基盤づくりを図る。

事業活動内容

○各社会教育関係団体への補助金の交付
①子ども会育成連絡協議会
②PTA協議会

○各社会教育団体への助言・指導

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
PTA協議会の研修大会はコロナ禍によりオンライン開催となったが、各中学校区から1校を選び、重点的に取り組んできた活動を発表する機会を作ったことにより、充実した内容とすることができた。
【課題・改善点】
青年団連絡協議会においては、会員数の減少により活動を休止することになった。今後は会員数を増やし、他の青年団とも交流を重ねるなどして、若いリーダーの育成が求められる。
子ども会育成連絡協議会は、ジュニア・リーダーが様々な活動に参加し、コミュニケーション力の向上を図ることで、子ども会におけるリーダーとしての役割を担うことを期待している。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	05 子ども土曜教室事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	165,000			
1001	消耗品費	85,351			
1101	通信運搬費	20,861			
1103	手数料	330			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
502,000	271,542	0	230,458

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	271,542
主な財源					

目的

青少年の健全育成に効果的な体験活動や学習、世代間交流等を実践し、地域の人々・自然・文化との出会いや交流を深めるとともに、新しい仲間との出会いや新しい知識、価値観が得られるような活動を実施することで、郷土への誇りとたくましく生きる力の育成を図る。

事業活動内容

学校週5日制に伴う土曜日の休日に学校外の講座を開設し、様々な体験活動や世代間交流等を通して、自己への愛着と生きる力、思いやりの心を育てた。

〇市内の6地区公民館（中央、日知屋、大王谷、細島、美々津、東郷）において子ども土曜教室を実施
・市内全ての小学校を対象に、6月～12月の期間内に様々な学習を実施した。
・コロナ禍により回数減となったが、工作・アニメ声優体験・料理などで校区間を越え交流が図られた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
コロナ禍による開催数の減であったが、出席率が8割を超える公民館が4館、その他公民館も6割以上を達成していることから、一定の成果は維持することができた。

【課題・改善点】
7つの公立公民館で対象となる小学校区を定めているが、対象児童数に大きな開きがあり、複数の館で合同で開催する等運営方法について検討している。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	06 高齢者学習活動事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	90,000			
1001	消耗品費	49,376			
1101	通信運搬費	1,449			
1103	手数料	165			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
251,000	140,990	0	110,010

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	140,990
主な財源					

目的

高齢者が「生涯現役」として、健康で生き生きと社会参加ができるよう支援することで、知識の習得と生き方に係る質的充実を図る。

事業活動内容

高齢者の「生涯現役」実現のため、知識の習得、世代間交流を通じたふれあいの場等を提供し、様々な意欲向上を図るための事業を実施した。
〇市内6公民館（中央、日知屋、大王谷、細島、南日向、美々津）において6月～1月の期間中、高齢者学習活動事業を開催し、各館独自の企画による学習講座を実施した。（料理教室、講話学習、健康体操、児童との世代間交流など）
※東郷公民館については、自治公民館ごとの高齢者学級で活動しているため、東郷公民館主催では実施していないが、企画立案、公用車の手配や館報への記事記載などで活動のサポートを行っている。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
コロナ禍による開催数の減であったが、出席率が8割を超える公民館が2館、その他公民館も7割以上を達成していることから、一定の成果が維持することができた。

【課題・改善点】
一度加入した受講生が継続するケースも多く、ニーズは非常に高い。高齢者の健康、日常生活の充実及び「生涯現役」として、健康で生き生きと社会参加ができるよう支援するため、講座の内容を工夫し、より一層の充実を図る必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費
事業 大事業	04 社会教育の推進
事業 中事業	02 公民館活動の充実
事業 小事業	02 公民館主催講座事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,439,064			
0301	職員手当	305,800			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	269,490			
0701	講師謝金	1,413,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	178,309			
1101	通信運搬費	12,297			
1103	手数料	22,680			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,097,000	3,640,640	0	456,360

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	207,000	3,433,640
主な財源	公民館主催講座参加料				

目的

市民が生涯にわたって学習ができるよう様々な機会を提供することにより、「楽しみ生きがいを感じる生涯学習社会づくり」の実現を図る。

事業活動内容

国際化、少子高齢化、高度情報化等、様々な社会情勢の変化にも対応した市民のニーズに合った魅力的な生涯学習講座及び実践型講座を実施した。

〇6月～1月の期間中、市内7公民館ごとに主催講座を開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

コロナ禍による開催数の減であったが、市民の希望に応じた内容の講座を設定したことなどにより、出席率が8割を超える公民館が6館で、残る1公民館も7割以上を達成し、一定の学習活動支援を維持することができた。

【課題・改善点】

引き続き市民の希望に応じた内容の講座を設定するとともに、幅広い年齢層の方や男性も受講しやすいよう講座内容やICTを活用した周知や受講の方法について検討する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費	目	02 選挙啓発費
事業 大事業	44 選挙
事業 中事業	01 選挙啓発
事業 小事業	01 選挙啓発に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	8,000			
0716	記念品料	98,960			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	1,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,000	108,260	0	29,740

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	108,260
主な財源					

目的

関係機関・団体と連携して選挙啓発活動を展開することで、若者をはじめ多くの市民に政治への関心を高めてもらい、投票参加を促す。

事業活動内容

関係機関や団体等と連携を図り、選挙啓発活動を実施した。

〇若者の選挙や政治についての関心を高めるために開催される意見発表会「わけもんの主張」東臼杵地区大会への参加と発表者1名の選定

〇主権者教育の一環として市内の中学校・高等学校等への投票箱や記載台等の貸出　9校

〇選挙や政治を題材とした啓発ポスター及び書道作品の募集　ポスター18作品、書道693作品

応募のあった啓発作品の一部について市役所等での巡回展示　3会場

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性：維持

啓発作品の募集や展示、実際の選挙機材の貸出等によって児童生徒やその保護者等が選挙や政治を考える契機になった。

投票率についてこれまで下落傾向にあったが、当該年度に実施された国政選挙では前回より投票率の向上が見られた。

【課題・改善点】

若年層の投票率は依然低い状況にあり、引き続き主権者教育等の啓発活動が重要と考えられる。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	16 農地中間管理機構支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,185,932			
0301	職員手当	372,528			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	263,060			
0801	費用弁償	97,200			
1001	消耗品費	35,993			
1003	消耗品費被服	14,410			
1101	通信運搬費	50,000			
1206	その他の委託料	147,125			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,667,000	3,166,248	0	500,752

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	そ の 他	一般財源
	0	647,000	0	62,000	2,457,248
主な財源	農地中間管理機構支援事業費補助金、嘱託登記手数料				

目的

農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、農地中間管理機構（公益社団法人 宮崎県農業振興公社）が農地を借り入れ、担い手等に貸し付けることにより、農地集積及び集約化を進め、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を図る。

事業活動内容

農地中間管理機構を支援するため、農地利用関係の調整業務を行った。

〇主な事業
- ・農地利用状況調査
- ・農地の権利移動貸借調査（利用意向調査）
- ・農地相談員の配置

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料

会議録反訳業務委託　147,125

成果及び改善点等

【成果】　今後の方向性　維持

令和3年9月から10月にかけて市内農地1,438ヘクタールの利用状況調査を行い、9.5ヘクタールの遊休農地を確認した。令和4年3月に遊休農地の82人の所有者に利用意向調査を郵送で行い、27か所の農地が農地中間管理機構の利用や他者への所有権移転又は賃貸借の設定したい意向が確認でき、遊休農地の減少に繋がった。

【課題・改善点】

利用状況調査の実施時期が水稲の収穫後となり、耕作されているものの、遊休農地と判断した農地が多く見られたため、実施時期を水稲の収穫前に実施することにより、調査精度を高める必要がある。

評価対象外事業

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	01 計画的な土地利用の推進
小事業	04 土地利用規制等対策事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	20,000			
1001	消耗品費	100,000			
1101	通信運搬費	66,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
186,000	186,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	186,000	0	0	0
主な財源	土地利用規制等対策費補助金				

事業内容	国土利用計画法に基づく土地売買の届出等に係る事務を行った。（処理件数：28件）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	17 総合政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	23,418			
0802	普通旅費	5,600			
1001	消耗品費	141,614			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	94,600			
1101	通信運搬費	13,000			
1103	手数料	1,672,000			
1301	使用料及び賃借料	2,138,400			
1825002	研修会負担金	0			
1867037	日向市「みやざき結婚サポートセンター」等入会登録補助金	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,512,000	4,118,632	0	393,368

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,000	0	0	4,108,632
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業内容	総合政策事業に係る一般的な事務経費 ○企業版ふるさと納税マッチングサービス（企業紹介）手数料　6件 ○iJAMP（インターネット行政情報モニター）使用料　100ライセンス
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○補助金 日向市「みやざき結婚サポートセンター」等入会登録補助金　30,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	04 広域連携の推進
小事業	01 広域連携の推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1804003	宮崎県北部広域行政事務組合負担金	558,000			
1806046	日向東臼杵市町村振興協議会負担金	0			
1808033	九州中央77スタンプラリーリーフレット作成負担金	0			
1808088	宮崎県北地方拠点都市地域整備推進協議会	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,046,000	558,000	0	488,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	558,000
主な財源					

事業内容

日向・東臼杵市町村振興協議会や宮崎県北部広域行政事務組合など、様々な圏域と連携することにより、地域資源等を活用した共通課題の解決や広域行政体制の構築を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	07 学校基本調査

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	28,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,000	28,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	28,000	0	0	0
主な財源	学校基本調査市町村交付金				

事業内容

毎年5月1日を調査基準日として、学校教育法に定める学校、専修学校、各種学校等の学校数、児童生徒数、教職員数、土地建物面積等を調査している。学校教育行政等に関する施策の基礎資料を得ることを目的とし、各学校への調査を実施した。（調査対象件数：38件）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	09 統計調査員確保対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	26,951			
1101	通信運搬費	22,672			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,000	49,623	0	377

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	49,623	0	0	0
主な財源	統計調査員確保対策事業委託金				

事業内容	統計調査員の確保が困難となっている状況を改善するため、調査業務へ理解がある方を登録調査員として登録し、実務知識の向上のため、「統計だよりみやざき」等の配布を行い、スキルアップを図った。 （登録調査員数：93名）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	14 経済センサス

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0106	統計調査員報酬	2,673,060			
0301	職員手当	140,389			
0801	費用弁償	76,980			
1001	消耗品費	98,142			
1005	食糧費	4,371			
1006	印刷製本費	9,870			
1101	通信運搬費	253,935			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,260,000	3,256,747	0	3,253

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,256,747	0	0	0
主な財源	経済センサス委託金				

事業内容	5年に一度、6月1日を調査基準日として、すべての産業分野における事業所・企業の所在地・事業内容、従業員数、経営組織、売上金額等を調査している。全事業分野の売上（収入）金額や費用などの経理項目を同一時点で網羅的に把握し、事業所・企業の経済活動を全国的及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を対象とした各種統計調査の母集団情報を得ることを目的として調査を行った。 （調査対象件数：2,385件、回収率：98.0%）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	19 統計一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	100			
1001	消耗品費	7,924			
1007	光熱水費	20,000			
1101	通信運搬費	7,644			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,000	35,668	0	33,332

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	35,668
主な財源					

事業内容	各種統計調査に係る事務的経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0005 情報管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	18 情報政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	53,604			
1101	通信運搬費	290,400			
1301	使用料及び賃借料	1,800			
1805063	宮崎県市町村IT推進連絡協議会負担金	4,275,186			
1808069	地方公共団体情報システム機構負担金	90,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,080,000	4,712,290	0	367,710

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,712,290
主な財源					

事業内容	○情報政策推進に係る一般事務経費 ・担当者説明会等出席に係る普通旅費 ・インターネットプロバイダー利用料 ・協議会負担金
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○宮崎県市町村IT推進連絡協議会負担金 宮崎行政情報ネットワーク負担金　2,868,677 宮崎県情報セキュリティクラウド負担金　1,406,509

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0005 情報管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進
中事業	01 情報通信基盤の整備
小事業	02 庁内LAN運用費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1702	機械器具費（事業執行用）	385,594
0301	職員手当	316,066			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	269,305			
0801	費用弁償	50,400			
1001	消耗品費	5,688,130			
1008	修繕料	609,719			
1101	通信運搬費	9,921,308			
1103	手数料	1,100			
1206	その他の委託料	30,962,690			
1301	使用料及び賃借料	86,024,035			
1402	維持補修工事	1,023,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	40,913,959			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
178,958,000	177,652,682	0	1,305,318

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	8,487,000	169,165,682
主な財源	下水道課庁内LAN負担金、下水道課庁内LAN負担金(農集排事業会計)、光伝送路支障移転補償金、水道課庁内LAN負担金、水道課庁内LAN負担金(簡易水道事業会計)、日向東臼杵広域連合庁内LAN負担金				

事業内容

○庁内LANの安全かつ安定的な運用のための経費
・庁内LANの運用支援および機器類の保守、ネットワーク設定変更業務委託
・庁内LAN関係機器賃貸借、光ファイバー賃貸借、パソコン賃貸借
・OA消耗品や機器等の購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

庁内LAN運用支援業務委託	24,581,920
宮崎県セキュリティクラウド移行に伴うネットワーク設定変更業務委託	1,804,000
プリンタの保守業務委託	1,779,690
公用LAN無線化機器保守業務委託	1,279,080
ネットワーク回線移行による機器設定変更業務委託	1,056,000

○工事請負費

電柱建替や移転等に伴う光ケーブル移設工事（工事回数7回、電柱15本分）	1,023,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0006 ICT推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	03 業務システム運用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,200,000			
1101	通信運搬費	0			
1206	その他の委託料	28,004,039			
1301	使用料及び賃借料	129,333,600			
1808084	九州自治体情報システム協議会会費負担金	20,000			
1832011	特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金	4,163,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
163,125,000	162,720,639	0	404,361

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,064,000	0	0	27,235,000	134,421,639
主な財源	社会保障・税番号制度システム整備費補助金、下水道課庁内LAN負担金、国民健康保険事務の電算処理受託金、介護保険事務の電算処理受託金、後期高齢者医療事務の電算処理受託金、水道課庁内LAN負担金、水道課庁内LAN負担金(簡易水道事業会計)				

事業内容

○業務システムの安定的な運用のための経費
・自治体クラウド（アクロシティ等）利用料、システム運用SE業務委託料、市税等に係る帳票印刷・封緘等業務、統合型地理情報システム新規データ作成業務委託、RPA・AI-OCRライセンス利用料、RPAシナリオ作成業務委託料、チャットツールライセンス料

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

システム運用SE業務委託	9,464,400
番号連携サーバ機器・運用保守業務委託	1,922,250
市税等に係る帳票印刷・封緘等業務委託	13,921,289
統合型地理情報システム新規データ作成業務委託	836,000
RPAシナリオ作成業務委託	770,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0041 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	02 総務施設管理運営費
小事業	03 男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	34,760			
1207	指定管理者委託料	6,376,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,476,000	6,410,760	0	65,240

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,410,760
主な財源					

事業内容

男女共同参画社会の形成促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための拠点施設として、文化交流センター小ホール棟2階に設置している「日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム（さんびあ）」において、日向ひまわりフォーラムや「男女共同参画週間」パネル展などの男女共同参画推進事業を企画・実施するとともに、市民の利用促進を図った。
〇指定管理者：日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会　（令和3年度～令和7年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	20 市長・副市長の公務に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	683,940			
0901	市長交際費	151,291			
1005	食糧費	54,228			
1101	通信運搬費	380,000			
1103	手数料	165,000			
1301	使用料及び賃借料	88,120			
1808001	全国市長会負担金	357,000			
1808002	九州市長会負担金	83,000			
1808003	宮崎県市長会負担金	560,000			
1808005	県北地区政経懇話会負担金	105,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,841,000	2,628,179	0	1,212,821

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,628,179
主な財源					

事業内容

〇全国・九州・宮崎県の各市長会、国への要望活動、意見交換会等への出席に要する経費及び負担金
・普通旅費（会議、要望活動等に要する旅費）、市長交際費（他団体との交際に係る経費）
・食糧費（意見交換会等に係る負担金）、通信運搬費（電話料等）、手数料（PCR検査手数料）
・使用料及び賃借料（タクシー借上料）、負担金（各市長会等への負担金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	21 市長車運行管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	32,500			
1001	消耗品費	8,901			
1004	燃料費	136,831			
1008	修繕料	0			
1107	自動車損害保険料	25,118			
1301	使用料及び賃借料	756,974			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,325,000	960,324	0	364,676

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	960,324
主な財源					

事業内容	○市長車の運行と適正な管理に要する経費（リース期間：平成29年（2017年）2月～令和6年（2024年）1月） ・燃料費（ガソリン代） ・使用料及び賃借料（有料道路通行料、リース料）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	22 秘書広報一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	33,795			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	377,958			
1003	消耗品費被服	12,980			
1006	印刷製本費	19,140			
1101	通信運搬費	180,132			
1103	手数料	0			
1301	使用料及び賃借料	691,102			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	241,439			
1825002	研修会負担金	31,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,933,000	1,588,446	0	344,554

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	388,000	1,200,446
主な財源	副市長住宅借上料個人負担金				

事業内容	○その他の一般事務費 ・消耗品費（事務用品、新聞書籍等の購入、コピー機等の経費） ・通信運搬費（年賀状、電報） ・使用料及び賃借料（副市長住宅借上料、NHK受信料） ・庁用器具費（WEB会議に使用する機器等の購入）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	01 地域コミュニティの活性化
小事業	04 行政文書配布・調査取りまとめに関する事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	26,351,729			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,000,000	26,351,729	0	648,271

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	582,000	0	0	25,769,729
主な財源	県広報配布事務委託金				

事業内容

「広報ひゅうが」等の文書配布業務等を日向市区長公民館長連合会等に委託することで、市民に対して行政情報を広く周知し、市民が市政情報を知ることができる。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

市広報紙等の送達及び調査報告に関する業務	24,472,800
県広報紙配布業務	562,075
市広報紙及び広報周知文書配送業務	841,104
市広報紙及び広報周知文書配送のための受付、荷造り及び引渡し業務	475,750

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	23 市民活動推進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,450			
1001	消耗品費	113,000			
1101	通信運搬費	31,000			
1808030	地域活性化センター負担金	140,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
314,000	287,450	0	26,550

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	191,000	0	3,000	93,450
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、地縁団体印鑑証明手数料				

事業内容

市民協働係の業務執行に係る一般的な事務経費
○普通旅費（宮崎市等への出張旅費）
○消耗品費（一般事務用品のほかコピー機等の経費）
○通信運搬費（郵便経費）
○負担金（地域活性化センター負担金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0003 市民活動支援係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	02 総務施設管理運営費
小事業	02 市民活動支援センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1207	指定管理者委託料	6,053,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,494,000	6,053,000	0	441,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,053,000
主な財源					

事業内容	市民活動団体の活動拠点、団体間の相互交流、市民活動に関する各種情報発信・収集を行う場として、本施設を文化交流センター小ホール棟2階に設置し、施設の適切な管理運営と市民の利用促進を図った。 〇指定管理者 日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会（令和3年度～令和7年度）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0011 人権・同和行政推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	16 人権・同和行政推進費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	25 人権・同和行政推進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	20,860			
1001	消耗品費	14,726			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
88,000	35,586	0	52,414

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	35,586
主な財源					

事業内容	人権・同和行政推進一般事務費 〇普通旅費（人権担当者研修等への出席） 〇消耗品費（一般事務用品等の経費）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	01 総務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	48,840	1806007	日向地区保護司会負担金	72,000
0802	普通旅費	5,200	1808012	日向地区事業所等暴力団追放協議会負担金	5,000
1001	消耗品費	1,720,755	1825002	研修会負担金	0
1005	食糧費	0	1852010	日向市い坊市交流促進協議会事業補助金	0
1006	印刷製本費	0	2103	賠償金	54,600
1008	修繕料	0	2602	その他の公課費	281,300
1101	通信運搬費	1,137,214			
1103	手数料	41,800			
1206	その他の委託料	341,209			
1301	使用料及び賃借料	28,660			
1805005	宮崎県更正保護協会負担金（日向地区保護司会負担金より）	33,300			
1805045	公財）宮崎県暴力追放センター負担金	140,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,878,300	3,909,878	0	968,422

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,000	0	0	3,899,878
主な財源	地域自殺対策強化事業補助金				

事業内容

印刷機のマスター・インクなどの消耗品や郵便料、切手・はがき代等、全庁的な事務費を支出したほか、課で使用する一般事務用品を購入した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

機密文書リサイクル業務委託　341,209

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	02 マイクロバス運行管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,800			
1004	燃料費	147,539			
1008	修繕料	392,216			
1103	手数料	23,000			
1107	自動車損害保険料	97,185			
1206	その他の委託料	1,028,500			
1301	使用料及び賃借料	0			
2601	国に対する公課費	62,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,099,000	1,753,640	0	345,360

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,753,640
主な財源					

事業内容

マイクロバスの適正な運用を図るため、関係各課との調整を行った。
また、マイクロバス2台の車検等の整備に係る経費、燃料費、民間に委託して行う運行経費等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

マイクロバス運行業務委託　1,028,500

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	11 公平委員会費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	04 公平委員会費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	38,400			
0801	費用弁償	6,789			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	12,100			
1005	食糧費	0			
1808039	全国公平委員会連合会負担金	31,000			
1808040	宮崎県公平委員会連合会負担金	20,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
721,000	110,889	0	610,111

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	110,889
主な財源					

事業内容：公平委員会開催等に伴う報酬、費用弁償等を支出した。
（会議開催回数／1回）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	17 諸費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	03 自衛官募集事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	11,000			
1101	通信運搬費	41,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,000	52,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	52,000	0	0	0	0
主な財源	自衛官募集事務委託金				

事業内容：自衛官募集事務について、広報紙への自衛官募集記事の掲載、自衛官募集ポスターの掲示等を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	01 税務総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	05 固定資産評価審査委員会事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	0			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	1,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
230,000	1,000	0	229,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,000
主な財源					

事業内容	オンライン研修の資料代を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進
中事業	01 情報通信基盤の整備
小事業	01 法制支援システムに要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,090,000			
1301	使用料及び賃借料	2,130,480			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,221,000	4,220,480	0	520

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,220,480
主な財源					

事業内容	市のホームページ上で市の例規（条例、規則等）を公表し、かつ、検索できるシステムを導入することにより、市民の利便性の向上を図った。 また、例規の検索・起案支援、法令の検索・改正情報提供等を行う法制支援システムを導入することにより、職員の事務の効率化を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○事業委託料 例規検索システムデータ更新業務委託　2,090,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	02 情報公開、個人情報保護及び行政不服審査制度の運用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	32,000			
0801	費用弁償	1,332			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
352,000	33,332	0	318,668

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	7,000	26,332
主な財源	印刷機使用料、公文書開示郵送料				

事業内容

公益上の必要性のために、個人情報の目的外利用をさせるか否かの判断を市長が行うに際し、識見を有する者等から構成される個人情報保護審議会からの意見を聴取し、反映させることにより、個人情報の適正な管理を行った。（会議開催回数／1回）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	07 法務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	31,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1002	消耗品費追録	2,970			
1108	その他の保険料	1,068,601			
1206	その他の委託料	880,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,124,000	1,982,571	0	141,429

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,982,571
主な財源					

事業内容

法律上の疑義や訴訟案件等について顧問弁護士に相談し、助言を受けたうえで対応することにより、適正な法務管理を図った。
また、全国市長会市民総合賠償補償保険へ加入することにより、業務上の過失等に起因する損害賠償等への対応を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
顧問弁護士業務委託　880,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0006 契約監理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	08 契約一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	351,360			
0301	職員手当	0			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	74,636			
0801	費用弁償	6,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	52,708			
1002	消耗品費追録	35,131			
1006	印刷製本費	27,000			
1301	使用料及び賃借料	22,000			
1825002	研修会負担金	31,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
884,000	600,735	0	283,265

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	600,735
主な財源					

事業内容

市の契約全般に係る審査、入札等の適正な事務処理に努めた。
本市が当番市の県内9市契約担当者会議は、昨年度に引き続き書面会議となったが、情報共有を図ることができた。
競争入札参加資格申請の受付時に会計年度任用職員を3か月間雇用したことで、迅速な受付、処理及び通知を行うことができた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	48 基金積立金
中事業	01 基金積立に要する経費
小事業	01 減債・財政調整・公共施設整備基金積立に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2401	財政調整積立基金積立金	912,000			
2402	減債基金積立金	255,688,000			
2403	その他特定目的基金積立金	509,040,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
765,645,000	765,640,000	0	5,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	10,071,000	755,569,000
主な財源	放送大学貸付収入、日向市ITセンター貸付収入、旧幸脇小学校貸付収入、財政調整積立基金利子、減債基金利子、公共施設整備等資金積立基金利子				

事業内容

公共施設の老朽化対策等を推進するため、「公共施設整備等資金積立基金」への積み立てを行ったほか、各基金の利子等を積み立てた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	01 財務会計システムの運用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	40,000			
1101	通信運搬費	0			
1205	システム開発等委託料	6,369,000			
1301	使用料及び賃借料	7,068,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,529,000	13,477,600	0	51,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	172,000	13,305,600
主な財源	財務会計システム使用料負担金				

事業内容

全庁的な財務会計に関する事務のため、財務会計システムに係るソフトウェア（基本ソフト）、ハードウェアのリースや保守契約により、安定した稼働と適切な運用を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○システム開発等委託料

財務会計システム保守等業務委託　6,369,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	10 財政一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	324,705			
1002	消耗品費追録	71,925			
1006	印刷製本費	1,621,667			
1101	通信運搬費	28,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808021	地方自治研究機構賛助会負担金	27,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,561,000	2,078,497	0	482,503

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,078,497
主な財源					

事業内容

財政課の業務執行に係る一般的な事務経費

○一般事務用品
○印刷製本費（予算書等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	12 公債費	項	01 公債費
目	01 元金		

事業	
大事業	50 借入金の返済
中事業	01 借入金元金の返済に要する経費
小事業	01 借入金元金の返済に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2201	償還金	3,359,777,363			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,359,778,000	3,359,777,363	0	637

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	52,594,000	3,307,183,363
主な財源	広域消防負担金、地域総合整備資金貸付金収入				

事業内容	市債元金の償還を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	12 公債費	項	01 公債費
目	02 利子		

事業	
大事業	50 借入金の返済
中事業	02 借入金利子の返済に要する経費
小事業	01 借入金利子の返済に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2204	利子及び割引料	137,839,101			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,839,000	137,839,101	0	999,899

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	82,000	137,757,101
主な財源	広域消防負担金				

事業内容	市債利子の償還を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	14 予備費	項	01 予備費
目	01 予備費		

事業	
大事業	51 予備費
中事業	01 予備費
小事業	01 一般会計予備費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2901	予備費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,317,221	0	0	18,317,221

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0
主な財源					

事業内容

自然災害による市が保有する施設の修繕や事故に係る損害賠償、新型コロナ感染症対策に係る突発的な経費など、緊急を要する場合について充用を行った。

○充用額　11,682,779円（当初予算額30,000,000円　不用額18,317,221円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0001 人事係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	14 人事研修一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	16,511,699	1802015	自治法派遣職員給与負担金	4,563,994
0301	職員手当	3,173,568	1808015	日向地区安全運転管理者等協議会負担金	10,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	4,343,947			
0801	費用弁償	351,082			
0802	普通旅費	22,560			
1001	消耗品費	307,360			
1002	消耗品費追録	36,000			
1006	印刷製本費	0			
1103	手数料	27,670			
1108	その他の保険料	6,750			
1206	その他の委託料	1,327,260			
1301	使用料及び賃借料	495,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,462,000	31,176,890	0	26,285,110

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	14,691,000	0	0	6,000	16,479,890
主な財源	個人番号カード交付事務費補助金、マイナポイント事業費補助金、市章代				

事業内容

職員が病休や産休・育休等を取得する際に、代替として会計年度任用職員を雇用し、住民サービスの安定を図った。また、県等に職員を派遣するなど人事交流を行い、次代を担う人材を育成した。
その他、職員採用や表彰等、人事業務にかかる一般的な事務経費を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

職員採用試験にかかる採点及び結果処理業務　1,327,260

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	15 給与厚生一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	19,200			
0502	非常勤職員災害補償費	94,004			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	8,665			
1001	消耗品費	970			
1003	消耗品費被服	117,040			
1005	食糧費	0			
1808018	社会保険協会負担金	24,600			
1825001	会議出席負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
681,004	264,479	0	416,525

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	264,479
主な財源					

事業内容	職員の安全衛生管理及び給与の支払に係る事務処理経費等を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	48 基金積立金
中事業	01 基金積立に要する経費
小事業	02 退職手当基金積立に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2403	その他特定目的基金積立金	46,293,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,300,000	46,293,000	0	7,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	46,293,000	0
主な財源	退職手当基金利子、退職手当基金負担金　日向東臼杵広域連合分、退職手当基金負担金　国保事業特別会計分、退職手当基金負担金　水道事業会計分、退職手当基金負担金　下水道事業会計分 ほか				

事業内容	退職者数の変動による一般財源への影響を抑制し、財政負担の平準化を図るため、事業会計等からの負担金を財源として退職手当基金への積立を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0003 防災管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	16 防災推進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	23,400	1825002	研修会負担金	16,000
1001	消耗品費	246,294	2601	国に対する公課費	25,200
1003	消耗品費被服	50,930			
1004	燃料費	39,343			
1008	修繕料	125,057			
1101	通信運搬費	90,000			
1103	手数料	11,000			
1107	自動車損害保険料	40,636			
1108	その他の保険料	74,894			
1301	使用料及び賃借料	14,204			
1805026	宮崎県市町村防災行政無線負担金	209,000			
1805062	消防防災ヘリコプター運営費負担金	3,044,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,207,057	4,009,958	0	197,099

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,009,958
主な財源					

事業内容	防災に関する消耗品や各種負担金の支出など、一般事務費の支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0004 地域防災係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	08 災害応急対策・復旧対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	6,600			
1206	その他の委託料	0			
1865020	日向市特別災害復旧費補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
920,000	6,600	0	913,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,600
主な財源					

事業内容	災害時に避難所等で使用する毛布のクリーニングを行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	03 普通財産管理に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	23,000			
1008	修繕料	305,800			
1103	手数料	26,900			
1106	火災保険料	107,381			
1201	施設維持管理委託料	374,660			
1206	その他の委託料	2,659,408			
1402	維持補修工事	10,942,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,511,800	14,439,949	0	71,851

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	187,000	14,252,949
主な財源	立木伐採補償金				

事業内容

普通財産（土地・建物）等の維持管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

放送大学樹木管理業務	218,900
放送大学自家用電気工作物保安監理業務	155,760
市有地除草・樹木伐採業務	1,668,700
登記事務・不動産鑑定評価等業務	799,858
旧幸脇小学校浄化槽維持管理清掃業務	118,250

○工事請負費

放送大学空調設備更新工事	10,120,000
市有地法面工事	701,800
市有地がれき撤去工事	121,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	02 公有財産台帳管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	9,000			
1205	システム開発等委託料	429,000			
1301	使用料及び賃借料	924,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,373,000	1,362,000	0	11,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,362,000
主な財源					

事業内容

公有財産管理システムに要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

公有財産管理システムデータ更新業務	429,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0001 公共施設マネジメント係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	02 基金繰出に要する経費
小事業	01 土地開発基金への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	19,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,000	19,000	0	1,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	19,000	0
主な財源	土地開発基金利子				

事業内容	基金運用利子の積立を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0004 庁舎管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	12 管財一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	254,000			
1002	消耗品費追録	18,190			
1003	消耗品費被服	18,150			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	112,750			
1301	使用料及び賃借料	120,000			
1825002	研修会負担金	4,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
622,692	527,790	0	94,902

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	527,790
主な財源					

事業内容	管財業務に要した一般事務費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0004 庁舎管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	02 総務施設管理運営費
小事業	01 本庁舎等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	650,146			
1004	燃料費	2,200,067			
1007	光熱水費	9,545,129			
1008	修繕料	444,004			
1101	通信運搬費	3,049,886			
1103	手数料	567,916			
1106	火災保険料	232,308			
1201	施設維持管理委託料	53,973,621			
1203	事業委託料	6,534,000			
1301	使用料及び賃借料	3,167,165			
1402	維持補修工事	2,407,460			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	461,641			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85,014,174	83,233,343	0	1,780,831

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,020,000	81,213,343
主な財源	公衆電話料、上下水道局光熱費負担金、建物損害共済金、電気使用料				

事業内容

庁舎等の維持管理に要した経費。
光熱水費については、電力一般競争入札を実施し、入札前と比較し大幅な削減となった。また、老朽化している空調機の入れ替えや多目的トイレの改修を行い、利便性の向上を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

庁舎等警備業務	19,538,640
庁舎等清掃業務	16,423,000
電話交換業務	6,534,000
芝生・植栽等管理業務	2,830,287
機器保守業務	2,120,800
消防・防災設備保守点検業務	1,755,600
自家用電気工作物保安業務	2,110,900
便所等管理業務	1,767,348
エレベーター点検業務	1,702,800
その他施設維持管理業務	5,724,246

○工事請負費

日向市健康管理センター2階会議室空調機改修工事	1,342,000
本庁舎4階北側多目的トイレ改修工事	550,000
庁舎案内サイン改修工事	515,460

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0004 庁舎管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	13 公用車集中管理に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	20,437			
1004	燃料費	3,215,620			
1008	修繕料	649,823			
1103	手数料	27,500			
1107	自動車損害保険料	878,937			
1301	使用料及び賃借料	8,668,956			
2601	国に対する公課費	35,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,074,134	13,496,573	0	1,577,561

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	238,000	13,258,573
主な財源	自動車損害共済金				

事業内容

公用車のリース等の集中管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0001 管理係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	01 税務総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	26 税務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,900	1825002	研修会負担金	0
1001	消耗品費	408,423			
1002	消耗品費追録	200,491			
1004	燃料費	32,677			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	16,500			
1007	光熱水費	102,000			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	10,000			
1107	自動車損害保険料	16,468			
1301	使用料及び賃借料	179,520			
1805038	宮崎県租税教育推進中央協議会負担金	23,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,252,000	992,979	0	259,021

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	992,979
主な財源					

事業内容

税務課の業務執行に係る一般的な事務経費
・消耗品費（書籍、新聞、コピー代、事務用品など）
・光熱水費（電気料）
・使用料及び賃借料（公用車リース料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0002 市民税係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	03 市民税賦課に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,341,615	1301	使用料及び賃借料	6,891,500
0301	職員手当	0	1806028	延岡地区市町村税協議会負担金	91,300
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	367,064	1808071	社団法人地方税電子化協議会負担金	1,457,198
0801	費用弁償	62,830	1825002	研修会負担金	19,800
0802	普通旅費	24,129			
1001	消耗品費	307,998			
1006	印刷製本費	507,553			
1101	通信運搬費	2,930,000			
1103	手数料	917,992			
1204	調査・計画策定委託料	627,622			
1205	システム開発等委託料	1,210,990			
1206	その他の委託料	1,302,946			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,896,000	20,060,537	0	3,835,463

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,000	20,057,537
主な財源	標識亡失弁償金				

事業内容

(1)個人住民税及び法人市民税の賦課業務
(2)軽自動車税の賦課業務及び原動機付自転車等の新規登録・廃車・名義変更等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

軽自動車税調査業務	627,622
個人住民税申告・課税支援システム保守業務	1,210,990
日向市税データパンチ業務	1,213,597

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0003 資産税係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	04 固定資産税賦課に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	38,400	1206	その他の委託料	28,545,000
0104	会計年度任用職員報酬	3,527,058	1301	使用料及び賃借料	3,082,728
0301	職員手当	799,228	1808043	資産評価システム研究センター負担金	90,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	714,531	1825002	研修会負担金	20,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	35,750			
0717	見舞金	1,560,109			
0801	費用弁償	72,400			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	111,373			
1006	印刷製本費	377,872			
1101	通信運搬費	3,095,254			
1103	手数料	694			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,752,000	42,070,397	0	1,681,603

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	42,070,397
主な財源					

事業内容

(1)土地、家屋、償却資産の調査課税資料の収集及び評価
(2)固定資産業務システムによる課税計算及び賦課
(3)国有資産等に係る市町村交付金の請求
(4)固定資産税の減免、課税免除事務
(5)固定資産評価員による評価
(6)固定資産税過誤納金見舞金の支払い
(7)職員研修等の実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

固定資産評価業務	27,500,000
標準宅地鑑定評価時点修正業務	1,045,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0004 市税収納係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	07 収納事務に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1825002	研修会負担金	87,800
0301	職員手当	316,066	2201	償還金	14,560,636
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	285,656			
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	151,737			
1006	印刷製本費	325,523			
1101	通信運搬費	3,922,524			
1103	手数料	4,892,435			
1205	システム開発等委託料	3,616,800			
1206	その他の委託料	1,955,556			
1301	使用料及び賃借料	3,679,836			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,814,000	35,311,145	0	1,502,855

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	15,461,000	0	5,289,000	14,561,145
主な財源	県民税徴収委託金、市税督促手数料、滞納管理システム負担金				

事業内容

(1)徴収技術の向上
(2)口座振替やコンビニ収納などの利用促進
(3)滞納整理システムによるデータの共有化及び滞納処分
(4)市税過誤納還付業務
(5)多様な納税手段の確保

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

地方税共通納税システム対応　Acrocityパッケージ保守業務	316,800
滞納整理システムクラウドサービス保守業務	3,300,000
市税滞納整理事務指導業務	1,955,556

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	06 国民健康保険事業特別会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	599,885,624			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
605,776,000	599,885,624	0	5,890,376

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	72,686,000	242,124,000	0	0	285,075,624
主な財源	保険基盤安定負担金（国・県）				

事業内容	国民健康保険事業に係る事業費に対し、国・県による保険基盤安定負担金等や国の示す繰出基準に基づく法定繰出金を一般会計から国民健康保険事業特別会計に繰り出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	06 後期高齢者医療費		

事業	
大事業	16 社会保障制度の安定運営
中事業	02 後期高齢者医療制度の適正な運営
小事業	02 後期高齢者医療事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1823001	後期高齢者医療広域連合一般会計共通経費負担金	10,446,000			
1823002	後期高齢者医療広域連合特別会計共通経費負担金	18,443,000			
1823003	療養給付費負担金	652,164,000			
1823010	機器利用市町村負担金	8,638,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
689,691,000	689,691,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	689,691,000
主な財源					

事業内容	宮崎県後期高齢者医療広域連合による後期高齢者医療制度の運営に要する費用及び後期高齢者の療養の給付に要する費用を負担した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	06 後期高齢者医療費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	08 後期高齢者医療事業特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	254,074,042			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
258,368,000	254,074,042	0	4,293,958

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	167,234,000	0	0	86,840,042
主な財源	保険基盤安定負担金				

事業内容	被保険者の所得による保険料軽減分に対する県・市負担や市が行う事務、健康増進・健康づくり事業に要する経費について、繰り出しを行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	24 国民健康保険東郷診療所特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	124,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
144,000,000	124,500,000	0	19,500,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	124,500,000
主な財源					

事業内容	東郷診療所の経営の健全化を図るため、不足する運営資金について診療所事業会計への繰り出しを行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費
目	01 戸籍住民基本台帳費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	04 中長期在留者住居地届出等事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0203	一般職給料	317,472			
1101	通信運搬費	20,873			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
339,000	338,345	0	655

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	338,345	0	0	0	0
主な財源	中長期在留者住居地届出等事務委託金				

事業内容	中長期在留者等の外国人の住居地情報について、外国人からの届出を受理し法務大臣へ通知、在留カードの記載等の事務を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	17 人口動態調査事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	64,275			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
65,000	64,275	0	725

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	64,275	0	0	0
主な財源	人口動態調査委託金				

事業内容	市で受理した戸籍届出のうち、出生・死亡・死産・婚姻及び離婚届に基づく人口異動の統計処理を行い、県へ報告を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	18 現住人口調査事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	33,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,000	33,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	33,000	0	0	0
主な財源	現住人口調査委託金				

事業内容	住民の転入・転出届や出生・死亡届に基づく人口や世帯の異動の統計処理を行い、県へ報告を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0002 国民年金係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	03 国民年金事務費		

事業	
大事業	16 社会保障制度の安定運営
中事業	03 国民年金制度の適正な運営
小事業	01 国民年金事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0301	職員手当	399,614			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	340,274			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	171,000			
1007	光熱水費	300,000			
1101	通信運搬費	1,080,000			
1205	システム開発等委託料	0			
1809012	九州都市国民年金協議会負担金	5,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,648,000	4,176,432	0	471,568

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,176,432	0	0	0	0
主な財源	基礎年金等事務委託金、協力連携事務委託金、年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金				

事業内容	国民年金制度に関する相談、広報等による周知を行うとともに、各種届書受付時に国民年金保険料の納付促進、案内を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	03 消費者教育・啓発の推進
小事業	01 消費生活事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	23,768			
1004	燃料費	66,000			
1008	修繕料	31,977			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	11,000			
1107	自動車損害保険料	32,360			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	25,300			
2601	国に対する公課費	5,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
234,300	195,405	0	38,895

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	75,000	120,405
主な財源	日向地区広域消費生活センター運営負担金				

事業内容	消費者問題の啓発・相談に要する事務経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	01 市営納骨堂管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	7,841			
1007	光熱水費	19,019			
1101	通信運搬費	0			
1106	火災保険料	999			
1201	施設維持管理委託料	97,000			
1301	使用料及び賃借料	400,000			
2201	償還金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
586,000	524,859	0	61,141

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	29,000	495,859
主な財源	市営納骨堂使用料				

事業内容	市営納骨堂の区画の貸し出し、返還等の事務手続きおよび施設の適切な維持管理を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 市営納骨堂清掃及び管理業務　97,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	09 城山墓園事業特別会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	2,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,000,000	2,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,000,000
主な財源					

事業内容	城山墓園事業特別会計に一般会計から繰出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	04 斎場費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	05 衛生対策の推進
小事業	02 斎場費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1804001	日向東臼杵広域連合分担金	34,128,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,128,000	34,128,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	34,128,000
主な財源					

事業内容	日向東臼杵広域連合の斎場の運営に係る経費を分担金として支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0005 美々津支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	27 美々津支所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
0301	職員手当	316,066			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	285,656			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	31,000			
1004	燃料費	38,007			
1008	修繕料	23,000			
1101	通信運搬費	45,000			
1107	自動車損害保険料	12,934			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,303,000	2,239,039	0	63,961

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,239,039
主な財源					

事業内容	美々津支所の業務執行に係る一般的な事務経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0006 岩脇支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	28 岩脇支所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,452,072			
0301	職員手当	200,566			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	268,296			
0801	費用弁償	50,400			
1001	消耗品費	21,646			
1004	燃料費	18,256			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	80,000			
1107	自動車損害保険料	15,941			
1301	使用料及び賃借料	176,256			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,500,000	2,283,433	0	216,567

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,283,433
主な財源					

事業内容	岩脇支所の業務執行に係る一般的な事務経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0007 細島支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	29 細島支所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	38,952			
1004	燃料費	19,057			
1008	修繕料	0			
1107	自動車損害保険料	13,314			
1301	使用料及び賃借料	189,216			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
283,000	260,539	0	22,461

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	260,539
主な財源					

事業内容	細島支所の業務執行に係る一般的な事務経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	15 環境保全費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	01 自然環境の保全
小事業	01 環境基本計画推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	5,132			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
219,000	5,132	0	213,868

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,132
主な財源					

事業内容	環境基本計画推進に係る経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	04 資源・エネルギー対策の推進
小事業	01 地球温暖化防止対策実行計画推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	26,300			
1001	消耗品費	12,045			
1825002	研修会負担金	17,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
102,000	55,445	0	46,555

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	55,445
主な財源					

事業内容	「日向市エコプラン」に基づき、市役所本庁舎ほか市施設におけるエネルギーや紙使用量、ごみの発生量等を把握し、その抑制について取り組んだ。 また、コロナ禍で、担当職員の研修会が中止となったため、庁内研修は文書研修として取り組んだ。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	03 安全で適正な処理体制の構築
小事業	01 環境衛生の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1804001	日向東臼杵広域連合分担金	244,464,000			
1804002	日向東臼杵広域連合負担金	52,106,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
296,571,000	296,570,700	0	300

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	296,570,700
主な財源					

事業内容	日向東臼杵広域連合の適正な運営と環境衛生の充実を図るために、構成する1市2町2村（日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）で一般管理費や一般廃棄物の焼却処理に係る経費等を負担した。 ○分担金（一般管理費や一般廃棄物の焼却処理に係る経費の分担金） ○負担金（日向東臼杵広域連合の起債に係る地方交付税措置分）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	02 環境政策課庁舎管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	45,907			
1004	燃料費	31,060			
1007	光熱水費	1,035,958			
1008	修繕料	31,038			
1101	通信運搬費	292,000			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	16,227			
1201	施設維持管理委託料	339,900			
1301	使用料及び賃借料	374,786			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,265,786	2,172,876	0	92,910

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	39,000	2,133,876
主な財源	自動販売機電気料				

事業内容：環境政策課庁舎の管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

○委託料

環境政策課庁舎浄化槽清掃業務委託	62,700
環境政策課庁舎浄化槽保守点検業務委託	39,600
環境政策課庁舎空調設備等保守点検業務委託	60,500
環境政策課庁舎消防設備保守点検業務委託	18,700
環境政策課庁舎警備業務委託	158,400

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	04 衛生一般事務費
小事業	01 環境政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	256,000			
1003	消耗品費被服	714,890			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	54,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805039	宮崎県4R推進協議会負担金	23,000			
1810006	全国都市清掃会議負担金	92,000			
1825002	研修会負担金	48,000			
2103	賠償金	524,767			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,988,981	1,715,257	0	273,724

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	585,000	1,130,257
主な財源	一般廃棄物収集運搬業等許可申請手数料、自動車損害共済金				

事業内容：環境政策課の業務執行に係る一般事務経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0003 業務係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	03 安全で適正な処理体制の構築
小事業	02 車両管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	125,518			
1004	燃料費	1,634,626			
1008	修繕料	1,331,227			
1103	手数料	212,700			
1107	自動車損害保険料	601,961			
1301	使用料及び賃借料	721,490			
1702	機械器具費（事業執行用）	48,510			
2601	国に対する公課費	266,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,733,000	4,942,532	0	790,468

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	92,000	4,850,532
主な財源	自動車損害共済金				

事業内容

適正な車両管理を行い、不適物ごみ等の収集業務を遂行した。
○車両に係る消耗品、燃料費、修繕費、自動車損害保険料、車検に係る費用など
ごみ収集車両等　19台分

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0003 業務係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	04 一般廃棄物埋立処分場（第4）管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	69,600	1825002	研修会負担金	66,000
1001	消耗品費	1,094,326			
1004	燃料費	245,041			
1007	光熱水費	3,597,540			
1008	修繕料	1,838,628			
1101	通信運搬費	31,000			
1103	手数料	69,800			
1106	火災保険料	9,893			
1201	施設維持管理委託料	1,934,020			
1301	使用料及び賃借料	0			
1402	維持補修工事	638,000			
1501	原材料費	117,320			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,330,233	9,711,168	0	619,065

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	9,711,168	0
主な財源	最終処分場利用負担金				

事業内容

日向市一般廃棄物最終処分場を適正に維持管理した。
○消耗品費（水処理用の薬品、薬剤、事務用品等）
○維持補修工事（最終処分場事務所空調工事）
○原材料費（埋立用覆土材等購入）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

最終処分場汚水処理施設各種水槽清掃業務委託	913,000
汚水処理施設月例汚泥抜き取り清掃業務委託等	671,000
汚水処理施設浄化槽清掃業務委託	23,100
汚水処理施設浄化槽保守点検業務委託	8,800
日向市一般廃棄物最終処分場内除草業務委託	186,120
電気工作物保安管理業務委託	132,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	01 福祉管理一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	115,200	1201	施設維持管理委託料	577,500
0104	会計年度任用職員報酬	1,399,116	1805002	宮崎県社会福祉協議会負担金	95,000
0301	職員手当	237,849	1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	5,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	271,462	1833015	遺族連合会運営補助金	0
0801	費用弁償	24,000	1853028	日向市戦没者追悼奉賛会補助金	0
0802	普通旅費	1,300	1853029	ひむかいの塔追悼式参拝補助金	0
1001	消耗品費	579,700	1902	社会福祉扶助費（県単補助）	69,110
1005	食糧費	0			
1007	光熱水費	49,647			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	122,953			
1106	火災保険料	1,866			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,346,000	3,549,703	0	1,796,297

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	86,000	0	0	3,463,703
主な財源	民生委員活動費負担金、特別給付金等支給事務市町村交付金				

事業内容

福祉課全体に係る一般事務経費及び負担金等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

戦没者追悼施設樹木管理業務	495,000
富高慰霊塔トイレ清掃業務	82,500

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	03 重度心身障害児者医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	2,767,033			
1902	社会福祉扶助費（県単補助）	152,563,411			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
156,467,033	155,330,444	0	1,136,589

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	63,804,000	0	16,779,000	74,747,444
主な財源	重度障害者（児）医療費公費負担事業補助金、重度心身障害者（児）医療費助成金返還金				

事業内容

○重度心身障害児（者）医療費助成金
重度の障がいがある人を対象に、保険診療医療費の一部を現物給付方式により助成を行った。
【助成対象者数：1,505人】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	04 自立支援医療給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	128,250			
1103	手数料	155,035			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	147,434,158			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,256,000	147,717,443	0	1,538,557

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	73,717,000	36,858,000	0	0	37,142,443
主な財源	障害者医療費負担金(国・県)				

事業内容	
	・更生医療（18歳以上の身体障害者手帳所持者が対象。手術等で確実な効果が期待できる治療についての助成。）【支給対象延べ人数：4,712人】 ・育成医療（18歳未満の身体障がい児が対象。更生医療と同様の助成内容。）【支給対象延べ人数：18人】 ・療養介護医療（医療機関に入院中の障害者が対象。医療と同時に行われる介護や福祉サービスについての助成。）【支給対象延べ人数：153人】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	06 障害児・者補装具給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	13,927,767			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,500,000	13,927,767	0	1,572,233

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,964,000	3,482,000	0	0	3,481,767
主な財源	障害者補装具給付事業負担金(国・県)				

事業内容	
	身体障害者手帳が交付されている人に対し、身体上の障がいを補うために必要な用具の給付を行った。 ・肢体不自由：義手、義足、車椅子など 【決定件数：92件】 ・視覚障がい：盲安全杖、眼鏡など 【決定件数：10件】 ・聴覚障がい：補聴器など 【決定件数：69件】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	09 身体障害者福祉電話運営事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	40,732			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,000	40,732	0	5,268

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	40,732
主な財源					

事業内容	外出することが困難な重度の身体障がいがある人に対し、福祉電話加入権を貸与し、基本料金の助成を行った。【助成対象者数：2人】
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	10 特別障害者手当等給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	114,000			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	30,960,580			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,279,722	31,074,580	0	205,142

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	23,043,000	0	0	0	8,031,580
主な財源	特別障害者手当等給付費負担金				

事業内容	○特別障害者手当（身体又は知的・精神に著しい重度の障がいを有する20歳以上の人が対象。支給月額27,350円）【支給対象者数：75人】 ○障害児福祉手当（身体又は知的・精神に著しい重度の障がいを有する20歳未満の人が対象。支給月額14,880円）【支給対象者数：41人】 ○経過的福祉手当（制度改正以前の受給者に対する経過措置手当。支給月額14,880円）【支給対象者数：1人】
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	11 特別児童扶養手当事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	64,000			
1006	印刷製本費	49,400			
1101	通信運搬費	93,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
220,000	206,400	0	13,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	184,000	0	0	0	22,400
主な財源	特別児童扶養手当事務取扱交付金				

事業内容

○市町村事務
特別児童扶養手当認定に係る申請書等の受理、所得状況の確認等に関する事務を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	02 障害者センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	65,123			
1207	指定管理者委託料	14,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,266,000	14,265,123	0	877

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	300,000	146,000	0	465,000	13,354,123
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金(国・県)、障害者センター使用料				

事業内容

障がいの有無にかかわらず多くの市民が交流する場としての活用を促進するため、次の事業を行った。
・施設の使用許可、維持管理及び利用促進のための広報
・障がい福祉に係る各種相談受付
・点訳・音訳奉仕員養成講座に係る事務、点字広報発行及び、日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会に係る事務等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	02 障がい福祉一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,534,928	1106	火災保険料	14,453
0301	職員手当	617,720	1201	施設維持管理委託料	120,500
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	538,195	1806030	日向入郷地域精神保健福祉協議会負担金	7,900
0801	費用弁償	40,000	1825002	研修会負担金	72,200
0802	普通旅費	13,040	2201	償還金	66,801,913
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	49,000			
1006	印刷製本費	180,538			
1007	光熱水費	36,000			
1008	修繕料	7,470			
1101	通信運搬費	241,000			
1103	手数料	4,462			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
72,141,170	71,279,319	0	861,851

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	611,000	0	0	70,668,319
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業内容

障がい福祉推進に係る一般事務費と障がい福祉関係団体への負担金、国及び県負担金の償還金を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

塩見美々津線田の原地区公衆用トイレ浄化槽保守点検清掃業務	60,500
塩見美々津線田の原地区公衆用トイレ管理業務	60,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	19 介護給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,186,784			
0301	職員手当	464,690			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	409,817			
0801	費用弁償	145,300			
0802	普通旅費	19,500			
1001	消耗品費	123,640			
1103	手数料	2,555,581			
1107	自動車損害保険料	20,405			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	1,008,161,410			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,017,084,000	1,014,087,127	0	2,996,873

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	472,656,000	236,328,000	0	0	305,103,127
主な財源	障害者自立支援給付費負担金(国・県)				

事業内容

障害者総合支援法に基づき、身体・知的・精神の3障がい共通の介護給付事業を実施することで、障がい者の地域での自立生活及び社会生活を支援した。「介護給付」には「居宅介護」や「生活介護」など、主として日中活動の場で提供されるサービス、「施設入所支援」などの主として夜間に提供されるサービスがあり、ニーズに応じたサービスの提供を行った。

介護給付費及び訓練等給付費支給決定 【935件】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	20 訓練等給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	649,317,863			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
650,700,000	649,317,863	0	1,382,137

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	304,420,000	152,210,000	0	0	192,687,863
主な財源	障害者自立支援給付費負担金(国・県)				

事業内容

障害者総合支援法に基づき、自立した日常生活や社会生活を営むことを目的とした、身体機能や生活能力の向上のための訓練等給付事業を行った。
介護給付費及び訓練等給付費支給決定 【935件】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	21 障害者給付認定審査会運営事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	1,080,000			
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0203	一般職給料	567,000			
0301	職員手当	598,614			
0401	給与に係る保険料	193,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	361,008			
0801	費用弁償	77,285			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	314,000			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	141,477			
1101	通信運搬費	73,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,643,000	5,286,828	0	356,172

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,411,000	2,875,828
主な財源	障害者給付認定審査会運営事業負担金				

事業内容

○日向入郷地域障害者給付認定審査会 【12回開催】
障がい者の介護給付サービスの申請に基づき、障害支援区分に関する審査及び判定業務を行うため、日向入郷1市2町2村の広域で共同設置しており、毎月審査会を開催した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	25 障害児通所支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	288,762			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	242,979,733			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
243,280,000	243,268,495	0	11,505

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	121,490,000	60,745,000	0	0	61,033,495
主な財源	障害児通所支援給付費負担金(国・県)				

事業内容

児童福祉法に基づき、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援など、障がい児に対する支援を行った。
障害児通所給付費支給決定数 【160件】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	02 扶助費
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
事業 中事業	02 生活支援と自立の促進
事業 小事業	01 生活保護費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1930	生活保護扶助費（国直接・間接補助）	1,182,660,441			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,183,534,000	1,182,660,441	0	873,559

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	832,907,000	36,195,000	0	20,211,000	293,347,441
主な財源	生活保護費負担金(国・県)、生活保護費返還金				

事業内容

最低生活の保障と自立の助長を図ることを目的として、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行った。
【被保護者693世帯　被保護者人員798人　保護率13.59‰】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0011 指導監査係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	09 福祉法人監査一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	9,900			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
110,000	9,900	0	100,100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	9,900
主な財源					

事業内容	社会福祉法人指導監査に係る一般事務経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	12 児童手当給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	24,455			
1006	印刷製本費	45,650			
1101	通信運搬費	828,000			
1205	システム開発等委託料	1,826,000			
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	1,008,495,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,011,227,000	1,011,219,105	0	7,895

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	701,997,000	154,162,000	0	0	155,060,105
主な財源	児童手当国庫負担金、子ども・子育て支援事業費補助金、児童手当負担金				

事業内容

0歳から中学校終了前の児童を養育している者に、児童1人につき以下の月額を支給

○所得制限以下　・3歳未満　15,000円
　　・3歳以上～小学校修了前　10,000円（第1,2子）15,000円（第3子以降）
　　・中学生　10,000円

○所得制限以上　一律　5,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

児童手当現況届義務廃止に伴うシステム改修業務	935,000
特例給付所得上限額創設に伴うシステム改修業務	891,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	01 児童扶養手当給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	404,827,480			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
404,828,000	404,827,480	0	520

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	134,630,000	0	0	0	270,197,480
主な財源	児童扶養手当負担金				

事業内容

父または母と生計を同じくしていない児童を、監護・養育している者に手当を支給した。
○児童1人：月額43,160円（令和2年4月額改定）
○児童2人：児童1人目の児童の支給金額に10,190円を加算（令和2年4月額改定）
○児童3人以上：3人目以降の児童1人につき6,110円を加算（令和2年4月額改定）
※所得制限により、一部・全部支給停止あり

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	03 日知屋児童センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	0			
1001	消耗品費	0			
1007	光熱水費	232,397			
1008	修繕料	466,400			
1103	手数料	33,000			
1106	火災保険料	4,328			
1201	施設維持管理委託料	1,133,517			
1207	指定管理者委託料	5,524,750			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	19,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,561,000	7,414,192	0	146,808

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,414,192
主な財源					

事業内容

児童館の運営及び下記に関する事業を、民間事業者に委託して行った。
(1)児童の健康を増進し、情操を豊かにするための遊戯施設等の提供
(2)健全な遊びを通した、児童の集団的・個別的指導
(3)健全な遊びを通した、児童の体力増進のための指導
(4)その他児童館の設置の目的達成に必要な事業

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日知屋児童センター指定管理者委託	5,524,750
日向市立5地区公民館等清掃業務委託	237,600
5地区公民館等庭園管理業務委託	29,000
日知屋公民館・児童センター冷暖房設備点検業務委託（日知屋児童センター分）	52,500
日知屋児童センター 消防防災設備保守点検業務委託	65,120
日知屋児童センター 自家用電気工作物保安業務委託	43,340
日知屋児童センター警備業務委託	705,957

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	04 大王谷児童館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金 厚生	0			
1001	消耗品費	0			
1007	光熱水費	109,618			
1008	修繕料	22,220			
1106	火災保険料	30,171			
1201	施設維持管理委託料	1,003,110			
1207	指定管理者委託料	5,524,750			
1701	庁用器具費(一般的事務用)	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,046,000	6,689,869	0	356,131

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,689,869
主な財源					

事業内容

児童館の運営及び下記に関する事業を、民間事業者に委託して行った。
(1)児童の健康を増進し、情操を豊かにするための遊戯施設等の提供
(2)健全な遊びを通した、児童の集団的・個別的指導
(3)健全な遊びを通した、児童の体力増進のための指導。
(4)その他児童館の設置の目的達成に必要な事業を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

大王谷児童館指定管理者委託	5,524,750
日向市立5地区公民館等清掃業務委託	197,800
5地区公民館等庭園管理業務委託	55,000
大王谷公民館・児童館空調装置保守点検業務委託	39,600
大王谷公民館・児童館消防用設備等点検業務委託	26,400
大王谷公民館・児童館自家用電気工作物保安業務委託	39,600
大王谷児童館警備業務委託	644,710

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	03 子育て支援一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,965,371	1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	5,000
0301	職員手当	410,886	1809008	宮崎県児童館連絡協議会負担金	16,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	344,218	1825009	保健事業費負担金	691,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	14,250	2201	償還金	34,000,414
0801	費用弁償	36,400			
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	263,736			
1006	印刷製本費	274,740			
1101	通信運搬費	346,361			
1103	手数料	83,291			
1106	火災保険料	110,541			
1301	使用料及び賃借料	646,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,363,000	39,212,908	0	1,150,092

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	23,000	0	0	39,189,908
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業内容

○国保保健指導事業(歯科)負担金
○一般事務経費
・消耗品費(事務用品・印刷用紙等)　・印刷製本費(保育所入所案内印刷等)
・その他の手数料(保育料口座振替手数料等)

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	03 母子寡婦福祉事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2001	貸付金	2,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,000,000	2,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,000,000	0
主な財源	母子世帯生活つなぎ資金貸付金収入				

事業内容

日向市母子寡婦福祉連絡協議会と連携し、母子寡婦世帯の生活の安定と向上を図った。
○母子世帯つなぎ資金貸付金
母子寡婦世帯の自立を図るため、母子寡婦福祉連絡協議会に貸付金として支出し、母子寡婦世帯つなぎ資金として会員に貸し付けを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	09 ひとり親家庭等日常生活支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	10,000			
1203	事業委託料	109,636			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
227,000	119,636	0	107,364

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	90,000	0	0	29,636
主な財源	ひとり親家庭等日常生活支援事業補助金				

事業内容

病気等の理由で一時的に日常生活に支障が生じたひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、生活援助や子育て支援を行った。
○事業委託料
・家庭生活支援員報酬　・消耗品費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市ひとり親家庭等日常生活支援事業委託　109,636

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	02 乳幼児の健康・育児に対する支援の充実
小事業	03 未熟児養育医療給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	871			
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	2,924,593			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,935,000	2,925,464	0	9,536

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,236,000	618,000	0	453,000	618,464
主な財源	未熟児養育医療国庫負担金、未熟児養育医療費負担金、宮崎県養育医療給付事業負担金				

事業内容

未熟児は、正常の新生児に比べて機能が未熟であり疾病にかかりやすく、その死亡率はきわめて高いばかりか、心身の障害を残すことも多い。出生後速やかに適切な処置を講じることが必要であり、これら未熟児に対して必要な医療の給付を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	01 妊娠・出産環境の充実
小事業	03 特定不妊治療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1952	衛生扶助費（市単独）	1,991,125			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,250,000	1,991,125	0	258,875

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,991,000	125
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

事業内容

宮崎県又は宮崎市の「不妊に悩む方への特定治療支援事業」受給者（体外受精又は顕微授精による特定不妊治療を受ける夫婦）に対し、不妊治療費助成金を給付することにより、経済的負担の軽減を図り、市民が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを行った。
・申請件数：51件（実人員23人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	16 施設型給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,665,721,144			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,674,000,000	2,665,721,144	0	8,278,856

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,288,064,000	618,014,000	0	86,224,000	673,419,144
主な財源	施設型給付負担金法人立（国・県）、施設型給付費保護者負担金法人立現年度分、施設型給付負担金法人立（1号認定分）、施設型給付費地方単独費用補助金、施設型給付費保護者負担金督促手数料				

事業内容

○法人立保育園（14園）に運営委託
○認定こども園（10園）、幼稚園（1園）へ施設型給付
○令和3年度実績
・入所児童数2,390名（令和4年3月31日現在。公立保育所及び幼稚園を含む）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
施設型給付費　2,665,721,144

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	25 子育てのための施設等利用給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890016	子育てのための施設等利用給付金	28,712,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,450,000	28,712,900	0	737,100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	14,356,000	7,178,000	0	0	7,178,900
主な財源	施設等利用給付交付金（国・県）				

事業内容

幼児教育・保育の無償化に伴い創設された「子育てのための施設等利用給付」により、対象児童に施設等利用費を支給した。
○主な対象施設等
預かり保育事業（幼稚園及び認定こども園の在園児の預かり保育）
認可外保育施設

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	03 幼児教育奨励費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	01 幼児教育の充実
小事業	02 学校評議員（幼稚園）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	6,000			
0801	費用弁償	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,000	6,000	0	8,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,000
主な財源					

事業内容

幼稚園の自主性・自立性を確立し、より一層地域や社会に開かれた幼稚園づくりを推進するため、学校評議員制度を導入した。
○評議員数　寺迫幼稚園2名
○開催回数　年2回程度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	10 教育費	項	04 幼稚園費
目	01 幼稚園費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	01「幼稚園」施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	50,592	1101	通信運搬費	40,420
0301	職員手当	0	1107	自動車損害保険料	23,271
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	12,000	1301	使用料及び賃借料	6,204
0801	費用弁償	0	1701	庁用器具費（一般的事務用）	6,980
0802	普通旅費	22,015	1809018	公立幼稚園長会負担金	15,600
1001	消耗品費	105,195	1825002	研修会負担金	0
1003	消耗品費被服	19,636	1922	児童福祉扶助費（市単独）	61,809
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	317,139			
1008	修繕料	0			
1011	医薬材料費	4,588			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,592,000	685,449	0	906,551

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	37,000	648,449
主な財源	預かり保育料、幼稚園入園手数料				

事業内容

市立幼稚園の適正な運営・管理を行った。
○園数　1園
○教育時間：月曜日から金曜日まで（午前8時30分から午後3時30分まで）
※預かり保育あり（午前7時45分～午前8時30分、午後3時30分～午後4時50分）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	06 保育事業（上町保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,639,414	1011	医薬材料費	87,834
0301	職員手当	2,002,245	1103	手数料	273,900
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,117,904	1108	その他の保険料	22,390
0701	講師謝金	0	1301	使用料及び賃借料	1,760
0714	その他の役務提供等に対する報償金	100,000	1701	庁用器具費（一般的事務用）	69,000
0716	記念品料	20,160	1825002	研修会負担金	6,500
0801	費用弁償	213,822			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	631,210			
1003	消耗品費被服	44,461			
1004	燃料費	321,278			
1009	賄材料費	4,831,817			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,366,800	22,383,695	0	2,983,105

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	6,503,000	15,880,695
主な財源	施設型給付費保護者負担金公立現年度分、一時預かり事業負担金(公立)、延長保育負担金(公立)、公立保育所給食費負担金(上町)、広域入所保育所受託料、公立保育所副食費負担金				

事業内容

・保育全般（入所児童の保育）
　延長保育（午前7:00～7:30、午後6:30～7:00）
　一時預かり保育

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	05 上町保育所施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	24,000			
1004	燃料費	1,944			
1007	光熱水費	1,244,885			
1008	修繕料	295,152			
1101	通信運搬費	66,401			
1103	手数料	144,855			
1106	火災保険料	10,054			
1201	施設維持管理委託料	541,200			
1402	維持補修工事	35,000			
1501	原材料費	27,833			
1702	機械器具費（事業執行用）	407,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,060,352	2,798,324	0	262,028

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,798,324
主な財源					

事業内容

・施設設備の維持管理
・入所児の安全管理（防災設備、災害備蓄）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

廃棄物・資源物収集運搬業務	33,000
消防・防災施設保守点検業務	46,200
警備業務	79,200
グリストラップ清掃業務	19,800
シロアリ駆除、防除管理業務	33,000
園庭銀杏大木剪定業務	330,000

○工事請負費

消防用設備不良箇所改修	35,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	04 上町保育所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,368			
1001	消耗品費	57,000			
1004	燃料費	23,994			
1107	自動車損害保険料	23,390			
1108	その他の保険料	8,381			
1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	4,000			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	19,765			
1825013	保育事業費負担金	35,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
191,000	173,898	0	17,102

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	14,000	159,898
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

事業内容	・保育所運営に関する保険及び研修負担金
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	07 保育事業（細島保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	7,442,720	1011	医薬材料費	18,404
0301	職員手当	1,398,612	1103	手数料	283,888
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	918,176	1108	その他の保険料	12,690
0701	講師謝金	0	1301	使用料及び賃借料	11,140
0714	その他の役務提供等に対する報償金	65,000	1701	庁用器具費（一般的事務用）	39,700
0716	記念品料	12,560	1825002	研修会負担金	20,500
0801	費用弁償	146,355			
0802	普通旅費	47,920			
1001	消耗品費	625,903			
1003	消耗品費被服	31,412			
1004	燃料費	283,461			
1009	賄材料費	5,225,679			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,600,000	16,584,120	0	3,015,880

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	6,163,000	10,421,120
主な財源	施設型給付費保護者負担金公立現年度分、一時預かり事業負担金(公立)、公立保育所給食費負担金(細島)、広域入所保育所受託料、公立保育所副食費負担金				

事業内容	・保育全般（入所児童の保育） 延長保育（午前7:00～7:30、午後6:30～7:00） 一時預かり保育
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	06 細島保育所施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	19,953			
1007	光熱水費	1,183,444			
1008	修繕料	179,300			
1101	通信運搬費	60,734			
1103	手数料	172,655			
1106	火災保険料	4,072			
1201	施設維持管理委託料	174,900			
1402	維持補修工事	55,000			
1501	原材料費	3,420			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	917,290			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,052,000	2,770,768	0	281,232

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,000	2,769,768
主な財源	電柱使用料				

事業内容

・施設設備の維持管理
・入所児の安全管理（防災設備、災害備蓄）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

廃棄物・資源物収集運搬業務	33,000
消防・防災施設保守点検業務	46,200
警備業務	79,200
グリストラップ清掃業務	16,500

○工事請負費

消防設備不良箇所改修	55,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	05 細島保育所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	57,165			
1001	消耗品費	56,893			
1107	自動車損害保険料	15,138			
1108	その他の保険料	8,381			
1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	4,000			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	17,520			
1825013	保育事業費負担金	35,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
207,000	194,097	0	12,903

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	13,000	181,097
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

事業内容

・保育所運営に関する保険及び研修負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0002 介護給付係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	10 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	894,820,518			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
944,169,000	894,820,518	0	49,348,482

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	51,779,000	25,889,000	0	0	817,152,518
主な財源	低所得者保険料軽減負担金現年度分(国・県)、低所得者保険料軽減負担金過年度分(国・県)				

事業内容

介護保険事業特別会計（保険事業勘定）へ、市負担分の繰出を行った。
○介護給付費繰出金（給付費の12.5%）　○介護予防・日常生活支援総合事業費繰出金　（事業費の12.5%）
○介護予防・日常生活支援総合事業費以外の繰出金（事業費の19.5%）
○低所得者保険料軽減負担金（軽減額の25%）　○職員給与費繰出金　○事務費繰出金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	01 敬老事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0715	報奨金	5,370,000			
1001	消耗品費	43,914			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,421,870	5,413,914	0	7,956

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,413,914
主な財源					

事業内容

日向市長寿祝金条例に基づき、市内最高齢者、年度内に100歳に到達した方、並びに基準日（9月1日現在）に88歳に到達した方に対し、長寿祝金を支給した。
88歳　392人　3,920,000円
100歳　28人　1,400,000円
最高齢者　1人　50,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	04 高齢者保健福祉計画に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	1,470			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
220,000	1,470	0	218,530

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,470
主な財源					

事業内容	「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（計画期間：令和3年度～令和5年度）の進捗管理をする「日向市高齢者保健福祉計画等推進委員会」は、計画策定1年目であったため開催していない。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	02 地域で暮らし続けるための支援の充実
小事業	04 養護老人ホームへの措置に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	582,965			
0301	職員手当	148,656			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	108,984			
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	50,000			
0801	費用弁償	0			
1103	手数料	13,057			
1912	高齢者福祉扶助費(市単独)	223,180,885			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
224,349,000	224,084,547	0	264,453

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	42,280,000	181,804,547
主な財源	養護老人ホーム入所者負担金（現年度）、諸手数料、高額介護サービス返還金（現年分）				

事業内容	常時介護の必要はないが、身体的・精神的な理由をはじめ、居住環境、経済的な理由や家庭環境などにより、自宅での生活が困難と判断される、おおむね65歳以上の高齢者を入所措置し、養護した。 〇入所措置者対象者数（令和4年4月1日現在） ひまわり寮51人、鈴峰園31人、市外施設24人
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	02 地域で暮らし続けるための支援の充実
小事業	09 権利擁護人材育成・資質向上支援体制づくり事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	20,000			
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
252,000	20,000	0	232,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	20,000	0	0	0
主な財源	権利擁護人材育成・資質向上支援体制づくり事業補助金				

事業内容	1市2町2村が広域で連携し、地域連携ネットワーク推進のための中核機関設置を行うなど成年後見制度利用促進の体制整備を図ることで、認知症や障がいのある人の権利擁護をさらに推進することを目的として、先行して中核機関を設置している市町村を講師として研修会を実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者福祉の充実
中事業	03 介護サービスの充実と持続可能な制度運営
小事業	06 介護施設等の施設開設準備経費等支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853056	介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金	1,613,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,900,000	1,613,000	0	4,287,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,613,000	0	0	0
主な財源	介護施設開設準備経費等支援事業補助金				

事業内容	介護予防・健康づくりを行う介護予防拠点における防災意識啓発の取組に対し、県から交付された補助金を財源として、住民主体の通いの場の実施団体へ備品購入費及び講師謝金を補助した。 〇住民主体の通いの場実施団体への補助　19ヶ所
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	07 老人福祉センター（春原）管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	82,500			
1106	火災保険料	4,103			
1207	指定管理者委託料	6,369,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,474,000	6,455,603	0	18,397

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,455,603
主な財源					

事業内容：老人福祉センターを活用し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。管理については、指定管理委託（指定管理者：社会福祉法人日向市社会福祉協議会）により実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	08 美々津老人福祉センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	8,005			
1207	指定管理者委託料	2,409,990			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,519,000	2,417,995	0	101,005

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	21,000	2,396,995
主な財源	美々津老人福祉センター使用料				

事業内容：美々津老人福祉センターを活用し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。管理については、指定管理委託（指定管理者：石並公民館）により実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	09 平岩ふれあい館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	28,831			
1207	指定管理者委託料	6,101,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,230,000	6,129,831	0	100,169

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,129,831
主な財源					

事業内容

平岩ふれあい館を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。管理については、指定管理委託（指定管理者：社会福祉法人立縫会）により実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	10 ひまわり寮施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	13,200			
1207	指定管理者委託料	7,639,000			
1402	維持補修工事	3,799,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,453,000	11,451,600	0	1,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	11,451,600
主な財源					

事業内容

養護老人ホームひまわり寮の管理運営を民間事業者（指定管理者：社会福祉法人清風会）に委託することにより、入所者に対し、老人福祉法等に基づく適切な支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○維持補修工事

汚水桝改修工事	3,007,400
高圧引込設備改修工事	792,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	11 鈴峰園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	49,500			
1106	火災保険料	16,889			
1207	指定管理者委託料	3,769,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,886,000	3,835,389	0	50,611

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,835,389
主な財源					

事業内容	養護老人ホーム鈴峰園の管理運営を民間事業者（指定管理者：社会福祉法人南郷会）に委託することにより、入所者に対し、老人福祉法等に基づく適切な支援を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	06 高齢者福祉一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,491,856	2201	償還金	743,000
0301	職員手当	592,934			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	618,079			
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	0			
0803	特別旅費	2,600			
1001	消耗品費	119,921			
1101	通信運搬費	38,720			
1301	使用料及び賃借料	0			
1810007	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	5,000			
1825002	研修会負担金	70,200			
1912	高齢者福祉扶助費(市単独)	172,130			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,533,130	5,878,440	0	654,690

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,878,440
主な財源					

事業内容	高齢者支援に資する事業に要した一般事務費 ○県補助金等精算返還金 令和2年度介護保険利用者負担軽減対策事業費補助金の返還金 令和2年度老人等在宅福祉事業費補助金確定に伴う返還金
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	01 高齢者あんしん課 0004 地域包括ケア推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	25 国民健康保険東郷診療所特別会計(訪問看護事業)への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	20,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,500,000	20,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	20,500,000
主な財源					

事業内容	東郷診療所で実施した訪問看護事業の事業費のうち、利用者からの利用料で充当できなかった額について、一般会計から診療所特別会計へ繰出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	04 衛生一般事務費
小事業	02 健康増進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	15,000			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	122,421			
1005	食糧費	6,930			
1101	通信運搬費	31,380			
1108	その他の保険料	135,000			
1825002	研修会負担金	0			
1825009	保健事業費負担金	6,745,000			
2201	償還金	1,329,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,370,000	8,386,031	0	983,969

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	8,386,031
主な財源					

事業内容	健康増進課の業務執行に係る一般的な事務経費 ○普通旅費 ○消耗品費 ○電信電話料 ○その他の保険料（検診受診者傷害保険料）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○保健事業費負担金 国保保健指導事業　886,000 保健福祉総合施設管理費　5,859,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0001 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	01 保健体制の充実
小事業	03「健康ひゅうが21計画」推進会議の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0702	出会謝金	0			
1001	消耗品費	2,508			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
165,000	2,508	0	162,492

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,508
主な財源					

事業内容

「健康ひゅうが21計画（第2次）」を推進するため、関係機関・団体との連携を図りながら、健康増進事業を展開した。
○「健康ひゅうが21計画」推進会議の開催（書面開催）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0002 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	06 診療所費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	06 初期救急診療所管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	19,525			
1201	施設維持管理委託料	592,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
647,000	612,425	0	34,575

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	612,425
主な財源					

事業内容

日向市初期救急診療所を円滑に運営するために必要な施設の維持管理費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

清掃業務	297,000
機械警備業務	92,400
空調機器保守点検業務	188,100
消防用設備保守点検業務	15,400

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	01 商工総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	07 商工一般事務費
小事業	04 商工業振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0	1813010	宮崎県工業会賛助会会費負担金	100,000
1001	消耗品費	261,922	1813012	金曜会負担金	0
1005	食糧費	0			
1007	光熱水費	56,000			
1101	通信運搬費	121,720			
1301	使用料及び賃借料	55,000			
1805029	宮崎県産業振興機構負担金	44,000			
1805040	宮崎県中小企業団体中央会負担金	34,000			
1805043	宮崎県物産貿易振興センター負担金	20,000			
1805080	日本貿易振興機構宮崎貿易情報センター負担金	262,000			
1806013	日向地区職業訓練会負担金	246,600			
1813006	宮崎県発明協会負担金	15,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,370,000	1,216,242	0	153,758

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,216,242
主な財源					

事業内容	商工業振興に係る一般事務経費及び関係団体等への負担金を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	01 日向地区ひとものづくりセンター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	79,970			
1106	火災保険料	31,968			
1203	事業委託料	4,994,000			
1301	使用料及び賃借料	609,120			
1402	維持補修工事	583,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,342,000	6,298,058	0	43,942

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	616,000	5,682,058
主な財源	日向地区ひとものづくりセンター施設貸付収入				

事業内容	技術・技能の向上に係るセミナーや資格取得研修等が行われる「日向ひとものづくりセンター」及び起業・創業のための支援施設「日向インキュベーション施設」の管理運営を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○事業委託料 日向ひとものづくりセンター管理運営業務委託　4,378,000 日向インキュベーション施設管理運営業務委託　616,000 ○維持補修工事 日向ひとものづくりセンターエアコン更新工事　583,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	02 企業誘致関連施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,930,000			
1008	修繕料	487,520			
1106	火災保険料	20,601			
1201	施設維持管理委託料	2,266,560			
1402	維持補修工事	2,750,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	48,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,444,000	7,503,081	0	940,919

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	7,503,000	81
主な財源	日向市ITセンター貸付収入				

事業内容

市の企業誘致関連施設である日向市ITセンター及び旧幸脇小学校の維持管理費に係る経費を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

日向市ITセンター 清掃植栽管理業務委託	1,303,500
日向市ITセンター 自家用電気工作物保安業務委託	400,520
日向市ITセンター エレベーター保守点検業務委託	303,600
日向市ITセンター 機械警備業務委託	118,800
日向市ITセンター 消防用設備保守点検業務委託	71,500
日向市ITセンター 自動ドア保守点検業務委託	55,440
日向市ITセンター 廃棄物等収集運搬業務委託	13,200

○維持補修工事

日向市ITセンター 防水工事	2,750,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	01 港湾一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	198,440			
1001	消耗品費	20,000			
1005	食糧費	0			
1806065	宮崎県北部地区（海の日）協賛会負担金	0			
1813002	海上保安協会細島支部負担金	65,000			
1813003	日本関税協会負担金	48,000			
1813004	九州運輸振興センター負担金	30,000			
1814012	港湾都市協議会負担金	13,000			
1814014	細島港振興協会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
484,000	374,440	0	109,560

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	10,000	364,440
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業内容

港湾振興に係る一般事務費と港湾関係団体への負担金を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	07 商工一般事務費
小事業	03 観光振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	103,000			
1003	消耗品費被服	27,280			
1006	印刷製本費	59,955			
1101	通信運搬費	50,000			
1103	手数料	43,000			
1805048	宮崎県観光協会負担金	340,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
778,000	623,235	0	154,765

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	623,235
主な財源					

事業内容	観光振興に係る一般事務費と観光関連団体への負担金を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
小事業	13 地域・観光情報拠点施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1007	光熱水費	2,686,067			
1101	通信運搬費	37,332			
1103	手数料	10,000			
1106	火災保険料	72,140			
1201	施設維持管理委託料	4,247,960			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,838,000	7,053,499	0	784,501

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,053,499
主な財源					

事業内容

中心市街地の観光拠点であり、「地域情報センター」としての機能を持つ、まちの駅「とみたか」の施設管理及び、本市が誇る観光名所・馬ヶ背を核とした日向岬一帯のイメージを強くアピールするため、観光情報発信拠点としての「馬ヶ背観光案内所」の適正な管理運営を行った。
○管理施設：まちの駅「とみたか」 馬ヶ背観光案内所　○業務内容：施設の維持管理等
○その他：トイレ清掃管理・ごみ収集・浄化槽管理・植栽管理等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

まちの駅「とみたか」・馬ヶ背茶屋管理業務委託	2,964,000
伊勢ヶ浜門前まちトイレ清掃業務委託	250,000
市内観光地ごみ収集等業務委託	184,000
観光トイレ浄化槽維持管理及び貯水槽清掃業務委託	327,600
観光施設樹木除草等管理業務委託	393,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	04 日向サンパーク体育施設等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	68,239			
1106	火災保険料	84,295			
1207	指定管理者委託料	11,735,000			
1301	使用料及び賃借料	165,252			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,055,000	12,052,786	0	2,214

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	77,000	11,975,786
主な財源	日向サンパーク体育施設自動販売機電気使用料				

事業内容

市民及び施設利用者の健康増進を図るため、体育施設等の適正管理を行い、安全で安心な運動環境を提供した。また、余暇施設として建設されたキャンプ場の目的を果たし、施設利用者に満足していただく管理を行った。
○管理施設　テニスコート・ブーゲンビリアの丘（遊具）・グラウンドゴルフ場・コテージ・キャンプサイト等
○管理形態　指定管理制度　（株）日向サンパーク（平成31年(2019年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日）
○業務内容　①施設利用に関する許可　②施設の維持管理　③施設利用促進の企画・実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	05 日向サンパーク温泉管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,245,022			
1206	その他の委託料	607,200			
1402	維持補修工事	5,390,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,390,000	7,242,222	0	147,778

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,242,222
主な財源					

事業内容

令和2年9月末をもって休館した日向サンパーク温泉施設において、休館中の源泉設備及び電気設備において、点検管理業務を行った。また、大浴場、更衣室等の内壁材が白蟻被害にあっていたため、内壁材の解体工事と白蟻防除工事を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向サンパーク温泉電気保安管理業務委託	151,800
日向サンパーク温泉電気保安管理業務委託（その2）	151,800
日向サンパーク温泉源泉設備巡回点検業務委託	151,800
日向サンパーク温泉源泉設備巡回点検業務委託（その2）	151,800

○工事請負費

日向サンパーク温泉大浴場外内部改修工事	5,280,000
日向サンパーク温泉館白蟻防除工事	110,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	06 道の駅「日向」管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	125,386			
1106	火災保険料	50,725			
1201	施設維持管理委託料	3,698,400			
1813019	九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	70,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,037,000	3,944,511	0	92,489

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	167,000	3,777,511
主な財源	電気自動車急速充電器使用料、道の駅「日向」自動販売機電気使用料				

事業内容

国道10号に面した広域観光の拠点である、道の駅「日向」の適正な管理を行うため業務委託し、観光情報の発信はもとより、地場産品の販売を促進し、地域の活性化を図った。
○管理施設　物産館・トイレ・駐車場外
○管理形態　施設管理業務委託　受注者　（株）日向サンパーク
○主な予算　①委託料（道の駅「日向」施設管理業務委託）　②負担金（「道の駅」連絡会会費）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

道の駅「日向」管理業務委託	3,425,600
道の駅「日向」急速充電器メンテナンス業務委託	272,800

○負担金

九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	50,000
全国「道の駅」連絡会負担金	20,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	09 石並川キャンプ場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	17,638			
1207	指定管理者委託料	2,941,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,959,000	2,958,638	0	362

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,958,638
主な財源					

事業内容

石並川と山々の恵まれた自然環境を活かし、キャンプやレクリエーション活動を通じて癒しの空間を提供するため、指定管理者を定め、適正な施設の管理と運営を行った。
○管理施設　管理棟・炊飯棟・サニタリー・キャンプサイト（40区画）
○管理形態　指定管理者制度　（株）文化コーポレーション（令和2年4月1日～令和7年3月31日）
○業務内容　①施設利用に関する許可　②施設の維持管理　③施設利用促進の企画・実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	10 日向岬グリーンパーク管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	19,600			
1106	火災保険料	5,348			
1207	指定管理者委託料	10,149,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,175,000	10,173,948	0	1,052

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	131,000	10,042,948
主な財源	グリーンパーク使用料、グリーンパーク電気使用料				

事業内容

レクリエーションや文化活動など、多目的に利用できる当該施設において、市民が集える環境を提供するため、指定管理者を定め、適正な施設管理を行った。
○管理施設　芝生広場・野外ホール・管理棟・駐車場（2箇所）
○管理形態　施設管理者制度　（一（社）宮崎県造園緑地協会日向支部（令和2年4月1日～令和7年3月31日）
○業務内容　①施設使用に関する許可　②施設の維持管理　③施設利用促進の企画・実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	11 海水浴場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	1,343,000			
1001	消耗品費	96,666			
1004	燃料費	304,000			
1007	光熱水費	1,667,525			
1103	手数料	134,908			
1106	火災保険料	67,270			
1108	その他の保険料	15,390			
1201	施設維持管理委託料	6,025,100			
1301	使用料及び賃借料	43,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,502,332	9,697,059	0	805,273

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,307,000	6,390,059
主な財源	伊勢ヶ浜ビーチハウスシャワー等使用料、お倉ヶ浜ビーチハウスコインシャワー等使用料、金ヶ浜ビーチコインシャワー等使用料、伊勢ヶ浜自動販売機電気使用料、お倉ヶ浜ビーチハウス電気使用料				

事業内容

伊勢ヶ浜・お倉ヶ浜・金ヶ浜、御鉾ヶ浜の4海水浴場において、夏期の利用促進のほか、サーファーの誘客を図るため、業務委託し、安全な海水浴場と関連施設の適正管理及び美化等の景観保全を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

お倉ヶ浜ビーチハウス管理業務	1,870,000
伊勢ヶ浜ビーチハウス管理業務	1,815,000
金ヶ浜ビーチハウス管理業務	1,373,000
市内観光地ごみ収集等業務	281,000
観光トイレ浄化槽清掃・保守点検及び貯水槽清掃業務	686,100

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	14 道の駅「とうごう」管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,972,350			
1106	火災保険料	55,592			
1201	施設維持管理委託料	2,430,300			
1401	建設工事費	330,000			
1813019	九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	70,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,149,000	4,858,242	0	290,758

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,716,000	3,142,242
主な財源	道の駅「とうごう」電力量料金収入、非常用発電設備保安管理料				

事業内容

入郷の玄関口で西の広域観光の拠点である道の駅「とうごう」の適正な管理を行うため業務委託し、道の駅としての目的を果たすとともに、観光情報発信はもとより、東郷地域の発展の中核的な位置づけの確立を行った。
○管理施設　物産施設（事務所）、トイレ
○管理形態　施設管理業務委託
○主な予算　①委託料（施設管理・植栽管理・消防、電気保安・警備委託等）　②負担金（「道の駅」連絡会会費）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

道の駅「とうごう」管理業務	1,426,000
道の駅「とうごう」樹木等管理業務	490,600
道の駅「とうごう」電気保安管理業務	196,900
道の駅「とうごう」北側芝生管理業務	88,000
市内観光施設等機械警備業務	165,000

○負担金

九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	50,000
全国「道の駅」連絡会負担金	20,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	15 牧水公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	179,208			
1206	その他の委託料	536,580			
1207	指定管理者委託料	23,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,779,000	23,715,788	0	63,212

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	200,000	23,515,788
主な財源	牧水公園自動販売機電気使用料				

事業内容

市民及び施設利用者の多目的運動施設として、指定管理者を定め、適正な施設管理を行い、総合施設としての有効な活用を図った。
○管理施設　ふるさとの家、コテージ（10棟）、キャンプ場、グラウンド、テニスコート（5面）
○管理形態　指定管理者制度　（株）東郷町ふるさと公社（令和2年4月1日～令和5年3月31日）
○業務内容　①施設使用に関する許可　②施設の維持管理　③施設利用促進の企画・実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

牧水公園河川プール管理業務委託	536,580

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	03 農村公園管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	239,799			
1008	修繕料	168,300			
1103	手数料	15,400			
1106	火災保険料	6,010			
1201	施設維持管理委託料	644,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,075,900	1,074,109	0	1,791

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,074,109
主な財源					

事業内容

市が設置している農村公園（曙農村公園、籾木農村公園、飯谷農村公園、平岩農村公園、落鹿農村広場、迫野内農村公園、小野田農林公園）の維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

農村公園管理業務委託料

曙農村公園、平岩農村公園、籾木農村公園、飯谷農村公園、落鹿農村広場	281,600
迫野内農村公園、小野田農林公園	77,000
農村公園浄化槽保守点検及び清掃業務委託料	210,100
平岩農村公園貯水槽清掃業務委託料	53,900
平岩農村公園取付道の除草及び側溝清掃	22,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	06 農林水産一般事務費		
事業 小事業	01 農業振興一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	7,800	1806059	宮崎県立門川高等学校 農業後継者育成協議会負担金	20,500
1001	消耗品費	31,794	1812036	宮崎県地域振興対策協議会山村振興部会負担金	65,000
1003	消耗品費被服	39,710	2601	国に対する公課費	20,100
1005	食糧費	0			
1007	光熱水費	48,815			
1008	修繕料	193,501			
1101	通信運搬費	190,000			
1103	手数料	22,000			
1107	自動車損害保険料	63,956			
1805011	宮崎ブラジル親善協会負担金	19,900			
1805034	宮崎県バイオテクノロジー 種苗増殖センター負担金	55,100			
1806036	東臼杵南部地区農山漁村女性会議負担金	23,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,009,660	801,276	0	208,384

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	86,000	715,276
主な財源	自動車損害共済金				

事業内容

農業振興に係る一般事務費と関係団体への負担金を支出した。
○農業振興事務費
○公用車管理費
○各種負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	01 農地中間管理事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,439,064			
0301	職員手当	853,528			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	253,922			
0801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	187,486			
1101	通信運搬費	250,000			
1301	使用料及び賃借料	132,000			
1856139	農地集積協力金交付事業補助金	1,083,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,224,000	4,223,900	0	100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,064,000	0	0	159,900
主な財源	農地中間管理機構支援事業補助金、農地中間管理事業委託金				

事業内容

市・農業委員会・JA・県で構成する推進チームにより、農地の貸し借りについての相談や地区別説明会などを開催し、担い手への農地集積を推進するとともに、地域内の一定割合以上の農地を農地中間管理機構に貸し付けた地域及び個人に対し支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金、補助及び交付金

農地中間管理機構支援事業費補助金

・地域集積協力金　1件（集落営農組合）　1,049,400

・経営転換協力金　2件（個人）　34,500

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	08 農産物価格安定対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865005	みやざき特産野菜価格安定対策事業補助金	24			
1865021	野菜構造改革価格安定強化事業補助金	90,613			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
460,000	90,637	0	369,363

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	90,637
主な財源					

事業内容

指定野菜（きゅうり、ミニトマト）及び地域特産野菜（なす、にがうり）の系統出荷分について　基準価格割れを生じた際に宮崎県青果物価格安定資金協会（出資者：県、農協、経済連、生産者、市町村）が価格補てんを行う経費の一部を補助した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	03 経営安定対策の推進
事業 小事業	09 各種資金利子補給事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865013	農業経営基盤強化資金利子補給補助金	510,429			
1865032	農業近代化資金利子補給補助金	96,545			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
608,000	606,974	0	1,026

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	255,000	0	0	351,974
主な財源	農業経営基盤強化資金利子補給補助金				

事業内容

認定農業者が経営改善計画に基づき規模拡大等を図るために借り入れた農業制度資金に対し、県・市により利子補給を行った。
○農業経営基盤強化資金利子補給補助金　5件
○農業近代化資金利子補給補助金　1件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	03 経営安定対策の推進
事業 小事業	10 経営所得安定対策等推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856143	経営所得安定対策等推進事業費補助金	5,698,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,698,000	5,698,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,698,000	0	0	0
主な財源	経営所得安定対策等推進事業費補助金				

事業内容

経営所得安定対策事業を推進するため、日向入郷地区の1市2町2村で構成される日向地域農業再生協議会に、運営補助金を交付し、広域的な事業の推進を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	02 農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856069	農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業補助金	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,000	30,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	30,000
主な財源					

事業内容	農業用廃プラスチックの適切処理を推進するため、「日向市農業用廃プラスチック適正処理対策推進協議会」に対し、運営費を助成した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	06 農林水産施設管理運営費		
事業 小事業	03 農村交流館・塩見農村公園管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	96,800			
1106	火災保険料	16,101			
1207	指定管理者委託料	3,509,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	132,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,758,000	3,753,901	0	4,099

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,000	3,751,901
主な財源	農村交流館電話使用料				

事業内容	農村地域の交流の促進及び福祉の向上を目的に設置された日向市農村交流館及び塩見農村公園の維持管理を行った。 ○指定管理者　塩見まちづくり協議会 ○指定管理期間　令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	04 畜産業の振興
事業 小事業	03 各種資金利子補給（畜産）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865029	日向市畜産緊急支援資金利子補給補助金	96,560			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
97,000	96,560	0	440

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	82,000	0	0	14,560
主な財源	畜産経営維持緊急支援資金融通事業補助金				

事業内容

近年の配合飼料価格の上昇や畜産物価格の低下等により、借入金の償還が困難になった畜産農家が借り換えた長期かつ低利な畜産特別資金に対し、利子補給を行った。
対象農家：5経営体
利子補給率：0.13%（県：0.11%、市：0.02%）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	06 農林水産施設管理運営費
事業 小事業	04 畜産センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	71,436			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	4,328			
1201	施設維持管理委託料	104,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
192,000	186,264	0	5,736

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	186,264
主な財源					

事業内容

日向市畜産センターの管理運営に係る経費を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
浄化槽保守点検及び清掃業務　104,500

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	06 農林水産施設管理運営費		
事業 小事業	05 畜産資源リサイクルセンター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	73,385			
1207	指定管理者委託料	4,190,186			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,265,000	4,263,571	0	1,429

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,257,000	3,006,571
主な財源	畜産資源リサイクルセンター管理運営負担金				

事業内容

日向市畜産資源リサイクルセンターの管理運営に係る経費を支出した。
指定管理者：株式会社JAファームひゅうが
指定期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	06 農林水産一般事務費		
事業 小事業	02 畜産振興一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	9,120	1812044	県北地域酪農技術推進協議会負担金	0
1001	消耗品費	54,171			
1003	消耗品費被服	9,680			
1004	燃料費	13,935			
1008	修繕料	2,200			
1101	通信運搬費	45,000			
1107	自動車損害保険料	13,314			
1301	使用料及び賃借料	175,560			
1805035	宮崎県畜産振興協議会（畜産共進会）負担金	15,000			
1805052	より良き宮崎牛づくり対策協議会負担金	12,000			
1806020	東臼杵郡市肉用牛改良協議会負担金	209,400			
1806053	東臼杵郡市畜産技術員連絡協議会負担金	4,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
715,000	563,880	0	151,120

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,000	562,880
主な財源	優良雌牛貸付基金利子				

事業内容

畜産振興に係る一般事務費と関係団体への負担金を支出した。
○畜産振興事務費
○公用車管理費
○各種負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	13 農道管理費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	9,130			
1402	維持補修工事	3,945,714			
1501	原材料費	2,474,558			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,492,690	6,429,402	0	63,288

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,429,402
主な財源					

事業内容：農道の維持管理に係る工事を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

○工事請負費

農道出来山線　舗装補修工事	2,272,955
農道広瀬4号線舗装工事	836,000
農道高松2号線舗装補修工事	203,500
農道大仁田線舗装補修工事	275,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	16 奥野河川プール管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,556			
1103	手数料	10,580			
1106	火災保険料	4,206			
1206	その他の委託料	589,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
632,000	606,942	0	25,058

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	606,942
主な財源					

事業内容：奥野河川プールの管理運営に係る支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

○委託料

奥野河川プール管理及び清掃・草刈業務委託	580,800
環境水水質検査	8,800

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	03 農村整備一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	21,560	1812012	県土地改良連合会特別負担金	341,000
1003	消耗品費被服	41,910	1812015	農道台帳管理負担金	103,000
1007	光熱水費	38,686	1812016	農村振興技術連盟負担金	18,000
1008	修繕料	540,210	1856041	小規模農業施設等整備事業補助金	905,000
1101	通信運搬費	24,000	2103	賠償金	12,500
1103	手数料	2,140			
1201	施設維持管理委託料	1,445,818			
1205	システム開発等委託料	98,267			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	893,283			
1806038	沿海北部広域営農団地整備促進協議会負担金	12,600			
1812011	県土地改良連合会負担金	8,550			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,813,710	4,506,524	0	307,186

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	15,000	4,491,524
主な財源	ふるさと農村活性化基金利子、損害賠償保険金				

事業内容

業務執行に係る事務経費及び負担金の支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

富島幹線用水路管理業務委託	575,718
富島幹線用水路財光寺支線清掃業務委託	826,100

○負担金補助及び交付金

・小規模農業施設等整備事業補助金

秋山地区	187,315
小野田地区	289,772
大工野地区	427,913

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	14 用排水路施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	11,700			
1001	消耗品費	12,847			
1004	燃料費	20,790			
1007	光熱水費	58,681			
1008	修繕料	145,706			
1103	手数料	11,000			
1108	その他の保険料	47,048			
1201	施設維持管理委託料	660,000			
1301	使用料及び賃借料	340,820			
1402	維持補修工事	2,448,248			
1812028	中の原取水口電気料負担金	8,344,604			
2601	国に対する公課費	8,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,305,400	12,109,644	0	195,756

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12,109,644
主な財源					

事業内容

農業用用排水施設の委託、工事及び維持管理に係る経費の支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

富島幹線用水路草刈業務委託	660,000

○工事請負費

上水流頭首工（奥野河川プール）堆積土砂撤去工事	627,000
工業用水パイプライン超音波流量計設置工事	313,500
塩見互田地区排水路整備工事	1,262,008

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	11 災害復旧費	項	01 農林水産施設災害復旧費
目	01 農地・農業用施設災害復旧費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	06 農地・農業用施設災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1206	その他の委託料	0			
1401	建設工事費	12,768,897			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,650,000	12,768,897	0	4,881,103

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	7,048,000	1,100,000	226,200	4,394,697
主な財源	農地農業用施設災害復旧費負担金、農地災害復旧事業分担金（現年度）				

事業内容

異常気象により被災した農地・農業用施設の復旧を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

令和2年度　八重原後口迫地区農道災害復旧工事	9,542,777
八重原後口迫地区農道復旧付帯工事	764,500
平岩金ヶ浜地区農地災害復旧工事	354,200
塩見内平地区排水路災害復旧工事	399,850
富高山口地区農地災害復旧工事	399,800

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	01 林業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	04 林業振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200	1812019	林業構造改善協議会負担金	5,000
1001	消耗品費	71,875	2201	償還金	6,440,000
1003	消耗品費被服	37,482	2601	国に対する公課費	0
1004	燃料費	47,504	2602	その他の公課費	0
1007	光熱水費	50,000			
1008	修繕料	26,510			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	6,600			
1106	火災保険料	4,463			
1107	自動車損害保険料	70,918			
1301	使用料及び賃借料	350,532			
1805023	宮崎県治山林道協会負担金	169,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,611,000	7,285,084	0	325,916

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,285,084
主な財源					

事業内容

林業振興に係る一般事務経費及び関係団体等への負担金を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	01 林業総務費
事業 大事業	18 林業・木材産業の振興
事業 中事業	01 生産基盤の整備
事業 小事業	11 林道管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200	1825002	研修会負担金	16,000
1001	消耗品費	16,461			
1004	燃料費	166,233			
1007	光熱水費	20,000			
1008	修繕料	38,140			
1101	通信運搬費	27,148			
1107	自動車損害保険料	13,466			
1206	その他の委託料	990,000			
1301	使用料及び賃借料	171,600			
1402	維持補修工事	2,874,660			
1501	原材料費	297,422			
1702	機械器具費（事業執行用）	119,750			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,332,299	4,756,080	0	576,219

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	600,000	4,156,080
主な財源	企業版ふるさと日向市応援寄附金				

事業内容

管理路線数35路線、管理延長125,283m（R3.4.1現在）の維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

林道除草作業業務委託	990,000

○工事請負費

林道 仏川内線舗装補修工事	473,000
林道 長迫・小原線舗装補修工事	1,357,760
林道 大谷・山之口路肩補修工事	220,000
林道 下渡川・日の平線防護柵設置工事	451,000
林道 下渡川・日の平線横断溝設置工事	372,900

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費
事業 大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
事業 中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
事業 小事業	01 九州自然歩道管理事業（東郷地区）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	399,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
400,000	399,300	0	700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	399,300	0	0	0
主な財源	九州自然歩道管理委託金				

事業内容

県から受託した「九州自然歩道受託管理事業」について、維持管理区間（都農町境界～美郷町境界L＝9.6km）の草刈、清掃、軽微な補修、巡視等を外部委託して実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

九州自然歩道維持管理業務委託	399,300

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	11 災害復旧費	項	01 農林水産施設災害復旧費
目	02 林道災害復旧費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	07 林道災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	1,022,621			
1402	維持補修工事	16,812,499			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,000,000	17,835,120	0	164,880

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	12,394,000	2,600,000	0	2,841,120
主な財源	林道災害復旧費負担金				

事業内容

台風等の豪雨により被災した林道施設の災害復旧工事を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

林道災害測量設計業務委託(その1)	637,621
林道災害測量設計業務委託(その2)	385,000

○工事請負費

林道 下渡川・日の平線　災害復旧工事（応急仮工事）	584,100
林道災害復旧工事（5月梅雨前線豪雨　下渡川・日の平線）	8,978,106
林道災害復旧工事（8月豪雨　西林・神陰線）	6,196,762
林道 なばた線　崩土除去工事	385,000
林道 滝下線　崩土除去工事	198,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	01 水産業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	06 水産振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	42,000			
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	83,851			
1007	光熱水費	72,000			
1101	通信運搬費	86,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
343,000	283,851	0	59,149

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,000	0	0	278,851
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業内容

水産業振興に係る一般事務経費を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進
小事業	04 水産多面的機能発揮対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	8,000			
1001	消耗品費	66,000			
1004	燃料費	20,000			
1812045	宮崎県藻場干潟等保全地域協議会事業負担金	131,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
226,000	225,600	0	400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	94,000	0	0	131,600
主な財源	水産多面的機能発揮対策事業費補助金				

事業内容	藻場の保全活動を行う活動組織に対し、国の交付要綱に定められた市負担金を支出した。市負担金は、県、市町村及び活動組織で構成された宮崎県藻場干潟等保全地域協議会を通して活動組織に交付される。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0005 森林経営係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	04 森林の適正な管理の推進
小事業	07 公有林等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	4,420			
1106	火災保険料	1,827,118			
1201	施設維持管理委託料	264,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,097,000	2,095,538	0	1,462

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,095,538
主な財源					

事業内容	市有林及び森林公園の維持管理に係る経費を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 上大谷森林公園管理業務　264,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課 0001 ふるさと応援係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	06 農林水産一般事務費		
事業 小事業	07 ブランド振興一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	63,991			
1003	消耗品費被服	0			
1806035	みやざきブランド推進東臼杵地域協議会負担金	12,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
269,000	76,291	0	192,709

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	76,291
主な財源					

事業内容	ブランド振興に係る一般事務経費及び関係団体等への負担金を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	08 土木施設管理運営費		
事業 小事業	02 駅駐車場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	108,000			
1008	修繕料	138,300			
1106	火災保険料	4,041			
1207	指定管理者委託料	4,868,000			
1501	原材料費	19,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	6,600			
2103	賠償金	67,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,212,300	5,210,941	0	1,359

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,210,941	0
主な財源	駐車場使用料、損害賠償保険金				

事業内容	○日向市駅東駐車場の管理運営 ・駐車可能台数 121台　・指定管理者による管理運営 【業務内容】・定期駐車許可証の発行　・駐車券の交付・回収　・駐車場使用料の収納等 ○駐車場内維持補修
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 日向市駅東駐車場指定管理料　4,868,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	08 土木施設管理運営費
小事業	03 駅前広場等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,000			
1007	光熱水費	93,000			
1008	修繕料	374,638			
1103	手数料	6,000			
1201	施設維持管理委託料	3,964,575			
1301	使用料及び賃借料	35,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,484,213	4,483,413	0	800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	809,000	3,674,413
主な財源	財光寺駅乗車券販売手数料				

事業内容

○市内のJR駅（日向市駅、財光寺駅、南日向駅、美々津駅）に設置している公共駐輪場の管理
○美々津駅前広場の管理
○財光寺駅の運営管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

財光寺駅前広場管理及び乗車券販売等業務委託	3,566,200
美々津駅前広場管理業務委託	200,200
美々津駅前トイレ維持管理業務委託	63,425
放置自転車等産業廃棄物収集運搬・処分委託	134,750

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	05 都市計画一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	115,200	1301	使用料及び賃借料	609,026
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1805020	宮崎県道路利用者協議会負担金	47,000
0301	職員手当	316,066	1805067	宮崎県道路整備促進期成同盟会負担金	69,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	271,472	1806072	国道327号外日向圏域4路線整備促進期成同盟会負担金	30,000
0801	費用弁償	28,995	1814001	日本道路協会負担金	60,000
0802	普通旅費	41,600	1814002	九州国道協会負担金	60,000
1001	消耗品費	115,149	1814028	人吉・日向間一般国道（388・446号）整備促進期成同盟会負担金	35,000
1003	消耗品費被服	41,800	1814037	県道東郷西都線整備促進期成同盟会負担金	25,000
1005	食糧費	5,720	1825002	研修会負担金	0
1103	手数料	44,000			
1205	システム開発等委託料	1,037,137			
1206	その他の委託料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,694,487	4,439,541	0	254,946

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	653,000	3,786,541
主な財源	駐車場使用料、用途地域証明手数料、都市計画図売却代金				

事業内容

○都市計画区域の確定など都市計画に関する事業
○都市計画図の販売、証明書の発行等
○都市政策課の業務執行に係る一般的な事務経費
○建設部全体の庶務に要する一部経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

土木積算システム保守委託	565,950
DynaCAD保守委託	190,667
工事成績評定システム保守委託	88,000
土木積算システム移行業務委託	192,520

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	02 建設土木一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1003	消耗品費被服	63,360			
1206	その他の委託料	50,600			
1805008	高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会負担金	9,800			
1805033	宮崎県砂防協会負担金	71,000			
1805044	宮崎県高速道路利用促進協議会負担金	39,000			
1805068	宮崎県河川防災協会負担金	145,100			
1814004	東九州縦貫自動車道建設促進宮崎県央北部期成会負担金	49,900			
1814006	全国海岸協会負担金	30,000			
1814038	九州中央自動車道建設促進期成会負担金	150,300			
1814042	耳川フェスティバル負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
825,000	609,060	0	215,940

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	609,060
主な財源					

事業内容

道路及び河川、急傾斜等の公共土木施設の円滑な整備促進を図るため、事務事業に必要な庁費及び各種団体等へ負担を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

令和3年度　南日向駅前線除草作業業務委託　50,600

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	11 災害復旧費	項	02 公共土木施設災害復旧費
目	01 道路河川災害復旧費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	09 道路河川災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	30,000			
1201	施設維持管理委託料	99,000			
1202	工事施工を伴う委託料	1,199,000			
1401	建設工事費	15,225,407			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,726,000	16,553,407	0	172,593

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,703,000	0	13,000,000	0	1,850,407
主な財源	公共土木施設災害復旧費負担金（現年）				

事業内容

台風等の豪雨により被災した道路及び河川などの公共土木施設の災害復旧工事を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

令和3年度　山の田川草刈業務委託　99,000
令和3年度災第1号　老谷前田2号線測量設計業務委託　550,000
令和3年度災第2号　西境川測量設計業務委託　649,000

○建設工事費

令和3年災第12号　老谷前田2号線道路災害復旧工事応急本工事　497,200
令和3年災第12号　老谷前田2号線道路災害復旧工事　2,057,000
令和3年度　道路災第1号笹野線災害復旧工事　外25件　9,332,707
令和3年度　河川災第1号小野田川災害復旧工事　外7件　3,338,500

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	01 交通安全施設整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	13,937,357			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,938,000	13,937,357	0	643

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	13,656,000	281,357
主な財源	交通安全対策特別交付金				

事業内容

防護柵やカーブミラー及び区画線等の交通安全施設の整備により、車両、歩行者等の安全性の向上を図り、事故抑制に努めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

交通安全施設設置工事（その1）	2,710,331
交通安全施設設置工事（その2）	3,938,426
交通安全施設設置工事（その3）	3,814,800
交通安全施設設置工事（その4）	3,473,800

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0006 住環境整備係
款	08 土木費	項	03 河川費
目	01 河川総務費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	18 耳川河川改修関連支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	20,090			
1007	光熱水費	64,315			
1008	修繕料	130,900			
1103	手数料	32,480			
1106	火災保険料	13,656			
1201	施設維持管理委託料	403,700			
1301	使用料及び賃借料	1,272,492			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,486,000	1,937,633	0	548,367

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,937,633	0
主な財源	耳川河川改修事業関連仮設住宅等補償金				

事業内容

宮崎県が実施する「耳川河川改修事業」において、宅地の嵩上げ及び移転となる地権者の一時的な住居として使われている仮設住宅6棟の適正な維持管理（修繕・除草等）を行い、事業の円滑な推進を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

浄化槽維持管理業務	260,700
害虫駆除業務	44,000
除草作業	99,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0006 住環境整備係
款	08 土木費	項	03 河川費
目	01 河川総務費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	19 河川水門管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	26,858			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	0			
1201	施設維持管理委託料	3,028,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,357,000	3,055,158	0	301,842

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,019,000	0	0	36,158
主な財源	水門管理委託金				

事業内容

宮崎県が管理者である塩見川・耳川などの河川等において、水害の防止を目的として設置されている水門・陸閘の管理を受託し、適正で迅速な管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料　3,028,300

・水門25基、陸閘5基

消防団　9団体

その他の団　4団体

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0009 道路管理係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	01 道路橋りょう総務費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	10 道路橋梁総務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,364,925	1201	施設維持管理委託料	3,587,100
0301	職員手当	316,066	1202	工事施工を伴う委託料	548,265
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	271,286	1205	システム開発等委託料	990,000
0801	費用弁償	24,000	1206	その他の委託料	1,100,280
0802	普通旅費	20,800	1301	使用料及び賃借料	671,000
1001	消耗品費	165,599	1601	土地購入費	1,072,824
1003	消耗品費被服	26,290	1814043	大池トンネル電気料負担金	206,727
1006	印刷製本費	0	2101	補償金	889,238
1007	光熱水費	2,649,536	2103	賠償金	26,000
1008	修繕料	55,000			
1106	火災保険料	8,617			
1108	その他の保険料	405,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,080,927	14,398,553	0	682,374

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,962,000	0	63,000	12,373,553
主な財源	宮崎県通常砂防事業費用負担金、工事履行証明手数料、宮崎県大規模特定河川福瀬大橋架替事業費用負担金、細島東部住宅エレベーター電気料、損害賠償保険金				

事業内容

市道等の財産管理上必要となる、道路台帳作成や台帳管理システム及びGISシステムの更新。その他、道路法に基づく一般事務等を執行した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

道路台帳作成業務（14路線・2契約）	3,102,000
道路台帳システム入力業務	291,500
交通量調査業務（3契約）	193,600
登記委託料（2物件）	548,265
システム保守委託料（GIS更新）	990,000
その他の委託料（弁護士委任委託料）	1,100,280

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0001 区画整理係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	03 市街地整備一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	89,600			
1001	消耗品費	55,000			
1003	消耗品費被服	74,000			
1008	修繕料	28,600			
1106	火災保険料	4,500			
1814016	街づくり区画整理協会負担金	113,000			
1814017	全国都市公園整備促進協議会負担金	42,000			
1814018	日本公園緑地協会負担金	38,000			
1814020	街路事業促進協議会負担金	10,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
579,000	454,700	0	124,300

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	206,000	0	90,000	158,700
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、換地図閲覧等手数料				

事業内容

都市基盤整備事業（土地区画整理、街路、公園）等の推進に必要な一般事務費であり、事業の推進に関する要望活動及び専門技術、最新情報を習得した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	04 児童遊園費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	01 児童遊園施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	23,672			
1007	光熱水費	124,584			
1008	修繕料	174,900			
1103	手数料	3,800			
1201	施設維持管理委託料	783,101			
1206	その他の委託料	50,000			
1402	維持補修工事	234,300			
1501	原材料費	98,654			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,501,000	1,493,011	0	7,989

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,493,011
主な財源					

事業内容

○施設維持管理委託
・トイレ管理　N＝3箇所（財光寺、本町、高松）
・区管理公園　N＝5箇所（細島、財光寺、平岩、美々津、高松）
・遊具点検　N＝6箇所（細島、財光寺、平岩、美々津、高松、本町）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
・令和3年度　本町児童遊園SL点検業務委託　379,500
・令和3年度　公園トイレ等清掃業務委託　150,238
・令和3年度　公園浄化槽維持管理業務委託　97,497

○工事請負費
・令和3年度　本町児童遊園SL改修工事　148,500
・令和3年度　平岩児童遊園コンビネーション遊具丸管補修工事　85,800

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0005 街なか活性化係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	08 土木施設管理運営費
小事業	01 日向市駅周辺交流拠点施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	293,381			
1007	光熱水費	1,834,504			
1008	修繕料	466,400			
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	129,828			
1201	施設維持管理委託料	3,830,200			
1301	使用料及び賃借料	5,877,200			
1402	維持補修工事	5,825,699			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,333,000	18,257,212	0	75,788

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	18,257,212
主な財源					

事業内容

○施設維持管理委託料
・芝生、植栽等管理（芝生3,046㎡、樹木71本、寄植51㎡）、機械保守管理、駅周辺施設清掃維持管理
○使用料及び賃借料
・高架下施設用地賃借料　A＝7,247.9㎡

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市駅周辺交流拠点施設　芝・植栽等管理業務委託	1,199,000
日向市駅前交流広場水景用設備保守点検業務委託	88,000
日向市駅高架下施設自家用電気工作物保安管理業務委託	244,200
日向市駅高架下施設等消防用設備点検業務委託	99,000
日向市駅周辺公共施設清掃等維持管理業務委託	2,200,000

○維持補修工事

日向市駅歩行支援上屋（キャノピー）修繕塗装工事	5,770,699
上町まちなか公園前案内板塗装工事	55,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0001 管理係
款	08 土木費	項	06 住宅費
目	01 住宅費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	05 公営住宅事業特別会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	4,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	4,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,000,000
主な財源					

事業内容

一般会計から公営住宅事業特別会計への繰出金
【参考：繰出金の決算額】
令和 2年度（2020年度）　7,917,000円　　令和元年度（2019年度）　1,000,000円
平成30年度（2018年度）　7,000,000円　　平成29年度（2017年度）　6,000,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安全で安心な建築物の整備促進
小事業	01 建築指導費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	32,000	1101	通信運搬費	40,000
0104	会計年度任用職員報酬	3,946,092	1108	その他の保険料	106,000
0301	職員手当	838,544	1206	その他の委託料	0
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	765,935	1301	使用料及び賃借料	964,930
0714	その他の役務提供等に対する報償金	48,900	1814008	全国建築審査会協議会負担金	48,000
0801	費用弁償	156,680	1814009	宮崎県建築連絡協議会負担金	0
0802	普通旅費	180,470	1814010	日本建築行政会議負担金	100,000
1001	消耗品費	198,636	1825002	研修会負担金	220,000
1002	消耗品費追録	53,746			
1003	消耗品費被服	181,610			
1005	食糧費	290			
1006	印刷製本費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,902,000	7,881,833	0	1,020,167

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	814,000	0	7,067,833	0
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、建築指導手数料				

事業内容	建築指導業務について、円滑かつ的確な執行を図るため、建築行政データベースシステムの活用及び建築基準法第42条の道路に関する道路台帳整備等を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0004 建築係
款	08 土木費	項	06 住宅費
目	02 住宅建設費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	04 建築一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	46,040			
1001	消耗品費	48,134			
1003	消耗品費被服	62,260			
1006	印刷製本費	0			
1206	その他の委託料	281,600			
1301	使用料及び賃借料	8,030			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
605,000	446,064	0	158,936

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	446,064	0
主な財源	情報開示請求に係る公文書の写し手数料、建築指導手数料、工事届済証明手数料、都市計画法証明手数料				

事業内容	建築一般事務費に関する事務費 ○旅費：宮崎県住宅行政連絡協議会等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 令和3年度　設備工事積算資料作成業務委託　281,600

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	02 総務施設管理運営費
小事業	04 東郷総合支所管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	43,970			
1007	光熱水費	2,317,115			
1008	修繕料	197,560			
1101	通信運搬費	1,290,781			
1103	手数料	88,000			
1106	火災保険料	23,690			
1201	施設維持管理委託料	6,529,600			
1206	その他の委託料	39,600			
1301	使用料及び賃借料	28,055			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,132,000	10,558,371	0	573,629

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	33,000	10,525,371
主な財源	公衆電話料等使用料、自動販売機電気料（東郷総合支所）				

事業内容	東郷総合支所の施設維持管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	
日向市東郷総合支所等警備業務委託	5,390,000
東郷総合支所定期清掃等業務委託	391,600
ミュージックチャイム設備保守点検業務委託	297,000
東郷総合支所自家用電気工作物保守点検業務委託	165,000
東郷総合支所空調設備保守点検業務委託	110,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	32 公用車集中管理に要する経費（東郷地区）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1004	燃料費	125,725			
1008	修繕料	0			
1107	自動車損害保険料	48,287			
1301	使用料及び賃借料	463,760			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
766,000	637,772	0	128,228

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	637,772
主な財源					

事業内容	東郷総合支所（東郷地域振興課）が保有する公用車維持管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	09 総合支所費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	31 東郷総合支所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,414,186			
0301	職員手当	365,066			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	260,919			
0801	費用弁償	7,100			
0802	普通旅費	4,603			
1001	消耗品費	307,667			
1808066	宮崎県地域振興対策協議会発電振興部会負担金	19,000			
1808067	宮崎県電源地域連絡協議会負担金	11,000			
1825002	研修会負担金	8,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,566,000	2,397,541	0	168,459

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,397,541
主な財源					

事業内容	東郷総合支所（東郷地域振興課）の業務に要した経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	29 会計課	所管課	01 会計課 0001 出納係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	05 会計管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	30 会計一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	130,240			
1002	消耗品費追録	352,572			
1006	印刷製本費	776,765			
1101	通信運搬費	53,458			
1103	手数料	2,360,358			
1108	その他の保険料	118,666			
1301	使用料及び賃借料	492,936			
1825002	研修会負担金	31,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,444,000	4,316,895	0	127,105

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	188,000	4,128,895
主な財源	公金総合保険負担金、公金事務取扱手数料負担金				

事業内容	公金の収納、支出に関する審査事務を適正かつ迅速に行い、決算書の作成や公金の効率的な管理運用を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	09 消防施設管理運営費		
事業 小事業	01 消防庁舎管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	119,079			
1004	燃料費	640,626			
1007	光熱水費	4,240,491			
1008	修繕料	589,224			
1103	手数料	170,365			
1106	火災保険料	25,143			
1201	施設維持管理委託料	2,211,660			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,176,303	7,996,588	0	179,715

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,893,000	6,103,588
主な財源	広域消防負担金、自動販売機電気料				

事業内容

消防庁舎の維持管理を行った。
○燃料費、光熱水費等の管理
○施設及び付帯設備等の維持管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

消防庁舎清掃業務委託	1,265,000
自家用電気工作物及び消防救急デジタル無線基地局電気工作物保安業務	330,000
敷地内植栽管理業務	451,660
空調機器保守点検業務	165,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	09 消防施設管理運営費		
事業 小事業	02 南分遣所管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	9,896			
1004	燃料費	134,030			
1007	光熱水費	791,076			
1008	修繕料	19,800			
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	36,918			
1201	施設維持管理委託料	110,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,274,800	1,101,820	0	172,980

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	250,000	851,820
主な財源	広域消防負担金				

事業内容

南分遣所庁舎の維持管理を行った。
○燃料費、光熱水費等の管理
○施設及び付帯設備等の維持管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

浄化槽の保守点検及び清掃業務	110,100

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	09 消防施設管理運営費
小事業	03 消防訓練広場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	149,245			
1008	修繕料	60,000			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	7,638			
1201	施設維持管理委託料	114,950			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
340,000	337,833	0	2,167

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	77,000	260,833
主な財源	広域消防負担金				

事業内容

消防訓練広場の維持管理を行った。
○燃料費、光熱水費等の管理
○施設及び付帯設備等の維持管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
浄化槽の保守点検及び清掃業務　114,950

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	09 消防施設管理運営費
小事業	04 東郷分遣所管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	8,514			
1004	燃料費	71,344			
1007	光熱水費	220,429			
1008	修繕料	132,275			
1106	火災保険料	22,354			
1206	その他の委託料	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
673,275	474,916	0	198,359

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	87,000	387,916
主な財源	広域消防負担金				

事業内容

東郷分遣所庁舎の維持管理を行った。
○燃料費、光熱水費等の管理
○施設及び付帯設備等の維持管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
空調機器の保守点検業務　20,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	09 消防一般事務費
小事業	01 常備消防一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,399,115	11	役務費	9,601,129
0301	職員手当	163,520	12	委託料	8,323,081
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	248,240	1301	使用料及び賃借料	2,770,281
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0	1702	機械器具費（事業執行用）	22,000
0801	費用弁償	16,000	1815001	全国消防長会負担金	162,100
0802	普通旅費	474,653	1815002	県消防長会負担金	80,100
0803	特別旅費	1,911,652	1815003	日向地区安全運転管理者等協議会負担金	10,000
1001・1002	消耗品費・消耗品費追録	1,972,481	1815005	全国消防協会負担金	49,000
1003	消耗品費被服	7,418,158	1815006	防火防災訓練災害補償共済掛金	61,000
1005	食糧費	0	1815014	宮崎県市町村防災行政無線負担金	209,000
1006	印刷製本費	99,715	1825002	研修会負担金	1,029,620
1008	修繕料	49,800	2403	その他特定目的基金積立金	27,080,000

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,823,921	63,150,645	0	1,673,276

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	38,955,000	24,195,645
主な財源	広域消防負担金、入郷3町村119番転送業務受託料、危険物施設検査手数料、消防事務財調基金利子、高速道救急業務支弁金				

事業内容

消防本部全般の事務処理を行った。
○会計年度任用職員への報酬支払い
○会議・研修への職員派遣や職員被服等の整理等
○委託業務契約や賃貸借業務契約事務等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
【施設維持管理委託料】

消防救急デジタル無線設備保守業務委託	2,521,200
高機能消防指令センター保守業務委託	4,565,000

【その他の委託料】

大型自動車運転免許取得業務委託	990,000
医療廃棄物収集・運搬業務委託	115,981
一般廃棄物収集処理業務委託	55,000
旧南分遣所解体に伴う石綿事前調査委託	75,900

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	09 消防施設管理運営費
小事業	05 非常備消防施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	29,491			
1106	火災保険料	97,683			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
214,000	127,174	0	86,826

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	127,174
主な財源					

事業内容

消防団が所有する資器材（発電機。チェンソー）の修繕を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	04 水防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	07 水防体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	25,600			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	52,584			
1008	修繕料	19,900			
1301	使用料及び賃借料	4,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
120,000	102,084	0	17,916

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	102,084
主な財源					

事業内容

水防体制整備や資器材の維持管理を行った。
○水防施設内（コンテナ式収納倉庫）の水防資器材の整備点検
○水防協議会（書面会議）の開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	09 常備消防車両管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	38,013			
1004	燃料費	4,700,000			
1008	修繕料	4,010,801			
1103	手数料	613,089			
1107	自動車損害保険料	489,582			
1301	使用料及び賃借料	401,760			
2601	国に対する公課費	958,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,710,582	11,212,045	0	498,537

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,546,000	8,666,045
主な財源	広域消防負担金				

事業内容

常備消防車両の維持管理を行った。
○消防車両の点検及び法定点検の実施、自動車損害賠償責任保険への加入
○車両の修繕、オイル・タイヤ等の消耗品交換

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	06 非常備消防車両管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	25,376			
1004	燃料費	896,621			
1008	修繕料	1,539,219			
1103	手数料	626,197			
1107	自動車損害保険料	739,033			
2601	国に対する公課費	681,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,424,000	4,507,546	0	916,454

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,507,546
主な財源					

事業内容

非常備消防車両の維持管理を行った。
○消防車両の点検及び法定点検の実施、自動車損害賠償責任保険への加入
○車両の修繕、オイル・タイヤ等の消耗品交換

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課 0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	13 簡易給水施設特別会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	1,600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,224,000	1,600,000	0	624,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,600,000
主な財源					

事業内容

○簡易給水施設特別会計への繰出金
＜参考：繰出金決算額＞
令和 元年度　1,500千円
令和 2 年度　5,500千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課 0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	14 水道事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1810018	職員手当負担金（児童手当分）	1,486,000			
1810019	水道事業会計負担金（交付税算入分）	897,512			
2301	出資金	8,425,121			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,810,000	10,808,633	0	1,367

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,808,633
主な財源					

事業内容	○水道事業会計への繰出金 ＜参考：繰出金決算額＞ 令和 元年度　13,869千円 令和 2 年度　13,755千円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課 0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	22 簡易水道事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1810025	簡易水道事業会計負担金（交付税算入分）	42,215,000			
2301	出資金	17,285,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
59,500,000	59,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	59,500,000
主な財源					

事業内容	○簡易水道事業会計への繰出金 ＜参考：繰出金決算額＞ 令和 元年度　56,000千円 令和 2 年度　57,400千円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	23 農業集落排水事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1812054	農業集落排水事業会計負担金	160,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
160,000,000	160,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	160,000,000
主な財源					

事業内容	○農業集落排水事業会計への繰出金 ＜参考：繰出金決算額＞ 令和元年度　90,000千円※農業集落排水事業特別会計（地方公営企業法適用前）の繰出金決算額 令和 2年度　206,000千円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	05 公共下水道費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	15 下水道事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1814039	職員手当負担金（児童手当分）	505,000			
1814040	下水道事業会計負担金	529,718,000			
2301	出資金	89,777,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
620,000,000	620,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	620,000,000
主な財源					

事業内容	○下水道事業会計への繰出金 ＜参考：繰出金決算額＞ 令和元年度　600,000千円 令和 2年度　600,000千円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0002 工務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	06 都市下水路費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	20 浸水被害軽減対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	22,388			
1108	その他の保険料	63,440			
1206	その他の委託料	571,780			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,104,000	657,608	0	446,392

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	657,608
主な財源					

事業内容

台風やゲリラ豪雨による浸水被害が予想される地区に排水ポンプを設置し、浸水被害の低減対策を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

中原地区雨水排水業務　465,080
　設置回数：2回
　設置箇所：3箇所
　　延べ10台（市所有ポンプ延べ6台、リースポンプ延べ4台）

中原地区排水能力簡易解析業務　77,000

ポンプ点検業務　29,700

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	01 市議会議員報酬
小事業	01 市議会議員報酬

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0101	議員等報酬	82,775,999			
0301	職員手当	26,574,526			
0405	市議会議員共済組合負担金	27,838,880			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
137,190,000	137,189,405	0	595

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	137,189,405
主な財源					

事業内容

議員報酬、期末手当及び議員共済会に係る経費
・議員報酬　議長433,000円、副議長379,000円、議員358,000円
・期末手当　6月：報酬月額×1.675×1.15、12月：報酬月額×1.675×1.15
・市議会議員共済会給付費負担金、事務負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	02 議長の交際に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0902	議長交際費	54,242			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
527,000	54,242	0	472,758

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	54,242
主な財源					

事業内容	市議会議長として他団体等との交際に係る経費 ・意見交換会、懇談会等の会費 ・慶弔、見舞い等に係る経費 ・視察先への土産、公用名刺の印刷　等
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	03 各種市議会議長会に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	8,448	1825002	研修会負担金	1,000
0801	費用弁償	1,950			
0802	普通旅費	3,900			
1005	食糧費	0			
1301	使用料及び賃借料	11,380			
1805087	宮崎県市議会議長会負担金	203,000			
1806018	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会負担金	35,300			
1807001	全国市議会議長会負担金	421,000			
1807002	九州市議会議長会負担金	16,700			
1807005	全国高速自動車道市議会協議会負担金	20,000			
1807008	全国自治体病院経営都市議会協議会負担金	14,000			
1825001	会議出席負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,789,000	736,678	0	1,052,322

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	736,678
主な財源					

事業内容	全国・九州・県内において組織されている各種議長会の会議及び研修会等に要する経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	04 市議会議員の活動に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	150,000			
0801	費用弁償	515,854			
0802	普通旅費	31,320			
1001	消耗品費	44,625			
1004	燃料費	16,479			
1006	印刷製本費	0			
1107	自動車損害保険料	28,772			
1301	使用料及び賃借料	636,920			
1807007	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会負担金	0			
1825001	会議出席負担金	0			
1890002	政務活動費交付金	2,427,999			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,527,000	3,851,969	0	1,675,031

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	55,000	3,796,969
主な財源	印刷機使用料、議員研修会負担金				

事業内容

市議会議員としての活動（各種会議及び大会、各種研修会への参加、行政視察、政務活動）に要する経費
・費用弁償 （会議、行事等に係る経費） ・普通旅費 （随行に係る旅費）
・消耗品費 （議会図書室用図書購入など）
・使用料及び賃借料 （議長車リース、タクシー借上、有料道路通行料）
・政務活動費交付金 （月額12,500円／人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	01 議会一般事務費
小事業	01 議会一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1301	使用料及び賃借料	7,102
0702	出会謝金	0	1825002	研修会負担金	31,900
0716	記念品料	9,795			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	538,307			
1002	消耗品費追録	83,693			
1005	食糧費	3,040			
1006	印刷製本費	208,560			
1007	光熱水費	67,000			
1101	通信運搬費	148,039			
1103	手数料	224,414			
1104	広告料	16,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,567,000	1,338,350	0	228,650

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,338,350
主な財源					

事業内容

議会事務局の業務執行に係る一般的な事務経費
・消耗品費　（書籍、新聞、コピー代、事務用品、追録など）
・印刷製本費 （議会傍聴案内チラシ印刷）
・手数料　（給茶機保守点検、議会傍聴案内チラシ折込）
・研修会負担金（NOMA研修参加負担金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	06 会議録発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	746,377			
1206	その他の委託料	1,087,119			
1301	使用料及び賃借料	1,584,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,629,000	3,417,496	0	211,504

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,417,496
主な財源					

事業内容

議会本会議の議事内容を録音機器から反訳し、会議録を印刷、発行した（50部）。また、インターネット上の会議録検索システムにデータを掲載した。
委員会や各種会議の議事内容を音声認識システムで単時間に文字データ化できるようになり、委員長報告書や委員会等の会議記録を正確かつ迅速に作成することができた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

議会ホームページ更新業務	99,000
会議録調整（反訳）業務	855,855
会議録検索データ作成（セットアップ）業務	132,264

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	01 議会施設管理運営費
小事業	01 議会施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1103	手数料	17,600			
1201	施設維持管理委託料	1,210,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,297,000	1,227,600	0	69,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,227,600
主な財源					

事業内容

・議会構成の変更に伴う議場標柱の書き換えに係る経費
・議場及び委員会室の音響設備等の維持管理に係る経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

議場・委員会室音響設備保守点検	1,210,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	01 教育委員会費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	02 教育委員会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	2,736,000			
0801	費用弁償	19,447			
1001	消耗品費	11,430			
1005	食糧費	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,903,000	2,766,877	0	136,123

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,766,877
主な財源					

事業内容

教育委員会は、教育長、非常勤特別職4人の計5人で構成される。月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時委員会を開催し、教育行政の重要事項や基本方針を合議制で決定した。
また、委員は、学校訪問、入学式、運動会、地域の行事等に参加し、児童生徒、学校の現状や地域の課題を把握するほか、自己研さんのため研修会等に参加した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	02 就学の支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2001	貸付金	42,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,000,000	42,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	42,000,000	0
主な財源	教育資金融資貸付金収入				

事業内容

市内に居住し高等教育に係る教育資金を必要とする者に低金利で融資を行った。
（九州労働金庫と提携）
〇融資内容　融資額1人300万円以内。返済10年以内(据置正規の修学期間以内)
〇融資実績　令和元年度：16人　22,800千円、令和2年度：8人　16,400千円、
令和3年度：　2人　5,000千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	01 学校教育総務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	394,747	1816001	全国都市教育長協議会負担金	21,000
0702	出会謝金	12,500	1816002	九州都市教育長協議会負担金	1,750
0802	普通旅費	17,980	1816003	宮崎県都市教育長協議会負担金	5,000
0903	教育長交際費	25,000	1816005	社会保険協会負担金	8,700
1001	消耗品費	131,741	1825002	研修会負担金	91,000
1005	食糧費	17,352	2405	その他運用基金積立金	16,000
1006	印刷製本費	31,889			
1101	通信運搬費	313,000			
1301	使用料及び賃借料	28,842			
1805013	宮崎県市町村教育委員会連合会負担金	19,500			
1806040	宮崎県立延岡青朋高等学校教育振興会負担金	15,000			
1806066	宮崎県立富島高等学校定時制教育振興会	58,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,704,000	1,209,001	0	494,999

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	46,000	0	0	15,000	1,148,001
主な財源	学校施設環境改善交付金、奨学金貸付金利子				

事業内容

○一般事務費
・共済費（会計年度任用職員報酬等に係る子ども・子育て拠出金）・出会謝金（教育委員会の点検評価に係るもの）・研修会旅費（宮崎県都市教育長協議会総会ほか）・教育長交際費・消耗品費（一般事務用品、コピー用紙等）・印刷製本費（教育施策に係る公表資料の印刷）・使用料及び賃借料（タクシー借上料ほか）・負担金（各種協議会等及び会議出席に伴うもの）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	02 学校教育施設一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300			
1003	消耗品費被服	25,784			
1206	その他の委託料	4,400			
1301	使用料及び賃借料	21,538			
1805006	宮崎県公立学校施設整備期成会負担金	0			
1816004	田の原地区テレビ共聴組合負担金	0			
1825001	会議出席負担金	0			
2403	その他特定目的基金積立金	277,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
496,000	330,022	0	165,978

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,000	329,022
主な財源	再生可能エネルギー設備維持管理基金利子				

事業内容

○一般事務経費
・普通旅費（県庁協議）・消耗品費（一般事務用）・委託料（工事成績システム）・使用料（工事成績システムなど）・積立金（学校施設整備事業基金積立金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市工事成績評定システム保守委託　4,400

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	03 小学校教職員住宅管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	290,824			
1103	手数料	26,600			
1106	火災保険料	68,998			
1201	施設維持管理委託料	353,650			
1301	使用料及び賃借料	10,560			
1402	維持補修工事	165,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,563,000	915,632	0	647,368

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	915,632	0
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、教職員住宅修繕料負担金				

事業内容

○教職員住宅維持管理費
・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料）・維持管理委託（浄化槽管理、浄化槽清掃、植栽管理）・使用料（難視聴区域受信料）・維持補修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

学校施設浄化槽清掃業務委託	242,000
平岩小中学校校長住宅　芝生・植栽等管理委託	56,100
寺迫地区学校施設浄化槽保守点検業務委託	14,300
教職員住宅浄化槽保守点検業務委託	41,250

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	03 学校建設費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	03 小学校　各校整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	4,928,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,000,000	4,928,000	0	72,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,901,000	27,000
主な財源	学校施設整備基金利子、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業内容

○市内小学校の設備整備を行った。
・体育館照明器具のLED化改修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

寺迫小学校体育館照明器具取替工事	2,882,000
坪谷小学校体育館照明器具取替工事	1,573,000
塩見小学校外壁剥落部補修工事	473,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	04 中学校教職員住宅管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	114,119			
1103	手数料	11,400			
1106	火災保険料	17,919			
1201	施設維持管理委託料	40,150			
1402	維持補修工事	99,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
716,000	282,588	0	433,412

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	282,588	0
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、教職員住宅修繕料負担金				

事業内容

○教職員住宅維持管理費
・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料）・維持管理委託（浄化槽管理、浄化槽清掃、植栽管理）・維持補修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

学校施設浄化槽清掃業務委託	26,400
教職員住宅浄化槽保守点検業務委託	13,750

○工事請負費

東郷学園　中学校教頭住宅床改修工事	99,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	03 学校建設費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	14 中学校　各校整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	3,883,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	3,883,000	0	117,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,800,000	83,000
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業内容

○市内中学校の設備整備を行った。
・体育館照明器具のLED化改修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

美々津中学校体育館照明器具取替工事	3,883,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	36 お倉ヶ浜総合公園(野球場・屋内運動場以外)管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	352,880			
1106	火災保険料	15,621			
1207	指定管理者委託料	37,517,390			
1402	維持補修工事	1,999,673			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,811,000	39,885,564	0	925,436

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,338,000	35,547,564
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料、夜間照明施設等使用料				

事業内容

お倉ヶ浜総合公園(野球場・屋内運動場以外)の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。
指定管理者：宮崎県造園協会
指定期間：令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

お倉ヶ浜総合公園テニスコート修繕工事	253,000
お倉ヶ浜総合公園テニスコート照明器具取替工事	1,309,000
お倉ヶ浜総合公園重量シャッター制御盤取替	123,200
お倉ヶ浜総合公園照明器具設備修繕工事	77,473
お倉ヶ浜総合公園給水管修繕工事	237,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	37 大王谷運動公園（陸上・野球・プール以外）管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	23,145			
1103	手数料	48,400			
1106	火災保険料	4,740			
1207	指定管理者委託料	10,373,425			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,591,000	10,449,710	0	141,290

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	463,000	9,986,710
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業内容

大王谷運動公園（陸上・野球・プール以外）の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。
指定管理者：宮崎県造園協会
指定期間：令和2年度～令和6年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	38 美々津運動広場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	88,783			
1008	修繕料	23,910			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	8,591			
1201	施設維持管理委託料	386,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
551,000	513,384	0	37,616

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	9,000	504,384
主な財源	美々津運動広場使用料				

事業内容

美々津運動広場の設置目的を効果的、効率的に達成するため、草刈り及びトイレ清掃を委託し、施設の適正な管理運営を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

美々津運動広場草刈等業務委託	299,200
美々津運動広場及び越表体育館浄化槽維持管理業務委託	86,900

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	39 東郷地区体育施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	96,864			
1007	光熱水費	248,039			
1008	修繕料	95,000			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	39,811			
1201	施設維持管理委託料	1,259,720			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,808,000	1,745,434	0	62,566

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	252,000	1,493,434
主な財源	東郷地区体育施設使用料、東郷グラウンド使用料				

事業内容

東郷地区体育施設の設置目的を効果的、効率的に達成するため清掃等管理業務を委託し、施設の適正な管理運営を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

越表体育館管理業務委託	57,970
東郷体育館等清掃業務委託	339,900
東郷グラウンド管理業務委託	473,000
美々津運動広場及び越表体育館浄化槽維持管理業務委託	124,850
東郷体育館消防設備保守点検業務委託	88,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	40 武道館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	21,106			
1207	指定管理者委託料	1,133,586			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,189,000	1,154,692	0	34,308

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	110,000	1,044,692
主な財源	武道館使用料				

事業内容	武道館の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。 指定管理者：株式会社　文化コーポレーション 指定期間：令和2年度～令和6年度
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	41 お倉ヶ浜総合公園屋内運動場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	48,000			
1106	火災保険料	552,071			
1207	指定管理者委託料	11,142,474			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,016,000	11,742,545	0	273,455

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,212,000	10,530,545
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料				

事業内容	お倉ヶ浜総合公園屋内運動場の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。 指定管理者：宮崎県造園協会 指定期間：令和2年度～令和6年度
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	42 日向市体育センター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	17,412			
1008	修繕料	38,500			
1106	火災保険料	52,373			
1207	指定管理者委託料	8,210,974			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,572,000	8,319,259	0	252,741

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,338,000	6,981,259
主な財源	体育センター使用料、体育センター自動販売機電気料				

事業内容	日向市体育センター管の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。 指定管理者：株式会社　文化コーポレーション 指定期間：令和2年度～令和6年度
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	43 大王谷陸上競技場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	73,620			
1106	火災保険料	6,678			
1207	指定管理者委託料	6,742,180			
1702	機械器具費（事業執行用）	94,380			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,987,000	6,916,858	0	70,142

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	361,000	6,555,858
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業内容	大王谷陸上競技場の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。 指定管理者：宮崎県造園協会 指定期間：令和2年度～令和6年度
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	44 お倉ヶ浜野球場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	48,000			
1106	火災保険料	8,130			
1207	指定管理者委託料	3,915,240			
1702	機械器具費（事業執行用）	249,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,318,000	4,221,070	0	96,930

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	709,000	3,512,070
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料、夜間照明施設等使用料、お倉ヶ浜運動公園自動販売機電気料				

事業内容	お倉ヶ浜野球場の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。 指定管理者：宮崎県造園協会 指定期間：令和2年度～令和6年度
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	45 大王谷野球場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	88,000			
1106	火災保険料	7,095			
1207	指定管理者委託料	4,087,012			
1702	機械器具費（事業執行用）	80,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,297,000	4,262,407	0	34,593

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	193,000	4,069,407
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業内容	大王谷野球場の設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。 指定管理者：宮崎県造園協会 指定期間：令和2年度～令和6年度
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	46 大王谷市営プール管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	89,980			
1106	火災保険料	2,266			
1207	指定管理者委託料	7,773,827			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,947,000	7,866,073	0	80,927

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	308,000	7,558,073
主な財源	大王谷公園使用料				

事業内容	大王谷市営プールの設置目的を効果的、効率的に達成するため指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理運営を図った。 指定管理者：宮崎県造園協会 指定期間：令和2年度～令和6年度
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	05 妙国寺庭園管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	440,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
440,000	440,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	440,000
主な財源					

事業内容	国指定名勝「妙国寺庭園」の維持管理に要した経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 庭園維持管理業務委託　440,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	08 関本勘兵衛家管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	7,552			
1004	燃料費	4,518			
1007	光熱水費	60,459			
1101	通信運搬費	29,927			
1106	火災保険料	34,715			
1201	施設維持管理委託料	1,170,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,311,000	1,307,571	0	3,429

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,307,571
主な財源					

事業内容

市指定文化財「関本勘兵衛家住宅」の維持管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

管理活用業務委託	950,400
警備業務委託	158,400
消防・防災設備保守点検委託	61,600

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	20 防災センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	11,940			
1207	指定管理者委託料	162,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
175,000	174,740	0	260

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	174,740
主な財源					

事業内容

日向市美々津まちなみ防災センターの維持管理に要した経費
・指定管理者　：美々津の歴史的町並みを守る会（令和3年度～令和7年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	21 美々津軒管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	20,500			
1101	通信運搬費	25,365			
1103	手数料	4,800			
1106	火災保険料	15,554			
1207	指定管理者委託料	176,000			
1301	使用料及び賃借料	168,786			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	19,950			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
440,000	430,955	0	9,045

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	430,955
主な財源					

事業内容

日向市美々津軒の維持管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

警備業務委託	132,000
消防用設備保守点検業務委託	44,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	22 美々津まちなみセンター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	12,125			
1207	指定管理者委託料	2,995,256			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	63,950			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,073,000	3,071,331	0	1,669

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,071,331
主な財源					

事業内容

日向市美々津まちなみセンターの維持管理に要した経費
・指定管理者　美々津の歴史的町並みを守る会（令和3年度～令和7年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	25 細島みなと資料館管理運営費（「その他の博物館」）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	42,176			
1207	指定管理者委託料	5,592,000			
1402	維持補修工事	600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,235,000	6,234,176	0	824

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	82,000	6,152,176
主な財源	細島みなと資料館入館料				

事業内容

日向市細島みなと資料館（市指定有形文化財「旧高鍋屋旅館」）の維持管理に要した経費
・指定管理者　HOSOSHIMAまちづくり協議会（令和3年度～令和7年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
資料棟漆喰修繕工事　600,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	26 歴史民俗資料館管理運営費（「その他の博物館」）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0			
0801	費用弁償	0			
1106	火災保険料	27,835			
1207	指定管理者委託料	5,894,064			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,960,000	5,921,899	0	38,101

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	344,000	5,577,899
主な財源	歴史民俗資料館入館料				

事業内容

日向市歴史民俗資料館（市指定有形文化財「廻船問屋河内屋跡」）の維持管理に要した経費
・指定管理者　美々津の歴史的町並みを守る会（令和3年度～令和7年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0003 文化財係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	27 まちなみ広場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	8,000			
1007	光熱水費	34,872			
1103	手数料	4,000			
1201	施設維持管理委託料	123,244			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
173,000	170,116	0	2,884

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	170,116
主な財源					

事業内容

まちなみ広場の維持管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

管理業務委託	68,244
浄化槽維持管理業務委託	17,600
浄化槽清掃業務委託	37,400

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	04 通学支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	816,553			
1008	修繕料	424,182			
1103	手数料	33,000			
1107	自動車損害保険料	122,054			
1206	その他の委託料	7,842,010			
1301	使用料及び賃借料	5,910,500			
1867027	遠距離通学費補助金	929,100			
2601	国に対する公課費	62,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,149,000	16,139,599	0	1,009,401

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	98,000	16,041,599
主な財源	自動車損害共済金				

事業内容

閉校又は休校した学校の校区に居住する児童生徒が、閉校後に当該校区を新たに校区とした学校までの通学支援策として、スクールバスやタクシーを運行した。
また、通学距離が4km以上の児童及び6km以上の生徒並びに小規模特認校制度を利用して坪谷小学校に通学する児童の保護者に対し、補助金を交付することで保護者の経済的負担の軽減を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

東郷学園スクールバス運転業務委託（4月～3月）	7,842,010

○補助金

遠距離通学費補助金（小規模特別認可校：坪谷小8人）	755,800
遠距離通学費補助金（小中学校分：小学生9人、中学生14人）	173,300

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	01 児童生徒の相談支援体制の充実
小事業	04 日向・東臼杵いじめ問題対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	890,000			
0801	費用弁償	85,993			
1001	消耗品費	10,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
985,993	985,993	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	96,000	889,993
主な財源	いじめ問題対策専門家委員会負担金				

事業内容	日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の教育委員会が、「いじめ防止対策推進法」に基づき、共同の附属機関として「日向東臼杵いじめ問題対策専門家委員会」を設置し、いじめ問題の調査等を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	08 人権・平和の尊重
中事業	01 人権・同和教育の推進
小事業	02 同和教育の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	534,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
0716	記念品料	118,000			
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	37,345			
1005	食糧費	2,913			
1006	印刷製本費	99,275			
1101	通信運搬費	78,000			
1103	手数料	33,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1806012	日向地区同和教育研究協議会負担金	74,600			
1816045	宮崎県友の会集会参加負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,498,000	981,033	0	1,516,967

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	981,033
主な財源					

事業内容	日向市学校人権・同和教育推進協議会や、教育集会所での子ども会活動などについて、感染症対策を行いながら活動を行い人権問題について理解を深めた。 「市・人権同和教育研究大会」については、令和2年度に引き続きコロナ禍のため中止となり、市民自らが人権について考えるための学習機会を確保できなかった。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	10 教育一般事務費
事業 小事業	03 学事係一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	3,795			
0802	普通旅費	25,542			
1001	消耗品費	424,000			
1002	消耗品費追録	5,863			
1101	通信運搬費	50,000			
1806011	日向地区特別支援教育研究会負担金	95,000			
1816007	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会負担金	3,000			
1816039	宮崎県教育研究機関連絡協議会負担金	15,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,079,863	622,200	0	457,663

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	622,200
主な財源	

事業内容	○一般事務費 ・記念品料（防火ポスター教育長賞） ・普通旅費（出張旅費等） ・消耗品費（一般事務用品、コピー用紙等）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	15 要・準要保護児童の援助に要する経費(小学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1960	教育扶助費（国直接・間接補助）	35,782,507			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,953,000	35,782,507	0	170,493

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	854,000	0	0	0	34,928,507
主な財源	特別支援教育就学奨励費補助金

事業内容	【要・準要保護就学援助費】「学校教育法」に基づき、生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び教育委員会が要保護者に準ずる程度に困窮していると認める者に学用品や給食費等の援助を行った。 【特別支援教育就学援助費】 特別支援学校や小学校の特別支援学級で学ぶ障がいのある児童等の家庭の経済状況等に応じて、保護者が負担する教育関係経費の援助を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	17 要・準要保護生徒の援助に要する経費(中学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1960	教育扶助費（国直接・間接補助）	36,671,333			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,363,000	36,671,333	0	691,667

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	167,000	0	0	0	36,504,333
主な財源	特別支援教育就学奨励費補助金、要保護生徒就学援助費補助金				

事業内容

【要・準要保護就学援助費】「学校教育法」に基づき、生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び教育委員会が要保護者に準ずる程度に困窮していると認める者に学用品や給食費等の援助を行った。
【特別支援教育就学援助費】 特別支援学校や中学校の特別支援学級で学ぶ障がいのある生徒等の家庭の経済状況等に応じて、保護者が負担する教育関係経費の援助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	07 社会同和教育集会所新財市会館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	298,865			
1008	修繕料	16,500			
1101	通信運搬費	33,789			
1103	手数料	4,000			
1106	火災保険料	7,299			
1201	施設維持管理委託料	810,090			
1206	その他の委託料	39,600			
1301	使用料及び賃借料	14,031			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,263,000	1,254,774	0	8,226

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,254,774
主な財源					

事業内容

○施設維持管理経費
・光熱水費（電気、水道料ほか）
・修繕料（小規模修繕など）
・施設維持管理委託料（事務所管理等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市立社会同和教育集会所「新財市会館」管理業務委託	720,000
新財市会館浄化槽維持管理業務委託	90,090
新財市会館一般廃棄物収集運搬業務委託	39,600

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	04 学校教育保健一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,465,767			
0301	職員手当	316,066			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	268,883			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	57,407			
1101	通信運搬費	104,000			
1108	その他の保険料	610,981			
1301	使用料及び賃借料	357,192			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,650,000	3,180,296	0	469,704

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,180,296
主な財源					

事業内容

小中学校及び市立幼稚園の学校管理下におけるけがや病気に関する災害共済給付制度の加入やその事務手続等を行った。 小中学校及び市立幼稚園にAEDを設置し、緊急時に備えた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	03 幼稚園 0000 幼稚園
款	10 教育費	項	04 幼稚園費
目	01 幼稚園費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	09「幼稚園」施設管理運営費［施設係］

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	37,801			
1201	施設維持管理委託料	68,860			
1206	その他の委託料	32,560			
1402	維持補修工事	347,358			
1501	原材料費	23,760			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
838,000	516,339	0	321,661

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	516,339
主な財源					

事業内容

○幼稚園施設維持管理経費
・消耗品費（施設管理用品）・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料等）・維持管理委託料（設備保守点検）・その他委託料（廃棄物収集運搬）・維持補修工事費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

寺迫幼稚園空調設備保守点検業務委託	17,600
寺迫幼稚園非常通報装置保守点検業務委託	43,560
寺迫幼稚園消防用設備点検業務委託	7,700

○工事請負費

寺迫幼稚園雨漏り修繕工事	297,000
寺迫幼稚園保育室ロッカー天板補修工事	50,538

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	10 小学校施設　管理運営費[施設係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	618,906			
1008	修繕料	4,485,689			
1103	手数料	390,310			
1106	火災保険料	890,000			
1201	施設維持管理委託料	19,340,982			
1206	その他の委託料	1,063,590			
1301	使用料及び賃借料	1,477,000			
1402	維持補修工事	7,999,843			
1501	原材料費	150,747			
1702	機械器具費（事業執行用）	286,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,883,000	36,703,067	0	1,179,933

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,328,000	35,375,067
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、小学校太陽光売電収入				

事業内容

○小学校施設維持管理経費
・消耗品費（施設管理用品）・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料等）・維持管理委託料（浄化槽維持、浄化槽清掃、植栽管理、設備保守点検）・その他委託料（廃棄物収集運搬）・使用料（土地建物借上げ）・維持補修工事費・原材料費（砂・真砂土）・備品購入（消防用ホース）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

学校施設浄化槽清掃業務委託	1,059,300
小・中学校法面草刈業務委託	1,148,950
小学校空調設備保守点検業務委託	2,035,000
小学校特殊建築物等定期点検業務委託	1,353,000
小中学校プールろ過砂交換業務委託	1,278,530

○工事請負費

財光寺小学校北校舎外壁防水改修工事	2,145,000
平岩小中学校フェンス設置工事	1,285,870
平岩小中学校消火栓配管工事	1,133,000
東郷学園プールろ過機フィルター交換工事	588,500
細島小学校フェンス設置工事	456,500

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	11 小学校施設　管理運営費[学事係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	18,275,576			
1004	燃料費	594,353			
1005	食糧費	67,734			
1006	印刷製本費	886,900			
1007	光熱水費	42,002,586			
1008	修繕料	626,376			
1101	通信運搬費	5,345,139			
1103	手数料	373,743			
1301	使用料及び賃借料	644,959			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	2,404,432			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
75,005,184	71,221,798	0	3,783,386

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	33,000	71,188,798
主な財源	教育施設電話等使用料、仮設水道使用料				

事業内容

小学校施設の適正な管理運営に必要な光熱水費や消耗品費等の支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	12 小学校施設　管理運営費[総務企画係]		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	7,173,616			
0301	職員手当	1,384,801			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	87,311			
0801	費用弁償	188,495			
0802	普通旅費	830,946			
1003	消耗品費被服	172,330			
1004	燃料費	47,980			
1107	自動車損害保険料	241,373			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,551,000	10,126,852	0	424,148

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,126,852
主な財源					

事業内容：○小学校施設の管理運営費（小学校に勤務する市職員及び補助職員に係る経費）
・会計年度任用職員（学校技術員補助職員）の報酬、期末手当、各種保険料、通勤手当・普通旅費（市内移動に伴う旅費）・消耗品費被服（学校技術員被服代）・自動車損害保険料（全国市有物件災害共済会自動車損害共済掛金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	06 小学校保健一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	714,012			
1011	医薬材料費	655,270			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,403,000	1,369,282	0	33,718

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,369,282
主な財源					

事業内容：小学校保健室における医療等の充実を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校）0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	13 中学校施設　管理運営費[施設係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	365,497			
1008	修繕料	2,086,919			
1103	手数料	360,805			
1106	火災保険料	996,756			
1201	施設維持管理委託料	12,788,260			
1206	その他の委託料	554,180			
1301	使用料及び賃借料	19,400			
1402	維持補修工事	3,921,310			
1501	原材料費	226,310			
1702	機械器具費（事業執行用）	200,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,733,000	21,519,637	0	1,213,363

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,202,000	20,317,637
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料				

事業内容

○中学校施設維持管理経費
・消耗品費（施設管理用品）・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料等）・維持管理委託料（浄化槽維持、浄化槽清掃、植栽管理、設備保守点検）・その他委託料（廃棄物収集運搬）・使用料（土地借上げ）・維持補修工事費・原材料費（砂・真砂土）・備品購入（消防用ホース）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

小・中学校法面草刈業務委託	1,381,050
中学校自動火災報知設備等保守点検業務委託	976,800
小中学校プールろ過砂交換業務委託	701,470
中学校自動火災報知設備等保守点検業務委託	651,200
中学校特殊建築物等定期点検業務委託	627,000

○工事請負費

東郷学園校長室空調設備取替工事	880,000
日向中学校雨水排水管改修工事	792,000
富島中学校バスケットゴール修繕工事	631,400
平岩小中学校フェンス設置工事	581,930
美々津中学校体育倉庫シャッター取付工事	297,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校）0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	14 中学校施設　管理運営費[学事係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	11,312,886			
1004	燃料費	314,001			
1005	食糧費	56,825			
1006	印刷製本費	679,989			
1007	光熱水費	18,416,102			
1008	修繕料	409,286			
1101	通信運搬費	2,478,259			
1103	手数料	378,050			
1301	使用料及び賃借料	1,159,411			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	1,459,501			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,117,000	36,664,310	0	3,452,690

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	141,000	36,523,310
主な財源	教育施設電話等使用料、準会場実施経費				

事業内容

中学校施設の適正な管理運営に必要な光熱水費や消耗品費等の支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校）0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	15 中学校施設　管理運営費[総務企画係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,215,000			
0301	職員手当	679,540			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	43,656			
0801	費用弁償	110,675			
0802	普通旅費	204,166			
1003	消耗品費被服	162,986			
1004	燃料費	47,979			
1107	自動車損害保険料	116,080			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,762,000	4,580,082	0	181,918

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,580,082
主な財源					

事業内容

〇中学校施設の管理運営費（中学校に勤務する市職員及び補助職員に係る経費）
・会計年度任用職員（学校技術員補助職員）の報酬、期末手当、各種保険料、通勤手当・普通旅費（市内移動に伴う旅費）・消耗品費被服（学校技術員被服代）・自動車損害保険料（全国市有物件災害共済会自動車損害共済掛金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校）0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	31 中学校教師用指導書購入事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	8,434,970			
1702	機械器具費（事業執行用）	7,189,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,000,000	15,624,570	0	375,430

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	15,624,570
主な財源					

事業内容

令和3年度から新しく採択された教科書の使用に伴い、新規の教師用教科書、指導書、デジタル教科書、各教科に準拠した教材を購入した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校）0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	07 中学校保健一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	313,497			
1011	医薬材料費	263,363			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
623,000	576,860	0	46,140

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	576,860
主な財源					

事業内容	中学校保健室における医療等の充実を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	03 学校給食の充実
小事業	04 調理設備等の充実に要する経費（学校給食センター）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	900,000			
1103	手数料	17,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	15,998,840			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,917,000	16,915,840	0	1,160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	15,900,000	1,015,840
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業内容	調理機器・器具の充実及び施設設備の適切な維持管理 ○消耗品費（殺菌灯、コンテナ用キャスターほか） ○修繕料（設備・機器等の小規模修繕） ○機械器具類（配食用食缶、PEN食器ほか）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	16 日向市学校給食センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	227,000			
1004	燃料費	7,123,251			
1007	光熱水費	15,957,058			
1008	修繕料	500,000			
1103	手数料	31,500			
1106	火災保険料	219,937			
1201	施設維持管理委託料	7,842,957			
1301	使用料及び賃借料	2,750			
1501	原材料費	84,518			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,546,000	31,988,971	0	557,029

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	16,000	31,972,971
主な財源	自動販売機電気料（給食センター）				

事業内容

施設全体の維持管理及び調理等に使用する燃料等の調達
○消耗品費（ボイラー用薬品、粉砕塩、空調フィルターほか）
○燃料費（プロパンガス）
○光熱水費（電気料、水道料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（施設維持管理委託料）

排水処理施設及び合併浄化槽施設維持管理業務	1,743,500
エレベーター保守点検業務	422,400
電気工作物保安業務	627,000
機械警備業務	316,800
消防用設備保守点検業務	638,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	08 日向市学校給食センター一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1301	使用料及び賃借料	4,620
0701	講師謝金	20,000	1816018	宮崎県学校給食共同調理場連絡協議会負担金	10,964
0716	記念品料	44,437	2601	国に対する公課費	31,500
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	236,139			
1004	燃料費	44,803			
1006	印刷製本費	0			
1008	修繕料	114,152			
1101	通信運搬費	212,944			
1103	手数料	16,500			
1107	自動車損害保険料	52,666			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,050,983	788,725	0	262,258

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	788,725
主な財源					

事業内容

学校給食作品展の実施、その他学校給食の運営に係る諸事務を行う。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	18 日向市立図書館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,529,302			
1008	修繕料	313,280			
1201	施設維持管理委託料	2,099,944			
1301	使用料及び賃借料	68,160			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,174,000	4,010,686	0	163,314

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	59,000	3,951,686
主な財源	自動販売機電気料				

事業内容

○図書館の維持管理経費
・光熱水費（電気、水道料）
・修繕料（図書館小規模修繕料）
・維持管理委託料（清掃・警備・設備保守点検ほか）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

清掃業務	1,265,000
植栽等管理業務	158,400
空調装置保守点検業務	121,000
消防・防災設備保守点検業務	52,800
自家用電気工作物保安業務	165,000
警備業務	134,244
エレベーター点検業務	184,800
玄関自動ドア保守点検業務	18,700

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	10 市立図書館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	32,000	1103	手数料	115,478
0104	会計年度任用職員報酬	17,261,712	1106	火災保険料	38,505
0301	職員手当	3,194,212	1107	自動車損害保険料	62,700
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,413,760	1206	その他の委託料	504,900
0801	費用弁償	230,273	1301	使用料及び賃借料	6,958,568
0802	普通旅費	0	1805019	宮崎県公共図書館連絡協議会負担金	15,800
1001	消耗品費	491,846	2601	国に対する公課費	12,000
1004	燃料費	75,148			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	96,800			
1008	修繕料	47,640			
1101	通信運搬費	1,116,618			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,407,000	33,667,960	0	3,739,040

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	8,000	33,659,960
主な財源	図書資料複写手数料、図書購入基金利子				

事業内容

○一般事務費
・図書館協議会の開催に係る経費（報酬及び費用弁償）
・会計年度任用職員に係る経費（報酬、保険料等）
・図書資料の貸出及び管理、地区公民館図書室とのネットワークに係る経費（システム賃借料、電信電話料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

新規購入図書マーク作成業務	504,900

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	01 生涯スポーツの推進
小事業	05 生涯スポーツ推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	778,000	1825001	会議出席負担金	0
0701	講師謝金	0	1860044	日向市シルバースポーツ連盟補助金	0
0716	記念品料	0	1860045	総合型地域スポーツクラブ補助金	380,000
0801	費用弁償	101,362			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	62,954			
1003	消耗品費被服	0			
1101	通信運搬費	0			
1203	事業委託料	55,000			
1206	その他の委託料	147,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1816022	宮崎県スポーツ推進委員協議会負担金	40,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,256,520	1,566,916	0	689,604

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,566,916
主な財源					

事業内容

市民がスポーツに親しみ、生きがいづくりや健康づくりに寄与するため、スポーツ団体を支援し、本市の生涯スポーツの推進を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

成年・高齢者の体力・運動能力調査業務委託料　55,000

○その他の委託料

日向市スポーツ推進委員協議会事業(教室・大会)管理事務業務委託　147,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	19 社会体育一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	14,300			
1001	消耗品費	167,960			
1003	消耗品費被服	0			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	221,402			
1702	機械器具費（事業執行用）	18,480			
1805041	宮崎県体育施設協会負担金	2,000			
1805092	（公財）宮崎県スポーツ協会負担金	0			
2403	その他特定目的基金積立金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
653,480	424,142	0	229,338

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	424,142
主な財源					

事業内容

スポーツ振興係の業務執行に係る一般事務費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	28 若山牧水記念文学館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	88,000			
1103	手数料	15,000			
1106	火災保険料	186,478			
1201	施設維持管理委託料	234,300			
1207	指定管理者委託料	15,630,000			
1402	維持補修工事	909,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,077,700	17,063,478	0	14,222

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	978,000	0	347,000	15,738,478
主な財源	水力発電施設周辺地域交付金、建物総合損害共済災害共済金				

事業内容

若山牧水記念施設（若山牧水記念文学館、若山牧水生家及び付属施設）の維持・管理経費
・指定管理者　日向若山牧水顕彰会（令和2年度～令和6年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
牧水生家・牧水記念文学館樹木管理業務　234,300

○工事請負費
文学館消防設備災害復旧工事　346,500
文学館外階段改修工事　319,000
文学館洗浄便座取替工事　244,200

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	04 文化交流センター管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	23 日向市文化交流センター施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	104,600			
1207	指定管理者委託料	53,428,000			
1402	維持補修工事	6,193,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
59,833,000	59,725,600	0	107,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	6,205,000	53,520,600
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、文化交流センター自動販売機電気使用料				

事業内容

日向市文化交流センターの維持・管理・運営
・指定管理者　（公財）日向文化振興事業団（令和2年度～令和6年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
非常用蓄電池取替工事　5,236,000
大ホール入口天井改修工事　957,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	04 文化交流センター管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	24 東郷地区文化センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,812			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	947,818			
1008	修繕料	161,150			
1106	火災保険料	38,820			
1201	施設維持管理委託料	1,571,240			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,229,000	2,724,840	0	504,160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	231,000	2,493,840
主な財源	文化センター使用料、東郷地区文化センター共用アンテナ電気料				

事業内容

東郷地区文化センターの維持・管理経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

機械警備業務委託	369,600
舞台装置保守点検業務委託	484,000
空調装置保守点検業務委託	220,000
自家用電気工作物保守点検業務委託	149,600
清掃業務委託	141,240

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	01 社会教育委員事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	345,600			
0801	費用弁償	10,027			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	9,607			
1805022	宮崎県社会教育委員連絡協議会負担金	9,200			
1806003	北部社会教育委員連絡協議会負担金	18,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
616,000	392,434	0	223,566

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	392,434
主な財源					

事業内容

(1)委員の構成　13人　学校教育、社会教育、家庭教育の関係者及び教育委員会が必要と認める者
(2)職務内容
①社会教育に関する諸計画の立案、②定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる。
③①、②の職務を行うために必要な調査研究、④公民館運営審議会委員を兼ねている。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	19 細島地区コミュニティセンター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	9,449			
1207	指定管理者委託料	755,000			
1301	使用料及び賃借料	59,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
855,000	823,849	0	31,151

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	823,849
主な財源					

事業内容

(1)細島地区コミュニティセンターの管理運営業務に必要な経費
・委託料　指定管理料、使用料　AEDリース料
(2)指定管理者等
・日向市細島地区コミュニティセンター管理組合　・指定期間　令和3年度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	11 社会教育一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	40,000			
0802	普通旅費	0			
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	65,998			
1005	食糧費	800			
1101	通信運搬費	95,000			
1206	その他の委託料	0			
1805064	宮崎県子どもの安全を守る連絡会負担金	11,100			
1806063	東臼杵社会教育協会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
680,000	212,898	0	467,102

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	212,898
主な財源					

事業内容

生涯学習係一般事務費等
○一般事務費
謝金、消耗品費、食糧費、通信運搬費（電信電話料）等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	29 中央公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	363,467			
1004	燃料費	989,815			
1007	光熱水費	4,641,040			
1008	修繕料	994,015			
1103	手数料	417,250			
1106	火災保険料	29,743			
1201	施設維持管理委託料	9,364,050			
1206	その他の委託料	139,700			
1301	使用料及び賃借料	289,427			
1402	維持補修工事	1,044,340			
1816043	自家用電気工作物保安業務委託負担金	184,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,876,400	18,457,647	0	418,753

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,583,000	16,874,647
主な財源	中央公民館使用料、中央公民館印刷機使用料、中央公民館自動販売機電気使用料				

事業内容

日向市中央公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託のほか、地下灯油タンク漏洩防止高精度液面計設置工事等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

警備業務	3,124,000
清掃業務	3,564,000
ボイラー設備操作点検業務	693,000
エレベーター保守点検業務	462,000
空調装置保守点検業務	393,800

○工事請負費

地下灯油タンク漏洩防止高精度液面計設置工事	1,023,000
電気室竪樋応急処置工事	21,340

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0003 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	12 中央公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	91,646			
1004	燃料費	25,000			
1101	通信運搬費	246,560			
1103	手数料	0			
1107	自動車損害保険料	16,815			
1301	使用料及び賃借料	58,080			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
614,000	438,101	0	175,899

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	438,101
主な財源					

事業内容

日向市中央公民館の円滑な運営のため、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0004 日知屋公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	30 日知屋公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	26,272			
1004	燃料費	31,320			
1007	光熱水費	966,570			
1008	修繕料	156,000			
1103	手数料	63,800			
1106	火災保険料	11,980			
1201	施設維持管理委託料	4,511,833			
1301	使用料及び賃借料	235,545			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	51,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,146,000	6,055,020	0	90,980

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	764,000	5,291,020
主な財源	日知屋公民館使用料、日知屋公民館印刷機使用料、日知屋公民館公衆電話使用料、日知屋公民館自動販売機電気使用料、電気治療器電気使用料				

事業内容

日向市日知屋公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や清掃、警備等の業務委託、設備機器類の点検修繕等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

警備業務	2,517,593
清掃業務	842,800
エレベーター保守点検業務	382,800
消防防災設備保守点検業務	231,880
冷暖房使用点検業務	187,300

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0004 日知屋公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	13 日知屋公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,461,123			
0301	職員手当	282,328			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	281,759			
0801	費用弁償	73,600			
1001	消耗品費	221,985			
1004	燃料費	16,207			
1101	通信運搬費	131,000			
1103	手数料	0			
1107	自動車損害保険料	12,490			
1301	使用料及び賃借料	105,490			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,738,000	2,585,982	0	152,018

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,585,982
主な財源					

事業内容

日向市日知屋公民館の円滑な運営のため、会計年度任用職員を雇用し、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0005 大王谷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	31 大王谷公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	20,909			
1004	燃料費	31,870			
1007	光熱水費	1,139,662			
1008	修繕料	85,768			
1103	手数料	19,800			
1106	火災保険料	125,493			
1201	施設維持管理委託料	3,862,240			
1206	その他の委託料	71,720			
1301	使用料及び賃借料	76,031			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,587,000	5,433,493	0	153,507

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	355,000	5,078,493
主な財源	大王谷公民館使用料、大王谷公民館印刷機使用料、大王谷公民館自動販売機電気使用料				

事業内容

日向市大王谷公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備・清掃等の業務委託等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

警備業務	2,578,840
清掃業務	795,000
空調装置保守点検業務	158,400
自家用電気工作物保安業務	158,400
消防用設備等点検業務	105,600

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0005 大王谷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	14 大王谷公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
0301	職員手当	316,066			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	285,655			
0801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	192,666			
1004	燃料費	21,348			
1101	通信運搬費	127,762			
1107	自動車損害保険料	15,941			
1301	使用料及び賃借料	176,256			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,700,000	2,647,070	0	52,930

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,647,070
主な財源					

事業内容

日向市大王谷公民館の円滑な運営のため、会計年度任用職員を雇用し、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0006 美々津公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	32 美々津公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	47,272			
1004	燃料費	31,300			
1007	光熱水費	795,980			
1008	修繕料	154,244			
1103	手数料	23,200			
1106	火災保険料	15,507			
1201	施設維持管理委託料	3,872,374			
1301	使用料及び賃借料	18,651			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	16,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,016,000	4,975,028	0	40,972

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	152,000	4,823,028
主な財源	美々津公民館使用料、美々津公民館印刷機使用料、美々津公民館自動販売機電気使用料				

事業内容

日向市美々津公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

警備業務	3,089,314
清掃業務	440,800
浄化槽清掃・保守点検業務	152,460
庭園管理業務	113,000
消防用設備保守点検業務	57,000
一般廃棄物収集運搬業務	19,800

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0006 美々津公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	15 美々津公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	43,924			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	64,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
128,000	107,924	0	20,076

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	107,924
主な財源					

事業内容

日向市美々津公民館の円滑な運営のため、消耗品費・電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0007 南日向公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	33 南日向公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	79,000			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	643,021			
1008	修繕料	70,400			
1103	手数料	10,000			
1106	火災保険料	11,509			
1201	施設維持管理委託料	4,668,890			
1206	その他の委託料	17,160			
1301	使用料及び賃借料	18,651			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,788,000	5,549,231	0	238,769

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	140,000	5,409,231
主な財源	南日向公民館使用料、南日向公民館印刷機使用料、南日向公民館公衆電話使用料、南日向公民館自動販売機電気等使用料、公衆電話委託手数料				

事業内容

日向市南日向公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費等の支出、警備・清掃等の業務委託のほか、2階多目的トイレの修繕等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

警備業務	3,078,750
清掃業務	662,000
浄化槽清掃・保守点検業務	311,300
自家用電気工作物保安業務	158,400
エレベーター保守点検業務	392,040
消防用設備保守点検業務	66,400
一般廃棄物収集運搬業務	17,160

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0007 南日向公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	16 南日向公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	29,000			
1101	通信運搬費	50,830			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
101,000	79,830	0	21,170

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	79,830
主な財源					

事業内容

日向市南日向公民館の円滑な運営のため、消耗品費・電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0008 細島公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	34 細島公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	60,000			
1004	燃料費	30,430			
1007	光熱水費	713,091			
1008	修繕料	55,000			
1106	火災保険料	4,310			
1201	施設維持管理委託料	3,609,936			
1301	使用料及び賃借料	238,651			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,782,000	4,711,418	0	70,582

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	124,000	4,587,418
主な財源	細島公民館使用料、細島公民館印刷機使用料				

事業内容

日向市細島公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託のほか、正面玄関自動ドアの修繕等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

警備業務	3,019,136
清掃業務	454,000
庭園管理業務	60,000
消防用設備保守点検業務	57,000
一般廃棄物収集運搬業務	19,800

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0008 細島公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	17 細島公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	0			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	52,000			
1101	通信運搬費	90,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
177,000	142,000	0	35,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	142,000
主な財源					

事業内容

日向市細島公民館の円滑な運営のため、消耗品費・電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0009 東郷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	35 東郷公民館管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	14,754			
1007	光熱水費	741,933			
1008	修繕料	193,600			
1103	手数料	16,500			
1106	火災保険料	174,212			
1201	施設維持管理委託料	3,394,700			
1301	使用料及び賃借料	142,031			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,841,600	4,677,730	0	163,870

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	124,000	4,553,730
主な財源	東郷公民館使用料、東郷公民館印刷機使用料、東郷公民館公衆電話使用料				

事業内容

日向市東郷公民館の円滑な施設管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

警備業務	224,400
清掃業務	340,000
管理業務	2,471,700
空調装置保守点検	165,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0009 東郷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	18 東郷公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
0301	職員手当	316,066			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	282,816			
0801	費用弁償	120,000			
1001	消耗品費	85,559			
1004	燃料費	31,456			
1101	通信運搬費	137,000			
1103	手数料	0			
1107	自動車損害保険料	15,837			
1301	使用料及び賃借料	105,490			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	23,837			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,675,000	2,605,437	0	69,563

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,605,437
主な財源					

事業内容

日向市東郷公民館の円滑な運営のため、会計年度任用職員を雇用し、消耗品費等の需用費や電信電話料等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費
目	01 選挙管理委員会費		

事業	
大事業	44 選挙
中事業	02 選挙管理委員会運営に要する経費
小事業	01 選挙管理委員会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	1,938,000			
0801	費用弁償	13,024			
0802	普通旅費	0			
1805004	宮崎県市町村選挙管理委員会連合会負担金	3,000			
1806001	宮崎県市町村選挙管理委員会連合会東臼杵支会負担金	2,900			
1808044	全国市区選挙管理委員会連合会分担金	29,300			
1808045	九州都市選挙管理委員会連合会負担金	6,000			
1808063	九州都市選挙管理委員会連合会選挙事務職員研修会開催負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,147,000	1,992,224	0	154,776

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,992,224
主な財源					

事業内容	定例会（原則として毎月）と、選挙人名簿定時登録（年4回）の際に選挙管理委員会を開催し、公職選挙法等の定めにより選挙人名簿の調製や議案審議を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費
目	01 選挙管理委員会費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	33 選挙管理事務局一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	154,626			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	10,000			
1008	修繕料	400,158			
1101	通信運搬費	29,000			
1301	使用料及び賃借料	216,454			
1825002	研修会負担金	4,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
899,158	814,738	0	84,420

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	814,738
主な財源					

事業内容	選挙管理委員会事務局の業務執行に係る事務を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費
目	03 選挙執行費		

事業	
大事業	44 選挙
中事業	03 国の選挙
小事業	01 衆議院議員選挙

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	3,324,500	1101	通信運搬費	2,026,436
0104	会計年度任用職員報酬	3,240,020	1103	手数料	864,328
0301	職員手当	8,775,570	1206	その他の委託料	2,224,094
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	128,483	1301	使用料及び賃借料	901,127
0714	その他の役務提供等に対する報償金	235,675	1702	機械器具費（事業執行用）	2,420,000
0801	費用弁償	16,000			
0802	普通旅費	3,182			
1001	消耗品費	1,514,893			
1004	燃料費	43,000			
1005	食糧費	81,600			
1006	印刷製本費	190,905			
1007	光熱水費	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,029,000	26,019,813	0	9,187

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	26,019,813	0	0	0
主な財源	衆議院議員総選挙市町村交付金、衆議院議員総選挙啓発推進事業市町村交付金、最高裁判所裁判官国民審査経費、衆議院議員総選挙開票速報事務費委託費				

事業内容

令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙の事前準備や期日前投票事務、当日の投・開票事務などを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

衆議院議員選挙	ポスター掲示場の設置及び撤去業務	1,298,000
衆議院議員選挙	投票所入場券作成業務	467,831
衆議院議員選挙	投票所用機材運搬業務	253,000
衆議院議員選挙	選挙人名簿作成業務	95,263
最高裁判所裁判官国民審査	投票読取集計機初期設定等業務	110,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	72 監査委員	所管課	01 監査委員事務局 0001 監査係
款	02 総務費	項	06 監査委員費
目	01 監査委員費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	34 監査事務局一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	2,688,000	1808048	西日本都市監査事務研修会都市負担金	0
0107	日向市証人等に対する実費弁償	0	1825002	研修会負担金	63,800
0801	費用弁償	61,568			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	135,174			
1002	消耗品費追録	38,962			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	280,200			
1007	光熱水費	35,000			
1101	通信運搬費	9,000			
1808046	全国都市監査委員会負担金	23,000			
1808047	九州各市監査委員会負担金	16,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,820,000	3,350,704	0	469,296

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,350,704
主な財源					

事業内容

○行政委員会委員報酬（有識者監査委員報酬　月額182千円、議会選出監査委員報酬　月額42千円）
○費用弁償及び普通旅費　監査委員監査業務費用弁償
○印刷製本費　歳入歳出決算審査・基金運用状況審査意見書、公営企業会計決算審査意見書

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0001 農政係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	13 農業者年金事務事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	199,873			
0301	職員手当	150,827			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,000			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	3,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
529,000	356,700	0	172,300

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,000	353,700
主な財源	農業者年金事務委託金				

事業内容	農業者年金業務全般に関する事業で、被保険者、受給権者の台帳及びシステム管理、裁定請求及び農地移動等に関する相談、加入推進研修会開催及び戸別訪問等の業務を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0001 農政係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	08 農業委員会事務局一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	44,268			
1003	消耗品費被服	14,410			
1007	光熱水費	40,000			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
241,000	99,978	0	141,022

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	20,000	0	79,978	0
主な財源	国有農地等管理処分事業事務取扱交付金、農地の現況等に関する証明手数料、嘱託登記手数料				

事業内容	農業委員会の運営を円滑に遂行するため、事務局業務に必要な環境を整備した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	01 農業委員会費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	17 農業委員会行政事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	21,872,000			
0801	費用弁償	208,902			
1001	消耗品費	67,513			
1006	印刷製本費	92,000			
1101	通信運搬費	40,000			
1205	システム開発等委託料	385,000			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805086	(一社)宮崎県農業会議負担金	192,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,758,000	22,857,415	0	900,585

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,123,000	0	0	13,734,415
主な財源	農業委員会交付金、農地利用最適化交付金				

事業内容

毎月の定例総会で、農地の権利移動や転用の議案に対し農地法に基づく審議決定を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

農地情報システムデータ更新業務委託　385,000

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	15 特例事業（農業振興公社）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	7,940			
1101	通信運搬費	39,060			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,000	47,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	31,000	16,000
主な財源	特例事業業務委託金				

事業内容

農地保有合理化法人である県農業振興公社を通じて農業経営の規模拡大や農地の集積を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	15 国有農地等管理処分事業事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	15,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,000	15,000	0	20,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	そ の 他	一般財源
	0	15,000	0	0	0
主な財源	国有農地等管理処分事業事務取扱交付金				

事業内容	県とともに国有農地等を適正に管理し処分の促進を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

新型コロナウイルス
感染症対策事業

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	08 [新型コロナ対策]影響調査に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,966			
1006	印刷製本費	36,300			
1101	通信運搬費	356,493			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
870,000	398,759	0	471,241

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	398,759
主な財源					

目的
新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内事業者等に対し、現状に即した感染症対策や経済支援策を講じるため、事業者の業況等を把握する調査を行う。

事業活動内容
事業者及び医療機関等に対し新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査を実施した。
○調査事業所：2,189事業者、回答数：963事業者　回答率44.0%

中小企業等緊急支援金を受給した事業所に対し新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査を実施した。
○調査事業所：587事業者、回答数：353事業者　回答率60.1%

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
コロナ禍による事業者等の経営への影響（業況や課題等）の動向を把握することで、ニーズに応じた支援策等を講じることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	03 交通ネットワークの充実
小事業	02 [新型コロナ対策]地域生活交通対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1702	機械器具費（事業執行用）	0			
1865045	生活バス路線運行支援金	9,919,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,619,000	9,919,000	700,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,919,000	0	0	0
主な財源	市町村交通事業者支援事業補助金				

目的
コロナ禍が長期化し、県独自の緊急事態宣言等により、人流が抑制され、厳しい状況にある公共交通事業者の経営を維持するため、県の補助を受けて路線バス事業者に対し支援を行う。

事業活動内容
地域間を結ぶ路線を運行するバス事業者の運行欠損額に対し、補助金交付を行った。
○対象路線
・イオンタウン日向～レーヨン
・イオンタウン日向～道の駅とうごう～池野
・イオンタウン日向～道の駅とうごう～塚原
・イオンタウン日向～道の駅とうごう～神門

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
コロナ禍により、経営が悪化している路線バス事業者を支援することで、本市と延岡、入郷地域を結ぶ路線の運行維持が図られ、学生や高齢者等の移動手段を確保することができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0006 ICT推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		
事業 大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進		
事業 中事業	01 情報通信基盤の整備		
事業 小事業	07 [新型コロナ対策]高度無線環境整備推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1808087	高度無線環境整備推進事業負担金	154,770,862			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
171,562,000	154,770,862	0	16,791,138

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	100,000,000	0	46,900,000	0	7,870,862
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
コロナ禍の中において、テレワーク等の「新しい生活様式」へ対応するための情報通信基盤を整備するとともに、Society5.0の推進を図るため、電気通信事業者が実施する超高速ブロードバンドの整備に対して、必要な経費の一部を負担し、地域間の情報格差を解消する。

事業活動内容
・電気通信事業者への高度無線環境整備推進事業負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○負担金
高度無線環境整備推進事業負担金　154,770,862

事業効果
超高速ブロードバンド未整備地区の解消により、市民がいつでもどこでも超高速情報通信網を活用し、テレワークやテレビ会議などの新しい働き方をはじめ、災害時の情報収集やSNSによるコミュニケーション活性化など生活の利便性向上を図ることができる環境を構築することができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0042 女性活躍推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		
事業 大事業	09 男女共同参画社会づくり		
事業 中事業	01 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備		
事業 小事業	04 [新型コロナ対策]女性生活支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	763,876			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
800,000	763,876	0	36,124

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	763,876
主な財源					

目的
コロナ禍により、生理用品の入手が困難な「生理の貧困」やDV、虐待など厳しい状況にある女性に対し、生理用品や相談窓口等を掲載したリーフレットを配布することで、生活の維持や問題の解決、自立などを支援する。

事業活動内容
生理用品を購入し、窓口やトイレ等で配布した。
○生理用品購入・・・57,200枚
○事業所等からの生理用品寄付・・・6,199枚
○生理用品配布・・・窓口(11,758枚)、トイレ(5,936枚)、その他(11,876枚)

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
生理用品の寄付や提供を通じて、市民の生理の貧困や人権尊重、身体的性差への理解を深めることができた。また、虐待やDV等の相談窓口を記載したリーフレットを一緒に配布することで、さまざまな悩みを抱える女性の問題解決に向けて支援をすることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	03 文書広報費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	05 [新型コロナ対策]広報強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	69,000			
1006	印刷製本費	68,924			
1103	手数料	604,665			
1104	広告料	550,000			
1203	事業委託料	1,129,040			
1301	使用料及び賃借料	0			
1702	機械器具費（事業執行用）	304,920			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	2,726,549	0	1,273,451

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,000,000	0	0	0	726,549
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型コロナウイルス感染防止に係る啓発や経済支援策などについて、市民や対象となる事業者に向けて、新聞広告やラジオ、チラシ等の各種メディアを活用した情報発信を行う。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染防止対策の徹底や市が取り組む経済対策などについて、市広報紙、新聞折込チラシ、ケーブルテレビ、コミュニティFMなど多様な広報媒体を用いて、積極的に情報発信を行った。

【主な広報活動実績】
○新聞折込チラシ　4回
○ケーブルメディアワイワイ（市長出演分）　2回
○FMひゅうが（市長出演分）　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

「まん延防止等重点措置」特別放送業務委託（ワイワイ日向チャンネル）	333,850
新型コロナ感染予防対策等特別放送業務委託（ワイワイ日向チャンネル）	299,200
「まん延防止等重点措置」特別放送業務委託（FMひゅうが）	260,700
新型コロナ感染予防対策等特別放送業務委託（FMひゅうが）	235,290

事業効果

全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、感染者情報や感染防止対策、緊急経済対策など、市ホームページやSNS等を活用した情報発信に加え、テレビ、ラジオ、新聞等を活用して、相乗的に情報発信を行うことができた。今後も市民が必要とする情報を、適切なタイミングで届けられるよう、迅速かつ丁寧な情報発信に努める。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0006 契約監理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化の推進
小事業	27 [新型コロナ対策]電子入札システム導入事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	102,820			
0301	職員手当	0			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	6,000			
0801	費用弁償	2,000			
1001	消耗品費	21,560			
1006	印刷製本費	21,000			
1101	通信運搬費	50,833			
1802016	電子入札システム共同利用負担金	1,522,975			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,769,000	1,727,188	0	1,041,812

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	178,000	1,549,188
主な財源	電子入札システム利用負担金				

目的

市が発注する建設工事等の入札において「電子入札方式」を導入することにより、3密の回避や外部との接触機会の低減を図り、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じるとともに、入札参加者の利便性の向上及び行政のデジタル化を推進する。

事業活動内容

○電子入札方式導入に向けた、規程、要綱、運用マニュアル等を整備
○業者、団体への説明、市のホームページ、広報等での周知
⇒令和3年11月、土木、建築、電気、舗装の市内・準市内Aクラス発注案件で電子入札開始（9件実施）
○令和4年4月から同Bクラス発注案件で電子入札を実施するための業者向け説明会を実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○電子入札システム共同利用負担金

コアシステム保守費負担金	129,642
システム改修等負担金	1,393,333

事業効果

システムの導入により、入札会場における3密回避とともに、入札通知書発出の事務がなくなり、事務の簡略化を図ることができた。また、入札通知書の受取や入札のために来庁する必要がなくなるなど、業者の負担を軽減することができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0001 人事係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	36 [新型コロナ対策]職員派遣に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	848,537			
0802	普通旅費	377,437			
1103	手数料	1,029,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,500,000	2,255,574	0	2,244,426

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	800,000	1,142,000	0	0	313,574
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、新型コロナ宿泊施設への職員派遣負担金				

目的
県が設置する新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設の運営を支援するため、職員を派遣する。

事業活動内容
施設に派遣する職員の各種手当や旅費等
◯職員手当　特殊勤務手当、夜間勤務手当、休日勤務手当
◯旅費　職員自宅から施設までの旅費、PCR検査のための医療機関までの旅費
◯手数料　施設従事後のPCR検査費用

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設の運営のために、職員48人、延べ213日間の派遣を行った。
当該施設の運営でコロナ感染者の安全な隔離が行われたことで、県北地区における感染症のまん延防止が図られた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0004 庁舎管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	02 総務施設管理運営費
小事業	06 [新型コロナ対策]公共施設環境整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,700,410			
1401	建設工事費	198,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	601,590			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	2,500,000	1,500,000	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,500,000	0	0	0	0
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
公共施設にパーテーションの設置等を行い、新しい生活様式に対応した市民活動等の促進を図る。

事業活動内容
公共施設における感染症予防を図るため、飛沫防止用パーテーションやアルコール消毒剤及び必要資材等の購入と配備を行った。
また、公共施設での感染拡大防止を図るため、網戸の設置や飛沫防止カーテン及び非接触型サーマルカメラ等の購入を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○工事請負費
日向市立図書館網戸取付工事　198,000

事業効果
公共施設に飛沫防止対策資材等を配備するとともに、定期的なカウンターや机、椅子等の消毒を継続実施することで、施設利用者や業務従事者への感染の防止を図ることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	06 [新型コロナ対策]生活困窮者自立支援金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	372,000			
0301	職員手当	756,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	71,045			
0801	費用弁償	8,000			
1001	消耗品費	49,170			
1006	印刷製本費	10,000			
1007	光熱水費	30,000			
1101	通信運搬費	77,000			
1103	手数料	16,830			
1890038	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	12,040,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,440,000	13,430,045	0	9,955

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,430,045	0	0	0	0
主な財源	新型コロナウイルス感染症セーフティネット交付金				

目的
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている生活困窮世帯であって、既に総合支援資金の特例貸付について再貸付を受け終わった世帯等に対し、就労による自立を図り、またそれが困難な場合には円滑に生活保護の受給につなげるために支援金を給付する。

事業活動内容
新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯に対し、世帯員数に応じて支援金を給付した。
・単身世帯　60,000円／世帯
・2人世帯　80,000円／世帯
・3人以上の世帯　100,000円／世帯

給付世帯…47世帯（単身20世帯、2人8世帯、3人以上19世帯）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている生活困窮世帯に支援金を給付することで、就労等による自立を図るための支援を行うことができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	07 [新型コロナ対策]住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	209,954	1890039	生活困窮世帯等臨時特別給付金	633,200,000
0301	職員手当	702,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	35,494			
0801	費用弁償	2,000			
1001	消耗品費	254,330			
1006	印刷製本費	290,840			
1007	光熱水費	20,000			
1101	通信運搬費	1,560,431			
1103	手数料	698,830			
1205	システム開発等委託料	1,309,000			
1206	その他の委託料	992,519			
1301	使用料及び賃借料	25,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
853,200,000	639,300,698	212,000,000	1,899,302

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	639,300,698	0	0	0	0
主な財源	子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金				

目的
新型コロナウイルス感染症の影響を受ける住民税非課税世帯や家計急変世帯に対し給付金を支給することで、生活・暮らしの支援を行う。

事業活動内容
令和3年度住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり100,000円を給付した。

○給付実績
非課税世帯　6,320世帯
家計急変世帯　12世帯

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○システム開発等委託料
システム改修業務委託料　1,309,000

○その他の委託料
臨時特別給付金支給要件確認書等の印刷・封入封緘業務委託料　992,519

事業効果
新型コロナウイルス感染症の影響を受ける生活困窮世帯に対し給付金を支給することで、生活や暮らしの支援を行うことができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	30 [新型コロナ対策]低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	349,779			
0301	職員手当	345,096			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	65,562			
0801	費用弁償	12,600			
1001	消耗品費	100,000			
1006	印刷製本費	10,000			
1007	光熱水費	80,000			
1101	通信運搬費	123,000			
1103	手数料	89,650			
1205	システム開発等委託料	0			
1890035	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯）	64,550,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
67,670,000	65,725,687	0	1,944,313

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	65,725,687	0	0	0	0
主な財源	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親）事業費補助金、子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親）事務費補助金				

目的
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯の子育て負担や経済的影響の軽減を図る。

事業活動内容
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から生活支援特別給付金を支給した。（ひとり親世帯に対し、児童1人あたり5万円を支給。）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯の子育て負担や経済的影響の軽減を図ることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	31 [新型コロナ対策]低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親以外）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	233,186			
0301	職員手当	231,600			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	35,318			
0801	費用弁償	8,400			
1001	消耗品費	72,000			
1006	印刷製本費	28,000			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	232,000			
1103	手数料	37,290			
1205	システム開発等委託料	1,694,000			
1890036	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親以外）	34,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,789,000	37,121,794	0	667,206

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	37,121,794	0	0	0	0
主な財源	子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親以外)事業費補助金、子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親以外)事務費補助金				

目的
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）の子育て負担や経済的影響の軽減を図る。

事業活動内容
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から生活支援特別給付金を支給した。（ひとり親世帯以外の市町村民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し、児童1人あたり5万円を支給。）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
システム開発委託料　1,649,000

事業効果
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）の子育て負担や経済的影響の軽減を図ることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	32 [新型コロナ対策]乳児子育て応援特別給付金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	19,859			
1006	印刷製本費	10,000			
1101	通信運搬費	74,000			
1103	手数料	88,440			
1890037	乳児子育て応援特別給付金	40,350,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,550,000	40,542,299	0	7,701

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	36,000,000	0	0	0	4,542,299
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている乳幼児を養育している世帯の経済的負担の軽減を図る。
事業活動内容	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出産・出産をした世帯に生活応援特別給付金を支給した。支給対象は、平成30年4月2日以降出生の児童を養育している本市在住の者。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている乳幼児を養育している世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	33 [新型コロナ対策]子育て世帯等臨時特別支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	235,548			
0301	職員手当	251,798			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	42,477			
0801	費用弁償	4,000			
1001	消耗品費	80,000			
1006	印刷製本費	93,500			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	828,000			
1103	手数料	591,470			
1205	システム開発等委託料	1,842,500			
1890020	子育て世帯への臨時特別給付金	984,270,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
992,470,000	988,289,293	4,004,400	176,307

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	988,289,293	0	0	0	0
主な財源	子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金				

目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の子育て負担や経済的影響の軽減を図る。
事業活動内容	新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子ども達を力強く支援し、その未来を拓く観点から、子育て世帯に対し、0歳から高校3年生相当までの児童1人あたり10万円相当を給付した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 システム開発等委託料　1,842,500
事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の子育て負担や経済的影響の軽減を図ることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	35 [新型コロナ対策]放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853074	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例補助金	583,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
638,000	583,000	0	55,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	583,000	0	0	0	0
主な財源	保育士等処遇改善臨時特例交付金				

目的
新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら働く放課後児童支援員の処遇を改善することにより、支援員の離職防止及び児童クラブ運営の安定を図る

事業活動内容
令和4年2月から9月までの間、3%程度の賃金改善を行う放課後児童健全育成事業受託者に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助した。令和3年度については令和4年2月から3月までの分について補助を行った。
○補助対象事業所
　対象事業所：2事業所
　対象職員数：29人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
放課後児童支援員等の処遇を改善することにより、離職等による支援員不足の防止となり、安定した児童クラブの運営を図ることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	07 要保護児童等に対する支援の充実
小事業	03 [新型コロナ対策]児童虐待防止対策支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	3,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,600,000	3,300,000	0	300,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,300,000	0	0	0	0
主な財源	児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金				

目的
コロナ禍のもと、学校等の休業や外出自粛の断続的な継続により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待リスクが高まっていることから、国の「子ども見守り強化アクションプラン」を実施し、状況の把握や食事の提供を行いながら、必要な支援へつなげる。

事業活動内容
子どもの支援に取り組む民間団体が、支援対象児童や特定妊婦の世帯に対し、家庭訪問による宅食や子ども食堂や参加支援の利用促しと併せて、毎月の見守りを行うことで、養育・生活状況を把握しながら、必要な支援へつなげた。

○見守り実施世帯　19世帯94人（うち児童58人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○事業委託料
　支援対象児童等見守り強化事業業務委託料（受託者　2団体）　3,300,000

事業効果
要保護児童等の世帯のうち、傷病のあるひとり親世帯や、生活困窮がうかがえる多子世帯等への見守りを実施した。個別の世帯に地域の身近な支援者として民間支援団体を紹介し、見守りをとおして、家庭や児童の様子を把握し、養育状況の変化については適宜報告を受け、市による訪問等のフォローを行った。受託団体による宅食も時季に応じた工夫を行い、家庭に団らんの機会を創出した。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	03 子どもの未来を応援する施策の推進
小事業	03 [新型コロナ対策]子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853068	子ども食堂食事支援事業補助金（新型コロナ対策）	200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200,000	200,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	200,000
主な財源					

目的
コロナ禍のもと、生活困窮や、保護者の健康上の理由等により、食事に困る家庭および児童に支援を行う「子ども食堂」運営団体に対して、食事支援にかかる経費を補助する。

事業活動内容
「子ども食堂」における、食事に困る家庭および児童への食事支援にかかる費用について補助した。

○助成団体　2団体（2団体×100千円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
「子ども食堂」の食事支援への補助をとおして、ひとり親世帯や、生活に困窮する世帯に対する年間をとおした食事支援の提供につなげることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	34 [新型コロナ対策]保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	123,948			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	18,950			
0801	費用弁償	2,000			
1001	消耗品費	8,835			
1101	通信運搬費	15,000			
1853073	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例補助金	11,368,860			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,576,000	11,537,593	0	38,407

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,537,593	0	0	0	0
主な財源	保育士等処遇改善臨時特例交付金				

目的
新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら働く、幼稚園、保育所、認定こども園における職員に対して賃金改善を行うために必要な費用を補助し、処遇改善を行う。

事業活動内容
令和4年2月から9月までの間、職員に対して3%程度の賃金改善を行う教育・保育施設等に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助した。令和3年度は令和4年2月から3月の分について補助を行った。

○補助対象施設
　認可保育所　14園
　認定こども園　10園
　幼稚園　1園

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
認可保育園、認定こども園、幼稚園に賃金改善を行うために必要な費用を補助し、職員（保育士、看護士、調理員等）の処遇改善を行うことが出来た。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	08 [新型コロナ対策]保育環境改善等事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853067	保育環境改善等事業補助金（新型コロナウイルス感染症対策）	11,067,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,067,000	11,067,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	10,632,000	0	0	0	435,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、保育環境改善等事業補助金				

目的	保育所等の職員が新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくための必要な経費や保育所等の感染拡大の防止のための備品等の購入に対する補助等を行うことで、乳幼児の感染防止策が講じられ、安全安心な保育が実施される。
事業活動内容	○補助対象施設 私立保育所　13園 幼保連携型認定こども園　6園 認可外保育施設　7園
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	認可保育園、幼保連携型認定こども園、認可外保育施設に新型コロナウイルス感染拡大防止のための費用を補助し、安心安全な保育の継続に努めた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	09 [新型コロナ対策]保育事業（上町保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	278,064			
1001	消耗品費	167,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000	445,564	0	54,436

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	407,000	0	0	0	38,564
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、保育環境改善等事業補助金				

目的	上町保育所が、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、安心安全な保育を継続的に提供していくため、国の補助事業を活用し、感染拡大防止のための業務を行うほか、消耗品等（マスク、消毒液等）を購入する。
事業活動内容	○開所時間前、閉所時間後における室内等の消毒など、感染拡大防止に関する業務に係る手当 保育室、室内備品、遊具等の消毒 ○感染拡大防止のための消耗品の購入
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍においても、安心安全な保育の提供が出来るよう施設に保健衛生用品を購入し、施設や手指消毒等を行い、継続した保育を行うことが出来た。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	23 福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	10 [新型コロナ対策]保育事業（細島保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	273,411			
1001	消耗品費	174,497			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000	447,908	0	52,092

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	405,000	0	0	0	42,908
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、保育環境改善等事業補助金				

目的

細島保育所が、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、安心安全な保育を継続的に提供していくため、国の補助事業を活用し、感染拡大防止のための業務を行うほか、消耗品等（マスク、消毒液等）を購入する。

事業活動内容

○開所時間前、閉所時間後における室内等の消毒など、感染拡大防止に関する業務に係る手当
　保育室、室内備品、遊具等の消毒
○感染拡大防止のための消耗品の購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍においても、安心安全な保育の提供が出来るよう施設に保健衛生用品を購入し、施設や手指消毒等を行い、継続した保育を行うことが出来た。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 健康増進課 0003 新型コロナウイルスワクチン接種推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	01 保健体制の充実
小事業	17 新型コロナウイルスワクチン接種事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	34,038,035	1203	事業委託料	258,717,241
0301	職員手当	19,908,969	1301	使用料及び賃借料	13,749,444
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,072,249	1401	建設工事費	594,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	6,993,000	1701	庁用器具費（一般的事務用）	4,216,652
0801	費用弁償	597,054			
1001	消耗品費	6,924,398			
1004	燃料費	279,415			
1006	印刷製本費	1,647,854			
1007	光熱水費	1,257,709			
1101	通信運搬費	15,577,553			
1103	手数料	3,480,477			
1108	その他の保険料	98,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
389,163,000	371,152,150	18,000,000	10,850

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	370,469,050	0	0	683,100	0
主な財源	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金、新型コロナウイルスワクチン市外接種負担金				

目的

市民の健康と暮らしを守るため、新型コロナワクチンの円滑な接種を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染予防、発症予防及び重症化予防に努める。また、国の方針に基づき、接種体制の確立を図る。

事業活動内容

市民への新型コロナワクチン接種について、次のとおり実施した。
（1）　ワクチン接種予約受付に係るシステムの整備、コールセンターの設置及び高齢者等予約サポートの実施
（2）　市内医療機関24か所での個別接種（初回接種、追加接種、小児接種）
（3）　市が設置した接種会場2か所での集団接種（初回接種、追加接種、小児接種）
（4）　市内医療機関へのワクチンの配送
（5）　接種体制の構築に係る関係機関との調整

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料	
新型コロナワクチン個別接種料	150,226,241
集団接種業務委託（医師会）	39,285,000
集団接種業務委託（薬剤師会）	17,215,500
集団接種業務委託（歯科医師会）	2,866,500
接種券作成・封入封緘業務委託	12,408,637
コールセンター業務委託	31,367,613
○建設工事費	
集団接種会場（プレハブ）への電気引込工事	594,000

事業効果

日向市東臼杵郡医師会等関係機関と連携しながら、市民への円滑な新型コロナワクチン接種を実施したことで、新型コロナウイルス感染症の感染予防、発症予防及び重症化予防に繋げることができた。
また、様々な媒体を活用してワクチン接種の効果や副反応を市民に周知するとともに、年度途中からの国の方針に基づく追加接種や小児接種についても、早期に接種体制を確立し、効果的に取り組むことができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	05 労働費	項	01 労働諸費
目	02 労働諸費		

事業	
大事業	21 雇用の確保と創出
中事業	01 就業の場の確保と雇用の創出
小事業	12 [新型コロナ対策]就職支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	14,084			
1006	印刷製本費	81,532			
1103	手数料	67,556			
1104	広告料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
560,000	163,172	0	396,828

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	163,172
主な財源					

目的	コロナ禍により有効求人倍率が悪化するなか、個別面談方式による就職説明会を開催し、雇用の促進を図る。
事業活動内容	8月に市内中小企業等と求職者が直接対話できる個別面談方式による就職説明会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。 10月以降は、運営を再開した日向市地域雇用創造協議会が行う就職説明会の運営を支援した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍により就職説明会を開催することはできなかったが、準備を通してハローワーク日向や宮崎県、商工団体等と雇用対策に関する連携・協議を深めることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	26 [新型コロナ対策]中小企業特別融資事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867041	新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付利子補給補助金	33,647,512			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,700,000	33,647,512	0	52,488

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	31,001,000	2,646,512
主な財源	新型コロ感染症対策貸付利子補給基金利子、新型コロナウイルス感染症対策貸付利子補給基金利子				

目的	コロナ禍が長期化し経営に多大な影響を受けている中小企業等の事業継続を支援するため、宮崎県中小企業融資制度「新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付」の融資を受けた市内中小企業等に対し、3年間の利子補給を行う。
事業活動内容	新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付の融資を受けた市内中小企業等に対し、令和3年中（1～12月）に支払った利子を補助した。 ○利子補給補助金の交付 149件 ○補助率　10／10
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	同融資制度の保証料補助を行う宮崎県と連携し、本市が3年間の利子補給を行うことで、コロナ禍によって経営に多大な影響を受けている市内中小企業等の事業継続及び雇用の維持が図られた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	27 [新型コロナ対策]住宅・店舗等リフォーム促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	247,896			
0301	職員手当	158,033			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	61,357			
0801	費用弁償	4,000			
1001	消耗品費	3,740			
1006	印刷製本費	124,960			
1101	通信運搬費	10,000			
1104	広告料	66,000			
1857079	住宅・店舗等リフォーム促進事業補助金	8,676,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,200,000	9,351,986	11,200,000	648,014

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	8,000,000	0	0	0	1,351,986
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

アフターコロナを見据えた「新しい生活様式」に対応した住環境及び店舗等の整備促進や市内小規模登録事業者等の受注機会の創出を図るため、市内で行われる住宅・店舗等のリフォーム費用の一部を補助する。

事業活動内容

市内小規模登録事業者等を利用して、市内の住宅及び店舗等のリフォーム工事を行う市民及び中小企業等に対して、経費の一部を補助した。
○住宅リフォーム 81件
自宅のリフォーム工事費20万円以上に対し、補助対象工事費の10%（最大10万円）を補助
○店舗リフォーム 10件
店舗のリフォーム工事費20万円以上に対し、補助対象工事費の20%（最大20万円）を補助

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

本事業を実施したことで、市内の住宅・店舗等のリフォーム工事が促進され、コロナ禍における市内事業者の受注機会の創出及びアフターコロナを見据えた「新しい生活様式」に対応した住環境等の整備が図られた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	28 [新型コロナ対策]応援消費プレミアム付商品券発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	172,425			
1101	通信運搬費	1,840,192			
1206	その他の委託料	640,376			
1857080	応援消費プレミアム付商品券発行事業補助金	72,371,163			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
153,200,000	75,024,156	75,200,000	2,975,844

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	31,200,000	37,856,000	0	0	5,968,156
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍により消費が停滞している市内経済の活性化を図るため、県と連携し、プレミアム付商品券を発行する。

事業活動内容

県と連携し応援消費プレミアム付商品券「コロナに負けるな！元気クーポン」第3弾を発行した。
○実施主体　日向市新型コロナウイルス感染症緊急対策プレミアム付商品券発行事業実行委員会
○プレミアム率　30%（販売価格：1冊5,000円、商品券額面：1冊6,500円）
○発行数　42,000冊（発行総額：273,000千円）
○販売数　40,968冊（販売額：204,840千円）
○登録店舗　444店舗
○販売方法　引換ハガキを全世帯に配布し市内観光4駅で販売

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
日向市プレミアム付商品券購入引換はがき作成業務委託　640,376

事業効果

コロナ禍により売り上げが減少する市内店舗、飲食店等への影響を緩和するため、応援消費プレミアム付商品券を発行したことで、市内における消費喚起が図られ、地域経済の活性化に繋がった。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	32 [新型コロナ対策]営業時間短縮要請協力金交付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	802,888			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	116,230			
0801	費用弁償	17,236			
1001	消耗品費	90,036			
1101	通信運搬費	606,000			
1104	広告料	187,000			
1890030	営業時間短縮要請協力金	1,347,499,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,546,744,000	1,349,318,390	197,423,000	2,610

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	112,579,000	1,214,565,000	0	0	22,174,390
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、感染症対策休業要請等協力金事業補助金				

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、県が新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき市内飲食店等に対して、営業時間短縮を要請したことに伴い、要請に応じた飲食店等に協力金を交付する。

事業活動内容

県が発令した営業時間短縮の要請に応じ、自らが運営する食事提供施設において、営業時間短縮を行った市内飲食店等に対して、協力金を交付した。
〇交付件数
・令和3年4月分交付件数：460店舗
・令和3年8・9月分交付件数：463店舗
・令和4年1・2・3月分交付件数：466店舗

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

県が発令した営業時間短縮要請に協力した市内の飲食店等に対し、国や県と連携して協力金を交付したことで、飲食店等の事業継続及び新型コロナウイルス感染のまん延防止が図られた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	33 [新型コロナ対策]中小企業等緊急支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	0			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	10,944			
1101	通信運搬費	235,827			
1104	広告料	0			
1890031	中小企業等緊急支援給付金	181,280,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
225,390,000	181,526,771	37,381,000	6,482,229

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	86,835,000	0	0	0	94,691,771
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大によるまん延防止等重点措置の適用及び県が発令した緊急事態宣言の影響により、売上が減少し経営に多大な影響を受けている中小企業等に対し、緊急的に支援給付金を交付し、事業継続及び雇用の維持を支援する。

事業活動内容

売上が前年及び前々年と比較して30%以上減少している市内中小企業等に対し、支援給付金を交付した。
〇交付件数
・令和3年1・2月分：交付件数　294者
・令和3年4月分：交付件数　370者
・令和3年8・9月分：交付件数　594者

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

本市への度重なるまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発令等により、経営に多大な影響を受けている市内中小企業等に対し、緊急的に支援給付金を交付したことで、事業継続及び雇用の維持が図られた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	36 [新型コロナ対策]地産外消日向地場産品販売促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1005	食糧費	0			
1206	その他の委託料	22,000,000			
1857085	地場産品販路拡大支援補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,800,000	22,000,000	0	800,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,400,000	0	0	0	10,600,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
コロナ禍によりインバウンド消費が落ち込む中、海外に向けた販路を開拓し、市内地場産品のブランド確立及び販路拡大を図る。

事業活動内容
市内地場産品の販路拡大を支援するため、台湾をターゲットとしたプロモーション及びECサイト試験販売、試食商談会等を実施した。
①地場産品の選定：5品目
②ECサイト（インターネット）による商品販売
③SNS（フェイスブック、Youtube）を活用した商品PR
④台湾TV通販番組による商品PR・販売
⑤試食商談会による現地バイヤーとの商談

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○その他の委託料
地産外消日向地場産品販売促進事業　22,000,000

事業効果
比較的コロナ禍の影響が少なかった台湾に対し、市内地場産品を輸出し、ECサイトによる試験販売やSNS等を活用した商品のPR、商談等を行ったことで、市内地場産品の販路拡大が図られた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	01 企業誘致の推進
小事業	09 [新型コロナ対策]ワーケーション推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	13,948,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,000,000	13,948,000	0	52,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,974,000	0	0	6,900,000	74,000
主な財源	地方創生推進交付金、企業版ふるさと日向市応援寄附金				

目的
本市の自然環境等を活用したワーケーションオフィス調査事業を実施し、事業効果や課題の検証を行うことにより、今後の事業化の可能性を模索する。

事業活動内容
○マーケティング調査業務
○ワーケーション実証実験
○モニタリング調査
○課題解決調査
○広告宣伝業務
○情報発信・PR強化業務

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○その他の委託料
日向市ワーケーションオフィス調査事業業務委託　13,948,000

事業効果
ワーケーション事業推進のため、実証実験を中心とした各種施策を展開することで、ワーケーションに先駆的に取り組む自治体としてのブランディングが図られ、全国的に知名度が向上した。また、市民との交流を重視する体験プログラム等を取り入れることにより、参加者の再訪意欲が高まり、本市に繰り返し訪れる参加者が出てくるなど、関係人口の拡大にも寄与した。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
小事業	16 [新型コロナ対策]観光施設等感染拡大防止対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	57,000			
1206	その他の委託料	4,027,100			
1301	使用料及び賃借料	188,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,796,000	4,272,200	0	523,800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,800,000	0	0	0	472,200
主な財源					

目的
コロナ禍により感染拡大が広まる中において、お倉ヶ浜海水浴場への来訪者が安全・安心に訪れることができること及び感染拡大の防止策を目的に検温場を設置する。

事業活動内容
お倉ヶ浜海水浴場利用者の新型コロナウイルスへの安全対策を目的に、利用者に対して非接触型体温計を用いたドライブスルー方式の検温を実施し、感染拡大防止策の徹底を啓発した。

〇期間　令和3年5月1日～令和3年10月31日

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
〇その他の委託料
お倉ヶ浜海水浴場駐車場利用者安全対策業務委託　4,027,100

事業効果
ドライブスルー検温を実施したことにより、お倉ヶ浜海水浴場への来場者の安全・安心な利用を図り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
小事業	17 [新型コロナ対策]交通事業者運行継続支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865044	交通事業者支援事業給付金	5,700,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,900,000	5,700,000	0	200,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,700,000	0	0	0
主な財源	市町村交通事業者支援事業補助金				

目的
新型コロナ感染症の影響が長期化していることにより厳しい経営環境下にあるバス事業者、タクシー事業者、自動車運転代行事業者に対し、固定経費の一部を補助し、今後の事業の継続を支援する。

事業活動内容
〇受付期間　令和3年9月17日から令和3年11月30日まで
〇助成額　タクシー1台あたり2万円、バス1台あたり10万円、代行運転業随伴車1台あたり2万円
〇対象事業者数　タクシー5件、バス3件、代行運転業11件、福祉タクシー5件（合計24件）
〇実績（執行率96.6%）
タクシー5件、バス3件、代行運転業6件、福祉タクシー5件　（合計19件）　5,700,000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
経済活動の急速な縮小に伴い、観光関連産業への影響が危惧される中、本市観光まちづくりにおいて二次交通を支え、さらに市民の安心・安全な移動手段でもある交通事業者等に対し、固定経費の一部相当を支給することで、事業活動の継続を支援することができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
小事業	18 [新型コロナ対策]魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
1206	その他の委託料	121,550			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,734,000	121,550	0	5,612,450

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	121,550
主な財源					

目的
観光庁が実施する「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業として、「新しい生活様式」に対応したイベント等を実施する。

事業活動内容
令和3年5月15日開催に向けて、イベント企画会社へ業務委託を行い準備を進めていたが、感染拡大状況の悪化により、止む無く中止となった。
○HOSOSHIMAグルメフェス開催準備　121,150円
・チラシ制作費（デザイン費）
・CM制作費（原稿作成・ナレーターキャンセル費）
・企画管理費（打ち合わせ経費等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
HOSOSHIMAグルメフェス開催準備委託　121,150

事業効果
国の実証事業として、「HOSOSHIMAグルメフェス」の開催に向け、各コンテンツの企画や広告など準備を進めていたが、市内においてコロナウイルス感染症のクラスターが発生し、全国的にも同感染症が再拡大していたため、開催を断念した。準備段階で企画した内容は、次回イベント開催にあたっての参考となるものができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 受入態勢の整備とおもてなしの充実
小事業	19 [新型コロナ対策]観光事業者経営安定支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890033	宿泊施設等経営安定支援給付金	13,960,000			
1890034	市内バス事業者経営安定支援給付金	3,250,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,000,000	17,210,000	0	1,790,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	17,210,000
主な財源					

目的
新型コロナウイルス感染拡大の影響で売上げが減少している市内宿泊施設等事業者やバス事業者に対して、経営を支援し今後の事業の継続を支えるため、経営安定を支援する給付金を交付する。

事業活動内容
○宿泊施設等経営安定支援給付金　35施設のうち28施設が申請（執行率93.0%）
旅館業法、住宅宿泊事業法その他関連法令に基づく宿泊施設等の客室一部屋につき2万円を交付。
○バス事業者経営安定支援給付金　2社20台
観光周遊、駅アクセス等の二次交通手段、定期高速バス、定期路線バス等に運用する事業者に対し、大型車1台当たり20万円、中型車1台あたり15万円、小型車1台あたり10万円を給付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
長引くコロナ禍の中、移動自粛制限などによる旅行者等の減少で、売上げが激減している市内宿泊施設等事業者やバス事業者に対して支援金を交付することで、今後の事業の継続や経営の安定化が図られた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 効果的な情報発信とプロモーション
小事業	10 [新型コロナ対策]観光消費喚起事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	62,619,830			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
101,380,000	62,619,830	33,200,000	5,560,170

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	47,700,000	0	0	0	14,919,830
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

競合観光地と差別化した新たな誘客プロモーションを展開し、日向ファンの拡大につなげていく。さらに観光産業の回復を図るため、市内宿泊促進キャンペーンを実施することで、宿泊需要を喚起し、大きく落ち込んでいる観光消費の早期回復を図る。

事業活動内容

○日向ファン拡大プロモーション事業業務委託
　世代を超えて愛されている「短歌」を軸とした様々なプロモーションを展開。改めて市の文化的遺産でもある「若山牧水」、「短歌」に着目し、一貫したPR動画や観光ポスター等を活用しながら、国内からの誘客を図った。
○観光消費喚起事業「市内宿泊促進キャンペーン」
　市内クーポン配布対象施設28軒への宿泊者を対象に、3,000円分のクーポン券を10,000セット配布。
　宿泊代金（共通券のみ）、登録飲食店やタクシー、道の駅等で利用可。（利用登録店舗数 244）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
　日向ファン拡大プロモーション事業業務委託　34,980,000
　観光消費喚起事業「市内宿泊促進キャンペーン」業務　27,639,830

事業効果

コロナ禍のなか、近場の九州エリアからの「マイクロツーリズム層」、及びコロナ禍において需要が顕在化した「移住検討層」をメインターゲットに、さらに情報波及力の高い「若年層」にもアプローチし、インターネットを中心に話題の拡散が図られたことで、本市への誘客が促進された。
　また、市内宿泊促進キャンペーンにより、市内宿泊が喚起されたことで延べ8,292人の宿泊に繋がり、市内飲食店等においても2,400万円以上の経済効果があった。（感染拡大により事業開始が遅延、さらに事業終盤の再拡大により、配布を打ち切ったことから最終配布率は82%）

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 効果的な情報発信とプロモーション
小事業	11 [新型コロナ対策]観光誘客再起事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	794,200			
1104	広告料	1,973,400			
1202	工事施工を伴う委託料	1,976,700			
1206	その他の委託料	5,852,000			
1401	建設工事費	20,264,256			
1402	維持補修工事	6,402,935			
1857094	体験型観光コンテンツ造成事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,480,000	37,263,491	8,800,000	9,416,509

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	23,500,000	5,228,000	0	0	8,535,491
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、新しいニーズに対応した観光地域づくり推進事業費受入体制整備支援補助金				

目的

アフター・コロナ期の国内旅行需要の回復に向けた観光情報の発信等を行い、さらに観光誘客の再起を図るべく、馬ケ背展望所に「突き出し展望スペース」を設置することで、さらなる魅力を創出し、国内でも類をみないスリリングな絶景スポットとして、国内外へ向けて情報発信していく。

事業活動内容

○プロモーション等の成果品を活用した誘客看板を市内8カ所などに設置
○国内旅行需要回復に向けた観光情報を発信（国内の旅行雑誌掲載及びWeb広告等）
○観光Wi-Fi利用者の満足度を高めるためにログイン方式を変更、またお倉ケ浜海水浴場の既存エリア拡張を実施
○馬ケ背展望所へスケルトン突き出し展望スペースを設置。愛称を「スケルッチャ！」と命名。
○観光客受け入れのための観光施設整備及び維持補修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事施工を伴う委託料
　馬ヶ背展望施設改修実施設計等業務委託　1,976,700
○その他の委託料
　観光Wi-Fiログイン方式SNS認証対応システム更新業務委託　1,034,000
○建設工事費
　馬ヶ背展望施設改修工事　19,024,556
　お倉ヶ浜海水浴場ビーチハウス観光Wi-Fiエリア拡張工事　1,293,700
○維持補修工事費
　令和3年度市内観光施設トイレ洋式化等工事　1,826,000
　令和3年度お倉ケ浜ビーチハウスコイン式水販売機更新工事　1,342,000
　令和3年度美々津海岸遊歩道改修工事　2,134,000

事業効果

国内旅行需要の回復を見据え、プロモーションと連動した観光地への案内看板の設置のほか、既存観光地等の磨き上げや国内へ向けた情報発信、さらにその後のインバウンド受け入れのための環境整備等に取り組んだ。特に、日向サンパークの大型遊具施やドッグランの整備、また改修後の馬ケ背展望所においては、事業完了以降、観光入込客数も大幅に増加するなど、順調に推移している。今後も、ポストコロナ観光戦略の目標でもある一日も早い市内観光産業の再生に向けて、市内観光事業者等と連携を深めながら、さまざまな誘客事業等に取り組んでいく。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	17 [新型コロナ対策]日向サンパーク体育施設等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837020	指定管理者運営継続助成金	3,268,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,500,000	3,268,000	0	232,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,268,000
主な財源					

目的	日向サンパーク体育施設及びオートキャンプ場において、コロナ禍に伴い施設の利用料金収入等の影響を受けた指定管理者に対し、施設運営の継続を支援するための助成金を支給する。
事業活動内容	施設利用料金収入額の令和3年度（4月～3月）分について前年度比減少額を助成した。 〇指定管理者　（株）日向サンパーク
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	新型コロナウイルスの感染症対策のため、公共施設の利用停止期間が発生したことにより、施設運営に出た指定管理者に対し、助成金を支出することで、当該施設の経営状況の悪化を防止することができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	21 [新型コロナ対策]牧水公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837020	指定管理者運営継続助成金	1,743,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,500,000	1,743,000	0	1,757,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,743,000
主な財源					

目的	牧水公園交流施設において、コロナ禍に伴い施設の利用料金収入等の影響を受けた指定管理者に対し、施設運営の継続を支援するための助成金を支給する。
事業活動内容	施設利用料金収入額の令和3年度（4月～3月）分について前年度比減少額を助成した。 〇指定管理者　（株）東郷町ふるさと公社
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	新型コロナウイルスの感染症対策のため、公共施設の利用停止期間が発生したことにより、施設運営に出た指定管理者に対し、助成金を支出することで、当該施設の経営状況の悪化を防止することができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	22 [新型コロナ対策]日向サンパーク整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	108,743,669			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
110,000,000	108,743,669	0	1,256,331

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	90,000,000	0	0	0	18,743,669
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

3密を回避し、安心して心身をリフレッシュできる環境を整えるため、市民のニーズの高い子ども達の遊び場やドッグラン等の市民の憩いの場を整備する。

事業活動内容

日向サンパーク内のブーゲンビリアの丘において、大型複合遊具をはじめ、幼児用単体遊具や東屋、テーブル、ベンチ等を設置した。また、芝生広場横に低年齢対象の遊具やユニバーサル遊具、健康遊具等を設置した。

さらに、日向サンパークオートキャンプ場に併設して、ドッグラン（フリーエリアA＝800㎡、小型犬専用A＝400㎡）を整備した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

大型遊具等整備工事	99,550,000
ドッグラン整備工事	8,054,333
ブーゲンビリアの丘遊具改修工事	464,200
看板設置工事	350,900
区画線設置工事	324,236

事業効果

遊具施設やドッグランを整備したことで、ポストコロナ期における「新しい生活様式」に対応した子どもたちの遊び場や市民などの憩いの場を創出できた。 また、コロナ禍において、日向サンパーク周辺の施設にも波及し、誘客効果も高まった。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	25 [新型コロナ対策]石並川キャンプ場管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837020	指定管理者運営継続助成金	447,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
448,000	447,000	0	1,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	447,000
主な財源					

目的

牧水公園交流施設において、コロナ禍に伴い施設の利用料金収入等の影響を受けた指定管理者に対し、施設運営の継続を支援するための助成金を支給する。

事業活動内容

施設利用料金収入額の令和3年度（4月～3月）分について前年度比減少額を助成した。
○指定管理者　（株）文化コーポレーション

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

新型コロナウイルスの感染症対策のため、公共施設の利用停止期間が発生したことにより、施設運営に出た指定管理者に対し、助成金を支出することで、当該施設の経営状況の悪化を防止することができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	21 [新型コロナ対策]インドア花いっぱい応援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,097,600			
1206	その他の委託料	2,900,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	3,997,600	0	2,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,997,600
主な財源					

目的

新型コロナウイルスによって経済的影響を受けた市内花き生産者及び生花販売店を支援する。

事業活動内容

市内の花き農家が生産したオリエンタルユリの切り花を公共施設や介護施設に配送し、施設内に飾花してもらった。また、市内の生花販売店に依頼し、各種式典での展示及び飾花を実施した。
○入学式式典（市内18小中学校）
○成人式式典（式典会場、屋外ステージ）
○市役所市民ホール（6月）
○日向市駅構内（7月）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

入学式式典展示事業委託料	2,360,000
市民ホールディスプレイ事業委託料	130,000
日向市駅ディスプレイ事業委託料	130,000
成人式式典展示事業委託料	280,000

事業効果

式典や公共施設等に飾花や展示を行うことにより、新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少した花き生産者及び生花販売店の支援ができた。また、介護施設や小中学校から好評だった。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	22 [新型コロナ対策]県産農畜水産物応援消費推進事業(農畜産物)		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1009	賄材料費	9,584,560			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,585,000	9,584,560	0	440

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,584,000	0	0	560
主な財源	県産農畜水産物学校給食提供推進事業費補助金				

目的

新型コロナウイルスの影響を受けている畜産業を支援するとともに、地産地消の推進及び応援消費の拡大を図る。

事業活動内容

市内小中学校の学校給食の食材として宮崎牛を提供した。
○提供量　958.5kg
○提供期間　10月～1月に4回提供

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

宮崎牛を学校給食の食材を提供することで、畜産業の支援とともに、地産地消の推進やその後の消費拡大につなげることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	25 [新型コロナ対策]地元産農産物消費拡大支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1009	賄材料費	348,562			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
350,000	348,562	0	1,438

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	348,562
主な財源					

目的
新型コロナウイルスの影響で厳しい経営環境にある市内いちご生産者の支援及び地産地消を推進する。

事業活動内容
市内の許認可保育所（園）、幼稚園、認定こども園に市内で生産されたいちごを無償で提供する。
○いちご農家　3戸
○配布施設　27園（所）
○提供量　232kg

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
いちご生産者からいちごを買い取り、市内の保育所（園）等に市内産に提供することで、いちご生産者の経営を支援することができた。また、保育所（園）等からは好評を得ることができ、地産地消につなげることができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		
事業 大事業	19 水産業の振興		
事業 中事業	02 漁業の経営基盤強化		
事業 小事業	07 [新型コロナ対策]水産業各種資金利子補給事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865043	漁業経営緊急対策資金利子補給補助金	13,807			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,000	13,807	0	26,193

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	13,807
主な財源					

目的
コロナ禍により、経営が悪化した漁業者に対する短期制度資金が創設され、その資金利用に係る利子の助成を行うことで、経営再建に取り組む漁業者を支援する。

事業活動内容
九州信用漁業協同組合連合会により創設された漁業経営緊急対策貸付金を活用した3漁業者に対する利子の助成を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
コロナ禍により、経営が悪化した漁業者が利用した短期制度資金の利子を助成することで、経営再建と持続可能な経営体の育成が図られた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	04 ふるさと物産振興課 0002 物産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興
小事業	09 [新型コロナ対策]稼げる地場産品プロジェクト推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	9,100			
1001	消耗品費	50,629			
1101	通信運搬費	0			
1206	その他の委託料	5,494,500			
1301	使用料及び賃借料	7,360			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,000,000	5,561,589	0	438,411

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,800,000	0	0	0	761,589
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

本市で生産されている地場産品の稼げる仕組みとして、ふるさと納税の寄附額向上を目指した現状分析や業績向上の分析を行う。また、本市独自の稼げる地場産品振興策を検討する。

事業活動内容

「地域ぐるみ6次化の視点から考える地場産品振興策」の検討を「地域プラットフォーム会議」、「庁内プロジェクトチーム会議」で検討した。
○地域プラットフォーム会議の開催　5回
○庁内プロジェクトチーム会議の開催　5回
○ふるさと納税の現状分析、外部環境分析、業績向上の手法検討

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
稼げる地場産品プロジェクト推進事業業務委託　5,494,500

事業効果

コロナ禍により疲弊した地域経済の活性化に向けた、稼げる仕組みとして、官民を繋ぐ地域商社を設立し、ふるさと納税の一括代行事務業務を受託させるとともに、民間の力を活用し寄附額向上を図ることは、市内事業者の返礼品売上の増加につながり、域内経済循環の面からも、本市における「地域ぐるみ6次化」を進めるうえでも有益であるとの方向性が示された。本市に適した地域商社の設立に向けて継続して協議を重ねている。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	35 美しい景観の保全と形成
中事業	02 緑花あふれる美しい風景づくり
小事業	05 [新型コロナ対策]心身のリフレッシュを図る公園環境整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	10,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,000,000	10,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	8,000,000	0	0	0	2,000,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍のなか、安心して快適に利用できる公園環境の整備を図り、心身のリフレッシュの場としての利用促進を図る。

事業活動内容

公園施設等の環境整備及び遊歩道の改修を行った。
○環境整備　1公園
○景観改善　1箇所
○遊歩道改修　2箇所
○トイレ改修　1箇所

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
庄手川水辺公園環境整備工事　4,495,551
日向サンパーク景観改善工事　2,530,785
平岩探勝遊歩道改修工事　1,392,864
権現崎遊歩道舗装改修工事　1,173,800
美々津駅前広場トイレ改修工事　407,000

事業効果

コロナ禍により社会活動が制限を受けるなか、心身のリフレッシュの場としての利用促進を図るため、公園施設の環境整備や遊歩道の改修を行い、安心して快適に利用できる公園環境を創出することができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	11 [新型コロナ対策]救急体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	999,592			
1702	機械器具費（事業執行用）	3,373,656			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,590,000	4,373,248	3,190,280	26,472

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,500,000	0	0	0	873,248
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
感染防止に必要な消耗品や資器材を整備し、救急隊員や傷病者等の感染予防を徹底することで、コロナ禍においても安心して救急業務が継続できる体制を構築する。

事業活動内容
○感染拡大に備えて、感染防止対策の強化として感染防止用品の整備を行った。
消毒液4種類、清拭用品3種類、感染防止衣175枚、酸素マスク58箱、N95マスク6箱
グローブ110箱、心電図電極450袋、シューカバー70袋、防水シーツ100枚、非接触式体温計4台

○搬送時における感染リスクの低減に必要な資器材の整備を行った。
感染症患者隔離搬送用資器材（アイソレーター他）4台 （本署3台、南分遣所1台）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
コロナ禍の中、感染防止用品や感染拡大防止資器材を整備することで、安心して救急業務を継続することが出来た。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	08 [新型コロナ対策]文字通訳システム導入事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	803,000			
1301	使用料及び賃借料	371,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,175,000	1,174,800	0	200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,000,000	0	0	0	174,800
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
コロナ禍の中、議場内スクリーンだけでなく、インターネットでの議会中継・配信の際、発言内容を文字で表示し、全ての市民がわかりやすく議会を傍聴（視聴）できるための環境を整備することにより、開かれた議会づくりと市民の議会への理解と関心を高める。

事業活動内容
文字通訳アプリを導入し、議場内及びインターネットで文字情報を表示・発信するための設備機器のシステム改修を行うとともに、同システムを使用するために必要となる接続用機材等を整備した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
文字通訳システム導入業務委託　803,000

事業効果
映像に文字を加えた形で議会のインターネット中継・配信を行うことで、コロナ禍の中、傍聴に来られない方への対応など、自宅でわかりやすく議会視聴が可能となるための環境整備を行うことができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	42 [新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(小学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	295,740			
0301	職員手当	75,414			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	53,150			
0801	費用弁償	5,000			
1202	工事施工を伴う委託料	0			
1208	コンピューター・システム導入委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,136,000	429,304	18,596,000	110,696

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	415,000	0	0	0	14,304
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、公立学校情報機器整備費補助金				

目的	GIGAスクール構想の実現に向け導入したタブレット端末の管理業務を行うため、GIGAスクールサポーターを配置し、学校でのICT機器の活用を推進する。
事業活動内容	GIGAスクールサポーターの配置　1名　（同事業中学校と兼務）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	GIGAスクールサポーターの配置により、タブレット端末の不具合時の状況確認や代替え機の交付などを速やかに行うことで、児童の学習意欲や学習機会を継続して保つことができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	43 [新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(中学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	295,740			
0301	職員手当	75,413			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	53,145			
0801	費用弁償	5,000			
1208	コンピューター・システム導入委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,893,000	429,298	12,353,000	110,702

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	414,000	0	0	0	15,298
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、公立学校情報機器整備費補助金				

目的	GIGAスクール構想の実現に向け導入したタブレット端末の管理業務を行うため、GIGAスクールサポーターを配置し、学校でのICT機器の活用を推進する。
事業活動内容	GIGAスクールサポーターの配置　1名　（同事業小学校と兼務）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	GIGAスクールサポーターの配置により、タブレット端末の不具合時の状況確認や代替え機の交付などを速やかに行うことで、生徒の学習意欲や学習機会を継続して保つことができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	50 [新型コロナ対策]小学校施設　管理運営費[学事係]		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,680,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,680,000	4,680,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,140,000	0	0	0	540,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校保健特別対策事業費補助金（小学校）				

目的	感染症対策を徹底しながら、児童の学びの保障をするための取組に必要となる物品等を整備し、学校教育活動の円滑な運営を支援する。
事業活動内容	学校における感染症対策等支援　（消毒液、使い捨て手袋等の購入）や子どもたちの学習保障支援（コピー用紙、印刷機用トナー等の購入）を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	国の「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」を活用し、感染症対策を行うなど、安心して学べる環境づくりに取り組んだ。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	51 [新型コロナ対策]中学校施設　管理運営費[学事係]		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,720,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,720,000	1,720,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,560,000	0	0	0	160,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校保健特別対策事業費補助金（中学校）				

目的	感染症対策を徹底しながら、生徒の学びの保障をするための取組に必要となる物品等を整備し、学校教育活動の円滑な運営を支援する。
事業活動内容	学校における感染症対策等支援　（消毒液、使い捨て手袋等の購入）や子どもたちの学習保障支援（コピー用紙、印刷機用トナー等の購入）を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	国の「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」を活用し、感染症対策を行うなど、安心して学べる環境づくりに取り組んだ。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		

事業	
大事業	05 図書館サービスの充実
中事業	01 図書館機能の充実
小事業	04 [新型コロナ対策]図書館サービス・資料の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	228,470			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	3,314,027			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,038,290	3,542,497	0	495,793

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,100,000	0	0	0	442,497
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

図書を購入し、放課後子ども教室等に団体貸出を行うなど、図書館に来館せずとも読書活動が継続できる読書環境を整備する。

事業活動内容

放課後子ども教室、児童クラブ、学校団体貸出用に図書を購入した。
○図書購入冊数　2,077冊

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
新規購入図書マーク作成業務　228,470

事業効果

古い図書が多かった学校団体貸出用の図書を買い換え、充実させることができた。また、児童クラブや放課後子ども教室に団体貸出を行うことで、これまで図書館に来館しなければならなかった子どもたちが、感染リスクへの不安なく読書活動を行うことができた。

3 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	12 スポーツ・文化振興課 0002 若山牧水・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	04 文化交流センター管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	47 [新型コロナ対策]日向市文化交流センター施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1840040	指定管理者運営継続助成金	4,482,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,600,000	4,482,000	0	2,118,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,482,000
主な財源					

目的

コロナ禍に伴い、料金収入等の影響を受けた指定管理者に対する施設運営支援を行う。

事業活動内容

○指定管理者　（公財）日向文化振興事業団
○助成額　「日向市指定管理者経営継続助成金交付要綱」に基づき、コロナ禍により影響を受けた令和3年度の収入減少額を助成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍で自主事業や施設の利用が大きく減少したことにより、指定管理者の収入が大幅に減少したが、上記助成を行ったことにより、安定した施設運営に寄与することができた。

3 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	13 生涯学習課 0001 生涯学習係

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	07 [新型コロナ対策]成人式に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	1,196,600			
1101	通信運搬費	320,650			
1103	手数料	347,422			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,664,000	1,864,672	0	799,328

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	そ の 他	一般財源
	1,500,000	0	0	0	364,672
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型コロナウイルスの影響により中止とした令和3年成人式の対象者に地場産品が掲載されたカタログを送り、商品を選んでもらうことで、成人式のお祝いに代えるとともに、地場産品の周知を図ることで本市の魅力を伝える。あわせてコロナ禍により打撃を受けている地元業者の経済支援につなげる。

事業活動内容

○対象者
平成12年（2000年）4月2日から平成13年（2001年）4月1日までに生まれた者で、次に該当する者
① 令和2年（2020年）12月1日時点で市内に住民票がある者
② 進学や就職で市外に転出しているが、保護者の住民票が市内にある者

○贈呈品発送件数　402件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

周知方法として対象者にカタログ等を送付するとともに、報道機関や市のホームページでの情報提供、成人式実行委員を通じて、SNS等を利用しての情報発信を行った。カタログ等の案内発送件数は443件であり、最終的に市内在住者と市外在住者を合わせて、402名に贈呈品を送ることができた。
あわせて、記念品料として1,196,600円の贈呈品を調達することとなり、地元業者の支援にもつなげることができた。

特別会計・企業会計

3 年度　　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	16　建設部	所管課	05　建築住宅課
会計名	公営住宅事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
342,790,000	336,178,643	0	6,611,357

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	42,977,000	0	47,800,000	9,371,550	236,030,093
	主な財源	社会資本整備総合交付金（県地域住宅計画）ほか			

目的

「日向市公営住宅長寿命化計画」に基づいた市営住宅の整備を行い、これを低廉な家賃で賃借することにより、市民の健康で文化的な生活の安定に寄与する。
また、指定管理者に委託することにより、高齢者の見守り、早期の修繕対応及び収納率の向上など、効果的かつ安心・安全な管理運営を行う。

事業活動内容

【市営住宅の現状】
29団地、1,326戸

＜主な事業＞
○市営住宅管理運営費　98,937,970円
・指定管理者委託料　68,370,170円
・維持補修工事　9,267,807円

○高齢者住宅住戸改善事業　7,775,500円
大王谷住宅1階部分の住戸について、室内のバリアフリー及び設備改修を行った。

○財光寺北住宅ストック総合改善事業　62,478,155円
昭和58年度建設の鉄筋コンクリート造5階建て3号棟20戸について、外壁、塗装及び設備改修を行った。

○小松崎住宅ストック総合改善事業　2,947,000円
昭和59年度建設の鉄筋コンクリート造4階建て16戸について、外壁、塗装及び設備改修を行うための設計委託を行った。

○大原住宅ストック総合改善事業　28,875,000円
昭和49年度建設の鉄筋コンクリート造5階建て1号棟20戸について、バルコニーの手すり改修を行った。
昭和50年度建設の鉄筋コンクリート造5階建て2号棟20戸について、バルコニーの手すり改修を行った。

○後無田住宅ストック総合改善事業　3,334,200円
昭和62年度建設の鉄筋コンクリート造3階建て1号棟6戸、2号棟6戸、3号棟6戸について、外壁、塗装及び設備改修を行うための設計委託を行った。

○借入金元金の返済に要する経費　111,147,472円
公営住宅建設や改良整備に伴って借入れた市債の元金の返済

○借入金利子の返済に要する経費　6,736,976円
公営住宅建設や改良整備に伴って借入れた市債の元金に係る利子の返済

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
住宅困窮者のセーフティーネットとして、居住の安定を確保するとともに、高齢者の見守りや、すみやかな修繕対応など、居住者の利便性の向上に努めたことにより、現年分の家賃収納率98.6%と高い水準を確保しつつ、適正な市営住宅の管理を行うことができた。また、老朽化した住宅の改善や高齢者向け住宅改修などに取り組み、安全・安心な市営住宅ストックに向け改善を行うことができた。

【課題・改善点】
住宅困窮者の受け皿として、市営住宅入居への応募倍率は高く、市民のニーズは高い。一方で、修繕費の不足により、募集住宅の戸数の増加は困難であり、空き家が急増し、共益費負担などの課題が生じている。
市営住宅の整備については、「日向市公営住宅長寿命化計画」に基づき、ストック総合改善事業及び高齢者住宅住戸改善事業を推進しているが、1,326戸の市営住宅ストックを円滑に更新するために、建物の定期点検結果から現状を把握した上で適切な改修及び修繕を実施する予防保全の取組が重要となる。
今後は、施設の中長期的な維持管理の観点から「日向市公共施設等総合管理計画」との整合性を図るとともに、令和3年3月に策定した「日向市公営住宅中長期整備計画」に基づき、効率的な市営住宅の管理運営に取り組む必要がある。

3 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課
会計名	財光寺南土地区画整理事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,920,955	56,781,771	298,575	840,609

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	56,781,771	0
	主な財源	土地売払収入			

目的

本地区は、宮崎県北地方拠点都市地域において「財光寺居住拠点地区」として位置づけられているため、本市の発展の一翼を担う地区として、公共施設の体系的な整備改善を行う。
あわせて、民有空間との一体的な景観形成等の取組により、安全・安心で自然と共生する快適な住環境の形成を図る。

事業活動内容

〈主な事業内容〉

○会計年度任用職員の雇用（1名）　C＝2,006,211円

○委託料（施設維持管理等）　C＝4,771,962円
・事業管理地の除草
・浄化槽清掃保守点検（仮設住宅　7棟・財光寺南まちづくり事務所）
・財光寺南まちづくり事務所警備委託
・測量調査等業務委託料
・嘱託登記委託料（相続）　等

○建設工事費　C＝4,254,336円
・仮舗装、防塵処理、不陸整正　等（A=1,274㎡）
・仮排水対策　1式

○負担金、補助金及び交付金　C＝13,972,500円
・上水道新設負担金（L＝586m）

○補償金　C＝897,855円
・電柱移転、工作物等補償　1式

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
建物移転計画に基づいた移転先の宅地造成を実施できたことで、要移転対象物件のスムーズな移転が可能となった。

【課題・改善点】
事業が長期化しているため、令和5年度末の建物移転完了を目標に事業を継続する。

3 年度　　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	18　市民環境部	所管課	03　市民課

会計名	城山墓園事業特別会計

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,947,000	5,729,518	0	217,482

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,692,370	2,037,148
	主な財源	墓園使用料			

目的

市営城山墓園の適切な維持管理に努めるとともに、市民の需要を踏まえながら、墓地等の安定供給と利便性の向上を図る。

事業活動内容

◎主な事業内容

○城山墓園管理運営費
- ・ごみの収集・トイレ清掃業務委託　1,716,000円
- ・除草・樹木剪定業務委託　2,499,200円

○城山墓園水道光熱費等
- ・浄化槽法定検査手数料　3,800円
- ・水道料及び電気料　310,946円
- ・火災保険料　2,370円

○敷地内設備の修繕　88,000円

○区画返還時の使用料の還付　659,500円

○承継案内等郵便料　90,000円

○墓地の在り方検討委員会に係る経費
- ・出会謝金、費用弁償　76,221円

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】

城山墓園内のごみ収集やトイレ清掃、除草、樹木の剪定など、適切な維持管理を行った。また、今後の市営墓地の在り方について、その方向性を検討するため、令和3年10月に市民公募者や関係機関等で構成する「日向市営墓地の在り方検討委員会」を設置し、令和4年度にかけて協議を行うこととしている。

【課題・改善点】

少子高齢化や核家族化など社会状況の変化から、墓地に対する意識の変化、埋葬形態の多様化などが見られ、年々新規貸出数が減少し、それに対して返還数は増加傾向にある。今後もこの傾向が続くことが予想されることから、市民のニーズを踏まえ、将来にわたり安定的な墓地の供給、持続可能な管理運営を行っていく必要がある。

3 年度　　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52　上下水道局	所管課	01　水道課
会計名	簡易給水施設特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,600,000	2,018,223	0	581,777

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	353,023	1,665,200
	主な財源	水道料金、手数料			

目的

美々津丸山地区住民に清浄で衛生的な飲料水の供給を行うため、丸山地区簡易給水施設の維持管理を行う。また、民営共同管理水道施設における衛生的な水道水の安定供給を支援する。

事業活動内容

○丸山地区簡易給水施設管理運営費
美々津丸山地区簡易給水施設の維持管理を行った。
給水戸数　9戸
給水人口　19人

浄水、配水施設の維持管理経費　(1,957,906円)
・維持管理委託料　1,262,000円
・滅菌装置修繕料　379,500円
・水質検査手数料　316,406円

○共同管理水道施設改修等補助事業
共同管理水道施設改修等補助金　0件　0円

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
丸山浄水場について、老朽化した塩素滅菌装置の修繕や適切な維持管理を行うことにより清浄で衛生的な飲料水の供給を行うことができた。

【課題・改善点】
丸山地区簡易給水施設は、地理的な要因や区域内人口等の条件により水道事業や簡易水道事業の施設に比べて小規模な施設ではあるが、計画的な施設の修繕や更新を実施し、安全・安心な飲料水の供給を継続する必要がある。
また、民営で共同管理している飲料水供給施設等についても、地区住民の人口減少や高齢化、並びに施設老朽化が予想されるため適切な施設運営が行えるよう必要に応じて施設改修等補助金を交付し、衛生的な飲料水の安定供給を支援する必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課

会計名	国民健康保険事業特別会計

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,188,313,500	6,961,775,216	0	226,538,284

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,773,000	5,212,984,600	0	13,212,252	1,733,805,364
	主な財源	保険給付費等交付金、災害臨時特例補助金 ほか			

目的

国民健康保険被保険者の病気、けが、出産及び死亡などに対して必要な保険給付を行うとともに、健康づくりや疾病予防を推進するための保健事業等を実施し、市民生活の安定を図る。

事業活動内容

◎国民健康保険の状況

○国民健康保険世帯数　（年間平均）　8,915世帯

○国民健康保険の被保険者数　（年間平均）　13,386人

［内訳］一般被保険者　13,386人　退職被保険者　0人

○世帯数・被保険者数と医療費（費用額）

区　分		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)
人口		61,317	△ 0.89	60,815	△ 0.82	60,117	△ 1.15
国保被保険者数	一　般	14,110	△ 3.16	13,621	△ 3.47	13,386	△ 1.73
	退　職	20	△ 81.98	0	皆減	0	－
	計	14,130	△ 3.75	13,621	△ 3.60	13,386	△ 1.73
国保世帯数		9,175	△ 2.45	8,968	△ 2.26	8,915	△ 0.59
医療費（費用額）（千円）	一　般	5,921,085	△ 0.21	5,642,272	△ 4.71	5,766,498	2.20
	退　職	12,802	△ 73.97	0	皆減	0	－
	計	5,933,887	△ 0.82	5,642,272	△ 4.91	5,766,498	2.20
一人当たり医療費（費用額）（円）	一　般	419,637	3.04	414,233	△ 1.29	430,786	4.00
	退　職	640,079	44.49	0	皆減	0	－
	合計平均	419,950	3.05	414,233	△ 1.36	430,786	4.00

※医療費（費用額）については、令和3年度から3月−2月の数値を引用

◎医療費適正化対策　14,959千円

国民健康保険制度についての広報活動、適正受診についての訪問指導や啓発活動、レセプト内容点検等を実施し、医療費適正化の推進に努めた。

○多受診・重複受診者訪問指導　104件、○重複服薬訪問指導　1件

○レセプト内容点検状況

再審査件数		減点された額
請求　1,943件	決定　994件	2,039,192円
財政効果件数	財政効果額	一人当たりの額
1,986件	20,044,864円	1,497円

事業活動内容

○特別調整交付金（結核・精神該当レセプト）　11,244件、交付金決定額：101,473千円

○国保・後期高齢者医療出前講座 1回（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催自粛）

◎保険税徴収状況（還付未済額を含む）

区分			年度	令和3年度					
				医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護給付費分	
				数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)
一般状況	被保険者世帯数（平均）A			8,897世帯	△ 0.8	8,897世帯	△ 0.8	3,466世帯	△ 3.4
	被保険者数（平均）　B			13,339人	△ 1.9	13,339人	△ 1.9	3,977人	△ 3.9
徴収状況	現年分	調定額　C		799,931千円	△ 1.7	281,585千円	△ 1.8	107,651千円	△ 3.9
		収入額		765,046千円	△ 1.0	269,308千円	△ 1.1	100,831千円	△ 3.4
		収納率		95.6%	0.7	95.6%	0.7	93.7%	0.5
	滞納繰越分	調定額		200,261千円	△ 12.9	69,727千円	△ 12.1	41,807千円	△ 11.7
		収入額		40,914千円	△ 15.9	14,243千円	△ 13.6	8,904千円	△ 2.1
		収納率		20.4%	△ 3.6	20.4%	△ 1.8	21.3%	10.9
	計	調定額		1,000,192千円	△ 4.1	351,312千円	△ 4.0	149,458千円	△ 6.2
		収入額		805,960千円	△ 1.9	283,551千円	△ 1.8	109,735千円	△ 3.3
		収納率		80.6%	2.4	80.7%	2.3	73.4%	3.1
1世帯当たりの保険税調定額（現年）C/A				89,910円	△ 0.9	31,649円	△ 1.0	31,059円	△ 0.5
1人当たりの保険税調定額（現年）C/B				59,969円	0.3	21,110円	0.2	27,068円	0.0

賦課状況		所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
	医療給付費分	8.60%	11.00%	21,600円	21,600円
	後期高齢者支援金分	3.10%	5.00%	7,500円	7,400円
	介護納付金分	2.90%	6.20%	8,900円	7,200円

◎保健対策

○はり・きゅう・マッサージ施術料補助　4,415千円（利用者2,035人）

◎保健事業

1　国保保健指導事業

（1）国保一般事業　359千円

○健康まつり事業（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

○高電位治療器の保守点検

（2）国保保健指導事業（歯科）　1,112千円

○健康教育　0回　（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

○乳幼児ブラッシング指導　47回（参加者982人）

○フッ素洗口　21園（実施児695人）

（3）国保必須事業　4,245千円

○特定健診未受診者対策

・個別訪問、電話やはがきでの受診勧奨及び啓発活動

・特定健診受診率向上事業支援業務（レセプト及び特定健診結果を用いて、現在通院中の者の中から特定健診と同等の検査を受けた者を抽出し、情報提供を依頼。　733人

○生活習慣病の1次予防に重点を置いた早期介入保健指導事業

・個別栄養相談（参加者455人）

・血糖値二次精密検査の対象者について個別訪問による検査説明を実施

事業活動内容	2　保健福祉総合施設管理費　10,859千円 東郷地区住民への総合的な保健福祉サービス提供の場として利用 3　特定健診・特定保健指導事業　37,318千円 (1) 特定健康診査（生活習慣病の発症予防） ○対象者　国保被保険者（40歳～74歳） ○受診率　33.0%＜R4年6月速報値＞ (2) 特定保健指導（生活習慣改善の支援） ○対象者　特定健康診査結果に基づくメタボリックシンドローム該当者及び予備群とされた者 ○保健指導率　20.9%＜R4年6月速報値＞

成果及び改善点等	【成果】 ジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診、重複服薬の適正化、レセプト点検の強化などを推進することにより医療費抑制に努めたが、一人当たりの医療費は、コロナ禍での外出自粛・受診控えにより大幅に減少した昨年度よりも増加した。 保険税は、滞納対策に取り組んだ結果、現年度の収納率が向上した。 保健事業では、未受診対策として、レセプトデータ及び特定健診結果を用いて、通院中の方へ情報提供の依頼を行った。また、メタボリックシンドローム該当者・予備群を対象に特定保健指導を実施した。フッ素洗口実施園を2園増やし、ブラッシング指導でう蝕（虫歯）予防に努めた。 【課題・改善点】 一人当たりの医療費については、今後も高齢化や医療技術の高度化等の背景から増加が続くことが見込まれることから、医療費適正化対策への取組を継続して行わなければならない。 保険税については、歳入の確保のため滞納者との接触機会をできるだけ多く設け、きめ細かな納税相談を行いながら適正な滞納処分に取り組み、全体として収納率を上げることができた。しかし、収納率は他自治体と比較すると依然として低く、今後も更なる取組が求められる。 保健事業では、特定健診は40歳～50歳代の受診率が低い。若い世代の関心を上げるために訪問や健康教育等で周知・啓発に努めていく。特定保健指導においては、対象者に行動変容を促すことができるよう健診結果に応じた保健指導に取り組む。また、歯科指導ではコロナ禍における感染拡大防止のため、フッ素洗口を実施しなかった園もあった。フッ素洗口については園だけでなく保護者の意向もあるが、う蝕（虫歯）予防の啓発とあわせ、引き続きフッ素洗口を実施し、幼児のう蝕（虫歯）予防に努める。	今後の方向性　維持

3 年度　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	03 東郷診療所

会計名	国民健康保険東郷診療所特別会計

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
248,800,000	239,205,340	0	9,594,660

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,235,000	3,300,000	717,079	229,953,261
	主な財源	やすらぎ館電気料金負担金、医師住宅使用料			

目的

公立医療機関、また、国民健康保険診療施設として、医療サービスの提供や訪問看護事業等を行うとともに地域住民の健康の保持増進を図る。

事業活動内容

令和3年4月1日から無床診療所に移行し、医療（内科・整形外科・リハビリテーション科）の提供や訪問看護事業、検診（健診）事業を行った。
訪問看護については、令和3年10月1日から24時間体制とした。
また、新診療所整備に向けて「日向市立東郷診療所整備基本計画」の策定（令和3年6月）や、新診療所の基本設計（令和4年3月）を実施した。

○総務費　186,327千円
　施設管理費　186,327千円
　　・一般管理費　186,327千円
　　診療所全体の運営に係る人件費、事務費等
○医業費　40,080千円
　医業費　40,080千円
　　・医業費　40,080千円
　　診療等に必要な経費や医療機器等の管理費
　　及び訪問看護事業に係る人件費、事務費等
○施設整備費　12,798千円
　施設整備費　12,798千円
　　・施設整備費　12,798千円
　　新診療所建設に係る経費

○診療日数
　242日

○患者数
　内科　6,490人（1日あたり　26.8人）
　整形外科　7,304人（1日あたり　30.2人）
　リハビリテーション科　1,207人（1日あたり　5.0人）

○訪問看護件数（訪問件数）
　672件

成果及び改善点等

今後の方向性：拡充

【成果】
患者数は令和2年度より増加したものの、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種者を除くとほぼ横ばいであったが、検査体制の充実により、患者一人当たりの収益は増加した。
訪問看護は24時間体制としたことにより看取りにも対応できるようになり、患者が住み慣れた自宅で安心して療養できる環境を提供することができた。
日向市立東郷診療所整備基本計画の策定や、基本設計を実施し、令和6年度の新診療所開所に向けて、着実に整備事業を進めることができた。

【課題・改善点】
東郷地域における公立医療機関として、地域住民の期待は大きく、持続可能な医療提供体制を維持し、地域のかかりつけ医療機関としての役割を果たすために、医師の安定確保に取り組むとともに、新診療所建設と併せて設備の整備も着実の進めていく必要がある。
収支としては、患者一人当たりの収益が増加し、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に係る接種料や県からの協力金などもあったが、一般会計からの繰入金が収入の大半を占めている状況である。
今後予定しているCT等の導入により診療報酬の増加が見込まれる。また、診療費に加算できる施設基準等の取得について検討を行うとともに、令和3年度はコロナ禍により実施できなかった健康教室等を開催し、患者数増加に取り組むなど、より一層の経営改善に努めることが必要である。

3 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 高齢者あんしん課
会計名	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,762,753,000	5,445,156,080	0	317,596,920

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,396,542,576	782,672,803	0	1,354,074,938	1,911,865,763
	主な財源	介護給付費負担金(国･県)、地域支援事業交付金(国･県)、支払基金交付金ほか			

目的

介護保険事業に係る保険給付を円滑に実施し、高齢者の保健福祉の増進を図ることを目的とする。
令和3年度は、第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）に基づき介護保険事業を行う。

事業活動内容

介護保険法に基づき保険者（市）が地域の実情を踏まえて策定する介護保険事業計画に沿って、高齢者が要介護度に応じて選択する様々な介護サービスの給付及び地域支援事業を行った。
令和3年度の主な取組として、自立支援型地域ケア会議の充実、地域包括支援センターの機能強化、生活支援・介護予防の充実、医療・介護の連携の推進、認知症施策の推進、介護給付適正化事業の継続的な実施を図った。また、新規事業として、「介護人材育成支援事業」及び「認知症グループホーム入居者に対する家賃等助成事業」の創設に取り組んだ。

＜基本情報＞
○第1号被保険者数（令和3年度末）：19,671人
○認定者数（第1号被保険者　令和3年度末）
　要支援1：　180人　　要支援2：　252人
　要介護1：　490人　　要介護2：　478人
　要介護3：　349人　　要介護4：　477人　　要介護5：　277人

＜主な事業費＞
○介護給付費（介護サービス利用の給付事業費等）
　4,880,608,432円　（ 33,250,674円減）
○地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業）
　313,417,467円　（　7,925,357円減）
○保健福祉事業費（介護人材育成支援事業）
　1,944,000円　（　1,944,000円増）
○事務費（介護保険事業に係る事務費）
　131,021,419円　（　487,432円増）

＜介護認定率＞
目標　13.40%　（前年度　14.10%）　実績　12.72%　（前年度　12.70%）

事業活動内容

＜主な基本施策の取組内容＞
○自立支援型地域ケア会議の充実
　・自立支援型地域ケア会議（地域ケア個別会議）の開催（34回/年）
　・介護サービス事業所を対象とした研修会の開催（3回/年）
○地域包括支援センターの機能強化
　・地域包括支援センター等を対象とした研修会（認知症、ケアプラン）の開催（2回/年）
○生活支援・介護予防の充実
　・介護予防教室自主活動（いきいき百歳体操）実施地区（83か所）
○医療・介護の連携の推進
　・医療・介護連携専門部会の開催（2回/年）
○認知症施策の推進
　・認知症地域支援体制推進会議の開催（3回/年）
○給付適正化
　・要介護認定の適正化（認定調査員を対象とした研修会等の開催　13回/年）
　・住宅改修等の点検
　　（事前審査件数・実施率：住宅改修　215件・100%、福祉用具購入　218件・100%）

＜新規事業の取組＞
○介護人材育成支援事業
　　補助金交付額　1,944,000円　（2事業所）
○認知症グループホーム入居者に対する家賃等助成事業
　　助成額　149,500円　（6事業所、11人）

＜介護保険料収納率＞
○現年度分　　99.24%
○滞納繰越分　　33.80%

成果及び改善点等

【成果】　　今後の方向性　維持

介護サービス利用に係る介護給付費については、計画値の5,123,057,055円に対し、決算額は4,876,127,582円となり、介護給付費の減少につながった。これは、介護予防の取組強化の成果に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い通所介護サービス等の利用者数の減少も影響していると考えられる。
また、新規事業において、介護人材育成支援事業が2事業所で活用され、介護人材不足の解消に向けた一歩となった。

【課題・改善点】
高齢化の進展に伴い、介護給付費の増加、介護人材不足等の問題が一層拡大していくと予想され、団塊の世代が75歳以上となる令和7年度（2025年度）を見据え、介護サービスの充実や質の向上が求められている。
また、新型コロナウイルス感染症の影響による外出頻度の減少によるフレイルの進行が懸念されることから、関係機関と連携したセルフケアによる予防の啓発、一般介護予防事業の充実が求められている。
今後は、持続可能な介護保険制度の円滑な運営を目指して、「第8期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域支援事業における生活圏域の実情に合ったサービスの創設、介護給付の適正化による適切な介護サービスの提供及び費用の効率化の推進に取り組む。

3 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	24 健康長寿部	所管課	02 高齢者あんしん課

会計名	日向入郷地域介護認定審査事業特別会計

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,300,000	35,791,091	0	3,508,909

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	19,321,841	16,469,250
	主な財源	認定審査会共同設置負担金(2町2村)			

目的

日向入郷地域の1市2町2村（日向・門川・美郷・諸塚・椎葉）で設置した介護認定審査会の運営を、遅滞なく円滑に行う。

事業活動内容

介護認定審査会の運営を円滑に行うため、審査会を構成する日向市以外の町村が、日向市へ派遣職員を配置し、審査会を運営するために必要な事務を行う。
【派遣職員：諸塚村（令和2年～3年度）】

<主な事業>
○介護認定審査会共同設置事業　35,791,091円
（内訳）
・報酬等（認定審査会委員・会計年度任用職員）　14,733,428円
・委託料（システム保守管理・開発委託料）　4,627,590円
・使用料及び貸借料（システム貸借料）　6,840,240円
・負担金（派遣職員給与等）　8,894,258円
・事務費（消耗品・光熱水費・通信運搬費等）　695,575円

○令和3年度　介護認定審査会の開催状況
審査会開催回数　119回（前年比　5回減）
審査件数　3,481件（前年比　12件増）
1回あたりの審査会における審査件数の平均　29.2件（前年比　1.3件増）
不服申し立て件数　0件（前年比　同　）

○担当者会、研修会の実施状況
・介護認定調査員研修会の開催（日向保健所）
【内容】「認定調査に必要な認知症研修」
講　師：協和病院認知症疾患医療センター長　二宮嘉正氏
参加者：日向入郷管内所属介護認定調査員等【オンライン参加】
（日向市参加者　調査員　7名、審査会職員　3名、市職員　3名）

成果及び改善点等

今後の方向性：維持

【成果】
介護を必要とする高齢者に介護認定を行い、適切な介護サービスを提供することができた。認定審査会を1市2町2村の日向入郷地域で共同設置しているため、効率よく事務を行うことができている。
令和2年度に比べ1回あたりの平均審査件数が増加したため、審査件数は多くなっているものの、審査会の回数は減少し、より効率的に運営することができた。
また、コロナ禍に対応するためWebexを活用した審査会を本格的に稼働した1年で、審査員36名のうち約8割弱がWEBを活用した審査を行っており、審査会資料の配布や連絡調整なども対面することなく運営することができた。

【課題・改善点】
審査委員・認定調査員ともに人の入替えがあるため、常に同じ基準での審査や調査ができるよう研修等を通じて、平準化していくことが必要となっている。
しかし、審査委員は日中にそれぞれの仕事を抱え、特に医師は新型コロナウイルス感染症への対応などで日中の研修時間の確保ができず、研修会を開催すること自体が難しいことが課題となっている。

3 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課

会計名	後期高齢者医療事業特別会計

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
805,296,000	777,354,599	0	27,941,401

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	17,524,591	759,830,008
	主な財源	後期高齢者医療広域連合受託事業収入(健康診査業務)			

目的

75歳以上の者(65歳以上の寝たきり等の障がい者で認定を受けた者を含む）を対象に、その疾病や負傷等に対する医療の給付、保険料の徴収、健康づくり事業などを行い、市民生活の安定を図る。

事業活動内容

◎後期高齢者医療広域連合納付金 728,202千円
［内訳]保険料負担金　505,224千円、　保険基盤安定負担金　222,978千円

◎保険料収納率
（現年度分）99.44%　（滞納繰越分）43.21%

◎広報活動
〇75歳到達者説明会 0回、出前講座 0回
（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
〇広報ひゅうが掲載 1回（保険証の更新について）

◎健康診査 17,524千円
〇受診率　24.91%　（受診者数　1,817人）

◎健康指導対象者等訪問指導事業、重複・頻回受診者訪問指導事業
〇訪問回数 116回

〔令和3年4月1日現在〕
後期高齢者医療被保険者数　　9,431人　（市人口　60,241人）

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
後期高齢者健康診査未受診者には、はがきを送付し受診勧奨を行うとともに、健診結果により医療機関受診が必要な人については、訪問や電話による受診勧奨を行うことにより早期発見及び早期治療に取り組むことが出来た。また、健診受診率も1.22ポイント増加した。
保険料については、滞納者に対して催告やきめ細やかな納税相談を行い、現年度分収納率で0.29ポイントの増、滞納繰越分収納率で19.22ポイントの増となった。

【課題・改善点】
高齢者の医療費については、医療技術の高度化、薬剤の高額化、被保険者の増加に伴って増加しているため、医療機関への受診が重複・頻回傾向にある方や、重複服薬、健康指導対象者には個別訪問指導を行っている。コロナ禍のため感染拡大予防に十分に気を付けながら、引き続き個別訪問を慎重に行っていく必要がある。
高齢化が進み、年々被保険者数が増加しているため、宮崎県後期高齢者医療広域連合への納付金額は年々増加している。保険料について今後もさらなる収納率向上の目標を掲げ、安定的な財源確保を図らなければならない。
また、後期高齢者健康診査受診率は増加傾向であるものの依然として低い状況であるため、受診しやすい環境づくりを図り、更に未受診者への受診勧奨に努めることが必要である。

3 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課

会計名	水道事業会計

予算現額	支出済額（B＋D）	翌年度繰越額	不用額
2,137,252,600	1,928,426,141	77,953,500	130,872,959

A 収益的収入	1,208,431,166	水道料金　1,064,742,170	
B 収益的支出	1,041,735,618		
C 資本的収入	283,587,187	企業債　250,000,000	収支差額
D 資本的支出	886,690,523		△ 603,103,336

資本的収支補てん財源内訳：当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額　52,030,626
減債積立金　150,331,111
過年度分損益勘定留保資金　400,741,599

目的

安全でおいしい水道水を安定的に供給するため、「日向市水道ビジョン」に基づき事業を推進するとともに、効率的・効果的な施設の維持管理に努めることを目的とする。

事業活動内容

水道事業の経営安定及び施設の適切な維持管理、老朽化の著しい設備等の更新と耐震化を図った。

○業務量
- ・給水人口　54,438人
- ・給水戸数　23,484戸
- ・給水区域内普及率　98.9%
- ・年間総配水量　7,899,685㎥
- ・年間総有収水量　6,939,084㎥

○配水管布設費　（478,125,000円）
- ・老朽化の著しい配水管・送水管の更新と耐震化に係る経費　478,125,000円

○施設改良費　（ 92,873,000円）
- ・浄水場施設内設備更新工事等に係る経費　73,483,500円
- ・富島幹線用水路整備負担金　19,389,500円

○維持管理及び運営費　（519,270,882円）
- ・原水及び浄水に係る経費　235,730,242円
- ・配水及び給水に係る経費　136,162,966円
- ・事業の運営に係る経費　147,377,674円

○企業債元金及び利息　（354,518,456円）
- ・建設改良費に係る借入金償還のための経費
  - 企業債償還金　307,830,129円
  - 企業債利息　46,688,327円

成果及び改善点等

今後の方向性　拡充

【成果】

老朽管の更新について、漏水リスクが高い路線を重点的に更新・耐震化を実施しており管路総延長に対する更新の割合は1.12%となっている。それにより、法定耐用年数を超過した管路が増加している中においても有収率を維持し効率的に事業運営を行うことができた。

また、権現原浄水場の施設更新に向けて浄水処理方式や施設配置計画の検討や概算事業費などを整理し「権現原浄水場更新基本計画」の策定を行った。

水道事業経営については、経営基盤を強化し持続可能な水道事業を目指すため「上下水道料金等審議会」が開催され水道料金体系について見直しの審議が行われた。

【課題・改善点】

「日向市水道ビジョン」に基づき老朽管路の更新を重点的に行っているが、水道施設の老朽化は加速度的に増加している。また、市民生活や社会経済活動に欠かすことのできない重要なライフラインである水道施設は、災害時においてもその機能を維持する必要があることから重要給水施設管路を含めた基幹管路や浄水場等の耐震化が強く求められる。

水道事業の経営においては、人口減少や社会情勢の変化による給水収益の減少で経営が厳しさを増している。今後も市民サービスの向上を図るとともに更なる経営の効率化や収納率の向上対策等により持続可能な事業経営に取り組む必要がある。

3 年度　　主な施策の成果説明書

（単位:円）

所管部局	52　上下水道局	所管課	01　水道課
会計名	簡易水道事業会計		

予算現額	支出済額(B＋D)	翌年度繰越額	不用額
275,713,300	254,231,970	0	21,481,330

A 収益的収入	113,896,163	水道料金　61,957,016	
B 収益的支出	107,699,312		
C 資本的収入	126,425,459	企業債　43,200,000	収支差額
D 資本的支出	146,532,658		△ 20,107,199

資本的収支補てん財源内訳:
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額　4,018,527
減債積立金　4,504,438
過年度分損益勘定留保資金　11,584,234

目的

簡易水道施設において、施設の維持管理、整備及び水質検査等を行い、清浄で衛生的な飲料水を安定して供給することを目的とする。

事業活動内容

簡易水道施設の整備及び適切な維持管理を行った。

○業務量
- ・給水人口　2,630人
- ・給水戸数　1,124戸
- ・給水区域内普及率　99.5%
- ・年間総配水量　449,715㎥
- ・年間総有収水量　387,385㎥

○施設改良費（109,989,800円）
- ・施設長寿命化に係る経費　43,201,000円
- ・県関連事業に係る経費　66,788,800円

○維持管理及び運営費　（44,948,020円）
- ・原水及び浄水に係る経費　17,204,328円
- ・配水及び給水に係る経費　21,274,194円
- ・事業の運営に係る経費　6,469,498円

○企業債元金及び利息　（39,704,013円）
- ・建設改良費等に係る借入金償還のための経費
  - 企業債償還金　34,702,538円
  - 企業債利息　5,001,475円

成果及び改善点等

今後の方向性　拡充

【成果】

老朽化した施設について、設備更新や長寿命化工事の実施により施設の延命化を図り、適正で安定した水質を継続して供給することができた。

また、県関連事業により移転対象となった山陰電気室の移転が完了し、国道327号（小野田工区）改良事業の進捗に寄与した。

【課題・改善点】

簡易水道事業は人口密度の低い地域で運営され事業効率の面では著しく不利な状況にあり、複数ある水源では大雨による急激な濁度上昇やクリプトスポリジウムなどの病原虫対策等の水質管理上の課題がある。

また、昭和49年に給水を開始した旧山陰地区簡易水道施設をはじめ老朽化した施設を現在も多く供用しており、施設故障時の大規模断水のリスクが高まっている。

今後は、安定した水源の確保や水質管理はもとより、老朽化した施設の更新や長寿命化対策を計画的に行うとともに、施設統廃合に向けた事業を加速させる必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課
会計名	下水道事業会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,910,098,344	2,422,690,156	335,642,600	151,765,588

A 収益的収入	1,372,326,003	下水道使用料　503,420,720	
B 収益的支出	1,130,417,236		
C 資本的収入	682,489,060	企業債　415,000,000	収支差額
D 資本的支出	1,292,272,920		△ 609,783,860

資本的収支補てん財源内訳：	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	17,626,112
	当年度分損益勘定留保資金	387,616,979
	減債積立金	204,540,769

目的

公営企業として、財政状況を把握し健全で持続可能な事業運営に努めるとともに、衛生的で快適な生活環境の改善、大雨による浸水の防除、河川・海などの水環境の水質保全を図る。

事業活動内容

「日向市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、浄化センターと各汚水中継ポンプ場の長寿命化工事を行うとともに、未普及地域の解消を図るため、往還地区及び切島山地区の5.4ヘクタールの管きょ整備を行った。

＜主な事業＞

○維持管理及び運営費【312,554,368円】

(1) 管きょに係る経費	13,625,083円
(2) ポンプ場に係る経費	34,280,320円
(3) 処理場に係る経費	189,568,150円
(4) 総係費	75,080,815円

○建設改良費【383,380,514円】

(1) 管きょ費（162,829,081円）

・工事請負費（往還地及び切島山地区面整備A＝5.4ha）	111,309,520円
・委託料	25,595,398円
・その他の管きょに係る経費	25,924,163円

(2) ポンプ場費（121,836,220円）

・富高・亀崎汚水中継ポンプ場等監視制御設備長寿命化対策工事	115,170,000円
・富高汚水中継ポンプ場重量シャッター更新工事	2,343,000円
・細島汚水中継ポンプ場ポンプ井水長寿命化対策工事	715,000円
・中継ポンプ場アスベスト撤去工事	638,220円
・委託料	2,970,000円

(3) 処理場費　（98,715,213円）

・浄化センター電気設備長寿命化対策工事	59,400,000円
・浄化センター機械棟耐震補強工事	22,123,533円
・浄化センター調整池撹拌装置長寿命化対策工事	6,633,000円
・浄化センターサンドポンプ更新工事	2,183,500円
・浄化センター地下室配管更新工事	748,000円
・浄化センター逆洗排水ポンプ更新工事	691,900円
・浄化センターアスベスト撤去工事	21,780円
・委託料	6,913,500円

○企業債償還金及び利息【1,013,236,082円】

建設改良費にかかる企業債償還のための経費

(1) 企業債償還金	907,413,968円
(2) 企業債利息	105,822,114円

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】

公共下水道の整備については、往還地区及び切島山地区の5.4ヘクタールの管きょ整備を行った。

また、下水道施設における老朽化施設の改築需要に適切に対応し、施設全体の管理を最適化するストックマネジメント計画については、第1期（平成29年(2017年度)）～令和3年度(2021年度)）に計画していた予定箇所が全て完了したところである。

その他、管路の耐震化については、重要な幹線である16路線のうち令和3年度末までに14路線が完了しており、衛生的で快適な生活環境の整備、水環境の水質保全が図られている。

【課題・改善点】

日向市浄化センターや管路等の下水道施設については、老朽化状況を踏まえ中長期的な視点で計画的に長寿命化を図っていかなければならない。

今後、人口減少等に伴う使用料収入の減少や老朽化対策費用の増大等により、厳しい経営環境になることが想定されるなか、下水道事業の経営維持、健全化のためには使用料改定の検討を進める必要がある。

また、下水道整備地域では、様々な理由により下水道に接続していない世帯があるため、下水道の役割について啓発活動を行い、接続率向上に向けた取組を進めていく必要がある。

3 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課
会計名	農業集落排水事業会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
329,781,000	291,913,087	676,500	37,191,413

A 収益的収入	262,764,792	農業集落排水施設使用料　35,703,635	
B 収益的支出	180,104,977		
C 資本的収入	40,878,725	企業債　26,200,000	収支差額
D 資本的支出	111,808,110		△ 70,929,385

資本的収支補てん財源内訳：当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額　928,271
当年度分損益勘定留保資金　48,516,086
減債積立金　21,485,028

目的

山陰地区、秋留地区、美々津地区農業集落排水施設を良好に稼働させ、正常な機能を維持するため、施設の保守点検等を行い、設備機器類及び放流水の水質について技術的な管理を行うことにより、農村地域の水質保全、及び生活環境の改善を図る。

事業活動内容

農業集落排水施設の適切な管理運営を行った。

＜主な事業＞

○維持管理及び運営費【49,090,445円】
（1）管きょに係る経費　10,790,303円
（2）処理場に係る経費　30,075,918円
（3）総係費　8,224,224円

○建設改良費【24,889,700円】
（1）管きょ費（7,779,802円）
・工事請負費（ポンプ更新工事　4件）　7,779,802円

（2）処理場費（16,328,898円）
・山陰処理場微細目スクリーン設備更新工事　他　16,328,898円

（3）固定資産購入費（781,000円）
・非常用発電機　781,000円

○企業債償還金及び利息【102,006,605円】
建設改良費に係る企業債償還のための経費
（1）企業債償還金　86,918,410円
（2）企業債利息　15,088,195円

成果及び改善点等

今後の方向性　維持

【成果】
「日向市農業集落排水事業最適整備構想」に基づき、各処理施設の重要度、劣化度等に応じた、計画的な修繕・改築等の長寿命化対策工事を実施し、処理施設の安定した運転維持に努めた。

【課題・改善点】
農業集落排水は、農村地域の生活環境改善や農業用排水・公共用水域の水質保全に大きな役割を果たしているが、接続率の低い地域があるため、接続率向上に取り組む必要がある。
また、各施設は供用開始から13～23年経過し、老朽化が進んでいることから、現在運用している山陰、秋留、美々津地区における汚水処理施設の重要度、劣化等に応じた計画的な修繕、改築等を行う長寿命化対策を推進しつつ、中長期的な安定経営を目指す必要がある。
さらに、人口減少により農業集落排水施設使用料収入が減少しているため、使用料の改定など経営の健全化に向けて、具体的な検討、取組を進める必要がある。